第９期事業計画策定基礎調査結果報告書

令和５年７月

青　梅　市

目 次

Ⅰ 調査概要 1
1 目的 3
2 調査の方法と対象者 3
3 調査項目 3
4 回収状況 6
5 調査結果の表示方法 6
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 7
1 前提 9
2 基本事項 13
3 日常生活動作・行動 20
4 食事 39
5 毎日の生活 63
6 調査からみたリスクの高い方 99
7 地域での活動 103
8 たすけあい 124
9 健康 140
10 認知症 159
11 介護サービスと住まいの意向 163
12 生きがいや充実感・週１回以上の活動状況 190
13 ボランティア活動 197
14 介護ボランティア制度 203
15 日常生活での不安・心配 245
16 移動支援 251
17 認知症対策 257
18 市が充実させるべき取り組み 281
19 フレイル 288
20 自由記入 294
Ⅲ 在宅介護実態調査 301
その１ 集計結果 303
1 前提 303
2 本人・主な介護者の回答・記入項目 303
3 家族・親族からの介護がある場合の「主な介護者」による回答・記入項目 314
その２ 支援・サービスの提供体制の検討 319
1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 319
2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 344
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 364
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 377
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 390
6 サービス未利用の理由など 398
Ⅳ 介護サービス事業者調査 413
1 基本調査 415
2 在宅生活改善調査 442
3 居所変更実態調査 444
4 介護人材実態調査 449

Ⅰ 調査概要

Ⅰ 調査概要

1 目的

日常生活圏域別に、高齢者の生活実態および課題等を把握するため、日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、介護サービス事業所調査等を実施し、令和５年度に策定する第９ 期青梅市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基礎資料とする。

2 調査の方法と対象者

（1）調査方法

郵送配布、郵送回収

（2）調査期間

令和４年 12 月 21 日から令和５年１月 27 日まで

（3）調査の種類および対象者・抽出数

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	介護サービス事業所調査
対象者	要介護１～５以外の高齢者	要支援１～要介護５の高齢者のうち、介護認定更新および区分変更対象者	市内の介護サービス事業所および施設
抽出数	3,200	773	147

3 調査項目

（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【国の統一設問】

1 家族・生活状況

・家族構成　・介護　・介助の要否　・要介護・要介助原因　・主な介護者　・暮らし向き　・住居形態

2 からだを動かすこと

・階段の昇り　・椅子からの立ち上がり　・５分連続歩行　・転んだ経験　・転倒に対する不安　・外出回数　・昨年と比べた外出回数　・外出の抑制　・外出抑制理由　・外出の移動手段

3 食べること

・身長・体重　・固いものの咀嚼　・むせるか　・口の渇き　・歯磨き　・歯の数と入れ歯の利用状況　・噛み合わせ　・入れ歯の手入れ　・体重減少　・食事をともにする機会

4 毎日の生活

・物忘れ　・電話操作　・月日の認知　・交通機関による外出　・食品　・日用品の買物　・食事の用意　・請求書の支払い　・預貯金の出し入れ　・書類の記入　・新聞　・本　・雑誌　・健康記事　・番組への関心　・友人宅の訪問　・家族･友人の相談への対応　・病人のお見舞い　・若人への話しかけ　・趣味の有無　・生きがいの有無

5 地域活動

・社会活動への参加頻度　・地域有志によるグループ活動参加意向　・グループ活動企画･運営へ

の参加意思

6 たすけあい

・心配事・愚痴を聞いてくれる人　・心配事･愚痴を聞いてあげる人　・看病･世話をしてくれる人　・看病･世話をしてあげる人　・相談する相手　・友人･知人と会う頻度　・友人･知人と会った人数　・よく合う友人･知人との関係

7 健康

・健康状態　・幸福度　・気分が沈んだり憂鬱な気持ちになるか　・物事に興味がわかない等があるか　・飲酒　・喫煙　・治療中等の病気

8 認知症相談窓口の把握

・本人･家族の認知症の存否　・認知症相談窓口の認知

【市独自の設問】

9 介護サービスと住まいの意向

・介護サービス利用の有無　・利用していない理由　・希望する介護形態　・元気なうちの居住形態　・要介護になった時の居住形態　・自宅に住み続けたいとした理由　・住み続けるために必要なサービス　・ほかに必要だと思うサービス　・介護サービス料金の支払い方法

10 生きがい･充実感､週１回以上の活動

・充実感･生きがいを感じること　・団体･サークル･クラブ等への所属　・具体的団体･活動

11 ボランティア活動

・活動経験の有無　・具体的活動　・活動を行う際に望むこと

12 介護ボランティア制度

・ポイントの使い道　・活動･サービス利用意向　・やってみたい介護ボランティア　・ボランティアにやってもらいたいこと　・活動をしたくない理由　・サービスを頼みたくない理由

13 日常生活での不安

・不安や心配になること　・住み続けるうえで助かる手助け

14 移動支援

・必要な場面　・必要とする理由　・必要と思うもの

15 認知症対策

・事業認知度　・在宅生活を送るために必要なこと　・認知症本人･家族のためにできること

16 市が充実させるべき取組

・充実させるべき高齢者施策　・行うべき災害対策

17 フレイル

・言葉の認知度　・自身で取り組んでいる対策　・もっと取り組みたいこと

18 自由意見

自由意見

（2）在宅介護実態調査

1 前提

・記入者

２ 本人・主な介護者の回答・記入項目

・世帯類型　・介護の回数　・主な介護者　・主な介護者の性別　・主な介護者の年齢　・主な介護者が行っている介護等　・介護を主な理由として仕事を辞めた方の有無　・利用している介護保険サービス以外の支援･サービス　・今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援･サービス　・施設等への入所・入居の検討状況　・傷病　・訪問診療利用の有無　・介護保険サービス利用の有無　・利用していない理由　・介護サービスを利用しながら在宅生活を続けるために必要なサービス　・介護サービス料の支払方法

３ 家族・親族からの介護がある場合の「主な介護者」による回答・記入項目

・主な介護者の現在の勤務形態　・働き方についての調整等に有無　・仕事と介護の両立に必要な支援　・働きながら介護を続けることができるか　・不安に感じる介護等

（３）介護サービス事業所調査

１ 基本調査

・事業所の概要　・利用者数　・要介護度別利用者数　・事業運営上の支障　・新たな利用者確保の具体的方法　・ＧＨ入所希望者　・参入を検討する地域密着型サービス　・参入を検討する地域密着型サービス以外のサービス　・サービスの質の向上のための取り組み　・研修の内容　・リスクマネジメント　・具体的リスクマネジメント　・不足しているサービス　・高齢者支援サービスは足りているか　・サービス提供が困難な場合とその対応　・地域との関わりの有無　・実施意向のある地域貢献　・災害対策　・介護保険制度全般についての意見・要望

２ 在宅生活改善調査

・自宅等での生活上の問題　・在宅生活の維持が難しくなっている理由　・生活改善に必要なサービス

３ 居所変更実態調査

・サービス提供が困難な場合　・自宅等での生活が困難となり居所編方された方の行先･人数

・自宅等での生活が困難となった理由　・入所･入居した直前の居所　・退所･退居したその後の行先等　・退所･退居した方の要支援･要介護度

４ 介護人材実態調査

・施設職員の市内外からの勤務人数　・施設職員の具体的居住地　・介護人材不足解消のための制度拡充に対する意向　・外国人人材の活用に関する意見等　・人員の状況　・不足している職種　・サービス提供が困難な場合　・ボランティア受け入れの考え　・ボランティア受け入れで課題となること　・人材育成や離職防止のための方策　・市が取り組むべき介護人材確保対策

4 回収状況

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	介護サービス事業所調査
配布数	3,200	773	147
回収数	2,577	419	134
回収率	80.5%	54.2%	91.1%
有効票	2,577	419	134
白票・無効票	0	0	0

5　調査結果の表示方法

① 回答は各質問の回答者総数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。なお、小数点以下第２位を四捨五入し小数第１位まで表示しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

② 複数回答(２つ以上選んでよい設問)が可能な設問の場合、各選択肢ごとに回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

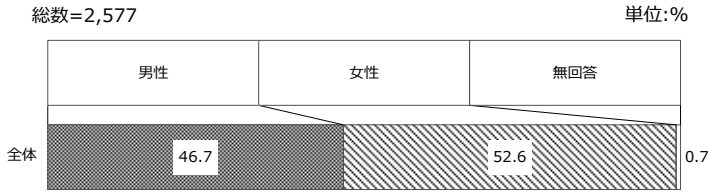
③ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される傾向があることに留意してください。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 前提

（1）性別

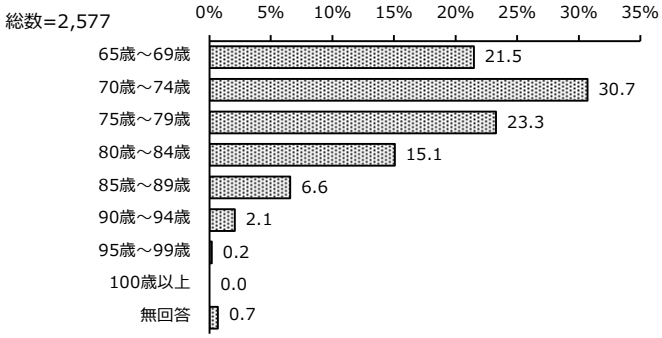
「女性」は 52.6%、「男性」は 46.7%となっています。



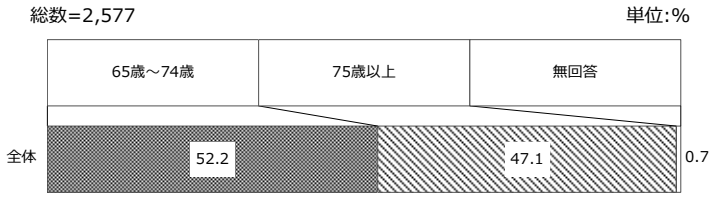
（2）年齢

「70 歳～74 歳」が 30.7%で最も多く、「75 歳～79 歳」（23.3%）、「65 歳～69 歳」（21.5%）、「80 歳～84 歳」（15.1%）が続きます。

前期調査（第８期青梅市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定にかかる調査報告書を指す。以下同様。）と比較すると、「70 歳～74 歳」の比率が高くなり、「65 歳～69 歳」の比率が低くなっています。



これを「前期高齢者（65 歳～74 歳）」と「後期高齢者（75 歳以上）」に分けてみると、「65 歳～74 歳」は 52.2%、「75 歳以上」は 47.1%となっています。



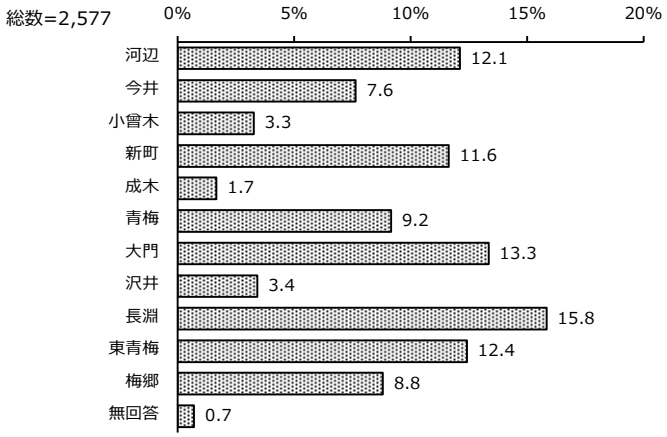
（3）地区

地区と日常生活圏域との関係は以下のようになっています。

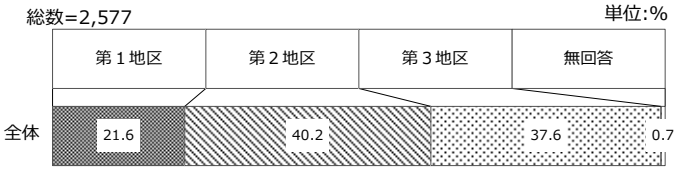
表右端の列の 11 地区は、まとめて 11 支会と呼称されています。

区　分	地域包括支援センター	地　　区	地区名
第１地区	青梅市地域包括支援センター（青梅市役所　高齢介護課内）	勝沼、西分町、住江町、本町、仲町、上町、森下町、裏宿町、天ヶ瀬町、滝ノ上町、大柳町、日向和田	青梅地区
		東青梅、根ヶ布、師岡町	東青梅地区
第２地区	青梅市地域包括支援センターうめぞの（メディケア梅の園内）	駒木町、長淵、友田町、千ヶ瀬町	長淵地区
		畑中、和田町、梅郷、柚木町	梅郷地区
		二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳山	沢井地区
		河辺町	河辺地区
第３地区	青梅市地域包括支援センターすえひろ（青梅すえひろ苑内）	吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺	大門地区
		富岡、小曾木、黒沢	小曾木地区
		成木	成木地区
		新町、末広町	新町地区
		藤橋、今井	今井地区

「長淵」が15.8%で最も多く、「大門」（13.3%）、「東青梅」（12.4%）、「河辺」（12.1%）が続きます。

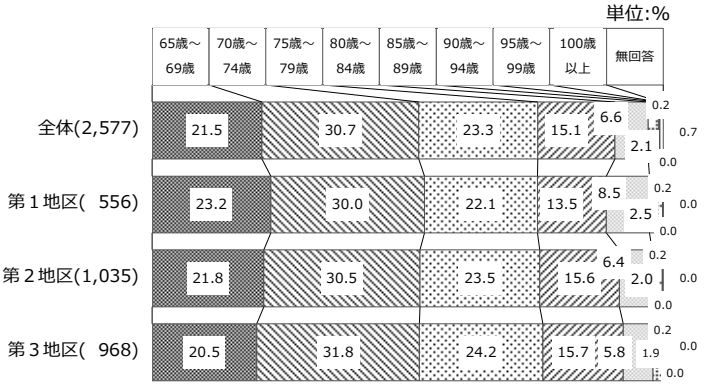


これを「３地区」にまとめると、「第２地区」が40.2%で最も多く、「第３地区」（37.6%）、「第１地区」（21.6%）が続きます。



※ 日常生活圏域からみた年齢区分

後期高齢者の比率は「第３地区」が最も高く、「第２地区」が続いています。



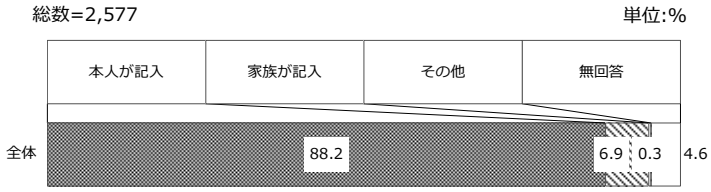
（4）事業対象者・要支援認定者

「事業対象者」は 0.2%、「要支援１」は 2.9%。「要支援２」は 2.3%となっています。

		全体	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答
全体		2,577	0.2	2.9	2.3	94.6
居住地区	第１地区	556	0.2	3.1	2.7	94.1
	第２地区	1,035	0.3	2.9	2.4	94.4
	第３地区	968	0.1	2.9	1.9	95.1
	無回答	18	-	-	-	100.0

（5）記入者

「本人が記入」が 88.2%で最も多く、「家族が記入」（6.9%）、「その他」（0.3%）が続きます。



2 基本事項【家族や生活状況】

（1）家族構成

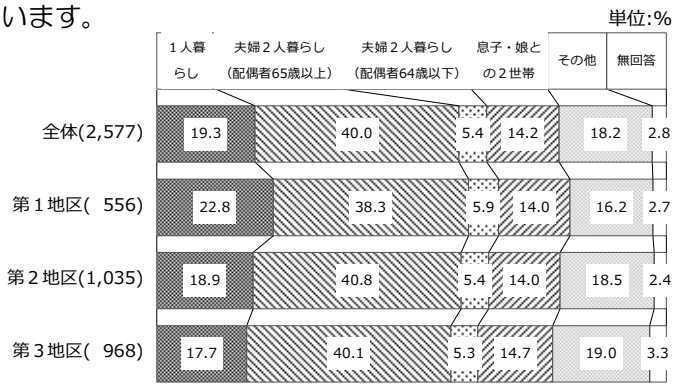
家族構成をお教えください

「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 40.0%で最も多く、「１人暮らし」（19.3%）、「その他」（18.2%）、「息子・娘との２世帯」（14.2%）が続きます。

これを地区区分でみると、「1 人暮らし」「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の比率が高いのは「第１地区」で「第２地区」が続いています。

前期調査と比較すると、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」、「１人暮らし」の比率が若干高くなっています。

単位:%



地区を 11 支会別でみると以下のようになりました。

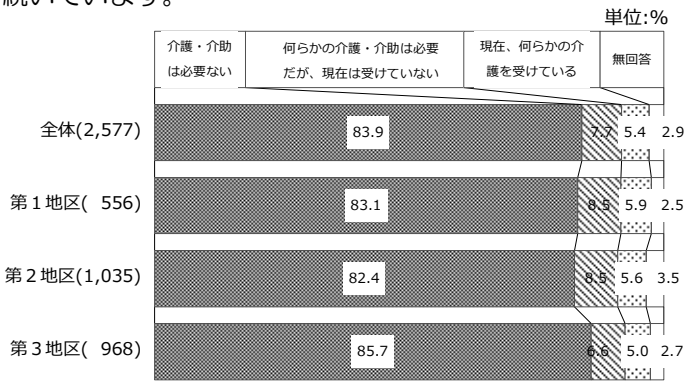
	全体	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体	2,577	497	1,032	140	366	470	72
	100.0	19.3	40.0	5.4	14.2	18.2	2.8
青梅	236	50	88	16	29	43	10
	100.0	21.2	37.3	6.8	12.3	18.2	4.2
東青梅	320	77	125	17	49	47	5
	100.0	24.1	39.1	5.3	15.3	14.7	1.6
長淵	408	82	154	26	52	82	12
	100.0	20.1	37.7	6.4	12.7	20.1	2.9
河辺	312	65	142	14	35	50	6
	100.0	20.8	45.5	4.5	11.2	16.0	1.9
梅郷	227	33	90	13	44	42	5
	100.0	14.5	39.6	5.7	19.4	18.5	2.2
沢井	88	16	36	3	14	17	2
	100.0	18.2	40.9	3.4	15.9	19.3	2.3
大門	344	62	132	17	44	76	13
	100.0	18.0	38.4	4.9	12.8	22.1	3.8
新町	300	57	136	14	41	44	8
	100.0	19.0	45.3	4.7	13.7	14.7	2.7
今井	197	26	72	14	38	43	4
	100.0	13.2	36.5	7.1	19.3	21.8	2.0
小曾木	84	19	30	4	13	12	6
	100.0	22.6	35.7	4.8	15.5	14.3	7.1
成木	43	7	18	2	6	9	1
	100.0	16.3	41.9	4.7	14.0	20.9	2.3
無回答	18	3	9	-	1	5	-
	100.0	16.7	50.0	-	5.6	27.8	-

（2）介護・介助の要否

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が 83.9%で最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（7.7%）、「現在、何らかの介護を受けている」（5.4%）が続きます。

これを地区区分でみると、「介護・介助は必要ない」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。



地区を 11 支会別でみると以下のようになりました。

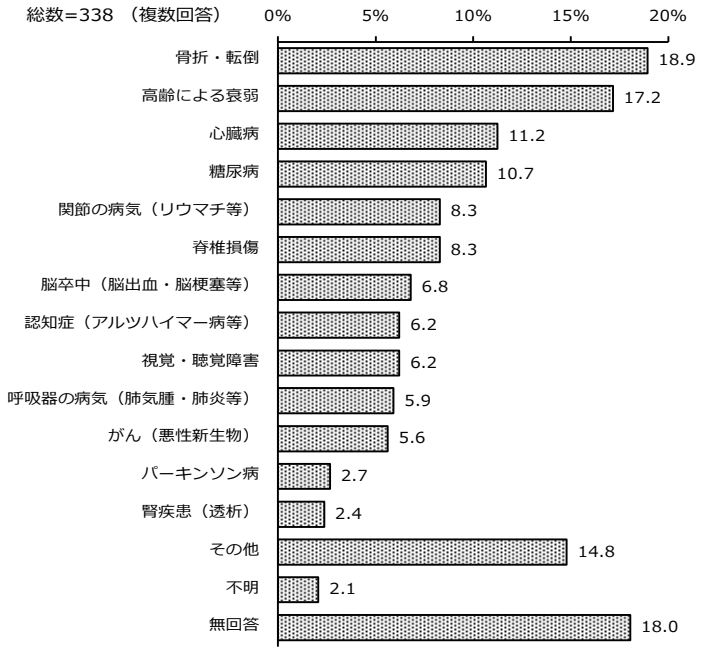
	全体	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	2,577	2,163	199	139	76
	100.0	83.9	7.7	5.4	2.9
青梅	236	194	21	14	7
	100.0	82.2	8.9	5.9	3.0
東青梅	320	268	26	19	7
	100.0	83.8	8.1	5.9	2.2
長淵	408	345	30	18	15
	100.0	84.6	7.4	4.4	3.7
河辺	312	251	29	19	13
	100.0	80.4	9.3	6.1	4.2
梅郷	227	190	17	16	4
	100.0	83.7	7.5	7.0	1.8
沢井	88	67	12	5	4
	100.0	76.1	13.6	5.7	4.5
大門	344	293	21	17	13
	100.0	85.2	6.1	4.9	3.8
新町	300	261	19	14	6
	100.0	87.0	6.3	4.7	2.0
今井	197	174	14	7	2
	100.0	88.3	7.1	3.6	1.0
小曾木	84	64	7	9	4
	100.0	76.2	8.3	10.7	4.8
成木	43	38	3	1	1
	100.0	88.4	7.0	2.3	2.3
無回答	18	18	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-

① 介護・介助が必要になった原因

【（２）において「1．介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「骨折・転倒」が 18.9%で最も多く、「高齢による衰弱」（17.2%）、「心臓病」（11.2%）、「糖尿病」（10.7%）が続きます。

前期調査では「骨折・転倒」は２位、「高齢による衰弱」が１位となっていました。



「骨折・転倒」は「第１地区」が最も多く、「第２地区」が続いています。

	全体	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体	338	6.8	11.2	5.6	5.9	8.3	6.2	2.7	10.7	2.4	6.2	18.9	8.3	17.2	14.8	2.1	18.0
第１地区	80	8.8	11.3	2.5	3.8	5.0	6.3	2.5	12.5	-	2.5	22.5	7.5	11.3	20.0	2.5	17.5
第２地区	146	4.8	8.9	8.2	6.8	6.2	6.8	1.4	6.8	2.7	9.6	20.5	9.6	18.5	15.1	1.4	17.8
第３地区	112	8.0	14.3	4.5	6.3	13.4	5.4	4.5	14.3	3.6	4.5	14.3	7.1	19.6	10.7	2.7	18.8
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

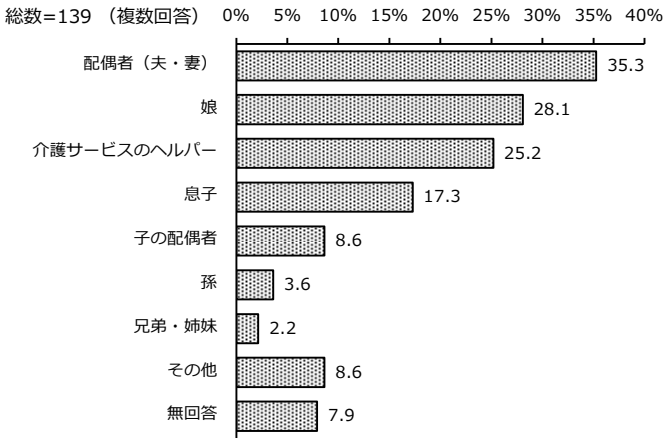
地区を 11 支会別でみると以下のようになりました。

	全体	脳血管疾患（脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体	338	23	38	19	20	28	21	9	36	8	21	64	28	58	50	7	61
	100.0	6.8	11.2	5.6	5.9	8.3	6.2	2.7	10.7	2.4	6.2	18.9	8.3	17.2	14.8	2.1	18.0
青梅	35	3	4	1	3	3	5	1	3	-	2	8	2	5	3	-	5
	100.0	8.6	11.4	2.9	8.6	8.6	14.3	2.9	8.6	-	5.7	22.9	5.7	14.3	8.6	-	14.3
東青梅	45	4	5	1	-	1	-	1	7	-	-	10	4	4	13	2	9
	100.0	8.9	11.1	2.2	-	2.2	-	2.2	15.6	-	-	22.2	8.9	8.9	28.9	4.4	20.0
長淵	48	-	6	5	4	3	-	-	2	2	6	7	3	7	8	1	11
	100.0	-	12.5	10.4	8.3	6.3	-	-	4.2	4.2	12.5	14.6	6.3	14.6	16.7	2.1	22.9
河辺	48	2	2	2	2	4	5	2	5	1	6	13	6	11	5	1	5
	100.0	4.2	4.2	4.2	4.2	8.3	10.4	4.2	10.4	2.1	12.5	27.1	12.5	22.9	10.4	2.1	10.4
梅郷	33	3	3	3	3	2	3	-	3	-	1	7	3	6	4	-	8
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	6.1	9.1	-	9.1	-	3.0	21.2	9.1	18.2	12.1	-	24.2
沢井	17	2	2	2	1	-	2	-	-	1	1	3	2	3	5	-	2
	100.0	11.8	11.8	11.8	5.9	-	11.8	-	-	5.9	5.9	17.6	11.8	17.6	29.4	-	11.8
大門	38	2	7	2	3	3	3	2	3	2	1	4	3	4	5	-	9
	100.0	5.3	18.4	5.3	7.9	7.9	7.9	5.3	7.9	5.3	2.6	10.5	7.9	10.5	13.2	-	23.7
新町	33	1	2	2	3	6	2	1	4	2	1	7	4	7	3	2	6
	100.0	3.0	6.1	6.1	9.1	18.2	6.1	3.0	12.1	6.1	3.0	21.2	12.1	21.2	9.1	6.1	18.2
今井	21	3	4	-	-	4	1	1	4	-	1	3	1	4	3	-	2
	100.0	14.3	19.0	-	-	19.0	4.8	4.8	19.0	-	4.8	14.3	4.8	19.0	14.3	-	9.5
小曾木	16	2	1	-	1	2	-	1	2	-	1	2	-	6	-	1	4
	100.0	12.5	6.3	-	6.3	12.5	-	6.3	12.5	-	6.3	12.5	-	37.5	-	6.3	25.0
成木	4	1	2	1	-	-	-	-	3	-	1	-	-	1	1	-	-
	100.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	75.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

② 主な介護者・介助者

【（2）において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

「配偶者（夫・妻）」が 35.3%で最も多く、「娘」（28.1%）、「介護サービスのヘルパー」（25.2%）、「息子」（17.3%）が続きます。



「配偶者（夫妻)」は「第２地区」が最も多く、「第３地区」が続きます。

		全体	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		139	35.3	17.3	28.1	8.6	3.6	2.2	25.2	8.6	7.9
居住地区	第１地区	33	30.3	12.1	27.3	9.1	3.0	3.0	21.2	15.2	9.1
	第２地区	58	39.7	19.0	24.1	8.6	3.4	-	32.8	5.2	10.3
	第３地区	48	33.3	18.8	33.3	8.3	4.2	4.2	18.8	8.3	4.2
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*

地区を 11 支会別でみると以下のようになりました。

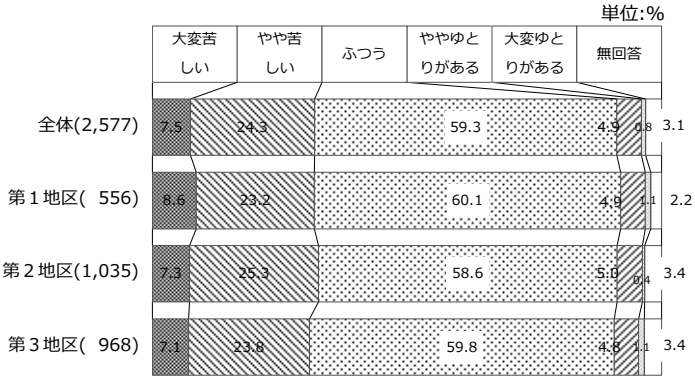
	全体	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	139	49	24	39	12	5	3	35	12	11
	100.0	35.3	17.3	28.1	8.6	3.6	2.2	25.2	8.6	7.9
青梅	14	7	2	4	1	1	-	3	1	1
	100.0	50.0	14.3	28.6	7.1	7.1	-	21.4	7.1	7.1
東青梅	19	3	2	5	2	-	1	4	4	2
	100.0	15.8	10.5	26.3	10.5	-	5.3	21.1	21.1	10.5
長淵	18	4	5	3	3	1	-	9	1	3
	100.0	22.2	27.8	16.7	16.7	5.6	-	50.0	5.6	16.7
河辺	19	8	1	4	-	1	-	7	1	1
	100.0	42.1	5.3	21.1	-	5.3	-	36.8	5.3	5.3
梅郷	16	8	3	4	2	-	-	3	1	2
	100.0	50.0	18.8	25.0	12.5	-	-	18.8	6.3	12.5
沢井	5	3	2	3	-	-	-	-	-	-
	100.0	60.0	40.0	60.0	-	-	-	-	-	-
大門	17	4	2	6	-	2	1	3	2	2
	100.0	23.5	11.8	35.3	-	11.8	5.9	17.6	11.8	11.8
新町	14	3	3	7	3	-	-	2	1	-
	100.0	21.4	21.4	50.0	21.4	-	-	14.3	7.1	-
今井	7	4	2	3	-	-	-	1	-	-
	100.0	57.1	28.6	42.9	-	-	-	14.3	-	-
小曾木	9	4	2	-	1	-	1	3	1	-
	100.0	44.4	22.2	-	11.1	-	11.1	33.3	11.1	-
成木	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

（3）暮らし向き

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が 59.3%で最も多く、「やや苦しい」（24.3%）、「大変苦しい」（7.5%）、「ややゆとりがある」（4.9%）が続きます。

これを地区別でみると、「大変苦しい」の比率が最も高いのは「第１地区」で、「第２地区」が続きます。



（4）住まい

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家（一戸建て）」が 71.8%で最も多く、「持家（集合住宅）」（13.3%）、「民間賃貸住宅（集合住宅）」（5.2%）、「公営賃貸住宅」（3.8%）が続きます。

前期調査と比較すると、「持家（一戸建て）」の比率が下がり、「持家（集合住宅）」が上がっています。

これを地区区分でみると、「持家（一戸建て）」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
	全体	2,577	71.8	13.3	3.8	0.4	5.2	1.4	1.3	2.9
居住地区	第１地区	556	61.7	25.4	0.4	1.1	7.0	0.9	1.6	2.0
	第２地区	1,035	71.2	12.0	6.7	0.2	3.9	1.6	1.4	3.1
	第３地区	968	78.0	7.6	2.8	0.2	5.7	1.3	1.1	3.2
	無回答	18	77.8	16.7	-	-	5.6	-	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体	2,577	1,849	342	98	10	135	35	34	74
	100.0	71.8	13.3	3.8	0.4	5.2	1.4	1.3	2.9
青梅	236	172	43	2	5	4	1	4	5
	100.0	72.9	18.2	0.8	2.1	1.7	0.4	1.7	2.1
東青梅	320	171	98	-	1	35	4	5	6
	100.0	53.4	30.6	-	0.3	10.9	1.3	1.6	1.9
長淵	408	304	53	8	2	10	6	6	19
	100.0	74.5	13.0	2.0	0.5	2.5	1.5	1.5	4.7
河辺	312	139	69	57	-	27	6	5	9
	100.0	44.6	22.1	18.3	-	8.7	1.9	1.6	2.9
梅郷	227	214	2	4	-	1	3	1	2
	100.0	94.3	0.9	1.8	-	0.4	1.3	0.4	0.9
沢井	88	80	-	-	-	2	2	2	2
	100.0	90.9	-	-	-	2.3	2.3	2.3	2.3
大門	344	257	17	22	2	25	2	6	13
	100.0	74.7	4.9	6.4	0.6	7.3	0.6	1.7	3.8
新町	300	201	57	-	-	22	8	3	9
	100.0	67.0	19.0	-	-	7.3	2.7	1.0	3.0
今井	197	184	-	2	-	6	-	-	5
	100.0	93.4	-	1.0	-	3.0	-	-	2.5
小曾木	84	71	-	3	-	2	2	2	4
	100.0	84.5	-	3.6	-	2.4	2.4	2.4	4.8
成木	43	42	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	97.7	-	-	-	-	2.3	-	-
無回答	18	14	3	-	-	1	-	-	-
	100.0	77.8	16.7	-	-	5.6	-	-	-

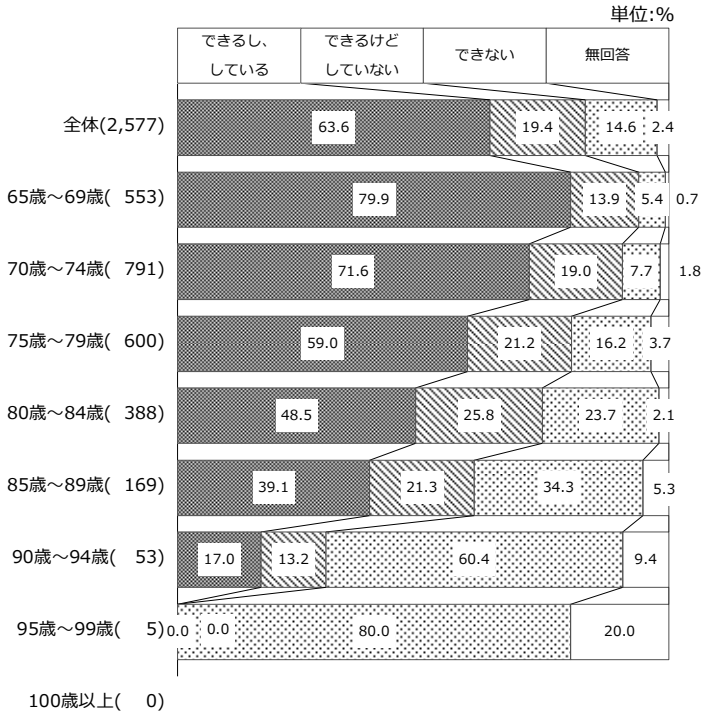
3 日常生活動作・行動

（1）階段の手すり利用

階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

「できるし、している」が 63.6％で最も多く、「できるけどしていない」（19.4％）、「できない」（14.6％）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の構成比が下がり、「できない」の構成比が上がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	63.6	19.4	14.6	2.4
居住地区	第１地区	556	65.5	16.9	16.0	1.6
	第２地区	1,035	63.4	19.2	14.4	3.0
	第３地区	968	62.5	21.1	14.0	2.4
	無回答	18	72.2	16.7	11.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

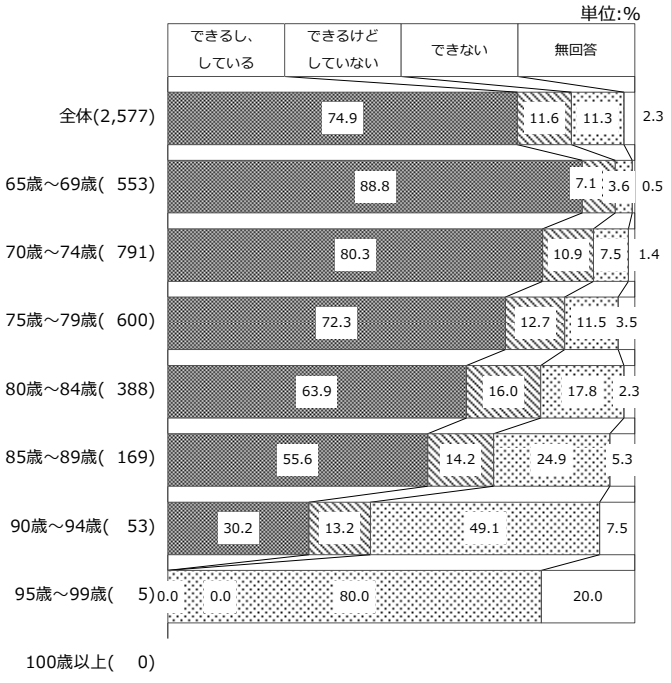
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	1,638	500	376	63
	100.0	63.6	19.4	14.6	2.4
青梅	236	159	37	36	4
	100.0	67.4	15.7	15.3	1.7
東青梅	320	205	57	53	5
	100.0	64.1	17.8	16.6	1.6
長淵	408	276	65	51	16
	100.0	67.6	15.9	12.5	3.9
河辺	312	195	60	49	8
	100.0	62.5	19.2	15.7	2.6
梅郷	227	131	57	35	4
	100.0	57.7	25.1	15.4	1.8
沢井	88	54	17	14	3
	100.0	61.4	19.3	15.9	3.4
大門	344	216	69	49	10
	100.0	62.8	20.1	14.2	2.9
新町	300	197	54	42	7
	100.0	65.7	18.0	14.0	2.3
今井	197	118	45	31	3
	100.0	59.9	22.8	15.7	1.5
小曾木	84	51	22	9	2
	100.0	60.7	26.2	10.7	2.4
成木	43	23	14	5	1
	100.0	53.5	32.6	11.6	2.3
無回答	18	13	3	2	-
	100.0	72.2	16.7	11.1	-

（2）椅子からの立ち上がり

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」が 74.9%で最も多く、「できるけどしていない」（11.6%）、「できない」（11.3%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の構成比が下がり、「できない」の構成比が上がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	74.9	11.6	11.3	2.3
居住地区	第１地区	556	74.6	11.7	12.2	1.4
	第２地区	1,035	74.2	11.4	11.7	2.7
	第３地区	968	75.9	11.5	10.3	2.3
	無回答	18	66.7	22.2	5.6	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

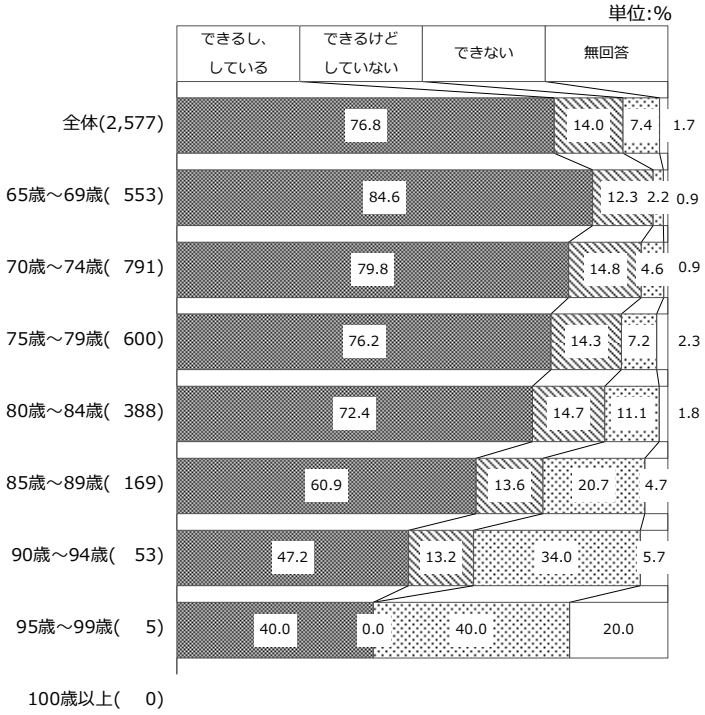
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	1,930	298	290	59
	100.0	74.9	11.6	11.3	2.3
青梅	236	175	27	30	4
	100.0	74.2	11.4	12.7	1.7
東青梅	320	240	38	38	4
	100.0	75.0	11.9	11.9	1.3
長淵	408	312	40	38	18
	100.0	76.5	9.8	9.3	4.4
河辺	312	225	34	48	5
	100.0	72.1	10.9	15.4	1.6
梅郷	227	166	32	25	4
	100.0	73.1	14.1	11.0	1.8
沢井	88	65	12	10	1
	100.0	73.9	13.6	11.4	1.1
大門	344	258	39	37	10
	100.0	75.0	11.3	10.8	2.9
新町	300	234	31	31	4
	100.0	78.0	10.3	10.3	1.3
今井	197	149	25	20	3
	100.0	75.6	12.7	10.2	1.5
小曾木	84	64	10	7	3
	100.0	76.2	11.9	8.3	3.6
成木	43	30	6	5	2
	100.0	69.8	14.0	11.6	4.7
無回答	18	12	4	1	1
	100.0	66.7	22.2	5.6	5.6

（3）歩行の継続

15 分位続けて歩いていますか

「できるし、している」が 76.8%で最も多く、「できるけどしていない」（14.0%）、「できない」（7.4%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の構成比が下がり、「できない」の構成比が上がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	76.8	14.0	7.4	1.7
居住地区	第１地区	556	79.5	11.5	7.7	1.3
	第２地区	1,035	76.4	14.2	7.1	2.3
	第３地区	968	75.8	15.2	7.5	1.4
	無回答	18	72.2	16.7	11.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

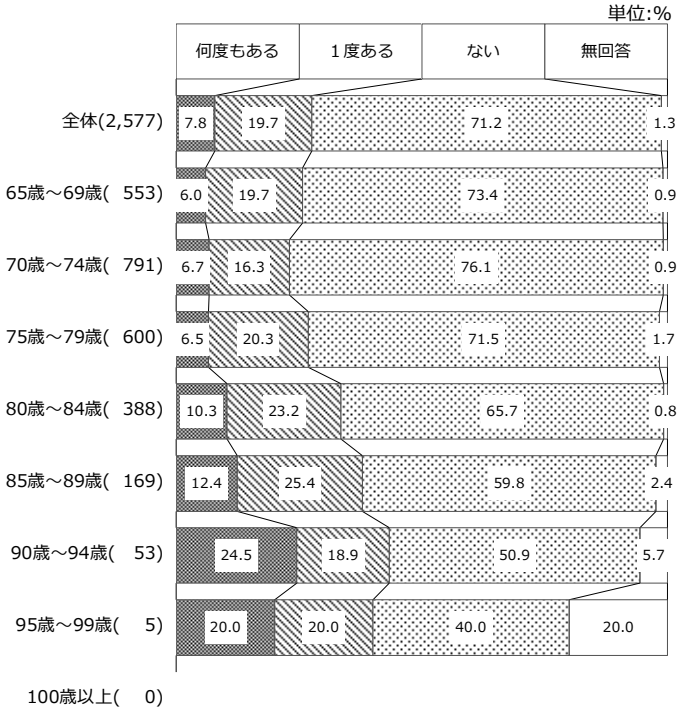
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	1,980	361	191	45
	100.0	76.8	14.0	7.4	1.7
青梅	236	186	30	17	3
	100.0	78.8	12.7	7.2	1.3
東青梅	320	256	34	26	4
	100.0	80.0	10.6	8.1	1.3
長淵	408	314	60	21	13
	100.0	77.0	14.7	5.1	3.2
河辺	312	238	33	33	8
	100.0	76.3	10.6	10.6	2.6
梅郷	227	168	42	15	2
	100.0	74.0	18.5	6.6	0.9
沢井	88	71	12	4	1
	100.0	80.7	13.6	4.5	1.1
大門	344	263	54	20	7
	100.0	76.5	15.7	5.8	2.0
新町	300	234	34	30	2
	100.0	78.0	11.3	10.0	0.7
今井	197	145	34	15	3
	100.0	73.6	17.3	7.6	1.5
小曾木	84	58	19	5	2
	100.0	69.0	22.6	6.0	2.4
成木	43	34	6	3	-
	100.0	79.1	14.0	7.0	-
無回答	18	13	3	2	-
	100.0	72.2	16.7	11.1	-

（4）転倒

過去 1 年間に転んだ経験がありますか

「ない」が 71.2%で最も多く、「１度ある」（19.7%）、「何度もある」（7.8%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「ない」の構成比が下がり、「何度もある」の構成比が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「ない」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体		2,577	7.8	19.7	71.2	1.3
居住地区	第１地区	556	8.8	20.3	70.3	0.5
	第２地区	1,035	7.7	18.7	72.1	1.4
	第３地区	968	7.3	20.4	70.8	1.5
	無回答	18	11.1	22.2	66.7	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

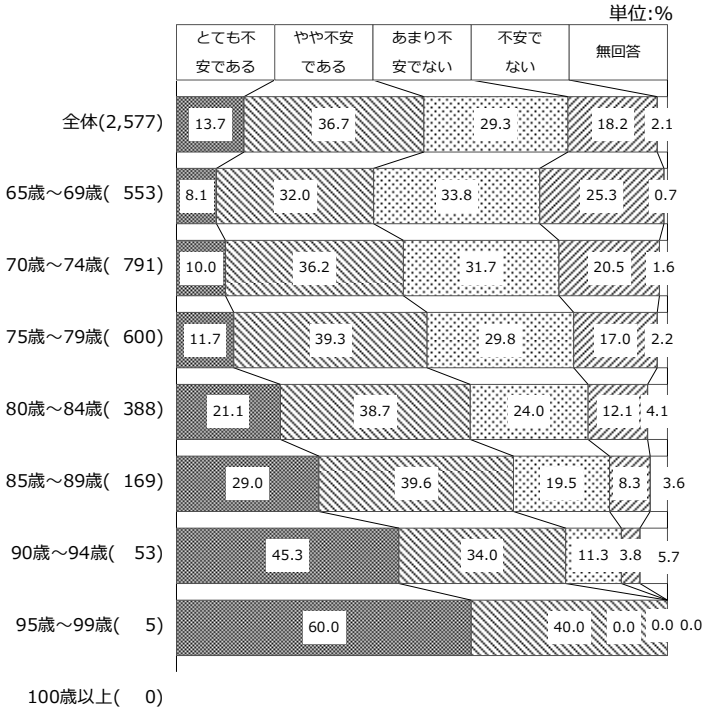
	全体	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	2,577	202	508	1,834	33
	100.0	7.8	19.7	71.2	1.3
青梅	236	26	52	157	1
	100.0	11.0	22.0	66.5	0.4
東青梅	320	23	61	234	2
	100.0	7.2	19.1	73.1	0.6
長淵	408	24	75	300	9
	100.0	5.9	18.4	73.5	2.2
河辺	312	26	64	219	3
	100.0	8.3	20.5	70.2	1.0
梅郷	227	19	40	166	2
	100.0	8.4	17.6	73.1	0.9
沢井	88	11	15	61	1
	100.0	12.5	17.0	69.3	1.1
大門	344	28	65	242	9
	100.0	8.1	18.9	70.3	2.6
新町	300	23	55	221	1
	100.0	7.7	18.3	73.7	0.3
今井	197	14	49	133	1
	100.0	7.1	24.9	67.5	0.5
小曾木	84	2	16	63	3
	100.0	2.4	19.0	75.0	3.6
成木	43	4	12	26	1
	100.0	9.3	27.9	60.5	2.3
無回答	18	2	4	12	-
	100.0	11.1	22.2	66.7	-

（5）転倒の不安

転倒に対する不安は大きいですか

「やや不安である」が 36.7%で最も多く、「あまり不安でない」（29.3%）、「不安でない」（18.2%）、「とても不安である」（13.7%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「とても不安である」の構成比が上がり、「不安でない」の構成比が下がっています。



これを地区区分でみると、「不安でない」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体		2,577	13.7	36.7	29.3	18.2	2.1
居住地区	第１地区	556	14.7	36.7	29.1	17.4	2.0
	第２地区	1,035	14.0	36.8	28.8	18.4	2.0
	第３地区	968	12.9	36.3	29.9	18.6	2.4
	無回答	18	5.6	50.0	38.9	5.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

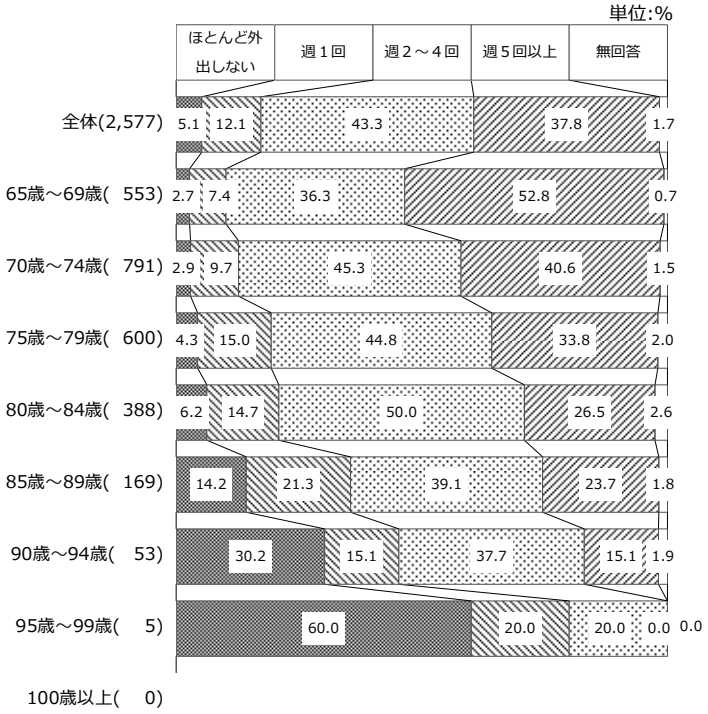
	全体	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体	2,577	353	945	756	468	55
	100.0	13.7	36.7	29.3	18.2	2.1
青梅	236	33	83	74	43	3
	100.0	14.0	35.2	31.4	18.2	1.3
東青梅	320	49	121	88	54	8
	100.0	15.3	37.8	27.5	16.9	2.5
長淵	408	48	153	121	76	10
	100.0	11.8	37.5	29.7	18.6	2.5
河辺	312	54	113	82	58	5
	100.0	17.3	36.2	26.3	18.6	1.6
梅郷	227	30	87	63	44	3
	100.0	13.2	38.3	27.8	19.4	1.3
沢井	88	13	28	32	12	3
	100.0	14.8	31.8	36.4	13.6	3.4
大門	344	46	124	109	54	11
	100.0	13.4	36.0	31.7	15.7	3.2
新町	300	40	111	82	62	5
	100.0	13.3	37.0	27.3	20.7	1.7
今井	197	25	68	61	39	4
	100.0	12.7	34.5	31.0	19.8	2.0
小曾木	84	6	33	24	19	2
	100.0	7.1	39.3	28.6	22.6	2.4
成木	43	8	15	13	6	1
	100.0	18.6	34.9	30.2	14.0	2.3
無回答	18	1	9	7	1	-
	100.0	5.6	50.0	38.9	5.6	-

（６）週１回以上の外出

週に１回以上は外出していますか

「週２～４回」が 43.3%で最も多く、「週５回以上」（37.8%）、「週１回」（12.1%）、「ほとんど外出しない」（5.1%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「ほとんど外出しない」の構成比が上がり、「週５回以上」の構成比が下がっています。



これを地区区分でみると、「ほとんど外出しない」では「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	ほとんど外出しない	週１回	週２～４回	週５回以上	無回答
全体		2,577	5.1	12.1	43.3	37.8	1.7
居住地区	第１地区	556	5.0	11.3	41.0	40.6	2.0
	第２地区	1,035	5.5	13.0	44.3	35.8	1.4
	第３地区	968	4.8	11.6	43.7	38.2	1.8
	無回答	18	5.6	11.1	44.4	33.3	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

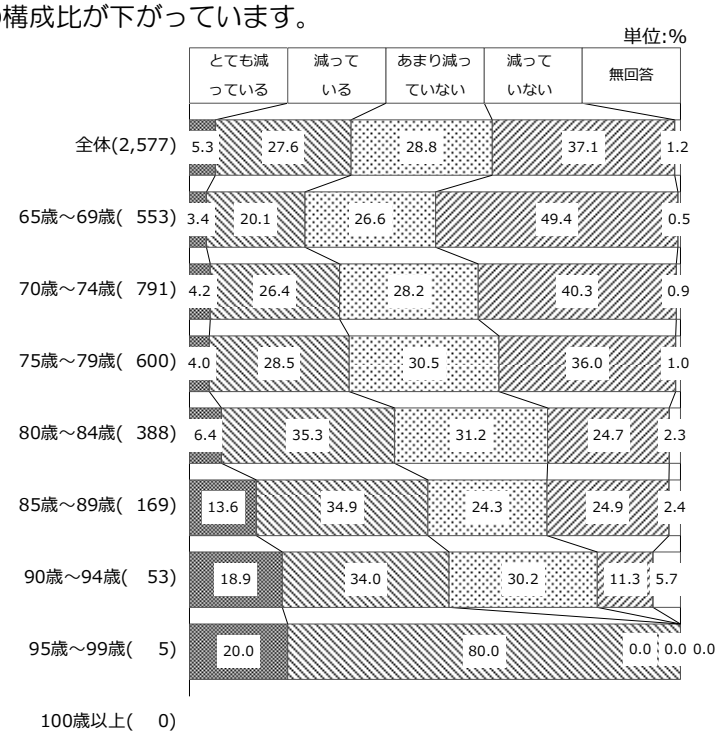
	全体	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	2,577	132	312	1,117	973	43
	100.0	5.1	12.1	43.3	37.8	1.7
青梅	236	14	29	101	87	5
	100.0	5.9	12.3	42.8	36.9	2.1
東青梅	320	14	34	127	139	6
	100.0	4.4	10.6	39.7	43.4	1.9
長淵	408	16	53	189	144	6
	100.0	3.9	13.0	46.3	35.3	1.5
河辺	312	16	34	119	138	5
	100.0	5.1	10.9	38.1	44.2	1.6
梅郷	227	15	37	117	57	1
	100.0	6.6	16.3	51.5	25.1	0.4
沢井	88	10	11	33	32	2
	100.0	11.4	12.5	37.5	36.4	2.3
大門	344	16	38	144	139	7
	100.0	4.7	11.0	41.9	40.4	2.0
新町	300	12	31	127	126	4
	100.0	4.0	10.3	42.3	42.0	1.3
今井	197	8	22	99	64	4
	100.0	4.1	11.2	50.3	32.5	2.0
小曾木	84	7	12	38	26	1
	100.0	8.3	14.3	45.2	31.0	1.2
成木	43	3	9	15	15	1
	100.0	7.0	20.9	34.9	34.9	2.3
無回答	18	1	2	8	6	1
	100.0	5.6	11.1	44.4	33.3	5.6

（7）外出回数の減少

昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」が 37.1%で最も多く、「あまり減っていない」（28.8%）、「減っている」（27.6%）、「とても減っている」（5.3%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「とても減っている」の構成比が上がり、「減っていない」の構成比が下がっています。



これを地区区分でみると、「減っていない」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		2,577	5.3	27.6	28.8	37.1	1.2
居住地区	第１地区	556	6.7	27.9	29.3	34.9	1.3
	第２地区	1,035	5.4	27.9	27.3	38.3	1.1
	第３地区	968	4.3	27.4	29.4	37.4	1.4
	無回答	18	5.6	16.7	55.6	22.2	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

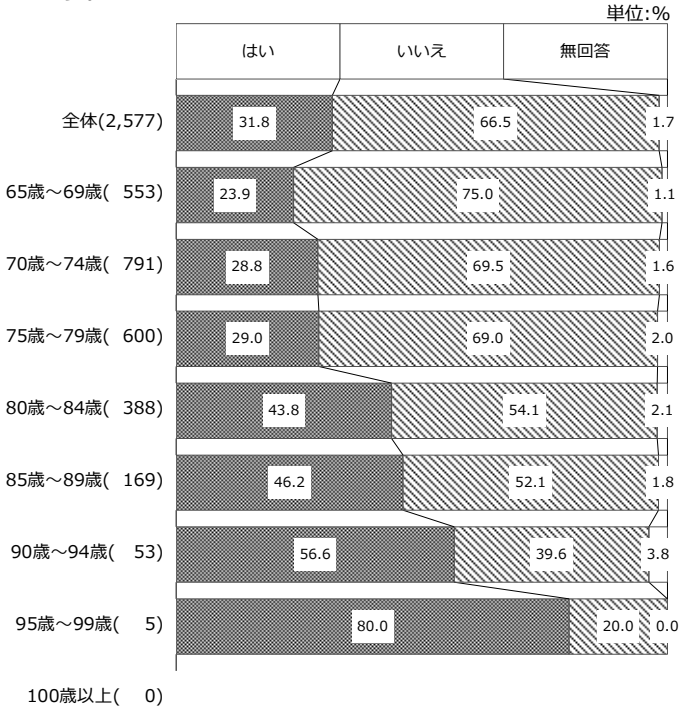
	全体	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	2,577	136	712	741	956	32
	100.0	5.3	27.6	28.8	37.1	1.2
青梅	236	18	68	68	80	2
	100.0	7.6	28.8	28.8	33.9	0.8
東青梅	320	19	87	95	114	5
	100.0	5.9	27.2	29.7	35.6	1.6
長淵	408	17	121	103	162	5
	100.0	4.2	29.7	25.2	39.7	1.2
河辺	312	24	88	85	112	3
	100.0	7.7	28.2	27.2	35.9	1.0
梅郷	227	10	54	69	92	2
	100.0	4.4	23.8	30.4	40.5	0.9
沢井	88	5	26	26	30	1
	100.0	5.7	29.5	29.5	34.1	1.1
大門	344	10	96	96	135	7
	100.0	2.9	27.9	27.9	39.2	2.0
新町	300	14	87	88	109	2
	100.0	4.7	29.0	29.3	36.3	0.7
今井	197	12	46	68	68	3
	100.0	6.1	23.4	34.5	34.5	1.5
小曾木	84	2	24	24	33	1
	100.0	2.4	28.6	28.6	39.3	1.2
成木	43	4	12	9	17	1
	100.0	9.3	27.9	20.9	39.5	2.3
無回答	18	1	3	10	4	-
	100.0	5.6	16.7	55.6	22.2	-

（8）外出の抑制

外出を控えていますか

「いいえ」は 66.5%、「はい」は 31.8%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の構成比が上がり、「いいえ」の構成比が下がっています。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	31.8	66.5	1.7
居住地区	第１地区	556	32.6	65.6	1.8
	第２地区	1,035	30.6	67.8	1.5
	第３地区	968	32.9	65.3	1.9
	無回答	18	22.2	77.8	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	820	1,713	44
	100.0	31.8	66.5	1.7
青梅	236	80	153	3
	100.0	33.9	64.8	1.3
東青梅	320	101	212	7
	100.0	31.6	66.3	2.2
長淵	408	115	285	8
	100.0	28.2	69.9	2.0
河辺	312	93	214	5
	100.0	29.8	68.6	1.6
梅郷	227	73	152	2
	100.0	32.2	67.0	0.9
沢井	88	36	51	1
	100.0	40.9	58.0	1.1
大門	344	99	239	6
	100.0	28.8	69.5	1.7
新町	300	108	185	7
	100.0	36.0	61.7	2.3
今井	197	67	128	2
	100.0	34.0	65.0	1.0
小曾木	84	28	55	1
	100.0	33.3	65.5	1.2
成木	43	16	25	2
	100.0	37.2	58.1	4.7
無回答	18	4	14	-
	100.0	22.2	77.8	-

① 介護・介助が必要になった原因

【（８）で「１．はい」（外出を控えている）の方のみ】
①外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「足腰などの痛み」が 34.8%で最も多く、「トイレの心配（失禁など）」（12.7%）、「外での楽しみがない」（11.8%）、「交通手段がない」（11.1%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「足腰などの痛み」「交通手段がない」などのの構成比が上がっています。

		全体	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
	全体	820	11.0	2.6	34.8	12.7	5.0	4.5	11.8	6.6	11.1	48.0	3.0
年齢	65歳～69歳	132	11.4	1.5	17.4	6.1	0.8	2.3	13.6	8.3	3.8	65.2	2.3
	70歳～74歳	228	9.6	2.2	25.9	9.2	3.1	2.2	8.8	7.0	3.1	58.3	4.8
	75歳～79歳	174	10.9	3.4	37.4	14.4	3.4	4.6	14.4	6.9	14.4	46.0	2.3
	80歳～84歳	170	12.4	2.4	42.9	18.8	10.6	6.5	11.8	6.5	17.1	37.6	2.4
	85歳～89歳	78	15.4	5.1	51.3	15.4	5.1	7.7	11.5	3.8	21.8	25.6	3.8
	90歳～94歳	30	3.3	－	66.7	13.3	13.3	10.0	13.3	－	20.0	30.0	－
	95歳～99歳	4	－	－	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	－	50.0	－	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	4	－	－	50.0	25.0	－	－	－	25.0	－	50.0	－

これを地区区分でみると、「交通手段がない」では「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
	全体	820	11.0	2.6	34.8	12.7	5.0	4.5	11.8	6.6	11.1	48.0	3.0
居住地区	第１地区	181	11.0	2.2	35.9	9.9	3.9	5.5	14.4	5.5	7.7	49.2	1.7
	第２地区	317	13.2	2.2	35.3	12.3	8.5	6.0	10.7	6.9	16.7	43.8	2.8
	第３地区	318	8.8	3.1	33.3	14.5	2.2	2.5	11.6	6.6	7.5	51.6	4.1
	無回答	4	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体	820	90	21	285	104	41	37	97	54	91	394	25
	100.0	11.0	2.6	34.8	12.7	5.0	4.5	11.8	6.6	11.1	48.0	3.0
青梅	80	9	1	29	5	3	6	16	1	6	42	1
	100.0	11.3	1.3	36.3	6.3	3.8	7.5	20.0	1.3	7.5	52.5	1.3
東青梅	101	11	3	36	13	4	4	10	9	8	47	2
	100.0	10.9	3.0	35.6	12.9	4.0	4.0	9.9	8.9	7.9	46.5	2.0
長淵	115	17	3	32	8	9	5	9	6	23	45	4
	100.0	14.8	2.6	27.8	7.0	7.8	4.3	7.8	5.2	20.0	39.1	3.5
河辺	93	12	-	43	17	15	5	14	7	15	43	2
	100.0	12.9	-	46.2	18.3	16.1	5.4	15.1	7.5	16.1	46.2	2.2
梅郷	73	8	3	24	12	3	7	7	7	8	35	2
	100.0	11.0	4.1	32.9	16.4	4.1	9.6	9.6	9.6	11.0	47.9	2.7
沢井	36	5	1	13	2	-	2	4	2	7	16	1
	100.0	13.9	2.8	36.1	5.6	-	5.6	11.1	5.6	19.4	44.4	2.8
大門	99	9	2	34	15	2	1	14	8	2	46	5
	100.0	9.1	2.0	34.3	15.2	2.0	1.0	14.1	8.1	2.0	46.5	5.1
新町	108	6	3	36	13	3	4	10	6	12	65	3
	100.0	5.6	2.8	33.3	12.0	2.8	3.7	9.3	5.6	11.1	60.2	2.8
今井	67	9	4	27	14	-	1	10	5	3	30	3
	100.0	13.4	6.0	40.3	20.9	-	1.5	14.9	7.5	4.5	44.8	4.5
小曾木	28	2	1	5	3	2	2	3	-	4	17	1
	100.0	7.1	3.6	17.9	10.7	7.1	7.1	10.7	-	14.3	60.7	3.6
成木	16	2	-	4	1	-	-	-	2	3	6	1
	100.0	12.5	-	25.0	6.3	-	-	-	12.5	18.8	37.5	6.3
無回答	4	-	-	2	1	-	-	-	1	-	2	-
	100.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0	-

（9）外出の移動手段

外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「徒歩」が 63.4%で最も多く、「自動車（自分で運転）」（50.3%）、「電車」（29.2%）、「自転車」（26.0%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「徒歩」「自動車（自分で運転）」「電車」などのの構成比が下がり、「路線バス」「自動車（人に乗せてもらう）」の構成比が上がっています。

	全体	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体	2,577	63.4	26.0	2.2	50.3	24.1	29.2	25.2	1.0	0.2	0.2	1.1	8.4	0.5	1.9
65歳～69歳	553	66.7	29.1	3.3	67.5	19.2	35.6	18.4	0.7	－	－	－	5.1	0.5	2.5
70歳～74歳	791	64.7	27.7	2.3	58.7	22.1	29.6	24.0	0.5	0.1	－	0.1	3.8	0.5	1.9
75歳～79歳	600	63.5	24.8	2.7	47.8	23.3	29.7	26.2	0.7	0.3	0.2	1.0	9.3	0.5	1.7
80歳～84歳	388	60.8	23.5	1.0	34.0	26.5	24.7	32.7	1.3	0.3	－	2.3	16.0	0.5	1.0
85歳～89歳	169	55.6	21.9	0.6	15.4	37.9	19.5	34.3	4.7	－	1.2	3.0	17.8	－	1.8
90歳～94歳	53	45.3	7.5	－	7.5	50.9	9.4	15.1	1.9	1.9	1.9	11.3	13.2	3.8	3.8
95歳～99歳	5	60.0	20.0	－	－	80.0	20.0	－	－	－	－	20.0	40.0	－	－
100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	18	77.8	38.9	－	61.1	16.7	44.4	38.9	－	－	－	－	11.1	－	－

これを地区区分でみると、「電車」では「第 1 地区」の比率が最も高く、「第 2 地区」が続いています。また、「路線バス」では「第 3 地区」の比率が最も高く、「第 1 地区」が続いています。

		全体	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,577	63.4	26.0	2.2	50.3	24.1	29.2	25.2	1.0	0.2	0.2	1.1	8.4	0.5	1.9
居住地区	第1地区	556	71.2	27.0	2.7	40.6	23.9	39.2	24.5	1.4	0.2	0.2	0.9	9.0	0.5	2.0
	第2地区	1,035	62.4	23.2	2.6	49.8	25.1	28.8	24.2	1.1	0.2	0.2	1.6	9.3	0.8	2.0
	第3地区	968	59.6	28.1	1.5	56.3	23.3	23.6	26.4	0.7	0.2	0.1	0.6	7.1	0.3	1.7
	無回答	18	77.8	38.9	-	61.1	16.7	44.4	38.9	-	-	-	-	11.1	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体	2,577	1,633	669	57	1,297	622	752	649	26	5	4	28	217	14	48
	100.0	63.4	26.0	2.2	50.3	24.1	29.2	25.2	1.0	0.2	0.2	1.1	8.4	0.5	1.9
青梅	236	172	47	7	99	63	108	69	4	1	1	1	22	1	3
	100.0	72.9	19.9	3.0	41.9	26.7	45.8	29.2	1.7	0.4	0.4	0.4	9.3	0.4	1.3
東青梅	320	224	103	8	127	70	110	67	4	-	-	4	28	2	8
	100.0	70.0	32.2	2.5	39.7	21.9	34.4	20.9	1.3	-	-	1.3	8.8	0.6	2.5
長淵	408	257	92	13	207	106	96	120	3	-	-	3	34	5	9
	100.0	63.0	22.5	3.2	50.7	26.0	23.5	29.4	0.7	-	-	0.7	8.3	1.2	2.2
河辺	312	220	116	4	117	70	111	32	4	1	1	11	40	3	6
	100.0	70.5	37.2	1.3	37.5	22.4	35.6	10.3	1.3	0.3	0.3	3.5	12.8	1.0	1.9
梅郷	227	130	27	10	128	61	66	95	3	1	1	3	17	-	4
	100.0	57.3	11.9	4.4	56.4	26.9	29.1	41.9	1.3	0.4	0.4	1.3	7.5	-	1.8
沢井	88	39	5	-	63	23	25	3	1	-	-	-	5	-	2
	100.0	44.3	5.7	-	71.6	26.1	28.4	3.4	1.1	-	-	-	5.7	-	2.3
大門	344	216	107	7	190	79	87	115	2	1	-	2	22	-	7
	100.0	62.8	31.1	2.0	55.2	23.0	25.3	33.4	0.6	0.3	-	0.6	6.4	-	2.0
新町	300	205	113	2	150	67	90	66	2	-	-	2	28	-	3
	100.0	68.3	37.7	0.7	50.0	22.3	30.0	22.0	0.7	-	-	0.7	9.3	-	1.0
今井	197	103	41	2	126	48	36	49	3	1	1	-	14	1	4
	100.0	52.3	20.8	1.0	64.0	24.4	18.3	24.9	1.5	0.5	0.5	-	7.1	0.5	2.0
小曾木	84	38	7	3	48	21	13	16	-	-	-	1	4	2	2
	100.0	45.2	8.3	3.6	57.1	25.0	15.5	19.0	-	-	-	1.2	4.8	2.4	2.4
成木	43	15	4	1	31	11	2	10	-	-	-	1	1	-	-
	100.0	34.9	9.3	2.3	72.1	25.6	4.7	23.3	-	-	-	2.3	2.3	-	-
無回答	18	14	7	-	11	3	8	7	-	-	-	-	2	-	-
	100.0	77.8	38.9	-	61.1	16.7	44.4	38.9	-	-	-	-	11.1	-	-

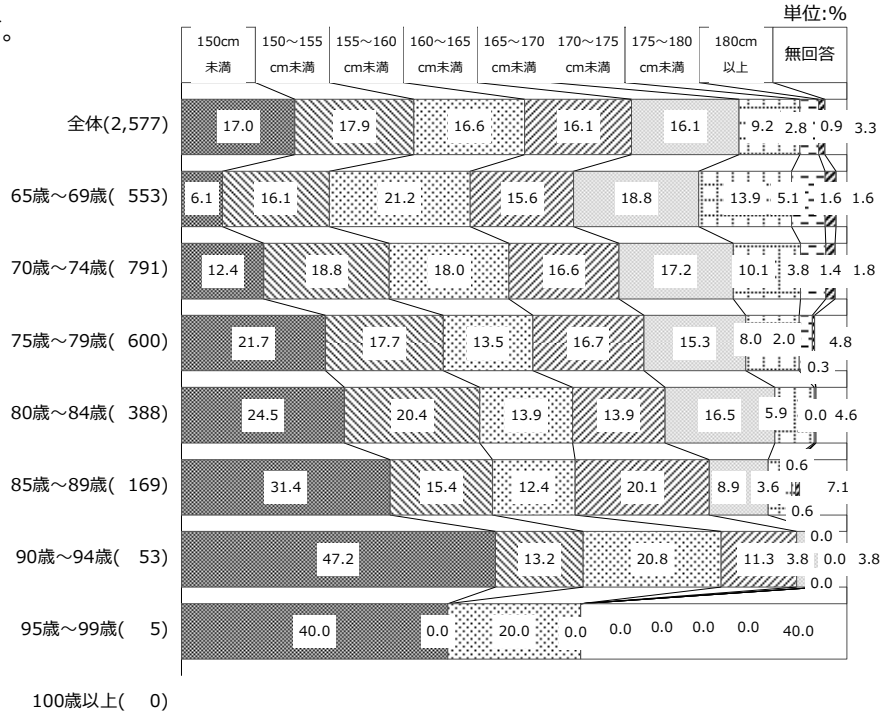
4 食事

（1）身長・体重

身長　　cm　　体重　　kg

身長を見ると、「150～155cm 未満」が 17.9%で最も多く、「150cm 未満」（17.0%）、「155～160cm 未満」（16.6%）、「165～170cm 未満」（16.1%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい「150～155cm 未満」の構成比が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、以下の結果になっています。

		全体	150cm未満	150～155cm未満	155～160cm未満	160～165cm未満	165～170cm未満	170～175cm未満	175～180cm未満	180cm以上	無回答
	全体	2,577	17.0	17.9	16.6	16.1	16.1	9.2	2.8	0.9	3.3
居住地区	第１地区	556	17.3	15.8	18.0	17.6	16.2	7.9	3.1	0.9	3.2
	第２地区	1,035	16.6	19.4	15.7	17.7	14.7	10.0	2.0	0.5	3.3
	第３地区	968	17.5	17.3	16.9	13.4	17.7	8.9	3.5	1.3	3.5
	無回答	18	11.1	27.8	11.1	16.7	16.7	11.1	5.6	-	-

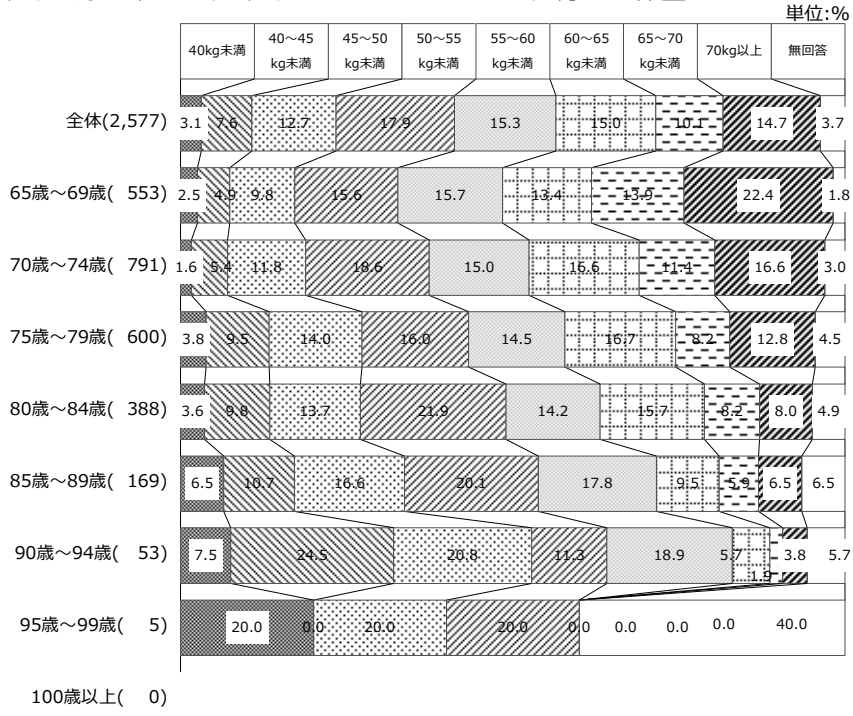
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	150cm未満	150～155cm未満	155～160cm未満	160～165cm未満	165～170cm未満	170～175cm未満	175～180cm未満	180cm以上	無回答
全体	2,577	439	461	429	414	416	236	73	23	86
	100.0	17.0	17.9	16.6	16.1	16.1	9.2	2.8	0.9	3.3
青梅	236	39	42	36	40	36	21	9	3	10
	100.0	16.5	17.8	15.3	16.9	15.3	8.9	3.8	1.3	4.2
東青梅	320	57	46	64	58	54	23	8	2	8
	100.0	17.8	14.4	20.0	18.1	16.9	7.2	2.5	0.6	2.5
長淵	408	66	83	61	74	59	39	7	1	18
	100.0	16.2	20.3	15.0	18.1	14.5	9.6	1.7	0.2	4.4
河辺	312	54	64	51	50	48	29	6	3	7
	100.0	17.3	20.5	16.3	16.0	15.4	9.3	1.9	1.0	2.2
梅郷	227	36	35	39	42	36	25	6	-	8
	100.0	15.9	15.4	17.2	18.5	15.9	11.0	2.6	-	3.5
沢井	88	16	19	12	17	9	11	2	1	1
	100.0	18.2	21.6	13.6	19.3	10.2	12.5	2.3	1.1	1.1
大門	344	56	61	47	53	62	33	11	3	18
	100.0	16.3	17.7	13.7	15.4	18.0	9.6	3.2	0.9	5.2
新町	300	44	53	66	34	51	31	9	7	5
	100.0	14.7	17.7	22.0	11.3	17.0	10.3	3.0	2.3	1.7
今井	197	39	41	27	26	35	12	9	1	7
	100.0	19.8	20.8	13.7	13.2	17.8	6.1	4.6	0.5	3.6
小曾木	84	17	8	18	11	14	6	5	1	4
	100.0	20.2	9.5	21.4	13.1	16.7	7.1	6.0	1.2	4.8
成木	43	13	4	6	6	9	4	-	1	-
	100.0	30.2	9.3	14.0	14.0	20.9	9.3	-	2.3	-
無回答	18	2	5	2	3	3	2	1	-	-
	100.0	11.1	27.8	11.1	16.7	16.7	11.1	5.6	-	-

体重では、「50～55kg 未満」が 17.9%で最も多く、「55～60kg 未満」（15.3%）、「60～65kg 未満」（15.0%）、「70kg 以上」（14.7%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、総じて体重が下がっています。

単位:%



これを地区区分でみると、以下のようになっています。

		全体	40kg未満	40～45kg未満	45～50kg未満	50～55kg未満	55～60kg未満	60～65kg未満	65～70kg未満	70kg以上	無回答
全体		2,577	3.1	7.6	12.7	17.9	15.3	15.0	10.1	14.7	3.7
居住地区	第１地区	556	2.7	7.7	14.6	16.2	15.8	16.7	9.5	13.5	3.2
	第２地区	1,035	3.3	7.5	11.8	18.6	13.7	15.1	10.2	15.7	4.1
	第３地区	968	3.2	7.7	12.5	17.9	16.3	14.0	10.3	14.3	3.7
	無回答	18	5.6	-	11.1	27.8	27.8	11.1	5.6	11.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

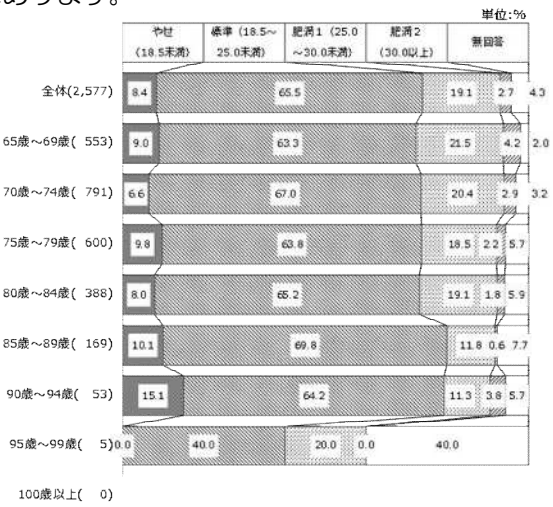
	全体	40kg未満	40～45kg未満	45～50kg未満	50～55kg未満	55～60kg未満	60～65kg未満	65～70kg未満	70kg以上	無回答
全体	2,577	81	196	326	460	393	387	260	378	96
	100.0	3.1	7.6	12.7	17.9	15.3	15.0	10.1	14.7	3.7
青梅	236	10	21	39	31	36	38	16	37	8
	100.0	4.2	8.9	16.5	13.1	15.3	16.1	6.8	15.7	3.4
東青梅	320	5	22	42	59	52	55	37	38	10
	100.0	1.6	6.9	13.1	18.4	16.3	17.2	11.6	11.9	3.1
長淵	408	13	28	39	84	62	53	46	61	22
	100.0	3.2	6.9	9.6	20.6	15.2	13.0	11.3	15.0	5.4
河辺	312	13	25	41	52	46	49	23	55	8
	100.0	4.2	8.0	13.1	16.7	14.7	15.7	7.4	17.6	2.6
梅郷	227	6	15	31	41	24	44	22	34	10
	100.0	2.6	6.6	13.7	18.1	10.6	19.4	9.7	15.0	4.4
沢井	88	2	10	11	15	10	10	15	13	2
	100.0	2.3	11.4	12.5	17.0	11.4	11.4	17.0	14.8	2.3
大門	344	12	31	34	57	53	61	33	46	17
	100.0	3.5	9.0	9.9	16.6	15.4	17.7	9.6	13.4	4.9
新町	300	11	21	41	50	48	42	30	50	7
	100.0	3.7	7.0	13.7	16.7	16.0	14.0	10.0	16.7	2.3
今井	197	5	13	31	42	34	18	20	28	6
	100.0	2.5	6.6	15.7	21.3	17.3	9.1	10.2	14.2	3.0
小曾木	84	3	7	10	13	13	11	12	10	5
	100.0	3.6	8.3	11.9	15.5	15.5	13.1	14.3	11.9	6.0
成木	43	-	3	5	11	10	4	5	4	1
	100.0	-	7.0	11.6	25.6	23.3	9.3	11.6	9.3	2.3
無回答	18	1	-	2	5	5	2	1	2	-
	100.0	5.6	-	11.1	27.8	27.8	11.1	5.6	11.1	-

※ BMI

BMI（Body Mass Index）とは
　身長・体重を用いて、[体重(kg)]÷[身長(m)の２乗]で算出される値のことをBMIといいます。これにより、肥満や低体重（やせ）の判定を行います。日本肥満学会の定めた基準では18.5未満が「低体重（やせ)」、18.5以上25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」とされています。

「標準（18.5～25.0未満)」が65.5%で最も多く、「肥満（25.0以上)」(21.8%)、「やせ（18.5未満)」(8.4%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「やせ」の比率が上がり、「肥満」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「標準（18.5～25.0未満)」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	やせ（～18.5未満）	標準（18.5～25.0未満）	肥満（25.0～以上）	無回答	平均
全体		2,577	8.4	65.5	21.8	4.3	22.8
居住地区	第１地区	556	9.4	62.9	23.6	4.1	22.9
	第２地区	1,035	8.0	64.0	23.4	4.6	23.0
	第３地区	968	8.5	68.0	19.4	4.1	22.7
	無回答	18	-	94.4	5.6	-	22.2

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

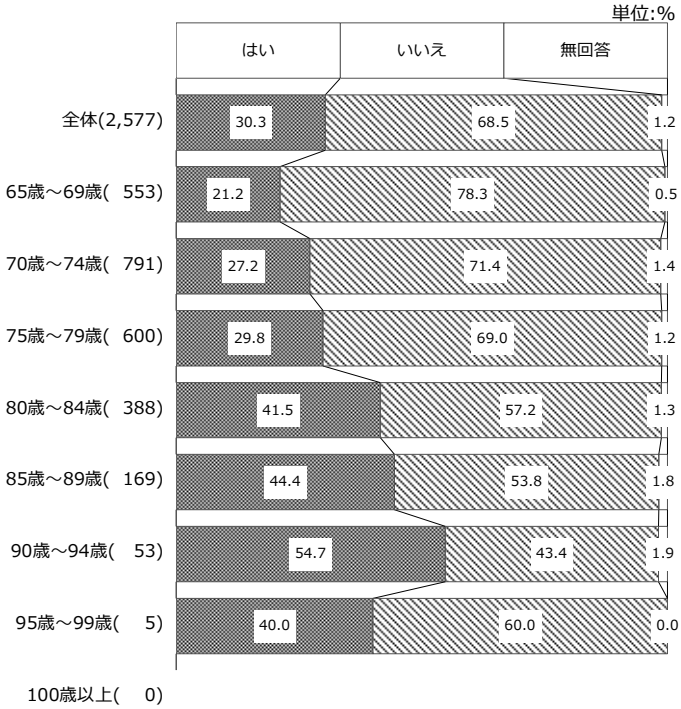
	全体	やせ（18.5未満）	標準（18.5～25.0未満）	肥満（25.0以上）	無回答	平均
全体	2,577	217	1,687	562	111	22.8
	100.0	8.4	65.5	21.8	4.3	
青梅	236	27	143	54	12	22.8
	100.0	11.4	60.6	22.9	5.1	
東青梅	320	25	207	77	11	23.0
	100.0	7.8	64.7	24.1	3.4	
長淵	408	24	267	92	25	23.0
	100.0	5.9	65.4	22.5	6.1	
河辺	312	37	190	76	9	23.0
	100.0	11.9	60.9	24.4	2.9	
梅郷	227	13	150	52	12	22.9
	100.0	5.7	66.1	22.9	5.3	
沢井	88	9	55	22	2	22.9
	100.0	10.2	62.5	25.0	2.3	
大門	344	24	238	63	19	22.6
	100.0	7.0	69.2	18.3	5.5	
新町	300	33	201	59	7	22.7
	100.0	11.0	67.0	19.7	2.3	
今井	197	11	142	36	8	22.7
	100.0	5.6	72.1	18.3	4.1	
小曾木	84	11	48	20	5	22.8
	100.0	13.1	57.1	23.8	6.0	
成木	43	3	29	10	1	22.6
	100.0	7.0	67.4	23.3	2.3	
無回答	18	-	17	1	-	22.2
	100.0	-	94.4	5.6	-	

（2）咀嚼具合

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「いいえ」は 68.5%、「はい」は 30.3%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	30.3	68.5	1.2
居住地区	第１地区	556	31.8	67.1	1.1
	第２地区	1,035	31.1	67.9	1.0
	第３地区	968	28.8	69.7	1.4
	無回答	18	22.2	72.2	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

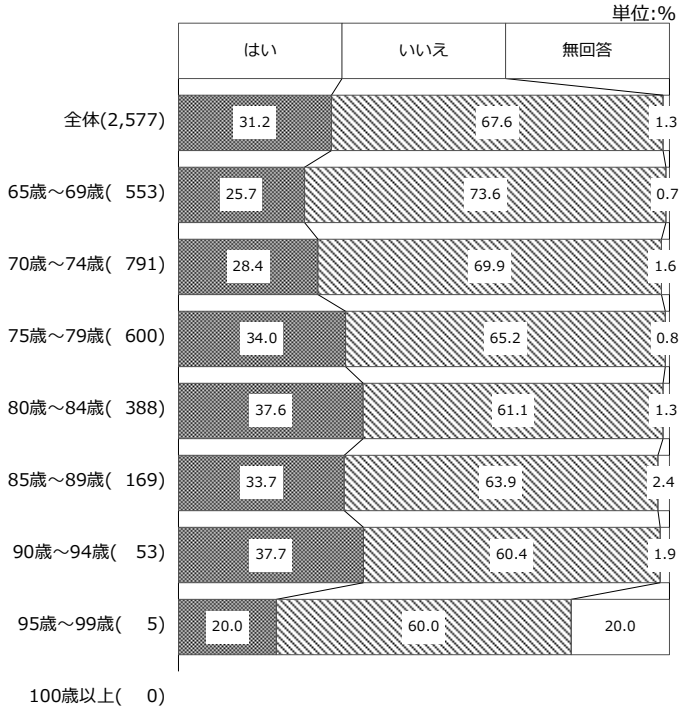
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	782	1,764	31
	100.0	30.3	68.5	1.2
青梅	236	78	156	2
	100.0	33.1	66.1	0.8
東青梅	320	99	217	4
	100.0	30.9	67.8	1.3
長淵	408	127	279	2
	100.0	31.1	68.4	0.5
河辺	312	100	208	4
	100.0	32.1	66.7	1.3
梅郷	227	68	156	3
	100.0	30.0	68.7	1.3
沢井	88	27	60	1
	100.0	30.7	68.2	1.1
大門	344	109	227	8
	100.0	31.7	66.0	2.3
新町	300	81	217	2
	100.0	27.0	72.3	0.7
今井	197	60	134	3
	100.0	30.5	68.0	1.5
小曾木	84	20	63	1
	100.0	23.8	75.0	1.2
成木	43	9	34	-
	100.0	20.9	79.1	-
無回答	18	4	13	1
	100.0	22.2	72.2	5.6

（3）嚥下障害

お茶や汁物等でむせることがありますか

「いいえ」は 67.6%、「はい」は 31.2%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第 1 地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	31.2	67.6	1.3
居住地区	第１地区	556	31.8	67.1	1.1
	第２地区	1,035	32.6	66.2	1.3
	第３地区	968	29.0	69.5	1.4
	無回答	18	44.4	55.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

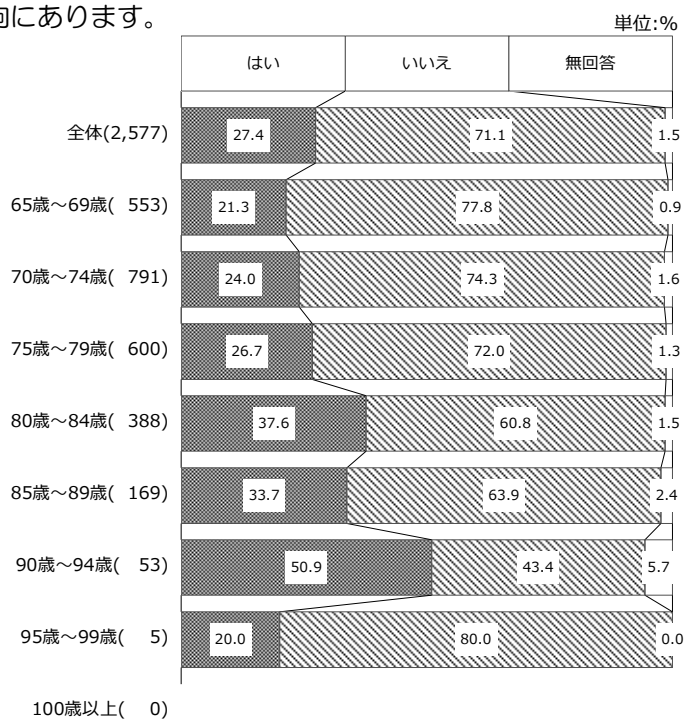
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	803	1,741	33
	100.0	31.2	67.6	1.3
青梅	236	82	153	1
	100.0	34.7	64.8	0.4
東青梅	320	95	220	5
	100.0	29.7	68.8	1.6
長淵	408	122	281	5
	100.0	29.9	68.9	1.2
河辺	312	117	190	5
	100.0	37.5	60.9	1.6
梅郷	227	69	156	2
	100.0	30.4	68.7	0.9
沢井	88	29	58	1
	100.0	33.0	65.9	1.1
大門	344	110	228	6
	100.0	32.0	66.3	1.7
新町	300	88	209	3
	100.0	29.3	69.7	1.0
今井	197	55	139	3
	100.0	27.9	70.6	1.5
小曾木	84	18	64	2
	100.0	21.4	76.2	2.4
成木	43	10	33	-
	100.0	23.3	76.7	-
無回答	18	8	10	-
	100.0	44.4	55.6	-

（3）口の渇き

口の渇きが気になりますか

「いいえ」は 71.1%、「はい」は 27.4%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第 1 地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	27.4	71.1	1.5
居住地区	第１地区	556	27.5	71.2	1.3
	第２地区	1,035	28.3	70.0	1.6
	第３地区	968	26.1	72.3	1.5
	無回答	18	33.3	66.7	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

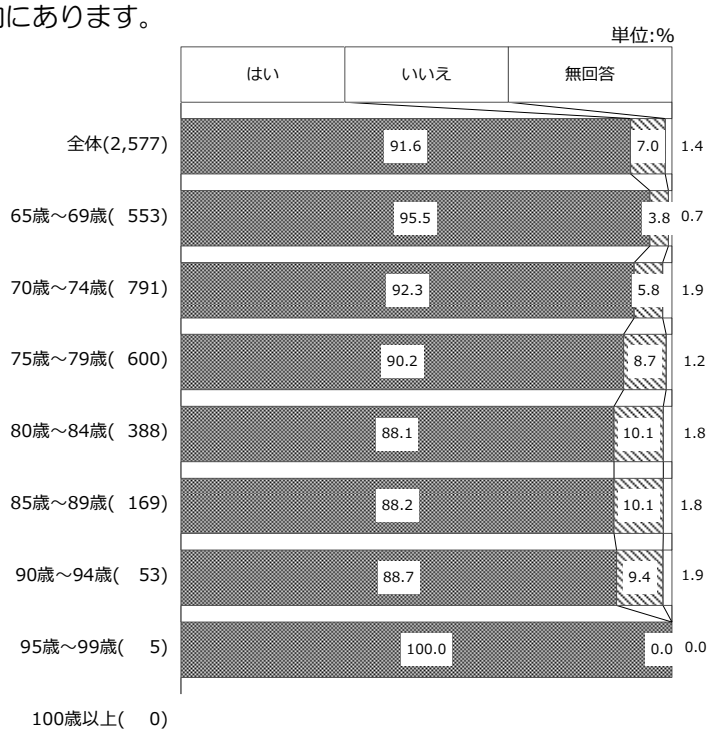
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	705	1,833	39
	100.0	27.4	71.1	1.5
青梅	236	64	170	2
	100.0	27.1	72.0	0.8
東青梅	320	89	226	5
	100.0	27.8	70.6	1.6
長淵	408	118	284	6
	100.0	28.9	69.6	1.5
河辺	312	95	210	7
	100.0	30.4	67.3	2.2
梅郷	227	59	165	3
	100.0	26.0	72.7	1.3
沢井	88	21	66	1
	100.0	23.9	75.0	1.1
大門	344	100	237	7
	100.0	29.1	68.9	2.0
新町	300	70	225	5
	100.0	23.3	75.0	1.7
今井	197	53	142	2
	100.0	26.9	72.1	1.0
小曾木	84	18	65	1
	100.0	21.4	77.4	1.2
成木	43	12	31	-
	100.0	27.9	72.1	-
無回答	18	6	12	-
	100.0	33.3	66.7	-

（4）歯磨き

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」は 91.6%、「いいえ」は 7.0%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が下がり、「いいえ」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	91.6	7.0	1.4
居住地区	第１地区	556	90.6	7.6	1.8
	第２地区	1,035	91.6	7.0	1.4
	第３地区	968	91.9	6.8	1.2
	無回答	18	100.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

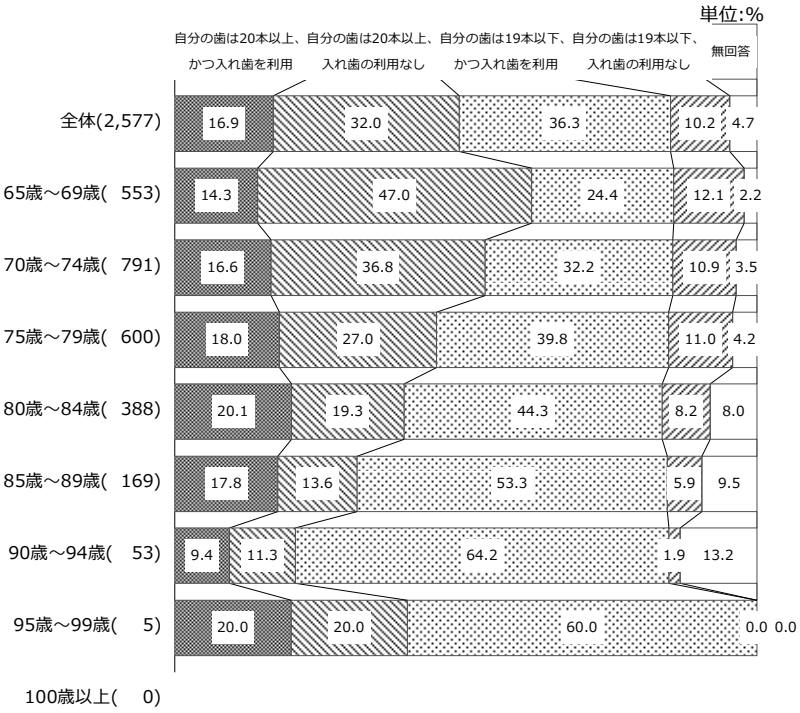
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	2,360	180	37
	100.0	91.6	7.0	1.4
青梅	236	215	17	4
	100.0	91.1	7.2	1.7
東青梅	320	289	25	6
	100.0	90.3	7.8	1.9
長淵	408	381	20	7
	100.0	93.4	4.9	1.7
河辺	312	281	27	4
	100.0	90.1	8.7	1.3
梅郷	227	201	23	3
	100.0	88.5	10.1	1.3
沢井	88	85	2	1
	100.0	96.6	2.3	1.1
大門	344	315	23	6
	100.0	91.6	6.7	1.7
新町	300	279	18	3
	100.0	93.0	6.0	1.0
今井	197	181	14	2
	100.0	91.9	7.1	1.0
小曾木	84	74	9	1
	100.0	88.1	10.7	1.2
成木	43	41	2	-
	100.0	95.3	4.7	-
無回答	18	18	-	-
	100.0	100.0	-	-

（5）歯の数

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.3%で最も多く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」（32.0%）、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」（16.9%）、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」（10.2%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の比率が下がり、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の比率が上がっています。



これを地区区分でみると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
	全体	2,577	16.9	32.0	36.3	10.2	4.7
居住地区	第１地区	556	18.5	32.0	31.7	12.9	4.9
	第２地区	1,035	16.5	31.6	38.1	9.9	4.0
	第３地区	968	16.3	32.3	37.0	9.1	5.3
	無回答	18	22.2	33.3	38.9	-	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

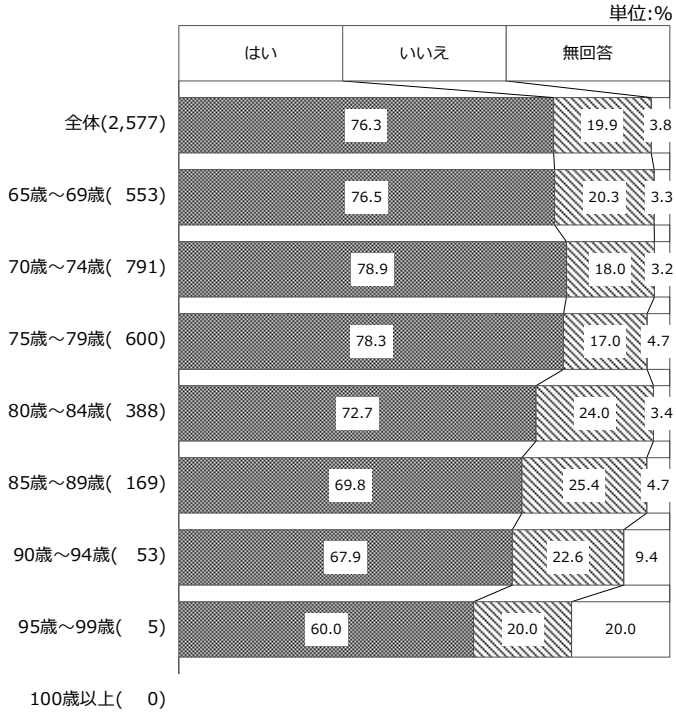
	全体	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体	2,577	436	824	935	262	120.0
	100.0	16.9	32.0	36.3	10.2	5
青梅	236	45	75	72	33	11.0
	100.0	19.1	31.8	30.5	14.0	5
東青梅	320	58	103	104	39	16.0
	100.0	18.1	32.2	32.5	12.2	5
長淵	408	62	133	158	35	20.0
	100.0	15.2	32.6	38.7	8.6	5
河辺	312	55	98	110	40	9.0
	100.0	17.6	31.4	35.3	12.8	3
梅郷	227	40	69	97	15	6.0
	100.0	17.6	30.4	42.7	6.6	3
沢井	88	14	27	29	12	6.0
	100.0	15.9	30.7	33.0	13.6	7
大門	344	53	104	130	37	20.0
	100.0	15.4	30.2	37.8	10.8	6
新町	300	68	104	98	21	9.0
	100.0	22.7	34.7	32.7	7.0	3
今井	197	25	61	82	18	11.0
	100.0	12.7	31.0	41.6	9.1	6
小曾木	84	9	25	33	9	8.0
	100.0	10.7	29.8	39.3	10.7	10
成木	43	3	19	15	3	3.0
	100.0	7.0	44.2	34.9	7.0	7
無回答	18	4	6	7	-	1.0
	100.0	22.2	33.3	38.9	-	6

① 噛み合わせ

①噛み合わせは良いですか

「はい」は 76.3%、「いいえ」は 19.9%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が下がり、「いいえ」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	76.3	19.9	3.8
居住地区	第１地区	556	75.4	21.4	3.2
	第２地区	1,035	76.5	19.9	3.6
	第３地区	968	77.0	18.6	4.4
	無回答	18	55.6	44.4	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

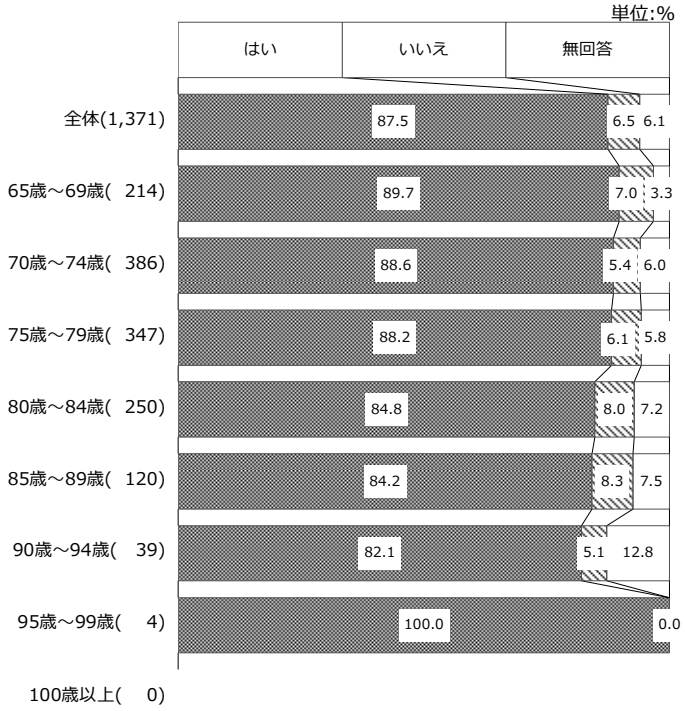
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,966	513	98
	100.0	76.3	19.9	3.8
青梅	236	185	48	3
	100.0	78.4	20.3	1.3
東青梅	320	234	71	15
	100.0	73.1	22.2	4.7
長淵	408	314	78	16
	100.0	77.0	19.1	3.9
河辺	312	232	69	11
	100.0	74.4	22.1	3.5
梅郷	227	177	45	5
	100.0	78.0	19.8	2.2
沢井	88	69	14	5
	100.0	78.4	15.9	5.7
大門	344	261	73	10
	100.0	75.9	21.2	2.9
新町	300	235	51	14
	100.0	78.3	17.0	4.7
今井	197	153	34	10
	100.0	77.7	17.3	5.1
小曾木	84	65	13	6
	100.0	77.4	15.5	7.1
成木	43	31	9	3
	100.0	72.1	20.9	7.0
無回答	18	10	8	-
	100.0	55.6	44.4	-

噛み合わせ

②【（６）で「１．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「３．自分の歯は 19 本以下かつ入れ歯を利用」の方のみ】　　毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」は 87.5%、「いいえ」は 6.5%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		1,371	87.5	6.5	6.1
居住地区	第１地区	279	84.2	9.0	6.8
	第２地区	565	87.3	6.4	6.4
	第３地区	516	89.3	5.4	5.2
	無回答	11	90.9	-	9.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

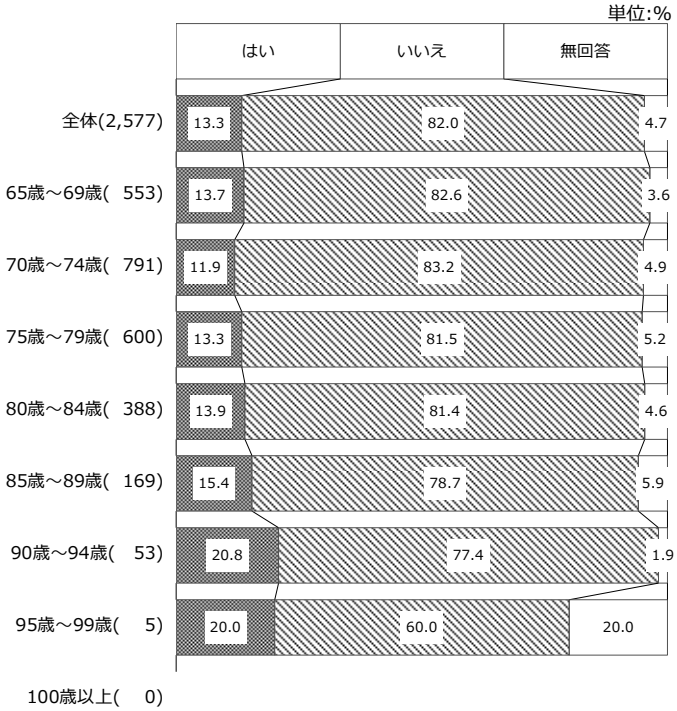
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	1,371	1,199	89	83
	100.0	87.5	6.5	6.1
青梅	117	96	12	9
	100.0	82.1	10.3	7.7
東青梅	162	139	13	10
	100.0	85.8	8.0	6.2
長淵	220	196	10	14
	100.0	89.1	4.5	6.4
河辺	165	141	12	12
	100.0	85.5	7.3	7.3
梅郷	137	118	13	6
	100.0	86.1	9.5	4.4
沢井	43	38	1	4
	100.0	88.4	2.3	9.3
大門	183	167	7	9
	100.0	91.3	3.8	4.9
新町	166	150	10	6
	100.0	90.4	6.0	3.6
今井	107	91	9	7
	100.0	85.0	8.4	6.5
小曾木	42	37	1	4
	100.0	88.1	2.4	9.5
成木	18	16	1	1
	100.0	88.9	5.6	5.6
無回答	11	10	-	1
	100.0	90.9	-	9.1

（7）体重減少

6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか

「いいえ」は 82.0%、「はい」は 13.3%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が下がり、「いいえ」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	13.3	82.0	4.7
居住地区	第１地区	556	15.1	79.7	5.2
	第２地区	1,035	13.5	81.4	5.1
	第３地区	968	12.2	83.9	3.9
	無回答	18	11.1	83.3	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

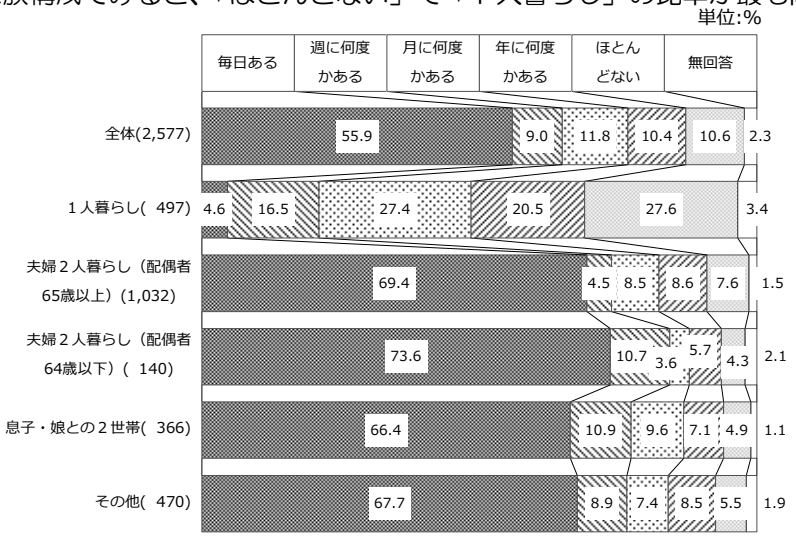
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	344	2,112	121
	100.0	13.3	82.0	4.7
青梅	236	31	192	13
	100.0	13.1	81.4	5.5
東青梅	320	53	251	16
	100.0	16.6	78.4	5.0
長淵	408	39	339	30
	100.0	9.6	83.1	7.4
河辺	312	46	255	11
	100.0	14.7	81.7	3.5
梅郷	227	36	183	8
	100.0	15.9	80.6	3.5
沢井	88	19	65	4
	100.0	21.6	73.9	4.5
大門	344	47	283	14
	100.0	13.7	82.3	4.1
新町	300	30	260	10
	100.0	10.0	86.7	3.3
今井	197	22	168	7
	100.0	11.2	85.3	3.6
小曾木	84	9	70	5
	100.0	10.7	83.3	6.0
成木	43	10	31	2
	100.0	23.3	72.1	4.7
無回答	18	2	15	1
	100.0	11.1	83.3	5.6

（8）食事をともにする機会

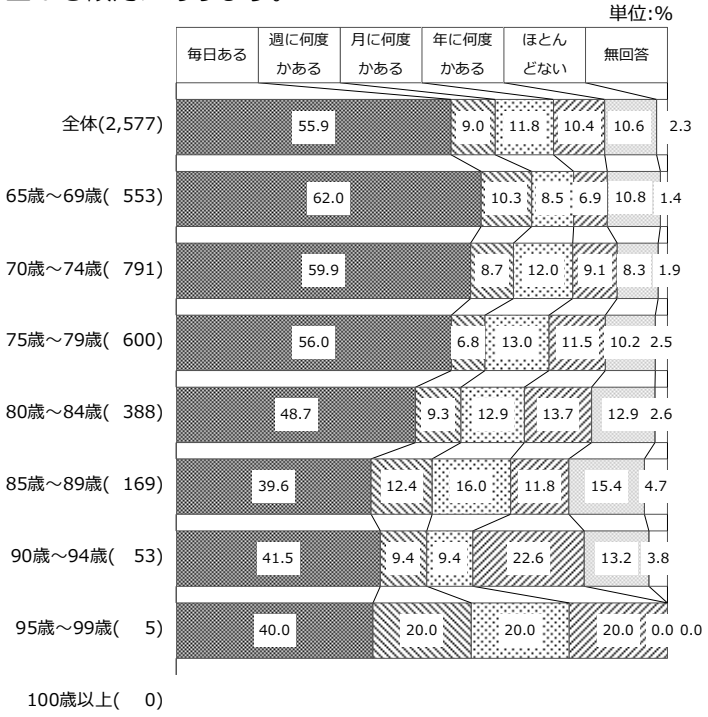
どなたかと食事をともにする機会はありますか

「毎日ある」が 55.9%で最も多く、「月に何度かある」（11.8%）、「ほとんどない」（10.6%）、「年に何度かある」（10.4%）が続きます。

家族構成でみると、「ほとんどない」で「1 人暮らし」の比率が最も高くなっています。



年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「毎日ある」の比率が下がり、「ほとんどない」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		2,577	55.9	9.0	11.8	10.4	10.6	2.3
居住地区	第１地区	556	53.8	9.0	14.2	9.5	12.2	1.3
	第２地区	1,035	55.9	9.2	11.4	11.5	9.5	2.5
	第３地区	968	57.3	8.8	11.0	9.6	10.7	2.6
	無回答	18	44.4	16.7	5.6	22.2	11.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	2,577	1,441	233	304	269	272	58
	100.0	55.9	9.0	11.8	10.4	10.6	2.3
青梅	236	131	23	37	20	24	1
	100.0	55.5	9.7	15.7	8.5	10.2	0.4
東青梅	320	168	27	42	33	44	6
	100.0	52.5	8.4	13.1	10.3	13.8	1.9
長淵	408	224	40	45	50	38	11
	100.0	54.9	9.8	11.0	12.3	9.3	2.7
河辺	312	174	32	37	36	26	7
	100.0	55.8	10.3	11.9	11.5	8.3	2.2
梅郷	227	133	16	24	26	22	6
	100.0	58.6	7.0	10.6	11.5	9.7	2.6
沢井	88	48	7	12	7	12	2
	100.0	54.5	8.0	13.6	8.0	13.6	2.3
大門	344	189	29	39	37	42	8
	100.0	54.9	8.4	11.3	10.8	12.2	2.3
新町	300	176	27	33	23	33	8
	100.0	58.7	9.0	11.0	7.7	11.0	2.7
今井	197	115	15	20	23	18	6
	100.0	58.4	7.6	10.2	11.7	9.1	3.0
小曾木	84	49	9	9	6	9	2
	100.0	58.3	10.7	10.7	7.1	10.7	2.4
成木	43	26	5	5	4	2	1
	100.0	60.5	11.6	11.6	9.3	4.7	2.3
無回答	18	8	3	1	4	2	-
	100.0	44.4	16.7	5.6	22.2	11.1	-

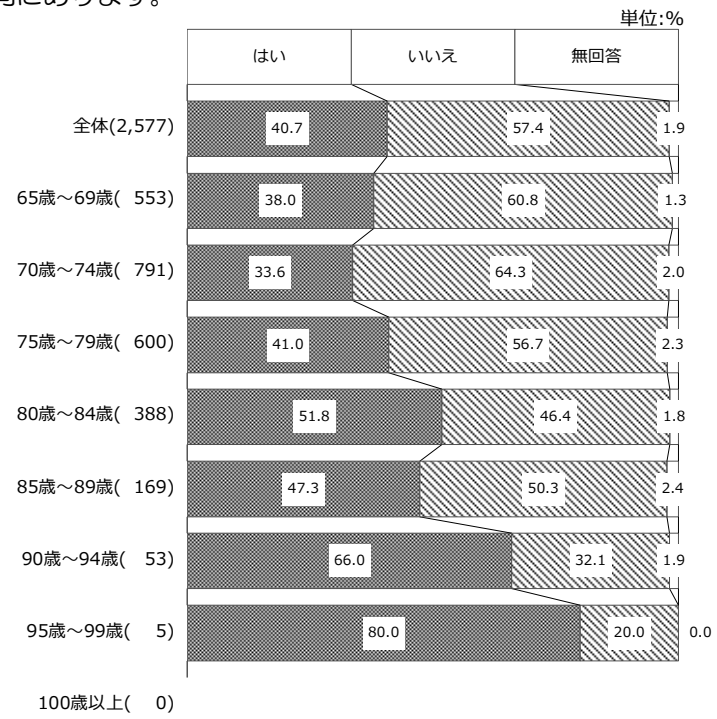
5 毎日の生活

（1）物忘れ

物忘れが多いと感じますか

「いいえ」は 57.4%、「はい」は 40.7%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	40.7	57.4	1.9
居住地区	第１地区	556	41.2	57.0	1.8
	第２地区	1,035	41.7	56.2	2.0
	第３地区	968	39.4	58.8	1.9
	無回答	18	38.9	61.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

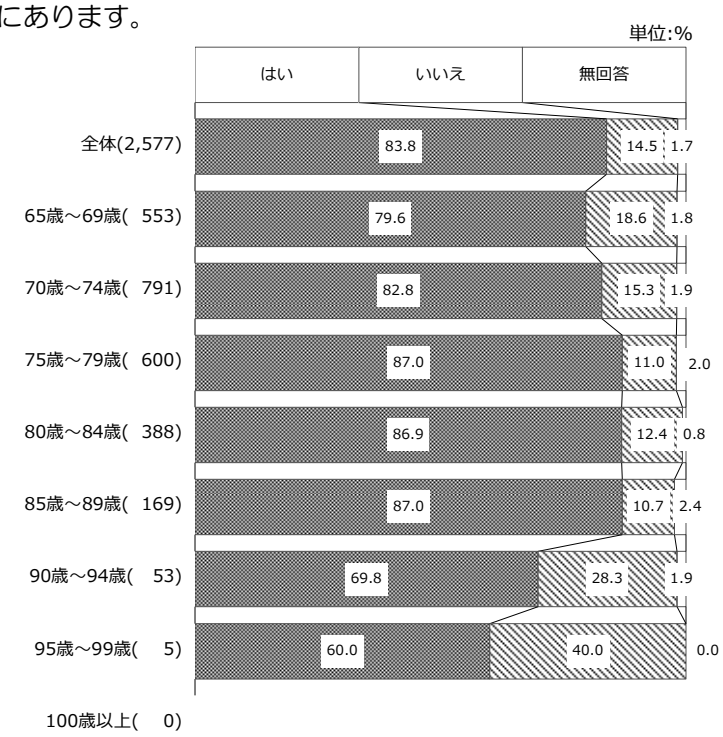
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,049	1,479	49
	100.0	40.7	57.4	1.9
青梅	236	94	140	2
	100.0	39.8	59.3	0.8
東青梅	320	135	177	8
	100.0	42.2	55.3	2.5
長淵	408	162	236	10
	100.0	39.7	57.8	2.5
河辺	312	147	161	4
	100.0	47.1	51.6	1.3
梅郷	227	91	131	5
	100.0	40.1	57.7	2.2
沢井	88	32	54	2
	100.0	36.4	61.4	2.3
大門	344	148	191	5
	100.0	43.0	55.5	1.5
新町	300	105	189	6
	100.0	35.0	63.0	2.0
今井	197	77	117	3
	100.0	39.1	59.4	1.5
小曾木	84	30	51	3
	100.0	35.7	60.7	3.6
成木	43	21	21	1
	100.0	48.8	48.8	2.3
無回答	18	7	11	-
	100.0	38.9	61.1	-

（2）電話

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」は 83.8%、「いいえ」は 14.5%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	83.8	14.5	1.7
居住地区	第１地区	556	82.7	15.3	2.0
	第２地区	1,035	84.2	14.3	1.5
	第３地区	968	83.7	14.5	1.9
	無回答	18	100.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

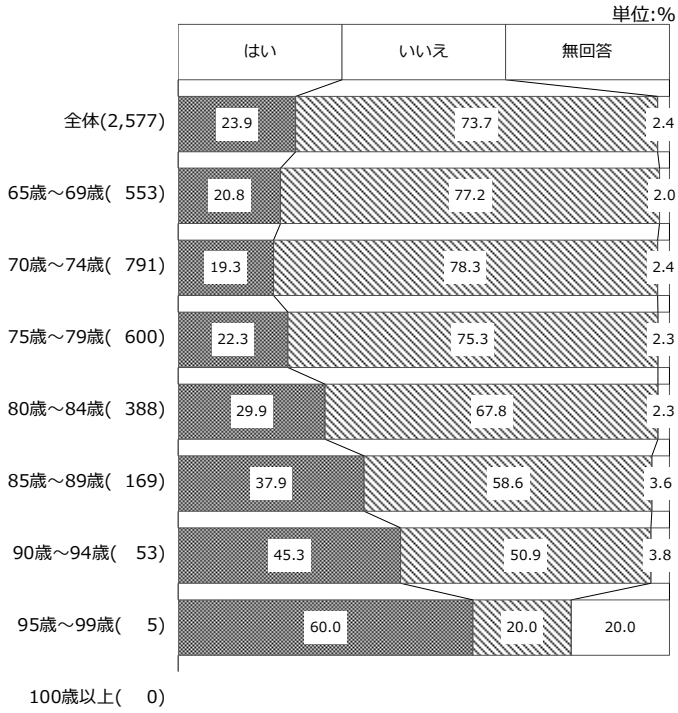
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	2,159	373	45
	100.0	83.8	14.5	1.7
青梅	236	199	34	3
	100.0	84.3	14.4	1.3
東青梅	320	261	51	8
	100.0	81.6	15.9	2.5
長淵	408	346	50	12
	100.0	84.8	12.3	2.9
河辺	312	256	54	2
	100.0	82.1	17.3	0.6
梅郷	227	191	35	1
	100.0	84.1	15.4	0.4
沢井	88	78	9	1
	100.0	88.6	10.2	1.1
大門	344	287	52	5
	100.0	83.4	15.1	1.5
新町	300	248	45	7
	100.0	82.7	15.0	2.3
今井	197	169	25	3
	100.0	85.8	12.7	1.5
小曾木	84	69	13	2
	100.0	82.1	15.5	2.4
成木	43	37	5	1
	100.0	86.0	11.6	2.3
無回答	18	18	-	-
	100.0	100.0	-	-

（3）日にちの自覚

今日が何月何日かわからない時がありますか

「いいえ」は 73.7%、「はい」は 23.9%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	23.9	73.7	2.4
居住地区	第１地区	556	23.4	74.5	2.2
	第２地区	1,035	26.5	71.2	2.3
	第３地区	968	21.2	76.1	2.7
	無回答	18	33.3	66.7	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

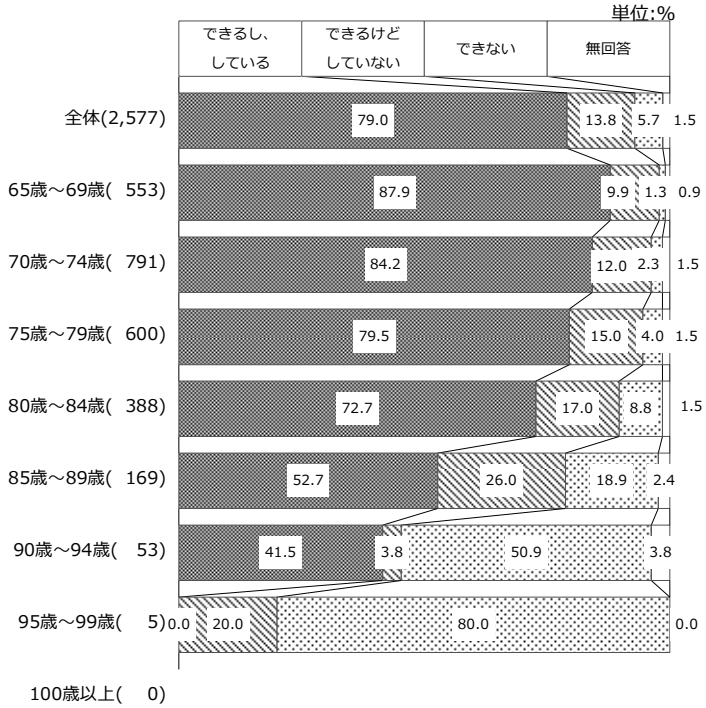
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	615	1,900	62
	100.0	23.9	73.7	2.4
青梅	236	55	177	4
	100.0	23.3	75.0	1.7
東青梅	320	75	237	8
	100.0	23.4	74.1	2.5
長淵	408	105	290	13
	100.0	25.7	71.1	3.2
河辺	312	85	219	8
	100.0	27.2	70.2	2.6
梅郷	227	67	159	1
	100.0	29.5	70.0	0.4
沢井	88	17	69	2
	100.0	19.3	78.4	2.3
大門	344	73	263	8
	100.0	21.2	76.5	2.3
新町	300	58	233	9
	100.0	19.3	77.7	3.0
今井	197	52	142	3
	100.0	26.4	72.1	1.5
小曾木	84	17	62	5
	100.0	20.2	73.8	6.0
成木	43	5	37	1
	100.0	11.6	86.0	2.3
無回答	18	6	12	-
	100.0	33.3	66.7	-

（4）１人での外出

バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」が 79.0％で最も多く、「できるけどしていない」（13.8％）、「できない」（5.7％）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「できるけどしていない」「できない」の比率が上がり、「できるし、している」の比率が下がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第１地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	79.0	13.8	5.7	1.5
居住地区	第１地区	556	80.4	12.9	5.9	0.7
	第２地区	1,035	78.4	14.0	6.0	1.6
	第３地区	968	78.9	14.0	5.3	1.8
	無回答	18	77.8	16.7	5.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

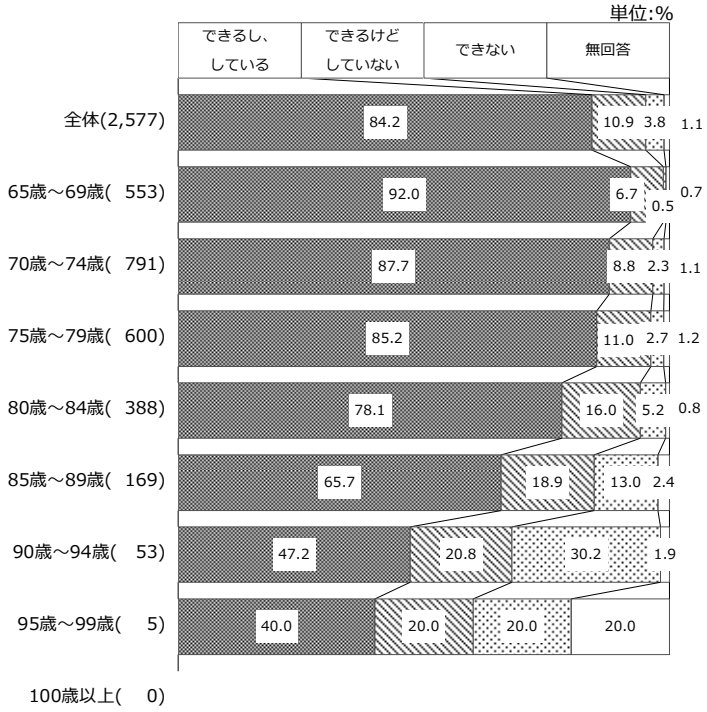
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	2,036	356	147	38
	100.0	79.0	13.8	5.7	1.5
青梅	236	199	21	15	1
	100.0	84.3	8.9	6.4	0.4
東青梅	320	248	51	18	3
	100.0	77.5	15.9	5.6	0.9
長淵	408	322	59	17	10
	100.0	78.9	14.5	4.2	2.5
河辺	312	232	53	25	2
	100.0	74.4	17.0	8.0	0.6
梅郷	227	188	23	12	4
	100.0	82.8	10.1	5.3	1.8
沢井	88	69	10	8	1
	100.0	78.4	11.4	9.1	1.1
大門	344	280	47	11	6
	100.0	81.4	13.7	3.2	1.7
新町	300	229	49	18	4
	100.0	76.3	16.3	6.0	1.3
今井	197	155	26	12	4
	100.0	78.7	13.2	6.1	2.0
小曾木	84	61	12	9	2
	100.0	72.6	14.3	10.7	2.4
成木	43	39	2	1	1
	100.0	90.7	4.7	2.3	2.3
無回答	18	14	3	1	-
	100.0	77.8	16.7	5.6	-

（5）自分の買物

自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が 84.2％で最も多く、「できるけどしていない」（10.9％）、「できない」（3.8％）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「できるけどしていない」「できない」の比率が上がり、「できるし、している」の比率が下がっています。年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「できるけどしていない」「できない」の比率が上がり、「できるし、している」の比率が下がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	84.2	10.9	3.8	1.1
居住地区	第１地区	556	84.5	9.7	5.0	0.7
	第２地区	1,035	83.4	12.1	3.6	1.0
	第３地区	968	84.9	10.3	3.2	1.5
	無回答	18	77.8	16.7	5.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

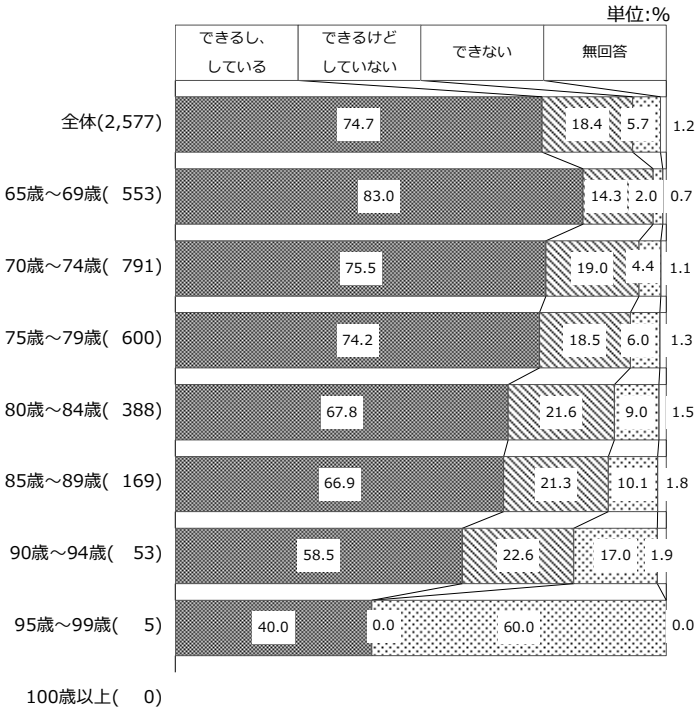
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	2,169	282	97	29
	100.0	84.2	10.9	3.8	1.1
青梅	236	197	23	15	1
	100.0	83.5	9.7	6.4	0.4
東青梅	320	273	31	13	3
	100.0	85.3	9.7	4.1	0.9
長淵	408	341	51	10	6
	100.0	83.6	12.5	2.5	1.5
河辺	312	268	31	11	2
	100.0	85.9	9.9	3.5	0.6
梅郷	227	182	33	11	1
	100.0	80.2	14.5	4.8	0.4
沢井	88	72	10	5	1
	100.0	81.8	11.4	5.7	1.1
大門	344	304	29	9	2
	100.0	88.4	8.4	2.6	0.6
新町	300	253	33	10	4
	100.0	84.3	11.0	3.3	1.3
今井	197	164	20	8	5
	100.0	83.2	10.2	4.1	2.5
小曾木	84	64	14	3	3
	100.0	76.2	16.7	3.6	3.6
成木	43	37	4	1	1
	100.0	86.0	9.3	2.3	2.3
無回答	18	14	3	1	-
	100.0	77.8	16.7	5.6	-

（6）食事の用意

自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」が 74.7%で最も多く、「できるけどしていない」（18.4%）、「できない」（5.7%）が続きます。

「できるし、している」の比率が下がっています。年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「できるけどしていない」「できない」の比率が上がり、「できるし、している」の比率が下がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第 1 地区」の比率が最も高く、「第 2 地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	74.7	18.4	5.7	1.2
居住地区	第1地区	556	76.1	16.7	6.7	0.5
	第2地区	1,035	74.4	19.3	5.2	1.1
	第3地区	968	74.1	18.5	5.7	1.8
	無回答	18	77.8	16.7	5.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

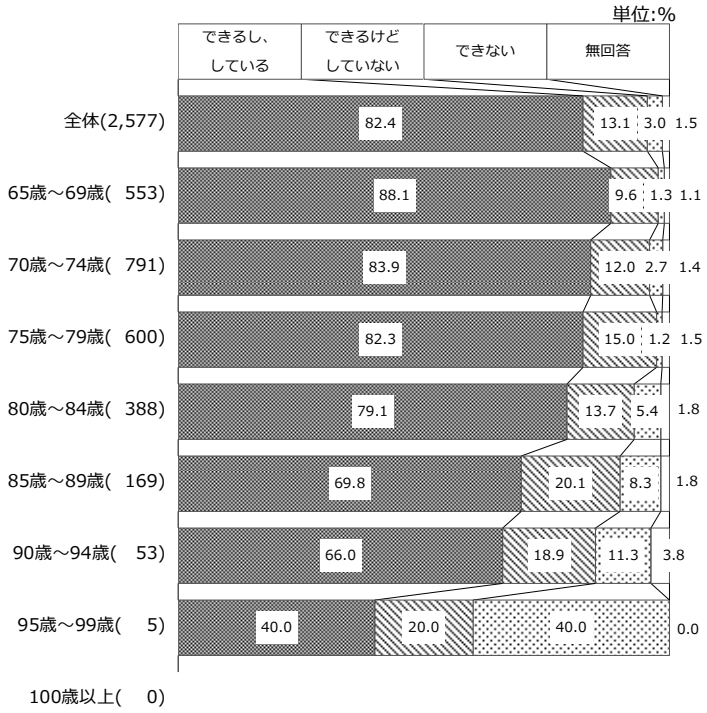
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	1,924	475	147	31
	100.0	74.7	18.4	5.7	1.2
青梅	236	175	40	20	1
	100.0	74.2	16.9	8.5	0.4
東青梅	320	248	53	17	2
	100.0	77.5	16.6	5.3	0.6
長淵	408	304	82	16	6
	100.0	74.5	20.1	3.9	1.5
河辺	312	233	55	22	2
	100.0	74.7	17.6	7.1	0.6
梅郷	227	166	49	11	1
	100.0	73.1	21.6	4.8	0.4
沢井	88	67	14	5	2
	100.0	76.1	15.9	5.7	2.3
大門	344	264	59	17	4
	100.0	76.7	17.2	4.9	1.2
新町	300	210	63	21	6
	100.0	70.0	21.0	7.0	2.0
今井	197	148	32	13	4
	100.0	75.1	16.2	6.6	2.0
小曾木	84	64	16	2	2
	100.0	76.2	19.0	2.4	2.4
成木	43	31	9	2	1
	100.0	72.1	20.9	4.7	2.3
無回答	18	14	3	1	-
	100.0	77.8	16.7	5.6	-

（7）請求書の支払い

自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が 82.4％で最も多く、「できるけどしていない」（13.1％）、「できない」（3.0％）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「できるけどしていない」「できない」の比率が上がり、「できるし、している」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第 1 地区」の比率が最も高く、「第 3 地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	82.4	13.1	3.0	1.5
居住地区	第1地区	556	83.6	11.7	3.6	1.1
	第2地区	1,035	81.4	14.7	2.7	1.3
	第3地区	968	82.6	12.3	3.1	2.0
	無回答	18	88.9	11.1	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

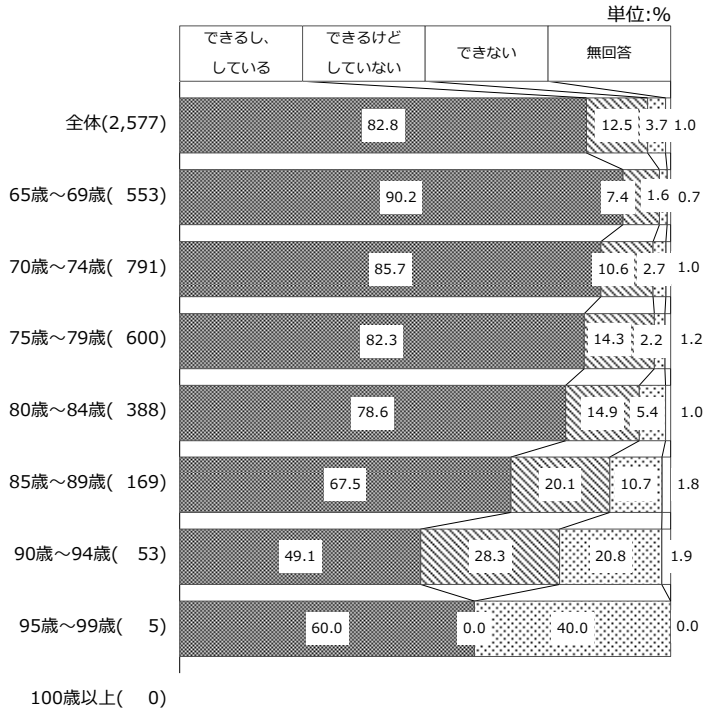
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	2,123	338	78	38
	100.0	82.4	13.1	3.0	1.5
青梅	236	192	34	8	2
	100.0	81.4	14.4	3.4	0.8
東青梅	320	273	31	12	4
	100.0	85.3	9.7	3.8	1.3
長淵	408	336	59	6	7
	100.0	82.4	14.5	1.5	1.7
河辺	312	257	45	8	2
	100.0	82.4	14.4	2.6	0.6
梅郷	227	174	39	11	3
	100.0	76.7	17.2	4.8	1.3
沢井	88	75	9	3	1
	100.0	85.2	10.2	3.4	1.1
大門	344	293	39	8	4
	100.0	85.2	11.3	2.3	1.2
新町	300	247	38	8	7
	100.0	82.3	12.7	2.7	2.3
今井	197	156	26	10	5
	100.0	79.2	13.2	5.1	2.5
小曾木	84	68	10	4	2
	100.0	81.0	11.9	4.8	2.4
成木	43	36	6	-	1
	100.0	83.7	14.0	-	2.3
無回答	18	16	2	-	-
	100.0	88.9	11.1	-	-

（8）預貯金の出し入れ

自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している」が 82.8%で最も多く、「できるけどしていない」（12.5%）、「できない」（3.7%）が続きます。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「できるけどしていない」「できない」の比率が上がり、「できるし、している」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第 1 地区」の比率が最も高く、「第 3 地区」が続いています。

		全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,577	82.8	12.5	3.7	1.0
居住地区	第1地区	556	82.9	11.5	4.7	0.9
	第2地区	1,035	82.3	13.1	3.7	0.9
	第3地区	968	83.3	12.2	3.2	1.3
	無回答	18	83.3	16.7	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

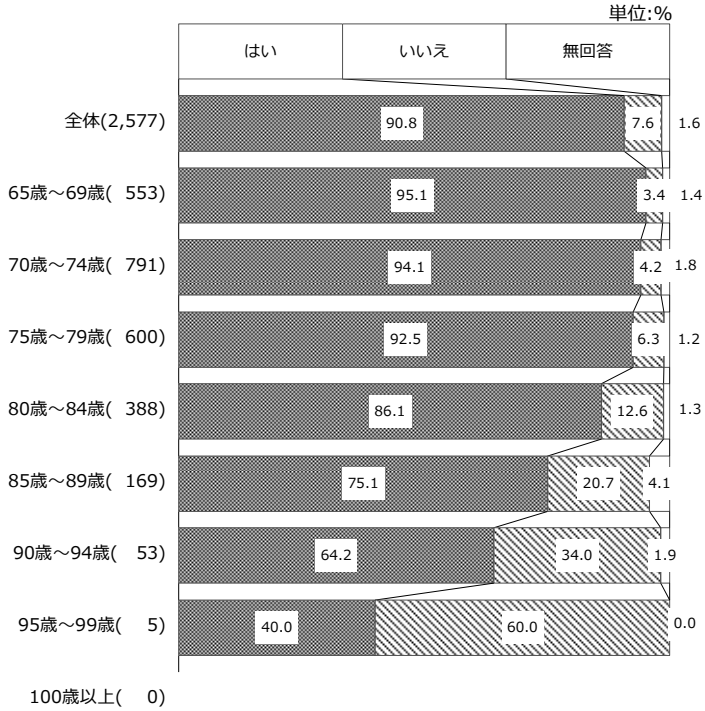
	全体	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	2,577	2,134	321	95	27
	100.0	82.8	12.5	3.7	1.0
青梅	236	196	27	11	2
	100.0	83.1	11.4	4.7	0.8
東青梅	320	265	37	15	3
	100.0	82.8	11.6	4.7	0.9
長淵	408	340	55	7	6
	100.0	83.3	13.5	1.7	1.5
河辺	312	263	39	9	1
	100.0	84.3	12.5	2.9	0.3
梅郷	227	179	30	17	1
	100.0	78.9	13.2	7.5	0.4
沢井	88	70	12	5	1
	100.0	79.5	13.6	5.7	1.1
大門	344	297	37	8	2
	100.0	86.3	10.8	2.3	0.6
新町	300	246	43	6	5
	100.0	82.0	14.3	2.0	1.7
今井	197	159	22	13	3
	100.0	80.7	11.2	6.6	1.5
小曾木	84	68	10	4	2
	100.0	81.0	11.9	4.8	2.4
成木	43	36	6	-	1
	100.0	83.7	14.0	-	2.3
無回答	18	15	3	-	-
	100.0	83.3	16.7	-	-

（9）書類の記入

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」は 90.8%、「いいえ」は 7.6%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「いいえ」の比率が上がり、「はい」の比率が下がっています。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	90.8	7.6	1.6
居住地区	第１地区	556	91.0	7.7	1.3
	第２地区	1,035	90.0	8.6	1.4
	第３地区	968	91.4	6.5	2.1
	無回答	18	94.4	5.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	2,339	196	42
	100.0	90.8	7.6	1.6
青梅	236	211	23	2
	100.0	89.4	9.7	0.8
東青梅	320	295	20	5
	100.0	92.2	6.3	1.6
長淵	408	370	28	10
	100.0	90.7	6.9	2.5
河辺	312	280	29	3
	100.0	89.7	9.3	1.0
梅郷	227	199	26	2
	100.0	87.7	11.5	0.9
沢井	88	82	6	-
	100.0	93.2	6.8	-
大門	344	315	23	6
	100.0	91.6	6.7	1.7
新町	300	280	15	5
	100.0	93.3	5.0	1.7
今井	197	176	16	5
	100.0	89.3	8.1	2.5
小曾木	84	73	8	3
	100.0	86.9	9.5	3.6
成木	43	41	1	1
	100.0	95.3	2.3	2.3
無回答	18	17	1	-
	100.0	94.4	5.6	-

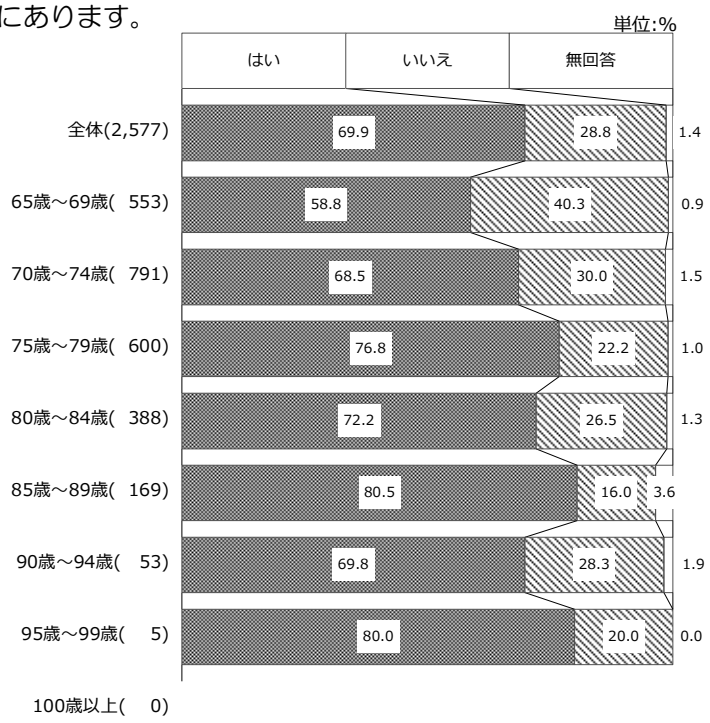
（10）新聞

新聞を読んでいますか

「はい」は 69.9%、「いいえ」は 28.8%となっています。

前期調査と比較すると、「はい」の比率がかなり下がっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにしたがい、「はい」の比率が上がり、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「できるし、している」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	69.9	28.8	1.4
居住地区	第１地区	556	70.9	28.1	1.1
	第２地区	1,035	68.1	30.4	1.4
	第３地区	968	70.9	27.7	1.4
	無回答	18	88.9	11.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

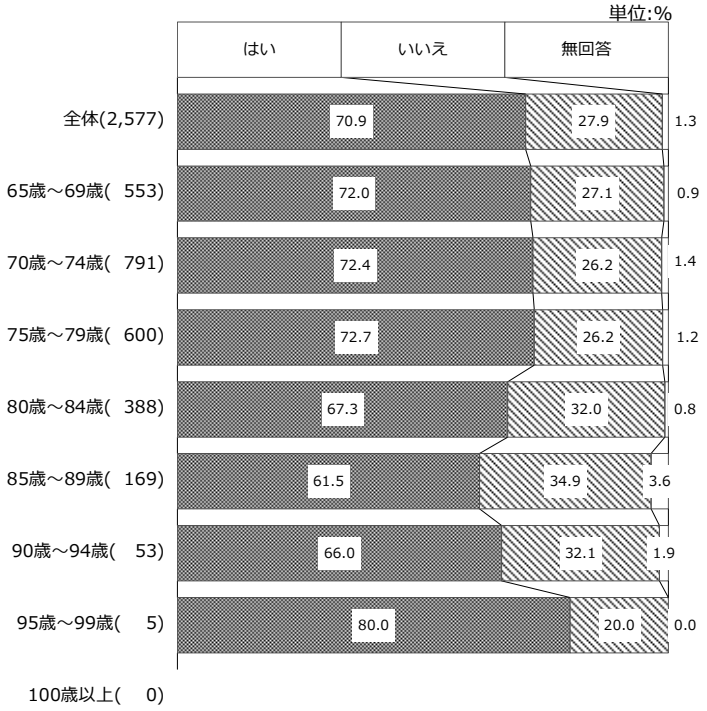
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,801	741	35
	100.0	69.9	28.8	1.4
青梅	236	169	64	3
	100.0	71.6	27.1	1.3
東青梅	320	225	92	3
	100.0	70.3	28.8	0.9
長淵	408	276	122	10
	100.0	67.6	29.9	2.5
河辺	312	196	113	3
	100.0	62.8	36.2	1.0
梅郷	227	163	62	2
	100.0	71.8	27.3	0.9
沢井	88	70	18	-
	100.0	79.5	20.5	-
大門	344	252	89	3
	100.0	73.3	25.9	0.9
新町	300	207	88	5
	100.0	69.0	29.3	1.7
今井	197	137	57	3
	100.0	69.5	28.9	1.5
小曾木	84	59	23	2
	100.0	70.2	27.4	2.4
成木	43	31	11	1
	100.0	72.1	25.6	2.3
無回答	18	16	2	-
	100.0	88.9	11.1	-

（11）本・雑誌

本や雑誌を読んでいますか

「はい」は 70.9%、「いいえ」は 27.9%となっています。

年齢区分でみると、「79 歳」までは比率が伸びています。



これを地区区分でみると、「はい」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	70.9	27.9	1.3
居住地区	第１地区	556	73.0	26.1	0.9
	第２地区	1,035	70.1	28.5	1.4
	第３地区	968	70.1	28.4	1.4
	無回答	18	83.3	16.7	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

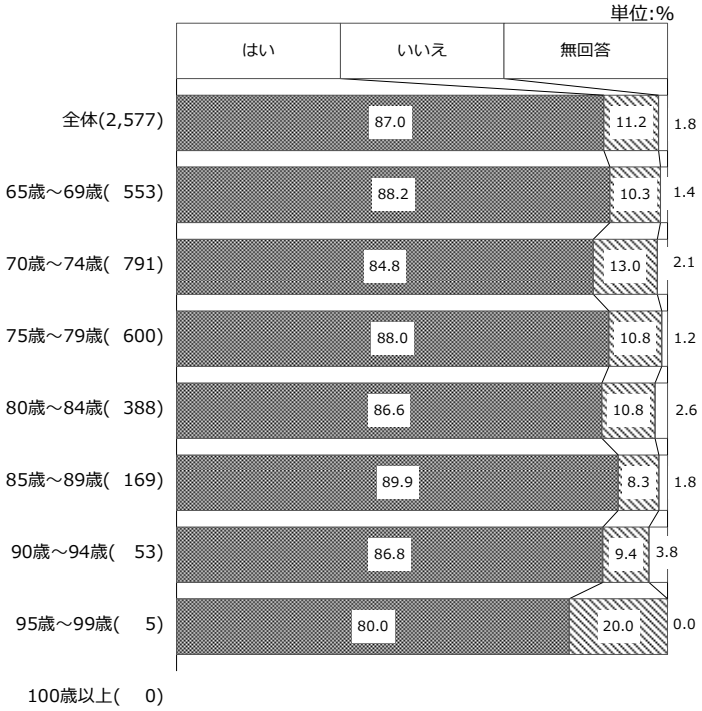
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,826	718	33
	100.0	70.9	27.9	1.3
青梅	236	177	57	2
	100.0	75.0	24.2	0.8
東青梅	320	229	88	3
	100.0	71.6	27.5	0.9
長淵	408	287	110	11
	100.0	70.3	27.0	2.7
河辺	312	214	96	2
	100.0	68.6	30.8	0.6
梅郷	227	157	69	1
	100.0	69.2	30.4	0.4
沢井	88	68	20	-
	100.0	77.3	22.7	-
大門	344	243	98	3
	100.0	70.6	28.5	0.9
新町	300	225	70	5
	100.0	75.0	23.3	1.7
今井	197	129	65	3
	100.0	65.5	33.0	1.5
小曾木	84	54	28	2
	100.0	64.3	33.3	2.4
成木	43	28	14	1
	100.0	65.1	32.6	2.3
無回答	18	15	3	-
	100.0	83.3	16.7	-

（12）健康記事・番組

健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」は 87.0%、「いいえ」は 11.2%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて、「いいえ」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第１地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	87.0	11.2	1.8
居住地区	第１地区	556	87.9	10.8	1.3
	第２地区	1,035	86.7	11.3	2.0
	第３地区	968	86.7	11.4	2.0
	無回答	18	94.4	5.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	2,242	288	47
	100.0	87.0	11.2	1.8
青梅	236	206	28	2
	100.0	87.3	11.9	0.8
東青梅	320	283	32	5
	100.0	88.4	10.0	1.6
長淵	408	353	46	9
	100.0	86.5	11.3	2.2
河辺	312	265	40	7
	100.0	84.9	12.8	2.2
梅郷	227	201	21	5
	100.0	88.5	9.3	2.2
沢井	88	78	10	-
	100.0	88.6	11.4	-
大門	344	295	40	9
	100.0	85.8	11.6	2.6
新町	300	265	32	3
	100.0	88.3	10.7	1.0
今井	197	166	26	5
	100.0	84.3	13.2	2.5
小曾木	84	73	10	1
	100.0	86.9	11.9	1.2
成木	43	40	2	1
	100.0	93.0	4.7	2.3
無回答	18	17	1	-
	100.0	94.4	5.6	-

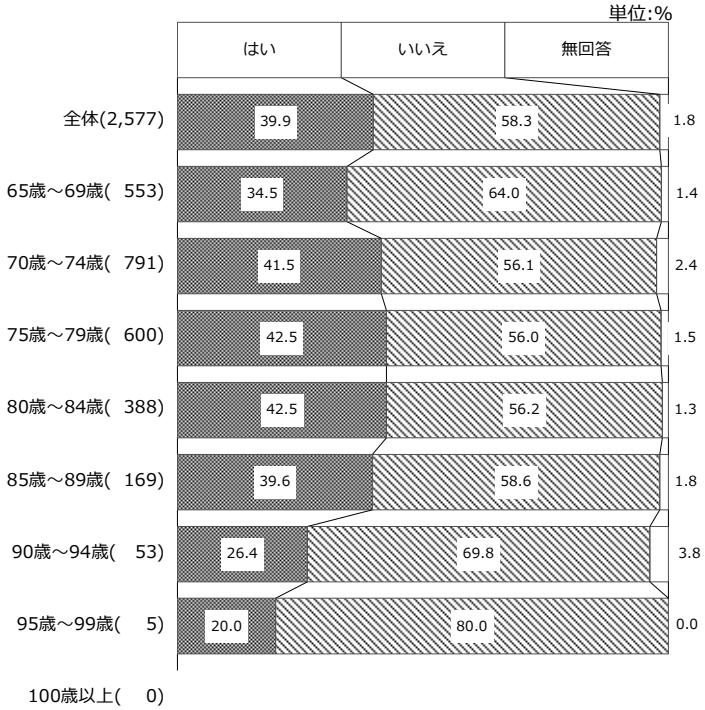
（13）友人の家の訪問

友人の家を訪ねていますか

「いいえ」は 58.3%、「はい」は 39.9%となっています。

前期調査と比較すると、「はい」の比率がかなり下がっています。

年齢区分でみると、84 歳までは、年齢が上がるにつれて、「はい」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第 2 地区」の比率が最も高く、「第 1 地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	39.9	58.3	1.8
居住地区	第 1 地区	556	39.7	59.0	1.3
	第 2 地区	1,035	40.6	57.7	1.7
	第 3 地区	968	39.3	58.6	2.2
	無回答	18	38.9	61.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

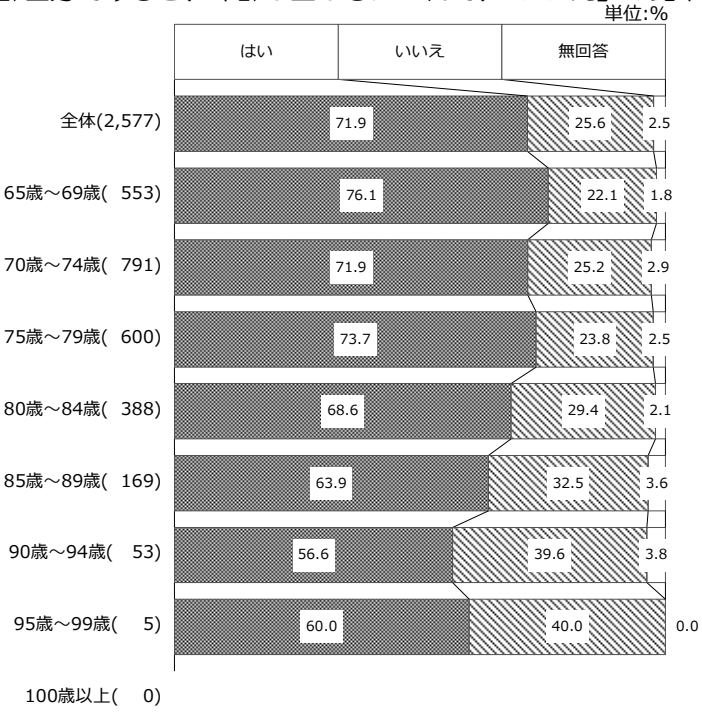
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,028	1,503	46
	100.0	39.9	58.3	1.8
青梅	236	104	130	2
	100.0	44.1	55.1	0.8
東青梅	320	117	198	5
	100.0	36.6	61.9	1.6
長淵	408	168	232	8
	100.0	41.2	56.9	2.0
河辺	312	118	190	4
	100.0	37.8	60.9	1.3
梅郷	227	92	130	5
	100.0	40.5	57.3	2.2
沢井	88	42	45	1
	100.0	47.7	51.1	1.1
大門	344	152	183	9
	100.0	44.2	53.2	2.6
新町	300	87	210	3
	100.0	29.0	70.0	1.0
今井	197	74	117	6
	100.0	37.6	59.4	3.0
小曾木	84	44	39	1
	100.0	52.4	46.4	1.2
成木	43	23	18	2
	100.0	53.5	41.9	4.7
無回答	18	7	11	-
	100.0	38.9	61.1	-

（14）家族や友人の相談

家族や友人の相談にのっていますか

「はい」は 71.9%、「いいえ」は 25.6%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて、「いいえ」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	71.9	25.6	2.5
居住地区	第１地区	556	73.2	25.5	1.3
	第２地区	1,035	72.2	25.2	2.6
	第３地区	968	70.8	26.1	3.1
	無回答	18	72.2	27.8	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,852	661	64
	100.0	71.9	25.6	2.5
青梅	236	182	52	2
	100.0	77.1	22.0	0.8
東青梅	320	225	90	5
	100.0	70.3	28.1	1.6
長淵	408	295	101	12
	100.0	72.3	24.8	2.9
河辺	312	228	81	3
	100.0	73.1	26.0	1.0
梅郷	227	160	60	7
	100.0	70.5	26.4	3.1
沢井	88	64	19	5
	100.0	72.7	21.6	5.7
大門	344	235	96	13
	100.0	68.3	27.9	3.8
新町	300	219	75	6
	100.0	73.0	25.0	2.0
今井	197	136	52	9
	100.0	69.0	26.4	4.6
小曾木	84	59	24	1
	100.0	70.2	28.6	1.2
成木	43	36	6	1
	100.0	83.7	14.0	2.3
無回答	18	13	5	-
	100.0	72.2	27.8	-

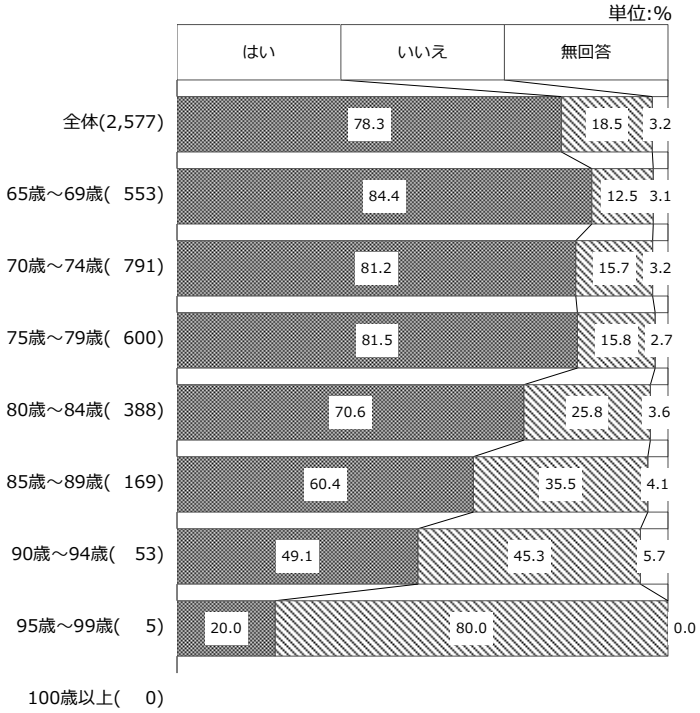
（15）病人の見舞い

病人を見舞うことができますか

「はい」は 78.3%、「いいえ」は 18.5%となっています。

前期調査と比較すると、「はい」の比率がかなり下がっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて、「いいえ」の比率が上がっています。



これを地区区分でみると、「はい」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	78.3	18.5	3.2
居住地区	第１地区	556	77.7	19.4	2.9
	第２地区	1,035	78.5	18.4	3.2
	第３地区	968	78.2	18.4	3.4
	無回答	18	88.9	11.1	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	2,017	478	82
	100.0	78.3	18.5	3.2
青梅	236	191	41	4
	100.0	80.9	17.4	1.7
東青梅	320	241	67	12
	100.0	75.3	20.9	3.8
長淵	408	324	67	17
	100.0	79.4	16.4	4.2
河辺	312	239	67	6
	100.0	76.6	21.5	1.9
梅郷	227	177	42	8
	100.0	78.0	18.5	3.5
沢井	88	72	14	2
	100.0	81.8	15.9	2.3
大門	344	274	59	11
	100.0	79.7	17.2	3.2
新町	300	236	57	7
	100.0	78.7	19.0	2.3
今井	197	141	44	12
	100.0	71.6	22.3	6.1
小曾木	84	70	11	3
	100.0	83.3	13.1	3.6
成木	43	36	7	-
	100.0	83.7	16.3	-
無回答	18	16	2	-
	100.0	88.9	11.1	-

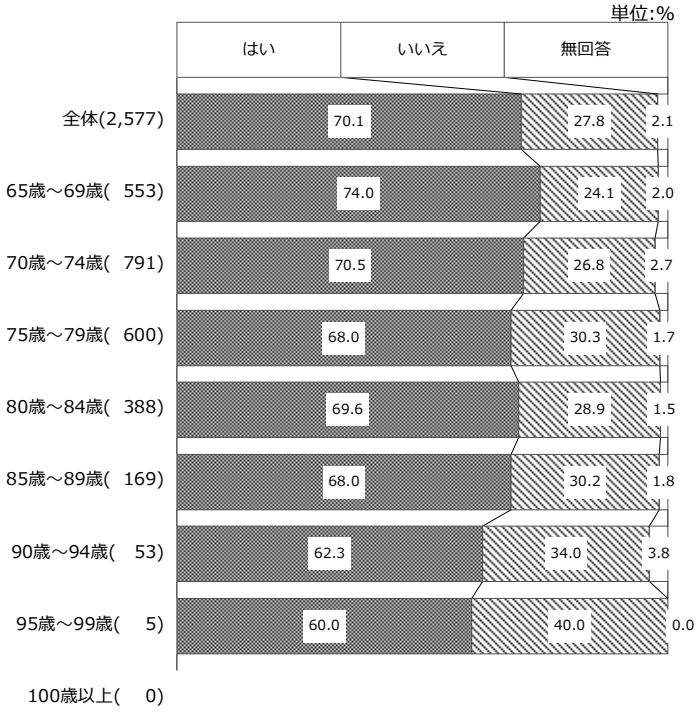
（16）若い人への話しかけ

若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」は 70.1%、「いいえ」は 27.8%となっています。

前期調査と比較すると、「はい」の比率がかなり下がっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて、「いいえ」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「はい」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	70.1	27.8	2.1
居住地区	第１地区	556	69.6	28.6	1.8
	第２地区	1,035	69.3	29.0	1.7
	第３地区	968	71.5	25.9	2.6
	無回答	18	55.6	33.3	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

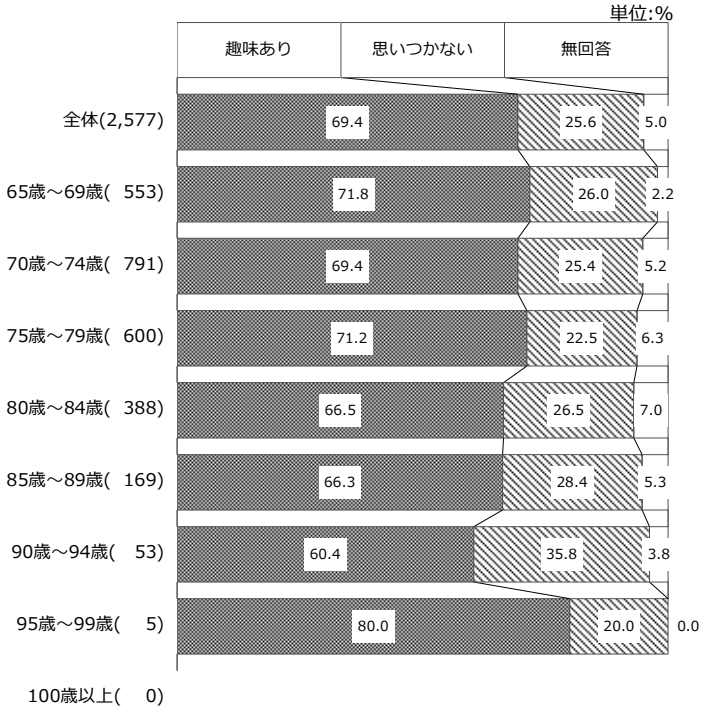
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	1,806	716	55
	100.0	70.1	27.8	2.1
青梅	236	170	62	4
	100.0	72.0	26.3	1.7
東青梅	320	217	97	6
	100.0	67.8	30.3	1.9
長淵	408	301	97	10
	100.0	73.8	23.8	2.5
河辺	312	200	108	4
	100.0	64.1	34.6	1.3
梅郷	227	154	69	4
	100.0	67.8	30.4	1.8
沢井	88	62	26	-
	100.0	70.5	29.5	-
大門	344	250	82	12
	100.0	72.7	23.8	3.5
新町	300	205	88	7
	100.0	68.3	29.3	2.3
今井	197	141	51	5
	100.0	71.6	25.9	2.5
小曾木	84	66	17	1
	100.0	78.6	20.2	1.2
成木	43	30	13	-
	100.0	69.8	30.2	-
無回答	18	10	6	2
	100.0	55.6	33.3	11.1

（17）趣味の有無

趣味はありますか

「趣味あり」は 69.4%、「思いつかない」は 25.6%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて、「思いつかない」の比率が上がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「趣味あり」では「第１地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	趣味あり	思いつかない	無回答
全体		2,577	69.4	25.6	5.0
居住地区	第１地区	556	70.9	23.6	5.6
	第２地区	1,035	67.7	27.1	5.1
	第３地区	968	70.7	24.7	4.6
	無回答	18	55.6	44.4	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

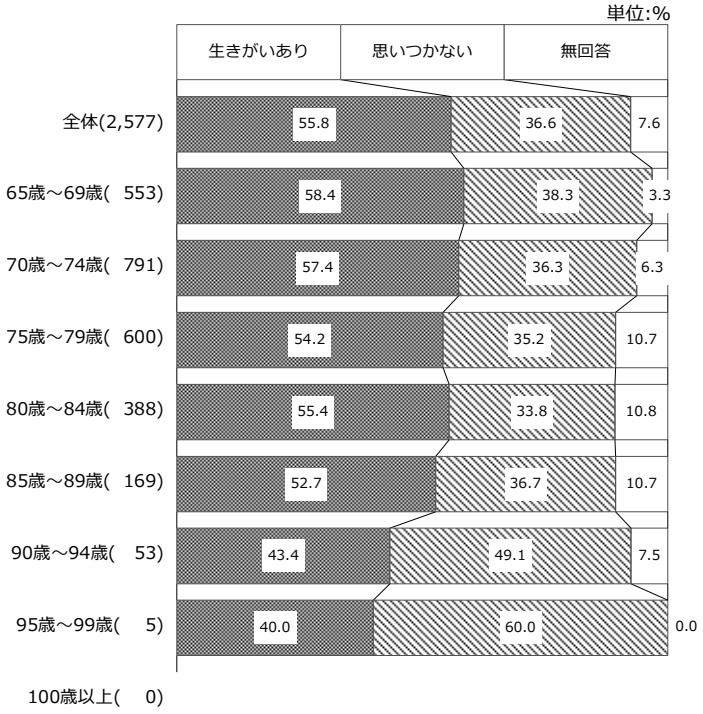
	全体	趣味あり	思いつかない	無回答
全体	2,577	1,789	659	129
	100.0	69.4	25.6	5.0
青梅	236	168	57	11
	100.0	71.2	24.2	4.7
東青梅	320	226	74	20
	100.0	70.6	23.1	6.3
長淵	408	281	98	29
	100.0	68.9	24.0	7.1
河辺	312	204	96	12
	100.0	65.4	30.8	3.8
梅郷	227	154	63	10
	100.0	67.8	27.8	4.4
沢井	88	62	24	2
	100.0	70.5	27.3	2.3
大門	344	241	85	18
	100.0	70.1	24.7	5.2
新町	300	230	60	10
	100.0	76.7	20.0	3.3
今井	197	129	58	10
	100.0	65.5	29.4	5.1
小曾木	84	58	22	4
	100.0	69.0	26.2	4.8
成木	43	26	14	3
	100.0	60.5	32.6	7.0
無回答	18	10	8	-
	100.0	55.6	44.4	-

（18）生きがいの有無

生きがいはありますか

「生きがいあり」は 55.8%、「思いつかない」は 36.6%となっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて、「生きがいあり」の比率が下がる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「生きがいあり」では「第１地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体		2,577	55.8	36.6	7.6
居住地区	第１地区	556	60.4	31.5	8.1
	第２地区	1,035	53.0	39.0	7.9
	第３地区	968	56.4	36.5	7.1
	無回答	18	44.4	55.6	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	2,577	1,439	942	196
	100.0	55.8	36.6	7.6
青梅	236	147	73	16
	100.0	62.3	30.9	6.8
東青梅	320	189	102	29
	100.0	59.1	31.9	9.1
長淵	408	214	157	37
	100.0	52.5	38.5	9.1
河辺	312	158	132	22
	100.0	50.6	42.3	7.1
梅郷	227	124	88	15
	100.0	54.6	38.8	6.6
沢井	88	53	27	8
	100.0	60.2	30.7	9.1
大門	344	186	132	26
	100.0	54.1	38.4	7.6
新町	300	174	106	20
	100.0	58.0	35.3	6.7
今井	197	110	75	12
	100.0	55.8	38.1	6.1
小曾木	84	53	23	8
	100.0	63.1	27.4	9.5
成木	43	23	17	3
	100.0	53.5	39.5	7.0
無回答	18	8	10	-
	100.0	44.4	55.6	-

6 調査からみたリスクの高い方

（1）リスクの高い方の判定基準

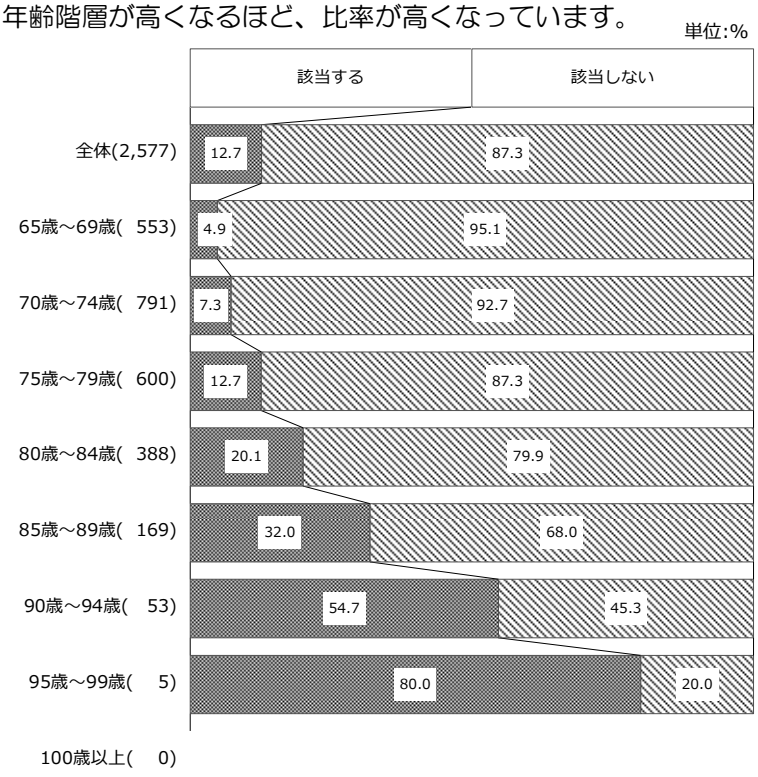
① 運動機能の低下

次の５設問の回答中、３問以上該当する方を、運動機能の低下がみられる方と考える。

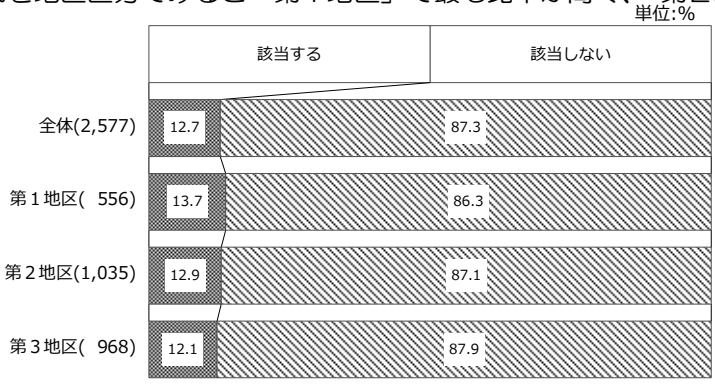
1	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	「3.できない」と回答
2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3.できない」と回答
3	15 分位続けて歩いていますか	「3.できない」と回答
4	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	「1.何度もある」あるいは「2.1 度ある」と回答
5	転倒に対する不安は大きいですか	「1.とても不安である」あるいは「２.やや不安である」と回答

結果として 12.7%の方に運動機能の低下が見れました。

年齢階層が高くなるほど、比率が高くなっています。



これを地区区分でみると「第１地区」で最も比率が高く、「第２地区」が続いています。



② 口腔機能の低下

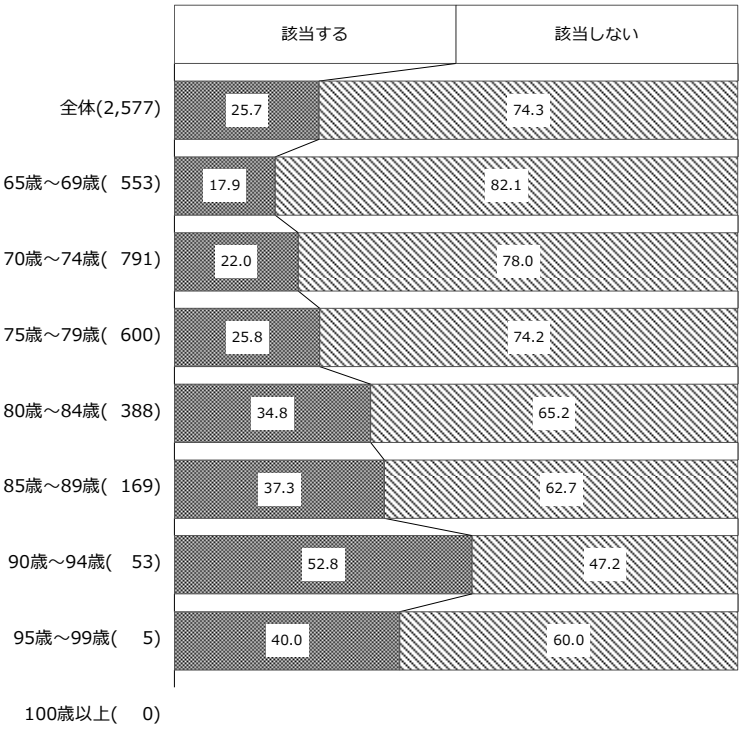
次の３設問の回答中、２問以上該当する方を、口腔機能の低下がみられる方と考える。

１	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「１.はい」と回答
２	お茶や汁物等でむせることがありますか	「１.はい」と回答
３	口の渇きが気になりますか	「１.はい」と回答

結果として 25.7%の方に口腔機能の低下が見れました。

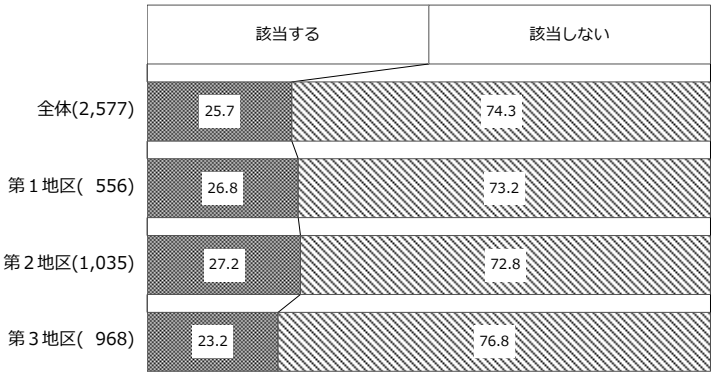
年齢階層が高くなるほど、比率が高くなる傾向にあります。

単位:%



また、これを地区区分でみると、「第２地区」で最も比率が高く、「第１地区」が続いています。

単位:%



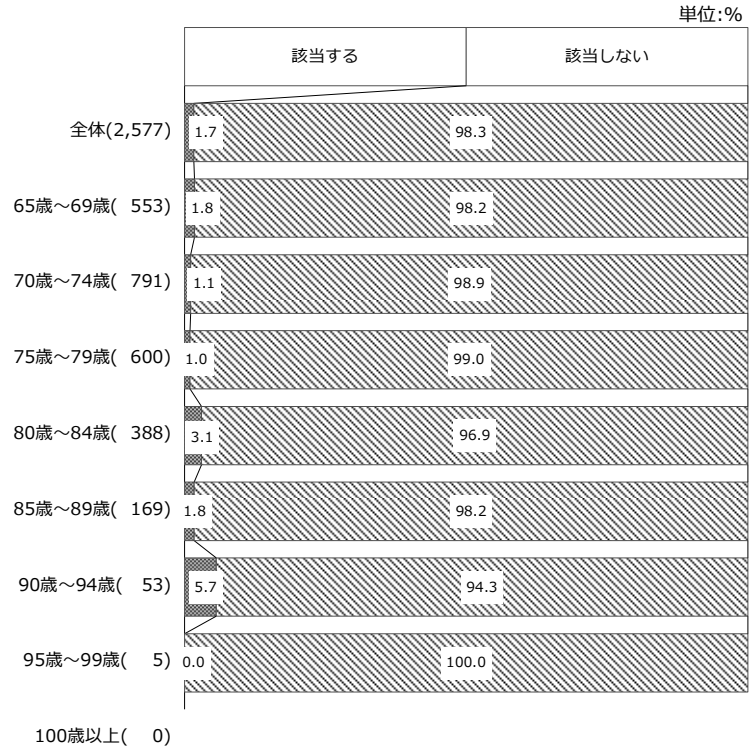
③ 低栄養

次の２設問の回答中、２問とも該当する方を、低栄養の傾向のある方と考える。

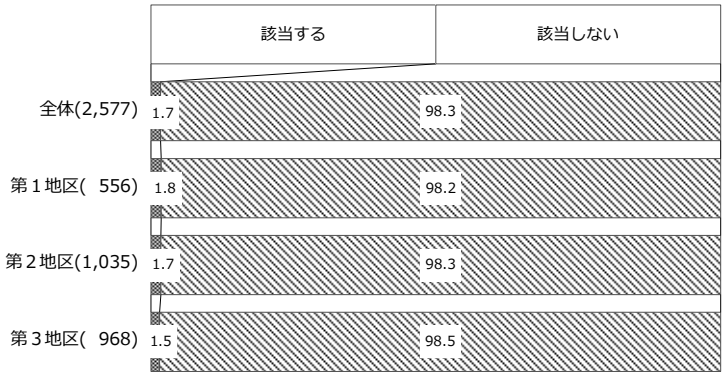
1	６か月間で２～３㎏以上の体重減少がありましたか	「１.はい」と回答
2	BMI	18.5 未満

結果として 1.7%の方に運動機能の低下が見れました。あまり高くはありません。

年齢階層との相関関係はとくには見られませんでした。



また、これを地区区分でみると、「第１地区」で最も比率が高く、「第２地区」が続いています。



④ 認知機能

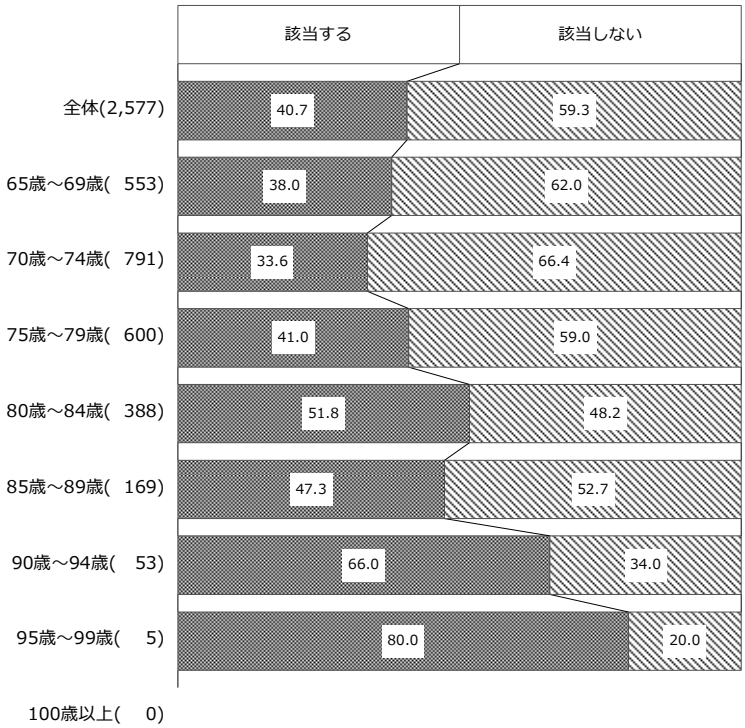
次の設問の回答中、該当する方を、認知機能の低下がみられる方と考える。

1	物忘れが多いと感じますか	「1.はい」と回答

結果として 40.7%の方に認知機能の低下が見れました。

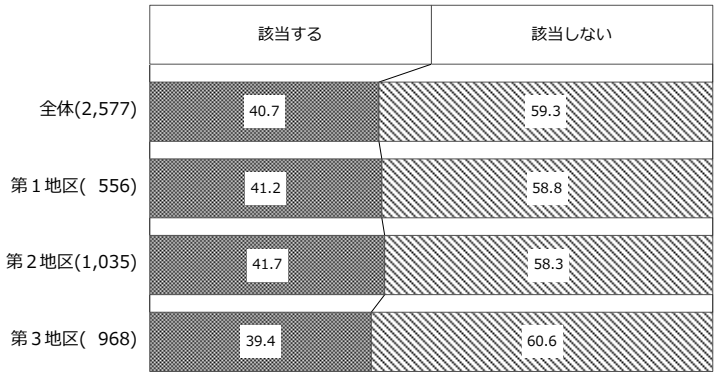
年齢階層が高くなるほど、比率が高くなる傾向にあります。

単位:%



また、これを地区区分でみると、「第２地区」で最も比率が高く、「第１地区」が続いています。

単位:%



7 地域での活動

（1）会・グループ等への参加頻度

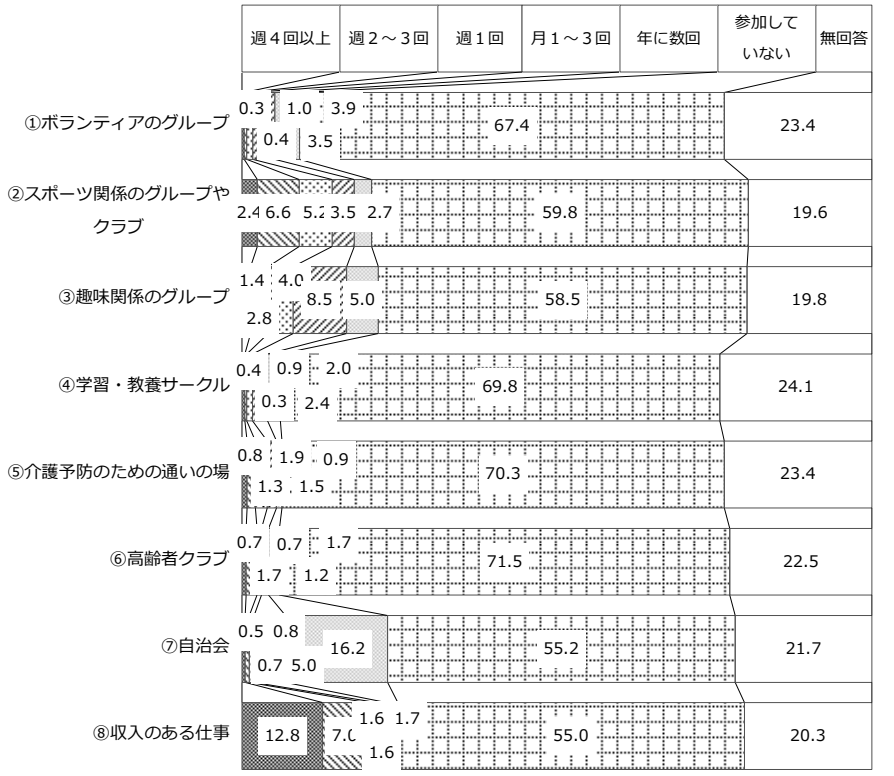
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※① - ⑧それぞれに回答してください

参加率が最も低いのは「高齢者クラブ」で「参加していない」が 71.5%、それに「介護予防のための通いの場」が 70.3%、「学習・教養サークル」が 69.8%で続きます。逆に、「参加していない」が低く、参加率が相対的に高いのは、「収入のある仕事」で 55.0%、それに「自治会」の 55.2%、「趣味関係のグループ」の 58.5%が続きます。

前期調査と比較すると、総じて「参加していない」の比率が上がっています。

総数=2,577

単位:%

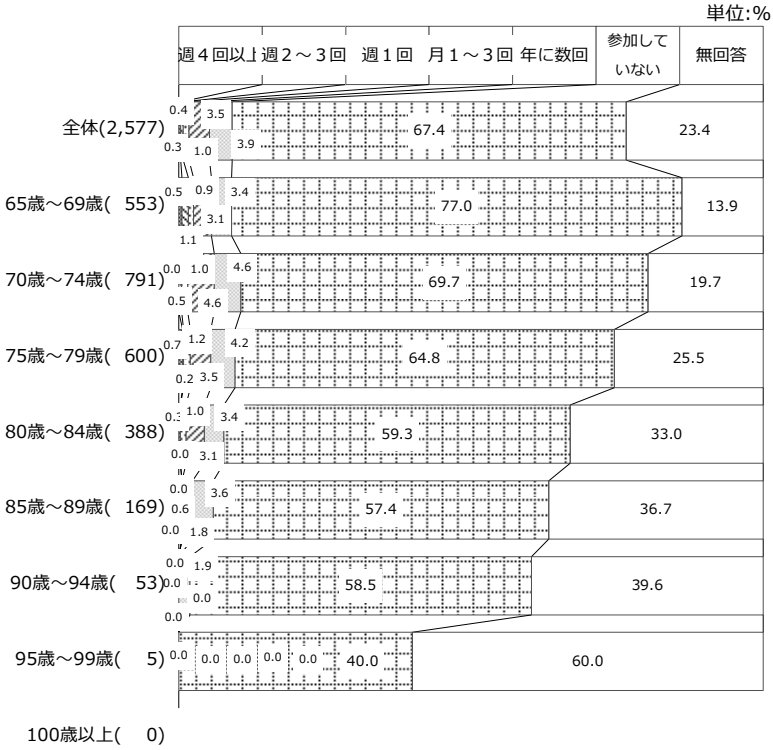


①ボランティアのグループ

「参加していない」が67.4%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が高くなります。

単位:%



これを地区区分でみると、「第３地区」で最もその比率が高く、「第２地区」が続いています。

		全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	0.3	0.4	1.0	3.5	3.9	67.4	23.4
居住地区	第１地区	556	0.5	0.5	1.3	3.8	4.3	64.0	25.5
	第２地区	1,035	0.3	0.5	1.1	4.3	4.0	67.9	22.0
	第３地区	968	0.3	0.3	0.6	2.5	3.6	68.9	23.8
	無回答	18	-	-	5.6	5.6	5.6	66.7	16.7

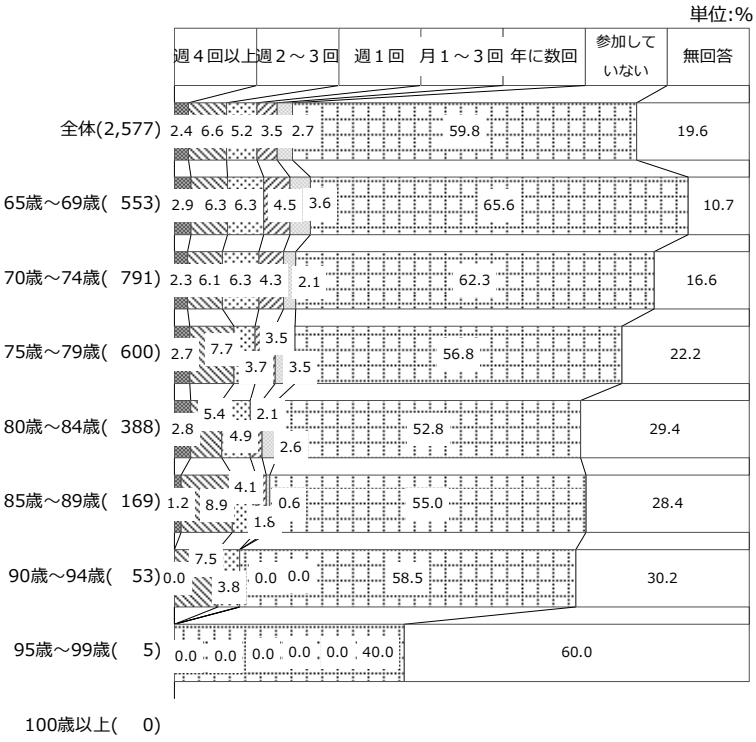
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	9	11	25	90	101	1,738	603
	100.0	0.3	0.4	1.0	3.5	3.9	67.4	23.4
青梅	236	1	2	4	9	17	153	50
	100.0	0.4	0.8	1.7	3.8	7.2	64.8	21.2
東青梅	320	2	1	3	12	7	203	92
	100.0	0.6	0.3	0.9	3.8	2.2	63.4	28.8
長淵	408	1	4	3	10	21	273	96
	100.0	0.2	1.0	0.7	2.5	5.1	66.9	23.5
河辺	312	2	-	4	10	4	226	66
	100.0	0.6	-	1.3	3.2	1.3	72.4	21.2
梅郷	227	-	1	4	19	8	150	45
	100.0	-	0.4	1.8	8.4	3.5	66.1	19.8
沢井	88	-	-	-	5	8	54	21
	100.0	-	-	-	5.7	9.1	61.4	23.9
大門	344	-	1	1	7	15	243	77
	100.0	-	0.3	0.3	2.0	4.4	70.6	22.4
新町	300	1	1	2	11	7	204	74
	100.0	0.3	0.3	0.7	3.7	2.3	68.0	24.7
今井	197	1	1	2	5	7	134	47
	100.0	0.5	0.5	1.0	2.5	3.6	68.0	23.9
小曾木	84	1	-	1	1	4	55	22
	100.0	1.2	-	1.2	1.2	4.8	65.5	26.2
成木	43	-	-	-	-	2	31	10
	100.0	-	-	-	-	4.7	72.1	23.3
無回答	18	-	-	1	1	1	12	3
	100.0	-	-	5.6	5.6	5.6	66.7	16.7

② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」が 59.8%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が高くなります。



これを地区区分でみると、「参加していない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第２地区」が続いています。

		全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	2.4	6.6	5.2	3.5	2.7	59.8	19.6
居住地区	第１地区	556	3.6	7.2	5.0	3.8	2.2	58.1	20.1
	第２地区	1,035	2.6	6.6	5.4	4.0	3.3	59.3	18.8
	第３地区	968	1.7	6.3	5.3	3.0	2.4	61.1	20.4
	無回答	18	-	11.1	-	-	5.6	72.2	11.1

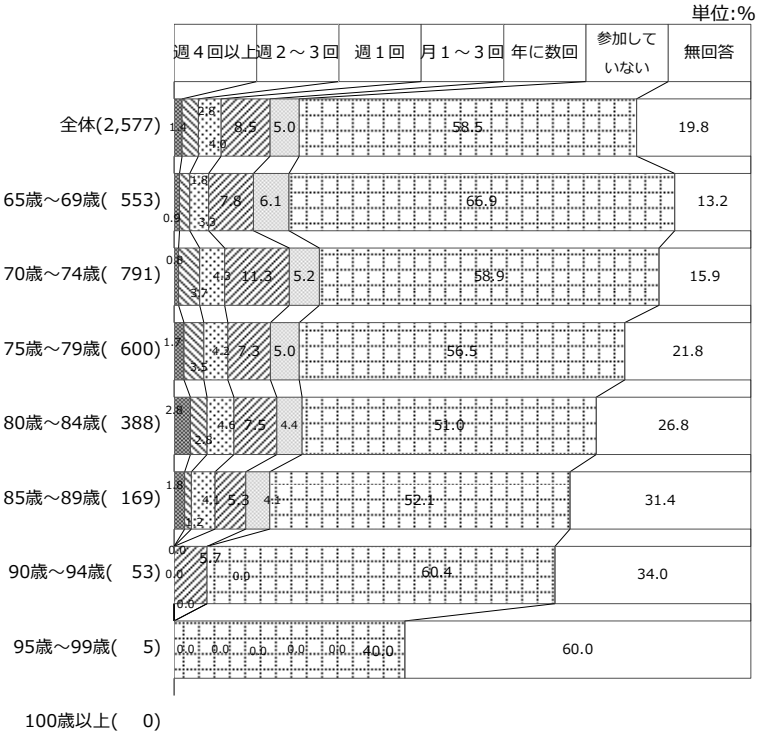
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	63	171	135	91	70	1,541	506
	100.0	2.4	6.6	5.2	3.5	2.7	59.8	19.6
青梅	236	7	13	11	12	4	148	41
	100.0	3.0	5.5	4.7	5.1	1.7	62.7	17.4
東青梅	320	13	27	17	9	8	175	71
	100.0	4.1	8.4	5.3	2.8	2.5	54.7	22.2
長淵	408	16	28	21	19	15	229	80
	100.0	3.9	6.9	5.1	4.7	3.7	56.1	19.6
河辺	312	7	20	17	10	4	194	60
	100.0	2.2	6.4	5.4	3.2	1.3	62.2	19.2
梅郷	227	4	15	13	7	9	141	38
	100.0	1.8	6.6	5.7	3.1	4.0	62.1	16.7
沢井	88	-	5	5	5	6	50	17
	100.0	-	5.7	5.7	5.7	6.8	56.8	19.3
大門	344	8	16	18	12	11	210	69
	100.0	2.3	4.7	5.2	3.5	3.2	61.0	20.1
新町	300	5	25	15	11	6	178	60
	100.0	1.7	8.3	5.0	3.7	2.0	59.3	20.0
今井	197	3	16	11	2	5	123	37
	100.0	1.5	8.1	5.6	1.0	2.5	62.4	18.8
小曾木	84	-	4	7	2	1	50	20
	100.0	-	4.8	8.3	2.4	1.2	59.5	23.8
成木	43	-	-	-	2	-	30	11
	100.0	-	-	-	4.7	-	69.8	25.6
無回答	18	-	2	-	-	1	13	2
	100.0	-	11.1	-	-	5.6	72.2	11.1

③ 趣味関係のグループ

「参加していない」が 58.5%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が高くなります。



これを地区区分でみると、「第２地区」で最も「参加していない」の比率が高く、「第３地区」が続いています。

		全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	1.4	2.8	4.0	8.5	5.0	58.5	19.8
居住地区	第１地区	556	1.3	2.7	5.2	10.4	5.8	54.3	20.3
	第２地区	1,035	2.0	2.6	3.7	8.9	3.9	59.7	19.2
	第３地区	968	0.7	3.2	3.6	6.9	5.9	59.4	20.2
	無回答	18	-	-	-	5.6	5.6	72.2	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

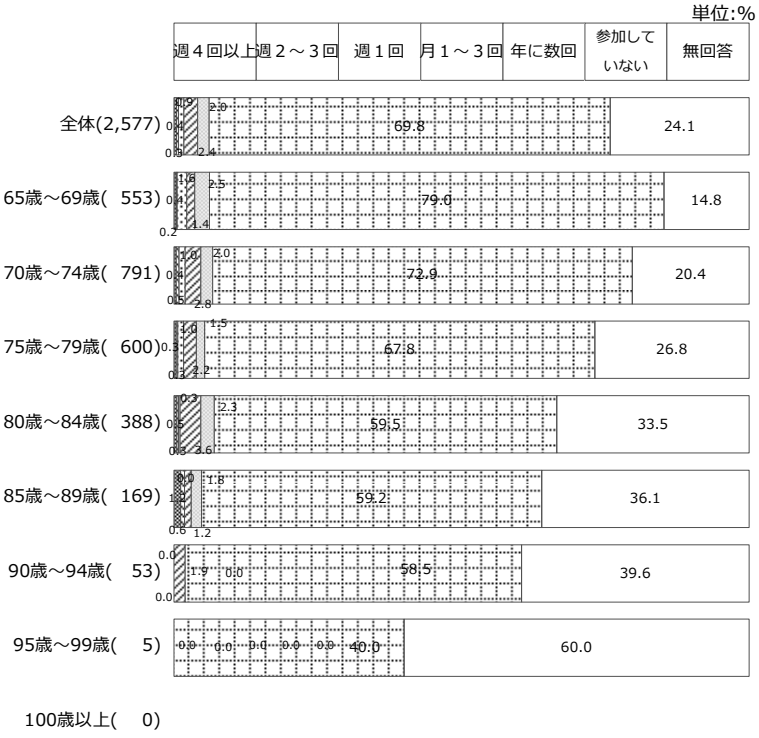
	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	35	73	102	218	130	1,508	511
	100.0	1.4	2.8	4.0	8.5	5.0	58.5	19.8
青梅	236	1	4	15	25	18	134	39
	100.0	0.4	1.7	6.4	10.6	7.6	56.8	16.5
東青梅	320	6	11	14	33	14	168	74
	100.0	1.9	3.4	4.4	10.3	4.4	52.5	23.1
長淵	408	8	13	16	29	21	237	84
	100.0	2.0	3.2	3.9	7.1	5.1	58.1	20.6
河辺	312	7	6	10	27	6	199	57
	100.0	2.2	1.9	3.2	8.7	1.9	63.8	18.3
梅郷	227	5	6	10	26	8	135	37
	100.0	2.2	2.6	4.4	11.5	3.5	59.5	16.3
沢井	88	1	2	2	10	5	47	21
	100.0	1.1	2.3	2.3	11.4	5.7	53.4	23.9
大門	344	4	9	14	30	25	201	61
	100.0	1.2	2.6	4.1	8.7	7.3	58.4	17.7
新町	300	1	15	9	28	13	174	60
	100.0	0.3	5.0	3.0	9.3	4.3	58.0	20.0
今井	197	1	5	9	6	12	125	39
	100.0	0.5	2.5	4.6	3.0	6.1	63.5	19.8
小曾木	84	1	1	3	-	5	47	27
	100.0	1.2	1.2	3.6	-	6.0	56.0	32.1
成木	43	-	1	-	3	2	28	9
	100.0	-	2.3	-	7.0	4.7	65.1	20.9
無回答	18	-	-	-	1	1	13	3
	100.0	-	-	-	5.6	5.6	72.2	16.7

④ 学習・教養サークル

「参加していない」が 69.8%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が高くなります。

単位:%



これを地区区分でみると、「第２地区」で最も「参加していない」の比率が高く、「第３地区」が続いています。

		全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	0.4	0.3	0.9	2.4	2.0	69.8	24.1
居住地区	第１地区	556	0.2	0.5	1.4	2.9	3.4	65.1	26.4
	第２地区	1,035	0.6	0.3	1.0	2.0	1.4	71.5	23.3
	第３地区	968	0.4	0.3	0.6	2.4	1.9	70.6	23.9
	無回答	18	-	-	-	5.6	5.6	72.2	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

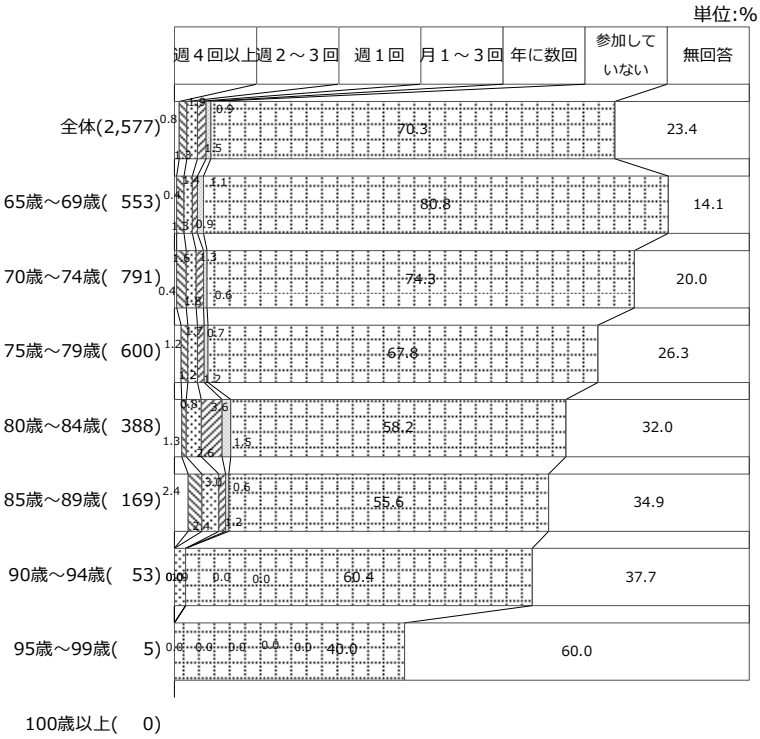
	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	11	9	24	61	52	1,798	622
	100.0	0.4	0.3	0.9	2.4	2.0	69.8	24.1
青梅	236	-	3	1	8	8	160	56
	100.0	-	1.3	0.4	3.4	3.4	67.8	23.7
東青梅	320	1	-	7	8	11	202	91
	100.0	0.3	-	2.2	2.5	3.4	63.1	28.4
長淵	408	1	1	4	10	3	289	100
	100.0	0.2	0.2	1.0	2.5	0.7	70.8	24.5
河辺	312	2	2	3	3	3	227	72
	100.0	0.6	0.6	1.0	1.0	1.0	72.8	23.1
梅郷	227	3	-	2	5	4	166	47
	100.0	1.3	-	0.9	2.2	1.8	73.1	20.7
沢井	88	-	-	1	3	4	58	22
	100.0	-	-	1.1	3.4	4.5	65.9	25.0
大門	344	2	-	4	8	8	248	74
	100.0	0.6	-	1.2	2.3	2.3	72.1	21.5
新町	300	1	1	-	9	3	207	79
	100.0	0.3	0.3	-	3.0	1.0	69.0	26.3
今井	197	-	1	2	4	5	140	45
	100.0	-	0.5	1.0	2.0	2.5	71.1	22.8
小曾木	84	1	1	-	1	2	56	23
	100.0	1.2	1.2	-	1.2	2.4	66.7	27.4
成木	43	-	-	-	1	-	32	10
	100.0	-	-	-	2.3	-	74.4	23.3
無回答	18	-	-	-	1	1	13	3
	100.0	-	-	-	5.6	5.6	72.2	16.7

⑤ 介護予防のための通いの場

「参加していない」が 70.3%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が低くなります。

単位:%



これを地区区分でみると、「第３地区」で最もその比率が高く、「第２地区」が続いています。

		全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	0.8	1.3	1.9	1.5	0.9	70.3	23.4
居住地区	第１地区	556	0.9	2.2	1.6	1.3	0.9	68.0	25.2
	第２地区	1,035	0.9	1.1	2.2	1.7	1.0	70.3	22.8
	第３地区	968	0.7	1.1	1.7	1.3	0.7	71.3	23.1
	無回答	18	-	-	-	-	-	83.3	16.7

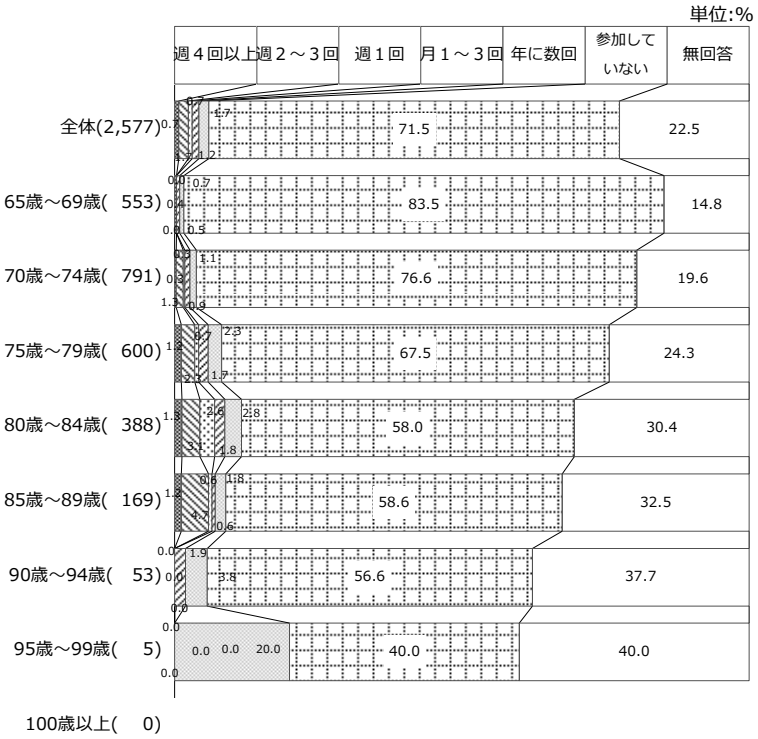
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	21	34	48	38	22	1,811	603
	100.0	0.8	1.3	1.9	1.5	0.9	70.3	23.4
青梅	236	1	4	5	5	3	166	52
	100.0	0.4	1.7	2.1	2.1	1.3	70.3	22.0
東青梅	320	4	8	4	2	2	212	88
	100.0	1.3	2.5	1.3	0.6	0.6	66.3	27.5
長淵	408	5	5	13	5	2	281	97
	100.0	1.2	1.2	3.2	1.2	0.5	68.9	23.8
河辺	312	3	3	7	5	3	221	70
	100.0	1.0	1.0	2.2	1.6	1.0	70.8	22.4
梅郷	227	1	3	2	5	3	164	49
	100.0	0.4	1.3	0.9	2.2	1.3	72.2	21.6
沢井	88	-	-	1	3	2	62	20
	100.0	-	-	1.1	3.4	2.3	70.5	22.7
大門	344	5	3	7	6	3	247	73
	100.0	1.5	0.9	2.0	1.7	0.9	71.8	21.2
新町	300	2	3	4	2	3	213	73
	100.0	0.7	1.0	1.3	0.7	1.0	71.0	24.3
今井	197	-	4	2	4	-	142	45
	100.0	-	2.0	1.0	2.0	-	72.1	22.8
小曾木	84	-	1	1	-	1	57	24
	100.0	-	1.2	1.2	-	1.2	67.9	28.6
成木	43	-	-	2	1	-	31	9
	100.0	-	-	4.7	2.3	-	72.1	20.9
無回答	18	-	-	-	-	-	15	3
	100.0	-	-	-	-	-	83.3	16.7

⑥ 高齢者クラブ

「参加していない」が 71.5%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が低くなる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「第２地区」で最も「参加していない」の比率が高く、「第３地区」が続いています。

		全体	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	0.7	1.7	0.7	1.2	1.7	71.5	22.5
居住地区	第１地区	556	0.9	2.9	0.2	1.1	2.5	68.2	24.3
	第２地区	1,035	0.8	1.7	1.1	1.0	1.4	72.6	21.4
	第３地区	968	0.5	1.0	0.5	1.3	1.5	72.2	22.8
	無回答	18	-	-	-	5.6	5.6	72.2	16.7

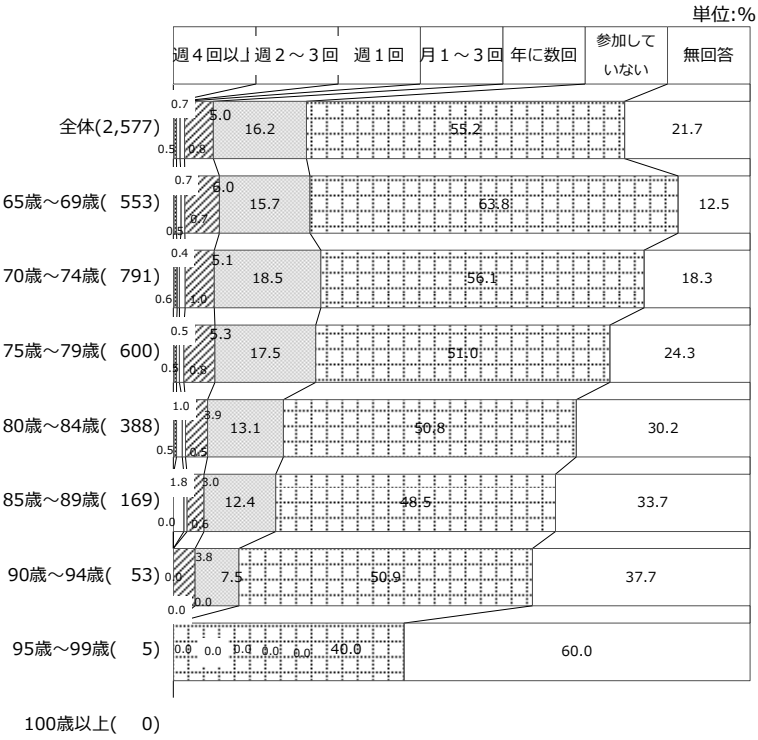
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	18	44	17	30	45	1,842	581
	100.0	0.7	1.7	0.7	1.2	1.7	71.5	22.5
青梅	236	3	3	-	5	9	168	48
	100.0	1.3	1.3	-	2.1	3.8	71.2	20.3
東青梅	320	2	13	1	1	5	211	87
	100.0	0.6	4.1	0.3	0.3	1.6	65.9	27.2
長淵	408	2	3	2	1	5	299	96
	100.0	0.5	0.7	0.5	0.2	1.2	73.3	23.5
河辺	312	3	8	5	4	2	226	64
	100.0	1.0	2.6	1.6	1.3	0.6	72.4	20.5
梅郷	227	2	7	3	5	4	164	42
	100.0	0.9	3.1	1.3	2.2	1.8	72.2	18.5
沢井	88	1	-	1	-	4	62	20
	100.0	1.1	-	1.1	-	4.5	70.5	22.7
大門	344	3	3	2	5	10	250	71
	100.0	0.9	0.9	0.6	1.5	2.9	72.7	20.6
新町	300	1	2	1	4	1	217	74
	100.0	0.3	0.7	0.3	1.3	0.3	72.3	24.7
今井	197	-	3	1	2	2	145	44
	100.0	-	1.5	0.5	1.0	1.0	73.6	22.3
小曾木	84	1	2	1	2	2	55	21
	100.0	1.2	2.4	1.2	2.4	2.4	65.5	25.0
成木	43	-	-	-	-	-	32	11
	100.0	-	-	-	-	-	74.4	25.6
無回答	18	-	-	-	1	1	13	3
	100.0	-	-	-	5.6	5.6	72.2	16.7

⑦ 自治会

「参加していない」が 55.2%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が低くなる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「第３地区」で最も「参加していない」の比率が高く、「第２地区」が続いています。

		全体	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	0.5	0.7	0.8	5.0	16.2	55.2	21.7
居住地区	第１地区	556	0.7	1.1	1.6	5.6	14.0	53.8	23.2
	第２地区	1,035	0.4	0.5	0.8	5.4	17.2	54.4	21.4
	第３地区	968	0.5	0.6	0.3	4.1	16.3	56.7	21.4
	無回答	18	-	-	-	5.6	16.7	61.1	16.7

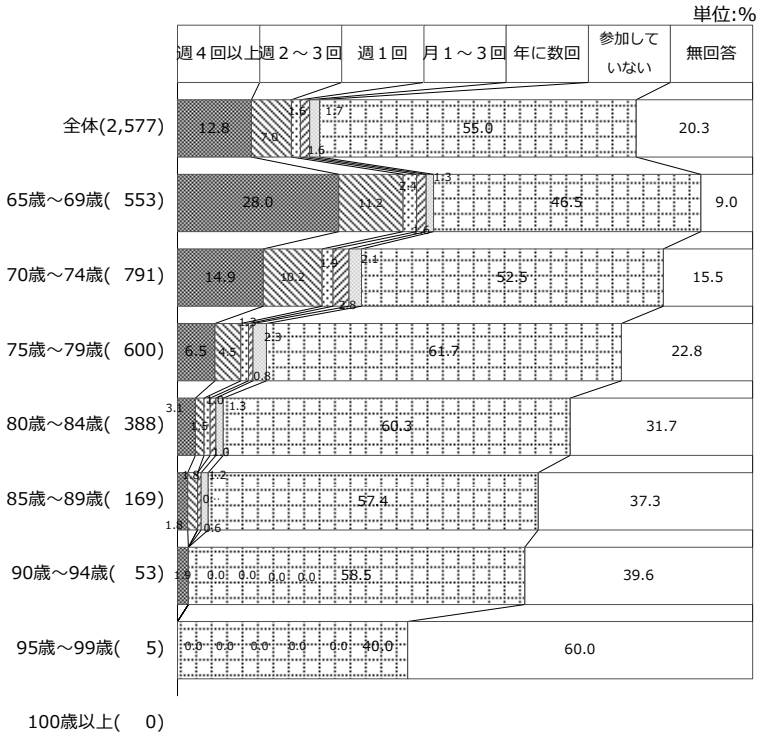
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	13	17	20	128	417	1,422	560
	100.0	0.5	0.7	0.8	5.0	16.2	55.2	21.7
青梅	236	1	2	4	16	39	129	45
	100.0	0.4	0.8	1.7	6.8	16.5	54.7	19.1
東青梅	320	3	4	5	15	39	170	84
	100.0	0.9	1.3	1.6	4.7	12.2	53.1	26.3
長淵	408	1	2	2	17	75	220	91
	100.0	0.2	0.5	0.5	4.2	18.4	53.9	22.3
河辺	312	2	1	4	21	30	186	68
	100.0	0.6	0.3	1.3	6.7	9.6	59.6	21.8
梅郷	227	-	2	2	12	48	118	45
	100.0	-	0.9	0.9	5.3	21.1	52.0	19.8
沢井	88	1	-	-	6	25	39	17
	100.0	1.1	-	-	6.8	28.4	44.3	19.3
大門	344	1	1	1	10	58	206	67
	100.0	0.3	0.3	0.3	2.9	16.9	59.9	19.5
新町	300	1	1	-	12	26	188	72
	100.0	0.3	0.3	-	4.0	8.7	62.7	24.0
今井	197	1	1	1	7	41	105	41
	100.0	0.5	0.5	0.5	3.6	20.8	53.3	20.8
小曾木	84	2	2	-	7	17	35	21
	100.0	2.4	2.4	-	8.3	20.2	41.7	25.0
成木	43	-	1	1	4	16	15	6
	100.0	-	2.3	2.3	9.3	37.2	34.9	14.0
無回答	18	-	-	-	1	3	11	3
	100.0	-	-	-	5.6	16.7	61.1	16.7

⑧ 収入のある仕事

「参加していない」が 55.0%を占めています。

年齢階層が高くなるほど、「参加していない」の比率が低くなる傾向にあります。



これを地区区分でみると、「第２地区」で最も「参加していない」の比率が高く、「第３地区」が続いています。

		全体	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,577	12.8	7.0	1.6	1.6	1.7	55.0	20.3
居住地区	第１地区	556	13.3	6.8	1.6	2.3	0.9	53.8	21.2
	第２地区	1,035	12.6	7.9	1.4	1.5	2.0	55.5	19.0
	第３地区	968	12.8	6.1	1.7	1.2	2.0	55.1	21.2
	無回答	18	16.7	5.6	-	-	-	66.7	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

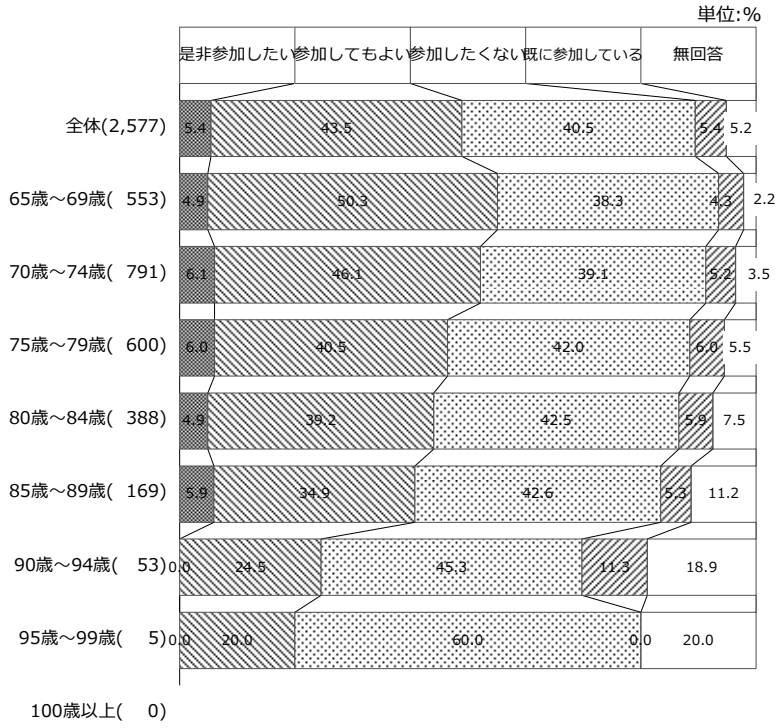
	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	2,577	331	180	40	41	45	1,418	522
	100.0	12.8	7.0	1.6	1.6	1.7	55.0	20.3
青梅	236	29	16	3	8	4	133	43
	100.0	12.3	6.8	1.3	3.4	1.7	56.4	18.2
東青梅	320	45	22	6	5	1	166	75
	100.0	14.1	6.9	1.9	1.6	0.3	51.9	23.4
長淵	408	49	35	5	6	11	215	87
	100.0	12.0	8.6	1.2	1.5	2.7	52.7	21.3
河辺	312	47	19	6	4	4	174	58
	100.0	15.1	6.1	1.9	1.3	1.3	55.8	18.6
梅郷	227	22	23	1	5	4	137	35
	100.0	9.7	10.1	0.4	2.2	1.8	60.4	15.4
沢井	88	12	5	3	1	2	48	17
	100.0	13.6	5.7	3.4	1.1	2.3	54.5	19.3
大門	344	39	27	4	3	10	190	71
	100.0	11.3	7.8	1.2	0.9	2.9	55.2	20.6
新町	300	42	18	6	5	6	158	65
	100.0	14.0	6.0	2.0	1.7	2.0	52.7	21.7
今井	197	21	11	2	2	1	118	42
	100.0	10.7	5.6	1.0	1.0	0.5	59.9	21.3
小曾木	84	16	2	3	2	1	42	18
	100.0	19.0	2.4	3.6	2.4	1.2	50.0	21.4
成木	43	6	1	1	-	1	25	9
	100.0	14.0	2.3	2.3	-	2.3	58.1	20.9
無回答	18	3	1	-	-	-	12	2
	100.0	16.7	5.6	-	-	-	66.7	11.1

（2）地域活動への参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が 43.5%で最も多く、「参加したくない」（40.5%）、「是非参加したい」「既に参加している」（5.4%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「参加したくない」の比率が高くなっています。



これを地区区分でみると、「既に参加している」「是非参加したい」を合わせると「第１地区」の比率が最も高く、「参加したくない」では「第３地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		2,577	5.4	43.5	40.5	5.4	5.2
居住地区	第１地区	556	7.0	41.7	39.4	6.7	5.2
	第２地区	1,035	5.0	45.4	39.0	5.1	5.4
	第３地区	968	5.1	42.3	42.8	5.1	4.9
	無回答	18	-	61.1	33.3	-	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

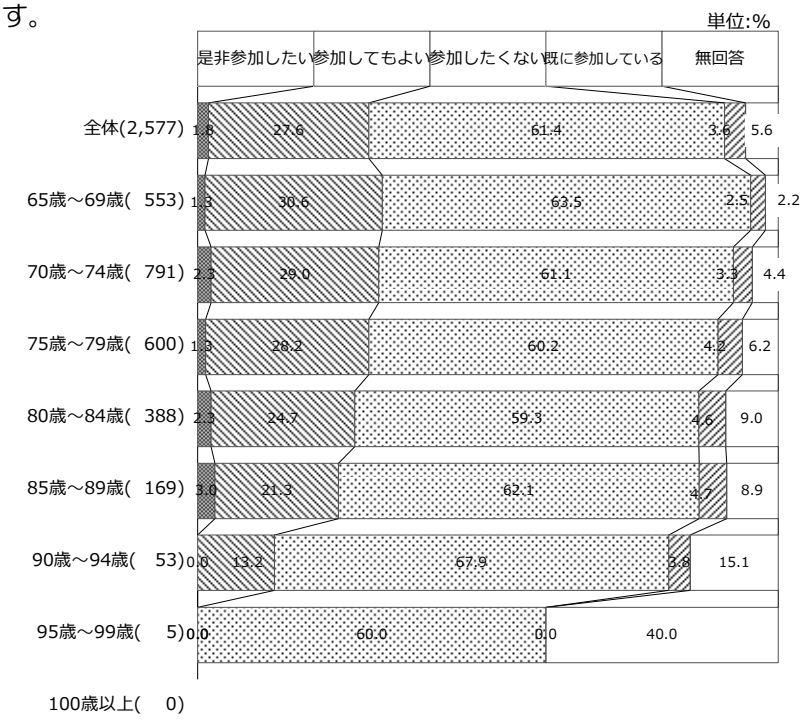
	全体	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	2,577	140	1,122	1,043	139	133
	100.0	5.4	43.5	40.5	5.4	5.2
青梅	236	18	101	93	14	10
	100.0	7.6	42.8	39.4	5.9	4.2
東青梅	320	21	131	126	23	19
	100.0	6.6	40.9	39.4	7.2	5.9
長淵	408	24	204	145	16	19
	100.0	5.9	50.0	35.5	3.9	4.7
河辺	312	12	135	135	15	15
	100.0	3.8	43.3	43.3	4.8	4.8
梅郷	227	11	87	100	15	14
	100.0	4.8	38.3	44.1	6.6	6.2
沢井	88	5	44	24	7	8
	100.0	5.7	50.0	27.3	8.0	9.1
大門	344	19	133	152	19	21
	100.0	5.5	38.7	44.2	5.5	6.1
新町	300	14	144	120	13	9
	100.0	4.7	48.0	40.0	4.3	3.0
今井	197	11	77	90	10	9
	100.0	5.6	39.1	45.7	5.1	4.6
小曾木	84	3	36	34	4	7
	100.0	3.6	42.9	40.5	4.8	8.3
成木	43	2	19	18	3	1
	100.0	4.7	44.2	41.9	7.0	2.3
無回答	18	-	11	6	-	1
	100.0	-	61.1	33.3	-	5.6

（3）地域活動への積極的参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が61.4%で最も多く、「参加してもよい」（27.6%）、「既に参加している」（3.6%）、「是非参加したい」（1.8%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた構成比が下がっています。



これを地区区分でみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると「第１地区」の比率が最も高く、「参加したくない」では「第３地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		2,577	1.8	27.6	61.4	3.6	5.6
居住地区	第１地区	556	2.3	31.1	56.3	4.7	5.6
	第２地区	1,035	1.7	27.1	61.9	3.6	5.7
	第３地区	968	1.7	26.1	63.5	3.1	5.6
	無回答	18	-	33.3	66.7	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	2,577	47	712	1,581	93	144
	100.0	1.8	27.6	61.4	3.6	5.6
青梅	236	8	71	134	13	10
	100.0	3.4	30.1	56.8	5.5	4.2
東青梅	320	5	102	179	13	21
	100.0	1.6	31.9	55.9	4.1	6.6
長淵	408	12	112	253	10	21
	100.0	2.9	27.5	62.0	2.5	5.1
河辺	312	3	86	195	10	18
	100.0	1.0	27.6	62.5	3.2	5.8
梅郷	227	3	54	148	11	11
	100.0	1.3	23.8	65.2	4.8	4.8
沢井	88	-	28	45	6	9
	100.0	-	31.8	51.1	6.8	10.2
大門	344	3	81	228	11	21
	100.0	0.9	23.5	66.3	3.2	6.1
新町	300	5	87	186	7	15
	100.0	1.7	29.0	62.0	2.3	5.0
今井	197	5	51	124	7	10
	100.0	2.5	25.9	62.9	3.6	5.1
小曾木	84	3	27	47	2	5
	100.0	3.6	32.1	56.0	2.4	6.0
成木	43	-	7	30	3	3
	100.0	-	16.3	69.8	7.0	7.0
無回答	18	-	6	12	-	-
	100.0	-	33.3	66.7	-	-

8 たすけあい

（1）心配事や愚痴を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が54.9%で最も多く、「友人」（43.5%）、「別居の子ども」（36.9%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（33.9%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「配偶者」「友人」の構成比が低くなり、また、「別居の子ども」「同居の子ども」の構成比が高くなっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	54.9	21.0	36.9	33.9	12.5	43.5	2.4	5.7	1.7
年齢	65歳～69歳	553	64.7	18.4	36.5	36.9	9.9	49.7	3.6	5.4	1.1
	70歳～74歳	791	59.8	18.0	35.0	33.0	11.1	46.5	2.5	6.7	0.9
	75歳～79歳	600	54.0	19.7	36.2	34.7	12.8	43.0	1.7	5.0	2.0
	80歳～84歳	388	49.2	26.8	38.4	34.0	17.8	37.1	2.1	5.2	1.5
	85歳～89歳	169	32.0	28.4	40.8	27.8	16.6	32.5	2.4	4.7	4.1
	90歳～94歳	53	11.3	39.6	45.3	34.0	7.5	22.6	－	5.7	7.5
	95歳～99歳	5	－	40.0	80.0	－	20.0	20.0	－	20.0	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	55.6	16.7	44.4	22.2	－	38.9	－	16.7	5.6

「そのような人はいない」の比率を地区別でみてみると、「第１地区」が僅かながら高くなっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	54.9	21.0	36.9	33.9	12.5	43.5	2.4	5.7	1.7
居住地区	第１地区	556	54.1	18.5	35.1	33.3	11.3	44.6	3.1	6.8	1.4
	第２地区	1,035	54.6	21.4	37.8	35.6	13.1	42.7	2.5	5.2	2.0
	第３地区	968	55.8	22.0	36.8	32.7	12.7	43.7	2.0	5.5	1.3
	無回答	18	55.6	16.7	44.4	22.2	-	38.9	-	16.7	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	2,577	1,416	540	950	874	322	1,120	62	148	43
	100.0	54.9	21.0	36.9	33.9	12.5	43.5	2.4	5.7	1.7
青梅	236	126	40	82	84	32	113	7	13	4
	100.0	53.4	16.9	34.7	35.6	13.6	47.9	3.0	5.5	1.7
東青梅	320	175	63	113	101	31	135	10	25	4
	100.0	54.7	19.7	35.3	31.6	9.7	42.2	3.1	7.8	1.3
長淵	408	223	92	158	151	60	179	10	24	7
	100.0	54.7	22.5	38.7	37.0	14.7	43.9	2.5	5.9	1.7
河辺	312	166	52	115	107	28	136	8	14	9
	100.0	53.2	16.7	36.9	34.3	9.0	43.6	2.6	4.5	2.9
梅郷	227	131	56	91	79	29	88	6	9	2
	100.0	57.7	24.7	40.1	34.8	12.8	38.8	2.6	4.0	0.9
沢井	88	45	21	27	31	19	39	2	7	3
	100.0	51.1	23.9	30.7	35.2	21.6	44.3	2.3	8.0	3.4
大門	344	184	75	125	115	41	159	9	13	5
	100.0	53.5	21.8	36.3	33.4	11.9	46.2	2.6	3.8	1.5
新町	300	177	60	114	94	34	131	5	20	5
	100.0	59.0	20.0	38.0	31.3	11.3	43.7	1.7	6.7	1.7
今井	197	113	50	66	59	22	82	4	14	2
	100.0	57.4	25.4	33.5	29.9	11.2	41.6	2.0	7.1	1.0
小曾木	84	43	18	35	28	21	36	1	3	1
	100.0	51.2	21.4	41.7	33.3	25.0	42.9	1.2	3.6	1.2
成木	43	23	10	16	21	5	15	-	3	-
	100.0	53.5	23.3	37.2	48.8	11.6	34.9	-	7.0	-
無回答	18	10	3	8	4	-	7	-	3	1
	100.0	55.6	16.7	44.4	22.2	-	38.9	-	16.7	5.6

（2）心配事や愚痴を聞いてあげる人

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」が52.3%で最も多く、「友人」（44.0%）、「別居の子ども」（35.3%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（34.8%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「配偶者」「友人」の構成比が低くなり、また、「そのような人はいない」の構成比が高くなっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	52.3	18.9	35.3	34.8	14.2	44.0	1.6	7.3	2.6
年齢	65歳～69歳	553	63.7	19.9	38.5	40.5	12.1	50.5	2.5	5.4	1.3
	70歳～74歳	791	57.4	17.6	37.0	36.2	14.2	47.2	2.1	6.8	1.1
	75歳～79歳	600	50.5	18.3	33.8	32.7	14.3	43.8	1.2	6.0	2.8
	80歳～84歳	388	44.8	21.1	32.0	32.5	16.2	36.9	0.8	9.8	3.1
	85歳～89歳	169	28.4	16.6	29.0	27.2	17.8	32.5	－	10.1	8.9
	90歳～94歳	53	11.3	24.5	34.0	30.2	11.3	26.4	－	17.0	11.3
	95歳～99歳	5	－	40.0	40.0	－	－	－	－	40.0	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	55.6	11.1	38.9	22.2	16.7	44.4	－	5.6	5.6

地区別でみると、「配偶者」「友人」とも「第３地区」の構成比が高くなっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	52.3	18.9	35.3	34.8	14.2	44.0	1.6	7.3	2.6
居住地区	第１地区	556	52.0	18.3	33.6	34.7	15.6	43.9	2.0	6.8	2.0
	第２地区	1,035	51.0	19.8	35.7	35.7	13.8	43.6	1.6	6.9	3.6
	第３地区	968	53.7	18.3	35.7	34.3	13.8	44.6	1.3	8.0	1.9
	無回答	18	55.6	11.1	38.9	22.2	16.7	44.4	-	5.6	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	2,577	1,347	486	909	898	367	1,135	41	187	67
	100.0	52.3	18.9	35.3	34.8	14.2	44.0	1.6	7.3	2.6
青梅	236	124	41	87	91	44	106	6	14	4
	100.0	52.5	17.4	36.9	38.6	18.6	44.9	2.5	5.9	1.7
東青梅	320	165	61	100	102	43	138	5	24	7
	100.0	51.6	19.1	31.3	31.9	13.4	43.1	1.6	7.5	2.2
長淵	408	217	84	152	145	65	181	8	24	12
	100.0	53.2	20.6	37.3	35.5	15.9	44.4	2.0	5.9	2.9
河辺	312	149	48	116	115	29	142	6	23	12
	100.0	47.8	15.4	37.2	36.9	9.3	45.5	1.9	7.4	3.8
梅郷	227	121	53	77	80	33	88	2	16	6
	100.0	53.3	23.3	33.9	35.2	14.5	38.8	0.9	7.0	2.6
沢井	88	41	20	24	29	16	40	1	8	7
	100.0	46.6	22.7	27.3	33.0	18.2	45.5	1.1	9.1	8.0
大門	344	175	62	130	114	45	159	7	23	4
	100.0	50.9	18.0	37.8	33.1	13.1	46.2	2.0	6.7	1.2
新町	300	172	54	109	102	32	137	2	27	10
	100.0	57.3	18.0	36.3	34.0	10.7	45.7	0.7	9.0	3.3
今井	197	108	37	63	67	25	85	2	18	3
	100.0	54.8	18.8	32.0	34.0	12.7	43.1	1.0	9.1	1.5
小曾木	84	40	12	29	29	23	35	2	6	1
	100.0	47.6	14.3	34.5	34.5	27.4	41.7	2.4	7.1	1.2
成木	43	25	12	15	20	9	16	-	3	-
	100.0	58.1	27.9	34.9	46.5	20.9	37.2	-	7.0	-
無回答	18	10	2	7	4	3	8	-	1	1
	100.0	55.6	11.1	38.9	22.2	16.7	44.4	-	5.6	5.6

（3）看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が60.4%で最も多く、「別居の子ども」（33.3%）、「同居の子ども」（26.4%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（15.7%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「配偶者」の構成比が下がり、「別居の子ども」「同居の子ども」の構成比が上がっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	60.4	26.4	33.3	15.7	2.1	5.8	0.9	8.0	1.7
年齢	65歳～69歳	553	71.2	22.6	26.8	16.1	1.6	6.7	0.9	8.9	1.1
	70歳～74歳	791	67.4	22.3	32.2	15.8	2.0	5.1	1.4	7.6	1.0
	75歳～79歳	600	57.5	26.3	33.8	17.8	1.5	6.3	0.3	8.5	2.3
	80歳～84歳	388	53.9	33.8	38.7	14.4	3.1	6.4	0.8	6.7	1.3
	85歳～89歳	169	33.1	35.5	41.4	11.8	4.7	4.7	1.8	5.9	4.7
	90歳～94歳	53	18.9	45.3	49.1	15.1	－	3.8	－	9.4	3.8
	95歳～99歳	5	－	40.0	60.0	－	－	－	－	20.0	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	55.6	22.2	22.2	－	－	－	－	16.7	5.6

地区別でみてみると、「配偶者」は「第３地区」の構成比が高くなっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	60.4	26.4	33.3	15.7	2.1	5.8	0.9	8.0	1.7
居住地区	第１地区	556	57.7	24.5	30.9	16.9	2.5	6.8	1.3	9.7	1.8
	第２地区	1,035	59.8	26.2	35.1	16.7	2.3	4.9	0.9	8.3	1.7
	第３地区	968	62.7	27.8	33.1	14.3	1.7	6.3	0.8	6.4	1.7
	無回答	18	55.6	22.2	22.2	-	-	-	-	16.7	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	2,577	1,557	680	859	405	54	150	24	205	45
	100.0	60.4	26.4	33.3	15.7	2.1	5.8	0.9	8.0	1.7
青梅	236	139	57	77	45	7	21	2	20	5
	100.0	58.9	24.2	32.6	19.1	3.0	8.9	0.8	8.5	2.1
東青梅	320	182	79	95	49	7	17	5	34	5
	100.0	56.9	24.7	29.7	15.3	2.2	5.3	1.6	10.6	1.6
長淵	408	243	106	144	65	11	25	1	42	8
	100.0	59.6	26.0	35.3	15.9	2.7	6.1	0.2	10.3	2.0
河辺	312	177	70	106	52	4	11	4	25	6
	100.0	56.7	22.4	34.0	16.7	1.3	3.5	1.3	8.0	1.9
梅郷	227	146	70	82	36	5	8	2	11	1
	100.0	64.3	30.8	36.1	15.9	2.2	3.5	0.9	4.8	0.4
沢井	88	53	25	31	20	4	7	2	8	3
	100.0	60.2	28.4	35.2	22.7	4.5	8.0	2.3	9.1	3.4
大門	344	213	100	114	51	6	27	3	22	4
	100.0	61.9	29.1	33.1	14.8	1.7	7.8	0.9	6.4	1.2
新町	300	199	72	100	35	3	16	2	23	6
	100.0	66.3	24.0	33.3	11.7	1.0	5.3	0.7	7.7	2.0
今井	197	126	58	63	29	1	10	2	7	4
	100.0	64.0	29.4	32.0	14.7	0.5	5.1	1.0	3.6	2.0
小曾木	84	44	23	30	17	4	6	1	6	2
	100.0	52.4	27.4	35.7	20.2	4.8	7.1	1.2	7.1	2.4
成木	43	25	16	13	6	2	2	-	4	-
	100.0	58.1	37.2	30.2	14.0	4.7	4.7	-	9.3	-
無回答	18	10	4	4	-	-	-	-	3	1
	100.0	55.6	22.2	22.2	-	-	-	-	16.7	5.6

（4）看病や世話をしてあげる人

反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

「配偶者」が 60.8％で最も多く、「別居の子ども」（26.9％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（22.9％）、「同居の子ども」（22.4％）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「配偶者」の構成比が下がり、「そのような人はいない」の構成比が上がっています。

		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	60.8	22.4	26.9	22.9	3.4	8.9	0.9	13.0	3.9
年齢	65歳～69歳	553	72.0	24.4	29.7	28.6	2.5	9.2	0.7	9.8	1.6
	70歳～74歳	791	67.1	20.1	30.2	25.0	3.5	9.4	1.0	11.3	2.1
	75歳～79歳	600	57.8	22.3	29.2	23.8	3.3	10.8	0.5	11.0	4.3
	80歳～84歳	388	53.9	25.3	19.8	17.0	3.6	6.7	0.8	16.5	5.2
	85歳～89歳	169	36.7	17.8	13.6	10.7	5.9	5.9	1.8	24.9	11.2
	90歳～94歳	53	15.1	20.8	15.1	11.3	3.8	1.9	3.8	32.1	15.1
	95歳～99歳	5	－	40.0	－	－	－	－	－	40.0	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	66.7	38.9	33.3	5.6	－	11.1	－	11.1	5.6

「そのような人はいない」の比率を地区別でみてみると、「第２地区」の構成比が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	自治会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	5.7	9.8	5.0	25.0	14.6	7.9	44.2	7.4
居住地区	第１地区	556	7.2	10.8	5.2	29.5	14.2	7.6	41.5	6.8
	第２地区	1,035	5.9	10.8	5.5	23.6	14.6	7.5	45.5	7.6
	第３地区	968	4.9	8.1	4.4	24.3	14.6	8.4	44.3	7.4
	無回答	18	-	11.1	5.6	5.6	22.2	11.1	50.0	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	2,577	1,567	576	692	590	88	229	23	336	101
	100.0	60.8	22.4	26.9	22.9	3.4	8.9	0.9	13.0	3.9
青梅	236	137	46	69	68	8	31	4	30	10
	100.0	58.1	19.5	29.2	28.8	3.4	13.1	1.7	12.7	4.2
東青梅	320	185	61	85	68	11	27	3	54	13
	100.0	57.8	19.1	26.6	21.3	3.4	8.4	0.9	16.9	4.1
長淵	408	246	94	116	93	19	43	5	53	16
	100.0	60.3	23.0	28.4	22.8	4.7	10.5	1.2	13.0	3.9
河辺	312	183	59	79	65	7	25	4	48	12
	100.0	58.7	18.9	25.3	20.8	2.2	8.0	1.3	15.4	3.8
梅郷	227	146	58	59	49	12	17	-	20	11
	100.0	64.3	25.6	26.0	21.6	5.3	7.5	-	8.8	4.8
沢井	88	53	22	19	21	4	9	-	11	6
	100.0	60.2	25.0	21.6	23.9	4.5	10.2	-	12.5	6.8
大門	344	209	83	80	79	10	38	3	39	14
	100.0	60.8	24.1	23.3	23.0	2.9	11.0	0.9	11.3	4.1
新町	300	201	68	95	72	6	17	-	39	9
	100.0	67.0	22.7	31.7	24.0	2.0	5.7	-	13.0	3.0
今井	197	122	49	52	44	4	13	3	20	6
	100.0	61.9	24.9	26.4	22.3	2.0	6.6	1.5	10.2	3.0
小曾木	84	46	15	24	19	5	4	1	15	3
	100.0	54.8	17.9	28.6	22.6	6.0	4.8	1.2	17.9	3.6
成木	43	27	14	8	11	2	3	-	5	-
	100.0	62.8	32.6	18.6	25.6	4.7	7.0	-	11.6	-
無回答	18	12	7	6	1	-	2	-	2	1
	100.0	66.7	38.9	33.3	5.6	-	11.1	-	11.1	5.6

（5）家族や友人･知人以外の相談相手

家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「医師・歯科医師・看護師」が 25.0%で最も多く、「地域包括支援センター・市役所」（14.6%）、「社会福祉協議会・民生委員」（9.8%）、「自治会・高齢者クラブ」（5.7%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「社会福祉協議会・民生委員」の構成比が上がっています。

		全体	自治会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	5.7	9.8	5.0	25.0	14.6	7.9	44.2	7.4
年齢	65歳～69歳	553	4.5	5.6	2.9	25.3	13.7	9.9	49.2	6.0
	70歳～74歳	791	5.7	7.3	3.9	25.4	13.1	9.6	47.5	6.4
	75歳～79歳	600	5.0	11.5	5.2	22.0	17.7	5.8	41.5	8.7
	80歳～84歳	388	8.0	14.7	6.4	27.8	15.5	6.7	38.9	8.5
	85歳～89歳	169	8.3	14.8	11.2	20.7	13.0	5.3	37.9	9.5
	90歳～94歳	53	5.7	15.1	11.3	49.1	3.8	-	30.2	7.5
	95歳～99歳	5	-	40.0	20.0	20.0	20.0	-	60.0	-
	100歳以上	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	-	11.1	5.6	5.6	22.2	11.1	50.0	5.6

「そのような人はいない」の比率を地区別でみてみると、「そのような人はいない」の構成比が「第２地区」の構成比が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	自治会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	2,577	5.7	9.8	5.0	25.0	14.6	7.9	44.2	7.4
居住地区	第１地区	556	7.2	10.8	5.2	29.5	14.2	7.6	41.5	6.8
	第２地区	1,035	5.9	10.8	5.5	23.6	14.6	7.5	45.5	7.6
	第３地区	968	4.9	8.1	4.4	24.3	14.6	8.4	44.3	7.4
	無回答	18	-	11.1	5.6	5.6	22.2	11.1	50.0	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	自治会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体	2,577	148	252	130	644	375	203	1,140	190
	100.0	5.7	9.8	5.0	25.0	14.6	7.9	44.2	7.4
青梅	236	22	28	15	77	37	15	92	15
	100.0	9.3	11.9	6.4	32.6	15.7	6.4	39.0	6.4
東青梅	320	18	32	14	87	42	27	139	23
	100.0	5.6	10.0	4.4	27.2	13.1	8.4	43.4	7.2
長淵	408	20	40	18	89	49	35	200	32
	100.0	4.9	9.8	4.4	21.8	12.0	8.6	49.0	7.8
河辺	312	19	26	20	68	55	21	151	18
	100.0	6.1	8.3	6.4	21.8	17.6	6.7	48.4	5.8
梅郷	227	14	26	13	59	36	15	91	20
	100.0	6.2	11.5	5.7	26.0	15.9	6.6	40.1	8.8
沢井	88	8	20	6	28	11	7	29	9
	100.0	9.1	22.7	6.8	31.8	12.5	8.0	33.0	10.2
大門	344	20	27	18	78	53	27	147	32
	100.0	5.8	7.8	5.2	22.7	15.4	7.8	42.7	9.3
新町	300	6	18	14	79	43	28	133	24
	100.0	2.0	6.0	4.7	26.3	14.3	9.3	44.3	8.0
今井	197	8	11	4	39	26	14	106	10
	100.0	4.1	5.6	2.0	19.8	13.2	7.1	53.8	5.1
小曾木	84	8	15	5	28	12	7	26	5
	100.0	9.5	17.9	6.0	33.3	14.3	8.3	31.0	6.0
成木	43	5	7	2	11	7	5	17	1
	100.0	11.6	16.3	4.7	25.6	16.3	11.6	39.5	2.3
無回答	18	-	2	1	1	4	2	9	1
	100.0	-	11.1	5.6	5.6	22.2	11.1	50.0	5.6

（6）友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

「月に何度かある」が 25.8%で最も多く、「週に何度かある」（24.2%）、「年に何度かある」（20.7%）、「ほとんどない」（20.1%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「ほとんどない」構成比が上がっています。

		全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
	全体	2,577	5.1	24.2	25.8	20.7	20.1	4.1
年齢	65歳～69歳	553	6.1	21.5	23.0	25.0	21.0	3.4
	70歳～74歳	791	5.2	23.6	26.7	22.8	18.5	3.3
	75歳～79歳	600	5.2	23.3	26.8	20.2	20.7	3.8
	80歳～84歳	388	4.6	30.2	26.8	14.4	18.8	5.2
	85歳～89歳	169	4.1	29.0	24.3	16.6	19.5	6.5
	90歳～94歳	53	1.9	17.0	24.5	15.1	32.1	9.4
	95歳～99歳	5	－	－	40.0	－	60.0	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	－	11.1	38.9	16.7	27.8	5.6

地区別でみてみると、「第１地区」で「ほとんどない」の構成比が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
	全体	2,577	5.1	24.2	25.8	20.7	20.1	4.1
居住地区	第１地区	556	4.9	23.0	24.3	19.6	23.9	4.3
	第２地区	1,035	5.2	23.5	27.6	20.5	19.0	4.2
	第３地区	968	5.3	25.8	24.6	21.7	18.8	3.8
	無回答	18	-	11.1	38.9	16.7	27.8	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	2,577	132	623	666	534	517	105
	100.0	5.1	24.2	25.8	20.7	20.1	4.1
青梅	236	14	53	66	45	48	10
	100.0	5.9	22.5	28.0	19.1	20.3	4.2
東青梅	320	13	75	69	64	85	14
	100.0	4.1	23.4	21.6	20.0	26.6	4.4
長淵	408	23	102	110	88	64	21
	100.0	5.6	25.0	27.0	21.6	15.7	5.1
河辺	312	14	69	88	59	72	10
	100.0	4.5	22.1	28.2	18.9	23.1	3.2
梅郷	227	11	54	69	43	45	5
	100.0	4.8	23.8	30.4	18.9	19.8	2.2
沢井	88	6	18	19	22	16	7
	100.0	6.8	20.5	21.6	25.0	18.2	8.0
大門	344	15	92	89	79	56	13
	100.0	4.4	26.7	25.9	23.0	16.3	3.8
新町	300	18	66	69	67	69	11
	100.0	6.0	22.0	23.0	22.3	23.0	3.7
今井	197	8	58	46	39	40	6
	100.0	4.1	29.4	23.4	19.8	20.3	3.0
小曾木	84	5	28	19	16	12	4
	100.0	6.0	33.3	22.6	19.0	14.3	4.8
成木	43	5	6	15	9	5	3
	100.0	11.6	14.0	34.9	20.9	11.6	7.0
無回答	18	-	2	7	3	5	1
	100.0	-	11.1	38.9	16.7	27.8	5.6

（7）友人・知人と会った人数

この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
同じ人には何度会っても１ 人と数えることとします。

「１～２人」が 25.0%で最も多く、「３～５人」（24.1%）、「10 人以上」（20.9%）、「０人（いない）」（17.9%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「１～２人」の構成比が上がる傾向にあります。

		全体	０人（いない）	１～２人	３～５人	６～９人	１０人以上	無回答
	全体	2,577	17.9	25.0	24.1	9.5	20.9	2.6
年齢	65歳～69歳	553	21.7	22.1	20.1	9.9	23.7	2.5
	70歳～74歳	791	16.8	23.6	22.5	12.9	22.5	1.6
	75歳～79歳	600	18.3	27.0	27.0	6.2	19.0	2.5
	80歳～84歳	388	13.1	27.1	30.4	8.5	17.8	3.1
	85歳～89歳	169	17.8	26.6	18.9	9.5	21.3	5.9
	90歳～94歳	53	18.9	32.1	28.3	3.8	13.2	3.8
	95歳～99歳	5	20.0	40.0	20.0	－	20.0	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	27.8	22.2	27.8	5.6	11.1	5.6

地区別でみてみると、「０人（いない）」の構成比が「第３地区」で最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	０人（いない）	１～２人	３～５人	６～９人	１０人以上	無回答
	全体	2,577	17.9	25.0	24.1	9.5	20.9	2.6
居住地区	第１地区	556	18.0	26.3	23.2	8.3	21.4	2.9
	第２地区	1,035	17.2	23.9	23.4	10.7	22.2	2.6
	第３地区	968	18.3	25.5	25.4	9.1	19.3	2.4
	無回答	18	27.8	22.2	27.8	5.6	11.1	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全体	2,577	460	644	622	246	538	67
	100.0	17.9	25.0	24.1	9.5	20.9	2.6
青梅	236	33	56	61	23	55	8
	100.0	14.0	23.7	25.8	9.7	23.3	3.4
東青梅	320	67	90	68	23	64	8
	100.0	20.9	28.1	21.3	7.2	20.0	2.5
長淵	408	61	96	87	51	98	15
	100.0	15.0	23.5	21.3	12.5	24.0	3.7
河辺	312	70	75	62	28	71	6
	100.0	22.4	24.0	19.9	9.0	22.8	1.9
梅郷	227	36	60	67	23	40	1
	100.0	15.9	26.4	29.5	10.1	17.6	0.4
沢井	88	11	16	26	9	21	5
	100.0	12.5	18.2	29.5	10.2	23.9	5.7
大門	344	61	84	94	33	67	5
	100.0	17.7	24.4	27.3	9.6	19.5	1.5
新町	300	63	81	62	27	60	7
	100.0	21.0	27.0	20.7	9.0	20.0	2.3
今井	197	37	50	52	14	38	6
	100.0	18.8	25.4	26.4	7.1	19.3	3.0
小曾木	84	12	21	20	13	15	3
	100.0	14.3	25.0	23.8	15.5	17.9	3.6
成木	43	4	11	18	1	7	2
	100.0	9.3	25.6	41.9	2.3	16.3	4.7
無回答	18	5	4	5	1	2	1
	100.0	27.8	22.2	27.8	5.6	11.1	5.6

（8）よく会う友人・知人との関係

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）

「近所・同じ地域の人」が 46.6%で最も多く、「趣味や関心が同じ友人」（33.5%）、「仕事での同僚・元同僚」（31.6%）、「学生時代の友人」（12.5%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「近所・同じ地域の人」の構成比が上がり、「仕事での同僚・元同僚」の構成比が下がっています。

		全体	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
	全体	2,577	46.6	7.0	12.5	31.6	33.5	5.6	8.6	12.0	2.6
年齢	65歳～69歳	553	37.3	9.8	17.0	45.9	29.8	6.3	9.2	11.6	2.9
	70歳～74歳	791	43.5	6.2	12.6	38.8	35.4	5.6	9.2	11.4	1.9
	75歳～79歳	600	48.3	7.7	11.8	25.3	34.5	5.5	7.8	12.7	3.2
	80歳～84歳	388	58.2	5.9	10.3	18.0	35.8	5.9	6.4	12.6	1.8
	85歳～89歳	169	55.6	4.1	7.1	13.6	30.8	4.7	9.5	11.8	3.6
	90歳～94歳	53	60.4	－	1.9	7.5	26.4	－	11.3	11.3	5.7
	95歳～99歳	5	60.0	－	－	－	40.0	－	20.0	20.0	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	5.6	11.1	16.7	5.6

地区別でみてみると、「近所・同じ地域の人」の構成比は「第２地区」で最も高く、「第３地区」が続いてます。

		全体	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
	全体	2,577	46.6	7.0	12.5	31.6	33.5	5.6	8.6	12.0	2.6
居住地区	第１地区	556	44.1	6.8	11.3	30.6	34.0	6.8	7.9	14.6	2.9
	第２地区	1,035	50.0	7.9	13.1	30.7	33.2	5.7	8.4	11.4	2.5
	第３地区	968	44.6	6.1	12.3	33.3	33.7	4.8	9.1	11.1	2.5
	無回答	18	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	5.6	11.1	16.7	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	2,577	1,201	181	322	814	863	144	221	309	67
	100.0	46.6	7.0	12.5	31.6	33.5	5.6	8.6	12.0	2.6
青梅	236	118	24	29	68	83	21	16	29	5
	100.0	50.0	10.2	12.3	28.8	35.2	8.9	6.8	12.3	2.1
東青梅	320	127	14	34	102	106	17	28	52	11
	100.0	39.7	4.4	10.6	31.9	33.1	5.3	8.8	16.3	3.4
長淵	408	202	26	46	137	144	23	30	43	9
	100.0	49.5	6.4	11.3	33.6	35.3	5.6	7.4	10.5	2.2
河辺	312	138	16	46	92	91	11	33	47	11
	100.0	44.2	5.1	14.7	29.5	29.2	3.5	10.6	15.1	3.5
梅郷	227	125	29	29	60	80	18	17	22	2
	100.0	55.1	12.8	12.8	26.4	35.2	7.9	7.5	9.7	0.9
沢井	88	53	11	15	29	29	7	7	6	4
	100.0	60.2	12.5	17.0	33.0	33.0	8.0	8.0	6.8	4.5
大門	344	142	28	53	114	119	13	28	38	11
	100.0	41.3	8.1	15.4	33.1	34.6	3.8	8.1	11.0	3.2
新町	300	120	12	36	95	108	22	25	41	9
	100.0	40.0	4.0	12.0	31.7	36.0	7.3	8.3	13.7	3.0
今井	197	85	8	15	73	64	6	17	22	3
	100.0	43.1	4.1	7.6	37.1	32.5	3.0	8.6	11.2	1.5
小曾木	84	53	5	9	30	28	3	17	4	1
	100.0	63.1	6.0	10.7	35.7	33.3	3.6	20.2	4.8	1.2
成木	43	32	6	6	10	7	2	1	2	-
	100.0	74.4	14.0	14.0	23.3	16.3	4.7	2.3	4.7	-
無回答	18	6	2	4	4	4	1	2	3	1
	100.0	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	5.6	11	17	6

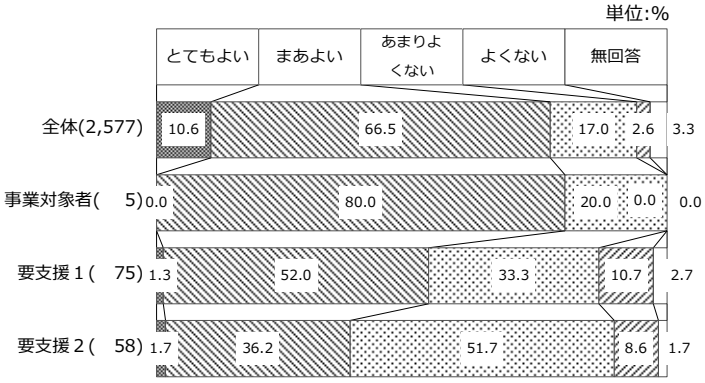
9 健康

（1）健康状態

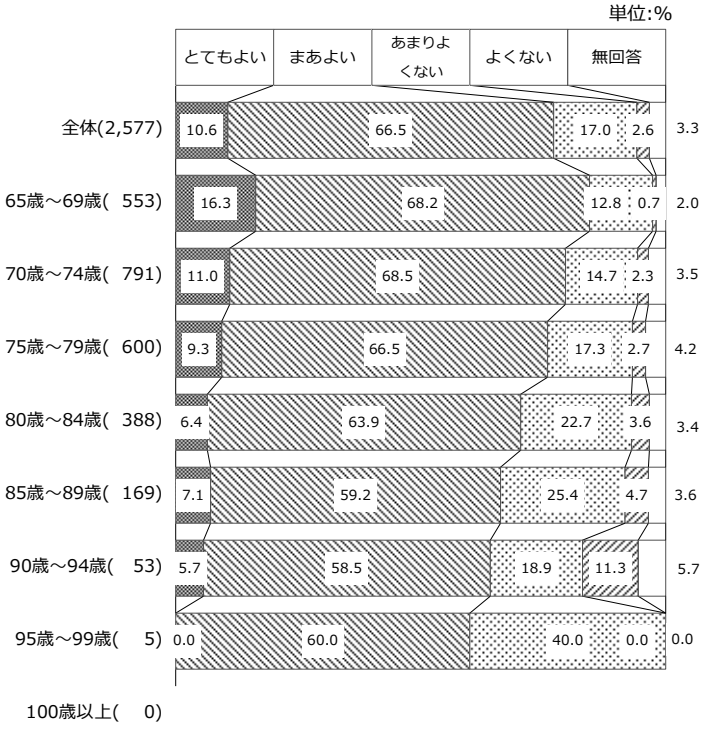
現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」が66.5%で最も多く、「あまりよくない」（17.0%）、「とてもよい」（10.6%）、「よくない」（2.6%）が続きます。

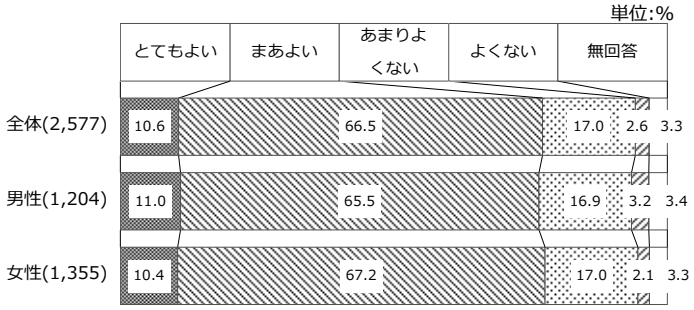
要支援度等でみると、「よくない」の構成比は「要支援２」が最も高く、「要支援１」がつづいています。



また、年齢階層が上がるほど健康状態が悪化しています。



なお、男女別にみてもさほどの差異はありません。



地区別でみてみると、「近所・同じ地域の人」の構成比は「第２地区」で最も高く、「第３地区」が続いてます。

		全体	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		2,577	10.6	66.5	17.0	2.6	3.3
居住地区	第１地区	556	11.7	66.2	16.9	2.3	2.9
	第２地区	1,035	10.0	67.1	16.9	2.9	3.1
	第３地区	968	10.7	65.9	17.0	2.4	3.9
	無回答	18	5.6	77.8	16.7	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	2,577	274	1,714	437	66	86
	100.0	10.6	66.5	17.0	2.6	3.3
青梅	236	28	155	45	3	5
	100.0	11.9	65.7	19.1	1.3	2.1
東青梅	320	37	213	49	10	11
	100.0	11.6	66.6	15.3	3.1	3.4
長淵	408	39	280	66	7	16
	100.0	9.6	68.6	16.2	1.7	3.9
河辺	312	27	206	58	15	6
	100.0	8.7	66.0	18.6	4.8	1.9
梅郷	227	30	149	39	4	5
	100.0	13.2	65.6	17.2	1.8	2.2
沢井	88	8	59	12	4	5
	100.0	9.1	67.0	13.6	4.5	5.7
大門	344	28	232	61	7	16
	100.0	8.1	67.4	17.7	2.0	4.7
新町	300	36	202	46	5	11
	100.0	12.0	67.3	15.3	1.7	3.7
今井	197	25	120	38	8	6
	100.0	12.7	60.9	19.3	4.1	3.0
小曾木	84	10	60	10	2	2
	100.0	11.9	71.4	11.9	2.4	2.4
成木	43	5	24	10	1	3
	100.0	11.6	55.8	23.3	2.3	7.0
無回答	18	1	14	3	-	-
	100.0	5.6	77.8	16.7	-	-

（2）幸福度

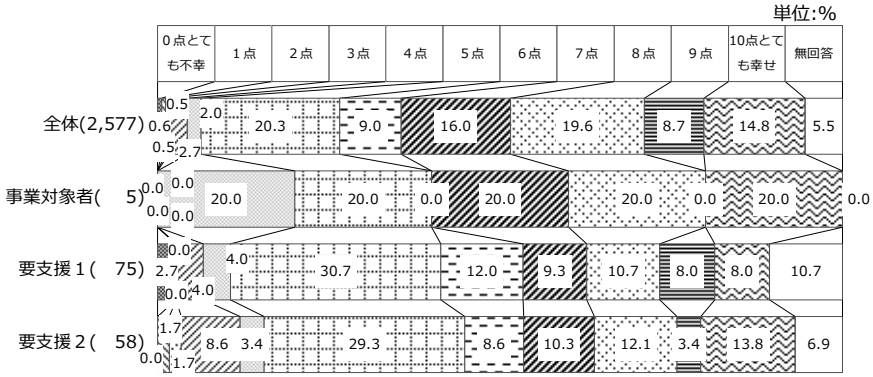
あなたは、現在どの程度幸せですか （「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）

「５点」が 20.3%で最も多く、「８点」（19.6%）、「７点」（16.0%）、「10 点とても幸せ」（14.8%）が続きます。なお、平均値は 7.1 でした。

前期調査と比較すると、全体的に低下しています。

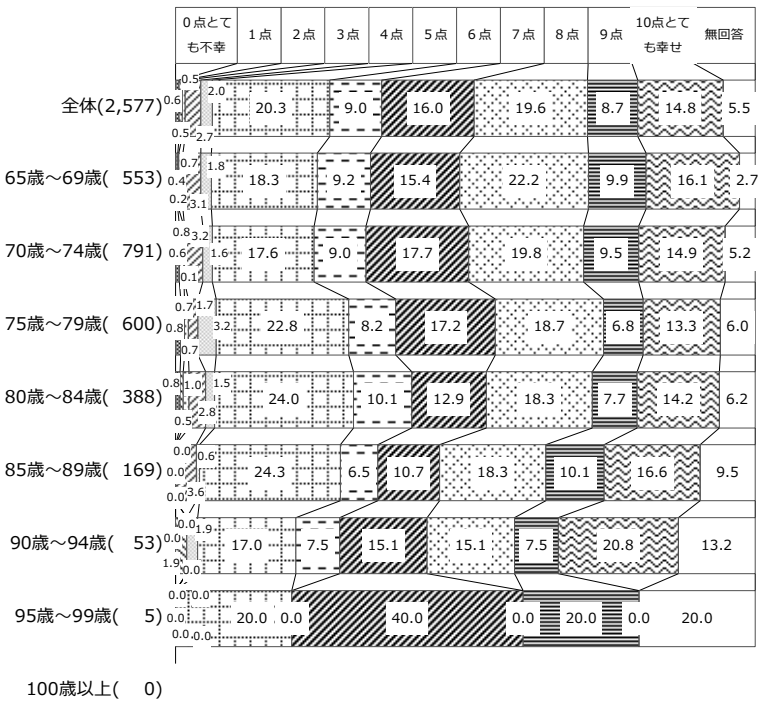
要支援度等でみると、点数は「要支援２」が最も低く、「要支援１」が続いています。

単位:%



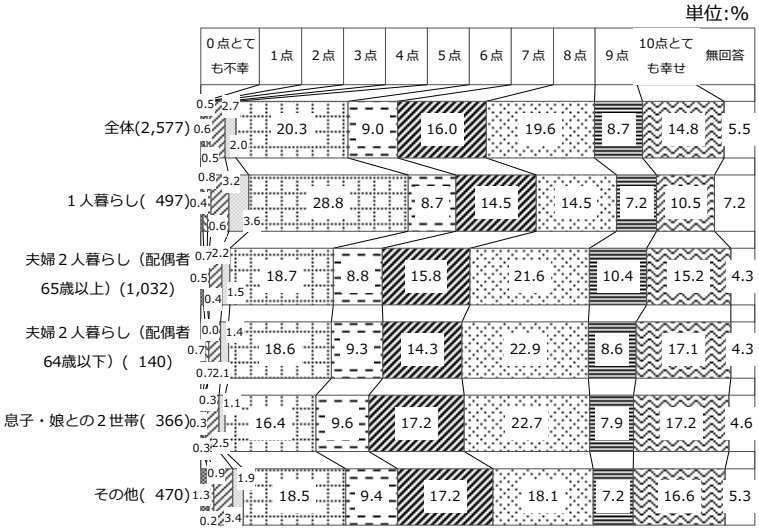
また、75 歳以上になると、年齢階層が高くなるほど幸福度が上がっていました。

単位:%



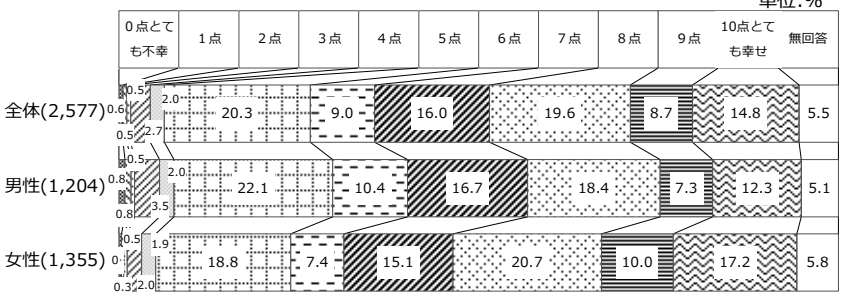
なお、「１人暮らし」では相対的に幸福度が低くなっています。

単位:%



なお、男女別にみると、「男性」の幸福度が低い傾向にあります。

単位:%



地区別でみてみると、「5 点」以上の構成比は「第２地区」で最も高く、「第１区」が続いてます。

		全体	0点とても不幸	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点とても幸せ	無回答
全体		2,577	0.6	0.5	0.5	2.7	2.0	20.3	9.0	16.0	19.6	8.7	14.8	5.5
居住地区	第１地区	556	1.1	0.4	0.4	2.5	2.5	18.3	9.5	13.7	20.9	10.8	14.7	5.2
	第２地区	1,035	0.4	0.8	0.4	3.4	1.3	21.5	8.4	16.6	20.2	7.6	14.6	4.8
	第３地区	968	0.5	0.4	0.7	2.1	2.4	20.2	8.8	16.3	18.3	8.7	15.3	6.3
	無回答	18	-	-	-	5.6	5.6	5.6	33.3	33.3	11.1	-	-	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

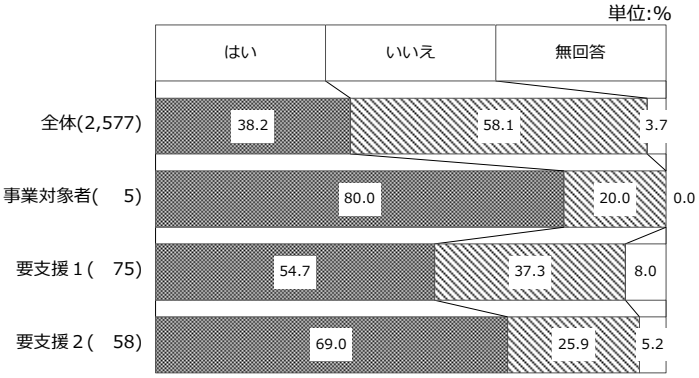
	全体	0点とても不幸	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点とても幸せ	無回答
全体	2,577	15	14	13	70	51	522	231	412	504	223	381	141
	100.0	0.6	0.5	0.5	2.7	2.0	20.3	9.0	16.0	19.6	8.7	14.8	5.5
青梅	236	3	1	-	6	9	40	27	34	51	25	29	11
	100.0	1.3	0.4	-	2.5	3.8	16.9	11.4	14.4	21.6	10.6	12.3	4.7
東青梅	320	3	1	2	8	5	62	26	42	65	35	53	18
	100.0	0.9	0.3	0.6	2.5	1.6	19.4	8.1	13.1	20.3	10.9	16.6	5.6
長淵	408	2	4	1	14	7	75	39	73	86	28	60	19
	100.0	0.5	1.0	0.2	3.4	1.7	18.4	9.6	17.9	21.1	6.9	14.7	4.7
河辺	312	1	3	2	14	3	77	24	53	63	30	27	15
	100.0	0.3	1.0	0.6	4.5	1.0	24.7	7.7	17.0	20.2	9.6	8.7	4.8
梅郷	227	-	1	1	6	2	56	16	33	43	14	45	10
	100.0	-	0.4	0.4	2.6	0.9	24.7	7.0	14.5	18.9	6.2	19.8	4.4
沢井	88	1	-	-	1	1	15	8	13	17	7	19	6
	100.0	1.1	-	-	1.1	1.1	17.0	9.1	14.8	19.3	8.0	21.6	6.8
大門	344	1	-	3	6	9	74	37	53	54	35	48	24
	100.0	0.3	-	0.9	1.7	2.6	21.5	10.8	15.4	15.7	10.2	14.0	7.0
新町	300	2	-	-	5	7	50	30	53	61	31	44	17
	100.0	0.7	-	-	1.7	2.3	16.7	10.0	17.7	20.3	10.3	14.7	5.7
今井	197	2	2	2	6	4	46	13	34	35	12	31	10
	100.0	1.0	1.0	1.0	3.0	2.0	23.4	6.6	17.3	17.8	6.1	15.7	5.1
小曾木	84	-	2	1	2	3	17	4	12	21	5	12	5
	100.0	-	2.4	1.2	2.4	3.6	20.2	4.8	14.3	25.0	6.0	14.3	6.0
成木	43	-	-	1	1	-	9	1	6	6	1	13	5
	100.0	-	-	2.3	2.3	-	20.9	2.3	14.0	14.0	2.3	30.2	11.6
無回答	18	-	-	-	1	1	1	6	6	2	-	-	1
	100.0	-	-	-	5.6	5.6	5.6	33.3	33.3	11.1	-	-	5.6

（3）ゆううつな気持ちの有無

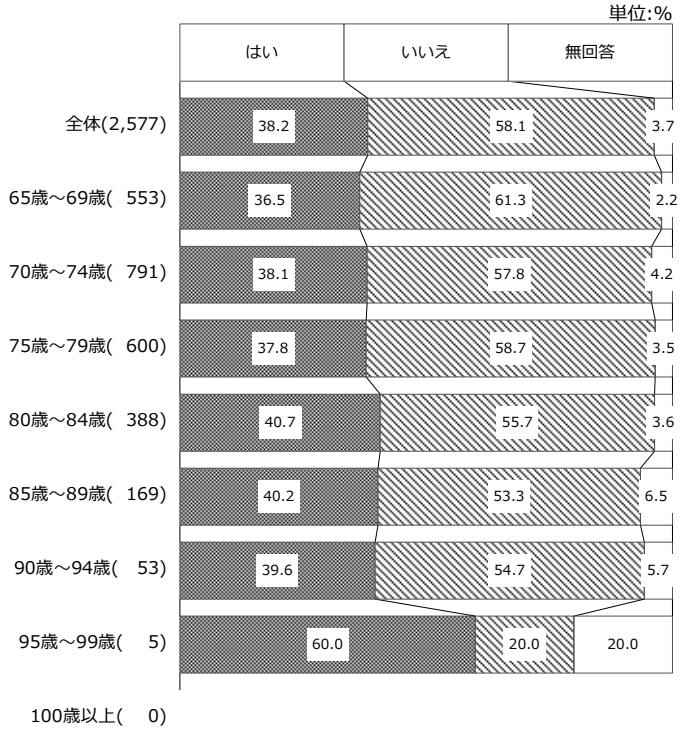
この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「いいえ」は 58.1%、「はい」は 38.2%となっています。

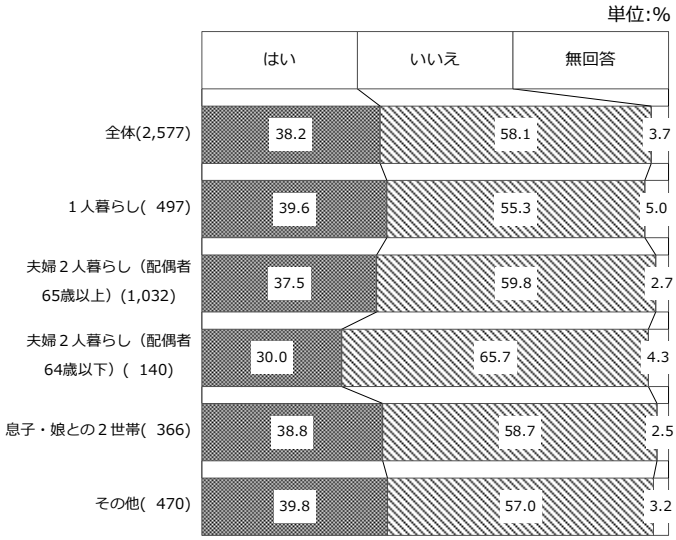
要支援度等でみると、「はい」は「事業対象者」が最も高く、「要支援２」が続いています。



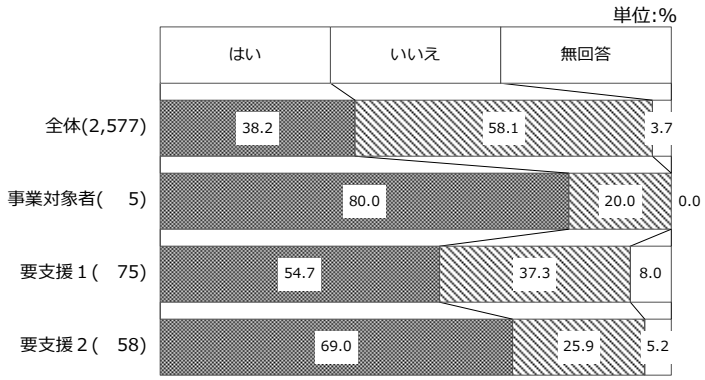
また、80 歳以上になると「はい」の比率が高くなっています。



なお、「夫婦２人暮らし」では「はい」の比率が相対的に低くなっています。



なお、男女別にみると、「女性」の「はい」の比率が高くなっています。



地区別でみてみると、「はい」の構成比は「第３地区」で最も高く、「第２区」が続いてます。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	38.2	58.1	3.7
居住地区	第１地区	556	37.9	58.3	3.8
	第２地区	1,035	38.2	58.4	3.5
	第３地区	968	38.6	57.4	3.9
	無回答	18	22.2	77.8	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

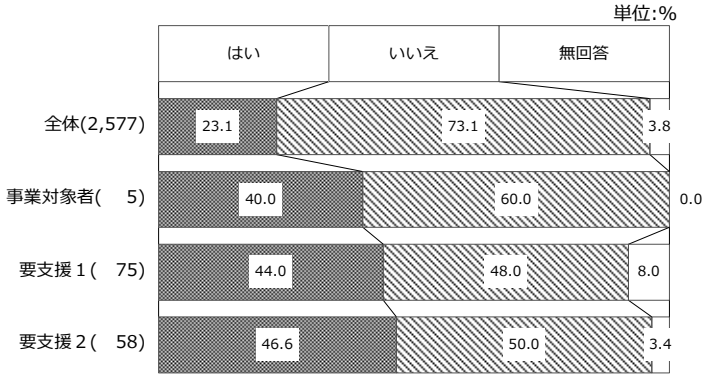
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	984	1,498	95
	100.0	38.2	58.1	3.7
青梅	236	81	149	6
	100.0	34.3	63.1	2.5
東青梅	320	130	175	15
	100.0	40.6	54.7	4.7
長淵	408	153	240	15
	100.0	37.5	58.8	3.7
河辺	312	125	175	12
	100.0	40.1	56.1	3.8
梅郷	227	84	138	5
	100.0	37.0	60.8	2.2
沢井	88	33	51	4
	100.0	37.5	58.0	4.5
大門	344	146	186	12
	100.0	42.4	54.1	3.5
新町	300	112	174	14
	100.0	37.3	58.0	4.7
今井	197	75	116	6
	100.0	38.1	58.9	3.0
小曾木	84	32	49	3
	100.0	38.1	58.3	3.6
成木	43	9	31	3
	100.0	20.9	72.1	7.0
無回答	18	4	14	-
	100.0	22.2	77.8	-

（4）興味がわかない、心から楽しめない感じの有無

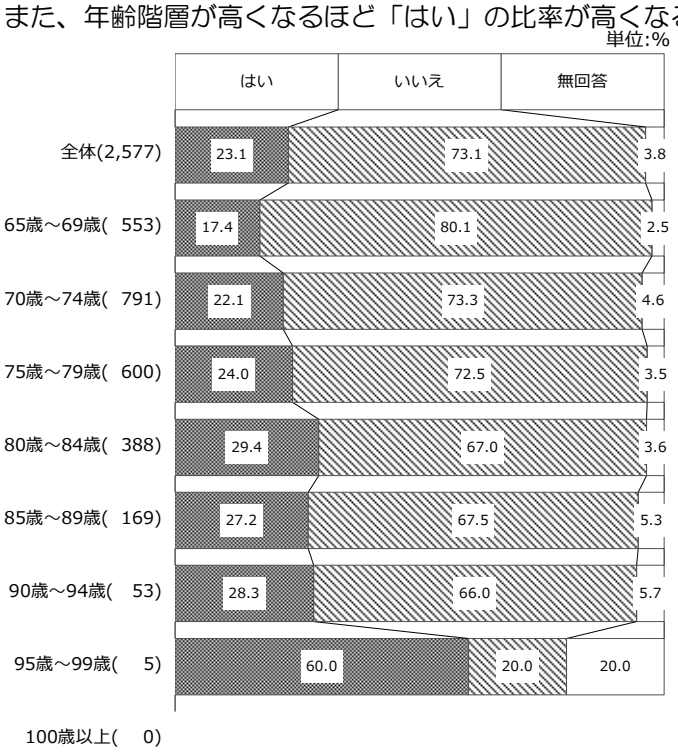
この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「いいえ」は 73.1%、「はい」は 23.1%となっています。

要支援度等でみると、「はい」は「要支援２」が最も高く、「要支援１」が続いています。

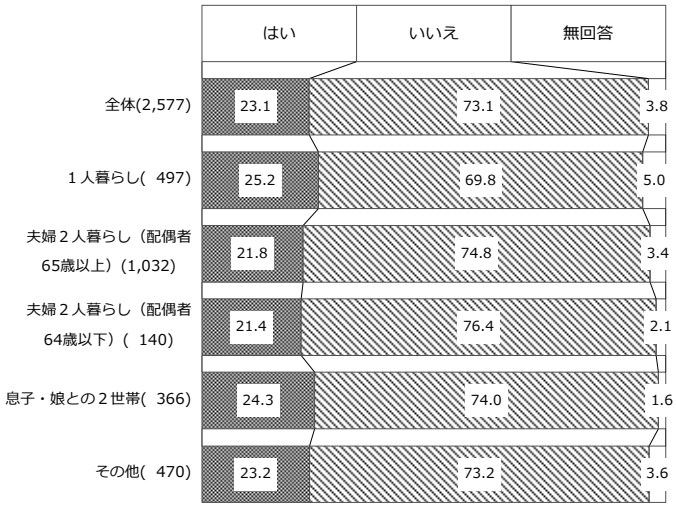


また、年齢階層が高くなるほど「はい」の比率が高くなる傾向にあります。



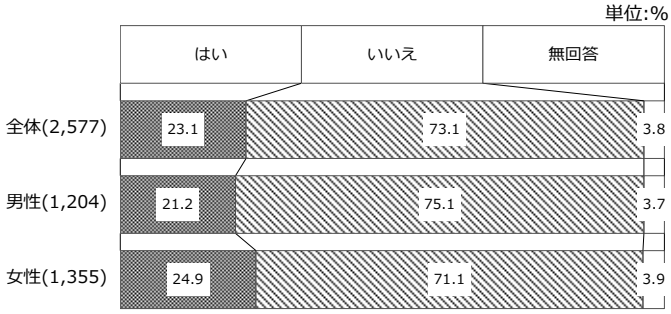
なお、「はい」でみると「１人暮らし」の比率が高く、「夫婦２人暮らし」の比率が低くなっています。

単位:%



男女別にみると、「女性」の「はい」の比率が高くなっています。

単位:%



地区別でみてみると、「はい」の構成比は「第２地区」で最も高く、「第３区」が続いてます。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	23.1	73.1	3.8
居住地区	第１地区	556	21.9	74.5	3.6
	第２地区	1,035	24.4	71.8	3.8
	第３地区	968	22.5	73.5	4.0
	無回答	18	16.7	83.3	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

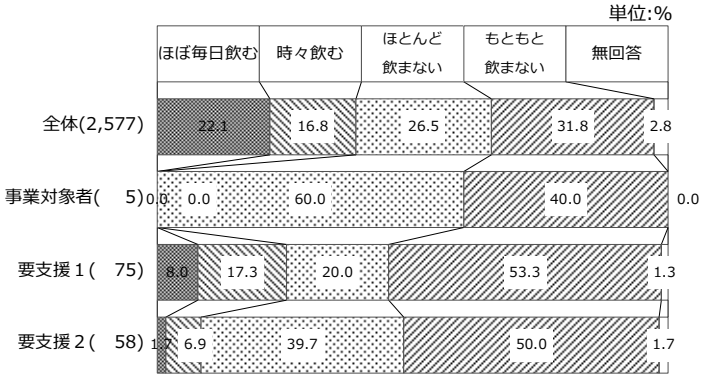
	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	596	1,883	98
	100.0	23.1	73.1	3.8
青梅	236	56	173	7
	100.0	23.7	73.3	3.0
東青梅	320	66	241	13
	100.0	20.6	75.3	4.1
長淵	408	92	299	17
	100.0	22.5	73.3	4.2
河辺	312	80	218	14
	100.0	25.6	69.9	4.5
梅郷	227	60	163	4
	100.0	26.4	71.8	1.8
沢井	88	21	63	4
	100.0	23.9	71.6	4.5
大門	344	87	244	13
	100.0	25.3	70.9	3.8
新町	300	59	228	13
	100.0	19.7	76.0	4.3
今井	197	45	143	9
	100.0	22.8	72.6	4.6
小曾木	84	20	63	1
	100.0	23.8	75.0	1.2
成木	43	7	33	3
	100.0	16.3	76.7	7.0
無回答	18	3	15	-
	100.0	16.7	83.3	-

（5）飲酒の有無

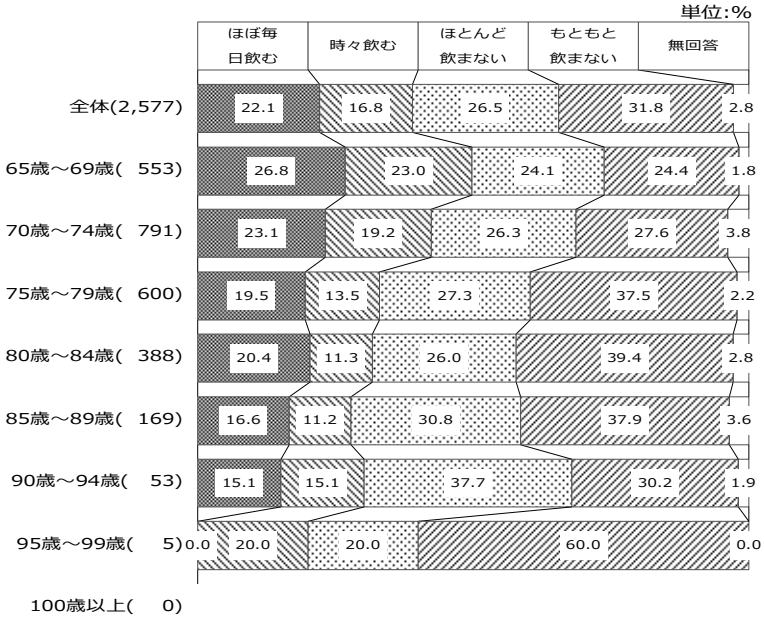
お酒は飲みますか

「もともと飲まない」が 31.8％で最も多く、「ほとんど飲まない」（26.5％）、「ほぼ毎日飲む」（22.1％）、「時々飲む」（16.8％）が続きます。

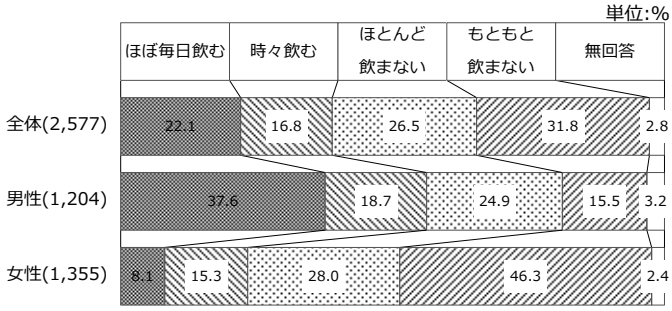
要支援度等でみると、「もともと飲まない」「ほとんど飲まない」を合わせた比率は「事業対象者」が最も高く、「要支援２」が続いています。



また、年齢階層が高くなるほど飲酒率が低くなる傾向にあります。



男女別にみると、「男性」の飲酒率が高くなっています。



地区別でみてみると、「もともと飲まない」の構成比は「第３地区」で最も高く、「第２区」が続いてます。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	23.1	73.1	3.8
居住地区	第１地区	556	21.9	74.5	3.6
	第２地区	1,035	24.4	71.8	3.8
	第３地区	968	22.5	73.5	4.0
	無回答	18	16.7	83.3	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

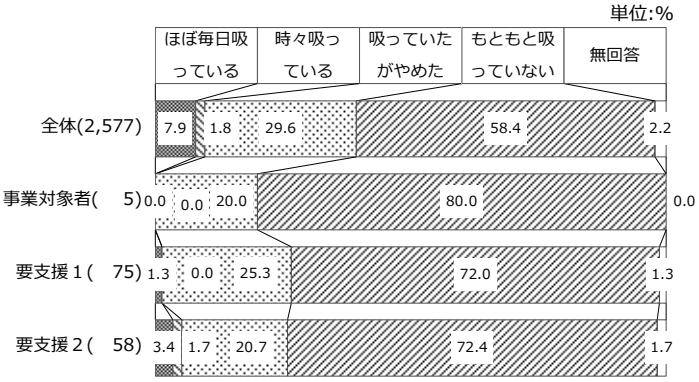
	全体	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体	2,577	569	434	684	819	71
	100.0	22.1	16.8	26.5	31.8	2.8
青梅	236	42	50	65	74	5
	100.0	17.8	21.2	27.5	31.4	2.1
東青梅	320	75	60	89	87	9
	100.0	23.4	18.8	27.8	27.2	2.8
長淵	408	83	86	107	116	16
	100.0	20.3	21.1	26.2	28.4	3.9
河辺	312	75	47	86	100	4
	100.0	24.0	15.1	27.6	32.1	1.3
梅郷	227	47	31	69	75	5
	100.0	20.7	13.7	30.4	33.0	2.2
沢井	88	24	12	21	29	2
	100.0	27.3	13.6	23.9	33.0	2.3
大門	344	77	54	81	124	8
	100.0	22.4	15.7	23.5	36.0	2.3
新町	300	73	42	83	92	10
	100.0	24.3	14.0	27.7	30.7	3.3
今井	197	44	33	43	70	7
	100.0	22.3	16.8	21.8	35.5	3.6
小曾木	84	15	13	22	32	2
	100.0	17.9	15.5	26.2	38.1	2.4
成木	43	8	4	13	15	3
	100.0	18.6	9.3	30.2	34.9	7.0
無回答	18	6	2	5	5	-
	100.0	33.3	11.1	27.8	27.8	-

（６）喫煙の有無

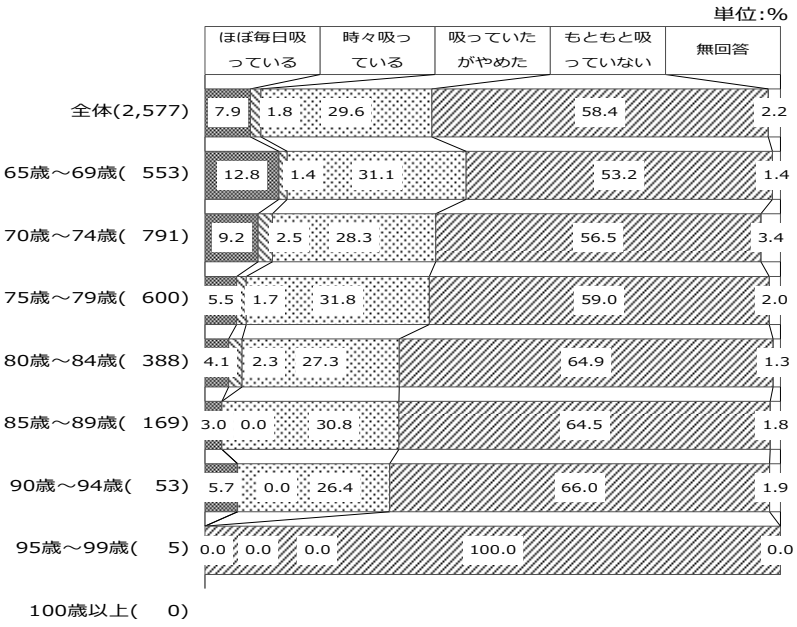
タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が 58.4%で最も多く、「吸っていたがやめた」（29.6%）、「ほぼ毎日吸っている」（7.9%）、「時々吸っている」（1.8%）が続きます。

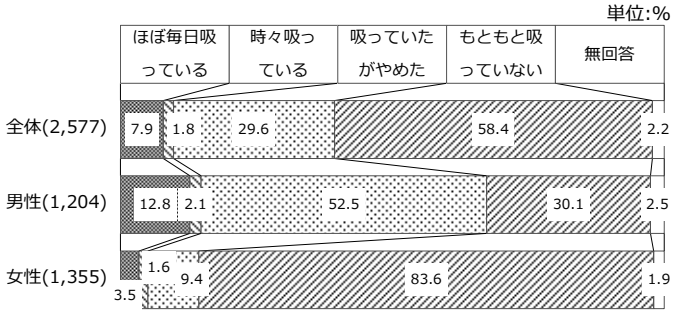
要支援度等でみると、「もともと吸っていない」「吸っていたがやめた」を合わせた比率は「事業対象者」が最も高く、「要支援１」が続いています。



また、年齢階層が高くなるほど喫煙率が低くなる傾向にあります



男女別にみると、「男性」の喫煙率が高くなっています。



地区別でみてみると、「もともと吸っていない」の構成比は「第３地区」で最も高く、「第１区」が続いてます。

		全体	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
	全体	2,577	7.9	1.8	29.6	58.4	2.2
居住地区	第１地区	556	8.3	2.0	29.5	58.1	2.2
	第２地区	1,035	7.2	1.8	31.3	57.8	1.8
	第３地区	968	8.3	1.8	28.0	59.4	2.6
	無回答	18	16.7	-	27.8	55.6	-

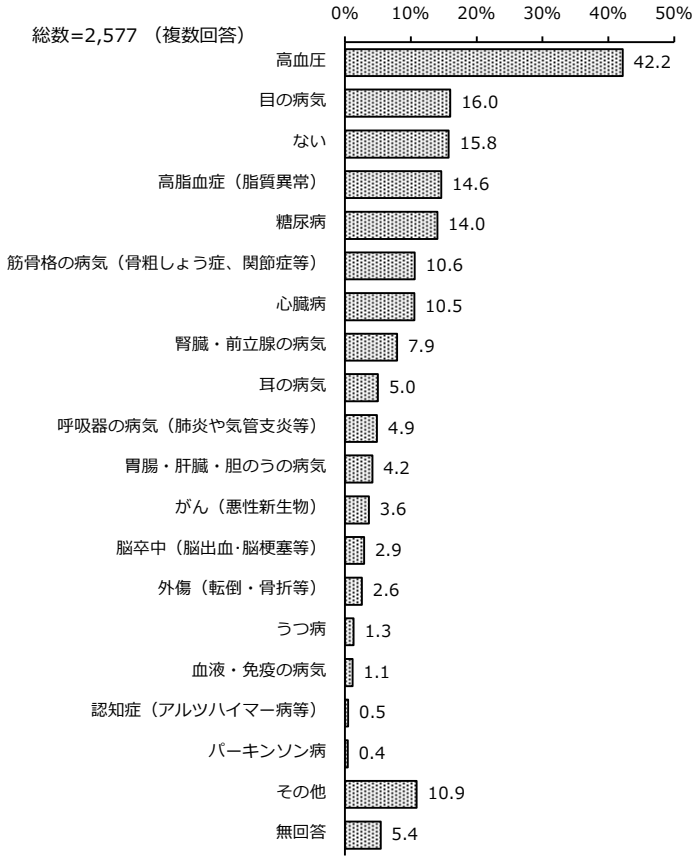
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体	2,577	204	47	764	1,506	56
	100.0	7.9	1.8	29.6	58.4	2.2
青梅	236	16	4	68	145	3
	100.0	6.8	1.7	28.8	61.4	1.3
東青梅	320	30	7	96	178	9
	100.0	9.4	2.2	30.0	55.6	2.8
長淵	408	28	8	139	221	12
	100.0	6.9	2.0	34.1	54.2	2.9
河辺	312	29	6	94	180	3
	100.0	9.3	1.9	30.1	57.7	1.0
梅郷	227	11	4	69	140	3
	100.0	4.8	1.8	30.4	61.7	1.3
沢井	88	7	1	22	57	1
	100.0	8.0	1.1	25.0	64.8	1.1
大門	344	28	6	100	203	7
	100.0	8.1	1.7	29.1	59.0	2.0
新町	300	25	5	82	180	8
	100.0	8.3	1.7	27.3	60.0	2.7
今井	197	15	2	60	114	6
	100.0	7.6	1.0	30.5	57.9	3.0
小曾木	84	4	1	24	54	1
	100.0	4.8	1.2	28.6	64.3	1.2
成木	43	8	3	5	24	3
	100.0	18.6	7.0	11.6	55.8	7.0
無回答	18	3	-	5	10	-
	100.0	16.7	-	27.8	55.6	-

（7）治療中または後遺症のある病気の有無

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」が 42.2%で最も多く、「目の病気」（16.0%）、「ない」（15.8%）、「高脂血症（脂質異常）」（14.6%）が続きます。



10 認知症

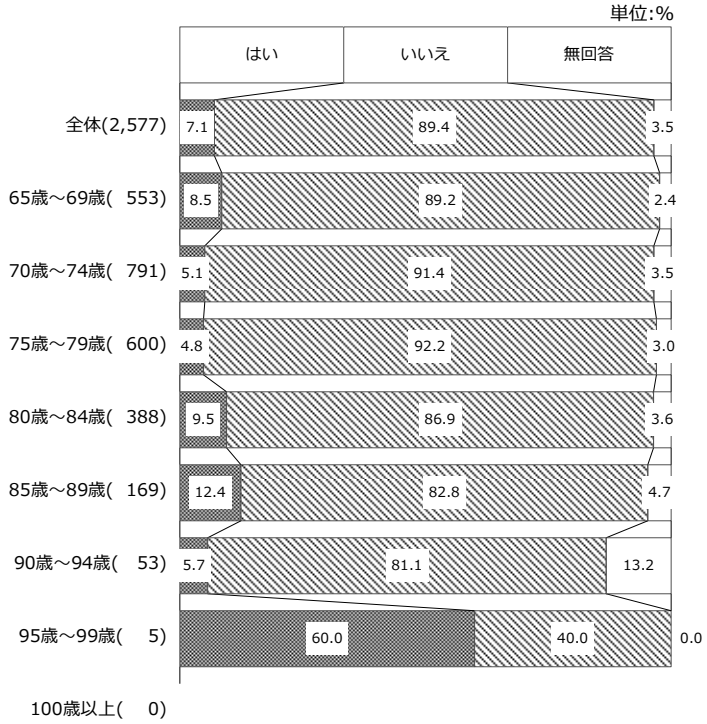
（1）認知症の症状がある人の存否

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

「いいえ」は 89.4%、「はい」は 7.1%となっています。

なお、認知能力に低下がみられる方（物忘れが多いと感じますかとの問いに「１.はい」と回答した方）では「はい」が 10.4%にとどまっています。

また、年齢階層が高くなるほど認知能力に低下がみられる傾向にあります



地区別でみてみると、「いいえ」の構成比は「第１地区」で最も高く、「第３区」が続いてます。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	7.1	89.4	3.5
居住地区	第１地区	556	6.5	90.6	2.9
	第２地区	1,035	7.2	89.2	3.6
	第３地区	968	7.1	89.3	3.6
	無回答	18	11.1	77.8	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	182	2,305	90
	100.0	7.1	89.4	3.5
青梅	236	16	216	4
	100.0	6.8	91.5	1.7
東青梅	320	20	288	12
	100.0	6.3	90.0	3.8
長淵	408	26	366	16
	100.0	6.4	89.7	3.9
河辺	312	25	277	10
	100.0	8.0	88.8	3.2
梅郷	227	17	203	7
	100.0	7.5	89.4	3.1
沢井	88	7	77	4
	100.0	8.0	87.5	4.5
大門	344	24	311	9
	100.0	7.0	90.4	2.6
新町	300	24	264	12
	100.0	8.0	88.0	4.0
今井	197	14	175	8
	100.0	7.1	88.8	4.1
小曾木	84	6	76	2
	100.0	7.1	90.5	2.4
成木	43	1	38	4
	100.0	2.3	88.4	9.3
無回答	18	2	14	2
	100.0	11.1	77.8	11.1

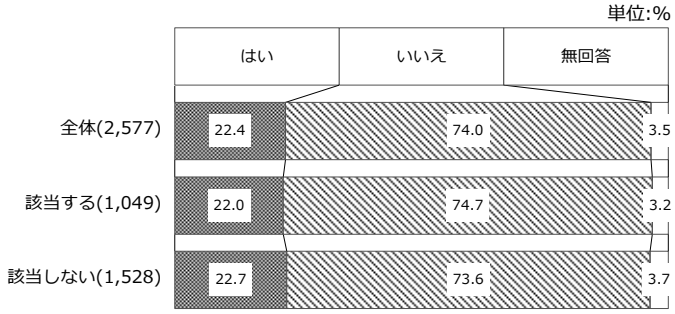
（2）相談窓口の認知

認知症に関する相談窓口を知っていますか

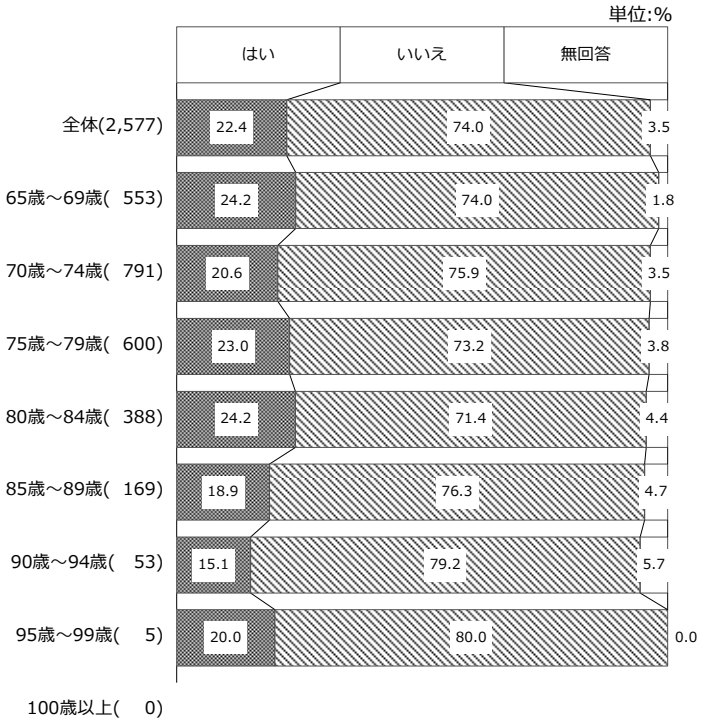
「いいえ」は 74.0%、「はい」は 22.4%となっています。

前期調査と比較すると、「はい」の比率が若干下がっています。

なお、認知能力に低下がみられる方（物忘れが多いと感じますかとの問いに「１.はい」と回答した方）では「はい」が 22.0%にとどまっています。



また、85 歳以上で「はい」の比率が若干下がる傾向にあります。



地区別でみてみると、「いいえ」の構成比は「第３地区」で最も高く、「第１区」が続いてます。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	22.4	74.0	3.5
居住地区	第１地区	556	22.7	74.8	2.5
	第２地区	1,035	24.1	72.7	3.3
	第３地区	968	20.1	75.6	4.2
	無回答	18	44.4	44.4	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	578	1,908	91
	100.0	22.4	74.0	3.5
青梅	236	56	176	4
	100.0	23.7	74.6	1.7
東青梅	320	70	240	10
	100.0	21.9	75.0	3.1
長淵	408	90	301	17
	100.0	22.1	73.8	4.2
河辺	312	81	224	7
	100.0	26.0	71.8	2.2
梅郷	227	50	171	6
	100.0	22.0	75.3	2.6
沢井	88	28	56	4
	100.0	31.8	63.6	4.5
大門	344	63	268	13
	100.0	18.3	77.9	3.8
新町	300	61	225	14
	100.0	20.3	75.0	4.7
今井	197	38	151	8
	100.0	19.3	76.6	4.1
小曾木	84	22	61	1
	100.0	26.2	72.6	1.2
成木	43	11	27	5
	100.0	25.6	62.8	11.6
無回答	18	8	8	2
	100.0	44.4	44.4	11.1

11 介護サービスと住まいの意向

（1）介護サービス利用の有無

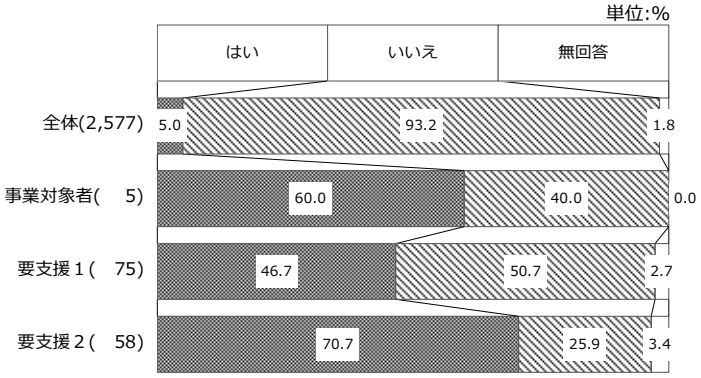
あなたは、介護保険の介護サービスを利用していますか

「いいえ」は 93.2%、「はい」は 5.0%となっています。

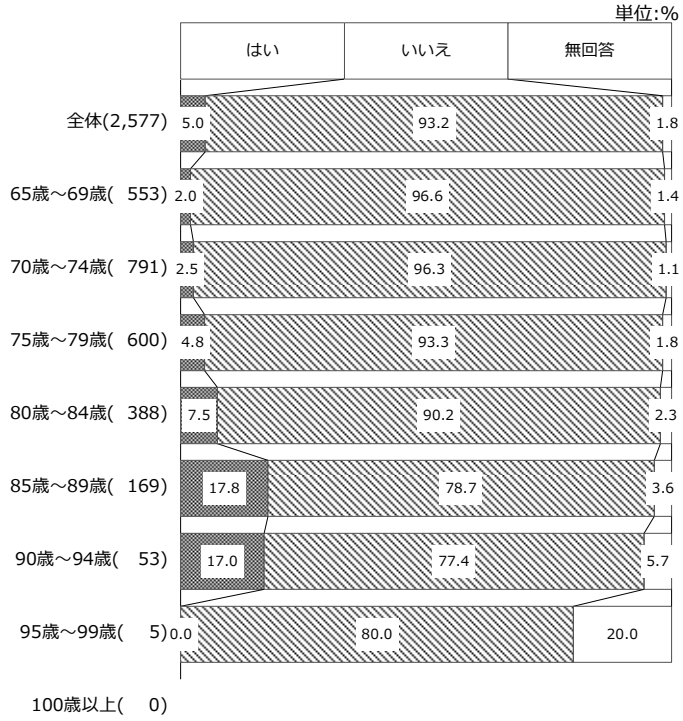
家族構成でみると、「いいえ」の比率が低いのは「1 人暮らし」となっています。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	5.0	93.2	1.8
家族構成	1人暮らし	497	8.5	89.3	2.2
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	4.2	94.3	1.6
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	140	1.4	97.9	0.7
	息子・娘との2世帯	366	5.5	93.2	1.4
	その他	470	4.3	94.3	1.5
	無回答	72	2.8	87.5	9.7

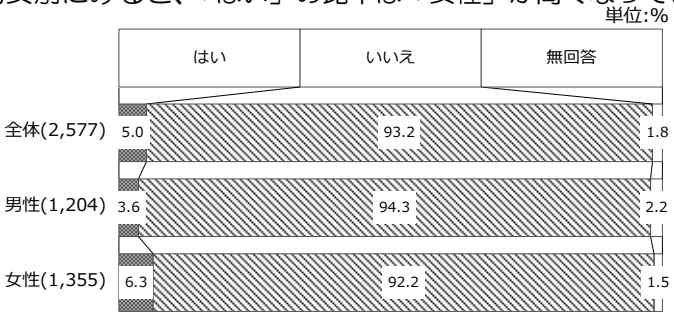
要支援度等でみると、「はい」の比率は「要支援 2」が最も高く、「事業対象者」が続いています。



年齢階層でみると、「はい」の比率は年齢階層が上がるにしたが上がっています。



男女別にみると、「はい」の比率は「女性」が高くなっています



なお、地区別にみると、「いいえ」では「第３地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	5.0	93.2	1.8
居住地区	第１地区	556	6.5	92.6	0.9
	第２地区	1,035	5.2	92.6	2.2
	第３地区	968	3.9	94.1	2.0
	無回答	18	5.6	94.4	－

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	129	2,401	47
	100.0	5.0	93.2	1.8
青梅	236	15	219	2
	100.0	6.4	92.8	0.8
東青梅	320	21	296	3
	100.0	6.6	92.5	0.9
長淵	408	17	382	9
	100.0	4.2	93.6	2.2
河辺	312	21	285	6
	100.0	6.7	91.3	1.9
梅郷	227	11	211	5
	100.0	4.8	93.0	2.2
沢井	88	5	80	3
	100.0	5.7	90.9	3.4
大門	344	12	325	7
	100.0	3.5	94.5	2.0
新町	300	13	282	5
	100.0	4.3	94.0	1.7
今井	197	4	188	5
	100.0	2.0	95.4	2.5
小曾木	84	8	74	2
	100.0	9.5	88.1	2.4
成木	43	1	42	-
	100.0	2.3	97.7	-
無回答	18	1	17	-
	100.0	5.6	94.4	-

① 利用していない理由

【上の設問で「2．いいえ」を選んだ方のみ】
（1－2）現在、介護サービスを利用していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

「今のところ自分で身の回りのことをしているため」が 72.4％で最も多く、「今のところサービスを受ける必要がないため」（67.0％）、「要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）」（53.1％）、「サービスの利用方法がわからないため」（4.1％）が続きます。

家族構成でみると、「今のところ自分で身の回りのことをしているため」の比率は「１人暮らし」が、「今のところサービスを受ける必要がないため」の比率は「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が高くなっています。

		全体	要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）	今のところ自分で身の回りのことをしているため	家族に介護してもらっているため	サービスの利用方法がわからないため	希望するサービスがないため	入院中であるため	今のところサービスを受ける必要がないため	過去にサービスを利用していたが、今は、必要なくなったため	その他	無回答
	全体	2,401	53.1	72.4	2.9	4.1	1.3	0.2	67.0	0.8	1.2	2.9
家族構成	１人暮らし	444	48.0	80.6	1.1	5.2	2.3	－	62.4	0.7	2.3	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	973	57.0	69.6	2.4	3.5	1.3	0.3	70.2	0.9	0.9	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	137	48.9	61.3	0.7	2.9	－	－	59.9	－	－	1.5
	息子・娘との２世帯	341	49.9	73.6	6.5	2.3	0.6	－	66.0	0.9	1.2	3.8
	その他	443	55.1	71.6	3.6	5.4	1.1	0.5	68.8	1.1	1.4	3.2
	無回答	63	39.7	81.0	4.8	9.5	3.2	－	58.7	－	－	3.2

要支援度等でみると、「今のところ自分で身の回りのことをしているため」「今のところサービスを受ける必要がないため」の比率は「要支援 1」が最も高く、「要支援２」が続いています。

		全体	要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）	今のところ自分で身の回りのことをしているため	家族に介護してもらっているため	サービスの利用方法がわからないため	希望するサービスがないため	入院中であるため	今のところサービスを受ける必要がないため	過去にサービスを利用していたが、今は、必要なくなったため	その他	無回答
	全体	2,401	53.1	72.4	2.9	4.1	1.3	0.2	67.0	0.8	1.2	2.9
要介護認定区分	事業対象者	2	50.0	－	－	－	－	－	－	－	50.0	－
	要支援１	38	5.3	68.4	26.3	7.9	2.6	2.6	28.9	7.9	2.6	5.3
	要支援２	15	－	60.0	46.7	13.3	－	－	6.7	13.3	20.0	－
	無回答	2,346	54.2	72.6	2.3	4.0	1.3	0.2	68.1	0.6	1.0	2.9

年齢階層でみると、「今のところ自分で身の回りのことをしているため」は年齢が上がるにしたがい下がり、「今のところサービスを受ける必要がないため」の比率は年齢が上がるにしたがい下がる傾向にあります。

		全体	要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）	今のところ自分で身の回りのことをしているため	家族に介護してもらっているため	サービスの利用方法がわからないため	希望するサービスがないため	入院中であるため	今のところサービスを受ける必要がないため	過去にサービスを利用していたが、今は、必要なくなったため	その他	無回答
	全体	2,401	53.1	72.4	2.9	4.1	1.3	0.2	67.0	0.8	1.2	2.9
年齢	65歳～69歳	534	55.1	62.7	1.3	3.6	1.7	0.4	67.0	0.2	1.1	2.6
	70歳～74歳	762	54.3	71.3	1.2	3.5	1.3	0.4	72.4	0.5	0.8	2.8
	75歳～79歳	560	54.3	76.4	2.7	4.5	1.3	－	65.9	1.4	0.9	3.8
	80歳～84歳	350	51.4	79.1	4.3	5.7	0.9	－	62.9	0.3	1.4	1.7
	85歳～89歳	133	39.8	81.2	8.3	4.5	0.8	－	57.1	3.8	3.0	3.0
	90歳～94歳	41	41.5	82.9	26.8	2.4	2.4	－	51.2	2.4	7.3	－
	95歳～99歳	4	50.0	50.0	50.0	－	25.0	－	25.0	－	－	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	17	58.8	64.7	－	5.9	－	－	70.6	－	－	17.6

性別では、「今のところ自分で身の回りのことをしているため」「今のところサービスを受ける必要がないため」で「女性」が、「要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）」で「男性」が、それぞれ比率が高くなっています。

		全体	要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）	今のところ自分で身の回りのことをしているため	家族に介護してもらっているため	サービスの利用方法がわからないため	希望するサービスがないため	入院中であるため	今のところサービスを受ける必要がないため	過去にサービスを利用していたが、今は、必要なくなったため	その他	無回答
	全体	2,401	53.1	72.4	2.9	4.1	1.3	0.2	67.0	0.8	1.2	2.9
性別	男性	1,135	53.3	70.1	2.7	3.7	1.4	0.4	65.6	0.7	0.8	2.7
	女性	1,249	52.8	74.5	3.1	4.5	1.3	0.1	68.3	1.0	1.6	2.8
	無回答	17	58.8	64.7	－	5.9	－	－	70.6	－	－	17.6

なお、地区別にみると、「今のところ自分で身の回りのことをしているため」「今のところサービスを受ける必要がないため」では「第１地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）	今のところ自分で身の回りのことをしているため	家族に介護してもらっているため	サービスの利用方法がわからないため	希望するサービスがないため	入院中であるため	今のところサービスを受ける必要がないため	過去にサービスを利用していたが、今は、必要なくなったため	その他	無回答
全体		2,401	53.1	72.4	2.9	4.1	1.3	0.2	67.0	0.8	1.2	2.9
居住地区	第１地区	515	52.2	73.4	3.3	3.9	1.4	－	67.4	0.6	1.7	2.5
	第２地区	958	54.1	71.6	3.0	4.6	1.6	0.3	66.8	1.1	1.3	2.6
	第３地区	911	52.4	72.8	2.6	3.7	1.1	0.2	67.0	0.7	0.9	3.1
	無回答	17	58.8	64.7	－	5.9	－	－	70.6	－	－	17.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	要介護・要支援の認定を受けていない（総合事業の対象者でもない）	今のところ自分で身の回りのことをしているため	家族に介護してもらっているため	サービスの利用方法がわからないため	希望するサービスがないため	入院中であるため	今のところサービスを受ける必要がないため	過去にサービスを利用していたが、今は、必要なくなったため	その他	無回答
全体	2,401	1,274	1,738	70	99	32	5	1,609	20	29	69
	100.0	53.1	72.4	2.9	4.1	1.3	0.2	67.0	0.8	1.2	2.9
青梅	219	105	167	10	9	2	-	152	-	3	6
	100.0	47.9	76.3	4.6	4.1	0.9	-	69.4	-	1.4	2.7
東青梅	296	164	211	7	11	5	-	195	3	6	7
	100.0	55.4	71.3	2.4	3.7	1.7	-	65.9	1.0	2.0	2.4
長淵	382	199	275	9	17	6	1	266	3	2	10
	100.0	52.1	72.0	2.4	4.5	1.6	0.3	69.6	0.8	0.5	2.6
河辺	285	159	203	9	15	6	1	187	4	6	6
	100.0	55.8	71.2	3.2	5.3	2.1	0.4	65.6	1.4	2.1	2.1
梅郷	211	115	158	7	10	2	-	133	1	4	5
	100.0	54.5	74.9	3.3	4.7	0.9	-	63.0	0.5	1.9	2.4
沢井	80	45	50	4	2	1	1	54	3	-	4
	100.0	56.3	62.5	5.0	2.5	1.3	1.3	67.5	3.8	-	5.0
大門	325	171	238	8	13	5	1	208	3	-	12
	100.0	52.6	73.2	2.5	4.0	1.5	0.3	64.0	0.9	-	3.7
新町	282	157	200	8	11	4	1	199	-	5	8
	100.0	55.7	70.9	2.8	3.9	1.4	0.4	70.6	-	1.8	2.8
今井	188	93	144	6	7	1	-	122	3	2	6
	100.0	49.5	76.6	3.2	3.7	0.5	-	64.9	1.6	1.1	3.2
小曾木	74	35	53	1	2	-	-	52	-	-	-
	100.0	47.3	71.6	1.4	2.7	-	-	70.3	-	-	-
成木	42	21	28	1	1	-	-	29	-	1	2
	100.0	50.0	66.7	2.4	2.4	-	-	69.0	-	2.4	4.8
無回答	17	10	11	-	1	-	-	12	-	-	3
	100.0	58.8	64.7	-	5.9	-	-	70.6	-	-	17.6

（2）希望介護形態

介護について、あなたはどのような希望をお持ちですか（○は１つ）

「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が 42.6%で最も多く、「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」（18.7%）、「特別養護老人ホームなどに入りたい」（8.1%）が続きます。

前期調査と比較すると、前期よりも自宅志向が強まっています。

これを「家族構成」でみてみると、「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」との回答比率は「１人暮らし」が最も低くなっています。

		全体	家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどに入りたい	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	18.7	42.6	8.1	23.4	2.0	5.2
家族構成	１人暮らし	497	12.7	39.0	12.7	27.2	2.4	6.0
家族構成	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	19.2	44.7	8.1	21.5	1.8	4.7
家族構成	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	22.9	35.7	5.0	29.3	1.4	5.7
家族構成	息子・娘との２世帯	366	26.2	46.2	4.1	18.0	1.9	3.6
家族構成	その他	470	17.7	42.8	7.2	25.5	2.1	4.7
家族構成	無回答	72	15.3	33.3	8.3	25.0	1.4	16.7

要支援等でみると、「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」の比率は「要支援２」が最も高く、「事業対象者」が続いています。「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」の比率は「要支援 1」が最も高く、「要支援２」が続いています。

		全体	家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどに入りたい	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	18.7	42.6	8.1	23.4	2.0	5.2
要介護認定区分	事業対象者	5	－	60.0	40.0	－	－	－
要介護認定区分	要支援１	75	20.0	54.7	5.3	12.0	2.7	5.3
要介護認定区分	要支援２	58	6.9	60.3	－	13.8	3.4	15.5
要介護認定区分	無回答	2,439	19.0	41.8	8.3	24.0	1.9	4.9

年齢階層でみると、「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」は年齢が上がるにつれて比率が高まる傾向にあります。

		全体	家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどに入りたい	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	18.7	42.6	8.1	23.4	2.0	5.2
年齢	65歳～69歳	553	16.6	41.8	8.1	28.0	2.4	3.1
	70歳～74歳	791	17.2	41.2	9.2	26.3	2.4	3.7
	75歳～79歳	600	19.2	44.3	7.7	21.8	1.5	5.5
	80歳～84歳	388	19.1	43.8	8.0	18.6	2.1	8.5
	85歳～89歳	169	24.9	47.9	5.3	13.0	1.2	7.7
	90歳～94歳	53	39.6	30.2	3.8	15.1	－	11.3
	95歳～99歳	5	20.0	40.0	－	20.0	－	20.0
	100歳以上	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	無回答	18	11.1	38.9	16.7	27.8	－	5.6

男女別では、「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」で「女性」が、「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」で「男性」が、それぞれ比率が高くなっています。

		全体	家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどに入りたい	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	18.7	42.6	8.1	23.4	2.0	5.2
性別	男性	1,204	22.2	37.9	8.2	25.4	1.8	4.5
	女性	1,355	15.8	46.9	7.9	21.5	2.1	5.8
	無回答	18	11.1	38.9	16.7	27.8	－	5.6

なお、地区別にみると、「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」で「第１地区」が、「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」で「第２地区」が、それぞれ比率が高くなっています。

		全体	家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどに入りたい	わからない	その他	無回答
全体		2,577	18.7	42.6	8.1	23.4	2.0	5.2
居住地区	第１地区	556	17.6	44.8	6.7	24.1	2.3	4.5
	第２地区	1,035	20.7	41.4	8.4	22.0	1.8	5.6
	第３地区	968	17.5	42.8	8.5	24.3	2.0	5.1
	無回答	18	11.1	38.9	16.7	27.8	-	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい	介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどに入りたい	わからない	その他	無回答
全体	2,577	483	1,099	209	602	51	133
	100.0	18.7	42.6	8.1	23.4	2.0	5.2
青梅	236	39	112	12	59	4	10
	100.0	16.5	47.5	5.1	25.0	1.7	4.2
東青梅	320	59	137	25	75	9	15
	100.0	18.4	42.8	7.8	23.4	2.8	4.7
長淵	408	81	170	35	84	8	30
	100.0	19.9	41.7	8.6	20.6	2.0	7.4
河辺	312	61	126	33	72	5	15
	100.0	19.6	40.4	10.6	23.1	1.6	4.8
梅郷	227	46	102	12	53	5	9
	100.0	20.3	44.9	5.3	23.3	2.2	4.0
沢井	88	26	31	7	19	1	4
	100.0	29.5	35.2	8.0	21.6	1.1	4.5
大門	344	66	131	38	87	9	13
	100.0	19.2	38.1	11.0	25.3	2.6	3.8
新町	300	43	145	20	68	5	19
	100.0	14.3	48.3	6.7	22.7	1.7	6.3
今井	197	34	86	15	49	2	11
	100.0	17.3	43.7	7.6	24.9	1.0	5.6
小曾木	84	16	37	6	18	3	4
	100.0	19.0	44.0	7.1	21.4	3.6	4.8
成木	43	10	15	3	13	-	2
	100.0	23.3	34.9	7.0	30.2	-	4.7
無回答	18	2	7	3	5	-	1
	100.0	11.1	38.9	16.7	27.8	-	5.6

（3）元気なうちの生活形態

あなたは、元気なうちは、どのようにしたいと思いますか（○は１つ）

「自宅に住み続けたい」が83.8%で最も多く、「子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい」（1.4%）、「有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい」（1.3%）が続きます。

前期調査と比較すると、前期よりも自宅志向が強まっています。

これを「家族構成」でみてみると、「自宅に住み続けたい」との回答比率は「１人暮らし」が最も低くなっています。

		全体	自宅に住み続けたい	子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～3以外の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かいところなど）	わからない	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	83.8	1.4	1.3	1.1	4.9	3.3	0.6	3.6
家族構成	１人暮らし	497	71.2	1.8	3.0	3.2	7.6	6.6	0.8	5.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	86.7	1.4	0.9	0.5	5.0	2.3	0.2	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	87.9	0.7	－	0.7	2.1	5.0	0.7	2.9
	息子・娘との２世帯	366	90.4	0.8	0.8	0.8	2.5	0.8	0.8	3.0
	その他	470	85.7	1.5	0.9	0.6	4.5	3.6	1.3	1.9
	無回答	72	75.0	1.4	2.8	1.4	2.8	2.8	－	13.9

要支援等でみると、「自宅に住み続けたい」の比率は「要支援２」が最も高く、「要支援１」が続いています。

		全体	自宅に住み続けたい	子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～3以外の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かいところなど）	わからない	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	83.8	1.4	1.3	1.1	4.9	3.3	0.6	3.6
要介護認定区分	事業対象者	5	40.0	20.0	20.0	－	－	20.0	－	－
	要支援１	75	77.3	1.3	2.7	1.3	8.0	4.0	1.3	4.0
	要支援２	58	84.5	1.7	1.7	1.7	－	1.7	1.7	6.9
	無回答	2,439	84.1	1.3	1.2	1.1	4.9	3.3	0.6	3.5

年齢階層でみると、「自宅に住み続けたい」は、年齢が上がるにしたがい比率が緩やかに下がる傾向にあります。

		全体	自宅に住み続けたい	子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～3以外の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かいところなど）	わからない	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	83.8	1.4	1.3	1.1	4.9	3.3	0.6	3.6
年齢	65歳～69歳	553	82.8	2.2	1.1	1.8	4.9	3.6	0.5	3.1
	70歳～74歳	791	84.6	1.1	1.3	1.4	4.9	3.3	1.0	2.4
	75歳～79歳	600	84.3	1.7	1.0	0.7	4.5	3.7	0.3	3.8
	80歳～84歳	388	83.2	0.8	1.5	0.5	6.2	2.8	0.3	4.6
	85歳～89歳	169	83.4	－	2.4	1.2	3.0	4.1	0.6	5.3
	90歳～94歳	53	81.1	1.9	1.9	－	3.8	－	1.9	9.4
	95歳～99歳	5	80.0	－	－	－	－	－	－	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	88.9	－	－	－	5.6	－	－	5.6

男女別では、「自宅に住み続けたい」で「女性」の比率が高くなっています。

		全体	自宅に住み続けたい	子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～3以外の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かいところなど）	わからない	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	83.8	1.4	1.3	1.1	4.9	3.3	0.6	3.6
性別	男性	1,204	83.0	1.1	1.0	1.7	5.4	4.0	0.3	3.6
	女性	1,355	84.5	1.6	1.5	0.7	4.4	2.8	0.9	3.6
	無回答	18	88.9	－	－	－	5.6	－	－	5.6

なお、地区別にみると、「自宅に住み続けたい」で「第２地区」の比率が高くなっています。

		全体	自宅に住み続けたい	子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～3以外の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かいところなど）	わからない	特にない	その他	無回答
全体		2,577	83.8	1.4	1.3	1.1	4.9	3.3	0.6	3.6
居住地区	第１地区	556	82.2	0.7	1.8	1.4	6.1	3.1	0.9	3.8
	第２地区	1,035	84.8	1.6	1.1	0.8	4.6	2.8	0.4	3.9
	第３地区	968	83.6	1.4	1.2	1.3	4.3	4.1	0.7	3.2
	無回答	18	88.9	－	－	－	5.6	－	－	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	自宅に住み続けたい	子供や兄弟姉妹などの家またはその近くに住みたい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～3以外の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かいところなど）	わからない	特にない	その他	無回答
全体	2,577	2,160	35	33	29	125	86	16	93
	100.0	83.8	1.4	1.3	1.1	4.9	3.3	0.6	3.6
青梅	236	201	2	1	3	11	7	1	10
	100.0	85.2	0.8	0.4	1.3	4.7	3.0	0.4	4.2
東青梅	320	256	2	9	5	23	10	4	11
	100.0	80.0	0.6	2.8	1.6	7.2	3.1	1.3	3.4
長淵	408	345	10	4	4	16	10	1	18
	100.0	84.6	2.5	1.0	1.0	3.9	2.5	0.2	4.4
河辺	312	253	5	4	2	21	11	2	14
	100.0	81.1	1.6	1.3	0.6	6.7	3.5	0.6	4.5
梅郷	227	202	1	2	2	8	6	-	6
	100.0	89.0	0.4	0.9	0.9	3.5	2.6	-	2.6
沢井	88	78	1	1	-	3	2	1	2
	100.0	88.6	1.1	1.1	-	3.4	2.3	1.1	2.3
大門	344	279	6	6	5	12	23	2	11
	100.0	81.1	1.7	1.7	1.5	3.5	6.7	0.6	3.2
新町	300	256	4	3	4	14	9	1	9
	100.0	85.3	1.3	1.0	1.3	4.7	3.0	0.3	3.0
今井	197	164	2	3	2	10	5	2	9
	100.0	83.2	1.0	1.5	1.0	5.1	2.5	1.0	4.6
小曾木	84	70	2	-	2	4	2	2	2
	100.0	83.3	2.4	-	2.4	4.8	2.4	2.4	2.4
成木	43	40	-	-	-	2	1	-	-
	100.0	93.0	-	-	-	4.7	2.3	-	-
無回答	18	16	-	-	-	1	-	-	1
	100.0	88.9	-	-	-	5.6	-	-	5.6

（4）介護が必要になったときの生活形態

あなたは、介護が必要になったときは、どのようにしたいと思いますか（○は１つ）

「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」が62.1%で最も多く、「介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい」（12.0%）、「有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい」（3.1%）、「子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい」（1.6%）が続きます。

前期調査と比較すると、前期よりも自宅志向がかなり強まっています。

これを「家族構成」でみてみると、「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」との回答比率は「１人暮らし」が最も低くなっています。

		全体	現在の住宅（自宅）に住み続けたい	子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～4以外の一般の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かい土地など）	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	62.1	1.6	12.0	3.1	0.6	12.8	1.0	6.8
家族構成	１人暮らし	497	49.1	2.4	13.9	5.2	1.2	17.3	1.2	9.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	65.5	1.2	13.2	2.7	0.4	10.7	0.7	5.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	67.1	2.1	5.7	3.6	－	17.9	1.4	2.1
	息子・娘との２世帯	366	70.8	2.5	9.6	1.6	1.1	7.1	0.5	6.8
	その他	470	63.6	0.6	11.3	2.1	0.2	14.7	1.5	6.0
	無回答	72	40.3	2.8	12.5	5.6	1.4	18.1	1.4	18.1

要支援等でみると、「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」の比率は「要支援１」が最も高く、「要支援２」が続いています。

		全体	現在の住宅（自宅）に住み続けたい	子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～4以外の一般の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かい土地など）	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	62.1	1.6	12.0	3.1	0.6	12.8	1.0	6.8
要介護認定区分	事業対象者	5	60.0	－	20.0	－	－	20.0	－	－
	要支援１	75	66.7	1.3	8.0	1.3	1.3	10.7	1.3	9.3
	要支援２	58	65.5	1.7	6.9	3.4	－	8.6	1.7	12.1
	無回答	2,439	61.9	1.6	12.3	3.1	0.6	12.9	0.9	6.6

年齢階層でみると、「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」年齢が上がるにしたがい比率が上がっています。

		全体	現在の住宅（自宅）に住み続けたい	子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～4以外の一般の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かい土地など）	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	62.1	1.6	12.0	3.1	0.6	12.8	1.0	6.8
年齢	65歳～69歳	553	59.7	2.0	13.4	3.4	1.1	15.4	1.4	3.6
	70歳～74歳	791	61.7	1.1	12.9	2.0	1.1	13.0	1.1	7.0
	75歳～79歳	600	62.7	1.7	12.8	4.0	－	12.2	0.5	6.2
	80歳～84歳	388	63.1	1.0	9.3	2.8	0.3	11.6	1.0	10.8
	85歳～89歳	169	66.9	2.4	7.1	4.1	－	10.1	0.6	8.9
	90歳～94歳	53	67.9	3.8	7.5	3.8	－	9.4	－	7.5
	95歳～99歳	5	80.0	－	－	－	－	－	－	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	50.0	5.6	27.8	－	－	5.6	－	11.1

男女別では、「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」で「男性」の比率が高くなっています。

		全体	現在の住宅（自宅）に住み続けたい	子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～4以外の一般の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かい土地など）	わからない	その他	無回答
	全体	2,577	62.1	1.6	12.0	3.1	0.6	12.8	1.0	6.8
性別	男性	1,204	64.7	1.2	10.3	3.1	1.0	13.9	0.9	4.9
	女性	1,355	60.0	1.8	13.4	3.1	0.3	11.9	1.0	8.5
	無回答	18	50.0	5.6	27.8	－	－	5.6	－	11.1

なお、地区別にみると、「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」では「第２地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	現在の住宅（自宅）に住み続けたい	子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～4以外の一般の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かい土地など）	わからない	その他	無回答
全体		2,577	62.1	1.6	12.0	3.1	0.6	12.8	1.0	6.8
居住地区	第１地区	556	60.3	0.7	11.2	3.6	0.7	14.7	2.2	6.7
	第２地区	1,035	64.0	1.9	10.5	3.4	0.5	12.4	0.2	7.1
	第３地区	968	61.5	1.7	13.8	2.5	0.7	12.2	1.1	6.5
	無回答	18	50.0	5.6	27.8	-	-	5.6	-	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	現在の住宅（自宅）に住み続けたい	子供や親族との同居またはその近くの住宅に移りたい	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホーム、認知症グループホームなど）に入所したい	有料老人ホームなどの高齢者向け住宅に入居したい	上記1～4以外の一般の住宅に移りたい（生まれ育ったところ、暖かい土地など）	わからない	その他	無回答
全体	2,577	1,601	41	310	79	16	329	25	176
	100.0	62.1	1.6	12.0	3.1	0.6	12.8	1.0	6.8
青梅	236	155	3	24	9	4	25	2	14
	100.0	65.7	1.3	10.2	3.8	1.7	10.6	0.8	5.9
東青梅	320	180	1	38	11	-	57	10	23
	100.0	56.3	0.3	11.9	3.4	-	17.8	3.1	7.2
長淵	408	265	12	48	12	2	45	1	23
	100.0	65.0	2.9	11.8	2.9	0.5	11.0	0.2	5.6
河辺	312	189	8	28	13	2	40	-	32
	100.0	60.6	2.6	9.0	4.2	0.6	12.8	-	10.3
梅郷	227	152	-	22	8	1	32	1	11
	100.0	67.0	-	9.7	3.5	0.4	14.1	0.4	4.8
沢井	88	56	-	11	2	-	11	-	8
	100.0	63.6	-	12.5	2.3	-	12.5	-	9.1
大門	344	202	5	61	9	1	43	3	20
	100.0	58.7	1.5	17.7	2.6	0.3	12.5	0.9	5.8
新町	300	194	8	35	9	3	30	5	16
	100.0	64.7	2.7	11.7	3.0	1.0	10.0	1.7	5.3
今井	197	110	3	30	4	1	31	-	18
	100.0	55.8	1.5	15.2	2.0	0.5	15.7	-	9.1
小曾木	84	55	-	5	2	2	8	3	9
	100.0	65.5	-	6.0	2.4	2.4	9.5	3.6	10.7
成木	43	34	-	3	-	-	6	-	-
	100.0	79.1	-	7.0	-	-	14.0	-	-
無回答	18	9	1	5	-	-	1	-	2
	100.0	50.0	5.6	27.8	-	-	5.6	-	11.1

① 現在の住宅に住み続けたい理由

上の設問で「現在の住宅（自宅）に住み続けたい」を選んだ方へ。自宅に住み続けたい理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

「現在同居している家族と住み続けたいから」が 51.5%で最も多く、「現在住んでいる地域に愛着があるから」（44.9%）、「新たな環境で生活するのは不安だから」（24.4%）、「現在の自宅や土地を処分したくないから」（20.1%）が続きます。

これを「家族構成」でみてみると、「現在同居している家族と住み続けたいから」の比率は「1 人暮らし」が最も低くなっています。

		全体	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の自宅や土地を処分したくないから	現在同居している家族と住み続けたいから	友人・知人と離れたくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	高齢者向け住宅に入居する費用（家賃など）を負担できないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	無回答
	全体	1,601	44.9	20.1	51.5	13.4	24.4	19.8	14.0	1.7
家族構成	１人暮らし	244	54.1	21.7	1.2	11.5	34.0	23.0	16.4	3.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	676	45.6	19.2	53.8	14.1	24.9	19.5	14.9	0.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	94	39.4	19.1	59.6	9.6	16.0	21.3	17.0	2.1
	息子・娘との２世帯	259	37.8	18.9	70.7	16.6	21.2	18.1	11.2	1.2
	その他	299	45.2	22.4	67.2	13.4	22.1	19.7	11.7	2.7
	無回答	29	31.0	17.2	58.6	－	10.3	10.3	10.3	3.4

要支援等でみると、「現在同居している家族と住み続けたいから」の比率は「事業対象者」が最も高く、「要支援１」が続いています。

		全体	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の自宅や土地を処分したくないから	現在同居している家族と住み続けたいから	友人・知人と離れたくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	高齢者向け住宅に入居する費用（家賃など）を負担できないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	無回答
	全体	1,601	44.9	20.1	51.5	13.4	24.4	19.8	14.0	1.7
要介護認定区分	事業対象者	3	33.3	－	66.7	－	33.3	－	－	－
	要支援１	50	32.0	16.0	48.0	10.0	26.0	14.0	10.0	2.0
	要支援２	38	34.2	10.5	47.4	18.4	34.2	21.1	13.2	2.6
	無回答	1,510	45.6	20.5	51.7	13.4	24.0	20.0	14.2	1.7

年齢階層でみると、「現在住んでいる地域に愛着があるから」で年齢が上がるにしたがい比率も上がる傾向にあります。

		全体	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の自宅や土地を処分したくないから	現在同居している家族と住み続けたいから	友人・知人と離れたくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	高齢者向け住宅に入居する費用（家賃など）を負担できないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	無回答
	全体	1,601	44.9	20.1	51.5	13.4	24.4	19.8	14.0	1.7
年齢	65歳～69歳	330	39.4	19.7	50.3	12.7	26.7	22.1	14.8	3.0
	70歳～74歳	488	44.5	19.7	53.7	11.5	25.4	19.5	14.8	0.8
	75歳～79歳	376	43.4	20.5	48.9	14.4	21.0	20.7	12.0	1.9
	80歳～84歳	245	51.0	20.8	52.2	15.5	24.9	18.0	11.8	2.4
	85歳～89歳	113	52.2	20.4	53.1	15.9	21.2	15.9	21.2	－
	90歳～94歳	36	47.2	16.7	55.6	13.9	27.8	16.7	11.1	2.8
	95歳～99歳	4	50.0	－	50.0	－	50.0	－	25.0	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	9	66.7	44.4	22.2	22.2	22.2	33.3	－	－

男女別では、「現在同居している家族と住み続けたいから」で「男性」の比率が高くなっています。

		全体	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の自宅や土地を処分したくないから	現在同居している家族と住み続けたいから	友人・知人と離れたくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	高齢者向け住宅に入居する費用（家賃など）を負担できないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	無回答
	全体	1,601	44.9	20.1	51.5	13.4	24.4	19.8	14.0	1.7
性別	男性	779	45.2	22.1	55.7	10.3	20.3	19.4	16.6	2.1
	女性	813	44.4	18.0	47.7	16.4	28.3	20.0	11.7	1.5
	無回答	9	66.7	44.4	22.2	22.2	22.2	33.3	－	－

なお、地区別にみると、「現在同居している家族と住み続けたいから」では「第１地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の自宅や土地を処分したくないから	現在同居している家族と住み続けたいから	友人・知人と離れたくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	高齢者向け住宅に入居する費用（家賃など）を負担できないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	無回答
全体		1,601	44.9	20.1	51.5	13.4	24.4	19.8	14.0	1.7
居住地区	第１地区	335	47.2	19.4	52.5	15.5	23.9	19.7	15.8	1.5
	第２地区	662	45.2	20.1	52.1	12.2	25.4	22.2	13.7	2.1
	第３地区	595	43.0	20.2	50.6	13.4	23.5	17.0	13.4	1.5
	無回答	9	66.7	44.4	22.2	22.2	22.2	33.3	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	現在住んでいる地域に愛着があるから	現在の自宅や土地を処分したくないから	現在同居している家族と住み続けたいから	友人・知人と離れたくないから	新たな環境で生活するのは不安だから	高齢者向け住宅に入居する費用（家賃など）を負担できないから	高齢者だけで住む建物には住みたくないから	無回答
全体	1,601	719	322	824	215	390	317	224	28
	100.0	44.9	20.1	51.5	13.4	24.4	19.8	14.0	1.7
青梅	155	77	34	86	31	38	36	28	2
	100.0	49.7	21.9	55.5	20.0	24.5	23.2	18.1	1.3
東青梅	180	81	31	90	21	42	30	25	3
	100.0	45.0	17.2	50.0	11.7	23.3	16.7	13.9	1.7
長淵	265	118	43	131	28	65	62	24	8
	100.0	44.5	16.2	49.4	10.6	24.5	23.4	9.1	3.0
河辺	189	84	30	88	24	47	46	27	2
	100.0	44.4	15.9	46.6	12.7	24.9	24.3	14.3	1.1
梅郷	152	61	46	92	19	37	32	30	4
	100.0	40.1	30.3	60.5	12.5	24.3	21.1	19.7	2.6
沢井	56	36	14	34	10	19	7	10	-
	100.0	64.3	25.0	60.7	17.9	33.9	12.5	17.9	-
大門	202	89	41	99	28	46	40	32	3
	100.0	44.1	20.3	49.0	13.9	22.8	19.8	15.8	1.5
新町	194	77	36	104	22	47	29	27	1
	100.0	39.7	18.6	53.6	11.3	24.2	14.9	13.9	0.5
今井	110	41	23	54	12	23	15	11	3
	100.0	37.3	20.9	49.1	10.9	20.9	13.6	10.0	2.7
小曾木	55	28	14	27	12	18	9	5	-
	100.0	50.9	25.5	49.1	21.8	32.7	16.4	9.1	-
成木	34	21	6	17	6	6	8	5	2
	100.0	61.8	17.6	50.0	17.6	17.6	23.5	14.7	5.9
無回答	9	6	4	2	2	2	3	-	-
	100.0	66.7	44.4	22.2	22.2	22.2	33.3	-	-

（5）自宅で暮らし続けるために必要なサービス

あなたは、介護を受けながら自宅で自分らしく暮らしていくためには、どのようなサービスが必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）

「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」が45.8%で最も多く、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」（37.9%）、「施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス」（30.8%）、「夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス」（29.7%）が続きます。

これを「家族構成」でみてみると、「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」との回答比率は「息子・娘との２世帯」が最も高くなっています。

		全体	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	２の中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	６に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
	全体	2,577	45.8	29.1	7.4	37.9	29.7	30.8	24.3	9.5	20.3	7.2
家族構成	１人暮らし	497	37.8	23.7	6.0	34.4	31.8	25.2	20.7	6.6	23.3	9.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	51.4	31.1	8.1	40.0	31.5	33.5	27.0	11.7	17.8	6.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	51.4	30.7	2.9	38.6	22.9	29.3	15.7	5.0	23.6	3.6
	息子・娘との２世帯	366	45.1	34.2	7.7	34.2	25.1	29.0	22.1	9.8	19.7	6.3
	その他	470	43.0	28.1	8.9	41.1	30.4	33.8	27.4	9.6	21.5	7.0
	無回答	72	33.3	16.7	4.2	29.2	22.2	25.0	15.3	5.6	22.2	18.1

要支援等でみると、自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」の比率は「要支援２」が最も高く、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」の比率は「事業対象者」が最も高くなっています。

		全体	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	２の中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	６に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
	全体	2,577	45.8	29.1	7.4	37.9	29.7	30.8	24.3	9.5	20.3	7.2
要介護認定区分	事業対象者	5	40.0	20.0	－	40.0	60.0	40.0	40.0	－	－	－
	要支援１	75	40.0	17.3	4.0	33.3	26.7	17.3	22.7	6.7	16.0	12.0
	要支援２	58	41.4	44.8	10.3	29.3	36.2	22.4	15.5	10.3	6.9	6.9
	無回答	2,439	46.1	29.2	7.5	38.3	29.6	31.4	24.5	9.6	20.7	7.1

年齢階層でみると、「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」などの比率が年齢が上がるにしたがい下がる傾向にあります。

		全体	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	2の中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	6に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
	全体	2,577	45.8	29.1	7.4	37.9	29.7	30.8	24.3	9.5	20.3	7.2
年齢	65歳～69歳	553	52.6	32.9	11.8	42.9	32.5	35.4	27.5	14.1	20.4	3.6
	70歳～74歳	791	45.4	29.8	7.2	37.7	29.0	33.5	26.3	10.2	21.1	5.8
	75歳～79歳	600	44.8	29.3	6.0	38.0	31.5	28.5	22.5	7.7	20.5	8.0
	80歳～84歳	388	41.8	26.0	4.9	33.2	25.5	27.6	20.9	7.2	20.6	11.6
	85歳～89歳	169	43.2	24.3	4.7	33.1	27.2	23.7	21.3	5.9	16.6	10.7
	90歳～94歳	53	32.1	17.0	7.5	32.1	28.3	20.8	17.0	－	17.0	11.3
	95歳～99歳	5	40.0	－	－	60.0	40.0	－	20.0	－	－	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	44.4	33.3	11.1	50.0	33.3	27.8	16.7	16.7	11.1	11.1

男女別では、「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」の比率は「男性」が、定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」の比率は「女性」が高くなっています。

		全体	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	2の中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	6に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
	全体	2,577	45.8	29.1	7.4	37.9	29.7	30.8	24.3	9.5	20.3	7.2
性別	男性	1,204	49.3	25.0	4.8	36.3	28.2	27.6	21.2	6.7	22.3	6.3
	女性	1,355	42.8	32.8	9.7	39.2	31.0	33.8	27.1	12.0	18.6	8.0
	無回答	18	44.4	33.3	11.1	50.0	33.3	27.8	16.7	16.7	11.1	11.1

なお、地区別でみると、「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」では「第２地区」が、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」では「第１地区」が、それぞれ、比率が高くなっています。

		全体	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	2の中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	6に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
全体		2,577	45.8	29.1	7.4	37.9	29.7	30.8	24.3	9.5	20.3	7.2
居住地区	第１地区	556	46.8	28.8	7.7	39.0	28.2	29.7	23.7	11.3	16.2	7.9
	第２地区	1,035	47.4	29.8	8.1	38.3	32.9	30.9	24.9	8.8	20.5	7.2
	第３地区	968	43.6	28.6	6.4	36.7	27.1	31.5	24.0	9.2	22.5	6.7
	無回答	18	44.4	33.3	11.1	50.0	33.3	27.8	16.7	16.7	11.1	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	2の中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	6に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
全体	2,577	1,181	751	191	977	766	795	625	246	522	186
	100.0	45.8	29.1	7.4	37.9	29.7	30.8	24.3	9.5	20.3	7.2
青梅	236	109	79	20	96	76	75	61	29	31	19
	100.0	46.2	33.5	8.5	40.7	32.2	31.8	25.8	12.3	13.1	8.1
東青梅	320	151	81	23	121	81	90	71	34	59	25
	100.0	47.2	25.3	7.2	37.8	25.3	28.1	22.2	10.6	18.4	7.8
長淵	408	207	129	34	171	140	146	111	44	81	26
	100.0	50.7	31.6	8.3	41.9	34.3	35.8	27.2	10.8	19.9	6.4
河辺	312	133	91	23	109	99	81	70	20	70	26
	100.0	42.6	29.2	7.4	34.9	31.7	26.0	22.4	6.4	22.4	8.3
梅郷	227	108	65	19	82	70	63	54	14	43	18
	100.0	47.6	28.6	8.4	36.1	30.8	27.8	23.8	6.2	18.9	7.9
沢井	88	43	23	8	34	32	30	23	13	18	5
	100.0	48.9	26.1	9.1	38.6	36.4	34.1	26.1	14.8	20.5	5.7
大門	344	145	95	24	121	103	104	81	31	85	25
	100.0	42.2	27.6	7.0	35.2	29.9	30.2	23.5	9.0	24.7	7.3
新町	300	145	79	18	120	81	100	76	31	61	16
	100.0	48.3	26.3	6.0	40.0	27.0	33.3	25.3	10.3	20.3	5.3
今井	197	83	66	13	69	48	65	46	19	47	8
	100.0	42.1	33.5	6.6	35.0	24.4	33.0	23.4	9.6	23.9	4.1
小曽木	84	30	24	5	28	18	21	17	7	16	13
	100.0	35.7	28.6	6.0	33.3	21.4	25.0	20.2	8.3	19.0	15.5
成木	43	19	13	2	17	12	15	12	1	9	3
	100.0	44.2	30.2	4.7	39.5	27.9	34.9	27.9	2.3	20.9	7.0
無回答	18	8	6	2	9	6	5	3	3	2	2
	100.0	44.4	33.3	11.1	50.0	33.3	27.8	16.7	16.7	11.1	11.1

（6）地域活動への参加意向

上の設問のほかで、あなたが必要だと思うサービスはありますか。（自由記入）

内訳は「個別サービス」39 票（うち「移動手段」18 票、「買い物代行等」「文化活動」「認知症対策」4 票、「声かけ・傾聴」「入浴サービス」3 票、「ケアーマネジメント」3票、「ごみ収集」1 票)、「施設関係」5票（うち「介護施設」3票、「通いの場」2票)、「経済面」5票、「その他」49 票となっています。

以下、主な意見を列挙します。

移動手段
・小型バスで良いので、年寄りが気楽に乗れるバスが巡回してくれると嬉しい（気軽に乗れる）ありがたいと以前から考えていた。　　・手を挙げて止まってくれるとなお良い。。。
今は車が運転できるので問題ないのですが、免許証返納した場合、交通手段がない、バスも通ってないので交通手段を考えていただきたいです。
受診、買い物等々、用途制限で利用できる近隣への外出のための移動手段。市で運行する市内循環バス（例えば 1 回 50 円、100 円税込で利用できるもの）
月に 2 枚ほどの無料タクシー券があればよいと思う。（ｋｍ数にそんなになくていいが）とにかく、車を手放したら（現在は運転をしている）バスも本数は少なく、タクシーも何々呼んでも来ないとのことが心配。
安く利用できるタクシーを必要とします。東青梅駅の北口？エレベーターかエスカレーター必要とします
地域的に交通手段が少ないのでコミュニティバスバス等を検討してほしい
買い物代行等
買い物代行
付き添っていただいて自分の欲しいものの買物
文化活動
施設に通って受けるイベントだけでなく、コンサートや美術鑑賞にも参加できるようなサービスがあれば良いと思います。
図書館の利用度が高いです。図書館に自力で行けなくなった場合、リクエストした本の宅配サービスを希望します。借り出し、返却を助けてもらえばずっと読書を楽しみことができます。
認知症
認知症になった時、症状が進行しないような医療を受けられる施設　　・介護（認知症以外）が必要な時の施設の充実
認知症の人が徘徊した時に市民の協力や見守り等ができ、市全体で徘徊した人が早く見つけられるシステム。例えば服装等の情報が協力者のネットに配信される等。つめ等に住所名前等が印字されているシールが貼れる物を配布できる等。
徘徊等の場合、スマホ（位置情報）の活用、普段から介護に関してちょっとしたことでも聞ける場所等、誰でもわかるような情報を出す。
声かけ・傾聴
一人で生活している時、毎日 10 分くらいでもいいので声掛けに来て欲しい。ボランティア？
自らの思いや悩みを傾聴してもらえるサービス
ケアマネジャー

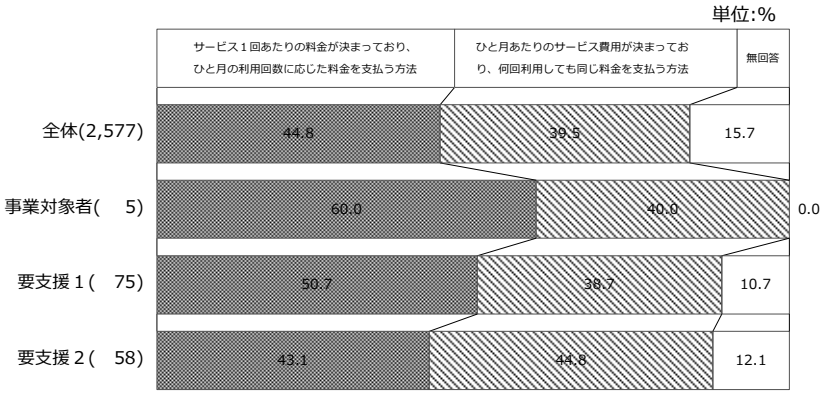
自分が調べられないネット情報や聞きたいことをなんでも相談できることが可能なケアマネージャーが必要だと思う。こちらに越してくる前の地方では非常に綿密に対処していただけるケアマネージャーだったので、その違いに驚いている。こちらが聞きたいことに対してその情報を検索し速やかに連絡してくれるというサービスは基本だと思う。その人の人間性もあると思いますが、、、。
ごみ収集
○ごみ収集場所まで運んでくれるサービス。足腰の痛みで歩行が困難だとマンションだと玄関口が階上にあり道路際の収集場所はかなり大変。一軒家も段差や狭い庭先が多くかなり大変。○市の相談窓口の設置と生活支援、何でもお手伝い係りの設置。年齢とともに整理清掃が体力的にも苦手になりがち。これが数年たちゴミや使用不用の品が乱雑に混ざり合えばゴミ屋敷になるのではないかと考える。わかっていても自身では難しい家の片付けを市で本気で取り組んではどうでしょうか。
入浴サービス
週２回くらい入浴サービスを願いたい。
施設関係
近隣に、誰でも行って何か（趣味など）ができる施設があるといいです。（自由に出入り）元気な人も少し不自由な人も通える図書館や食堂ちょっとした運動スペースもあれば。
生活しやすい環境つくりを求めます。利用できる施設が身近にあること。少人数で集まって楽しめる所が点在する方が行動の可能性を続けられます。医療施設、選挙の投票所、保健所も身近にあることを希望します。統廃合は不便を感じます。○歩道橋は車優先ではないか。役所が遠くて年とともに大変です。役所の窓口を身近に。大雪、自然現象への対応は行政の仕事。労働の場にもできるはず。
必要とまではいかないが、施設の人 20～30 人くらいで季節のバス旅をし、気分転換するなどのイベントを 2～3 年に 1 回くらいはして欲しい。
グループホームのような小規模の施設が地域に数多くある方が良いと思います。
経済面
①年金で暮らしていけるホームが必要だと思う。②リースが高すぎる。日用品からパジャマ、歯磨き、ティッシュ、タオルの果てまでリース代約月 50,000 円は高すぎる。どのような設定になっているのか。
サービスというより、介護を受ける年代になった時もっと安心して金銭的にも楽に暮らせるといいですね。
その他
IT のサポート（ネット、携帯など）
既に行われていることかも知れませんが、希望することを記入します。○認知症、高齢者、障がい者をそれぞれに括らず、生きづらいと思っている若い人も子供たちも含めて同じ空間にいられて各自が好きなことをやれる場所があるといいと思います。（朝日新聞 1/6　2 面の記事のような）まずは高齢者の施設と学童保育とが同じ施設にあるといいと思います。○四角い灰色の建物ではなく明るい色のきれいな建物、又は民家や校舎など小さいころから慣れ親しんだ建物を希望します。○認知症でも高齢者でも障がい者でも支援してもらうだけでなく自分が人の役に立てている、喜ばれているという実感を持てるような役割があったら嬉しいです。
今の所自分のことは自分でできるし、外出にしても心配ないので具体的にこのサービスが必要だとまだ言えない。
介護保険サービスについて具体的にわからないためイメージできない
正直なところ自分のこれから先のことはもちろんわからない状態です。介護を必要としていらっしゃる方々から広く意見や要望をひろいあげてよりよいものにしていただくことをお願いしたい。

（7）介護サービス料金支払方法

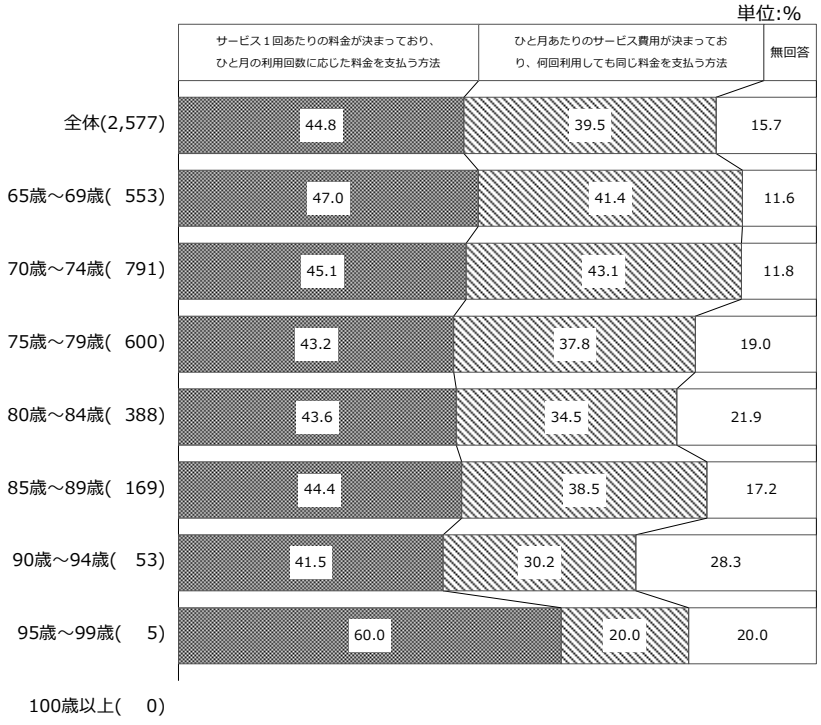
あなたは、介護サービスの料金を支払うとき、次のどの方法が望ましいと考えますか
（○は１つ）

「サービス１回あたりの料金が決まっており、ひと月の利用回数に応じた料金を支払う方法」は44.8%、「ひと月あたりのサービス費用が決まっており、何回利用しても同じ料金を支払う方法」は39.5%となっています。

要支援度等でみてみると、「ひと月あたりのサービス費用が決まっており、何回利用しても同じ料金を支払う方法」の比率は「事業対象者」が最も高く、「要支援１」が続いています。

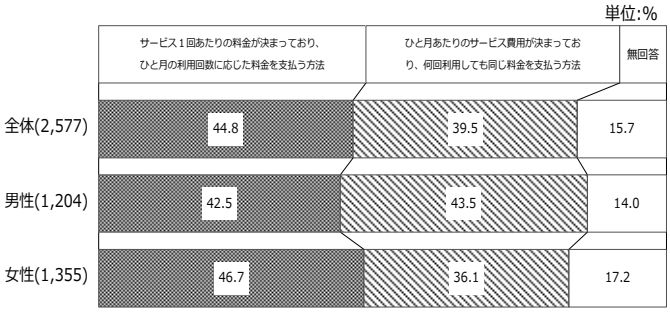


年齢別では、「ひと月あたりのサービス費用が決まっており、何回利用しても同じ料金を支払う方法」の比率は年齢が上がるにしたがい高くなる傾向にあります。



男女別にみると、「サービス１回あたりの料金が決まっており、ひと月の利用回数に応じた料金を支払う方法」の比率は「女性」が「男性」よりも上回っています。

単位:%



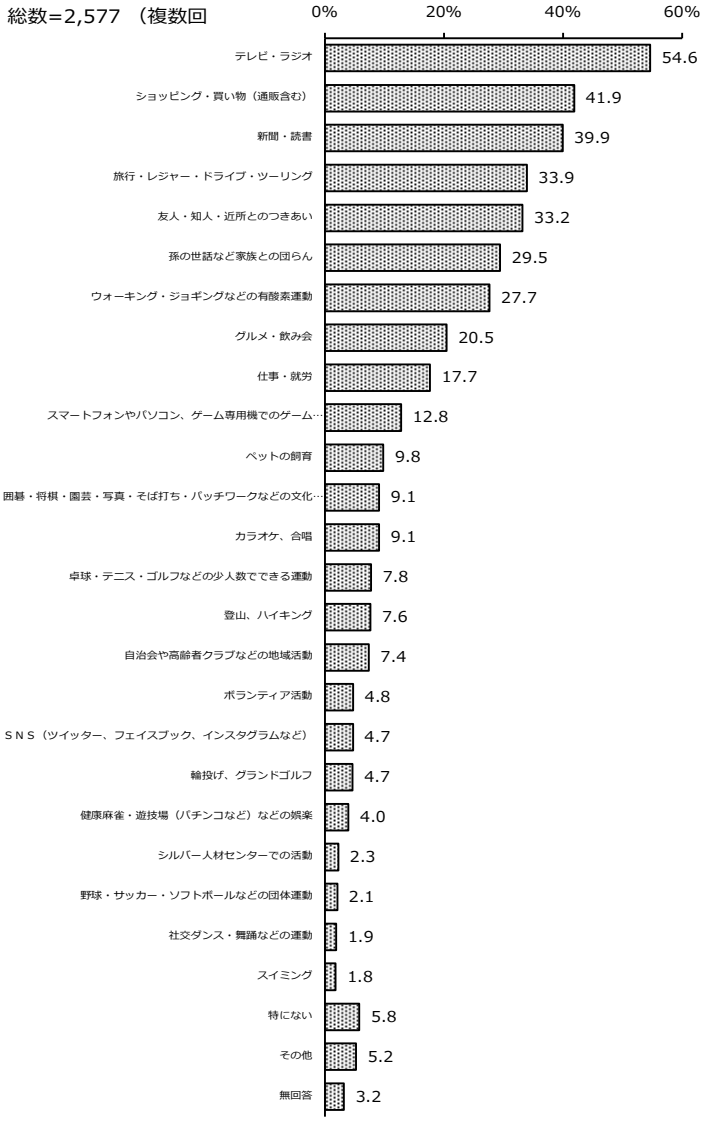
12 生きがいや充実感、週１回以上の活動状況

（1）どのようなことに充実感や生きがいを感じるか

あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか
(あてはまるものすべてに○)

「テレビ・ラジオ」が 54.6%で最も多く、「ショッピング・買い物（通販含む)」（41.9%)、「新聞・読書」（39.9%)、「旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング」（33.9%）が続きます。

前期調査と比較すると、「新聞・読書」が２位から３位に下がっています。



これを年齢階層別にみると、「ショッピング・買い物（通販含む）」「旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング」「孫の世話など家族との団らん」「ウォーキング・ジョギングなどの有酸素運動」などで、年齢が上がるにしたがい蛭田が低くなる傾向にあります。

	全体	孫の世話など家族との団らん	旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング	グルメ・飲み会	テレビ・ラジオ	新聞・読書	SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど）	スマートフォンやパソコン、ゲーム専用機でのゲーム（ネットワークを使用するものを含む）	ショッピング・買い物（通販含む）	自治会や高齢者クラブなどの地域活動	囲碁・将棋・園芸・写真・そば打ち・パッチワークなどの文化的な活動	ウォーキング・ジョギングなどの有酸素運動	登山、ハイキング	スイミング	カラオケ、合唱	輪投げ、グランドゴルフ	社交ダンス・舞踊などの運動	野球・サッカー・ソフトボールなどの団体運動	卓球・テニス・ゴルフなどの少人数でできる運動	健康麻雀・遊技場（パチンコなど）などの娯楽	ペットの飼育	ボランティア活動	仕事・就労	シルバー人材センターでの活動	友人・知人・近所とのつきあい	特にない	その他	無回答
全体	2,577	29.5	33.9	20.5	54.6	39.9	4.7	12.8	41.9	7.4	9.1	27.7	7.6	1.8	9.1	4.7	1.9	2.1	7.8	4.0	9.8	4.8	17.7	2.3	33.2	5.8	5.2	3
65歳～69歳	553	35.8	46.3	31.1	53.9	33.8	9.6	19.5	49.0	5.1	9.0	28.8	10.1	1.6	8.3	0.9	1.8	3.1	8.7	4.0	15.0	5.4	33.3	2.2	31.3	3.1	5.6	2
70歳～74歳	791	31.7	42.0	23.5	52.3	35.3	5.6	13.1	44.1	6.3	8.7	34.1	9.7	2.5	9.6	2.3	1.5	2.4	9.6	4.4	10.5	5.4	21.5	4.0	32.5	6.3	5.2	2
75歳～79歳	600	28.7	27.3	14.8	55.7	45.5	2.5	11.8	39.3	8.2	9.2	27.0	6.8	1.8	8.0	6.2	2.7	1.7	7.5	4.2	7.7	4.8	10.8	1.7	34.2	6.2	4.2	3
80歳～84歳	388	24.7	23.2	13.1	58.5	44.3	2.1	9.0	38.1	10.1	9.3	22.7	3.4	1.0	10.6	8.5	1.8	1.5	5.9	3.6	6.7	4.1	6.2	0.3	35.3	7.0	3.1	4
85歳～89歳	169	14.8	13.0	11.8	55.6	50.3	0.6	5.9	32.5	11.2	11.8	13.6	5.3	1.2	10.7	11.8	2.4	–	4.1	2.4	5.3	2.4	5.9	1.8	37.3	6.5	10.7	4
90歳～94歳	53	18.9	7.5	7.5	47.2	37.7	–	–	22.6	7.5	5.7	3.8	1.9	–	7.5	11.3	–	1.9	1.9	–	5.7	–	1.9	–	28.3	9.4	13.2	9
95歳～99歳	5	20.0	–	–	60.0	40.0	–	–	20.0	–	20.0	20.0	–	–	–	–	–	–	–	20.0	20.0	–	–	–	20.0	20.0	–	20
100歳以上	–	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	–	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	–	
無回答	18	33.3	33.3	27.8	72.2	61.1	5.6	11.1	38.9	11.1	5.6	44.4	–	–	11.1	5.6	–	5.6	–	5.6	11.1	5.6	5.6	–	27.8	5.6	5.6	5

なお、地区別にみると、「特にない」では「第１地区」の比率が最も高く。「第３地区」が続いています。

	全体	孫の世話など家族との団らん	旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング	グルメ・飲み会	テレビ・ラジオ	新聞・読書	SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど）	スマートフォンやパソコン、ゲーム専用機でのゲーム（ネットワークを使用するものを含む）	ショッピング・買い物（通販含む）	自治会や高齢者クラブなどの地域活動	囲碁・将棋・園芸・写真・そば打ち・パッチワークなどの文化的な活動	ウォーキング・ジョギングなどの有酸素運動	登山、ハイキング	スイミング	カラオケ、合唱	輪投げ、グランドゴルフ	社交ダンス・舞踊などの運動	野球・サッカー・ソフトボールなどの団体運動	卓球・テニス・ゴルフなどの少人数でできる運動	健康麻雀・遊技場（パチンコなど）などの娯楽	ペットの飼育	ボランティア活動	仕事・就労	シルバー人材センターでの活動	友人・知人・近所とのつきあい	特にない	その他	無回答
全体	2,577	29.5	33.9	20.5	54.6	39.9	4.7	12.8	41.9	7.4	9.1	27.7	7.6	1.8	9.1	4.7	1.9	2.1	7.8	4.0	9.8	4.8	17.7	2.3	33.2	5.8	5.2	3.2
第１地区	556	27.0	34.5	20.7	53.2	43.7	5.8	13.7	38.7	9.7	12.1	27.7	9.2	2.3	10.4	6.8	2.5	1.4	7.6	3.6	8.1	4.5	17.8	2.0	30.4	6.7	6.3	2.9
第２地区	1,035	30.0	34.2	20.2	54.9	37.7	5.2	13.1	43.2	7.6	9.2	26.3	7.1	1.8	9.3	4.5	2.0	1.6	7.8	4.5	9.9	4.9	18.6	2.2	36.0	4.8	4.6	3.9
第３地区	968	30.2	33.3	20.5	54.9	39.8	3.6	12.0	42.4	5.8	7.4	28.8	7.4	1.4	8.2	3.5	1.4	2.9	8.0	3.5	10.7	4.8	16.8	2.5	31.9	6.3	5.3	2.6
無回答	18	33.3	33.3	27.8	72.2	61.1	5.6	11.1	38.9	11.1	5.6	44.4	-	-	11.1	5.6	-	5.6	-	5.6	11.1	5.6	5.6	-	27.8	5.6	5.6	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	孫の世話など家族との団らん	旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング	グルメ・飲み会	テレビ・ラジオ	新聞・読書	SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど）	スマートフォンやパソコン、ゲーム専用機でのゲーム（ネットワークを使用するもの）	ショッピング・買い物（通販含む）	自治会や高齢者クラブなどの地域活動	囲碁・将棋・園芸・写真・そば打・パッチワークなどの文化的な活動	ウォーキング・ジョギングなどの有酸素運動	登山、ハイキング	スイミング	カラオケ、合唱	輪投げ、グランドゴルフ	社交ダンス・舞踊などの運動	野球・サッカー・ソフトボールなどの団体運動	卓球・テニス・ゴルフなどの少人数でできる運動	健康麻雀・遊技場（パチンコなど）などの娯楽	ペットの飼育	ボランティア活動	仕事・就労	シルバー人材センターでの活動	友人・知人・近所とのつきあい	特にない	その他	無回答
全体	2,577	759	874	527	1,408	1,029	122	330	1,079	191	235	713	197	46	235	120	49	54	200	102	253	123	455	58	856	149	135	82
	100.0	29.5	33.9	20.5	54.6	39.9	4.7	12.8	41.9	7.4	9.1	27.7	7.6	1.8	9.1	4.7	1.9	2.1	7.8	4.0	9.8	4.8	17.7	2.3	33.2	5.8	5.2	3.2
梅	236	69	82	49	129	101	9	32	93	27	27	70	24	4	20	15	7	2	14	6	20	12	48	4	76	19	11	6
	100.0	29.2	34.7	20.8	54.7	42.8	3.8	13.6	39.4	11.4	11.4	29.7	10.2	1.7	8.5	6.4	3.0	0.8	5.9	2.5	8.5	5.1	20.3	1.7	32.2	8.1	4.7	2.5
青梅	320	81	110	66	167	142	23	44	122	27	40	84	27	9	38	23	7	6	28	14	25	13	51	7	93	18	24	10
	100.0	25.3	34.4	20.6	52.2	44.4	7.2	13.8	38.1	8.4	12.5	26.3	8.4	2.8	11.9	7.2	2.2	1.9	8.8	4.4	7.8	4.1	15.9	2.2	29.1	5.6	7.5	3.1
瀬	408	116	145	84	221	160	20	57	186	30	34	115	19	12	41	11	5	8	37	16	41	19	83	10	148	16	17	13
	100.0	28.4	35.5	20.6	54.2	39.2	4.9	14.0	45.6	7.4	8.3	28.2	4.7	2.9	10.0	2.7	1.2	2.0	9.1	3.9	10.0	4.7	20.3	2.5	36.3	3.9	4.2	3.2
辺	312	90	99	63	162	105	23	41	125	22	26	84	32	3	30	17	4	5	24	18	29	10	53	8	98	26	16	17
	100.0	28.8	31.7	20.2	51.9	33.7	7.4	13.1	40.1	7.1	8.3	26.9	10.3	1.0	9.6	5.4	1.3	1.6	7.7	5.8	9.3	3.2	17.0	2.6	31.4	8.3	5.1	5.4
郷	227	81	85	43	135	82	9	30	97	20	29	50	13	2	19	13	9	4	14	8	26	15	36	4	88	6	8	8
	100.0	35.7	37.4	18.9	59.5	36.1	4.0	13.2	42.7	8.8	12.8	22.0	5.7	0.9	8.4	5.7	4.0	1.8	6.2	3.5	11.5	6.6	15.9	1.8	38.8	2.6	3.5	3.5
井	88	24	25	19	50	43	2	8	39	7	6	23	10	2	6	6	3	-	6	5	6	7	20	1	39	2	7	2
	100.0	27.3	28.4	21.6	56.8	48.9	2.3	9.1	44.3	8.0	6.8	26.1	11.4	2.3	6.8	6.8	3.4	-	6.8	5.7	6.8	8.0	22.7	1.1	44.3	2.3	8.0	2.3
門	344	96	109	79	203	123	5	36	136	20	22	104	27	5	31	12	5	10	28	14	39	12	63	10	108	23	21	7
	100.0	27.9	31.7	23.0	59.0	35.8	1.5	10.5	39.5	5.8	6.4	30.2	7.8	1.5	9.0	3.5	1.5	2.9	8.1	4.1	11.3	3.5	18.3	2.9	31.4	6.7	6.1	2.0
町	300	94	106	60	146	126	15	36	117	16	28	94	26	8	28	6	7	11	28	9	29	21	47	9	84	19	15	6
	100.0	31.3	35.3	20.0	48.7	42.0	5.0	12.0	39.0	5.3	9.3	31.3	8.7	2.7	9.3	2.0	2.3	3.7	9.3	3.0	9.7	7.0	15.7	3.0	28.0	6.3	5.0	2.0
井	197	67	66	36	117	85	11	33	91	8	11	52	12	1	13	7	1	6	15	8	22	10	32	3	66	10	7	6
	100.0	34.0	33.5	18.3	59.4	43.1	5.6	16.8	46.2	4.1	5.6	26.4	6.1	0.5	6.6	3.6	0.5	3.0	7.6	4.1	11.2	5.1	16.2	1.5	33.5	5.1	3.6	3.0
倉木	84	24	29	17	37	33	3	9	45	8	7	20	4	-	6	7	1	1	5	3	10	1	13	1	32	7	5	4
	100.0	28.6	34.5	20.2	44.0	39.3	3.6	10.7	53.6	9.5	8.3	23.8	4.8	-	7.1	8.3	1.2	1.2	6.0	3.6	11.9	1.2	15.5	1.2	38.1	8.3	6.0	4.8
木	43	11	12	6	28	18	1	2	21	4	4	9	3	-	1	2	-	-	1	-	4	2	8	1	19	2	3	2
	100.0	25.6	27.9	14.0	65.1	41.9	2.3	4.7	48.8	9.3	9.3	20.9	7.0	-	2.3	4.7	-	-	2.3	-	9.3	4.7	18.6	2.3	44.2	4.7	7.0	4.7
回答	18	6	6	5	13	11	1	2	7	2	1	8	-	-	2	1	-	1	-	1	2	1	1	-	5	1	1	1
	100.0	33.3	33.3	27.8	72.2	61.1	5.6	11.1	38.9	11.1	5.6	44.4	-	-	11.1	5.6	-	5.6	-	5.6	11.1	5.6	5.6	-	27.8	5.6	5.6	5.6

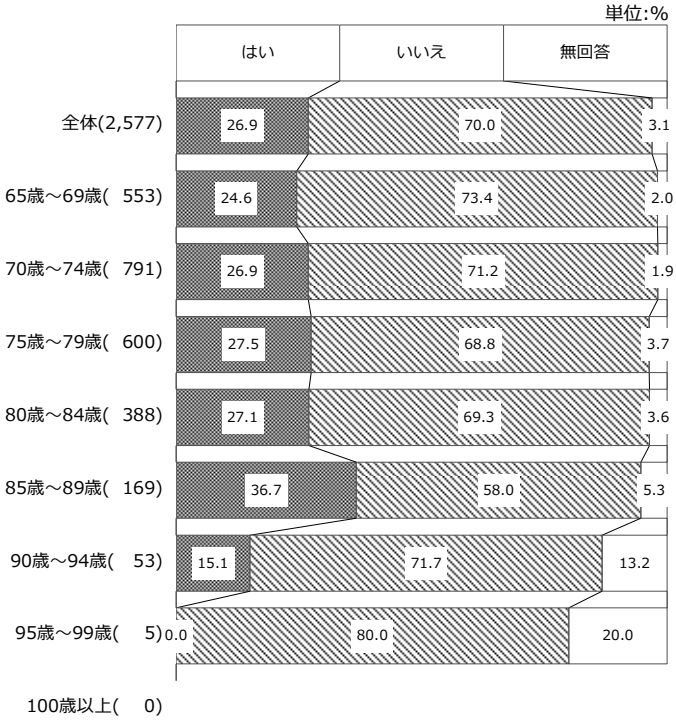
（2）社会活動組織への所属

あなたは、週に１回位で集まるような団体、サークル、クラブなど（高齢者だけが所属しているかどうかに限りません）に所属していますか

「いいえ」は 70.0%、「はい」は 26.9%となっています。

前期調査と比較すると、「いいえ」の比率が上がっています。

これを年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい比率が高まっている傾向にあります。



これを地区別でみると、「はい」の比率は「第１地区」で最も高く、「第２地区」がそれに続いています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,577	26.9	70.0	3.1
居住地区	第１地区	556	30.9	66.0	3.1
	第２地区	1,035	27.1	69.9	3.1
	第３地区	968	24.5	72.4	3.1
	無回答	18	22.2	72.2	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	693	1,804	80
	100.0	26.9	70.0	3.1
青梅	236	75	154	7
	100.0	31.8	65.3	3.0
東青梅	320	97	213	10
	100.0	30.3	66.6	3.1
長淵	408	110	285	13
	100.0	27.0	69.9	3.2
河辺	312	78	224	10
	100.0	25.0	71.8	3.2
梅郷	227	68	152	7
	100.0	30.0	67.0	3.1
沢井	88	24	62	2
	100.0	27.3	70.5	2.3
大門	344	87	247	10
	100.0	25.3	71.8	2.9
新町	300	66	221	13
	100.0	22.0	73.7	4.3
今井	197	52	143	2
	100.0	26.4	72.6	1.0
小曾木	84	24	55	5
	100.0	28.6	65.5	6.0
成木	43	8	35	-
	100.0	18.6	81.4	-
無回答	18	4	13	1
	100.0	22.2	72.2	5.6

① 所属社会活動組織

【上の設問で「１．はい」とお答えした方のみ】
（２－２）どんな団体、活動ですか(あてはまるものすべてに○)

「はい」「運動や体操の仲間」が 45.9%で最も多く、「趣味の集まり」（32.0%）、「高齢者クラブ」（18.3%）、「自治会」（17.9%）が続きます。

前期調査と比較すると、「カラオケ・合唱グループ」が３位から５位に下がっています。

これを年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい「運動や体操の仲間」の比率が下がり、「高齢者クラブ」「自治会」の比率が上がる傾向にあります。

		全体	自治会	高齢者クラブ	運動や体操の仲間	茶飲み仲間	カラオケ、合唱グループ	趣味の集まり	その他	無回答
	全体	693	17.9	18.3	45.9	9.5	10.7	32.0	14.1	0.6
年齢	65歳～69歳	136	16.9	3.7	54.4	7.4	7.4	25.7	17.6	0.7
	70歳～74歳	213	13.1	10.8	50.7	8.5	9.4	31.0	13.6	0.5
	75歳～79歳	165	20.6	22.4	44.8	11.5	9.7	37.0	13.3	-
	80歳～84歳	105	25.7	38.1	41.0	13.3	19.0	37.1	10.5	-
	85歳～89歳	62	12.9	29.0	25.8	6.5	12.9	27.4	19.4	3.2
	90歳～94歳	8	25.0	37.5	25.0	12.5	-	37.5	-	-
	95歳～99歳	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	100歳以上	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-

これを地区別でみると、「自治会」では「第１地区」が、「運動や体操の仲間」では「第３地区」が、それぞれ比率が最も高く、それ以外では「第２地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	自治会	高齢者クラブ	運動や体操の仲間	茶飲み仲間	カラオケ、合唱グループ	趣味の集まり	その他	無回答
	全体	693	17.9	18.3	45.9	9.5	10.7	32.0	14.1	0.6
居住地区	第１地区	172	20.9	16.3	42.4	9.3	8.1	33.1	16.3	1.2
	第２地区	280	17.1	21.1	46.1	10.7	13.2	33.6	9.6	-
	第３地区	237	16.0	16.5	48.5	8.4	9.7	29.5	18.1	0.8
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	自治会	高齢者クラブ	運動や体操の仲間	茶飲み仲間	カラオケ、合唱グループ	趣味の集まり	その他	無回答
全体	693	124	127	318	66	74	222	98	4
	100.0	17.9	18.3	45.9	9.5	10.7	32.0	14.1	0.6
青梅	75	19	14	32	5	6	22	13	-
	100.0	25.3	18.7	42.7	6.7	8.0	29.3	17.3	-
東青梅	97	17	14	41	11	8	35	15	2
	100.0	17.5	14.4	42.3	11.3	8.2	36.1	15.5	2.1
長淵	110	16	13	55	10	18	34	16	-
	100.0	14.5	11.8	50.0	9.1	16.4	30.9	14.5	-
河辺	78	18	19	38	7	10	21	4	-
	100.0	23.1	24.4	48.7	9.0	12.8	26.9	5.1	-
梅郷	68	8	20	27	8	8	30	4	-
	100.0	11.8	29.4	39.7	11.8	11.8	44.1	5.9	-
沢井	24	6	7	9	5	1	9	3	-
	100.0	25.0	29.2	37.5	20.8	4.2	37.5	12.5	-
大門	87	19	18	43	10	6	22	13	2
	100.0	21.8	20.7	49.4	11.5	6.9	25.3	14.9	2.3
新町	66	10	7	35	5	8	23	14	-
	100.0	15.2	10.6	53.0	7.6	12.1	34.8	21.2	-
今井	52	3	6	28	3	7	16	11	-
	100.0	5.8	11.5	53.8	5.8	13.5	30.8	21.2	-
小曾木	24	3	8	7	1	2	7	4	-
	100.0	12.5	33.3	29.2	4.2	8.3	29.2	16.7	-
成木	8	3	-	2	1	-	2	1	-
	100.0	37.5	-	25.0	12.5	-	25.0	12.5	-
無回答	4	2	1	1	-	-	1	-	-
	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-

13 ボランティア活動

（1）ボランティア活動の実践

あなたは、ここ最近、ボランティア活動をしたことがありますか

「いいえ」は 82.0%、「はい」は 14.1%となっています。

年齢階層別にみても、有意的内容はありません。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	14.1	82.0	3.9
年齢	65歳～69歳	553	15.4	81.9	2.7
	70歳～74歳	791	14.0	84.1	1.9
	75歳～79歳	600	14.5	82.2	3.3
	80歳～84歳	388	15.5	78.4	6.2
	85歳～89歳	169	9.5	81.1	9.5
	90歳～94歳	53	3.8	83.0	13.2
	95歳～99歳	5	－	80.0	20.0
	100歳以上	－	*	*	*
	無回答	18	11.1	77.8	11.1

これを地区別でみると、「はい」の比率が相対的に高いのは「第２地区」となっています。

		全体	はい	いいえ	無回答
	全体	2,577	14.1	82.0	3.9
居住地区	第１地区	556	14.6	81.7	3.8
	第２地区	1,035	15.2	81.1	3.8
	第３地区	968	12.7	83.4	3.9
	無回答	18	11.1	77.8	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	はい	いいえ	無回答
全体	2,577	363	2,114	100
	100.0	14.1	82.0	3.9
青梅	236	40	184	12
	100.0	16.9	78.0	5.1
東青梅	320	41	270	9
	100.0	12.8	84.4	2.8
長淵	408	58	335	15
	100.0	14.2	82.1	3.7
河辺	312	37	263	12
	100.0	11.9	84.3	3.8
梅郷	227	44	174	9
	100.0	19.4	76.7	4.0
沢井	88	18	67	3
	100.0	20.5	76.1	3.4
大門	344	37	292	15
	100.0	10.8	84.9	4.4
新町	300	41	245	14
	100.0	13.7	81.7	4.7
今井	197	19	173	5
	100.0	9.6	87.8	2.5
小曾木	84	14	66	4
	100.0	16.7	78.6	4.8
成木	43	12	31	-
	100.0	27.9	72.1	-
無回答	18	2	14	2
	100.0	11.1	77.8	11.1

① 具体的活動

【上の設問で「１．はい」を選んだ方のみ】
どんな活動ですか(あてはまるものすべてに○)

「道路・河川・公園などの清掃活動」が 38.3%で最も多く、「見守り活動」（19.3%）、「高齢者や障害者に対するボランティア活動」（15.7%）、「子供や青少年に対するボランティア活動」（13.8%）が続きます。

年齢階層別にみると、「道路・河川・公園などの清掃活動」では年齢が上がるにしたがい比率が高まる傾向にあります。

		全体	見守り活動	高齢者や障害者に対するボランティア活動	子供や青少年に対するボランティア活動	災害ボランティア活動	道路・河川・公園などの清掃活動	文化・芸術に関する活動（支援・指導含む）	スポーツに関する活動（支援・指導含む）	国際交流・国際協力活動	その他	無回答
	全体	363	19.3	15.7	13.8	2.8	38.3	9.6	11.3	3.0	17.9	1.1
年齢	65歳～69歳	85	12.9	18.8	21.2	5.9	29.4	10.6	15.3	3.5	16.5	－
	70歳～74歳	111	20.7	17.1	17.1	2.7	32.4	9.0	11.7	5.4	18.9	0.9
	75歳～79歳	87	19.5	9.2	8.0	2.3	46.0	6.9	10.3	－	24.1	1.1
	80歳～84歳	60	25.0	15.0	8.3	－	53.3	11.7	10.0	1.7	10.0	－
	85歳～89歳	16	6.3	25.0	－	－	31.3	12.5	－	6.3	18.8	12.5
	90歳～94歳	2	50.0	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－
	95歳～99歳	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	2	100.0	50.0	50.0	－	50.0	－	－	－	－	－

これを地区別でみると、「道路・河川・公園などの清掃活動」「見守り活動」「高齢者や障害者に対するボランティア活動」では「第３地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	見守り活動	高齢者や障害者に対するボランティア活動	子供や青少年に対するボランティア活動	災害ボランティア活動	道路・河川・公園などの清掃活動	文化・芸術に関する活動（支援・指導含む）	スポーツに関する活動（支援・指導含む）	国際交流・国際協力活動	その他	無回答
	全体	363	19.3	15.7	13.8	2.8	38.3	9.6	11.3	3.0	17.9	1.1
居住地区	第１地区	81	17.3	17.3	14.8	4.9	33.3	17.3	13.6	3.7	17.3	-
	第２地区	157	18.5	12.7	14.0	1.3	38.2	7.6	8.3	3.8	19.1	0.6
	第３地区	123	20.3	17.9	12.2	3.3	41.5	7.3	13.8	1.6	17.1	2.4
	無回答	2	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	見守り活動	高齢者や障害者に対するボランティア活動	子供や青少年に対するボランティア活動	災害ボランティア活動	道路・河川・公園などの清掃活動	文化・芸術に関する活動（支援・指導含む）	スポーツに関する活動（支援・指導含む）	国際交流・国際協力活動	その他	無回答
全体	363	70	57	50	10	139	35	41	11	65	4
	100.0	19.3	15.7	13.8	2.8	38.3	9.6	11.3	3.0	17.9	1.1
青梅	40	4	9	5	2	18	6	5	1	6	-
	100.0	10.0	22.5	12.5	5.0	45.0	15.0	12.5	2.5	15.0	-
東青梅	41	10	5	7	2	9	8	6	2	8	-
	100.0	24.4	12.2	17.1	4.9	22.0	19.5	14.6	4.9	19.5	-
長淵	58	11	8	7	-	23	7	3	1	12	1
	100.0	19.0	13.8	12.1	-	39.7	12.1	5.2	1.7	20.7	1.7
河辺	37	5	5	6	-	11	-	4	4	8	-
	100.0	13.5	13.5	16.2	-	29.7	-	10.8	10.8	21.6	-
梅郷	44	13	5	8	1	15	4	3	-	7	-
	100.0	29.5	11.4	18.2	2.3	34.1	9.1	6.8	-	15.9	-
沢井	18	-	2	1	1	11	1	3	1	3	-
	100.0	-	11.1	5.6	5.6	61.1	5.6	16.7	5.6	16.7	-
大門	37	11	11	4	1	14	1	4	1	4	2
	100.0	29.7	29.7	10.8	2.7	37.8	2.7	10.8	2.7	10.8	5.4
新町	41	8	8	6	1	8	5	9	1	10	-
	100.0	19.5	19.5	14.6	2.4	19.5	12.2	22.0	2.4	24.4	-
今井	19	1	1	3	2	9	1	2	-	2	1
	100.0	5.3	5.3	15.8	10.5	47.4	5.3	10.5	-	10.5	5.3
小曾木	14	3	-	-	-	11	1	-	-	3	-
	100.0	21.4	-	-	-	78.6	7.1	-	-	21.4	-
成木	12	2	2	2	-	9	1	2	-	2	-
	100.0	16.7	16.7	16.7	-	75.0	8.3	16.7	-	16.7	-
無回答	2	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-

② 活動を行う際に望むこと

【上の設問で「1．はい」を選んだ方のみ】
（1－3）あなたがボランティア活動を行う際に望むことは何ですか
(あてはまるものすべてに○)

「人との交流」が 68.6%で最も多く、「生きがい」（44.1%）、「健康づくり」（38.3%）、「報酬」（5.2%）が続きます。

年齢階層別にみると、年齢階層が上がるにしたがい、「人との交流」の比率は下がり、「健康づくり」の比率は上がる傾向にあります。

		全体	生きがい	報酬	健康づくり	人との交流	その他	無回答
	全体	363	44.1	5.2	38.3	68.6	9.4	7.4
年齢	65歳～69歳	85	45.9	8.2	23.5	74.1	11.8	7.1
	70歳～74歳	111	40.5	4.5	38.7	70.3	9.9	3.6
	75歳～79歳	87	44.8	4.6	44.8	65.5	3.4	10.3
	80歳～84歳	60	48.3	1.7	53.3	66.7	10.0	10.0
	85歳～89歳	16	31.3	6.3	25.0	50.0	25.0	12.5
	90歳～94歳	2	100.0	50.0	－	100.0	－	－
	95歳～99歳	－	*	*	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*
	無回答	2	50.0	－	50.0	50.0	－	－

これを地区別でみると、「人との交流」では「第１地区」が、「生きがい」では「第２地区」が、「健康づくり」では「第３地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	生きがい	報酬	健康づくり	人との交流	その他	無回答
	全体	363	44.1	5.2	38.3	68.6	9.4	7.4
居住地区	第１地区	81	40.7	3.7	40.7	72.8	9.9	6.2
	第２地区	157	45.9	5.1	31.8	66.2	8.9	6.4
	第３地区	123	43.9	6.5	44.7	69.1	9.8	9.8
	無回答	2	50.0	-	50.0	50.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	生きがい	報酬	健康づくり	人との交流	その他	無回答
全体	363	160	19	139	249	34	27
	100.0	44.1	5.2	38.3	68.6	9.4	7.4
青梅	40	16	1	19	32	4	2
	100.0	40.0	2.5	47.5	80.0	10.0	5.0
東青梅	41	17	2	14	27	4	3
	100.0	41.5	4.9	34.1	65.9	9.8	7.3
長淵	58	28	2	18	38	5	4
	100.0	48.3	3.4	31.0	65.5	8.6	6.9
河辺	37	16	5	11	22	4	3
	100.0	43.2	13.5	29.7	59.5	10.8	8.1
梅郷	44	17	-	14	31	5	2
	100.0	38.6	-	31.8	70.5	11.4	4.5
沢井	18	11	1	7	13	-	1
	100.0	61.1	5.6	38.9	72.2	-	5.6
大門	37	19	-	16	24	5	4
	100.0	51.4	-	43.2	64.9	13.5	10.8
新町	41	17	5	20	30	3	4
	100.0	41.5	12.2	48.8	73.2	7.3	9.8
今井	19	11	2	8	17	-	1
	100.0	57.9	10.5	42.1	89.5	-	5.3
小曾木	14	3	-	5	8	3	1
	100.0	21.4	-	35.7	57.1	21.4	7.1
成木	12	4	1	6	6	1	2
	100.0	33.3	8.3	50.0	50.0	8.3	16.7
無回答	2	1	-	1	1	-	-
	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-

14 介護ボランティア制度

（1）介護ボランティアポイントの使い道

市では、高齢者へのボランティア活動を行った場合、買い物などに利用できるポイントが得られる登録制の介護ボランティア制度（※）導入を検討しています。

※介護ボランティア制度とは、介護支援に関わるボランティア活動（高齢者の話し相手や、見守り 活動、外出の付き添い、施設での軽作業等）を行った高齢者に対して、活動実績に応じてお金に変えることが可能なポイントが与えられる制度で、施設の利用券や買い物などに利用できるものです。

地域に貢献することで喜びを感じながら、活動される方ご自身の健康維持にもつながります。活動内容や、ポイントで何が可能となるかは、実施している自治体によって様々です。

ボランティア活動によって得られるポイントについて、あなたはどのような使いみちがあったら良いと思いますか（あてはまるものすべてに○）

「商店での買い物の割引き」が 49.0%で最も多く、「市税や介護保険料等の支払い」（28.0%）、「現金への換金」（26.1%）、「施設利用料の割引き」（20.6%）が続きます。

年齢階層別にみると、「商店での買い物の割引き」「市税や介護保険料等の支払い」「市税や介護保険料等の支払い」で、年齢が上がるにつれて比率が下がっています。

		全体	商店での買い物の割引き	施設利用料の割引き	市税や介護保険料等の支払い	現金への換金	ギフトカード等の金券と交換	電子マネーへチャージ	その他	無回答
	全体	2,577	49.0	20.6	28.0	26.1	15.4	14.2	3.3	19.2
年齢	65歳～69歳	553	51.9	25.5	39.4	37.8	21.0	28.2	2.7	8.9
	70歳～74歳	791	50.1	23.0	30.2	29.0	17.1	16.2	3.3	13.3
	75歳～79歳	600	50.5	18.8	25.5	22.7	12.3	8.2	3.2	22.8
	80歳～84歳	388	45.9	15.2	19.8	16.2	12.1	5.2	3.4	31.2
	85歳～89歳	169	43.2	15.4	13.6	13.6	8.3	4.7	4.7	32.5
	90歳～94歳	53	34.0	13.2	15.1	15.1	13.2	3.8	1.9	43.4
	95歳～99歳	5	－	－	20.0	20.0	－	－	20.0	40.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	38.9	16.7	16.7	16.7	22.2	11.1	16.7	22.2

これを地区別でみると、「商店での買い物の割引き」では「第２地区」が、「市税や介護保険料等の支払い」では「第２地区」が、「現金への換金」では「第２地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	商店での買い物の割引き	施設利用料の割引き	市税や介護保険料等の支払い	現金への換金	ギフトカード等の金券と交換	電子マネーへチャージ	その他	無回答
全体		2,577	49.0	20.6	28.0	26.1	15.4	14.2	3.3	19.2
居住地区	第１地区	556	47.3	19.8	29.0	26.1	16.4	15.1	3.1	20.9
	第２地区	1,035	50.1	21.6	29.0	27.4	14.6	15.4	2.8	17.5
	第３地区	968	48.9	20.0	26.7	24.8	15.6	12.4	3.8	20.1
	無回答	18	38.9	16.7	16.7	16.7	22.2	11.1	16.7	22.2

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	商店での買い物の割引き	施設利用料の割引き	市税や介護保険料等の支払い	現金への換金	ギフトカード等の金券と交換	電子マネーへチャージ	その他	無回答
全体	2,577	1,262	531	722	672	397	365	86	496
	100.0	49.0	20.6	28.0	26.1	15.4	14.2	3.3	19.2
青梅	236	110	52	72	63	39	37	6	50
	100.0	46.6	22.0	30.5	26.7	16.5	15.7	2.5	21.2
東青梅	320	153	58	89	82	52	47	11	66
	100.0	47.8	18.1	27.8	25.6	16.3	14.7	3.4	20.6
長淵	408	207	84	120	115	66	64	13	61
	100.0	50.7	20.6	29.4	28.2	16.2	15.7	3.2	15.0
河辺	312	152	68	77	86	34	56	6	65
	100.0	48.7	21.8	24.7	27.6	10.9	17.9	1.9	20.8
梅郷	227	123	49	70	64	37	30	7	37
	100.0	54.2	21.6	30.8	28.2	16.3	13.2	3.1	16.3
沢井	88	37	23	33	19	14	9	3	18
	100.0	42.0	26.1	37.5	21.6	15.9	10.2	3.4	20.5
大門	344	167	71	93	80	50	35	20	81
	100.0	48.5	20.6	27.0	23.3	14.5	10.2	5.8	23.5
新町	300	149	66	84	79	51	42	7	52
	100.0	49.7	22.0	28.0	26.3	17.0	14.0	2.3	17.3
今井	197	109	40	55	54	32	29	2	33
	100.0	55.3	20.3	27.9	27.4	16.2	14.7	1.0	16.8
小曾木	84	31	10	14	16	11	9	6	20
	100.0	36.9	11.9	16.7	19.0	13.1	10.7	7.1	23.8
成木	43	17	7	12	11	7	5	2	9
	100.0	39.5	16.3	27.9	25.6	16.3	11.6	4.7	20.9
無回答	18	7	3	3	3	4	2	3	4
	100.0	38.9	16.7	16.7	16.7	22.2	11.1	16.7	22.2

（2）介護ボランティア活動・利用意向

あなたは、介護ボランティアとして登録して活動してみたい、またはボランティアによるサービスを利用してみたいですか（あてはまるものに○）

「サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない」が 11.5%で最も多く、「（制度の担い手として）ボランティア活動をやってみてもよい」（10.3%）、「（受け手として）ボランティアによるサービスを利用してみてもよい」（6.7%）、「ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない」（3.9%）が続きます。

年齢階層別にみると、「いずれも利用したくない」が 90 歳以上の比率が高くなっています。

		全体	（制度の担い手として）ボランティア活動を積極的にやってみたい	（制度の担い手として）ボランティア活動をやってみてもよい	（受け手として）ボランティアによるサービスを積極的に利用したい	（受け手として）ボランティアによるサービスを利用してみてもよい	ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない	サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない	いずれも利用したくない	無回答
	全体	2,577	0.9	10.3	0.9	6.7	3.9	11.5	38.9	26.9
年齢	65歳～69歳	553	0.9	16.8	0.7	5.8	4.7	12.3	38.5	20.3
	70歳～74歳	791	0.9	12.4	0.6	6.8	4.4	11.1	39.2	24.5
	75歳～79歳	600	0.8	8.5	1.2	6.5	5.3	11.3	37.8	28.5
	80歳～84歳	388	0.8	4.4	1.3	7.2	1.3	10.1	39.9	35.1
	85歳～89歳	169	1.2	2.4	1.2	10.1	1.2	16.0	37.3	30.8
	90歳～94歳	53	－	－	－	3.8	－	7.5	47.2	41.5
	95歳～99歳	5	－	－	－	－	－	20.0	60.0	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	－	16.7	－	－	5.6	11.1	38.9	27.8

地区別でみると、「（制度の担い手として）ボランティア活動を積極的にやってみたい」「（制度の担い手として）ボランティア活動をやってみてもよい」を合わせた比率では、「第１地区」の 12.8%で、「第２地区」が続いています。

「（受け手として）ボランティアによるサービスを積極的に利用したい」「（受け手として）ボランティアによるサービスを利用してみてもよい」を合わせた比率では、「第２地区」の 7.9%で、「第１地区」が続いています。

		全体	（制度の担い手として）ボランティア活動を積極的にやってみたい	（制度の担い手として）ボランティア活動をやってみてもよい	（受け手として）ボランティアによるサービスを積極的に利用したい	（受け手として）ボランティアによるサービスを利用してみてもよい	ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない	サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない	いずれも利用したくない	無回答
全体		2,577	0.9	10.3	0.9	6.7	3.9	11.5	38.9	26.9
居住地区	第１地区	556	1.6	11.2	1.3	6.3	3.1	10.1	38.3	28.2
	第２地区	1,035	0.5	12.1	1.1	6.8	4.0	11.6	37.3	26.8
	第３地区	968	0.8	7.9	0.5	6.9	4.3	12.3	41.0	26.2
	無回答	18	-	16.7	-	-	5.6	11.1	38.9	27.8

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

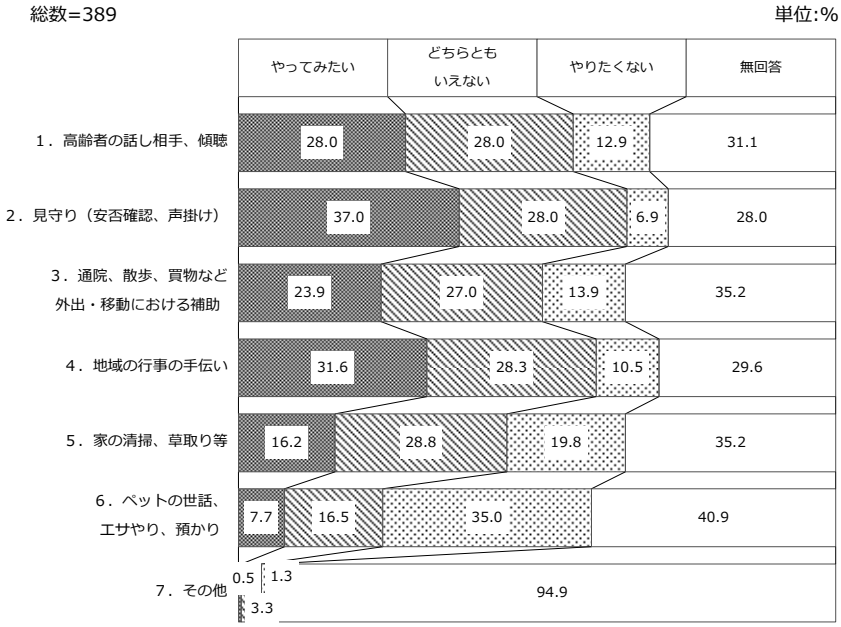
	全体	（制度の担い手として）ボランティア活動を積極的にやってみたい	（制度の担い手として）ボランティア活動をやってみてもよい	（受け手として）ボランティアによるサービスを積極的に利用したい	（受け手として）ボランティアによるサービスを利用してみてもよい	ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない	サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない	いずれも利用したくない	無回答
全体	2,577	22	266	23	172	101	297	1,003	693
	100.0	0.9	10.3	0.9	6.7	3.9	11.5	38.9	26.9
青梅	236	6	26	1	14	9	26	87	67
	100.0	2.5	11.0	0.4	5.9	3.8	11.0	36.9	28.4
東青梅	320	3	36	6	21	8	30	126	90
	100.0	0.9	11.3	1.9	6.6	2.5	9.4	39.4	28.1
長淵	408	2	52	5	29	20	43	149	108
	100.0	0.5	12.7	1.2	7.1	4.9	10.5	36.5	26.5
河辺	312	1	45	4	21	6	31	117	87
	100.0	0.3	14.4	1.3	6.7	1.9	9.9	37.5	27.9
梅郷	227	1	22	1	18	10	29	89	57
	100.0	0.4	9.7	0.4	7.9	4.4	12.8	39.2	25.1
沢井	88	1	6	1	2	5	17	31	25
	100.0	1.1	6.8	1.1	2.3	5.7	19.3	35.2	28.4
大門	344	1	28	1	26	12	43	139	94
	100.0	0.3	8.1	0.3	7.6	3.5	12.5	40.4	27.3
新町	300	3	24	3	25	7	36	120	82
	100.0	1.0	8.0	1.0	8.3	2.3	12.0	40.0	27.3
今井	197	4	21	1	6	15	29	76	45
	100.0	2.0	10.7	0.5	3.0	7.6	14.7	38.6	22.8
小曾木	84	-	3	-	8	6	8	41	18
	100.0	-	3.6	-	9.5	7.1	9.5	48.8	21.4
成木	43	-	-	-	2	2	3	21	15
	100.0	-	-	-	4.7	4.7	7.0	48.8	34.9
無回答	18	-	3	-	-	1	2	7	5
	100.0	-	16.7	-	-	5.6	11.1	38.9	27.8

① やってみたい具体的活動

「（制度の担い手として）ボランティア活動を積極的にやってみたい」、「（制度の担い手として）ボランティア活動をやってみてもよい」、「ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない」を選んだ方にお聞きします。やってみたい介護ボランティアの内容はありますか（あてはまるものに○）

【在宅の高齢者へのボランティア活動】

「やってみたい」では「見守り（安否確認、声掛け）」「地域の行事の手伝い」が 30%を超えて多く、「やりたくない」では「ペットの世話、エサやり、預かり」（35.0%）、「家の清掃、草取り等」（19.8%）が多くなっています。



1．高齢者の話し相手、傾聴

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	28.0	28.0	12.9	31.1
年齢	65歳～69歳	124	28.2	33.9	16.9	21.0
	70歳～74歳	140	27.9	30.7	11.4	30.0
	75歳～79歳	88	31.8	18.2	9.1	40.9
	80歳～84歳	25	24.0	8.0	20.0	48.0
	85歳～89歳	8	12.5	25.0	－	62.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	－	100.0	－	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第３地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	28.0	28.0	12.9	31.1
居住地区	第１地区	88	39.8	27.3	11.4	21.6
	第２地区	171	24.0	25.7	14.6	35.7
	第３地区	126	26.2	29.4	11.9	32.5
	無回答	4	-	100.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	109	109	50	121
	100.0	28.0	28.0	12.9	31.1
青梅	41	21	9	3	8
	100.0	51.2	22.0	7.3	19.5
東青梅	47	14	15	7	11
	100.0	29.8	31.9	14.9	23.4
長淵	74	20	21	10	23
	100.0	27.0	28.4	13.5	31.1
河辺	52	16	16	8	12
	100.0	30.8	30.8	15.4	23.1
梅郷	33	1	5	5	22
	100.0	3.0	15.2	15.2	66.7
沢井	12	4	2	2	4
	100.0	33.3	16.7	16.7	33.3
大門	41	14	8	4	15
	100.0	34.1	19.5	9.8	36.6
新町	34	7	14	4	9
	100.0	20.6	41.2	11.8	26.5
今井	40	8	13	4	15
	100.0	20.0	32.5	10.0	37.5
小曾木	9	2	2	3	2
	100.0	22.2	22.2	33.3	22.2
成木	2	2	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-

2．見守り（安否確認、声掛け）

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がる傾向にあります。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	37.0	28.0	6.9	28.0
年齢	65歳～69歳	124	40.3	34.7	8.9	16.1
	70歳～74歳	140	37.9	26.4	5.0	30.7
	75歳～79歳	88	34.1	23.9	6.8	35.2
	80歳～84歳	25	36.0	24.0	8.0	32.0
	85歳～89歳	8	-	-	12.5	87.5
	90歳～94歳	-	*	*	*	*
	95歳～99歳	-	*	*	*	*
	100歳以上	-	*	*	*	*
	無回答	4	50.0	50.0	-	-

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第３地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	37.0	28.0	6.9	28.0
居住地区	第１地区	88	43.2	21.6	9.1	26.1
	第２地区	171	33.9	29.2	6.4	30.4
	第３地区	126	36.5	30.2	6.3	27.0
	無回答	4	50.0	50.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	144	109	27	109
	100.0	37.0	28.0	6.9	28.0
青梅	41	22	9	1	9
	100.0	53.7	22.0	2.4	22.0
東青梅	47	16	10	7	14
	100.0	34.0	21.3	14.9	29.8
長淵	74	26	26	6	16
	100.0	35.1	35.1	8.1	21.6
河辺	52	18	15	4	15
	100.0	34.6	28.8	7.7	28.8
梅郷	33	7	7	1	18
	100.0	21.2	21.2	3.0	54.5
沢井	12	7	2	-	3
	100.0	58.3	16.7	-	25.0
大門	41	13	12	3	13
	100.0	31.7	29.3	7.3	31.7
新町	34	13	10	2	9
	100.0	38.2	29.4	5.9	26.5
今井	40	15	12	3	10
	100.0	37.5	30.0	7.5	25.0
小曾木	9	4	4	-	1
	100.0	44.4	44.4	-	11.1
成木	2	1	-	-	1
	100.0	50.0	-	-	50.0
無回答	4	2	2	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-

3．通院、散歩、買物など外出・移動における補助

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	23.9	27.0	13.9	35.2
年齢	65歳～69歳	124	27.4	35.5	18.5	18.5
	70歳～74歳	140	27.1	25.7	10.0	37.1
	75歳～79歳	88	18.2	19.3	14.8	47.7
	80歳～84歳	25	16.0	20.0	12.0	52.0
	85歳～89歳	8	－	－	12.5	87.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	75.0	－	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	23.9	27.0	13.9	35.2
居住地区	第１地区	88	28.4	27.3	13.6	30.7
	第２地区	171	24.6	26.3	13.5	35.7
	第３地区	126	19.8	26.2	15.1	38.9
	無回答	4	25.0	75.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	93	105	54	137
	100.0	23.9	27.0	13.9	35.2
青梅	41	15	10	5	11
	100.0	36.6	24.4	12.2	26.8
東青梅	47	10	14	7	16
	100.0	21.3	29.8	14.9	34.0
長淵	74	18	26	9	21
	100.0	24.3	35.1	12.2	28.4
河辺	52	15	13	5	19
	100.0	28.8	25.0	9.6	36.5
梅郷	33	5	3	7	18
	100.0	15.2	9.1	21.2	54.5
沢井	12	4	3	2	3
	100.0	33.3	25.0	16.7	25.0
大門	41	5	12	6	18
	100.0	12.2	29.3	14.6	43.9
新町	34	11	6	6	11
	100.0	32.4	17.6	17.6	32.4
今井	40	7	9	6	18
	100.0	17.5	22.5	15.0	45.0
小曾木	9	1	5	1	2
	100.0	11.1	55.6	11.1	22.2
成木	2	1	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-
無回答	4	1	3	-	-
	100.0	25.0	75.0	-	-

４．地域の行事の手伝い

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	31.6	28.3	10.5	29.6
年齢	65歳～69歳	124	29.8	36.3	13.7	20.2
	70歳～74歳	140	32.1	29.3	8.6	30.0
	75歳～79歳	88	33.0	18.2	11.4	37.5
	80歳～84歳	25	32.0	20.0	4.0	44.0
	85歳～89歳	8	37.5	-	12.5	50.0
	90歳～94歳	-	*	*	*	*
	95歳～99歳	-	*	*	*	*
	100歳以上	-	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	75.0	-	-

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	31.6	28.3	10.5	29.6
居住地区	第１地区	88	36.4	25.0	12.5	26.1
	第２地区	171	30.4	29.2	9.4	31.0
	第３地区	126	30.2	27.8	11.1	31.0
	無回答	4	25.0	75.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	93	105	54	137
	100.0	23.9	27.0	13.9	35.2
青梅	41	15	10	5	11
	100.0	36.6	24.4	12.2	26.8
東青梅	47	10	14	7	16
	100.0	21.3	29.8	14.9	34.0
長淵	74	18	26	9	21
	100.0	24.3	35.1	12.2	28.4
河辺	52	15	13	5	19
	100.0	28.8	25.0	9.6	36.5
梅郷	33	5	3	7	18
	100.0	15.2	9.1	21.2	54.5
沢井	12	4	3	2	3
	100.0	33.3	25.0	16.7	25.0
大門	41	5	12	6	18
	100.0	12.2	29.3	14.6	43.9
新町	34	11	6	6	11
	100.0	32.4	17.6	17.6	32.4
今井	40	7	9	6	18
	100.0	17.5	22.5	15.0	45.0
小曾木	9	1	5	1	2
	100.0	11.1	55.6	11.1	22.2
成木	2	1	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-
無回答	4	1	3	-	-
	100.0	25.0	75.0	-	-

5．家の清掃、草取り等

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	16.2	28.8	19.8	35.2
年齢	65歳～69歳	124	16.1	41.1	24.2	18.5
	70歳～74歳	140	15.7	25.7	16.4	42.1
	75歳～79歳	88	18.2	18.2	20.5	43.2
	80歳～84歳	25	8.0	32.0	12.0	48.0
	85歳～89歳	8	25.0	-	12.5	62.5
	90歳～94歳	-	*	*	*	*
	95歳～99歳	-	*	*	*	*
	100歳以上	-	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-

地区別でみると、「第２地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第３地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体		389	16.2	28.8	19.8	35.2
居住地区	第１地区	88	13.6	25.0	26.1	35.2
	第２地区	171	18.7	30.4	15.2	35.7
	第３地区	126	14.3	29.4	20.6	35.7
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	63	112	77	137
	100.0	16.2	28.8	19.8	35.2
青梅	41	8	11	10	12
	100.0	19.5	26.8	24.4	29.3
東青梅	47	4	11	13	19
	100.0	8.5	23.4	27.7	40.4
長淵	74	13	31	8	22
	100.0	17.6	41.9	10.8	29.7
河辺	52	9	14	11	18
	100.0	17.3	26.9	21.2	34.6
梅郷	33	6	5	5	17
	100.0	18.2	15.2	15.2	51.5
沢井	12	4	2	2	4
	100.0	33.3	16.7	16.7	33.3
大門	41	5	12	7	17
	100.0	12.2	29.3	17.1	41.5
新町	34	6	9	7	12
	100.0	17.6	26.5	20.6	35.3
今井	40	7	12	8	13
	100.0	17.5	30.0	20.0	32.5
小曾木	9	-	4	3	2
	100.0	-	44.4	33.3	22.2
成木	2	-	-	1	1
	100.0	-	-	50.0	50.0
無回答	4	1	1	2	-
	100.0	25.0	25.0	50.0	-

6．ペットの世話、エサやり、預かり

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	7.7	16.5	35.0	40.9
年齢	65歳～69歳	124	8.1	23.4	46.0	22.6
	70歳～74歳	140	10.0	16.4	29.3	44.3
	75歳～79歳	88	4.5	9.1	33.0	53.4
	80歳～84歳	25	4.0	12.0	24.0	60.0
	85歳～89歳	8	－	－	12.5	87.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

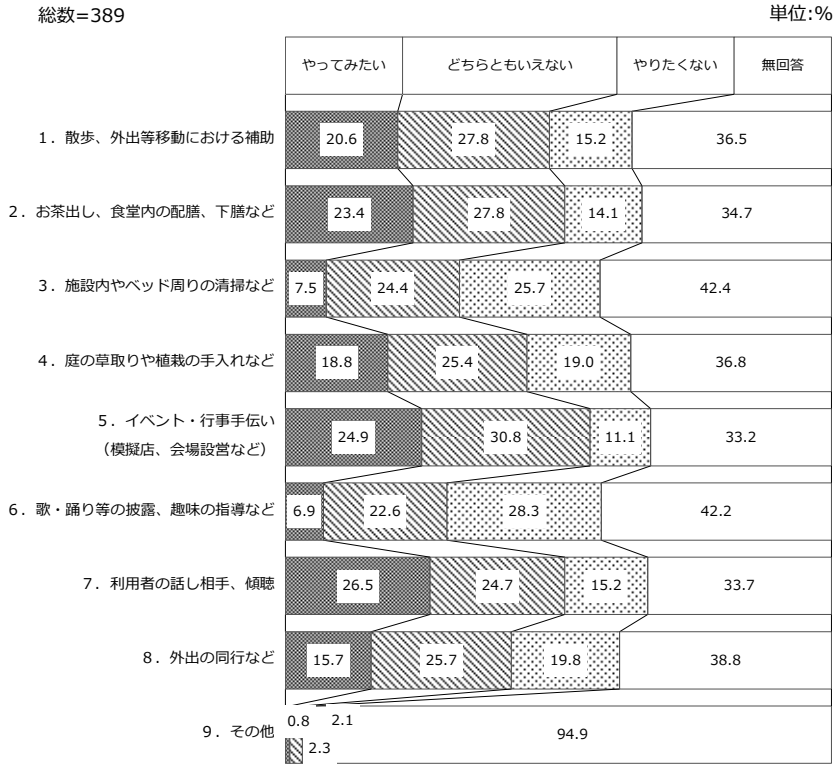
		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	7.7	16.5	35.0	40.9
居住地区	第１地区	88	10.2	11.4	38.6	39.8
	第２地区	171	7.6	15.8	33.3	43.3
	第３地区	126	5.6	20.6	34.1	39.7
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	30	64	136	159
	100.0	7.7	16.5	35.0	40.9
青梅	41	4	5	16	16
	100.0	9.8	12.2	39.0	39.0
東青梅	47	5	5	18	19
	100.0	10.6	10.6	38.3	40.4
長淵	74	6	11	28	29
	100.0	8.1	14.9	37.8	39.2
河辺	52	5	12	14	21
	100.0	9.6	23.1	26.9	40.4
梅郷	33	1	2	12	18
	100.0	3.0	6.1	36.4	54.5
沢井	12	1	2	3	6
	100.0	8.3	16.7	25.0	50.0
大門	41	3	12	7	19
	100.0	7.3	29.3	17.1	46.3
新町	34	1	5	15	13
	100.0	2.9	14.7	44.1	38.2
今井	40	3	7	15	15
	100.0	7.5	17.5	37.5	37.5
小曾木	9	-	2	5	2
	100.0	-	22.2	55.6	22.2
成木	2	-	-	1	1
	100.0	-	-	50.0	50.0
無回答	4	1	1	2	-
	100.0	25.0	25.0	50.0	-

【介護施設でのボランティア活動】

「やってみたい」では「利用者の話し相手、傾聴」（26.5%）、「イベント・行事手伝い（模擬店、会場設営など）」（24.9%）などが多く、「やりたくない」では「歌・踊り等の披露、趣味の指導など」（28.3%）、「施設内やベッド周りの清掃など」（25.7%）が多くなっています。



1．散歩、外出等移動における補助

年齢階層別にみると、年齢が上がるにつれて、「無回答」の比率が高くなっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	20.6	27.8	15.2	36.5
年齢	65歳～69歳	124	22.6	41.1	21.0	15.3
	70歳～74歳	140	17.9	27.9	12.9	41.4
	75歳～79歳	88	21.6	14.8	12.5	51.1
	80歳～84歳	25	24.0	12.0	12.0	52.0
	85歳～89歳	8	12.5	－	－	87.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	－

地区別でみると、「やってみたいでは「第２地区」の比率が高く、「第１地区」が続いています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	20.6	27.8	15.2	36.5
居住地区	第１地区	88	20.5	26.1	17.0	36.4
	第２地区	171	22.2	25.1	15.8	36.8
	第３地区	126	18.3	31.7	12.7	37.3
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	80	108	59	142
	100.0	20.6	27.8	15.2	36.5
青梅	41	11	12	4	14
	100.0	26.8	29.3	9.8	34.1
東青梅	47	7	11	11	18
	100.0	14.9	23.4	23.4	38.3
長淵	74	17	23	11	23
	100.0	23.0	31.1	14.9	31.1
河辺	52	13	13	7	19
	100.0	25.0	25.0	13.5	36.5
梅郷	33	5	5	6	17
	100.0	15.2	15.2	18.2	51.5
沢井	12	3	2	3	4
	100.0	25.0	16.7	25.0	33.3
大門	41	8	11	4	18
	100.0	19.5	26.8	9.8	43.9
新町	34	7	12	5	10
	100.0	20.6	35.3	14.7	29.4
今井	40	6	12	6	16
	100.0	15.0	30.0	15.0	40.0
小曾木	9	2	4	1	2
	100.0	22.2	44.4	11.1	22.2
成木	2	-	1	-	1
	100.0	-	50.0	-	50.0
無回答	4	1	2	1	-
	100.0	25.0	50.0	25.0	-

2．お茶出し、食堂内の配膳、下膳など

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	23.4	27.8	14.1	34.7
年齢	65歳～69歳	124	29.0	40.3	16.1	14.5
	70歳～74歳	140	22.9	27.1	12.1	37.9
	75歳～79歳	88	18.2	18.2	13.6	50.0
	80歳～84歳	25	20.0	8.0	20.0	52.0
	85歳～89歳	8	12.5	－	－	87.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	23.4	27.8	14.1	34.7
居住地区	第１地区	88	23.9	21.6	19.3	35.2
	第２地区	171	22.8	26.9	15.2	35.1
	第３地区	126	23.8	32.5	8.7	34.9
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	91	108	55	135
	100.0	23.4	27.8	14.1	34.7
青梅	41	11	10	5	15
	100.0	26.8	24.4	12.2	36.6
東青梅	47	10	9	12	16
	100.0	21.3	19.1	25.5	34.0
長淵	74	20	23	10	21
	100.0	27.0	31.1	13.5	28.4
河辺	52	11	16	7	18
	100.0	21.2	30.8	13.5	34.6
梅郷	33	6	4	7	16
	100.0	18.2	12.1	21.2	48.5
沢井	12	2	3	2	5
	100.0	16.7	25.0	16.7	41.7
大門	41	8	12	3	18
	100.0	19.5	29.3	7.3	43.9
新町	34	10	11	4	9
	100.0	29.4	32.4	11.8	26.5
今井	40	11	12	3	14
	100.0	27.5	30.0	7.5	35.0
小曾木	9	1	5	1	2
	100.0	11.1	55.6	11.1	22.2
成木	2	-	1	-	1
	100.0	-	50.0	-	50.0
無回答	4	1	2	1	-
	100.0	25.0	50.0	25.0	-

3．施設内やベッド周りの清掃など

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	7.5	24.4	25.7	42.4
年齢	65歳～69歳	124	9.7	31.5	36.3	22.6
	70歳～74歳	140	7.9	22.1	24.3	45.7
	75歳～79歳	88	5.7	20.5	18.2	55.7
	80歳～84歳	25	4.0	16.0	16.0	64.0
	85歳～89歳	8	－	－	－	100.0
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	－	75.0	25.0	－

地区別でみると、「第３地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	7.5	24.4	25.7	42.4
居住地区	第１地区	88	4.5	19.3	33.0	43.2
	第２地区	171	8.2	24.6	24.0	43.3
	第３地区	126	8.7	26.2	23.0	42.1
	無回答	4	-	75.0	25.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	29	95	100	165
	100.0	7.5	24.4	25.7	42.4
青梅	41	2	8	14	17
	100.0	4.9	19.5	34.1	41.5
東青梅	47	2	9	15	21
	100.0	4.3	19.1	31.9	44.7
長淵	74	7	20	19	28
	100.0	9.5	27.0	25.7	37.8
河辺	52	4	14	12	22
	100.0	7.7	26.9	23.1	42.3
梅郷	33	3	5	7	18
	100.0	9.1	15.2	21.2	54.5
沢井	12	-	3	3	6
	100.0	-	25.0	25.0	50.0
大門	41	4	7	9	21
	100.0	9.8	17.1	22.0	51.2
新町	34	5	10	7	12
	100.0	14.7	29.4	20.6	35.3
今井	40	2	13	8	17
	100.0	5.0	32.5	20.0	42.5
小曾木	9	-	3	4	2
	100.0	-	33.3	44.4	22.2
成木	2	-	-	1	1
	100.0	-	-	50.0	50.0
無回答	4	-	3	1	-
	100.0	-	75.0	25.0	-

4．庭の草取りや植栽の手入れなど

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	24.9	30.8	11.1	33.2
年齢	65歳～69歳	124	29.8	39.5	12.9	17.7
	70歳～74歳	140	23.6	30.7	10.0	35.7
	75歳～79歳	88	21.6	21.6	13.6	43.2
	80歳～84歳	25	16.0	28.0	4.0	52.0
	85歳～89歳	8	25.0	－	－	75.0
	90歳～94歳	－	＊	＊	＊	＊
	95歳～99歳	－	＊	＊	＊	＊
	100歳以上	－	＊	＊	＊	＊
	無回答	4	50.0	50.0	－	－

地区別でみると、「第３地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	18.8	25.4	19.0	36.8
居住地区	第１地区	88	17.0	14.8	28.4	39.8
	第２地区	171	18.1	25.7	16.4	39.8
	第３地区	126	19.8	32.5	15.9	31.7
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
389	18.8	25.4	19.0	36.8
124	21.0	35.5	21.8	21.8
140	16.4	19.3	21.4	42.9
88	20.5	20.5	14.8	44.3
25	8.0	36.0	12.0	44.0
8	25.0	－	－	75.0
－	*	*	*	*
－	*	*	*	*
－	*	*	*	*
4	50.0	25.0	25.0	－

5．イベント・行事手伝い（模擬店、会場設営など

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	24.9	30.8	11.1	33.2
年齢	65歳～69歳	124	29.8	39.5	12.9	17.7
	70歳～74歳	140	23.6	30.7	10.0	35.7
	75歳～79歳	88	21.6	21.6	13.6	43.2
	80歳～84歳	25	16.0	28.0	4.0	52.0
	85歳～89歳	8	25.0	－	－	75.0
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	50.0	50.0	－	－

地区別でみると、「第３地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第１地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	24.9	30.8	11.1	33.2
居住地区	第１地区	88	25.0	30.7	13.6	30.7
	第２地区	171	23.4	29.2	11.1	36.3
	第３地区	126	26.2	32.5	9.5	31.7
	無回答	4	50.0	50.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	97	120	43	129
	100.0	24.9	30.8	11.1	33.2
青梅	41	12	10	7	12
	100.0	29.3	24.4	17.1	29.3
東青梅	47	10	17	5	15
	100.0	21.3	36.2	10.6	31.9
長淵	74	16	26	10	22
	100.0	21.6	35.1	13.5	29.7
河辺	52	16	14	3	19
	100.0	30.8	26.9	5.8	36.5
梅郷	33	4	8	4	17
	100.0	12.1	24.2	12.1	51.5
沢井	12	4	2	2	4
	100.0	33.3	16.7	16.7	33.3
大門	41	11	12	3	15
	100.0	26.8	29.3	7.3	36.6
新町	34	13	10	3	8
	100.0	38.2	29.4	8.8	23.5
今井	40	7	14	5	14
	100.0	17.5	35.0	12.5	35.0
小曾木	9	2	4	1	2
	100.0	22.2	44.4	11.1	22.2
成木	2	-	1	-	1
	100.0	-	50.0	-	50.0
無回答	4	2	2	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-

6．歌・踊り等の披露、趣味の指導など

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	6.9	22.6	28.3	42.2
年齢	65歳～69歳	124	5.6	35.5	34.7	24.2
	70歳～74歳	140	7.9	17.9	28.6	45.7
	75歳～79歳	88	6.8	14.8	23.9	54.5
	80歳～84歳	25	8.0	12.0	20.0	60.0
	85歳～89歳	8	12.5	－	－	87.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	－	75.0	25.0	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	6.9	22.6	28.3	42.2
居住地区	第１地区	88	9.1	20.5	28.4	42.0
	第２地区	171	6.4	20.5	29.8	43.3
	第３地区	126	6.3	25.4	26.2	42.1
	無回答	4	-	75.0	25.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	27	88	110	164
	100.0	6.9	22.6	28.3	42.2
青梅	41	5	9	10	17
	100.0	12.2	22.0	24.4	41.5
東青梅	47	3	9	15	20
	100.0	6.4	19.1	31.9	42.6
長淵	74	3	15	25	31
	100.0	4.1	20.3	33.8	41.9
河辺	52	1	15	13	23
	100.0	1.9	28.8	25.0	44.2
梅郷	33	5	5	9	14
	100.0	15.2	15.2	27.3	42.4
沢井	12	2	-	4	6
	100.0	16.7	-	33.3	50.0
大門	41	2	5	14	20
	100.0	4.9	12.2	34.1	48.8
新町	34	3	10	8	13
	100.0	8.8	29.4	23.5	38.2
今井	40	3	12	8	17
	100.0	7.5	30.0	20.0	42.5
小曾木	9	-	4	3	2
	100.0	-	44.4	33.3	22.2
成木	2	-	1	-	1
	100.0	-	50.0	-	50.0
無回答	4	-	3	1	-
	100.0	-	75.0	25.0	-

7．利用者の話し相手、傾聴

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	26.5	24.7	15.2	33.7
年齢	65歳～69歳	124	32.3	32.3	17.7	17.7
	70歳～74歳	140	24.3	24.3	15.7	35.7
	75歳～79歳	88	26.1	14.8	13.6	45.5
	80歳～84歳	25	16.0	16.0	12.0	56.0
	85歳～89歳	8	25.0	12.5	－	62.5
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	－	100.0	－	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第３地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	26.5	24.7	15.2	33.7
居住地区	第１地区	88	34.1	15.9	21.6	28.4
	第２地区	171	24.0	23.4	14.6	38.0
	第３地区	126	25.4	30.2	11.9	32.5
	無回答	4	-	100.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	103	96	59	131
	100.0	26.5	24.7	15.2	33.7
青梅	41	16	6	8	11
	100.0	39.0	14.6	19.5	26.8
東青梅	47	14	8	11	14
	100.0	29.8	17.0	23.4	29.8
長淵	74	18	19	12	25
	100.0	24.3	25.7	16.2	33.8
河辺	52	14	14	6	18
	100.0	26.9	26.9	11.5	34.6
梅郷	33	5	5	5	18
	100.0	15.2	15.2	15.2	54.5
沢井	12	4	2	2	4
	100.0	33.3	16.7	16.7	33.3
大門	41	11	10	3	17
	100.0	26.8	24.4	7.3	41.5
新町	34	8	13	4	9
	100.0	23.5	38.2	11.8	26.5
今井	40	9	13	5	13
	100.0	22.5	32.5	12.5	32.5
小曾木	9	2	2	3	2
	100.0	22.2	22.2	33.3	22.2
成木	2	2	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-
無回答	4	-	4	-	-
	100.0	-	100.0	-	-

8．外出の同行など

年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい、「無回答」の比率が上がっています。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	15.7	25.7	19.8	38.8
年齢	65歳～69歳	124	19.4	33.1	27.4	20.2
	70歳～74歳	140	12.9	26.4	17.1	43.6
	75歳～79歳	88	14.8	17.0	17.0	51.1
	80歳～84歳	25	20.0	20.0	12.0	48.0
	85歳～89歳	8	－	－	－	100.0
	90歳～94歳	－	*	*	*	*
	95歳～99歳	－	*	*	*	*
	100歳以上	－	*	*	*	*
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	－

地区別でみると、「第１地区」で「やってみたい」の比率が最も高く、「第２地区」が続きます。

		全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
	全体	389	15.7	25.7	19.8	38.8
居住地区	第１地区	88	22.7	25.0	18.2	34.1
	第２地区	171	14.0	23.4	20.5	42.1
	第３地区	126	12.7	28.6	19.8	38.9
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	やってみたい	どちらともいえない	やりたくない	無回答
全体	389	61	100	77	151
	100.0	15.7	25.7	19.8	38.8
青梅	41	10	12	5	14
	100.0	24.4	29.3	12.2	34.1
東青梅	47	10	10	11	16
	100.0	21.3	21.3	23.4	34.0
長淵	74	10	20	18	26
	100.0	13.5	27.0	24.3	35.1
河辺	52	9	13	8	22
	100.0	17.3	25.0	15.4	42.3
梅郷	33	1	6	6	20
	100.0	3.0	18.2	18.2	60.6
沢井	12	4	1	3	4
	100.0	33.3	8.3	25.0	33.3
大門	41	5	11	8	17
	100.0	12.2	26.8	19.5	41.5
新町	34	6	9	8	11
	100.0	17.6	26.5	23.5	32.4
今井	40	3	12	7	18
	100.0	7.5	30.0	17.5	45.0
小曾木	9	2	3	2	2
	100.0	22.2	33.3	22.2	22.2
成木	2	-	1	-	1
	100.0	-	50.0	-	50.0
無回答	4	1	2	1	-
	100.0	25.0	50.0	25.0	-

② やってもらいたい具体的活動

「(受け手として) ボランティアによるサービスを積極的に利用したい」、「(受け手として) ボランティアによるサービスを利用してみてもよい」、「サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない」を選んだ方にお聞きします。ボランティアにやってもらいたいことはありますか(あてはまるものすべてに○)

「見守り（安否確認、声掛け)」が 33.1%で最も多く、「通院、散歩、買物など外出・移動における補助」(32.5%)、「庭の草取りや植栽の手入れなど」(25.2%)、「家の清掃」(18.3%) が続きます。

年齢階層別にみると、「見守り（安否確認、声掛け)」「話し相手」などで年齢が上がるにしたがい比率が高くなる傾向がみられる。

		全体	話し相手	見守り（安否確認、声掛け）	通院、散歩、買物など外出・移動における補助	地域の行事の手伝い	家の清掃	ペットの世話、エサやり、預かり	庭の草取りや植栽の手入れなど	趣味の指導など	その他	無回答
	全体	492	15.7	33.1	32.5	3.5	18.3	1.4	25.2	5.1	4.1	20.7
年齢	65歳～69歳	104	13.5	40.4	29.8	6.7	27.9	1.9	26.9	6.7	1.0	15.4
	70歳～74歳	147	18.4	34.7	37.4	0.7	17.0	2.0	21.1	6.8	4.8	19.7
	75歳～79歳	114	14.0	31.6	27.2	4.4	13.2	－	21.9	3.5	7.0	24.6
	80歳～84歳	72	12.5	15.3	37.5	1.4	20.8	－	33.3	4.2	2.8	25.0
	85歳～89歳	46	17.4	39.1	30.4	6.5	10.9	4.3	30.4	2.2	4.3	19.6
	90歳～94歳	6	33.3	50.0	33.3	－	16.7	－	33.3	－	－	16.7
	95歳～99歳	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	2	50.0	50.0	－	－	－	－	－	－	－	50.0

これを地区別でみると、「見守り（安否確認、声掛け)」では「第 1 地区」が、「通院、散歩、買物など外出・移動における補助」では「第３地区」が、それぞれ、比率が最も高くなっています。

		全体	話し相手	見守り（安否確認、声掛け）	通院、散歩、買物など外出・移動における補助	地域の行事の手伝い	家の清掃	ペットの世話、エサやり、預かり	庭の草取りや植栽の手入れなど	趣味の指導など	その他	無回答
	全体	492	15.7	33.1	32.5	3.5	18.3	1.4	25.2	5.1	4.1	20.7
居住地区	第１地区	98	10.2	35.7	26.5	4.1	17.3	-	18.4	8.2	6.1	20.4
	第２地区	201	19.9	32.8	31.8	4.0	17.4	1.5	26.9	6.0	2.0	20.9
	第３地区	191	13.6	31.9	36.6	2.6	19.9	2.1	27.2	2.6	5.2	20.4
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

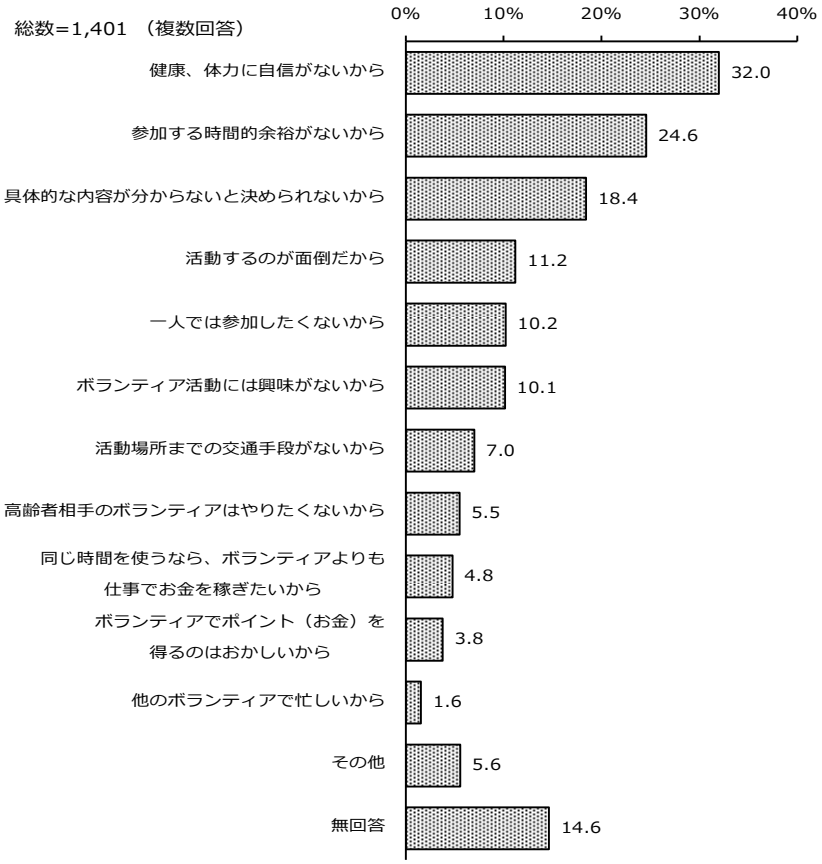
	全体	話し相手	見守り（安否確認、声掛け）	通院、散歩、買物など外出・移動における補助	地域の行事の手伝い	家の清掃	ペットの世話、エサやり、預かり	庭の草取りや植栽の手入れなど	趣味の指導など	その他	無回答
全体	492	77	163	160	17	90	7	124	25	20	102
	100.0	15.7	33.1	32.5	3.5	18.3	1.4	25.2	5.1	4.1	20.7
青梅	41	6	10	8	2	11	-	7	4	4	11
	100.0	14.6	24.4	19.5	4.9	26.8	-	17.1	9.8	9.8	26.8
東青梅	57	4	25	18	2	6	-	11	4	2	9
	100.0	7.0	43.9	31.6	3.5	10.5	-	19.3	7.0	3.5	15.8
長淵	77	16	23	29	2	15	1	19	4	-	17
	100.0	20.8	29.9	37.7	2.6	19.5	1.3	24.7	5.2	-	22.1
河辺	56	10	22	15	2	12	1	13	3	2	12
	100.0	17.9	39.3	26.8	3.6	21.4	1.8	23.2	5.4	3.6	21.4
梅郷	48	9	16	15	3	7	1	16	2	2	9
	100.0	18.8	33.3	31.3	6.3	14.6	2.1	33.3	4.2	4.2	18.8
沢井	20	5	5	5	1	1	-	6	3	-	4
	100.0	25.0	25.0	25.0	5.0	5.0	-	30.0	15.0	-	20.0
大門	70	9	29	28	2	14	2	30	2	2	10
	100.0	12.9	41.4	40.0	2.9	20.0	2.9	42.9	2.9	2.9	14.3
新町	64	8	19	22	2	15	1	10	1	4	14
	100.0	12.5	29.7	34.4	3.1	23.4	1.6	15.6	1.6	6.3	21.9
今井	36	3	7	13	-	6	1	7	1	1	12
	100.0	8.3	19.4	36.1	-	16.7	2.8	19.4	2.8	2.8	33.3
小曾木	16	4	4	7	-	2	-	1	1	3	2
	100.0	25.0	25.0	43.8	-	12.5	-	6.3	6.3	18.8	12.5
成木	5	2	2	-	1	1	-	4	-	-	1
	100.0	40.0	40.0	-	20.0	20.0	-	80.0	-	-	20.0
無回答	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0

③ 利用したくない・活動したくない理由

「ボランティア活動はやってみてもよいが、サービスは利用したくない」、「サービスは利用してみてもよいが、ボランティア活動はやりたくない」、「いずれも利用したくない」を選んだ方にお聞きします。活動したくない、または利用したくない理由は、次のうちどれですか
（○はそれぞれ３つまで）

【介護ボランティアの担い手として活動したくない理由】

「健康、体力に自信がないから」が 32.0％で最も多く、「参加する時間的余裕がないから」（24.6％）、「具体的な内容が分からないと決められないから」（18.4％）、「活動するのが面倒だから」（11.2％）が続きます。



年齢階層別にみると、年齢が上がるにしたがい「健康、体力に自信がないから」で比率が高くなり、「参加する時間的余裕がないから」で比率が低くなる傾向があります。

		全体	参加する時間的余裕がないから	他のボランティアで忙しいから	高齢者相手のボランティアはやりたくないから	一人では参加したくないから	具体的な内容が分からないと決められないから	健康、体力に自信がないから	活動場所までの交通手段がないから	ボランティア活動には興味がないから	同じ時間を使うなら、ボランティアよりも仕事でお金を稼ぎたいから	ボランティアでポイント（お金）を得るのはおかしいから	活動するのが面倒だから	その他	無回答
	全体	1,401	24.6	1.6	5.5	10.2	18.4	32.0	7.0	10.1	4.8	3.8	11.2	5.6	14.6
年齢	65歳～69歳	307	39.1	2.3	5.2	10.4	25.7	20.8	3.9	11.7	8.8	5.5	11.7	6.5	9.4
	70歳～74歳	433	27.5	1.6	6.5	11.3	16.6	29.3	6.5	12.2	6.7	4.2	11.3	6.0	12.5
	75歳～79歳	327	19.0	1.8	6.1	11.3	20.8	34.3	8.0	9.8	2.4	3.7	11.6	3.1	15.9
	80歳～84歳	199	10.6	0.5	4.0	8.5	12.1	44.7	9.0	8.0	1.0	1.5	12.1	4.0	23.1
	85歳～89歳	92	19.6	1.1	4.3	6.5	13.0	32.6	15.2	3.3	1.1	2.2	6.5	10.9	20.7
	90歳～94歳	29	6.9	－	－	－	－	75.9	－	3.4	－	3.4	－	10.3	13.8
	95歳～99歳	4	－	－	－	25.0	－	100.0	－	－	－	－	25.0	－	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	－
	無回答	10	20.0	－	10.0	10.0	30.0	－	－	10.0	－	－	30.0	10.0	10.0

これを地区別でみると、「健康、体力に自信がないから」「参加する時間的余裕がないから」では「第１地区」が、「具体的な内容が分からないと決められないから」で「第３地区」が、それぞれ、比率が最も高くなっています。

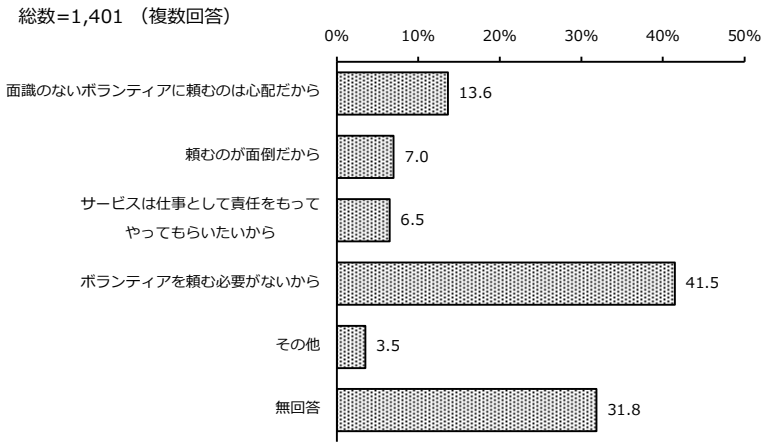
		全体	参加する時間的余裕がないから	他のボランティアで忙しいから	高齢者相手のボランティアはやりたくないから	一人では参加したくないから	具体的な内容が分からないと決められないから	健康、体力に自信がないから	活動場所までの交通手段がないから	ボランティア活動には興味がないから	同じ時間を使うなら、ボランティアよりも仕事でお金を稼ぎたいから	ボランティアでポイント（お金）を得るのはおかしいから	活動するのが面倒だから	その他	無回答
	全体	1,401	24.6	1.6	5.5	10.2	18.4	32.0	7.0	10.1	4.8	3.8	11.2	5.6	14.6
居住地区	第１地区	286	25.5	2.1	5.9	9.4	17.8	35.0	5.9	10.1	4.9	3.8	9.8	6.6	14.0
	第２地区	547	24.1	1.8	6.4	9.9	17.6	32.0	7.3	9.5	6.0	3.7	12.2	4.8	14.8
	第３地区	558	24.6	1.1	4.3	10.9	19.4	31.0	7.3	10.8	3.6	3.9	10.6	5.7	14.9
	無回答	10	20.0	-	10.0	10.0	30.0	-	-	10.0	-	-	30.0	10.0	10.0

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	参加する時間的余裕がないから	他のボランティアで忙しいから	高齢者相手のボランティアはやりたくないから	一人では参加したくないから	具体的な内容が分からないと決められないから	健康、体力に自信がないから	活動場所までの交通手段がないから	ボランティア活動には興味がないから	同じ時間を使うなら、ボランティアよりも仕事でお金を稼ぎたいから	ボランティアでポイント（お金）を得るのはおかしいから	活動するのが面倒だから	その他	無回答
全体	1,401	344	22	77	143	258	448	98	142	67	53	157	78	205
	100.0	24.6	1.6	5.5	10.2	18.4	32.0	7.0	10.1	4.8	3.8	11.2	5.6	14.6
青梅	122	31	5	6	11	20	49	6	15	6	7	12	8	15
	100.0	25.4	4.1	4.9	9.0	16.4	40.2	4.9	12.3	4.9	5.7	9.8	6.6	12.3
東青梅	164	42	1	11	16	31	51	11	14	8	4	16	11	25
	100.0	25.6	0.6	6.7	9.8	18.9	31.1	6.7	8.5	4.9	2.4	9.8	6.7	15.2
長淵	212	50	7	8	25	36	61	16	18	11	8	26	14	33
	100.0	23.6	3.3	3.8	11.8	17.0	28.8	7.5	8.5	5.2	3.8	12.3	6.6	15.6
河辺	154	37	-	12	9	27	54	11	19	12	5	22	8	20
	100.0	24.0	-	7.8	5.8	17.5	35.1	7.1	12.3	7.8	3.2	14.3	5.2	13.0
梅郷	128	26	3	11	13	23	46	11	12	8	3	13	4	18
	100.0	20.3	2.3	8.6	10.2	18.0	35.9	8.6	9.4	6.3	2.3	10.2	3.1	14.1
沢井	53	19	-	4	7	10	14	2	3	2	4	6	-	10
	100.0	35.8	-	7.5	13.2	18.9	26.4	3.8	5.7	3.8	7.5	11.3	-	18.9
大門	194	46	2	8	23	31	63	11	23	9	9	15	15	27
	100.0	23.7	1.0	4.1	11.9	16.0	32.5	5.7	11.9	4.6	4.6	7.7	7.7	13.9
新町	163	41	1	10	15	37	51	14	14	5	4	18	10	21
	100.0	25.2	0.6	6.1	9.2	22.7	31.3	8.6	8.6	3.1	2.5	11.0	6.1	12.9
今井	120	25	1	3	11	26	39	9	17	4	6	11	2	19
	100.0	20.8	0.8	2.5	9.2	21.7	32.5	7.5	14.2	3.3	5.0	9.2	1.7	15.8
小曾木	55	14	1	1	6	9	13	7	4	1	2	9	5	11
	100.0	25.5	1.8	1.8	10.9	16.4	23.6	12.7	7.3	1.8	3.6	16.4	9.1	20.0
成木	26	11	1	2	6	5	7	-	2	1	1	6	-	5
	100.0	42.3	3.8	7.7	23.1	19.2	26.9	-	7.7	3.8	3.8	23.1	-	19.2
無回答	10	2	-	1	1	3	-	-	1	-	-	3	1	1
	100.0	20.0	-	10.0	10.0	30.0	-	-	10.0	-	-	30.0	10.0	10.0

【介護ボランティアにサービスを頼みたくない理由】

「面識のないボランティアに頼むのは心配だから」が 13.6%で最も多く、「頼むのが面倒だから」（7.0%）、「サービスは仕事として責任をもってやってもらいたいから」（6.5%）が続きます。



年齢階層別にみても、有意的傾向はみられません。

		全体	サービスは仕事として責任をもってやってもらいたいから	面識のないボランティアに頼むのは心配だから	頼むのが面倒だから	ボランティアを頼む必要がないから	その他	無回答
	全体	1,401	6.5	13.6	7.0	41.5	3.5	31.8
年齢	65歳～69歳	307	7.2	16.3	6.8	45.6	2.9	26.1
	70歳～74歳	433	8.1	15.2	7.4	42.0	3.0	28.9
	75歳～79歳	327	6.1	12.5	6.1	39.4	3.7	35.8
	80歳～84歳	199	3.5	10.6	8.5	38.2	2.0	38.7
	85歳～89歳	92	4.3	8.7	4.3	39.1	6.5	40.2
	90歳～94歳	29	6.9	10.3	10.3	41.4	10.3	24.1
	95歳～99歳	4	－	25.0	25.0	－	25.0	25.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*
	無回答	10	10.0	10.0	－	60.0	10.0	20.0

これを地区別でみると、「ボランティアを頼む必要がないから」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	サービスは仕事として責任をもってやってもらいたいから	面識のないボランティアに頼むのは心配だから	頼むのが面倒だから	ボランティアを頼む必要がないから	その他	無回答
全体		1,401	6.5	13.6	7.0	41.5	3.5	31.8
居住地区	第１地区	286	8.4	14.3	8.0	37.1	3.5	31.8
	第２地区	547	5.3	12.2	6.4	45.2	3.5	31.3
	第３地区	558	6.6	14.7	7.2	39.8	3.4	32.6
	無回答	10	10.0	10.0	-	60.0	10.0	20.0

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	サービスは仕事として責任をもってやってもらいたいから	面識のないボランティアに頼むのは心配だから	頼むのが面倒だから	ボランティアを頼む必要がないから	その他	無回答
全体	1,401	91	191	98	581	49	446
	100.0	6.5	13.6	7.0	41.5	3.5	31.8
青梅	122	11	16	9	45	3	40
	100.0	9.0	13.1	7.4	36.9	2.5	32.8
東青梅	164	13	25	14	61	7	51
	100.0	7.9	15.2	8.5	37.2	4.3	31.1
長淵	212	12	24	17	100	10	56
	100.0	5.7	11.3	8.0	47.2	4.7	26.4
河辺	154	9	23	13	70	5	44
	100.0	5.8	14.9	8.4	45.5	3.2	28.6
梅郷	128	5	13	3	56	3	49
	100.0	3.9	10.2	2.3	43.8	2.3	38.3
沢井	53	3	7	2	21	1	22
	100.0	5.7	13.2	3.8	39.6	1.9	41.5
大門	194	11	15	15	82	12	65
	100.0	5.7	7.7	7.7	42.3	6.2	33.5
新町	163	12	34	9	64	1	48
	100.0	7.4	20.9	5.5	39.3	0.6	29.4
今井	120	8	20	11	44	3	42
	100.0	6.7	16.7	9.2	36.7	2.5	35.0
小曾木	55	4	9	4	23	3	17
	100.0	7.3	16.4	7.3	41.8	5.5	30.9
成木	26	2	4	1	9	-	10
	100.0	7.7	15.4	3.8	34.6	-	38.5
無回答	10	1	1	-	6	1	2
	100.0	10.0	10.0	-	60.0	10.0	20.0

15 日常生活での不安・心配

（1）日常生活での不安・心配内容

あなたは、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか
(あてはまるものすべてに○)

「ご自身や家族の健康」が63.3%で最も多く、「地震や台風などの自然災害」（33.4%）、「生活費や医療・介護などの費用」（30.2%）、「家族の介護（老老介護など）」（16.9%）が続きます。「家族の介護（老老介護など）」は前回調査よりも比率が高くなってきています。

これを「家族構成」でみると、「ご自身や家族の健康」では「夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）」が、「独居・孤独死への不安」では「１人暮らし」の比率が最も高くなっています。

		全体	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	63.3	15.7	30.2	15.1	4.3	7.6	6.9	6.1	33.4	5.1	16.9	7.6	16.8	11.0	14.5	1.5	5.2
家族構成	１人暮らし	497	45.9	9.9	28.2	15.9	4.6	10.7	10.1	8.0	29.8	6.0	1.2	24.3	16.5	10.9	15.9	0.6	6.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	71.3	20.8	31.1	15.3	3.7	7.0	5.8	6.8	35.1	5.3	27.3	5.0	18.1	12.2	12.3	1.6	3.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	57.9	11.4	24.3	10.0	5.0	5.7	2.9	－	30.0	2.9	10.0	2.1	15.0	3.6	25.0	－	5.0
	息子・娘との２世帯	366	64.2	11.7	32.0	16.4	4.6	6.0	6.0	5.7	33.9	5.2	10.4	1.4	10.7	10.9	16.1	0.8	5.5
	その他	470	66.6	14.9	31.5	15.1	4.0	7.7	6.4	4.5	35.5	4.0	18.7	2.6	19.4	10.2	13.6	3.0	5.3
	無回答	72	51.4	15.3	23.6	9.7	9.7	6.9	16.7	5.6	26.4	5.6	11.1	4.2	16.7	15.3	13.9	2.8	20.8

要支援等別では、各項目で「事業対象者」の構成比が相対的に高くなる傾向にあります。

		全体	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	63.3	15.7	30.2	15.1	4.3	7.6	6.9	6.1	33.4	5.1	16.9	7.6	16.8	11.0	14.5	1.5	5.2
要支援度別	事業対象者	5	100.0	－	40.0	－	－	－	60.0	40.0	60.0	－	40.0	40.0	40.0	40.0	－	－	－
	要支援１	75	58.7	5.3	26.7	18.7	8.0	8.0	14.7	17.3	26.7	6.7	20.0	8.0	8.0	34.7	12.0	1.3	5.3
	要支援２	58	65.5	6.9	44.8	27.6	6.9	5.2	19.0	20.7	41.4	5.2	13.8	10.3	29.3	22.4	8.6	－	6.9
	無回答	2,439	63.3	16.2	29.9	14.7	4.1	7.7	6.3	5.3	33.4	5.0	16.9	7.5	16.7	10.0	14.8	1.6	5.2

健康状態が下がると、「ご自身や家族の健康」「生活費や医療・介護などの費用」の比率が上がる傾向にあります。

		全体	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	63.3	15.7	30.2	15.1	4.3	7.6	6.9	6.1	33.4	5.1	16.9	7.6	16.8	11.0	14.5	1.5	5.2
健康状態	とてもよい	274	41.2	11.3	22.3	10.2	3.3	5.8	3.3	4.4	22.3	2.6	9.9	4.4	12.8	4.4	30.3	0.7	6.2
	まあよい	1,714	63.7	16.3	27.7	14.6	3.7	7.1	5.5	4.2	35.6	5.0	15.7	7.1	15.9	9.2	14.8	1.7	4.3
	あまりよくない	437	76.7	17.8	43.2	18.8	6.9	12.1	14.2	13.3	33.9	7.6	25.4	11.7	23.6	20.4	6.2	1.1	4.1
	よくない	66	72.7	9.1	43.9	18.2	12.1	7.6	13.6	16.7	19.7	6.1	28.8	9.1	21.2	19.7	1.5	3.0	9.1
	無回答	86	50.0	11.6	27.9	18.6	－	－	3.5	3.5	33.7	2.3	11.6	5.8	9.3	14.0	10.5	1.2	23.3

年齢構成でみると、「不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺」「食事」で年齢が上がるにつれて比率が上がる傾向にあります。

	全体	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
全体	2,577	63.3	15.7	30.2	15.1	4.3	7.6	6.9	6.1	33.4	5.1	16.9	7.6	16.8	11.0	14.5	1.5	5.2
65歳～69歳	553	61.7	15.9	29.7	13.9	4.7	8.1	3.1	4.5	36.3	5.1	15.4	7.8	17.5	5.4	15.9	1.4	2.7
70歳～74歳	791	64.5	19.3	32.2	14.0	3.9	9.0	6.3	4.4	33.2	4.2	17.6	7.6	16.6	8.2	14.9	1.5	3.8
75歳～79歳	600	64.2	17.0	29.0	13.2	3.8	5.7	7.3	5.8	32.2	6.7	15.7	7.2	16.8	12.0	12.8	1.8	7.2
80歳～84歳	388	63.7	11.6	32.0	21.1	5.4	8.2	11.3	9.3	33.2	4.4	20.9	6.7	14.9	17.5	13.7	0.8	6.2
85歳～89歳	169	60.4	5.9	24.3	15.4	4.1	5.9	7.7	8.9	29.6	4.7	16.0	10.7	18.3	20.7	13.6	1.8	10.1
90歳～94歳	53	56.6	3.8	20.8	24.5	1.9	1.9	15.1	15.1	34.0	7.5	9.4	5.7	15.1	17.0	18.9	3.8	9.4
95歳～99歳	5	60.0	－	－	－	－	－	20.0	20.0	40.0	－	－	－	－	20.0	20.0	－	－
100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	－	*	*	*	*
無回答	18	66.7	22.2	44.4	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6	33.3	5.6	27.8	16.7	33.3	22.2	22.2	－	5.6

これを地区別でみると、「ご自身や家族の健康」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。

		全体	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
全体		2,577	63.3	15.7	30.2	15.1	4.3	7.6	6.9	6.1	33.4	5.1	16.9	7.6	16.8	11.0	14.5	1.5	5.2
居住地区	第１地区	556	60.3	12.2	29.3	14.9	4.5	8.3	6.1	5.8	32.6	5.4	16.2	8.1	19.4	10.1	16.2	0.9	5.8
	第２地区	1,035	64.7	15.3	30.8	15.2	4.3	6.9	7.5	6.9	34.5	5.5	16.4	8.6	15.0	11.8	13.3	1.9	4.8
	第３地区	968	63.3	18.0	29.6	15.3	4.0	7.9	6.7	5.4	32.9	4.4	17.7	6.1	16.8	10.5	14.7	1.4	5.4
	無回答	18	66.7	22.2	44.4	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6	33.3	5.6	27.8	16.7	33.3	22.2	22.2	-	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
全体	2,577	1,630	404	777	389	111	196	178	156	862	131	436	196	432	284	374	39	135
	100.0	63.3	15.7	30.2	15.1	4.3	7.6	6.9	6.1	33.4	5.1	16.9	7.6	16.8	11.0	14.5	1.5	5.2
青梅	236	161	34	81	38	11	23	14	13	79	11	43	19	55	28	26	3	11
	100.0	68.2	14.4	34.3	16.1	4.7	9.7	5.9	5.5	33.5	4.7	18.2	8.1	23.3	11.9	11.0	1.3	4.7
東青梅	320	174	34	82	45	14	23	20	19	102	19	47	26	53	28	64	2	21
	100.0	54.4	10.6	25.6	14.1	4.4	7.2	6.3	5.9	31.9	5.9	14.7	8.1	16.6	8.8	20.0	0.6	6.6
長淵	408	257	62	117	69	15	36	24	25	156	23	64	39	69	44	60	9	21
	100.0	63.0	15.2	28.7	16.9	3.7	8.8	5.9	6.1	38.2	5.6	15.7	9.6	16.9	10.8	14.7	2.2	5.1
河辺	312	206	45	113	40	16	19	28	24	89	14	59	28	39	39	39	5	15
	100.0	66.0	14.4	36.2	12.8	5.1	6.1	9.0	7.7	28.5	4.5	18.9	9.0	12.5	12.5	12.5	1.6	4.8
梅郷	227	148	32	66	32	12	13	17	14	72	13	31	14	32	17	33	4	9
	100.0	65.2	14.1	29.1	14.1	5.3	5.7	7.5	6.2	31.7	5.7	13.7	6.2	14.1	7.5	14.5	1.8	4.0
沢井	88	59	19	23	16	2	3	9	8	40	7	16	8	15	22	6	2	5
	100.0	67.0	21.6	26.1	18.2	2.3	3.4	10.2	9.1	45.5	8.0	18.2	9.1	17.0	25.0	6.8	2.3	5.7
大門	344	209	53	109	53	10	22	19	19	114	17	64	22	62	43	53	8	20
	100.0	60.8	15.4	31.7	15.4	2.9	6.4	5.5	5.5	33.1	4.9	18.6	6.4	18.0	12.5	15.4	2.3	5.8
新町	300	201	49	86	35	12	22	17	15	86	11	57	21	45	21	47	1	13
	100.0	67.0	16.3	28.7	11.7	4.0	7.3	5.7	5.0	28.7	3.7	19.0	7.0	15.0	7.0	15.7	0.3	4.3
今井	197	128	41	62	38	12	15	20	11	78	9	31	9	38	23	23	2	10
	100.0	65.0	20.8	31.5	19.3	6.1	7.6	10.2	5.6	39.6	4.6	15.7	4.6	19.3	11.7	11.7	1.0	5.1
小曾木	84	48	16	20	13	4	14	7	6	27	3	12	3	13	10	13	2	4
	100.0	57.1	19.0	23.8	15.5	4.8	16.7	8.3	7.1	32.1	3.6	14.3	3.6	15.5	11.9	15.5	2.4	4.8
成木	43	27	15	10	9	1	3	2	1	13	3	7	4	5	5	6	1	5
	100.0	62.8	34.9	23.3	20.9	2.3	7.0	4.7	2.3	30.2	7.0	16.3	9.3	11.6	11.6	14.0	2.3	11.6
無回答	18	12	4	8	1	2	3	1	1	6	1	5	3	6	4	4	-	1
	100.0	66.7	22.2	44.4	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6	33.3	5.6	27.8	16.7	33.3	22.2	22.2	-	5.6

（2）助かる手助け

現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると思いますか(あてはまるものすべてに○)

「安否確認の声かけ」が 21.6%で最も多く、「ちょっとした力仕事」（21.0%）、「スーパーや病院などの送迎バス」（19.1%）、「通院の送迎や外出の手助け」（14.6%）が続きます。

これを「家族構成」でみると、「安否確認の声かけ」「ちょっとした力仕事」では「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」「１人暮らし」の比率が高くなっています。

		全体	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	21.6	7.3	6.0	21.0	14.6	19.1	12.3	43.8	2.3	7.6
家族構成	１人暮らし	497	24.5	8.0	6.6	25.8	11.9	13.5	10.1	39.0	2.0	8.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	24.8	8.2	6.3	22.9	15.4	23.1	14.2	40.7	2.3	6.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	20.0	6.4	5.0	13.6	8.6	16.4	7.9	58.6	-	5.7
	息子・娘との２世帯	366	16.4	4.6	4.6	16.1	16.4	18.6	12.3	50.5	1.9	7.4
	その他	470	18.1	8.1	6.2	19.1	16.8	19.1	13.4	46.8	3.4	6.2
	無回答	72	6.9	-	5.6	13.9	9.7	9.7	2.8	37.5	1.4	29.2

要支援等別では、「スーパーや病院などの送迎バス」「食事づくりや掃除・洗濯の手伝い」「ちょっとした力仕事」で「事業対象者」の構成比高くなっています。

		全体	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	21.6	7.3	6.0	21.0	14.6	19.1	12.3	43.8	2.3	7.6
要支援度別	事業対象者	5	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-
	要支援１	75	22.7	10.7	5.3	21.3	29.3	24.0	16.0	28.0	-	13.3
	要支援２	58	29.3	15.5	17.2	36.2	32.8	29.3	17.2	19.0	1.7	13.8
	無回答	2,439	21.4	7.0	5.7	20.6	13.7	18.7	12.1	44.9	2.3	7.3

健康状態が下がるにしたがい、手助けで助かる割合が増えています。

		全体	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	21.6	7.3	6.0	21.0	14.6	19.1	12.3	43.8	2.3	7.6
健康状態	とてもよい	274	19.7	7.7	4.7	11.3	10.2	13.1	13.1	58.4	2.6	5.5
	まあよい	1,714	21.5	6.8	5.1	20.5	13.0	18.1	10.9	45.5	2.2	7.1
	あまりよくない	437	23.6	8.5	9.6	29.1	23.8	24.9	16.7	32.0	2.3	6.6
	よくない	66	21.2	18.2	18.2	28.8	24.2	27.3	19.7	28.8	3.0	16.7
	無回答	86	19.8	2.3	1.2	16.3	7.0	22.1	11.6	33.7	1.2	22.1

年齢構成でみると、「安否確認の声かけ」「ちょっとした力仕事」「通院の送迎や外出の手助け」「スーパーや病院などの送迎バス」で年齢が上がるにつれて比率が上がる傾向にあります。

		全体	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	21.6	7.3	6.0	21.0	14.6	19.1	12.3	43.8	2.3	7.6
年齢	65歳～69歳	553	20.3	8.5	6.7	19.0	12.5	17.9	13.0	51.9	1.8	4.5
	70歳～74歳	791	22.4	7.8	6.1	20.9	14.3	18.8	12.3	45.9	2.1	5.8
	75歳～79歳	600	20.7	5.2	4.7	21.5	12.3	17.5	11.5	43.3	3.0	8.7
	80歳～84歳	388	20.6	5.9	4.9	21.1	18.6	22.7	10.6	37.4	2.1	11.1
	85歳～89歳	169	26.0	10.1	8.3	26.0	20.7	23.7	15.4	27.8	0.6	13.0
	90歳～94歳	53	26.4	9.4	15.1	24.5	17.0	15.1	17.0	37.7	5.7	9.4
	95歳～99歳	5	40.0	40.0	－	40.0	40.0	－	－	－	－	－
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	16.7	11.1	5.6	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	5.6	16.7

これを地区別でみると、「特にない」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	21.6	7.3	6.0	21.0	14.6	19.1	12.3	43.8	2.3	7.6
居住地区	第１地区	556	21.0	9.0	6.7	21.2	16.0	21.6	13.1	40.5	3.1	7.9
	第２地区	1,035	23.0	7.7	6.8	22.1	13.4	17.8	12.8	44.5	2.1	7.7
	第３地区	968	20.5	5.9	4.9	19.9	15.1	19.1	11.3	45.0	1.9	7.1
	無回答	18	16.7	11.1	5.6	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	5.6	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

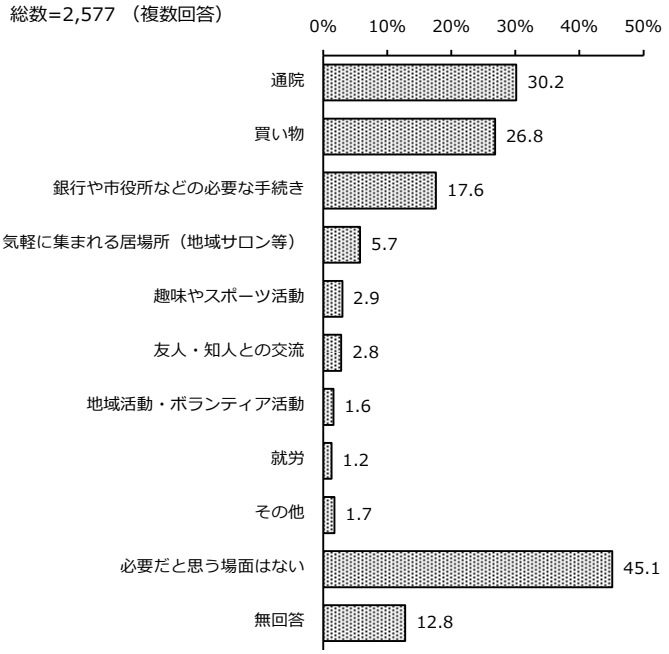
	全体	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
全体	2,577	556	189	155	542	376	493	318	1,128	58	196
	100.0	21.6	7.3	6.0	21.0	14.6	19.1	12.3	43.8	2.3	7.6
青梅	236	47	19	14	59	35	56	36	86	8	21
	100.0	19.9	8.1	5.9	25.0	14.8	23.7	15.3	36.4	3.4	8.9
東青梅	320	70	31	23	59	54	64	37	139	9	23
	100.0	21.9	9.7	7.2	18.4	16.9	20.0	11.6	43.4	2.8	7.2
長淵	408	92	34	28	95	59	86	58	173	10	29
	100.0	22.5	8.3	6.9	23.3	14.5	21.1	14.2	42.4	2.5	7.1
河辺	312	67	28	24	69	38	36	19	151	6	28
	100.0	21.5	9.0	7.7	22.1	12.2	11.5	6.1	48.4	1.9	9.0
梅郷	227	53	12	12	45	27	41	33	104	4	15
	100.0	23.3	5.3	5.3	19.8	11.9	18.1	14.5	45.8	1.8	6.6
沢井	88	26	6	6	20	15	21	22	33	2	8
	100.0	29.5	6.8	6.8	22.7	17.0	23.9	25.0	37.5	2.3	9.1
大門	344	73	14	19	71	47	52	39	158	7	30
	100.0	21.2	4.1	5.5	20.6	13.7	15.1	11.3	45.9	2.0	8.7
新町	300	55	22	16	53	45	55	23	137	7	20
	100.0	18.3	7.3	5.3	17.7	15.0	18.3	7.7	45.7	2.3	6.7
今井	197	39	13	8	46	31	40	22	97	2	9
	100.0	19.8	6.6	4.1	23.4	15.7	20.3	11.2	49.2	1.0	4.6
小曾木	84	16	4	3	15	15	24	18	28	1	9
	100.0	19.0	4.8	3.6	17.9	17.9	28.6	21.4	33.3	1.2	10.7
成木	43	15	4	1	8	8	14	7	16	1	1
	100.0	34.9	9.3	2.3	18.6	18.6	32.6	16.3	37.2	2.3	2.3
無回答	18	3	2	1	2	2	4	4	6	1	3
	100.0	16.7	11.1	5.6	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	5.6	16.7

16 移動支援

（1）移動支援が必要だと思う場面

移動支援が必要だと思う場面は何ですか(あてはまるものすべてに○)

「通院」が 30.2％で最も多く、「買い物」（26.8％）、「銀行や市役所などの必要な手続き」（17.6%）、「気軽に集まれる居場所（地域サロン等）」（5.7%）が続きます。



年齢構成でみると、「通院」「買い物」「銀行や市役所などの必要な手続き」で年齢が上がるにつれて比率が上がる傾向にあります。

		全体	買い物	通院	友人・知人との交流	趣味やスポーツ活動	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）	地域活動・ボランティア活動	就労	銀行や市役所などの必要な手続き	その他	必要だと思う場面はない	無回答
	全体	2,577	26.8	30.2	2.8	2.9	5.7	1.6	1.2	17.6	1.7	45.1	12.8
年齢	65歳～69歳	553	23.1	23.3	2.7	3.6	4.9	1.6	1.6	17.0	1.3	59.7	6.0
	70歳～74歳	791	25.4	29.6	2.7	2.8	6.1	1.8	2.0	16.7	2.1	47.3	11.9
	75歳～79歳	600	26.8	29.7	2.7	2.7	6.3	1.3	0.8	17.0	2.7	42.5	14.2
	80歳～84歳	388	30.2	34.3	2.8	2.6	5.4	2.1	－	17.8	0.5	35.1	19.3
	85歳～89歳	169	33.1	43.8	4.1	3.6	7.1	0.6	0.6	24.9	0.6	26.6	17.2
	90歳～94歳	53	37.7	37.7	3.8	3.8	1.9	－	1.9	22.6	－	26.4	20.8
	95歳～99歳	5	40.0	80.0	－	－	－	－	－	20.0	20.0	－	20.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	33.3	27.8	－	－	5.6	－	－	5.6	5.6	50.0	11.1

これを地区別でみると、「通院」では「第３地区」の比率が、「買い物」では「第１地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	買い物	通院	友人・知人との交流	趣味やスポーツ活動	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）	地域活動・ボランティア活動	就労	銀行や市役所などの必要な手続き	その他	必要だと思う場面はない	無回答
全体		2,577	26.8	30.2	2.8	2.9	5.7	1.6	1.2	17.6	1.7	45.1	12.8
居住地区	第１地区	556	28.2	28.4	2.7	4.0	6.8	1.8	1.8	15.8	2.3	43.9	12.1
	第２地区	1,035	26.6	30.6	2.9	2.7	6.1	1.3	0.8	17.7	1.0	46.0	13.2
	第３地区	968	26.1	30.7	2.8	2.7	4.8	1.8	1.4	18.7	2.2	44.8	12.8
	無回答	18	33.3	27.8	-	-	5.6	-	-	5.6	5.6	50.0	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	買い物	通院	友人・知人との交流	趣味やスポーツ活動	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）	地域活動・ボランティア活動	就労	銀行や市役所などの必要な手続き	その他	必要だと思う場面はない	無回答
全体	2,577	691	777	72	76	148	40	32	453	45	1,163	330
	100.0	26.8	30.2	2.8	2.9	5.7	1.6	1.2	17.6	1.7	45.1	12.8
青梅	236	74	71	5	7	17	3	3	40	6	99	26
	100.0	31.4	30.1	2.1	3.0	7.2	1.3	1.3	16.9	2.5	41.9	11.0
東青梅	320	83	87	10	15	21	7	7	48	7	145	41
	100.0	25.9	27.2	3.1	4.7	6.6	2.2	2.2	15.0	2.2	45.3	12.8
長淵	408	114	117	12	10	33	8	2	69	6	192	54
	100.0	27.9	28.7	2.9	2.5	8.1	2.0	0.5	16.9	1.5	47.1	13.2
河辺	312	70	95	5	4	10	1	4	57	3	147	42
	100.0	22.4	30.4	1.6	1.3	3.2	0.3	1.3	18.3	1.0	47.1	13.5
梅郷	227	59	76	6	8	9	-	1	40	-	107	25
	100.0	26.0	33.5	2.6	3.5	4.0	-	0.4	17.6	-	47.1	11.0
沢井	88	32	29	7	6	11	4	1	17	1	30	16
	100.0	36.4	33.0	8.0	6.8	12.5	4.5	1.1	19.3	1.1	34.1	18.2
大門	344	82	95	7	9	20	7	10	58	9	153	47
	100.0	23.8	27.6	2.0	2.6	5.8	2.0	2.9	16.9	2.6	44.5	13.7
新町	300	78	98	6	8	14	4	1	58	7	136	33
	100.0	26.0	32.7	2.0	2.7	4.7	1.3	0.3	19.3	2.3	45.3	11.0
今井	197	48	60	9	6	10	5	3	44	4	94	22
	100.0	24.4	30.5	4.6	3.0	5.1	2.5	1.5	22.3	2.0	47.7	11.2
小曾木	84	31	29	2	1	1	1	-	12	-	35	15
	100.0	36.9	34.5	2.4	1.2	1.2	1.2	-	14.3	-	41.7	17.9
成木	43	14	15	3	2	1	-	-	9	1	16	7
	100.0	32.6	34.9	7.0	4.7	2.3	-	-	20.9	2.3	37.2	16.3
無回答	18	6	5	-	-	1	-	-	1	1	9	2
	100.0	33.3	27.8	-	-	5.6	-	-	5.6	5.6	50.0	11.1

① 移動支援を必要とする理由

前の設問（１）で「必要だと思う場面はない」以外を選んだ方にお聞きします。
（１－２）移動支援を必要とする理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

「今はよいが、将来的に不安」が 68.9%で最も多く、「徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難」（20.1%）、「運転免許証を返納した」（16.6%）、「身体等に問題があり外出が難しい」（13.3%）が続きます。

年齢構成でみると、「徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難」「運転免許証を返納した」「身体等に問題があり外出が難しい」で年齢が上がるにつれて比率が上がる傾向にあります。

		全体	身体等に問題があり外出が難しい	運転免許証を返納した	運賃や自家用車の維持費等、経済的な負担	徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難	今はよいが、将来的に不安	その他	無回答
	全体	1,084	13.3	16.6	6.9	20.1	68.9	1.4	13.6
年齢	65歳～69歳	190	6.3	5.8	5.3	15.8	71.6	2.1	19.5
	70歳～74歳	323	9.6	11.8	7.1	14.9	74.9	0.9	14.9
	75歳～79歳	260	10.0	19.2	8.8	20.8	76.2	1.2	8.5
	80歳～84歳	177	20.9	23.2	8.5	27.7	62.7	1.7	10.7
	85歳～89歳	95	26.3	31.6	1.1	30.5	43.2	2.1	16.8
	90歳～94歳	28	42.9	25.0	10.7	10.7	42.9	－	14.3
	95歳～99歳	4	－	25.0	－	75.0	－	－	25.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	7	14.3	28.6	－	28.6	100.0	－	－

これを地区別でみると、「徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難」「運転免許証を返納した」では「第３地区」の、「身体等に問題があり外出が難しい」では「第１地区」の比率が最も高くなっています。

		全体	身体等に問題があり外出が難しい	運転免許証を返納した	運賃や自家用車の維持費等、経済的な負担	徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難	今はよいが、将来的に不安	その他	無回答
	全体	1,084	13.3	16.6	6.9	20.1	68.9	1.4	13.6
居住地区	第１地区	245	16.7	16.3	4.1	19.2	73.5	1.6	10.6
	第２地区	422	12.8	15.4	9.7	19.4	65.6	1.7	16.6
	第３地区	410	11.7	17.8	5.9	21.2	69.0	1.0	12.4
	無回答	7	14.3	28.6	-	28.6	100.0	-	-

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	身体等に問題があり外出が難しい	運転免許証を返納した	運賃や自家用車の維持費等、経済的な負担	徒歩や自転車しか移動手段がなく、遠い目的地への移動が困難	今はよいが、将来的に不安	その他	無回答
全体	1,084	144	180	75	218	747	15	147
	100.0	13.3	16.6	6.9	20.1	68.9	1.4	13.6
青梅	111	20	19	4	21	85	-	9
	100.0	18.0	17.1	3.6	18.9	76.6	-	8.1
東青梅	134	21	21	6	26	95	4	17
	100.0	15.7	15.7	4.5	19.4	70.9	3.0	12.7
長淵	162	16	23	16	37	105	3	30
	100.0	9.9	14.2	9.9	22.8	64.8	1.9	18.5
河辺	123	18	19	13	32	80	2	19
	100.0	14.6	15.4	10.6	26.0	65.0	1.6	15.4
梅郷	95	15	17	5	10	63	-	16
	100.0	15.8	17.9	5.3	10.5	66.3	-	16.8
沢井	42	5	6	7	3	29	2	5
	100.0	11.9	14.3	16.7	7.1	69.0	4.8	11.9
大門	144	13	24	6	30	99	1	23
	100.0	9.0	16.7	4.2	20.8	68.8	0.7	16.0
新町	131	18	26	11	31	90	1	14
	100.0	13.7	19.8	8.4	23.7	68.7	0.8	10.7
今井	81	13	11	6	13	56	1	9
	100.0	16.0	13.6	7.4	16.0	69.1	1.2	11.1
小曾木	34	4	8	-	10	24	-	3
	100.0	11.8	23.5	-	29.4	70.6	-	8.8
成木	20	-	4	1	3	14	1	2
	100.0	-	20.0	5.0	15.0	70.0	5.0	10.0
無回答	7	1	2	-	2	7	-	-
	100.0	14.3	28.6	-	28.6	100.0	-	-

（2）移動支援で必要だと思うもの

地域で支えあうための移動支援で必要だと思うものは何ですか(あてはまるものすべてに○)

「送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含まない）」が 24.7%で最も多く、「送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含む）」（21.8%）、「移動スーパーの拡充」（20.4%）、「その他」（2.9%）が続きます。

年齢構成でみると、「特に希望しない」で年齢が上がるにつれて比率が下がる傾向にあります。

		全体	送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含まない）	送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含む）	移動スーパーの拡充	その他	特に希望しない	無回答
	全体	2,577	24.7	21.8	20.4	2.9	32.1	16.6
年齢	65歳～69歳	553	25.3	25.1	21.9	2.7	34.9	11.2
	70歳～74歳	791	27.1	22.9	21.5	2.7	31.9	13.8
	75歳～79歳	600	23.2	19.7	18.7	4.2	32.3	18.7
	80歳～84歳	388	19.1	17.8	21.1	2.3	30.9	23.7
	85歳～89歳	169	30.8	20.1	15.4	1.8	29.0	20.1
	90歳～94歳	53	18.9	22.6	22.6	3.8	26.4	28.3
	95歳～99歳	5	20.0	40.0	-	-	40.0	-
	100歳以上	-	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	33.3	38.9	16.7	-	11.1	22.2

これを地区別でみると、「送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含まない）」では「第３地区」が、「送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含む）」「移動スーパーの拡充」では「第１地区」が、比率で最も高くなっています。

		全体	送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含まない）	送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含む）	移動スーパーの拡充	その他	特に希望しない	無回答
	全体	2,577	24.7	21.8	20.4	2.9	32.1	16.6
居住地区	第１地区	556	23.0	23.0	22.5	2.7	30.9	17.8
	第２地区	1,035	24.9	22.8	22.0	2.9	32.0	15.6
	第３地区	968	25.2	19.7	17.6	3.1	33.2	16.9
	無回答	18	33.3	38.9	16.7	-	11.1	22.2

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含まない）	送迎車による移動支援（外出先での介助や付き添いを含む）	移動スーパーの拡充	その他	特に希望しない	無回答
全体	2,577	636	562	526	75	826	428
	100.0	24.7	21.8	20.4	2.9	32.1	16.6
青梅	236	66	61	70	8	57	33
	100.0	28.0	25.8	29.7	3.4	24.2	14.0
東青梅	320	62	67	55	7	115	66
	100.0	19.4	20.9	17.2	2.2	35.9	20.6
長淵	408	111	83	97	10	131	60
	100.0	27.2	20.3	23.8	2.5	32.1	14.7
河辺	312	66	80	41	13	115	44
	100.0	21.2	25.6	13.1	4.2	36.9	14.1
梅郷	227	54	52	57	4	65	45
	100.0	23.8	22.9	25.1	1.8	28.6	19.8
沢井	88	27	21	33	3	20	12
	100.0	30.7	23.9	37.5	3.4	22.7	13.6
大門	344	60	71	58	9	123	70
	100.0	17.4	20.6	16.9	2.6	35.8	20.3
新町	300	95	64	39	8	98	39
	100.0	31.7	21.3	13.0	2.7	32.7	13.0
今井	197	50	37	30	8	73	30
	100.0	25.4	18.8	15.2	4.1	37.1	15.2
小曾木	84	21	8	29	2	18	20
	100.0	25.0	9.5	34.5	2.4	21.4	23.8
成木	43	18	11	14	3	9	5
	100.0	41.9	25.6	32.6	7.0	20.9	11.6
無回答	18	6	7	3	-	2	4
	100.0	33.3	38.9	16.7	-	11.1	22.2

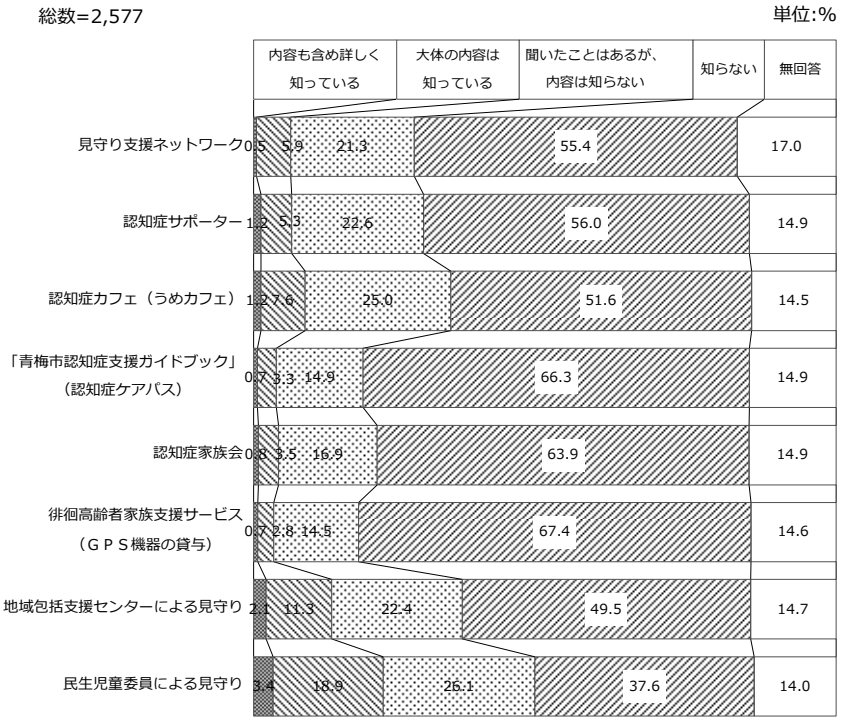
17 認知症対策

（1）市の事業の認知度

現在、市では、次の事業を行っていますが、以下について該当するものを選んでください

「内容も含め詳しく知っている」と「大体の内容は知っている」とを合わせると、「民生児童委員による見守り」が 22.2%で最も多く、「地域包括支援センターによる見守り」（13.4%）、「認知症カフェ（うめカフェ）」（8.8%）が続きます。

「知らない」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」とを合わせると、「徘徊高齢者家族支援サービス（ＧＰＳ機器の貸与）」が 81.9%で最も多く、「「青梅市認知症支援ガイドブック」（認知症ケアパス）」（81.2%）、「認知症家族会」（80.8%）が続きます。



① 見守り支援ネットワーク

「知らない」が 55.4%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（21.3%）、「大体の内容は知っている」（5.9%）、「内容も含め詳しく知っている」（0.5%）が続きます。

家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.5	5.9	21.3	55.4	17.0
家族構成別	１人暮らし	497	0.2	6.0	16.3	54.1	23.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	0.3	5.8	23.0	57.1	13.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	0.7	7.1	22.1	53.6	16.4
	息子・娘との２世帯	366	0.8	4.9	23.5	53.6	17.2
	その他	470	1.1	5.7	21.7	57.0	14.5
	無回答	72	－	8.3	15.3	41.7	34.7

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がる傾向にあります。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.5	5.9	21.3	55.4	17.0
年齢	65歳～69歳	553	0.9	5.6	23.1	62.2	8.1
	70歳～74歳	791	0.5	6.4	21.7	58.2	13.1
	75歳～79歳	600	0.3	6.7	21.2	51.3	20.5
	80歳～84歳	388	0.5	4.6	19.6	51.8	23.5
	85歳～89歳	169	－	3.0	20.1	45.6	31.4
	90歳～94歳	53	－	3.8	13.2	52.8	30.2
	95歳～99歳	5	－	－	－	40.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	－	22.2	22.2	38.9	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第２地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	0.5	5.9	21.3	55.4	17.0
居住地区	第１地区	556	0.7	6.7	21.9	54.0	16.7
	第２地区	1,035	0.6	5.3	20.7	55.7	17.7
	第３地区	968	0.3	5.7	21.5	56.1	16.4
	無回答	18	-	22.2	22.2	38.9	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	13	151	548	1,427	438
	100.0	0.5	5.9	21.3	55.4	17.0
青梅	236	2	18	63	114	39
	100.0	0.8	7.6	26.7	48.3	16.5
東青梅	320	2	19	59	186	54
	100.0	0.6	5.9	18.4	58.1	16.9
長淵	408	2	29	74	236	67
	100.0	0.5	7.1	18.1	57.8	16.4
河辺	312	1	14	68	180	49
	100.0	0.3	4.5	21.8	57.7	15.7
梅郷	227	3	7	52	118	47
	100.0	1.3	3.1	22.9	52.0	20.7
沢井	88	-	5	20	43	20
	100.0	-	5.7	22.7	48.9	22.7
大門	344	-	17	72	190	65
	100.0	-	4.9	20.9	55.2	18.9
新町	300	1	17	68	179	35
	100.0	0.3	5.7	22.7	59.7	11.7
今井	197	-	10	37	119	31
	100.0	-	5.1	18.8	60.4	15.7
小曾木	84	1	8	19	37	19
	100.0	1.2	9.5	22.6	44.0	22.6
成木	43	1	3	12	18	9
	100.0	2.3	7.0	27.9	41.9	20.9
無回答	18	-	4	4	7	3
	100.0	-	22.2	22.2	38.9	16.7

② 認知症サポーター

「知らない」が 56.0%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（22.6%）、「大体の内容は知っている」（5.3%）、「内容も含め詳しく知っている」（1.2%）が続きます。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	1.2	5.3	22.6	56.0	14.9
家族構成別	１人暮らし	497	1.4	5.0	19.7	51.9	21.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	1.3	5.1	23.6	58.0	11.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	－	5.0	22.1	60.0	12.9
	息子・娘との２世帯	366	1.4	5.2	26.0	52.2	15.3
	その他	470	1.3	6.0	21.5	59.4	11.9
	無回答	72	1.4	6.9	19.4	43.1	29.2

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	1.2	5.3	22.6	56.0	14.9
年齢	65歳～69歳	553	2.0	4.7	25.7	60.8	6.9
	70歳～74歳	791	1.0	6.1	24.3	58.0	10.6
	75歳～79歳	600	1.7	5.2	21.7	53.7	17.8
	80歳～84歳	388	0.3	5.4	19.8	52.6	21.9
	85歳～89歳	169	－	2.4	18.9	50.3	28.4
	90歳～94歳	53	－	9.4	15.1	47.2	28.3
	95歳～99歳	5	－	－	－	40.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	11.1	11.1	11.1	50.0	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第１地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	1.2	5.3	22.6	56.0	14.9
居住地区	第１地区	556	0.9	6.3	22.3	55.9	14.6
	第２地区	1,035	1.5	5.7	24.6	53.6	14.5
	第３地区	968	0.9	4.2	20.9	58.6	15.4
	無回答	18	11.1	11.1	11.1	50.0	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	32	137	583	1,442	383
	100.0	1.2	5.3	22.6	56.0	14.9
青梅	236	3	18	57	129	29
	100.0	1.3	7.6	24.2	54.7	12.3
東青梅	320	2	17	67	182	52
	100.0	0.6	5.3	20.9	56.9	16.3
長淵	408	8	21	101	222	56
	100.0	2.0	5.1	24.8	54.4	13.7
河辺	312	5	18	76	175	38
	100.0	1.6	5.8	24.4	56.1	12.2
梅郷	227	2	15	57	111	42
	100.0	0.9	6.6	25.1	48.9	18.5
沢井	88	1	5	21	47	14
	100.0	1.1	5.7	23.9	53.4	15.9
大門	344	3	12	69	197	63
	100.0	0.9	3.5	20.1	57.3	18.3
新町	300	3	9	68	186	34
	100.0	1.0	3.0	22.7	62.0	11.3
今井	197	2	7	37	122	29
	100.0	1.0	3.6	18.8	61.9	14.7
小曾木	84	1	10	16	41	16
	100.0	1.2	11.9	19.0	48.8	19.0
成木	43	-	3	12	21	7
	100.0	-	7.0	27.9	48.8	16.3
無回答	18	2	2	2	9	3
	100.0	11.1	11.1	11.1	50.0	16.7

③ 認知症カフェ（うめカフェ）

「知らない」が51.6%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（25.0%）、「大体の内容は知っている」（7.6%）、「内容も含め詳しく知っている」（1.2%）が続きます。「参加していない」が67.4%を占めています。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	1.2	7.6	25.0	51.6	14.5
家族構成別	１人暮らし	497	1.4	8.2	22.1	46.9	21.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	1.0	8.1	27.8	51.4	11.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	－	4.3	16.4	66.4	12.9
	息子・娘との２世帯	366	1.6	8.2	24.9	51.4	13.9
	その他	470	1.7	6.4	24.5	55.5	11.9
	無回答	72	1.4	6.9	25.0	36.1	30.6

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がる傾向にあります。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	1.2	7.6	25.0	51.6	14.5
年齢	65歳～69歳	553	1.3	6.0	25.1	60.6	7.1
	70歳～74歳	791	1.0	8.1	28.3	52.5	10.1
	75歳～79歳	600	1.5	9.3	26.5	44.8	17.8
	80歳～84歳	388	0.5	5.7	20.1	53.1	20.6
	85歳～89歳	169	1.2	8.9	18.9	42.6	28.4
	90歳～94歳	53	1.9	11.3	13.2	47.2	26.4
	95歳～99歳	5	－	－	－	40.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	16.7	－	27.8	38.9	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第１地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	1.2	7.6	25.0	51.6	14.5
居住地区	第１地区	556	0.9	6.8	25.2	52.9	14.2
	第２地区	1,035	1.5	9.0	26.1	49.2	14.2
	第３地区	968	0.8	6.7	23.7	53.8	15.0
	無回答	18	16.7	-	27.8	38.9	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	32	196	644	1,331	374
	100.0	1.2	7.6	25.0	51.6	14.5
青梅	236	2	12	66	127	29
	100.0	0.8	5.1	28.0	53.8	12.3
東青梅	320	3	26	74	167	50
	100.0	0.9	8.1	23.1	52.2	15.6
長淵	408	7	28	102	217	54
	100.0	1.7	6.9	25.0	53.2	13.2
河辺	312	5	32	97	140	38
	100.0	1.6	10.3	31.1	44.9	12.2
梅郷	227	2	23	51	110	41
	100.0	0.9	10.1	22.5	48.5	18.1
沢井	88	2	10	20	42	14
	100.0	2.3	11.4	22.7	47.7	15.9
大門	344	5	18	83	176	62
	100.0	1.5	5.2	24.1	51.2	18.0
新町	300	2	20	71	174	33
	100.0	0.7	6.7	23.7	58.0	11.0
今井	197	-	15	44	111	27
	100.0	-	7.6	22.3	56.3	13.7
小曾木	84	1	8	20	39	16
	100.0	1.2	9.5	23.8	46.4	19.0
成木	43	-	4	11	21	7
	100.0	-	9.3	25.6	48.8	16.3
無回答	18	3	-	5	7	3
	100.0	16.7	-	27.8	38.9	16.7

④「青梅市認知症支援ガイドブック」（認知症ケアパス）

「知らない」が 66.3%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（14.9%）、「大体の内容は知っている」（3.3%）、「内容も含め詳しく知っている」（0.7%）が続きます。「参加していない」が 67.4%を占めています。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.7	3.3	14.9	66.3	14.9
家族構成別	１人暮らし	497	1.0	3.4	12.7	62.0	20.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	0.6	3.3	15.6	68.0	12.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	－	2.1	12.9	72.9	12.1
	息子・娘との２世帯	366	0.5	3.3	18.3	62.8	15.0
	その他	470	0.9	3.6	13.6	70.0	11.9
	無回答	72	－	1.4	15.3	52.8	30.6

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.7	3.3	14.9	66.3	14.9
年齢	65歳～69歳	553	1.3	2.9	15.6	73.2	7.1
	70歳～74歳	791	0.4	3.2	15.5	69.8	11.1
	75歳～79歳	600	0.5	3.8	15.0	63.2	17.5
	80歳～84歳	388	0.5	3.6	13.9	60.3	21.6
	85歳～89歳	169	－	1.8	12.4	57.4	28.4
	90歳～94歳	53	1.9	3.8	9.4	60.4	24.5
	95歳～99歳	5	－	－	－	40.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	5.6	5.6	27.8	44.4	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第１地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	0.7	3.3	14.9	66.3	14.9
居住地区	第１地区	556	0.5	2.9	14.4	67.8	14.4
	第２地区	1,035	1.0	3.5	16.8	64.2	14.6
	第３地区	968	0.3	3.2	12.9	68.2	15.4
	無回答	18	5.6	5.6	27.8	44.4	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	17	84	384	1,709	383
	100.0	0.7	3.3	14.9	66.3	14.9
青梅	236	1	8	36	162	29
	100.0	0.4	3.4	15.3	68.6	12.3
東青梅	320	2	8	44	215	51
	100.0	0.6	2.5	13.8	67.2	15.9
長淵	408	8	11	63	269	57
	100.0	2.0	2.7	15.4	65.9	14.0
河辺	312	2	12	53	208	37
	100.0	0.6	3.8	17.0	66.7	11.9
梅郷	227	-	11	41	132	43
	100.0	-	4.8	18.1	58.1	18.9
沢井	88	-	2	17	55	14
	100.0	-	2.3	19.3	62.5	15.9
大門	344	1	8	42	233	60
	100.0	0.3	2.3	12.2	67.7	17.4
新町	300	1	10	37	214	38
	100.0	0.3	3.3	12.3	71.3	12.7
今井	197	-	7	20	141	29
	100.0	-	3.6	10.2	71.6	14.7
小曾木	84	1	5	16	46	16
	100.0	1.2	6.0	19.0	54.8	19.0
成木	43	-	1	10	26	6
	100.0	-	2.3	23.3	60.5	14.0
無回答	18	1	1	5	8	3
	100.0	5.6	5.6	27.8	44.4	16.7

⑤ 認知症家族会

「知らない」が 63.9%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（16.9%）、「大体の内容は知っている」（3.5%）、「内容も含め詳しく知っている」（0.8%）が続きます。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.8	3.5	16.9	63.9	14.9
家族構成別	１人暮らし	497	0.8	3.4	14.3	60.0	21.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	0.9	3.2	18.5	65.2	12.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	－	2.1	12.9	71.4	13.6
	息子・娘との２世帯	366	0.8	3.0	18.9	62.3	15.0
	その他	470	1.1	4.3	16.0	66.8	11.9
	無回答	72	－	6.9	16.7	45.8	30.6

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がる傾向にあります。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.8	3.5	16.9	63.9	14.9
年齢	65歳～69歳	553	1.1	4.2	17.4	70.3	7.1
	70歳～74歳	791	0.5	2.7	18.6	67.6	10.6
	75歳～79歳	600	1.3	3.3	17.0	60.0	18.3
	80歳～84歳	388	－	4.6	14.2	59.3	21.9
	85歳～89歳	169	0.6	3.0	13.6	54.4	28.4
	90歳～94歳	53	－	1.9	18.9	54.7	24.5
	95歳～99歳	5	－	－	－	40.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	11.1	5.6	16.7	50.0	16.7

これを地区区分でみると、「第３地区」で最もその比率が高く、「第２地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	0.8	3.5	16.9	63.9	14.9
居住地区	第１地区	556	1.1	4.1	18.9	61.7	14.2
	第２地区	1,035	0.9	3.4	17.5	63.4	14.9
	第３地区	968	0.4	3.1	15.2	65.9	15.4
	無回答	18	11.1	5.6	16.7	50.0	16.7

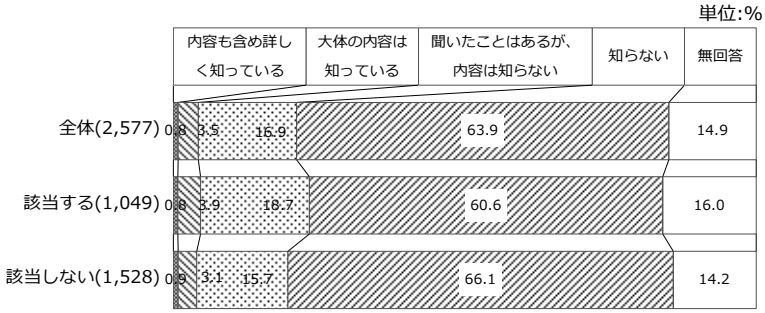
また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	21	89	436	1,646	385
	100.0	0.8	3.5	16.9	63.9	14.9
青梅	236	3	12	47	143	31
	100.0	1.3	5.1	19.9	60.6	13.1
東青梅	320	3	11	58	200	48
	100.0	0.9	3.4	18.1	62.5	15.0
長淵	408	4	15	65	268	56
	100.0	1.0	3.7	15.9	65.7	13.7
河辺	312	1	12	61	197	41
	100.0	0.3	3.8	19.6	63.1	13.1
梅郷	227	4	6	38	138	41
	100.0	1.8	2.6	16.7	60.8	18.1
沢井	88	-	2	17	53	16
	100.0	-	2.3	19.3	60.2	18.2
大門	344	2	9	51	219	63
	100.0	0.6	2.6	14.8	63.7	18.3
新町	300	1	8	46	210	35
	100.0	0.3	2.7	15.3	70.0	11.7
今井	197	-	6	33	130	28
	100.0	-	3.0	16.8	66.0	14.2
小曾木	84	1	5	11	51	16
	100.0	1.2	6.0	13.1	60.7	19.0
成木	43	-	2	6	28	7
	100.0	-	4.7	14.0	65.1	16.3
無回答	18	2	1	3	9	3
	100.0	11.1	5.6	16.7	50.0	16.7

※ 認知能力に低下がみられる方（前記［6 調査からみたリスクの高い方 ④ 認知機能］〇頁参照）からみた「市で行っている事業の認知／認知症家族会」

「認知能力に低下がみられる方」に「該当する方」の比率は、「該当しない方」と比べて、「認知症家族会」を「知らない」と答えた方が 5%以上低くなっています。

単位:%



⑥ 徘徊高齢者家族支援サービス（ＧＰＳ機器の貸与）

「知らない」が 67.4%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（14.5%）、「大体の内容は知っている」（2.8%）、「内容も含め詳しく知っている」（0.7%）が続きます。

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がる傾向にあります。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.7	2.8	14.5	67.4	14.6
家族構成別	１人暮らし	497	1.0	3.0	12.5	62.6	20.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	0.5	3.0	16.0	68.5	12.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	－	1.4	11.4	74.3	12.9
	息子・娘との２世帯	366	0.8	1.6	16.1	66.4	15.0
	その他	470	1.1	3.2	13.4	70.6	11.7
	無回答	72	－	4.2	12.5	55.6	27.8

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	0.7	2.8	14.5	67.4	14.6
年齢	65歳～69歳	553	0.9	2.7	16.8	72.7	6.9
	70歳～74歳	791	0.5	3.2	13.7	72.3	10.4
	75歳～79歳	600	1.0	2.3	16.0	63.3	17.3
	80歳～84歳	388	0.3	3.1	12.6	62.6	21.4
	85歳～89歳	169	－	1.8	11.8	57.4	29.0
	90歳～94歳	53	1.9	1.9	11.3	58.5	26.4
	95歳～99歳	5	－	－	－	40.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	5.6	11.1	11.1	55.6	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第１地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	0.7	2.8	14.5	67.4	14.6
居住地区	第１地区	556	0.9	2.2	14.4	68.3	14.2
	第２地区	1,035	0.7	3.3	15.7	66.0	14.4
	第３地区	968	0.5	2.5	13.4	68.6	15.0
	無回答	18	5.6	11.1	11.1	55.6	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	18	72	374	1,737	376
	100.0	0.7	2.8	14.5	67.4	14.6
青梅	236	2	6	42	157	29
	100.0	0.8	2.5	17.8	66.5	12.3
東青梅	320	3	6	38	223	50
	100.0	0.9	1.9	11.9	69.7	15.6
長淵	408	4	13	68	267	56
	100.0	1.0	3.2	16.7	65.4	13.7
河辺	312	2	9	48	216	37
	100.0	0.6	2.9	15.4	69.2	11.9
梅郷	227	1	8	30	147	41
	100.0	0.4	3.5	13.2	64.8	18.1
沢井	88	-	4	16	53	15
	100.0	-	4.5	18.2	60.2	17.0
大門	344	1	7	41	233	62
	100.0	0.3	2.0	11.9	67.7	18.0
新町	300	2	6	44	215	33
	100.0	0.7	2.0	14.7	71.7	11.0
今井	197	1	6	23	139	28
	100.0	0.5	3.0	11.7	70.6	14.2
小曾木	84	1	3	17	48	15
	100.0	1.2	3.6	20.2	57.1	17.9
成木	43	-	2	5	29	7
	100.0	-	4.7	11.6	67.4	16.3
無回答	18	1	2	2	10	3
	100.0	5.6	11.1	11.1	55.6	16.7

⑦ 地域包括支援センターによる見守り

「知らない」が 49.5%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（22.4%）、「大体の内容は知っている」（11.3%）、「内容も含め詳しく知っている」（2.1%）が続きます。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	2.1	11.3	22.4	49.5	14.7
家族構成別	１人暮らし	497	1.6	9.9	20.3	46.9	21.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	2.2	11.7	23.4	50.9	11.8
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	0.7	10.0	20.7	55.0	13.6
	息子・娘との２世帯	366	2.7	11.2	20.2	50.8	15.0
	その他	470	2.6	13.2	25.1	47.4	11.7
	無回答	72	1.4	5.6	19.4	44.4	29.2

年齢階層が高くなるほど、「知らない」の比率が下がる傾向にあります。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	2.1	11.3	22.4	49.5	14.7
年齢	65歳～69歳	553	3.6	11.6	26.2	51.4	7.2
	70歳～74歳	791	1.6	10.1	21.7	55.4	11.1
	75歳～79歳	600	3.2	11.8	21.8	46.3	16.8
	80歳～84歳	388	0.5	12.6	22.7	43.3	20.9
	85歳～89歳	169	－	8.3	16.6	46.7	28.4
	90歳～94歳	53	－	15.1	20.8	37.7	26.4
	95歳～99歳	5	－	20.0	20.0	－	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	5.6	22.2	5.6	50.0	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第１地区」で最もその比率が高く、「第３地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	2.1	11.3	22.4	49.5	14.7
居住地区	第１地区	556	1.6	8.3	21.9	53.8	14.4
	第２地区	1,035	2.5	12.8	23.7	46.8	14.3
	第３地区	968	2.0	11.3	21.6	50.0	15.2
	無回答	18	5.6	22.2	5.6	50.0	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	55	291	577	1,276	378
	100.0	2.1	11.3	22.4	49.5	14.7
青梅	236	4	22	60	120	30
	100.0	1.7	9.3	25.4	50.8	12.7
東青梅	320	5	24	62	179	50
	100.0	1.6	7.5	19.4	55.9	15.6
長淵	408	9	45	98	202	54
	100.0	2.2	11.0	24.0	49.5	13.2
河辺	312	8	52	62	153	37
	100.0	2.6	16.7	19.9	49.0	11.9
梅郷	227	9	25	55	97	41
	100.0	4.0	11.0	24.2	42.7	18.1
沢井	88	-	10	30	32	16
	100.0	-	11.4	34.1	36.4	18.2
大門	344	6	39	70	166	63
	100.0	1.7	11.3	20.3	48.3	18.3
新町	300	4	32	69	160	35
	100.0	1.3	10.7	23.0	53.3	11.7
今井	197	6	21	39	105	26
	100.0	3.0	10.7	19.8	53.3	13.2
小曾木	84	1	10	21	36	16
	100.0	1.2	11.9	25.0	42.9	19.0
成木	43	2	7	10	17	7
	100.0	4.7	16.3	23.3	39.5	16.3
無回答	18	1	4	1	9	3
	100.0	5.6	22.2	5.6	50.0	16.7

⑧ 民生児童委員による見守り

「知らない」が 37.6%で最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（26.1%）、「大体の内容は知っている」（18.9%）、「内容も含め詳しく知っている」（3.4%）が続きます。

家族構成でみると、家族関係でみると、家族関係でみると、「知らない」では「夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の比率が高くなっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	3.4	18.9	26.1	37.6	14.0
家族構成別	１人暮らし	497	2.6	19.1	21.7	36.8	19.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	4.0	20.5	26.6	37.2	11.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	1.4	12.9	30.0	42.9	12.9
	息子・娘との２世帯	366	4.1	16.9	27.9	37.2	13.9
	その他	470	3.0	18.1	28.7	38.7	11.5
	無回答	72	2.8	19.4	13.9	34.7	29.2

年齢階層が高くなるほど、84 歳までは「知らない」の比率が下がっています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
	全体	2,577	3.4	18.9	26.1	37.6	14.0
年齢	65歳～69歳	553	3.6	15.4	30.6	43.4	7.1
	70歳～74歳	791	2.7	17.7	27.4	41.5	10.7
	75歳～79歳	600	4.2	22.0	23.7	33.8	16.3
	80歳～84歳	388	3.1	22.2	24.7	29.6	20.4
	85歳～89歳	169	2.4	17.8	18.9	35.5	25.4
	90歳～94歳	53	7.5	15.1	20.8	34.0	22.6
	95歳～99歳	5	－	－	20.0	20.0	60.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*
	無回答	18	5.6	27.8	22.2	27.8	16.7

これを地区区分でみると、「知らない」の比率は「第３地区」で最もその比率が高く、「第１地区」が続いています。

		全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	3.4	18.9	26.1	37.6	14.0
居住地区	第１地区	556	3.1	19.1	26.8	37.9	13.1
	第２地区	1,035	3.9	18.6	26.5	36.8	14.2
	第３地区	968	3.0	18.8	25.3	38.5	14.4
	無回答	18	5.6	27.8	22.2	27.8	16.7

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	内容も含め詳しく知っている	大体の内容は知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	87	486	672	970	362
	100.0	3.4	18.9	26.1	37.6	14.0
青梅	236	6	53	61	89	27
	100.0	2.5	22.5	25.8	37.7	11.4
東青梅	320	11	53	88	122	46
	100.0	3.4	16.6	27.5	38.1	14.4
長淵	408	14	64	113	163	54
	100.0	3.4	15.7	27.7	40.0	13.2
河辺	312	11	55	73	135	38
	100.0	3.5	17.6	23.4	43.3	12.2
梅郷	227	12	47	63	65	40
	100.0	5.3	20.7	27.8	28.6	17.6
沢井	88	3	27	25	18	15
	100.0	3.4	30.7	28.4	20.5	17.0
大門	344	7	66	78	131	62
	100.0	2.0	19.2	22.7	38.1	18.0
新町	300	9	46	82	130	33
	100.0	3.0	15.3	27.3	43.3	11.0
今井	197	4	40	48	83	22
	100.0	2.0	20.3	24.4	42.1	11.2
小曾木	84	4	18	27	20	15
	100.0	4.8	21.4	32.1	23.8	17.9
成木	43	5	12	10	9	7
	100.0	11.6	27.9	23.3	20.9	16.3
無回答	18	1	5	4	5	3
	100.0	5.6	27.8	22.2	27.8	16.7

（2）安心して在宅で暮らせるために必要なもの

認知症の人が、安心して在宅で暮らせるために必要なものは何だと思われますか
（○は３つまで）

「介護する人の負担を減らす取組み」が 50.4％で最も多く、「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」（47.0％）、「心配事を気軽に相談できる場所」（36.6％）、「近所の人の認知症への正しい理解」（21.7％）が続きます。

認知能力に低下がみられる方（前記［6 調査からみたリスクの高い方 ④ 認知機能］○頁参照）に「該当する」方の比率が、「該当しない」方と比べて、比率が高くなっているのは「介護する人の負担を減らす取組み」「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」などとなっています。

		全体	心配事を気軽に相談できる場所	介護する人の負担を減らす取組み	近所の人の認知症への正しい理解	近所で認知症の人や家族を見守る体制作り	行方不明になった高齢者の早期発見の取組み	認知症の人がいきがいを感じられる取組み	認知症の人が利用できる介護サービスの充実	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	36.6	50.4	21.7	17.9	14.2	15.7	47.0	6.2	1.1	11.8
認知機能の低下	該当する	1,049	35.7	51.4	21.3	17.3	14.5	17.3	47.7	5.1	1.5	12.9
	該当しない	1,528	37.2	49.8	21.9	18.2	14.1	14.7	46.5	6.9	0.9	11.0
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

家族構成でみると、「介護する人の負担を減らす取組み」では「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の比率が最も高くなっています。

		全体	心配事を気軽に相談できる場所	介護する人の負担を減らす取組み	近所の人の認知症への正しい理解	近所で認知症の人や家族を見守る体制作り	行方不明になった高齢者の早期発見の取組み	認知症の人がいきがいを感じられる取組み	認知症の人が利用できる介護サービスの充実	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	36.6	50.4	21.7	17.9	14.2	15.7	47.0	6.2	1.1	11.8
家族構成別	１人暮らし	497	34.8	37.8	22.1	15.9	11.3	14.3	40.8	10.1	1.0	15.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	38.6	54.2	21.3	18.5	15.7	15.8	49.3	4.5	1.6	9.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	35.7	50.0	21.4	22.9	15.7	14.3	40.0	7.1	0.7	10.7
	息子・娘との２世帯	366	36.9	53.6	22.4	18.0	14.2	17.2	47.5	6.8	0.3	11.2
	その他	470	35.3	54.5	21.9	18.7	14.5	16.8	51.7	4.7	0.9	11.7
	無回答	72	30.6	43.1	18.1	5.6	9.7	12.5	34.7	8.3	1.4	27.8

年齢構成では、「介護する人の負担を減らす取組み」「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」「心配事を気軽に相談できる場所」で、年令高くなるにしたがい、比率が下がる傾向にあります。

		全体	心配事を気軽に相談できる場所	介護する人の負担を減らす取組み	近所の人の認知症への正しい理解	近所で認知症の人や家族を見守る体制作り	行方不明になった高齢者の早期発見の取組み	認知症の人がいきがいを感じられる取組み	認知症の人が利用できる介護サービスの充実	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	36.6	50.4	21.7	17.9	14.2	15.7	47.0	6.2	1.1	11.8
年齢	65歳～69歳	553	37.3	59.5	19.2	17.9	14.6	16.3	53.0	7.1	0.9	7.1
	70歳～74歳	791	35.3	55.1	21.7	20.1	13.4	14.9	50.1	4.9	1.4	9.9
	75歳～79歳	600	36.8	48.8	21.2	16.5	15.3	15.7	45.8	6.3	1.2	12.5
	80歳～84歳	388	39.2	40.2	25.3	16.2	13.7	16.8	40.2	7.0	1.0	16.2
	85歳～89歳	169	33.1	32.5	21.9	13.6	14.2	17.8	36.1	5.9	0.6	21.3
	90歳～94歳	53	39.6	34.0	24.5	22.6	18.9	11.3	32.1	11.3	－	15.1
	95歳～99歳	5	60.0	60.0	20.0	－	－	20.0	20.0	－	－	40.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	33.3	55.6	22.2	27.8	5.6	5.6	61.1	－	5.6	11.1

これを地区別でみると、「介護する人の負担を減らす取組み」「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

「心配事を気軽に相談できる場所」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	心配事を気軽に相談できる場所	介護する人の負担を減らす取組み	近所の人の認知症への正しい理解	近所で認知症の人や家族を見守る体制作り	行方不明になった高齢者の早期発見の取組み	認知症の人がいきがいを感じられる取組み	認知症の人が利用できる介護サービスの充実	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	36.6	50.4	21.7	17.9	14.2	15.7	47.0	6.2	1.1	11.8
居住地区	第１地区	556	34.7	53.2	23.0	16.9	16.4	16.2	48.6	5.2	2.0	10.3
	第２地区	1,035	36.6	50.1	21.1	19.6	12.3	15.2	46.8	6.5	0.8	12.2
	第３地区	968	37.8	49.1	21.5	16.3	15.3	16.2	46.0	6.5	0.9	12.2
	無回答	18	33.3	55.6	22.2	27.8	5.6	5.6	61.1	-	5.6	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	心配事を気軽に相談できる場所	介護する人の負担を減らす取組み	近所の人の認知症への正しい理解	近所で認知症の人や家族を見守る体制作り	行方不明になった高齢者の早期発見の取組み	認知症の人がいきがいを感じられる取組み	認知症の人が利用できる介護サービスの充実	特にない	その他	無回答
全体	2,577	944	1,300	558	460	367	405	1,210	159	29	303
	100.0	36.6	50.4	21.7	17.9	14.2	15.7	47.0	6.2	1.1	11.8
青梅	236	81	130	59	48	40	43	117	12	4	21
	100.0	34.3	55.1	25.0	20.3	16.9	18.2	49.6	5.1	1.7	8.9
東青梅	320	112	166	69	46	51	47	153	17	7	36
	100.0	35.0	51.9	21.6	14.4	15.9	14.7	47.8	5.3	2.2	11.3
長淵	408	155	197	84	73	53	57	204	25	6	47
	100.0	38.0	48.3	20.6	17.9	13.0	14.0	50.0	6.1	1.5	11.5
河辺	312	110	149	68	65	42	47	135	24	1	39
	100.0	35.3	47.8	21.8	20.8	13.5	15.1	43.3	7.7	0.3	12.5
梅郷	227	77	135	48	46	22	41	108	12	-	25
	100.0	33.9	59.5	21.1	20.3	9.7	18.1	47.6	5.3	-	11.0
沢井	88	37	38	18	19	10	12	37	6	1	15
	100.0	42.0	43.2	20.5	21.6	11.4	13.6	42.0	6.8	1.1	17.0
大門	344	129	168	66	54	54	66	147	20	5	50
	100.0	37.5	48.8	19.2	15.7	15.7	19.2	42.7	5.8	1.5	14.5
新町	300	117	137	68	48	52	44	145	23	2	32
	100.0	39.0	45.7	22.7	16.0	17.3	14.7	48.3	7.7	0.7	10.7
今井	197	81	109	43	23	26	32	98	13	1	16
	100.0	41.1	55.3	21.8	11.7	13.2	16.2	49.7	6.6	0.5	8.1
小曾木	84	26	38	20	23	11	6	30	6	-	16
	100.0	31.0	45.2	23.8	27.4	13.1	7.1	35.7	7.1	-	19.0
成木	43	13	23	11	10	5	9	25	1	1	4
	100.0	30.2	53.5	25.6	23.3	11.6	20.9	58.1	2.3	2.3	9.3
無回答	18	6	10	4	5	1	1	11	-	1	2
	100.0	33.3	55.6	22.2	27.8	5.6	5.6	61.1	-	5.6	11.1

（3）できること

認知症の人やその家族のために、地域においてあなたができることは何ですか
（○は３つまで）

「自分自身の認知症予防を心がける」が 66.0%で最も多く、「日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする」（26.8%）、「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」（24.7%）、「近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）」（23.6%）が続きます。

家族構成でみると、「自分自身の認知症予防を心がける」では「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の比率が最も高くなっています。

		全体	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動（話し相手やレクリエーション補助など）	行方不明になった認知症高齢者を探す協力	認知症家族会に対する協力	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	24.7	23.6	26.8	1.2	66.0	2.3	7.4	5.4	9.9	1.0	11.1
家族構成別	１人暮らし	497	21.9	22.5	21.5	1.2	58.6	3.8	6.8	3.8	11.9	1.6	14.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,032	25.5	24.1	28.8	1.3	68.9	1.8	7.3	5.3	9.6	1.2	9.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	140	27.9	17.9	20.7	2.9	62.1	2.9	9.3	4.3	12.9	0.7	10.7
	息子・娘との２世帯	366	24.9	27.0	30.9	1.4	68.3	1.9	6.8	7.4	8.5	0.3	10.9
	その他	470	25.5	24.0	28.3	0.6	69.1	1.9	8.3	5.5	8.7	0.4	9.4
	無回答	72	20.8	12.5	16.7	－	51.4	2.8	5.6	8.3	11.1	2.8	25.0

年齢構成では、「自分自身の認知症予防を心がける」「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」で年齢が高くなるほど比率が下がってくる傾向にあります。

		全体	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動（話し相手やレクリエーション補助など）	行方不明になった認知症高齢者を探す協力	認知症家族会に対する協力	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	24.7	23.6	26.8	1.2	66.0	2.3	7.4	5.4	9.9	1.0	11.1
年齢	65歳～69歳	553	27.5	22.6	26.2	2.0	66.2	2.5	5.8	3.6	12.8	0.9	7.8
	70歳～74歳	791	27.2	25.5	28.4	1.3	66.2	2.3	8.0	5.7	9.1	1.0	9.2
	75歳～79歳	600	24.2	24.8	25.3	1.7	70.5	2.3	7.5	5.8	8.8	0.7	10.5
	80歳～84歳	388	21.6	21.9	28.1	－	66.5	2.3	8.0	7.2	7.7	1.0	14.9
	85歳～89歳	169	18.3	18.9	25.4	－	54.4	3.0	6.5	3.6	10.1	3.0	21.3
	90歳～94歳	53	11.3	24.5	18.9	－	43.4	－	13.2	5.7	20.8	－	17.0
	95歳～99歳	5	－	－	20.0	－	40.0	－	－	－	－	－	40.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	22.2	5.6	33.3	－	72.2	－	5.6	11.1	11.1	－	11.1

これを地区別でみると、「自分自身の認知症予防を心がける」では「第３地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。「日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」「ボランティアを頼む必要がないから」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動（話し相手やレクリエーション補助など）	行方不明になった認知症高齢者を探す協力	認知症家族会に対する協力	特にない	その他	無回答
	全体	2,577	24.7	23.6	26.8	1.2	66.0	2.3	7.4	5.4	9.9	1.0	11.1
居住地区	第１地区	556	26.3	23.0	25.5	1.3	65.8	2.7	8.3	5.6	9.2	1.4	10.6
	第２地区	1,035	24.8	24.0	28.0	1.7	64.1	2.0	6.4	5.1	10.3	1.0	11.8
	第３地区	968	23.8	23.8	26.1	0.6	68.1	2.5	8.0	5.5	9.9	0.8	10.6
	無回答	18	22.2	5.6	33.3	-	72.2	-	5.6	11.1	11.1	-	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

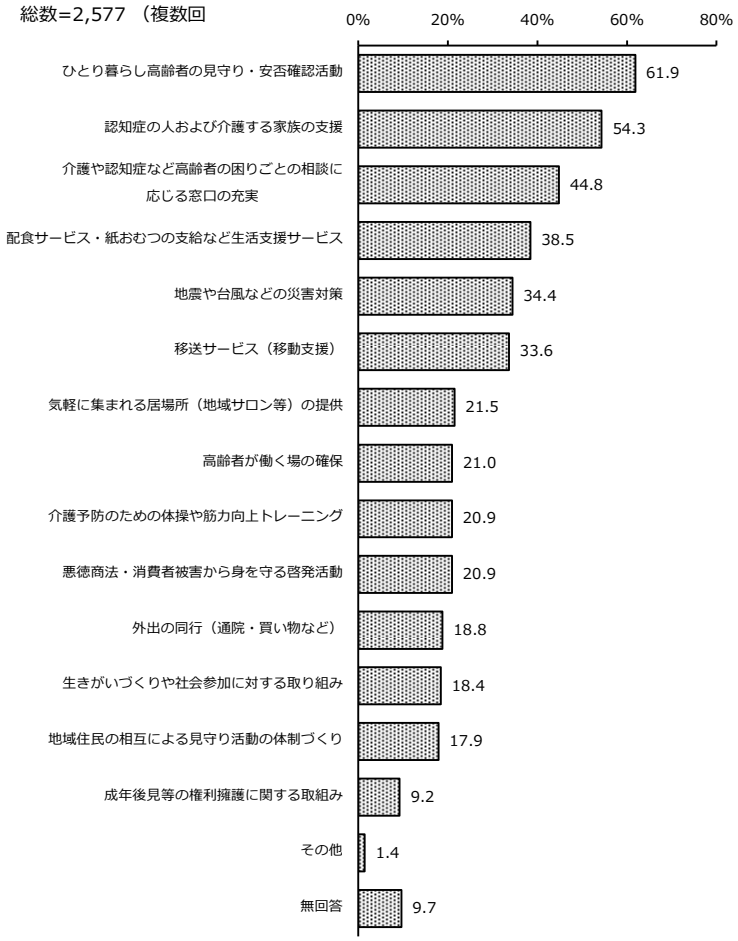
	全体	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動（話し相手やレクリエーション補助など）	行方不明になった認知症高齢者を探す協力	認知症家族会に対する協力	特にない	その他	無回答
全体	2,577	637	607	691	31	1,701	60	190	139	256	26	286
	100.0	24.7	23.6	26.8	1.2	66.0	2.3	7.4	5.4	9.9	1.0	11.1
青梅	236	66	57	79	3	159	7	21	17	19	4	20
	100.0	28.0	24.2	33.5	1.3	67.4	3.0	8.9	7.2	8.1	1.7	8.5
東青梅	320	80	71	63	4	207	8	25	14	32	4	39
	100.0	25.0	22.2	19.7	1.3	64.7	2.5	7.8	4.4	10.0	1.3	12.2
長淵	408	108	95	126	6	270	10	27	15	42	7	41
	100.0	26.5	23.3	30.9	1.5	66.2	2.5	6.6	3.7	10.3	1.7	10.0
河辺	312	91	73	70	7	199	6	14	19	28	2	41
	100.0	29.2	23.4	22.4	2.2	63.8	1.9	4.5	6.1	9.0	0.6	13.1
梅郷	227	46	54	64	4	142	4	14	11	28	-	27
	100.0	20.3	23.8	28.2	1.8	62.6	1.8	6.2	4.8	12.3	-	11.9
沢井	88	12	26	30	1	52	1	11	8	9	1	13
	100.0	13.6	29.5	34.1	1.1	59.1	1.1	12.5	9.1	10.2	1.1	14.8
大門	344	75	75	77	3	230	10	33	17	33	4	44
	100.0	21.8	21.8	22.4	0.9	66.9	2.9	9.6	4.9	9.6	1.2	12.8
新町	300	76	65	72	-	206	6	19	16	37	3	27
	100.0	25.3	21.7	24.0	-	68.7	2.0	6.3	5.3	12.3	1.0	9.0
今井	197	58	46	60	1	141	6	13	13	16	-	17
	100.0	29.4	23.4	30.5	0.5	71.6	3.0	6.6	6.6	8.1	-	8.6
小曾木	84	15	25	29	1	56	1	8	5	8	-	10
	100.0	17.9	29.8	34.5	1.2	66.7	1.2	9.5	6.0	9.5	-	11.9
成木	43	6	19	15	1	26	1	4	2	2	1	5
	100.0	14.0	44.2	34.9	2.3	60.5	2.3	9.3	4.7	4.7	2.3	11.6
無回答	18	4	1	6	-	13	-	1	2	2	-	2
	100.0	22.2	5.6	33.3	-	72.2	-	5.6	11.1	11.1	-	11.1

18 市が充実させるべき取り組み

（1）充実させるべき高齢者施策

市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか(あてはまるものすべてに○)

「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が 61.9%で最も多く、「認知症の人および介護する家族の支援」（54.3%）、「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」（44.8%）、「配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス」（38.5%）が続きます。



年齢構成では、「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」「認知症の人および介護する家族の支援」「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」「配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス」など多くの項目で、年齢が高くなるほど比率が下がる傾向にあります。

		全体	ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動	認知症の人および介護する家族の支援	生きがいづくりや社会参加に対する取り組み	介護予防のための体操や筋力向上トレーニング	介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実	配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス	高齢者が働く場の確保	成年後見等の権利擁護に関する取組み	悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動	地域住民の相互による見守り活動の体制づくり	外出の同行（通院・買い物など）	移送サービス（移動支援）	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）の提供	地震や台風などの災害対策	その他	無回答
	全体	2,577	61.9	54.3	18.4	20.9	44.8	38.5	21.0	9.2	20.9	17.9	18.8	33.6	21.5	34.4	1.4	9.7
年齢	65歳～69歳	553	68.4	63.5	24.4	26.6	47.2	43.4	34.2	13.2	22.8	21.0	23.0	40.7	22.8	38.5	1.8	5.4
	70歳～74歳	791	63.5	58.0	19.0	21.0	43.5	38.3	23.1	9.7	21.0	16.9	17.4	35.0	23.1	32.9	1.6	8.1
	75歳～79歳	600	60.5	49.5	13.5	19.7	47.2	39.8	16.2	7.7	18.8	17.5	17.0	30.7	21.5	32.8	1.2	9.8
	80歳～84歳	388	57.7	48.7	18.0	16.0	43.0	34.3	11.6	6.4	21.9	17.3	17.3	27.3	19.1	36.1	1.3	13.4
	85歳～89歳	169	47.9	40.8	17.8	19.5	39.6	32.5	8.9	5.3	18.3	14.2	23.1	30.8	17.8	30.2	1.2	18.9
	90歳～94歳	53	56.6	39.6	13.2	17.0	35.8	24.5	15.1	9.4	26.4	17.0	15.1	26.4	9.4	37.7	-	18.9
	95歳～99歳	5	40.0	60.0	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0
	100歳以上	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	*	*	*
	無回答	18	77.8	61.1	11.1	11.1	66.7	38.9	16.7	16.7	22.2	33.3	11.1	44.4	38.9	27.8	-	5.6

これを地区別でみると、「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。「認知症の人および介護する家族の支援」では「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」では「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動	認知症の人および介護する家族の支援	生きがいづくりや社会参加に対する取り組み	介護予防のための体操や筋力向上トレーニング	介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実	配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス	高齢者が働く場の確保	成年後見等の権利擁護に関する取組み	悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動	地域住民の相互による見守り活動の体制づくり	外出の同行（通院・買い物など）	移送サービス（移動支援）	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）の提供	地震や台風などの災害対策	その他	無回答
	全体	2,577	61.9	54.3	18.4	20.9	44.8	38.5	21.0	9.2	20.9	17.9	18.8	33.6	21.5	34.4	1.4	9.7
居住地区	第１地区	556	59.4	54.1	21.6	22.5	46.9	37.8	20.3	10.4	21.6	18.0	18.2	34.5	25.2	33.3	1.6	9.5
	第２地区	1,035	62.5	56.0	18.1	20.3	45.6	41.1	21.7	8.8	22.2	20.2	20.6	34.3	21.7	36.1	1.4	9.4
	第３地区	968	62.3	52.5	17.1	20.9	42.4	36.1	20.6	8.9	19.1	15.1	17.5	32.2	18.8	33.4	1.3	10.1
	無回答	18	77.8	61.1	11.1	11.1	66.7	38.9	16.7	16.7	22.2	33.3	11.1	44.4	38.9	27.8	-	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

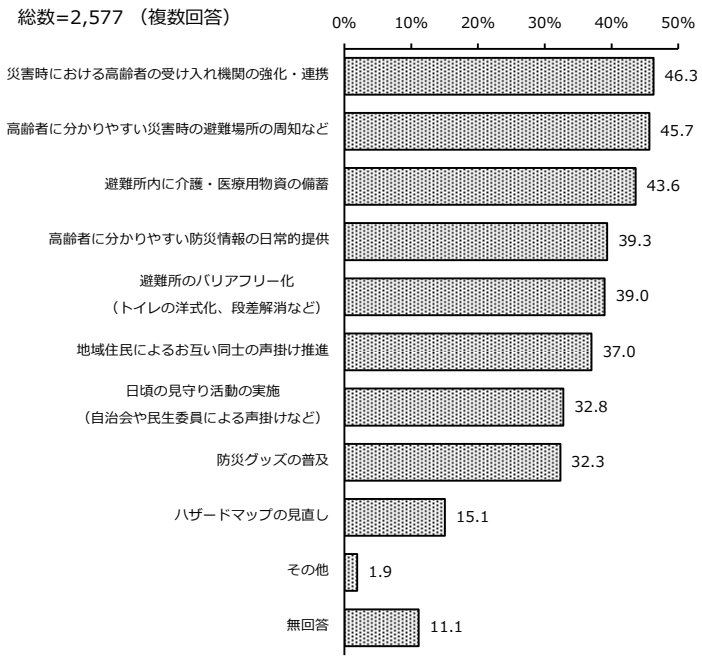
	全体	ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動	認知症の人および介護する家族の支援	生きがいづくりや社会参加に対する取り組み	介護予防のための体操や筋力向上トレーニング	介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実	配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス	高齢者が働く場の確保	成年後見等の権利擁護に関する取組み	悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動	地域住民の相互による見守り活動の体制づくり	外出の同行（通院・買い物など）	移送サービス（移動支援）	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）の提供	地震や台風などの災害対策	その他	無回答
全体	2,577	1,594	1,400	475	539	1,155	991	540	238	539	461	485	867	554	887	37	249
	100.0	61.9	54.3	18.4	20.9	44.8	38.5	21.0	9.2	20.9	17.9	18.8	33.6	21.5	34.4	1.4	9.7
青梅	236	149	136	54	63	114	100	49	25	57	51	51	93	65	83	2	18
	100.0	63.1	57.6	22.9	26.7	48.3	42.4	20.8	10.6	24.2	21.6	21.6	39.4	27.5	35.2	0.8	7.6
東青梅	320	181	165	66	62	147	110	64	33	63	49	50	99	75	102	7	35
	100.0	56.6	51.6	20.6	19.4	45.9	34.4	20.0	10.3	19.7	15.3	15.6	30.9	23.4	31.9	2.2	10.9
長淵	408	260	223	70	93	189	166	96	37	93	79	88	140	100	150	10	37
	100.0	63.7	54.7	17.2	22.8	46.3	40.7	23.5	9.1	22.8	19.4	21.6	34.3	24.5	36.8	2.5	9.1
河辺	312	202	170	70	60	144	128	73	26	65	59	64	104	64	112	-	24
	100.0	64.7	54.5	22.4	19.2	46.2	41.0	23.4	8.3	20.8	18.9	20.5	33.3	20.5	35.9	-	7.7
梅郷	227	128	141	31	39	93	98	39	18	49	41	41	81	43	73	2	25
	100.0	56.4	62.1	13.7	17.2	41.0	43.2	17.2	7.9	21.6	18.1	18.1	35.7	18.9	32.2	0.9	11.0
沢井	88	57	46	16	18	46	33	17	10	23	30	20	30	18	39	3	11
	100.0	64.8	52.3	18.2	20.5	52.3	37.5	19.3	11.4	26.1	34.1	22.7	34.1	20.5	44.3	3.4	12.5
大門	344	207	161	60	72	141	124	71	27	70	51	60	107	73	120	4	39
	100.0	60.2	46.8	17.4	20.9	41.0	36.0	20.6	7.8	20.3	14.8	17.4	31.1	21.2	34.9	1.2	11.3
新町	300	190	166	44	61	137	107	73	28	63	44	60	107	58	87	7	27
	100.0	63.3	55.3	14.7	20.3	45.7	35.7	24.3	9.3	21.0	14.7	20.0	35.7	19.3	29.0	2.3	9.0
今井	197	124	113	38	47	74	79	36	17	33	24	28	55	33	74	1	15
	100.0	62.9	57.4	19.3	23.9	37.6	40.1	18.3	8.6	16.8	12.2	14.2	27.9	16.8	37.6	0.5	7.6
小曾木	84	53	43	18	16	37	22	14	10	12	22	14	23	10	26	-	12
	100.0	63.1	51.2	21.4	19.0	44.0	26.2	16.7	11.9	14.3	26.2	16.7	27.4	11.9	31.0	-	14.3
成木	43	29	25	6	6	21	17	5	4	7	5	7	20	8	16	1	5
	100.0	67.4	58.1	14.0	14.0	48.8	39.5	11.6	9.3	16.3	11.6	16.3	46.5	18.6	37.2	2.3	11.6
無回答	18	14	11	2	2	12	7	3	3	4	6	2	8	7	5	-	1
	100.0	77.8	61.1	11.1	11.1	66.7	38.9	16.7	16.7	22.2	33.3	11.1	44.4	38.9	27.8	-	5.6

（2）行うべき災害対策

市が行うべき災害対策は次のうちどれですか（あてはまるものすべてに○）

「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」が 46.3%で最も多く、「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」（45.7%）、「避難所内に介護・医療用物資の備蓄」（43.6%）、「高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供」（39.3%）が続きます。

前期調査と比較すると、「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」が２位から１位に上がり、「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」と逆転しています。



年齢構成では、「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」などで、年齢が上がるにしたがい比率が下がる傾向にあります。

		全体	地域住民によるお互い同士の声掛け推進	日頃の見守り活動の実施（自治会や民生委員による声掛けなど）	避難所のバリアフリー化（トイレの洋式化、段差解消など）	高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供	避難所内に介護・医療用物資の備蓄	高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など	防災グッズの普及	災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携	ハザードマップの見直し	その他	無回答
	全体	2,577	37.0	32.8	39.0	39.3	43.6	45.7	32.3	46.3	15.1	1.9	11.1
年齢	65歳～69歳	553	34.9	29.1	41.6	39.6	54.1	44.8	41.0	50.6	19.0	2.0	5.6
	70歳～74歳	791	34.9	29.3	38.2	39.6	43.4	44.4	33.9	47.3	16.4	2.7	8.8
	75歳～79歳	600	39.3	34.3	39.7	41.0	39.7	46.7	30.3	44.0	13.7	1.5	12.0
	80歳～84歳	388	39.4	38.9	38.9	38.1	40.7	49.7	27.3	45.6	11.6	1.5	16.5
	85歳～89歳	169	39.6	40.2	34.3	34.9	34.3	42.6	18.9	40.8	7.7	1.2	20.7
	90歳～94歳	53	41.5	35.8	32.1	37.7	37.7	41.5	20.8	32.1	17.0	－	20.8
	95歳～99歳	5	－	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	－	40.0
	100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	18	33.3	38.9	33.3	44.4	33.3	50.0	33.3	61.1	16.7	－	11.1

これを地区別でみると、「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。「避難所内に介護・医療用物資の備蓄」では「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。

		全体	地域住民によるお互い同士の声掛け推進	日頃の見守り活動の実施（自治会や民生委員による声掛けなど）	避難所のバリアフリー化（トイレの洋式化、段差解消など）	高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供	避難所内に介護・医療用物資の備蓄	高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など	防災グッズの普及	災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携	ハザードマップの見直し	その他	無回答
全体		2,577	37.0	32.8	39.0	39.3	43.6	45.7	32.3	46.3	15.1	1.9	11.1
居住地区	第１地区	556	36.3	33.6	39.2	39.2	43.2	47.7	31.5	47.7	14.0	2.5	10.8
	第２地区	1,035	39.6	35.5	39.1	40.3	44.7	46.1	33.1	46.3	17.0	1.6	11.6
	第３地区	968	34.6	29.3	38.7	38.3	42.9	44.0	31.9	45.2	13.5	1.9	10.8
	無回答	18	33.3	38.9	33.3	44.4	33.3	50.0	33.3	61.1	16.7	-	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	地域住民によるお互い同士の声掛け推進	日頃の見守り活動の実施（自治会や民生委員による声掛けなど）	避難所のバリアフリー化（トイレの洋式化、段差解消など）	高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供	避難所内に介護・医療用物資の備蓄	高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など	防災グッズの普及	災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携	ハザードマップの見直し	その他	無回答
全体	2,577	953	845	1,004	1,014	1,124	1,177	833	1,193	388	49	287
	100.0	37.0	32.8	39.0	39.3	43.6	45.7	32.3	46.3	15.1	1.9	11.1
青梅	236	97	92	85	101	99	126	83	105	36	7	21
	100.0	41.1	39.0	36.0	42.8	41.9	53.4	35.2	44.5	15.3	3.0	8.9
東青梅	320	105	95	133	117	141	139	92	160	42	7	39
	100.0	32.8	29.7	41.6	36.6	44.1	43.4	28.8	50.0	13.1	2.2	12.2
長淵	408	158	162	160	163	181	214	139	194	68	8	42
	100.0	38.7	39.7	39.2	40.0	44.4	52.5	34.1	47.5	16.7	2.0	10.3
河辺	312	109	92	122	132	142	132	103	132	50	3	38
	100.0	34.9	29.5	39.1	42.3	45.5	42.3	33.0	42.3	16.0	1.0	12.2
梅郷	227	95	75	87	87	99	92	72	107	39	4	30
	100.0	41.9	33.0	38.3	38.3	43.6	40.5	31.7	47.1	17.2	1.8	13.2
沢井	88	48	38	36	35	41	39	29	46	19	2	10
	100.0	54.5	43.2	40.9	39.8	46.6	44.3	33.0	52.3	21.6	2.3	11.4
大門	344	121	97	141	130	142	154	111	156	47	10	38
	100.0	35.2	28.2	41.0	37.8	41.3	44.8	32.3	45.3	13.7	2.9	11.0
新町	300	91	83	125	114	140	140	106	137	44	5	33
	100.0	30.3	27.7	41.7	38.0	46.7	46.7	35.3	45.7	14.7	1.7	11.0
今井	197	70	54	79	76	88	83	58	99	27	1	16
	100.0	35.5	27.4	40.1	38.6	44.7	42.1	29.4	50.3	13.7	0.5	8.1
小曾木	84	33	27	22	39	32	35	24	29	11	1	14
	100.0	39.3	32.1	26.2	46.4	38.1	41.7	28.6	34.5	13.1	1.2	16.7
成木	43	20	23	8	12	13	14	10	17	2	1	4
	100.0	46.5	53.5	18.6	27.9	30.2	32.6	23.3	39.5	4.7	2.3	9.3
無回答	18	6	7	6	8	6	9	6	11	3	-	2
	100.0	33.3	38.9	33.3	44.4	33.3	50.0	33.3	61.1	16.7	-	11.1

19 フレイル

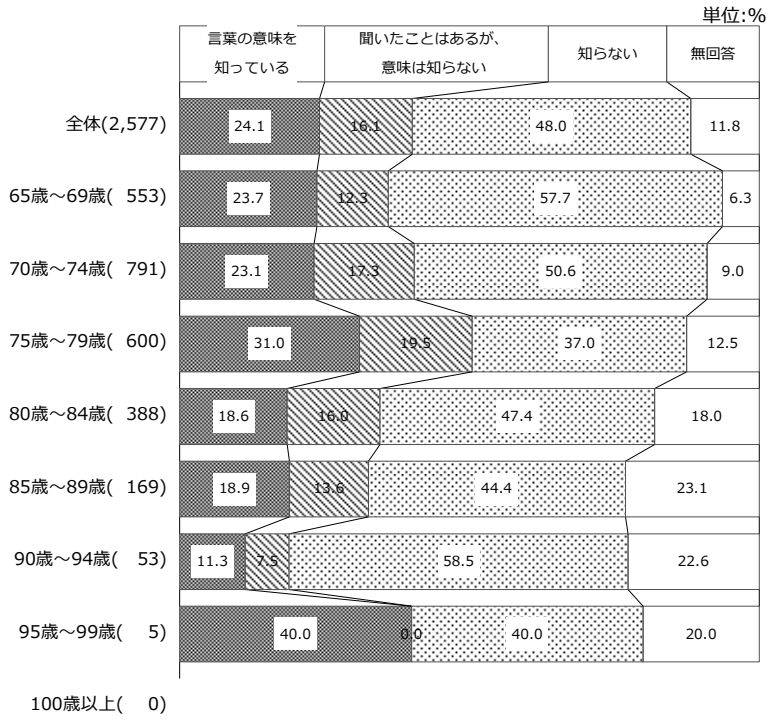
（1）認知度

「フレイル」という言葉を知っていますか

「知らない」が 48.0%で最も多く、「言葉の意味を知っている」（24.1%）、「聞いたことはあるが、意味は知らない」（16.1%）が続きます。

前期調査と比較すると、「知らない」の比率がかなり下がっています。

年齢階層別にみると、「75 歳～79 歳」で「言葉の意味を知っている」の比率が高くなっています。



これを地区別でみると、「知らない」では、「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。「言葉の意味を知っている」「第２地区」の比率が最も高く、「第１地区」が続いています。「聞いたことはあるが、意味は知らない」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	言葉の意味を知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	知らない	無回答
全体		2,577	24.1	16.1	48.0	11.8
居住地区	第１地区	556	28.8	14.6	44.8	11.9
	第２地区	1,035	23.8	15.9	48.3	12.0
	第３地区	968	21.3	17.0	50.0	11.7
	無回答	18	50.0	16.7	27.8	5.6

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	言葉の意味を知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	知らない	無回答
全体	2,577	621	414	1,238	304
	100.0	24.1	16.1	48.0	11.8
青梅	236	69	42	105	20
	100.0	29.2	17.8	44.5	8.5
東青梅	320	91	39	144	46
	100.0	28.4	12.2	45.0	14.4
長淵	408	108	56	194	50
	100.0	26.5	13.7	47.5	12.3
河辺	312	73	53	148	38
	100.0	23.4	17.0	47.4	12.2
梅郷	227	43	44	118	22
	100.0	18.9	19.4	52.0	9.7
沢井	88	22	12	40	14
	100.0	25.0	13.6	45.5	15.9
大門	344	71	60	168	45
	100.0	20.6	17.4	48.8	13.1
新町	300	80	46	149	25
	100.0	26.7	15.3	49.7	8.3
今井	197	33	35	104	25
	100.0	16.8	17.8	52.8	12.7
小曾木	84	15	18	42	9
	100.0	17.9	21.4	50.0	10.7
成木	43	7	6	21	9
	100.0	16.3	14.0	48.8	20.9
無回答	18	9	3	5	1
	100.0	50.0	16.7	27.8	5.6

（2）取り組んでいること

あなたは、フレイルや介護状態にならないために自身で取り組んでいることはありますか
（あてはまるものすべてに○）

「健康診断の受診」が 66.5%で最も多く、「ウォーキング」（45.1%）、「趣味」（39.8%）、「歯科検診の受診」（39.0%）が続きます。

前期調査と比較すると、「ウォーキング」の順位が３位から２位に上がっています。

なお、これを年齢階層別にみると、「健康診断の受診」「歯科検診の受診」「ウォーキング」「ジム通い」（スポーツジム）」「脳トレ」「仕事」「趣味」「社会貢献・ボランティア」「」人付き合い」では年齢階層が上がるにつれて比率が下がっていく傾向にあり、「認知症検査の受診」「栄養改善（低栄養予防）」では年齢階層が上がるにつれて比率が下がっていく傾向にあります。

	全体	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善（低栄養予防）	ウォーキング	ジム通い（スポーツジム）	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	その他	特になし	無回答
全体	2,577	66.5	39.0	8.7	25.2	17.1	45.1	5.0	22.4	21.3	39.8	7.1	32.4	1.7	5.7	8.8
65歳～69歳	553	67.6	39.8	5.2	21.2	14.6	46.7	7.6	21.0	36.3	43.0	8.7	31.1	2.0	7.8	3.4
70歳～74歳	791	68.8	42.7	6.1	26.3	16.2	49.8	6.1	20.6	27.3	42.2	8.3	31.7	1.4	5.4	6.8
75歳～79歳	600	68.2	39.2	9.3	27.2	19.7	48.0	4.3	23.7	13.8	41.7	6.7	34.8	1.7	4.5	9.5
80歳～84歳	388	62.4	36.1	16.5	29.1	16.8	40.2	1.8	26.5	8.0	36.6	5.4	33.2	1.3	6.2	12.9
85歳～89歳	169	57.4	29.0	11.2	20.7	18.3	27.2	1.8	20.7	7.1	26.6	4.1	31.4	3.6	3.6	21.3
90歳～94歳	53	60.4	26.4	9.4	17.0	26.4	20.8	－	20.8	7.5	18.9	1.9	28.3	1.9	5.7	15.1
95歳～99歳	5	40.0	－	－	20.0	－	20.0	－	20.0	－	20.0	－	20.0	－	20.0	20.0
100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	18	72.2	50.0	11.1	22.2	16.7	38.9	11.1	27.8	11.1	27.8	5.6	33.3	－	5.6	11.1

これを地区別でみると、「健康診断の受診」では「第２地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。「「ウォーキング」では「第１地区」の比率が最も高く、「第３地区」が続いています。「趣味」では「第１地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善（低栄養予防）	ウォーキング	ジム通い（スポーツジム）	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	その他	特になし	無回答
全体		2,577	66.5	39.0	8.7	25.2	17.1	45.1	5.0	22.4	21.3	39.8	7.1	32.4	1.7	5.7	8.8
居住地区	第１地区	556	64.9	42.3	9.2	28.2	18.5	48.2	5.8	23.4	22.1	46.4	7.7	34.9	2.7	6.1	8.5
	第２地区	1,035	67.5	38.5	8.0	23.6	16.9	42.9	4.9	21.3	22.4	38.2	8.0	32.9	1.4	5.7	9.1
	第３地区	968	66.1	37.5	9.0	25.3	16.4	45.7	4.4	22.8	19.8	37.9	5.9	30.6	1.4	5.6	8.7
	無回答	18	72.2	50.0	11.1	22.2	16.7	38.9	11.1	27.8	11.1	27.8	5.6	33.3	-	5.6	11.1

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善（低栄養予防）	ウォーキング	ジム通い（スポーツジム）	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	その他	特になし	無回答
全体	2,577	1,713	1,005	223	650	440	1,161	128	576	549	1,025	184	836	44	148	22
	100.0	66.5	39.0	8.7	25.2	17.1	45.1	5.0	22.4	21.3	39.8	7.1	32.4	1.7	5.7	8.
青梅	236	169	110	27	65	60	124	14	68	56	113	25	86	7	12	1
	100.0	71.6	46.6	11.4	27.5	25.4	52.5	5.9	28.8	23.7	47.9	10.6	36.4	3.0	5.1	6.
東青梅	320	192	125	24	92	43	144	18	62	67	145	18	108	8	22	3
	100.0	60.0	39.1	7.5	28.8	13.4	45.0	5.6	19.4	20.9	45.3	5.6	33.8	2.5	6.9	10.
長淵	408	285	157	35	106	72	187	25	88	93	159	33	137	4	23	3
	100.0	69.9	38.5	8.6	26.0	17.6	45.8	6.1	21.6	22.8	39.0	8.1	33.6	1.0	5.6	8.
河辺	312	189	116	24	77	59	130	15	67	67	120	22	95	7	20	2
	100.0	60.6	37.2	7.7	24.7	18.9	41.7	4.8	21.5	21.5	38.5	7.1	30.4	2.2	6.4	7.
梅郷	227	160	93	17	36	30	90	9	45	50	82	21	76	1	15	2
	100.0	70.5	41.0	7.5	15.9	13.2	39.6	4.0	19.8	22.0	36.1	9.3	33.5	0.4	6.6	11.
沢井	88	65	32	7	25	14	37	2	20	22	34	7	32	3	1	1
	100.0	73.9	36.4	8.0	28.4	15.9	42.0	2.3	22.7	25.0	38.6	8.0	36.4	3.4	1.1	13.
大門	344	220	122	27	86	55	159	12	67	65	129	19	114	7	23	2
	100.0	64.0	35.5	7.8	25.0	16.0	46.2	3.5	19.5	18.9	37.5	5.5	33.1	2.0	6.7	8.
新町	300	209	127	32	85	52	152	22	77	61	111	20	77	5	11	2
	100.0	69.7	42.3	10.7	28.3	17.3	50.7	7.3	25.7	20.3	37.0	6.7	25.7	1.7	3.7	7.
今井	197	133	72	22	52	37	87	8	51	40	86	11	64	1	12	1
	100.0	67.5	36.5	11.2	26.4	18.8	44.2	4.1	25.9	20.3	43.7	5.6	32.5	0.5	6.1	7.
小曾木	84	50	30	3	16	12	26	-	20	17	31	4	29	-	5	1
	100.0	59.5	35.7	3.6	19.0	14.3	31.0	-	23.8	20.2	36.9	4.8	34.5	-	6.0	15.
成木	43	28	12	3	6	3	18	1	6	9	10	3	12	1	3	
	100.0	65.1	27.9	7.0	14.0	7.0	41.9	2.3	14.0	20.9	23.3	7.0	27.9	2.3	7.0	9.
無回答	18	13	9	2	4	3	7	2	5	2	5	1	6	-	1	
	100.0	72.2	50.0	11.1	22.2	16.7	38.9	11.1	27.8	11.1	27.8	5.6	33.3	-	5.6	11.

（3）もっと取り組みたいこと

今後、もっと取り組みたいことはありますか（あてはまるものすべてに○）

「健康診断の受診」が 35.5%で最も多く、「ウォーキング」（33.0%）、「趣味」（28.0%）、「歯科検診の受診」（22.4%）が続きます。

なお、これを年齢階層別にみると、「ウォーキング」「趣味」「社会貢献・ボランティア」では年齢階層が上がるにつれて比率が下がっていく傾向にあります。

	全体	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善（低栄養予防）	ウォーキング	ジム通い（スポーツジム）	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	その他	特になし	無回答
全体	2,577	35.5	22.4	19.1	17.9	12.8	33.0	4.7	19.0	11.5	28.0	6.4	21.4	1.0	16.4	13.0
65歳～69歳	553	33.6	22.8	18.1	18.4	11.4	33.3	6.5	19.5	20.3	34.0	8.9	21.0	1.4	18.4	5.8
70歳～74歳	791	34.9	24.0	19.8	19.0	12.1	37.7	5.6	18.7	13.8	29.6	7.7	22.4	0.6	14.3	10.7
75歳～79歳	600	36.2	21.5	19.0	16.3	12.8	31.7	4.0	19.8	7.7	25.8	5.5	20.3	1.3	17.0	14.0
80歳～84歳	388	40.2	21.9	22.2	20.4	16.5	32.5	3.4	20.4	5.4	25.8	3.4	24.5	0.8	15.7	18.0
85歳～89歳	169	33.1	21.3	15.4	13.6	13.0	23.7	0.6	13.6	3.0	18.9	3.6	16.6	－	17.8	26.6
90歳～94歳	53	37.7	20.8	11.3	11.3	15.1	15.1	－	15.1	5.7	20.8	1.9	18.9	1.9	20.8	24.5
95歳～99歳	5	20.0	－	－	－	－	20.0	－	－	－	20.0	－	20.0	－	20.0	40.0
100歳以上	－	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	18	11.1	5.6	22.2	22.2	5.6	16.7	16.7	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	－	16.7	22.2

これを地区別でみると、「健康診断の受診」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。「ウォーキング」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。「趣味」では「第３地区」の比率が最も高く、「第２地区」が続いています。

		全体	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善（低栄養予防）	ウォーキング	ジム通い（スポーツジム）	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	その他	特になし	無回答
全体		2,577	35.5	22.4	19.1	17.9	12.8	33.0	4.7	19.0	11.5	28.0	6.4	21.4	1.0	16.4	13.0
居住地区	第１地区	556	34.4	25.5	18.3	18.5	16.0	30.4	4.0	19.1	11.3	28.2	7.4	23.0	1.8	17.3	12.2
	第２地区	1,035	35.0	22.0	18.7	17.9	11.8	34.3	4.9	18.7	11.1	28.4	6.2	20.8	1.1	16.3	12.9
	第３地区	968	37.1	21.4	19.9	17.6	12.3	33.4	4.6	19.1	12.2	27.9	6.0	21.3	0.4	16.0	13.3
	無回答	18	11.1	5.6	22.2	22.2	5.6	16.7	16.7	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	-	16.7	22.2

また、11 支会別でみると、以下の結果になりました。

	全体	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善（低栄養予防）	ウォーキング	ジム通い（スポーツジム）	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	その他	特になし	無回答
全体	2,577	914	578	493	462	331	850	121	489	297	722	165	551	25	423	335
	100.0	35.5	22.4	19.1	17.9	12.8	33.0	4.7	19.0	11.5	28.0	6.4	21.4	1.0	16.4	13.0
青梅	236	81	74	50	50	50	77	12	52	22	70	18	56	5	41	25
	100.0	34.3	31.4	21.2	21.2	21.2	32.6	5.1	22.0	9.3	29.7	7.6	23.7	2.1	17.4	10.6
東青梅	320	110	68	52	53	39	92	10	54	41	87	23	72	5	55	43
	100.0	34.4	21.3	16.3	16.6	12.2	28.8	3.1	16.9	12.8	27.2	7.2	22.5	1.6	17.2	13.4
長淵	408	139	87	81	74	50	133	24	75	41	102	22	87	3	71	47
	100.0	34.1	21.3	19.9	18.1	12.3	32.6	5.9	18.4	10.0	25.0	5.4	21.3	0.7	17.4	11.5
河辺	312	111	67	54	56	37	108	13	52	33	97	23	57	5	54	40
	100.0	35.6	21.5	17.3	17.9	11.9	34.6	4.2	16.7	10.6	31.1	7.4	18.3	1.6	17.3	12.8
梅郷	227	79	54	41	37	23	87	10	49	27	69	12	46	2	37	31
	100.0	34.8	23.8	18.1	16.3	10.1	38.3	4.4	21.6	11.9	30.4	5.3	20.3	0.9	16.3	13.7
沢井	88	33	20	18	18	12	27	4	18	14	26	7	25	1	7	16
	100.0	37.5	22.7	20.5	20.5	13.6	30.7	4.5	20.5	15.9	29.5	8.0	28.4	1.1	8.0	18.2
大門	344	143	79	71	65	34	122	16	65	43	103	20	74	1	51	43
	100.0	41.6	23.0	20.6	18.9	9.9	35.5	4.7	18.9	12.5	29.9	5.8	21.5	0.3	14.8	12.5
新町	300	93	58	51	48	36	98	18	50	38	80	22	52	1	53	46
	100.0	31.0	19.3	17.0	16.0	12.0	32.7	6.0	16.7	12.7	26.7	7.3	17.3	0.3	17.7	15.3
今井	197	75	44	47	41	33	68	8	44	25	59	6	45	-	29	21
	100.0	38.1	22.3	23.9	20.8	16.8	34.5	4.1	22.3	12.7	29.9	3.0	22.8	-	14.7	10.7
小曾木	84	30	14	13	11	12	23	3	17	9	17	8	23	-	12	14
	100.0	35.7	16.7	15.5	13.1	14.3	27.4	3.6	20.2	10.7	20.2	9.5	27.4	-	14.3	16.7
成木	43	18	12	11	5	4	12	-	9	3	11	2	12	2	10	5
	100.0	41.9	27.9	25.6	11.6	9.3	27.9	-	20.9	7.0	25.6	4.7	27.9	4.7	23.3	11.6
無回答	18	2	1	4	4	1	3	3	4	1	1	2	2	-	3	4
	100.0	11.1	5.6	22.2	22.2	5.6	16.7	16.7	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	-	16.7	22.2

20 自由記入

今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等があれば、ご自由にご記入ください。

355 票に記入がありました。

内訳は、① 健康・保健・医療・介護予防に関するもの 32 票、② 健康・保健・医療・介護予防に関するもの 98 票、③ 居場所づくり地域活動・社会参加・生きがいに関するもの 53 票、④ 介護保険に関するもの(高齢者施設一般含む)36 票、⑤ 相談体制に関するもの９票、⑥ 情報提供体制に関するもの 16 票、⑦ 政策一般に関するもの 24 票、⑧ その他 87 票でした。

以下例示します。

健康・保健・医療・介護予防
市で年１回行われる（無料）健康診断、身長、腹囲はやめてもいいと思います（腰が曲がっているのに無意味）。必要な人だけに行い、それよりレントゲン検診等を入れてもらいたい。
健康診断の内容が少ないように思われる。レントゲン、視力、聴力、これを健診項目に入れてほしい。
後期高齢者医療保険、高すぎます。80 才で主人の２か月に１回入る年金に比べると高い。
医者と市が連携して即、必要なサポートをして貰えるような仕組みを考えて欲しいです。
傷病で入院した時とその後寝たきりにならないための取り組みを充実させてほしい。従事者の心構え、取り組み方の向上も大切だと思います。
かかりつけの医療機関の認知症に対する理解や知識不足を感じたことが多くあります。たとえ後期高齢者であっても安易に診断して処方せずに経験や知識が乏しいのなら専門医を紹介するなどの体制を整えてもらいたいと思います。
・認知症の初期に気付けば改善でき、自立生活もできるとのことを聞き、早期に発見して治療。手当ができる施策が欲しい。そうすれば、ひいては青梅市の老人医療費も減らせるでしょう。私たちも好んでお世話になるわけではありません。早急にお願いします。・まだまだ能力ある老人の人材活用をお願いします。ボランティアで社会貢献ができるなら生きがいになるし、人との触れ合いもあるし青梅市の役に立つでしょう。私たちは青梅市のお役にも立ちたいと願っているのです。社会的重荷ではなく、老人のエネルギーで社会を明るくしたいのです。
高齢者の増加に伴い介護予防と高齢者が地域で生活できる支援施策を積極的に推進していただきたい。
介護予防の筋力向上トレーニング用として、わかくさ公園に設置されている健康遊具（肩伸ばし・前屈等５種類あるもの）を公園に設置してほしい。特に高齢者の利用が多い公園（鳥居戸公園等）にあると良い。
散歩、ウーキングを体力づくりのために心がけています。腰痛があるため少し休みたいと感じることが多くなりました。公園の中道の橋（川沿い等）に、一人かけの椅子をおいていただけたらと思います。ベンチだと、コロナ集め密になりますが、一人かけだと少し休んで一息つて、、、で利用しやすいと思います。青梅で生まれ青梅で過ごす。70 数年、青梅は本当に住み良い処だと常に感じます。
暮らし・安全・生活支援（介護家族支援）
高齢者は生活資金が大変なので自分も働いていますが、収入も少なく年金を加えても生活が苦しいので生活保護のための金額を支給してもらいたいです。
生活保護１カ月分くらいの仕事が欲しいです。
家族が入院や入所で年金では足りない支出が続いています。まだ先が長いのでお金の不安が一番あります。補助金などが出ればいいのですが、課税世帯には何もありません。この先が不安です。
青梅市高齢者家計応援券の毎年発行をお願いしたいです。
年金が減少しつつある今、先日支給されたい買い物券は本当に助かりました。今後もこのような支援があれば良いと思います。水がきれい、空気も綺麗な青梅市。高齢者がすみやすいところであってほしいと思います。

お年寄りが、体が不自由でも少し歩いて休める場所が欲しい。今はバス停にしかベンチがない。公園まで行かないとベンチや水飲み場、汚いトイレしかない。そうゆうところにこそ自治会等の見守りやボランティアが欲しい。自治会で集まったゴミ回収等のお金を新年会等の飲み会に使うのではなく（だから入る人がいない自治会）有効にみんなのために使って欲しい。
近隣高齢者の方たちからよく聞く話です。「スーパーなどなくなり買い物ができず歩ける範囲で出かけるが途中一休みする場所がない。公園のベンチは汚れていてガタついていて座れない」市内「休息場所」や「公衆トイレ整備」などもう一歩きめ細かく心配りがあったら有り難いと思います。
○外出するのに（散歩、買い物、近隣との付き合い）生活道路が穴だらけでは不安を除けない。○道路（幹線道路）が狭く（ないところや段差が大きい）自転車移動に困難が多い。裏道は坂が多く難しい。○市内の移動でバス路バス線が弱く休日等の移動はバス待ち一時間とか、日中は二時間町では限られた範囲の移動に限られる。自立して移動できる範囲が広ければ精神的にも楽しめる。○道路のちょっとした場所にお休み処があればとても良い。裏道など危険もあるが防犯にも役立つ面もある。○遊歩道指定の裏道があっても良い。ところどころにコーヒーが飲めるショップなどがあれば人と語り合える空間になる。○道路は高齢者施設であると考えると考える。単に通るところだけではない。そんな機能を考えることが必要。このアンケートがどう実体化するのか、期待するところです。
健康診断の結果、血圧が高く心電図に異常あり、脂質に異常がありますとのこと。ウォーキングを時々しているのですが少し疲れた時にベンチがあると助かるのですが。
分かりやすい道路標示や情報の発信をお願いします。（文字の大きさ、矢印の表示の明確さ）
高齢者に対し、安否の確認などきめ細かな施策をお願いします。
いつも近所の方々に大変お世話になっています。一人暮らしなので心配事などあった時に助けて下さる方が少人おりますので今の所幸せに暮らしております。今後ともよろしくお願いします。
現在 86 才ですが、34 歳の時に事故で背髄損傷、自己管理で通している。排尿、自己導尿（カテーテル）、排便３日おきに下剤服用。今後不安。見守り、支援体制があればありがたいです。現在は倅夫婦に、、、。
民生委員はどのような仕事をしているのですか。敬老大会の送迎だけですか。民生委員は日ごろの見守り活動を実施していますか。（声かけ）
一人暮らしで持ち家に住み、自治会にも参加しています。今はまだ元気で不要ですが、民生委員が決まっていても回ってきたことがありません。仕事の怠慢と思っています（名前だけ）。地域の見守り役として、自分がやっても…と感じています。
一人暮らしのため、室内の電気が切れると取り替えが大変になってきました。取り返してくれるととても助かります。
８０才以上の一人暮らし、所得制限なしで指定収集袋、市議会にかけてもらいたい。沢井にはコンビニもなく JA、郵便局もないので金銭の出し入れに行くのに大変です。移動支援をお願いしたい。
歩行困難になったり、一人暮らしに将来なった場合、移動スーパーが自宅近くまで来てくれたらとてもありがたいです。安否確認にも繋がると思います。
車の免許返納後の交通手段が現在の都バス運行状況では買い物にも行けません。コミュニティバスの運航を望みます。
バスの時間を増やしてほしい。青梅に住むようになって３年経ちますが、とにかく不自由です。小回りのバスがあればいいですね。夜の道が暗い。細い道路は特に暗いです。電気で明るくなるといいです。他から来た者にはとても住みにくいです。
地域の交通手段が悪い。坂が多い。バス停が遠く、バス便が少ない。小型のバスまたは乗り合いタクシーのようなシステムを作り住宅傍まで来て欲しい。免許証を返納すると移動手段がなく通院、買い物ができなくなる。
青梅市は交通に関して偏りがあると思います。場所によっては交通手段がなく独居になった場合はコミュニティバスがあれば一人での外出も苦にならずにすみます。ぜひともマイクロバスが市民の足になれるよう一考ください。
高齢者の入浴施設について。地域の人と積極的に交流したい。そのためにもっと日帰り温泉券（助成券）を増やしていただきたい。月１枚から２枚へ。
高齢者向け食堂の充実
高齢者を介護する人や家族の負担を減らす支援を充実していればなと思います。

高齢者が病気になったり骨折したりし、介助が必要となると家庭内の事情によっては何かと介助等が困難になってくることが考えられます。このような場合、家族の状態等により気軽に適切な指導や支援がいただけることが望まれる。ただし、経費負担との関係があると思うが。家族に財産や収入があってもその家庭内が混乱し家庭崩壊することのないよう指導と対応の助言を是非ともお願いしたい。これからは益々長寿社会となり高齢者に関する問題が多々出てくると思います。大変でしょうが行政のプロであります皆様のご支援とご協力をお願いします。
家の（賃貸アパート）立ち退きを言われ部屋探しをしているけど苦労してます。年金をそんなにもらってないので・・・。市の助けがあればよいと思います。
なるべく最後を自宅で迎えられるような仕組みを作って欲しいです。
現在、最期は自宅で迎えたい、健康寿命をできる限り伸ばしたい、程度しか考えていません。これをサポートする施策をお願いしたいのですがまだまだ先のことと考えています。
叔母が独居で認知症を発症しています。認知のためか金銭の管理ができません。独身のため子供も家族もいません。生活費はもちろん貯金も使い果たして税金も滞納してしまい、市の窓口に相談に親戚代表としていきましたが、これといった対応をしてもらえず困っています。社会福祉協議会にも相談し、日常的金銭管理サービスをお願いしましたが受けてもらえませんでした。なぜ困っている認知症の 80 歳の老人が放置されるのか？　叔母／青梅市千ケ瀬　橋下多摩子
居場所づくり地域活動・社会参加・生きがい等
令和３年１０月２３日に青梅市高齢者憲章が制定されました。高齢者同士の集まりだけでなく、老若男女が気軽に一堂に会するイベントが開催されるのを願います。青梅市図書館や河辺温泉梅の湯は行きやすい場所です。またシルバー人材センターに登録後も仕事にあぶれず働き続けられる職場の確保を要望いたします。国民年金だけの生活は不可能です。自営夫婦２人で苦労し、亡くなった父も晩年は苦労しておりました。子からの援助がなければ生活が立ち行かない状況でした。結局、父の死後は実家に戻らざるを得ませんでした（母がこの家から動かないといったためです）。高齢者が心安らかに、心豊かに安全な生活ができますよう祈り願っています。
高齢者が集い、楽しく過ごす施設が少なくなりました。憩いの場をもっと多くあれば良いと思います。
高齢者サロン等、イメージが高齢者のみ対象でネガティブな感じがする。若い人から高齢者までがともに集まるような場があったらいいと思う。
50 台、60 代の頃は、忙しい中にも地域の配食ボランティアや婦人会等で自治会館等に集まって昼食をとりながら話し合う交流がありました。高齢になった今、特に遠出もできない身体でほんの身近な場所で気軽に話し合い、情報交換等できたらいいな～と思います。年々、同時代の方々が少なくなってきました。
自分の住まいの身近な場所に、例えば自治会館等で月１回くらいで良いと思いますが、高齢者が集まりお互いに負担にならないほどに飲み物持参でおしゃべりをできると、楽しいひと時を過ごせるのではないでしょうか。
高齢者が自由に集まれるようなサロンの開設。各町に最低１ヶ所。特別なイベントがなくても気軽にお茶できるような。
市民センターや図書館などを減らすことは絶対にやめてください。地域での人が集まる場でもあり、人との交流の場で、より充実してほしいと思います。エレベーターをつけるなど、バリアフリー化など必要だと思います。
シルバーセンター（前老人センター）のような誰でも気軽に集まり、話し合ったりする施設がなくなってきている。シルバーセンターを閉館するにあたって何の説明もなく、また、社会教育会館もずーっとあのまま（取り壊すのでもなければどうなっているのか）。高齢者の方でも色々な趣味や芸を持っている方がいるので、高齢者の楽しみとして施設の再利用を考えていただきたい。趣味を生かすダンス、フラダンス、囲碁・将棋等、学校のは廃校後の利用などにいかがかと思う。
市民センターの会議室や体育館が有料になることで活動をやめた団体もあります。健康でいるためには軽い運動や人と会う機会が必要だと思います。そのためにも以前のようにセンターの会議室、体育館を無料にして欲しい。
文化・芸術的な活動と発表ができるホール・施設を充実させたい。高齢者と子供、若者が一緒に活動できる公園施設を作りたい。生涯学習センターとして全国の見本となる新しい切り口を持った施設を作りたい。文化的活動として広範囲な文化祭を実現する。

誰もが参加できる楽しい場を作って欲しい。・梅林でのスケッチ教室・青梅の歴史探訪ウォーキング・バードウォッチング入門・囲碁入門コース・梅酒や青梅でつくられる日本酒を楽しむ会・スマホやアプリのなんでも相談ができる機会を作って欲しい（もしすでにあれば教えてください）
作業をして役に立ちたい。デイサービスの施設の掃除など利用しながら手伝いたい。受け身だけでいいのかなと思った。
最近高齢者クラブ（老人会）が」自治会単位で閉会している現状を耳にしますが会長の担い手がないのが理由と聞きます。組織として老人会が成り立って行かないと一人世帯、老年世帯の人が家に引きこもる状況になるのではと懸念します。
どこの場所で何を行なっているのかわかりませんので、これから地域や施設でボランティアができればと思っています。（介護福祉士、保育士、レクリエーション介護士の資格あり、７６歳）
介護に関してボランティアに頼る制度はほどほどにした方が良い。本来介護は行政が公費を持って手厚くするべきものである。何のための介護保険制度なのか。
高齢者や要支援者に対しては、自治会に大きく頼って行くと思うが、地域住民が全て係わって行く必要があると思います。そのためにも、地域ごとに高齢者や要支援者の係わりが必要である。自分たちもなって行く問題だと説明会を数多く行う必要がある。地域のために貢献し、自治会活動、ボランティアをしてくれた人と貢献すらせずに権利ばかりを主張していた人も同じ介護サービスを受けられるのは納得しません。ポイント制かなにか貢献度で介護サービスの優位性を図れると積極的に要支援者などに関心を持ちかかわって行く人も増して行くと思います。今は若い人もいずれは高齢者、要支援者になって行く、他人事ではない。自分の問題だと認識させよう。説明会を数多くやってください。
○自治会で声かけ活動等の回数を増やす。（声かけで訪問しても自分が申し込んだことを忘れている人が多い）○高齢者になれば自治会に入っている方が良いと思うが「高齢者で自治会活動に参加できないから、、、」と自治会をやめる人がいる。もっと高齢者に自治会の重要性を PR して欲しい。（新築家屋が多く建つが若人が自治会に入らない人が多い（メリットがないと）もっと自治会に入会してもらうような PR 等を自治会だけでなく市としても行って欲しい。このままだと自治会の高齢者だけになる。
体育館の使用をもっと簡単に使えるようにしてほしい。
身近なところに高齢者向きに収入が得られる仕事があればと思う。（年金だけでは安くて生活ができない）
老人向けの仕事を幅広く願う。身体を働かすこと。
70 歳以上の市民に対する働く場の提供をしては（公園、運動場で散歩だけでは勿体ない）
フレイルになる前の健康な高齢者への就労支援。スーパー等では 65 歳定年となり、パート、アルバイトでも 65 歳以上人は雇ってもらえない（64 歳にはできるが 65 歳ではできないことなどないのに）。65～70 前半の健康な高齢者は働きたい人が多いと思う。使用する企業に助成金を出す等優遇措置を取って雇用を促進するよう図ってほしい。健康な高齢者をその状態に留められるように工夫してほしい。市役所には 65 歳以上の人が働ける職種はありますか？よろしくお願いします。
誰でも気がるに使用できるプールが欲しいです。
温水プール、温泉入浴施設を作って欲しい
介護保険
○認定調査の手続きが分かりにくい○週３日透析へ行っているのでなかなか日にちが取れない。○同居している家族が食事、身の回りの世話を行っていて本人はまったくしておらず同居家族の仕事や学業もあり休日も休むことなく大変。○本人よりも同居家族の方が先のことが心配。
要介護の基準をなるべく広く認定して欲しい。本人が元気であることを強調して介護認定されないケースが多いと聞く。
脚が不自由なのに要支援２という言葉で車椅子が借りられない。残念です。その人に合う判断にしてください。
介護保険料が高い。高齢者の健康保険料も高く年金者にはつらい
できれば最後まで自宅において過ごしたいが、訪問看護・リハビリステーションを利用できるように。しかも多数ある中から自分にあった業者を選ぶことができるとありがたいです。ケアマネージャーもしかり。合わない人と長く付き合うのは困難だと思います。
特別養護老人ホーム入居基準の緩和、利用料金の引き下げ。
ひとりになり最晩年家を処分し低価格の老人ホームに入りたいと思う。市営の老人ホームが欲しい。

何処の施設も高額と聞きます。国民年金の収入だけで入れる施設はあるのだろうか。介護保険は使えるのだろうかと不安ばかりです。お金の心配のない施設を作って欲しい。
高齢になるにしたがって健康度合いの個人差は広がるので、70 才以上の高齢者にはより個人差に応じたケアプランメニューを充実させるべき。また、収入差も同様に大きくなるので収入に応じた支払い負担能力別に有料メニューもあって良いのではないでしょうか。
相談体制
困りごとが出てからでないとわからない。どこに相談したらいいかを教えてくれる窓口が一番に欲しい。
総合的な相談ができる場所の充実
役所に行った時話しことばをもう少しわかりやすく、ゆっくりと話してもらえると良いと思うときがありました。（私自身耳の聞こえが悪くて）
情報提供体制
各センターで介護保険等の内容説明等の勉強会を催してほしい。
現在は健康で生活していますが、今後認知症にならない生活習慣、トレーニング方法等まとめた冊子等配布してもらいたい。
ネット社会に対応できるように講習、資料の発行等を実施検討をお願いします。
一人暮らしの自分がある日突然介護が必要になるか、または自宅で一人で生活していて徐々に動けなくなるのかわかりません。どちらの時でも、自分が判断できなくなるのではないかと心配です。前もって、施設の種類、どうなれば入所できるのか、申し込みの方法を知りたい。青梅には有料老人ホームはないようですが、他地域にある有料老人ホームの内容紹介、評判等教えてくれるところや人員を整えて欲しい。
認知症の人の症状を良く知らないし、どのような手助けが必要なのか、判らないので、自分のできるボランティアも」判断できない。自分もそれなりの年齢に来ているので、たとえ、ボランティアといえどもそれなりの体力と気力が必要なので自信がない。自分もの認知症になるかと思うと何もわからないので勉強しなくてはと思います。そのためにはどうしたらよいのかわかりません。
今後市の方でやって欲しいこと。〇認知症に関することについて機会を設けて欲しい。公な資格を取得したいと考えているのでそのような勉強会（有料でも可）を実施して欲しいです。〇高齢者の仕事に関して。働ける場所、機会の範囲を広げて欲しい。最後にこの度は認知症の講習会を受けさせていただきありがとうございました。
政策一般
年々増加する高齢者に対しての援助に伴う経費の財源が心配です。
子供たちへの支援はとても充実しているが、年配者への支援はどんどん少なくなってきています。（生活金への補助、医療費）早く死ねと言ってるのと同じです。
もう少し高齢者が生活しやすい市にして欲しい。道路が暗い、線が薄い、歩道の街路樹の手入れがされていない。市役所職員の対応が「高齢者向き」丁寧さがないなど。そもそもアンケートご協力なのに葉書までよこすのもどうか。だったら最初から強制すればよい。
高齢者への思いやり及び尊厳を大切にする教育の充実
歩道において自転車走行者、特に小学生、中学生が暴走して何度も怖い思いをした。学校教育の一環に組み入れることを望みます。警察だけの取り組みは知っていますが、学生たちには高齢者の怖い思いは伝わっていません。※教育の一環とは「体育の時間」
その他
調査内容は充実して素晴らしいものだと思いますが、高齢者の方には設問がわかりにくい部分および回答箇所が多すぎます。内容を精査して方が良いと思います。
90 歳を超える高齢者には内容が多すぎて回答が大変でした。
記入するのにも座って時間をなかなか作れず遅くなってしまいました。少しの空き時間でも回答できるように、スマホでできたらよかったです。
個人情報の取扱いに十分注意してください
少し長いアンケートでした。もっと簡略にしていただきたい。数回にわたって記入しました。無記名なら楽々記入できそうです。
何故現在の職業欄がないのですか？質問内容では働いているのと無職とでは回答が異なるケースがあると思います。回答しずらかったです。

このアンケートがどのように生かされたのか知りたい
85 才になりますが何とか世話なしで過ごすことが現在はできております。しかし、年齢のことを考えますと今のままでいられるとは考えにくいのではと思うこともできてくると思いますので少しづつ考えて行こうと思います。お世話になることもあると思います。その節にはよろしくお願いします。子供がおりませんので後のことが気がかりです。
①パンフレットや広報でお年寄りを疎外することなくあたたかく接する意味の標語等作って欲しい。（コロナもありスーパーやお店でおろおろする老人を見る）目が冷たくなっている。優しい街を目指して欲しい。②目につくように貼るか店頭等に置いてもらうこともどうでしょうか。

Ⅲ 在宅介護実態調査

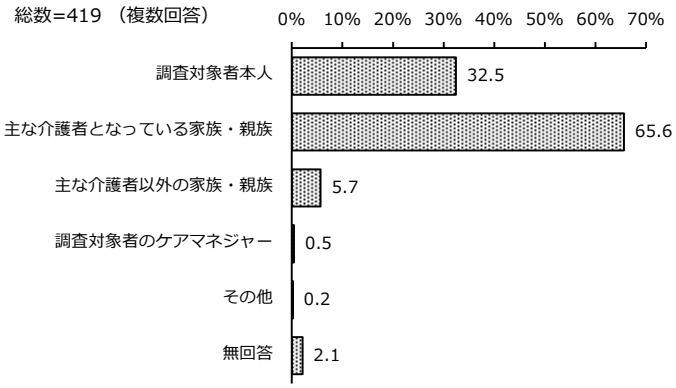
その１　集計結果

１ 前提

（1）記入者

回答をされる方は、どなたですか

「主な介護者となっている家族・親族」が65.6％で最も多く、「調査対象者本人」（32.5%）、「主な介護者以外の家族・親族」（5.7%）、「調査対象者のケアマネジャー」（0.5%）が続きます。

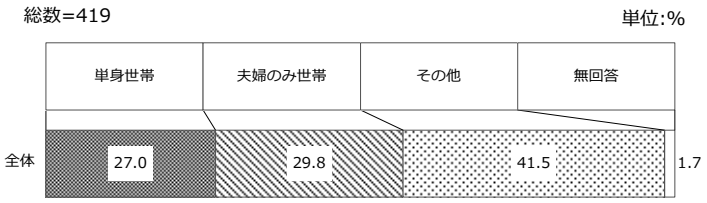


２ 本人・主な介護者の回答・記入項目

（1）世帯類型

世帯類型について、ご回答ください（１つを選択）

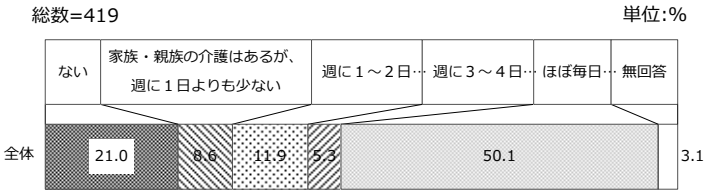
「夫婦のみ世帯」（29.8%）、「単身世帯」（27.0%）が続きます。



（2）介護の回数

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つを選択）

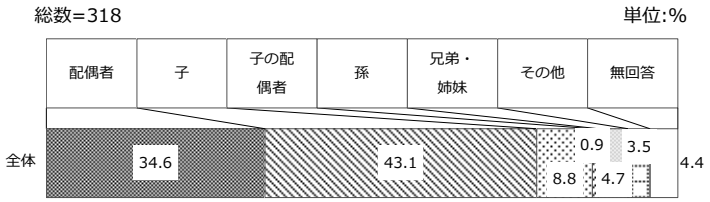
「ほぼ毎日ある」が50.1％で最も多く、「ない」（21.0%）、「週に１～２日ある」（11.9%）、「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」（8.6%）が続きます。



（3）主な介護者

主な介護者の方は、どなたですか（１つを選択）

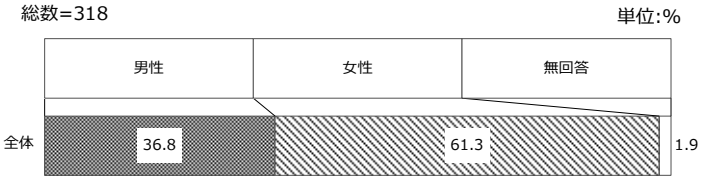
「子」が 43.1％で最も多く、「配偶者」（34.6%）、「子の配偶者」（8.8%）、「兄弟・姉妹」（4.7%）が続きます。



（4）主な介護者の性別

主な介護者の方の性別について、ご回答ください（１つを選択）

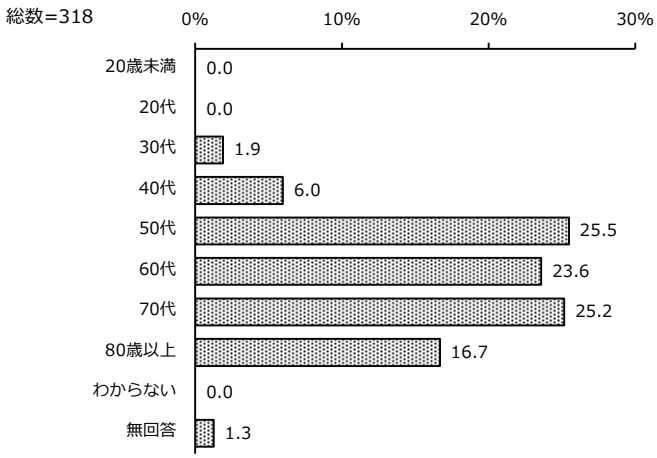
「女性」は 61.3%、「男性」は 36.8%となっています。



（5）主な介護者の年齢

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（１つを選択）

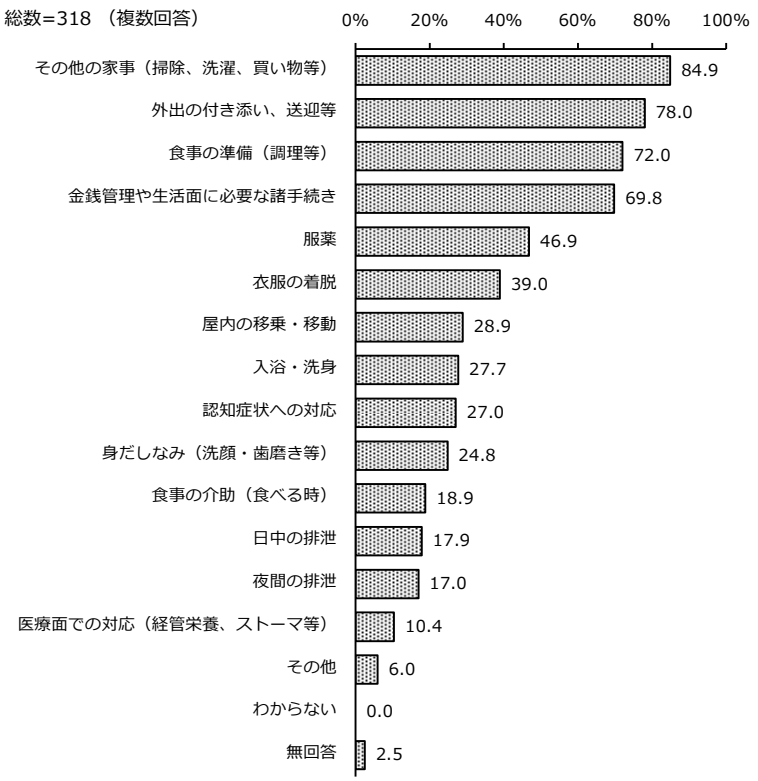
「50 代」が 25.5％で最も多く、「70 代」（25.2%）、「60 代」（23.6%）、「80 歳以上」（16.7%）が続きます。



（6）主な介護者が行っている介護等

現在、主な介護者の方が行っています介護等について、ご回答ください（複数選択可）

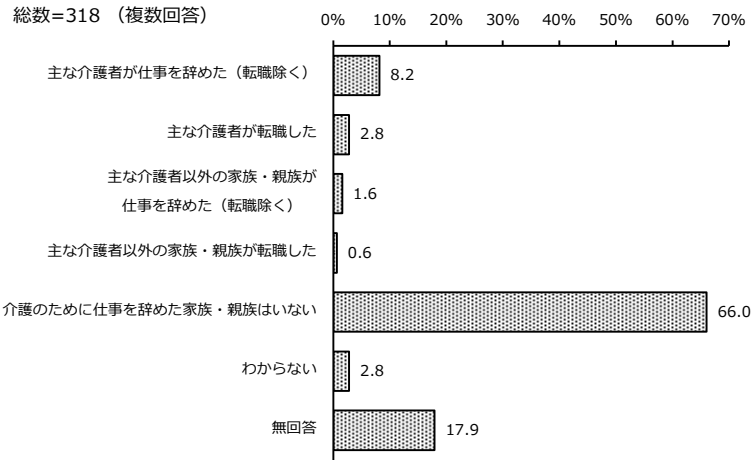
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 84.9％で最も多く、「外出の付き添い、送迎等」（78.0％）、「食事の準備（調理等）」（72.0％）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（69.8％）が続きます。



（7）介護を主な理由として仕事を辞めた方の有無

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

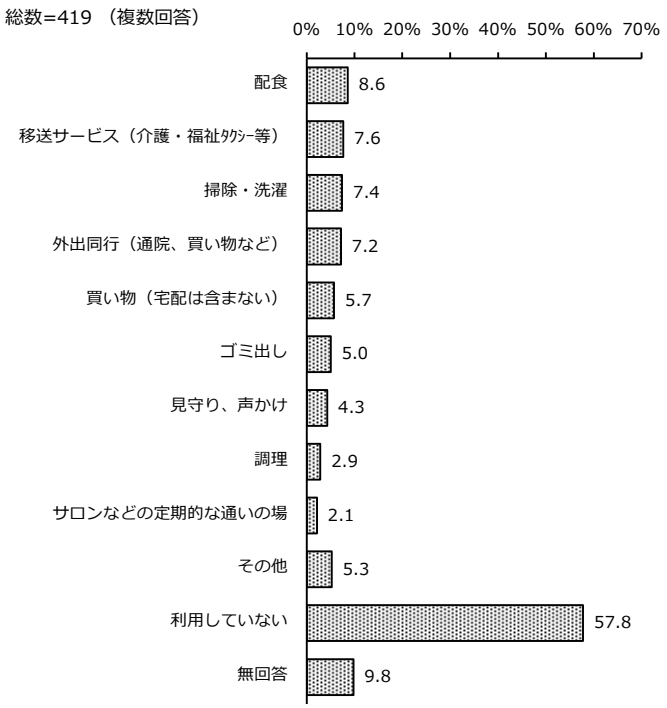
「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 8.2％で最も多く、「主な介護者が転職した」（2.8％）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.6％）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.6％）が続きます。



（8）利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

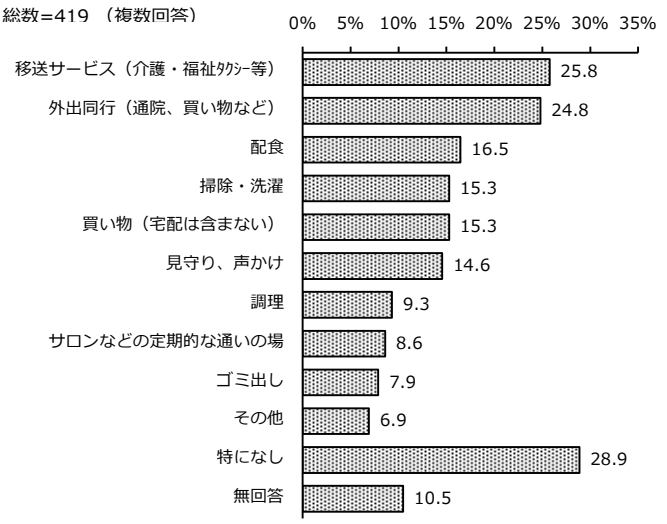
「配食」が 8.6%で最も多く、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」（7.6%）、「掃除・洗濯」（7.4%）、「外出同行（通院、買い物など）」（7.2%）が続きます。



（9）今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

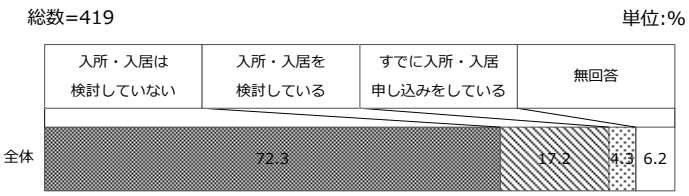
「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 25.8%で最も多く、「外出同行（通院、買い物など）」（24.8%）、「配食」（16.5%）、「掃除・洗濯」（15.3%）が続きます。



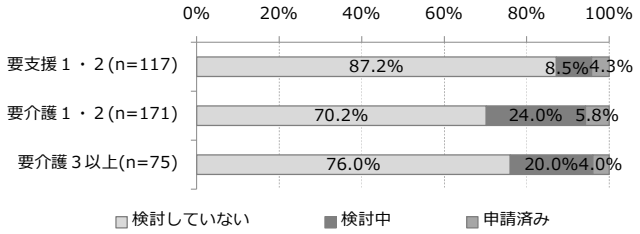
（10）施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（１つを選択）

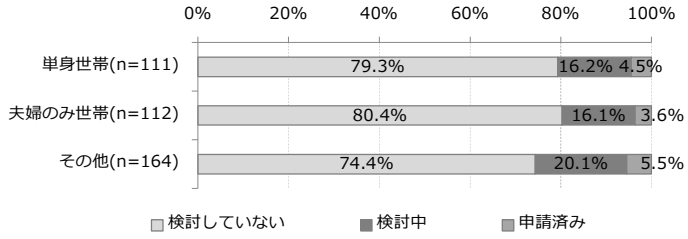
「入所・入居は検討していない」が72.3%で最も多く、「入所・入居を検討している」（17.2%）、「すでに入所・入居申し込みをしている」（4.3%）が続きます。



要支援・要介護度別にみると以下のようになりました。



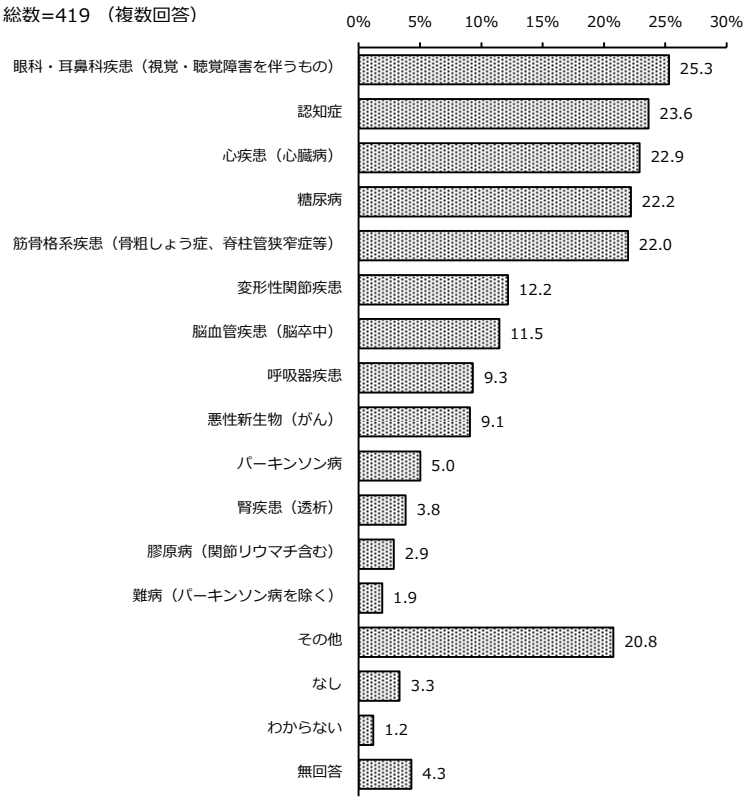
また、世帯類型別の結果は次の通りです。



（11）傷病

ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

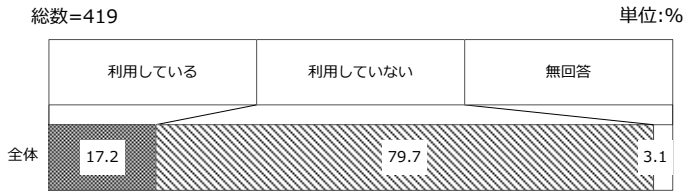
「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 25.3%で最も多く、「認知症」（23.6%）、「心疾患（心臓病）」（22.9%）、「糖尿病」（22.2%）が続きます。



（12）訪問診療利用の有無

ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（１つを選択）

「利用していない」は 79.7%、「利用している」は 17.2%となっています。



（13）介護保険サービス利用の有無

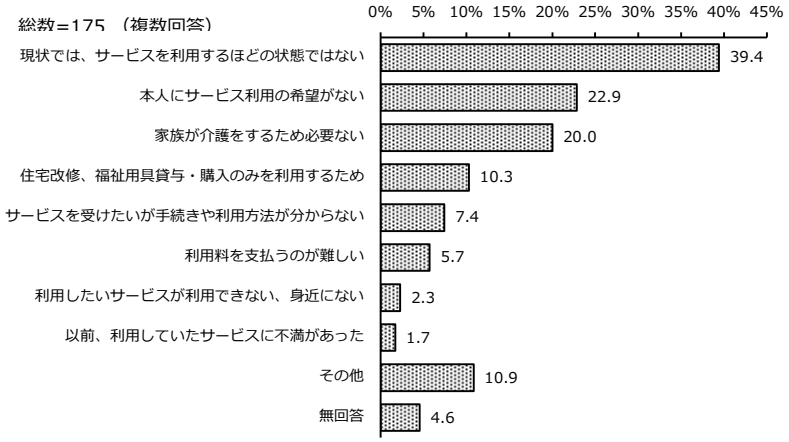
現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか
（１つを選択）

「利用している」は55.4%、「利用していない」は41.8%となっています。

（14）利用していない理由

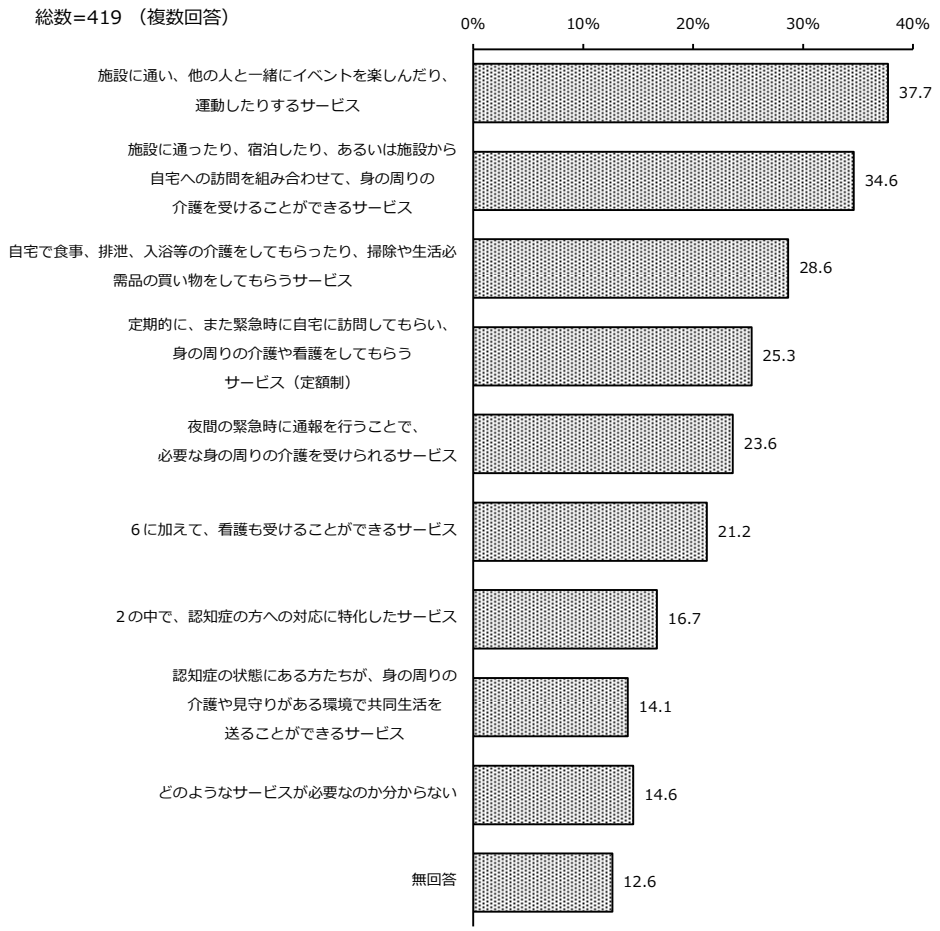
「利用していない」を回答した場合は、回答してください。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が39.4%で最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」（22.9%）、「家族が介護をするため必要ない」（20.0%）、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」（10.3%）が続きます。



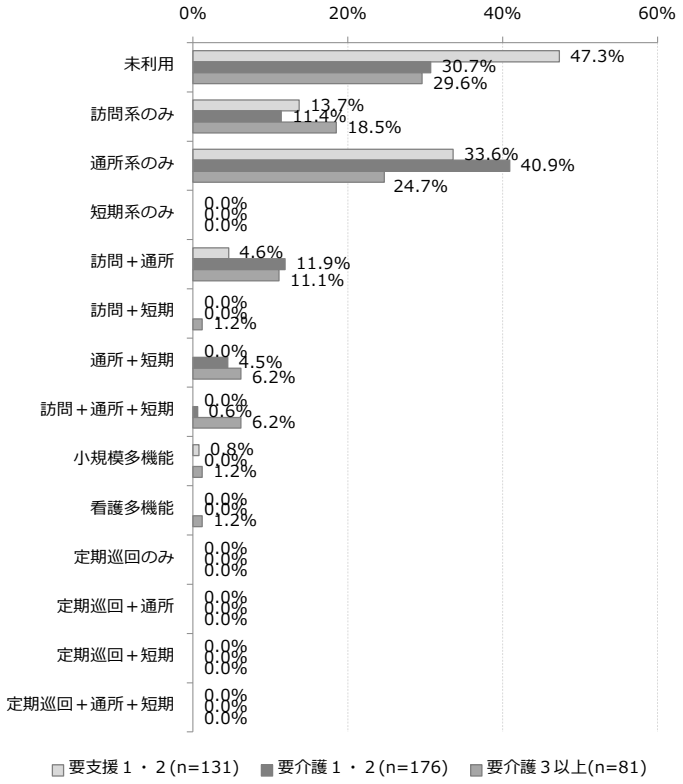
（15）介護サービスを利用しながら在宅生活を続けるために必要なサービス

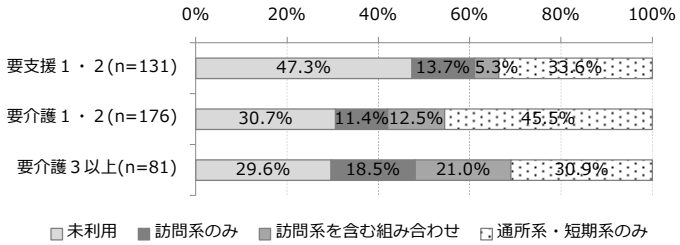
あなたは、介護を受けながら自宅で自分らしく暮らしていくためには、どのようなサービスが必要だと思いますか（複数選択可）



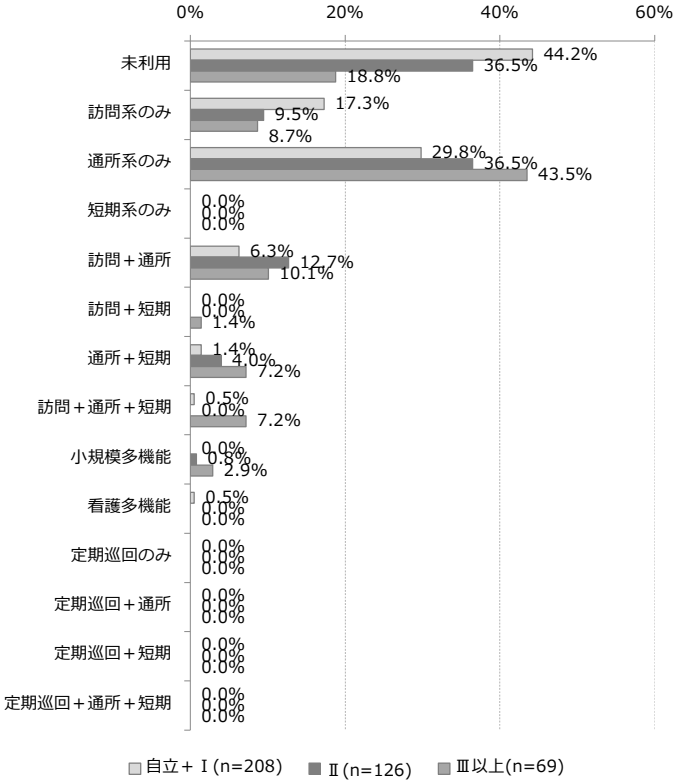
「施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス」が37.7％で最も多く、「施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス」（34.6％）、「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」（28.6％）、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」（25.3％）が続きます。

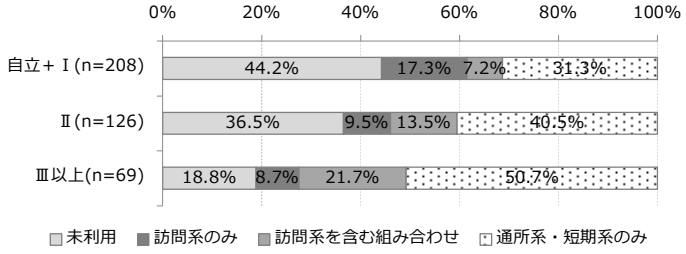
これを要支援・要介護度別にみると以下のようになりました。



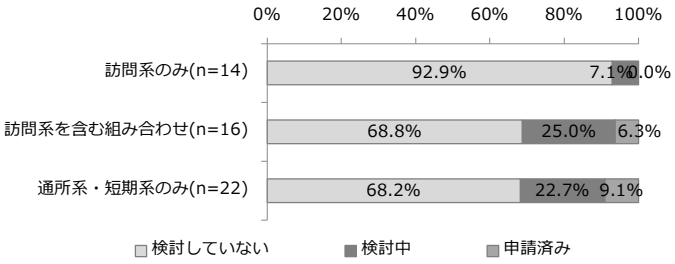


また、認知症高齢者高齢者自立度別にみてみました。





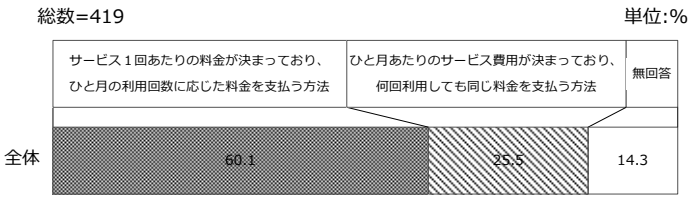
施設等への入所・入居の検討状況からみると、以下のようになっています。



（16）介護サービス料の支払方法

あなたは、介護サービスの料金を支払うとき、次のどの方法が望ましいと思いますか
（１つを選択

「サービス１回あたりの料金が決まっており、ひと月の利用回数に応じた料金を支払う方法」は 60.1%、「ひと月あたりのサービス費用が決まっており、何回利用しても同じ料金を支払う方法」は 25.5%となっています。

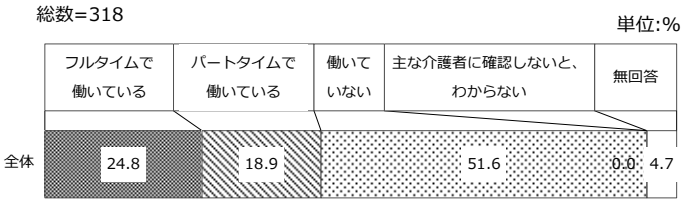


3 家族・親族からの介護がある場合の「主な介護者」による回答・記入項目

（1）主な介護者の現在の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（１つを選択）

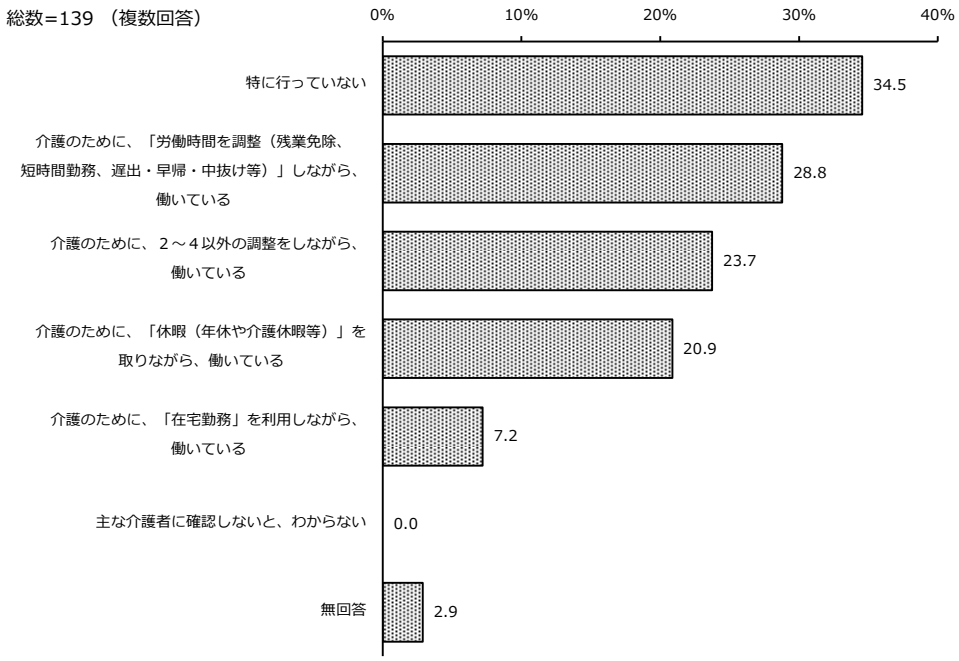
「働いていない」が 51.6%で最も多く、「フルタイムで働いている」（24.8%）、「パートタイムで働いている」（18.9%）が続きます。



（2）地域活動への参加意向

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

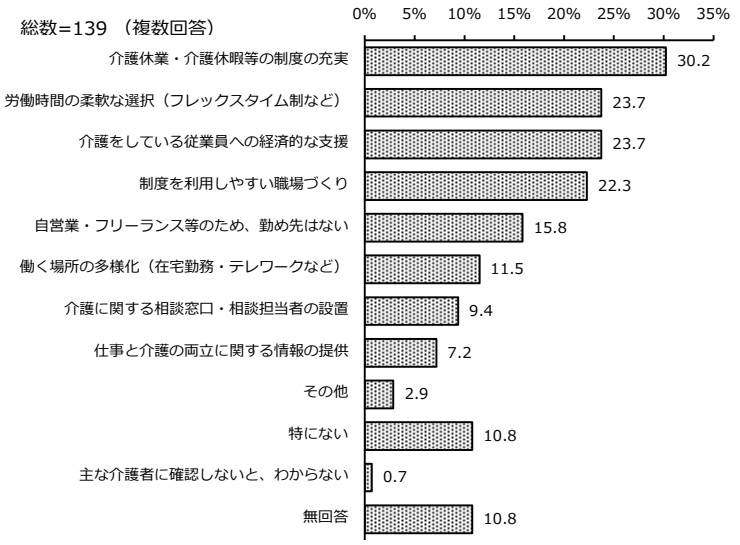
「特に行っていない」が 34.5%で最も多く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（28.8%）、「介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている」（23.7%）、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（20.9%）が続きます。



（3）仕事と介護の両立に必要な支援

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（３つまで選択可）

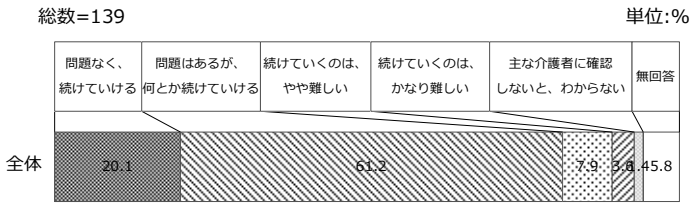
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 30.2%で最も多く、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」（23.7%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（22.3%）が続きます。



（4）働きながら介護を続けることができるか

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（１つを選択）

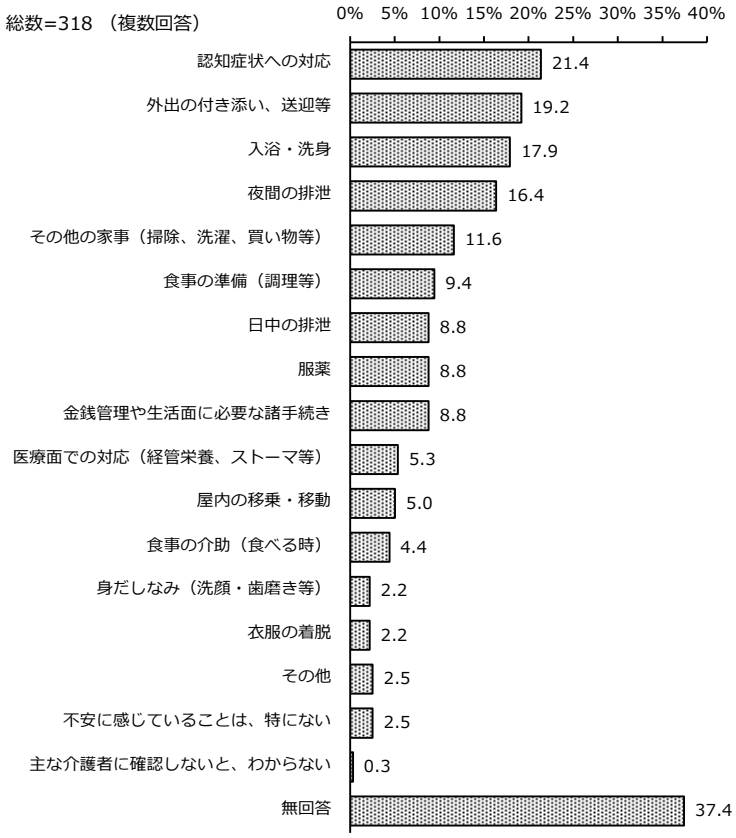
「問題はあるが、何とか続けていける」が 61.2%で最も多く、「問題なく、続けていける」（20.1%）、「続けていくのは、やや難しい」（7.9%）、「続けていくのは、かなり難しい」（3.6%）が続きます。



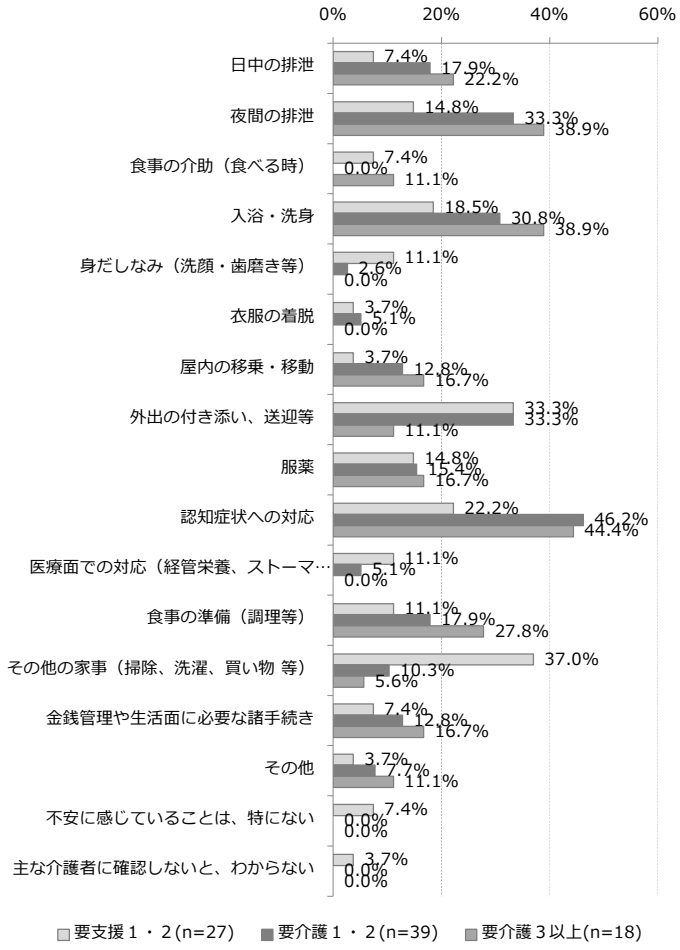
（5）不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（３つまで選択可）

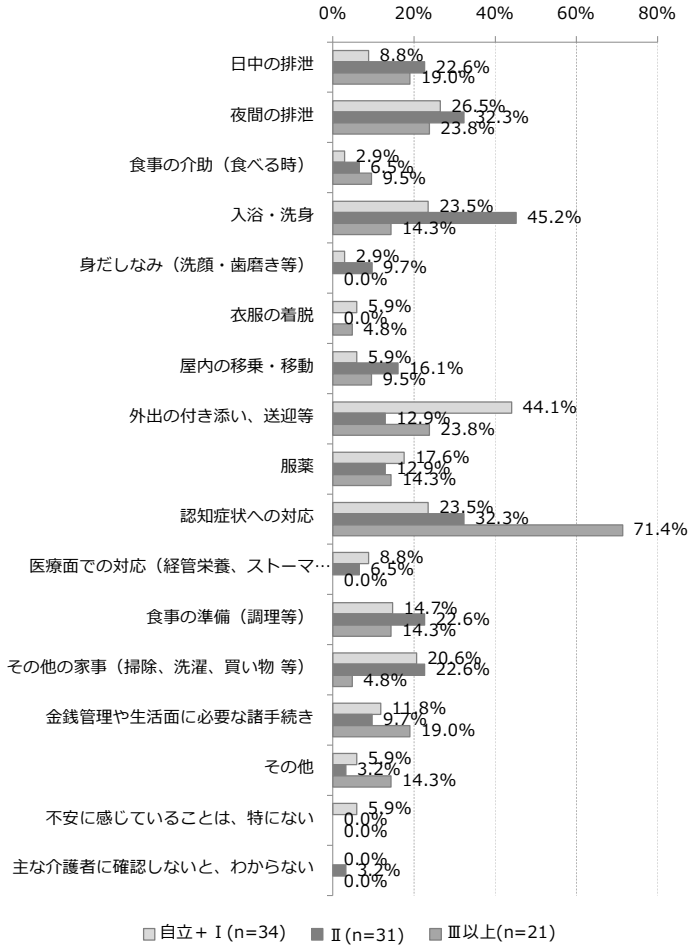
「認知症状への対応」が21.4%で最も多く、「外出の付き添い、送迎等」（19.2％）、「入浴・洗身」（17.9％）、「夜間の排泄」（16.4%）が続きます。



要支援・要介護度別にみると、以下のようになりました。



認知症高齢者自立度別では以下の通りです。



その２　支援・サービスの提供体制の検討

１　在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の２つの視点からの集計を行っています。

○　それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができると考えているのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。

○　なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の２つからなります。

○　また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護３以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

(1) 基礎集計

1.2　集計結果と着目すべきポイント

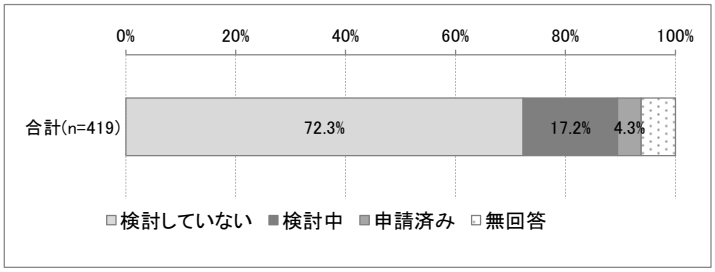
○　施設等の検討状況に係る、基礎的な集計を行っています（図表 1-1～図表 1-3）。

○　要介護度の重度化に伴う、施設等検討状況の変化や世帯類型ごとの施設等検討状況についてその状況を確認してください。

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 72.3%となっています。次いで、「検討中（17.2%）」、「申請済み（4.3%）」となっています。

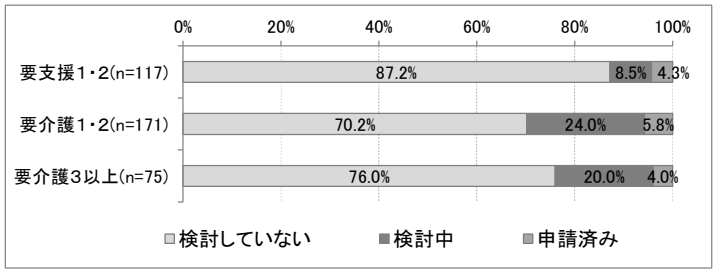
図表 1-1　施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 87.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 8.5%、「申請済み」が 4.3%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 70.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 24.0%、「申請済み」が 5.8%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 76.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.0%、「申請済み」が 4.0%となっています。

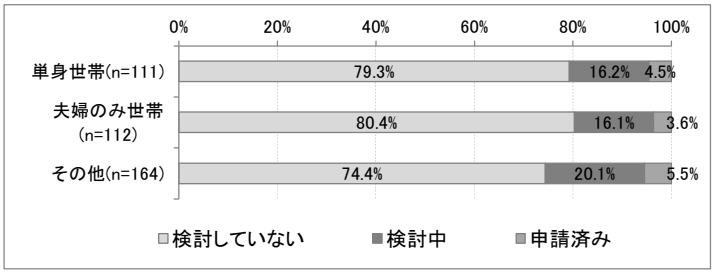
図表 1-2　要介護度別・施設等検討の状況<*>



【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 79.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.2%、「申請済み」が 4.5%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 80.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.1%、「申請済み」が 3.6%となっています。「その他」では「検討していない」が 74.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.1%、「申請済み」が 5.5%となっています。

図表 1-3　世帯類型別・施設等検討の状況



⑵ 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【着目すべきポイント】

○　要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化について、集計分析をしています（図表 1-4、図表 1-5）。

○　ここでの「主な介護者が不安に感じる介護」とは、「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等」のことです。なお、ここで選択される介護は、現状で行っている介護であるか否かは問われていません。

○　ここから、要介護度・認知症自立度別の、主な介護者が不安に感じる介護等を把握することができます。

○　また、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い主な介護者の不安が大きくなる介護等に着目することで、在宅限界点に大きな影響を与えると考えられる「主な介護者が不安に感じる介護」を推測することも可能になります。

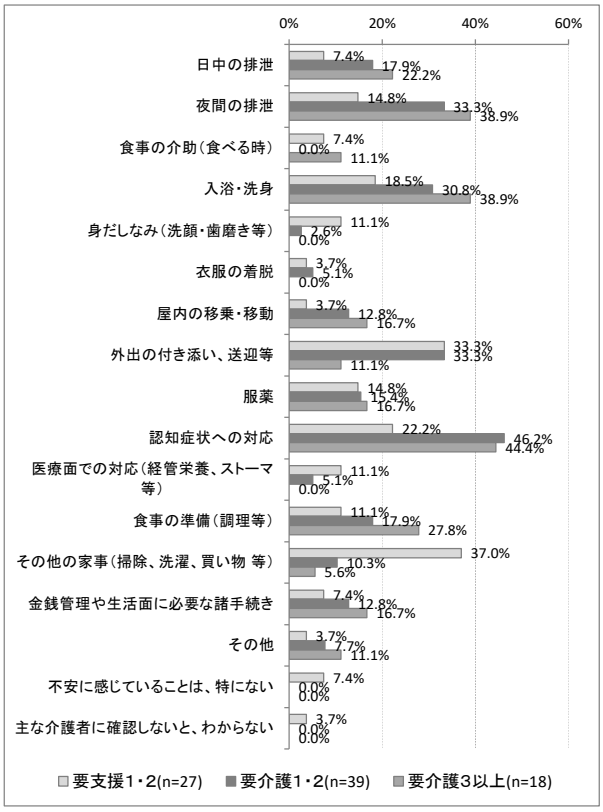
【留意事項】

○　なお、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」については、特に、実際に行われている割合が低い可能性が高いと考えられます。したがって、仮に選択した回答者が少ない場合でも、実際に医療ニーズのある要介護者を介護しているケースでは、主な介護者の不安は大きいことも考えられます。

○　そのような観点から、在宅限界点に与える影響が過小評価される項目もあると考えられることから、注意が必要です。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 37.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 33.3%、「認知症状への対応」が 22.2%となっています。「要介護１・２」では「認知症状への対応」が 46.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 33.3%、「入浴・洗身」が 30.8%となっています。「要介護３以上」では「認知症状への対応」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が 38.9%、「食事の準備（調理等）」が 27.8%となっています。

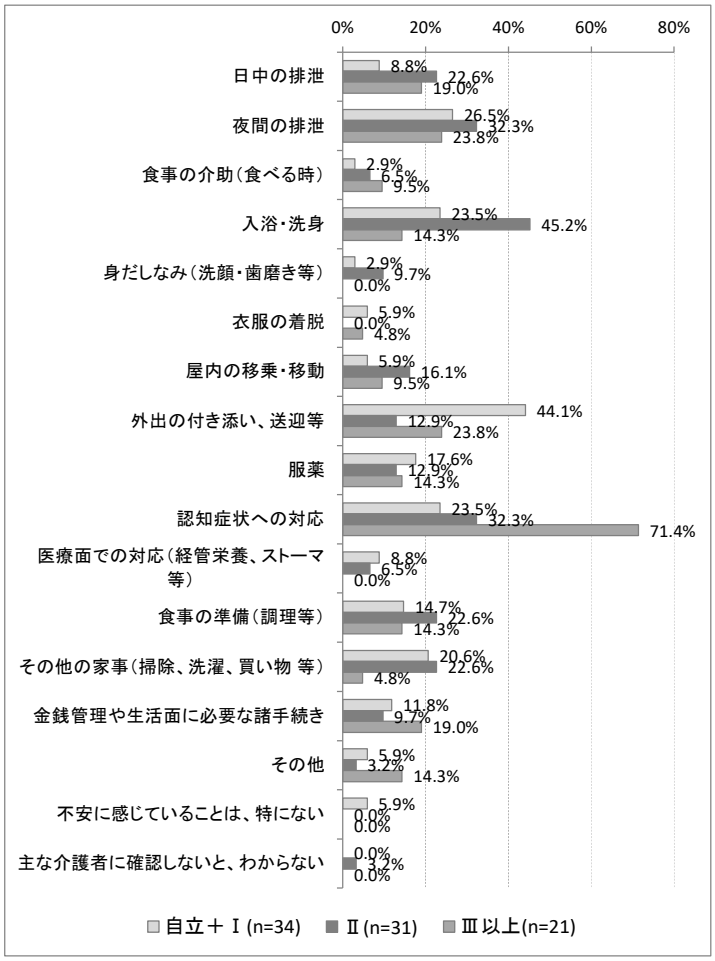


図表 1-4　要介護度別・介護者が不安に感じる介護

【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が 44.1%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 26.5%、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が 23.5%となっています。「Ⅱ」では「入浴・洗身」が 45.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 32.3%、「日中の排泄」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 22.6%となっています。「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 23.8%、「日中の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 19.0%となっています。

図表 1-5　認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護



⑶ 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【着目すべきポイント】

○　ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 1-6、図表 1-7）。

○　特に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

○　さらに、例えば今後の中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

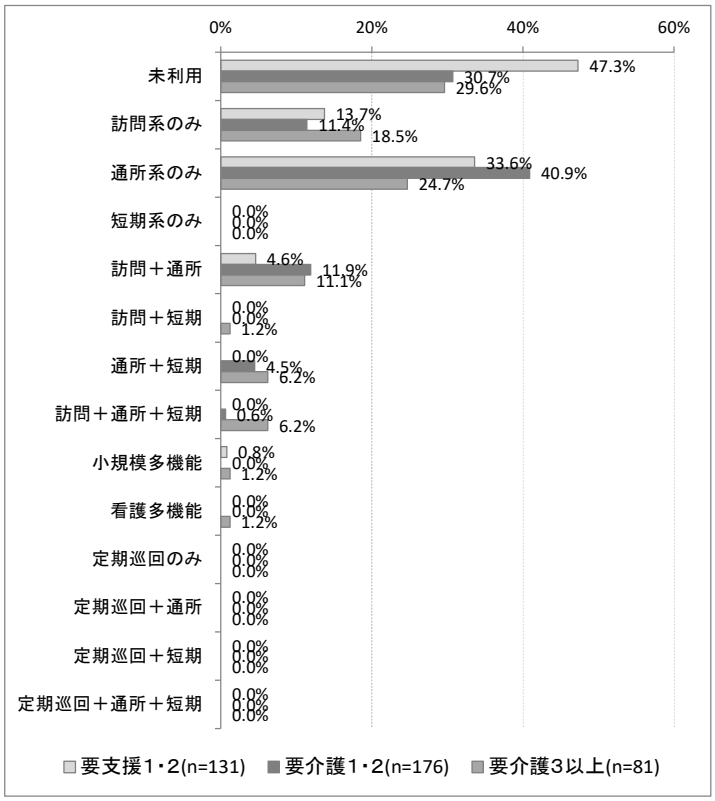
【留意事項】

○　ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 47.3%ともっとも割合が高く、次いで「通所系のみ」が 33.6%、「訪問系のみ」が 13.7%となっています。「要介護１・２」では「通所系のみ」が 40.9%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 30.7%、「訪問＋通所」が 11.9%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 29.6%ともっとも割合が高く、次いで「通所系のみ」が 24.7%、「訪問系のみ」が 18.5%となっています。

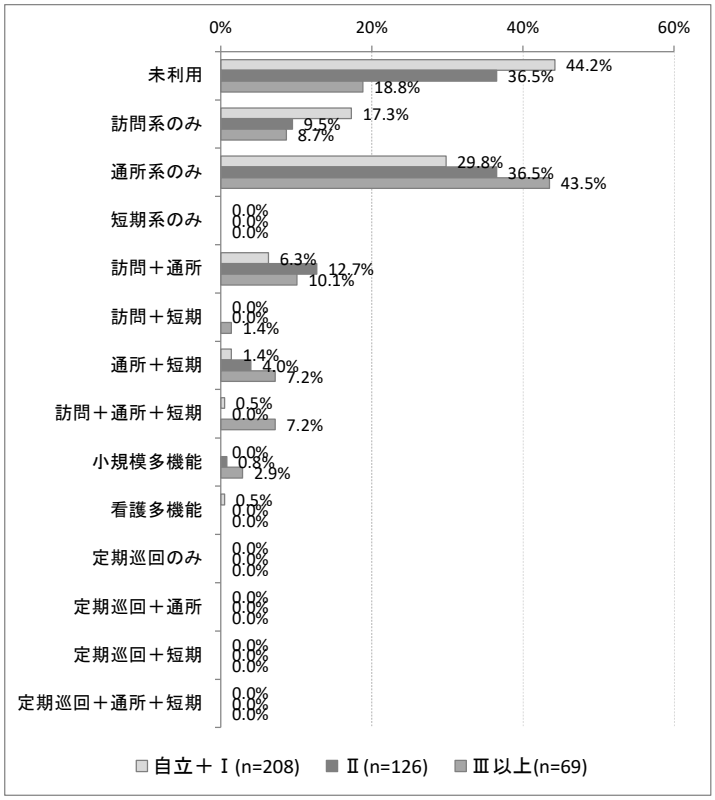
図表 1-6　要介護度別・サービス利用の組み合わせ〈***〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 44.2%ともっとも割合が高く、次いで「通所系のみ」が 29.8%、「訪問系のみ」が 17.3%となっています。「Ⅱ」では「未利用」、「通所系のみ」が 36.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問＋通所」が 12.7%、「訪問系のみ」が 9.5%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が 43.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 18.8%、「訪問＋通所」が 10.1%となっています。

図表 1-7　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ〈***〉



【着目すべきポイント】

○　ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化した集計分析をしています（図表 1-8、図表 1-9）。

○　具体的には、サービス利用の組み合わせを、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその２つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の３種類（未利用除く）に分類したものです。

○　組み合わせのパターンが細分化された集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と比較して、上記のような視点から、重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化の傾向等を分かりやすく示すことを目的としたものです。

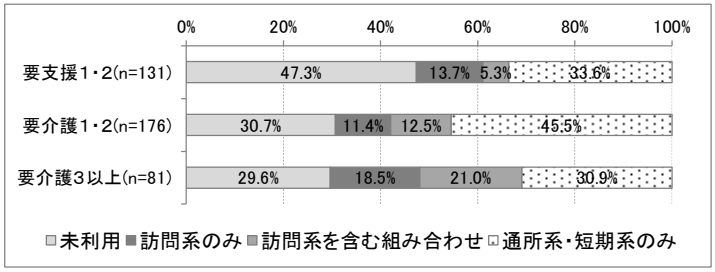
○　前掲の集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と同様に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

○　また、中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 47.3%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 33.6%、「訪問系のみ」が 13.7%となっています。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 45.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 30.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 12.5%となっています。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 30.9%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 29.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が 21.0%となっています。

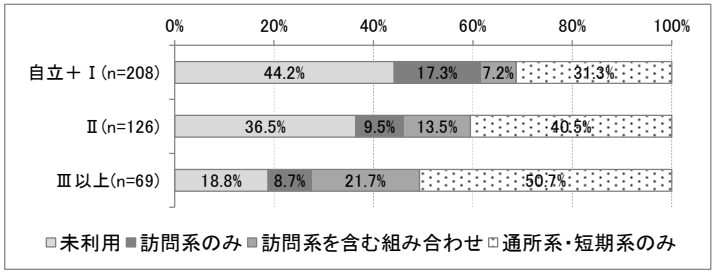
図表 1-8　要介護度別・サービス利用の組み合わせ〈***〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 44.2%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 31.3%、「訪問系のみ」が 17.3%となっています。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が 40.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 36.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が 13.5%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 50.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 21.7%、「未利用」が 18.8%となっています。

図表 1-9　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ〈***〉



⑷　「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係について、集計分析をしています。それぞれ、要介護３以上と要介護４以上、認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○　「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○　図表 1-10～図表 1-12 は、「サービス利用の組み合わせ」別に「施設等検討の状況」の割合を集計分析したもので、特に「サービス利用の組み合わせ」ごとの「施設等検討の状況」の比較が容易です。

○　また、図表 1-13～図表 1-15 は、表側と表頭を逆にして集計したもので、「施設等検討の状況」別の「サービス利用の組み合わせ」をみることができます。これにより、例えば施設等への入所・入居を「検討していない」ケースのような「適切な在宅生活の継続を実現している」と考えられる要介護者について、実際に「どのような組み合わせのサービスを利用しているか」を把握することができます。

○　したがって、例えば「検討中」や「申請済み」と比較して、「検討していない」ケースで多くみられるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

○　ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職と

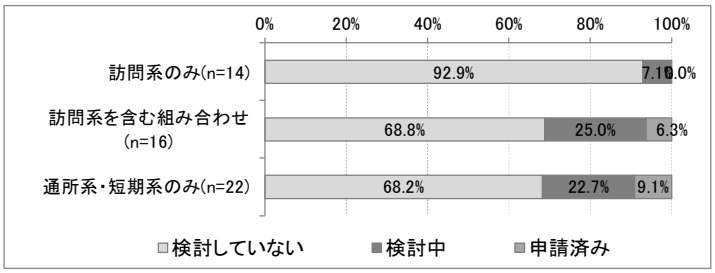
の議論を交えながら、地域ごとにその効果等についての考察を深めていくことが重要となります。

○　例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が92.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 7.1%、「申請済み」が 0.0%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 68.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が 6.3%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が68.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 22.7%、「申請済み」が 9.1%となっています。

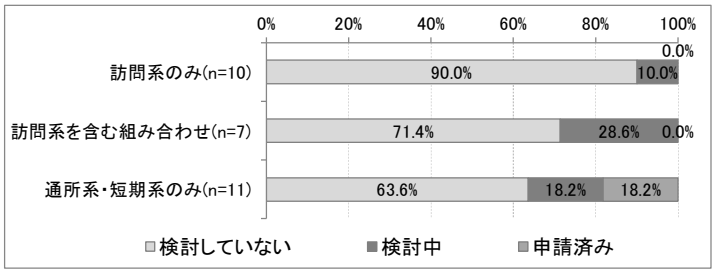
図表 1-10　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が90.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 10.0%、「申請済み」が 0.0%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 28.6%、「申請済み」が 0.0%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が 63.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 18.2%となっています。

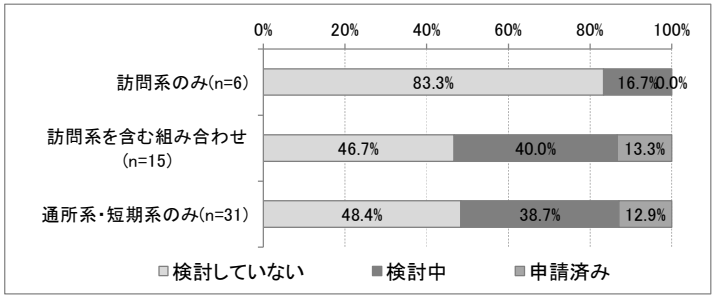
図表 1-11　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.7%、「申請済み」が 0.0%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 46.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 40.0%、「申請済み」が 13.3%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が 48.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 38.7%、「申請済み」が 12.9%となっています。

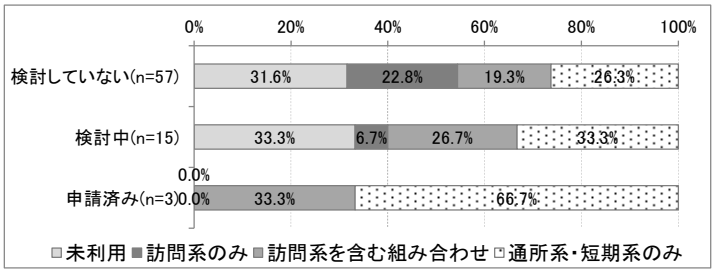
図表 1-12　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「未利用」が31.6%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 26.3%、「訪問系のみ」が 22.8%となっています。「検討中」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 26.7%、「訪問系のみ」が 6.7%となっています。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「未利用」、「訪問系のみ」が 0.0%となっています。

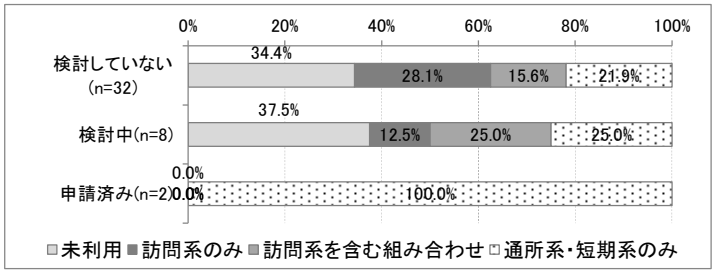
図表 1-13　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「未利用」が34.4%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が 28.1%、「通所系・短期系のみ」が 21.9%となっています。「検討中」では「未利用」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が 25.0%、「訪問系のみ」が 12.5%となっています。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 0.0%となっています。

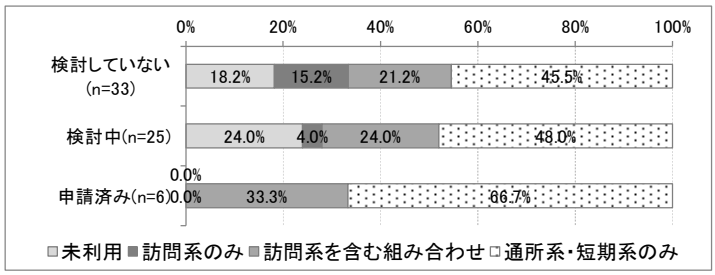
図表 1-14　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が 45.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 21.2%、「未利用」が18.2%となっています。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 48.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 24.0%、「訪問系のみ」が 4.0%となっています。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 33.3%、「未利用」、「訪問系のみ」が 0.0%となっています。

図表 1-15　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



⑸ 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係について、集計分析をしています（図表 1-16、図表 1-17）。それぞれ、要介護３以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○　「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護 等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○　したがって、「主な介護者の不安」が比較的小さくなるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するようなサービス整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

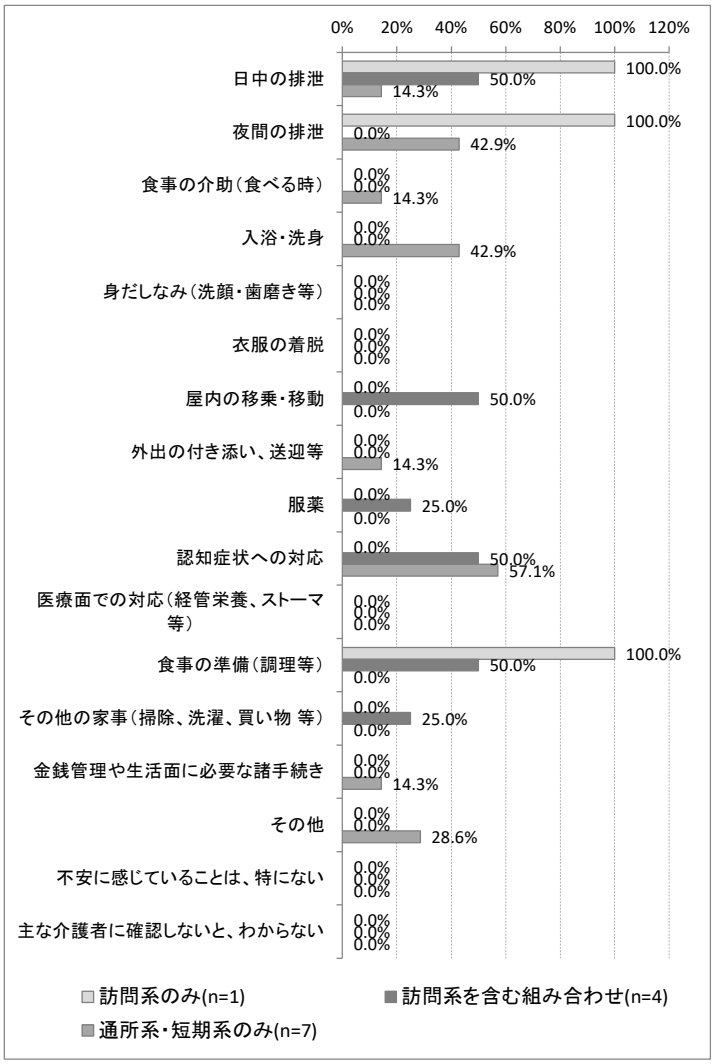
○　ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

○　例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、○○の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、○○の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護３以上）】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の準備（調理等）」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 25.0%、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が 42.9%、「その他」が 28.6%となっています。

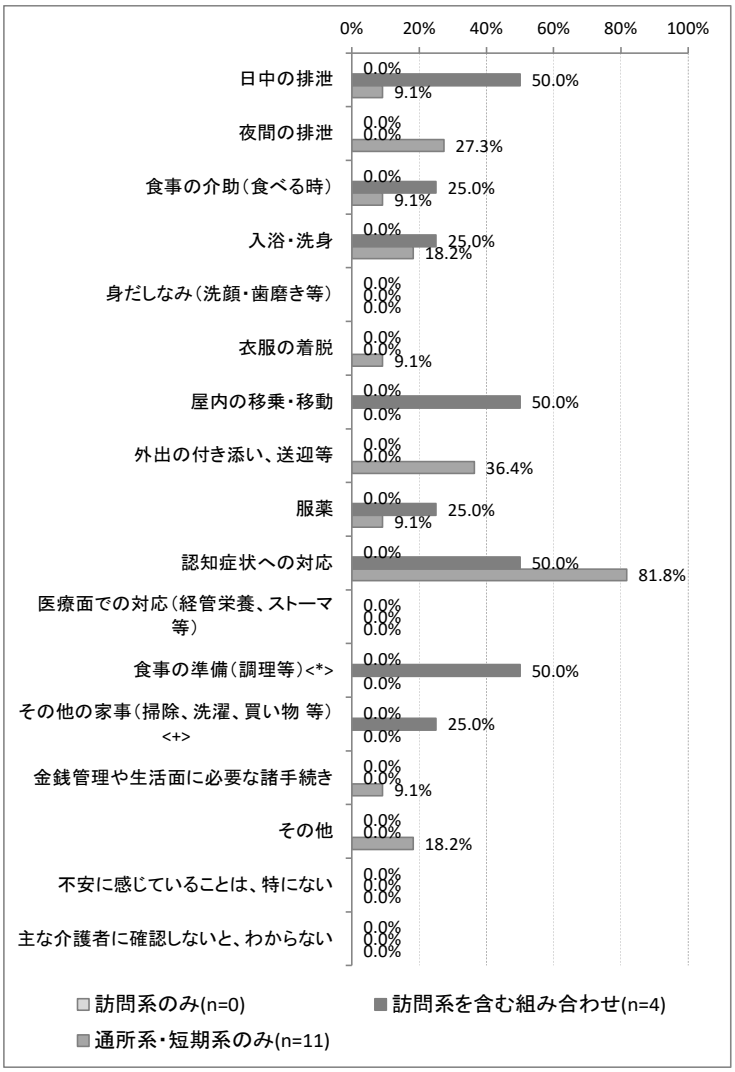
図表 1-16　サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護３以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%ともっとも割合が高くなっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 25.0%、「夜間の排泄」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が 81.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 36.4%、「夜間の排泄」が 27.3%となっています。

図表 1-17　サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



⑹ 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

○ ⑷では、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」について、集計分析を行っています。それぞれ、要介護３以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○ 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○ ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○ 図表 1-18 と図表 1-19 が訪問系、図表 1-20 と図表 1-21 通所系、図表 1-22 と図表 1-23 が短期系について集計分析した結果です。

○ 「サービス利用の回数」の増加に伴い、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が高くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

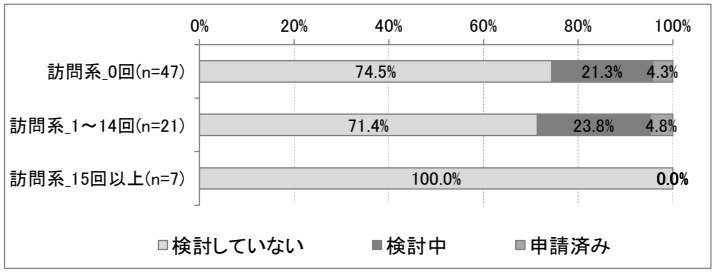
○ ⑷の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の２つの分析結果を参考に、在宅限界点の向上に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。

○ ⑷の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護３以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「検討していない」が 74.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 21.3%、「申請済み」が 4.3%となっています。「訪問系_1～14 回」では「検討していない」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 23.8%、「申請済み」が 4.8%となっています。「訪問系_15 回以上」では「検討していない」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 0.0%となっています。

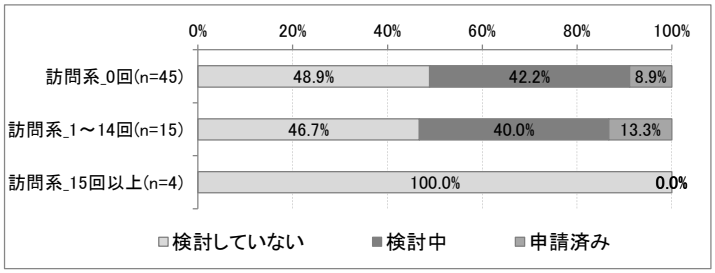
図表 1-18　サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護３以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「検討していない」が 48.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 42.2%、「申請済み」が 8.9%となっています。「訪問系_1～14 回」では「検討していない」が 46.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 40.0%、「申請済み」が 13.3%となっています。「訪問系_15 回以上」では「検討していない」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 0.0%となっています。

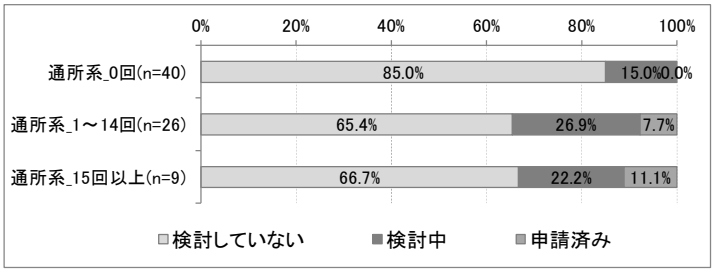
図表 1-19　サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護３以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「検討していない」が 85.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 15.0%、「申請済み」が 0.0%となっています。「通所系_1～14 回」では「検討していない」が 65.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 26.9%、「申請済み」が 7.7%となっています。「通所系_15 回以上」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 22.2%、「申請済み」が 11.1%となっています。

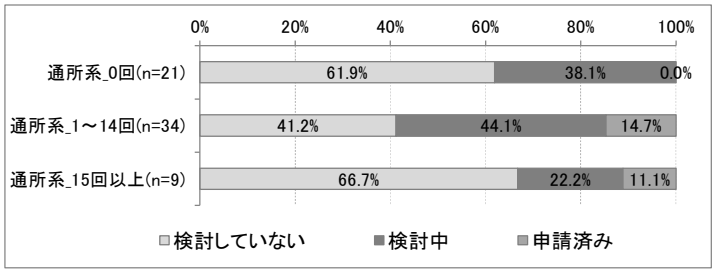
図表 1-20　サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護３以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「検討していない」が 61.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 38.1%、「申請済み」が 0.0%となっています。「通所系_1～14 回」では「検討中」が 44.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が 41.2%、「申請済み」が 14.7%となっています。「通所系_15 回以上」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 22.2%、「申請済み」が 11.1%となっています。

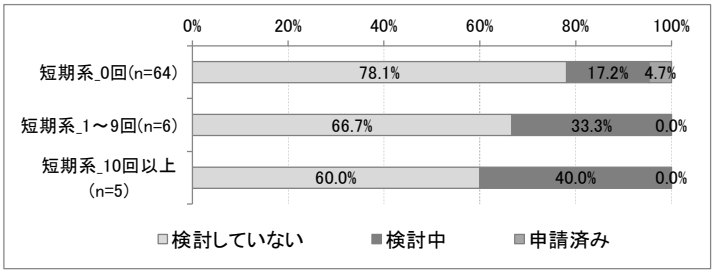
図表 1-21　サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護３以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「検討していない」が 78.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 17.2%、「申請済み」が 4.7%となっています。「短期系_1～9 回」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が 0.0%となっています。「短期系_10 回以上」では「検討していない」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 40.0%、「申請済み」が 0.0%となっています。

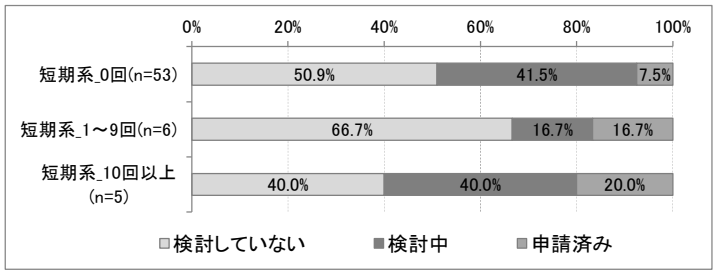
図表 1-22　サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護３以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「検討していない」が 50.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 41.5%、「申請済み」が 7.5%となっています。「短期系_1～9 回」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 16.7%となっています。「短期系_10 回以上」では「検討していない」、「検討中」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 20.0%となっています。

図表 1-23　サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



⑺ 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

○ ⑸では、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、集計分析を行っています。

○ 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護 等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。それぞれ、要介護３以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○ ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○ 図表 1-24 と図表 1-25 が訪問系、図表 1-26 と図表 1-27 が通所系、図表 1-28 と図表 1-29 サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

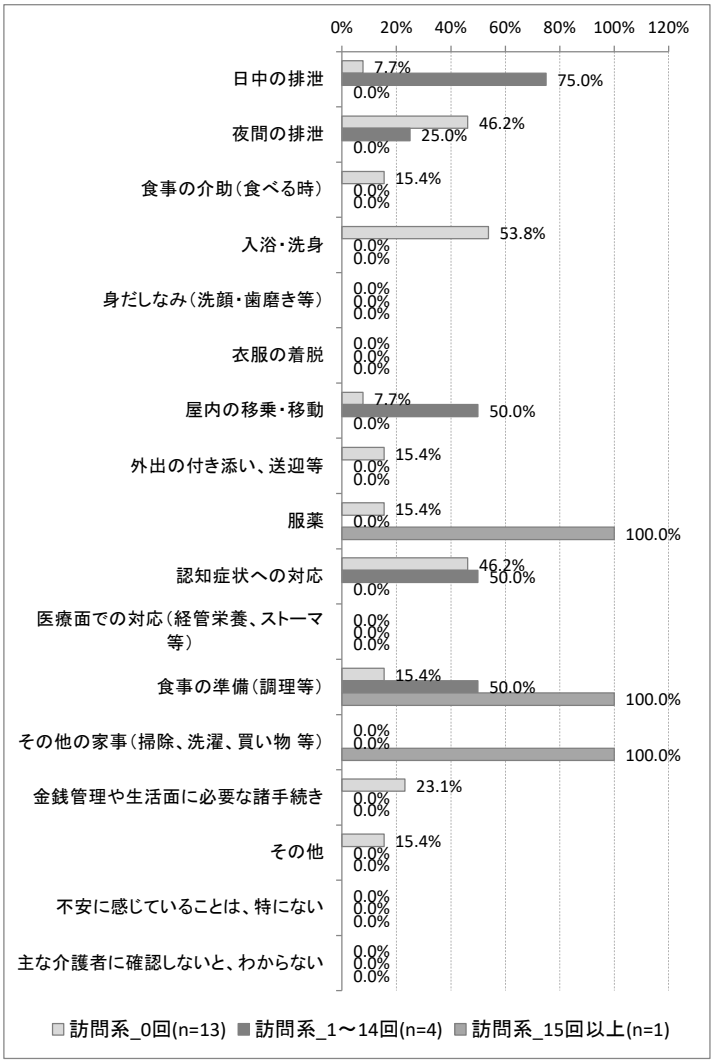
○ ⑸の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の２つの分析結果を参考に、介護者不安の軽減に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。

○ ⑸の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護３以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「入浴・洗身」が 53.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 46.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 23.1%となっています。「訪問系_1～14 回」では「日中の排泄」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 50.0%、「夜間の排泄」が 25.0%となっています。「訪問系_15 回以上」では「服薬」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。

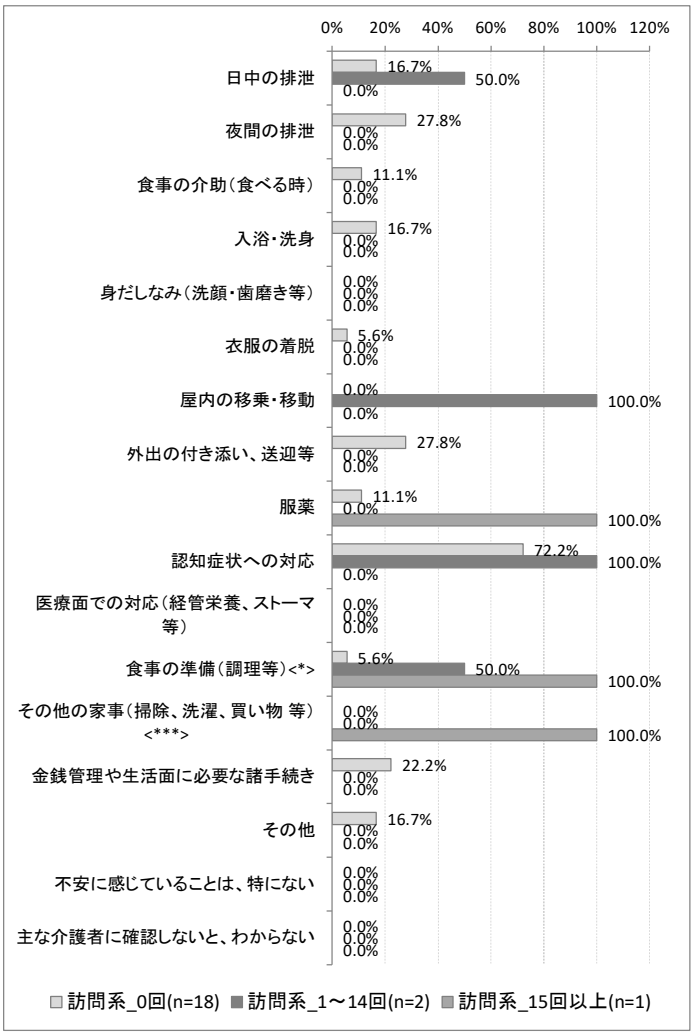
図表 1-24　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護３以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「認知症状への対応」が 72.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 27.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 22.2%となっています。「訪問系_1～14 回」では「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「食事の準備（調理等）」が 50.0%、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。「訪問系_15 回以上」では「服薬」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。

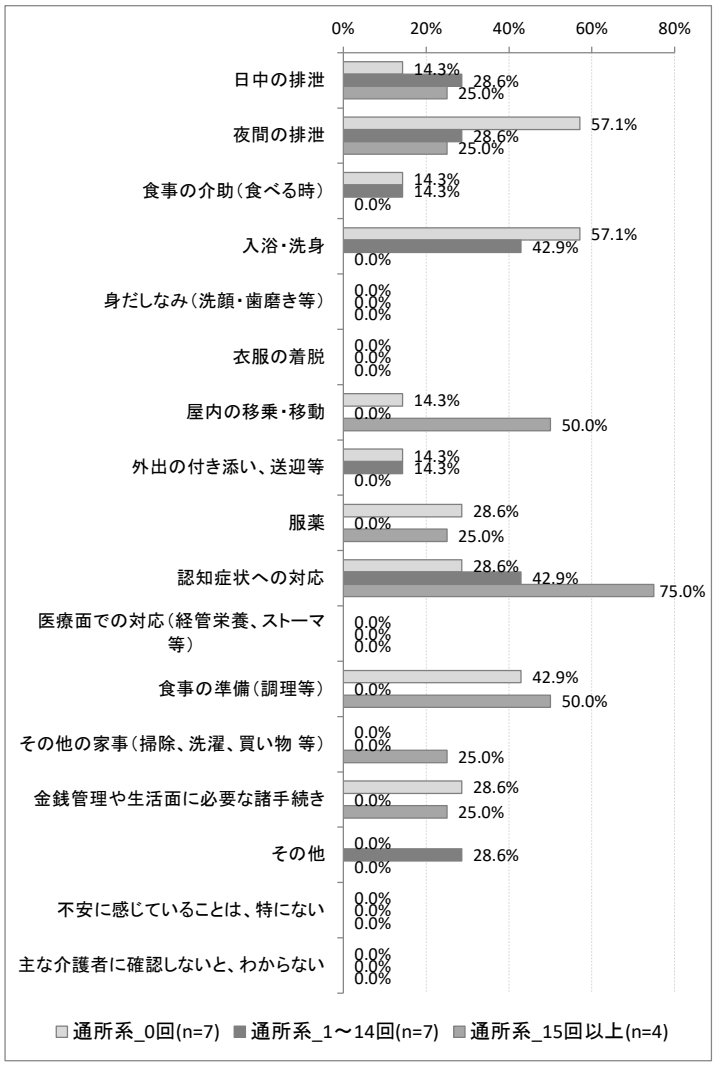
図表 1-25　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護３以上）】

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 42.9%、「服薬」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 28.6%となっています。「通所系_1～14 回」では「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「その他」が 28.6%、「食事の介助（食べる時）」、「外出の付き添い、送迎等」が 14.3%となっています。「通所系_15 回以上」では「認知症状への対応」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」、「食事の準備（調理等）」が 50.0%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 25.0%となっています。

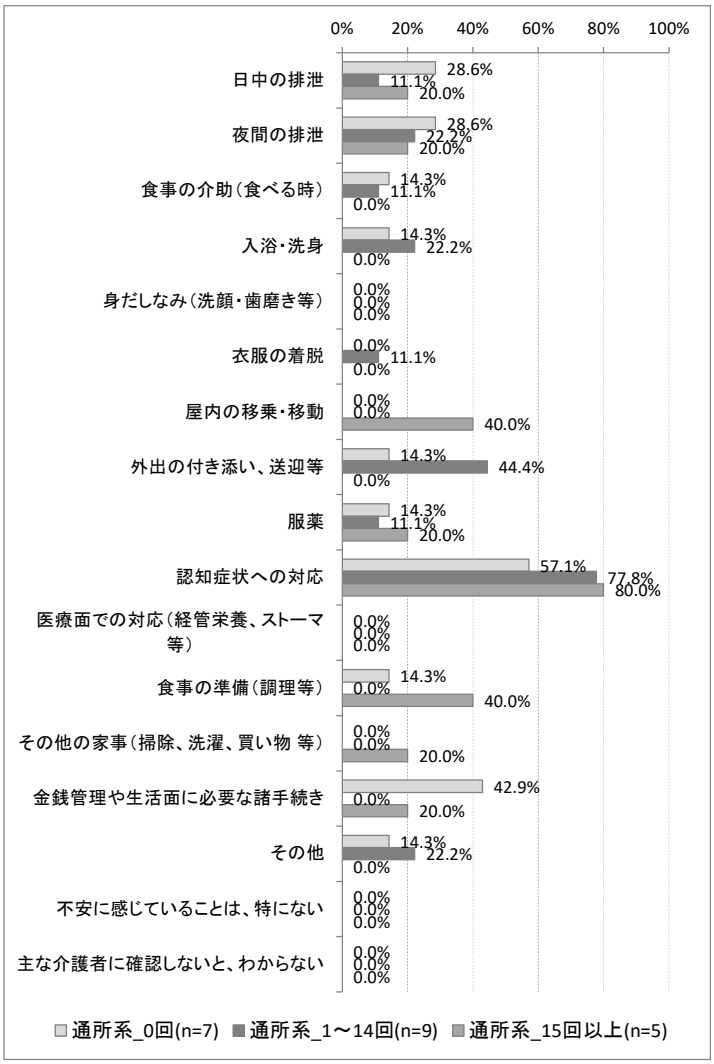
図表 1-26　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護３以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「認知症状への対応」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 42.9%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 28.6%となっています。「通所系_1～14 回」では「認知症状への対応」が 77.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 44.4%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「その他」が 22.2%となっています。「通所系_15 回以上」では「認知症状への対応」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」、「食事の準備（調理等）」が 40.0%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 20.0%となっています。

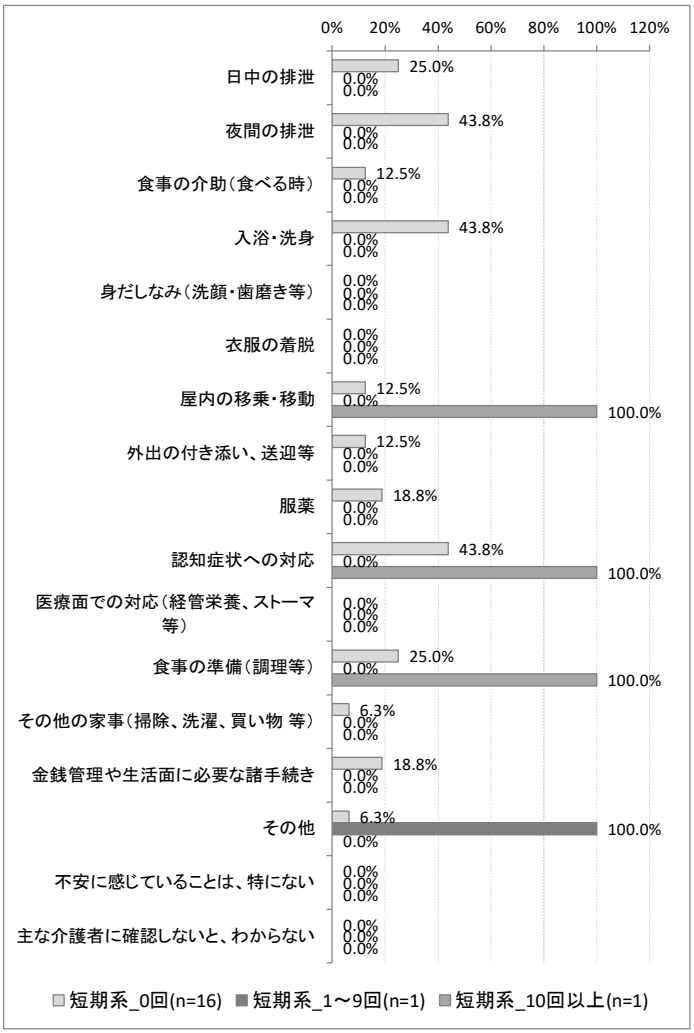
図表 1-27　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護３以上）】

介護者が不安に感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が 43.8%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「食事の準備（調理等）」が 25.0%、「服薬」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 18.8%となっています。「短期系_1～9 回」では「その他」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。「短期系_10 回以上」では「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。

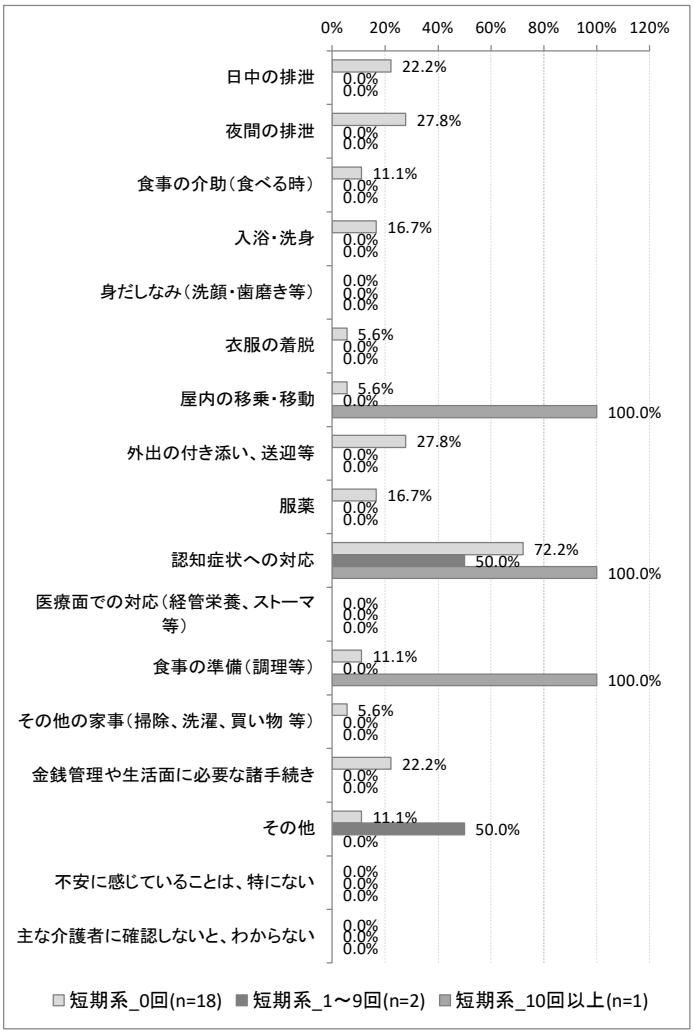
図表 1-28　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護３以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「認知症状への対応」が 72.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 27.8%、「日中の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 22.2%となっています。「短期系_1～9 回」では「認知症状への対応」、「その他」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。「短期系_10 回以上」では「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 0.0%となっています。

図表 1-29　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



2　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の２つの視点からの集計を行っています。

○　具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。

○　さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。

○　上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2　集計結果と着目すべきポイント

(1) 基本集計

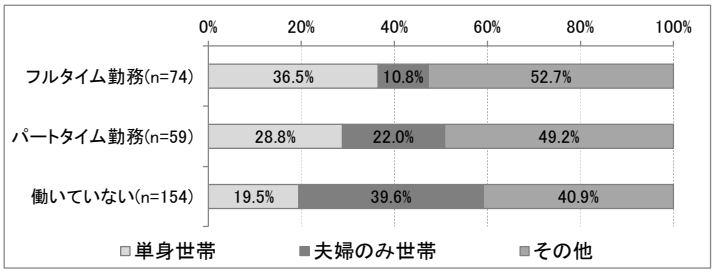
○　主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。

○　主な介護者の属性や、要介護者の要介護度・認知症自立度について、就労状況別にその状況を確認してください。

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が 52.7%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 36.5%、「夫婦のみ世帯」が 10.8%となっています。「パートタイム勤務」では「その他」が 49.2%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 28.8%、「夫婦のみ世帯」が 22.0%となっています。「働いていない」では「その他」が 40.9%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 39.6%、「単身世帯」が 19.5%となっています。

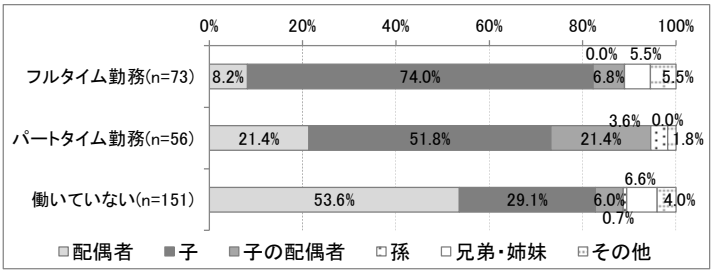
図表 2-1　就労状況別・世帯類型<***>



【就労状況別・★主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が 74.0%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」が 8.2%、「子の配偶者」が 6.8%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が 51.8%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」、「子の配偶者」が 21.4%、「孫」が 3.6%となっています。「働いていない」では「配偶者」が 53.6%ともっとも割合が高く、次いで「子」が 29.1%、「兄弟・姉妹」が 6.6%となっています。

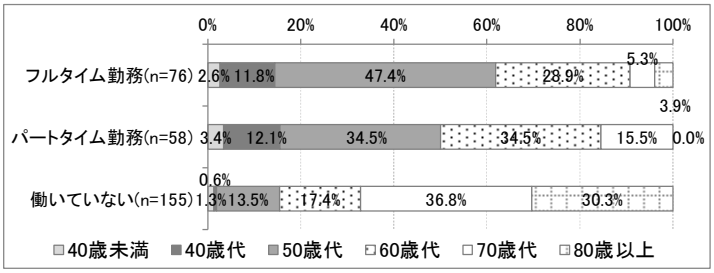
図表 2-2　就労状況別・★主な介護者の本人との関係<***>



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が 47.4%ともっとも割合が高く、次いで「60 歳代」が 28.9%、「40 歳代」が 11.8%となっています。「パートタイム勤務」では「50 歳代」、「60 歳代」が 34.5%ともっとも割合が高く、次いで「70 歳代」が 15.5%、「40 歳代」が 12.1%となっています。「働いていない」では「70 歳代」が 36.8%ともっとも割合が高く、次いで「80 歳以上」が 30.3%、「60 歳代」が 17.4%となっています。

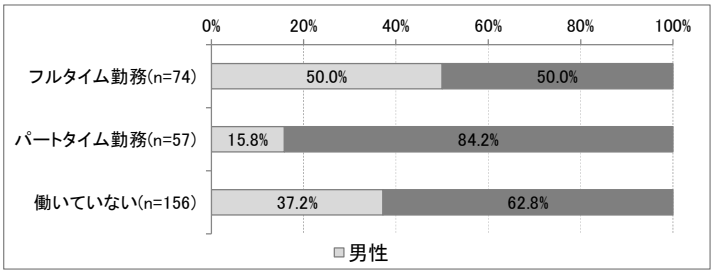
図表 2-3　就労状況別・主な介護者の年齢<***>



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「男性」、「女性」が 50.0%ともっとも割合が高くなっています。「パートタイム勤務」では「女性」が 84.2%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が 15.8%となっています。「働いていない」では「女性」が 62.8%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が 37.2%となっています。

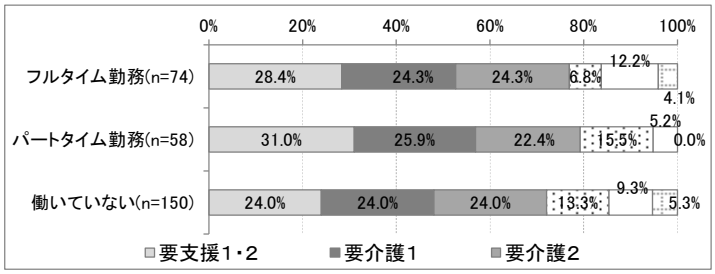
図表 2-4　就労状況別・主な介護者の性別<***>



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要支援１・２」が 28.4%ともっとも割合が高く、次いで「要介護１」、「要介護２」が 24.3%、「要介護４」が 12.2%となっています。「パートタイム勤務」では「要支援１・２」が 31.0%ともっとも割合が高く、次いで「要介護１」が 25.9%、「要介護２」が 22.4%となっています。「働いていない」では「要支援１・２」、「要介護１」、「要介護２」が 24.0%ともっとも割合が高く、次いで「要介護３」が 13.3%、「要介護４」が 9.3%となっています。

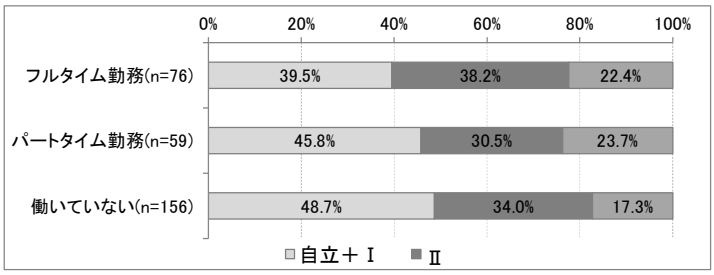
図表 2-5　就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立＋Ⅰ」が 39.5%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」が 38.2%、「Ⅲ以上」が 22.4%となっています。「パートタイム勤務」では「自立＋Ⅰ」が 45.8%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」が 30.5%、「Ⅲ以上」が 23.7%となっています。「働いていない」では「自立＋Ⅰ」が 48.7%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」が 34.0%、「Ⅲ以上」が 17.3%となっています。

図表 2-6　就労状況別・認知症自立度



⑵ 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。

○　「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」人と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。

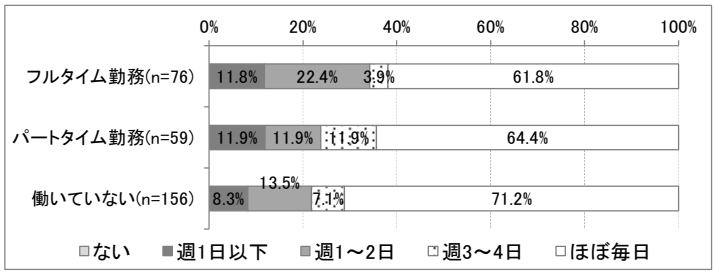
○　「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。

○　なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の２つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 61.8%ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 22.4%、「週 1 日以下」が 11.8%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 64.4%ともっとも割合が高く、次いで「週 1 日以下」、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 11.9%、「ない」が 0.0%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 71.2%ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 13.5%、「週 1 日以下」が 8.3%となっています。

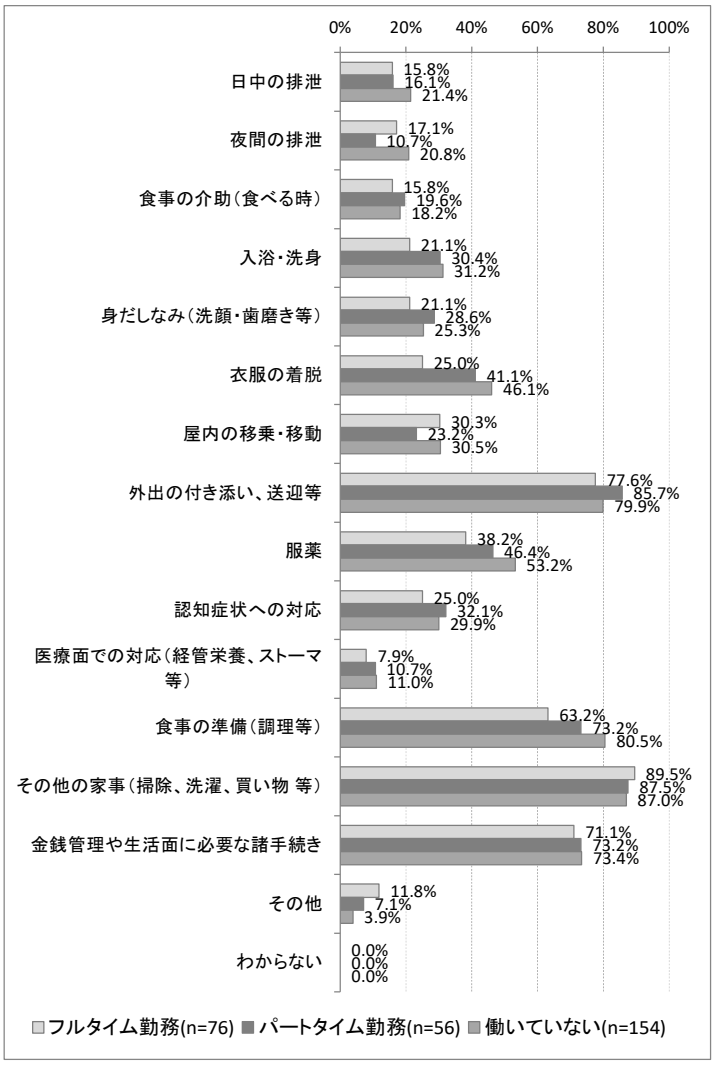
図表 2-7　就労状況別・家族等による介護の頻度



【就労状況別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 89.5%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 77.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 71.1%となっています。「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 87.5%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 85.7%、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 73.2%となっています。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 87.0%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 80.5%、「外出の付き添い、送迎等」が 79.9%となっています。

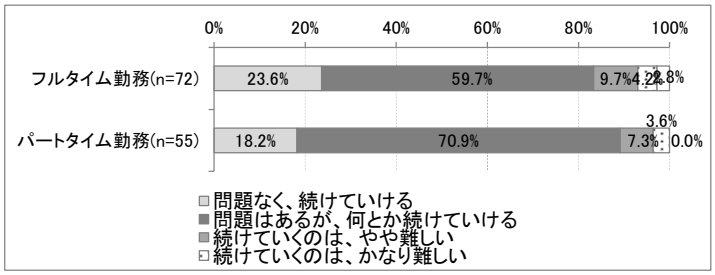
図表 2-8　就労状況別・★主な介護者が行っている介護



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 59.7%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 23.6%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.7%となっています。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 70.9%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 18.2%、「続けていくのは、やや難しい」が 7.3%となっています。

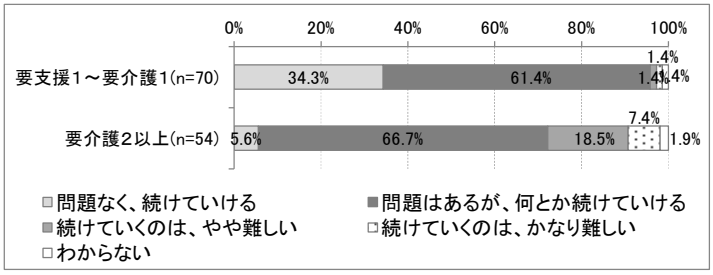
図表 2-9　就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援１～要介護１」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 61.4%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 34.3%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が 1.4%となっています。「要介護２以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が 18.5%、「続けていくのは、かなり難しい」が 7.4%となっています。

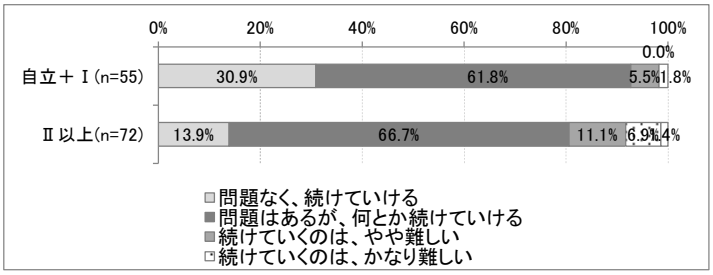
図表 2-10　要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）〈***〉



【認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 61.8%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 30.9%、「続けていくのは、やや難しい」が 5.5%となっています。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 13.9%、「続けていくのは、やや難しい」が 11.1%となっています。

図表 2-11　認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）〈+〉



⑶　「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。

○　「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。

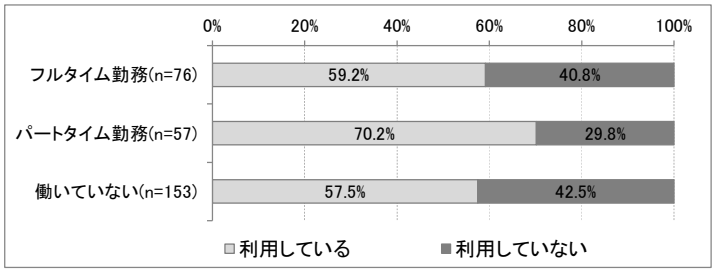
○　例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないことになります（図表 2-13、図表 2-14）。

○　「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がその可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。

【就労状況別・★介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 59.2%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 40.8%となっています。「パートタイム勤務」では「利用している」が 70.2%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 29.8%となっています。「働いていない」では「利用している」が 57.5%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 42.5%となっています。

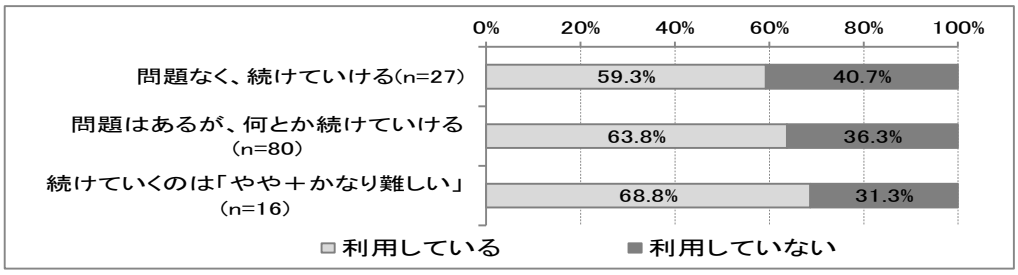
図表 2-12　就労状況別・★介護保険サービス利用の有無



【就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務)】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が 59.3%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 40.7%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が 63.8%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 36.3%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「利用している」が 68.8%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 31.3%となっています。

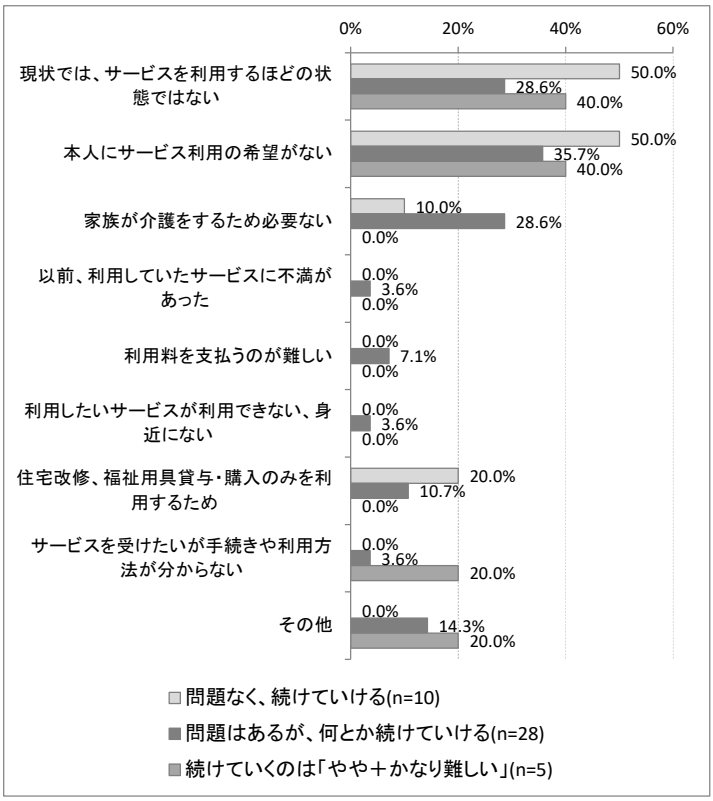
図表 2-13　就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）】

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 20.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 10.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」が 35.7%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 28.6%、「その他」が 14.3%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 20.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 0.0%となっています。

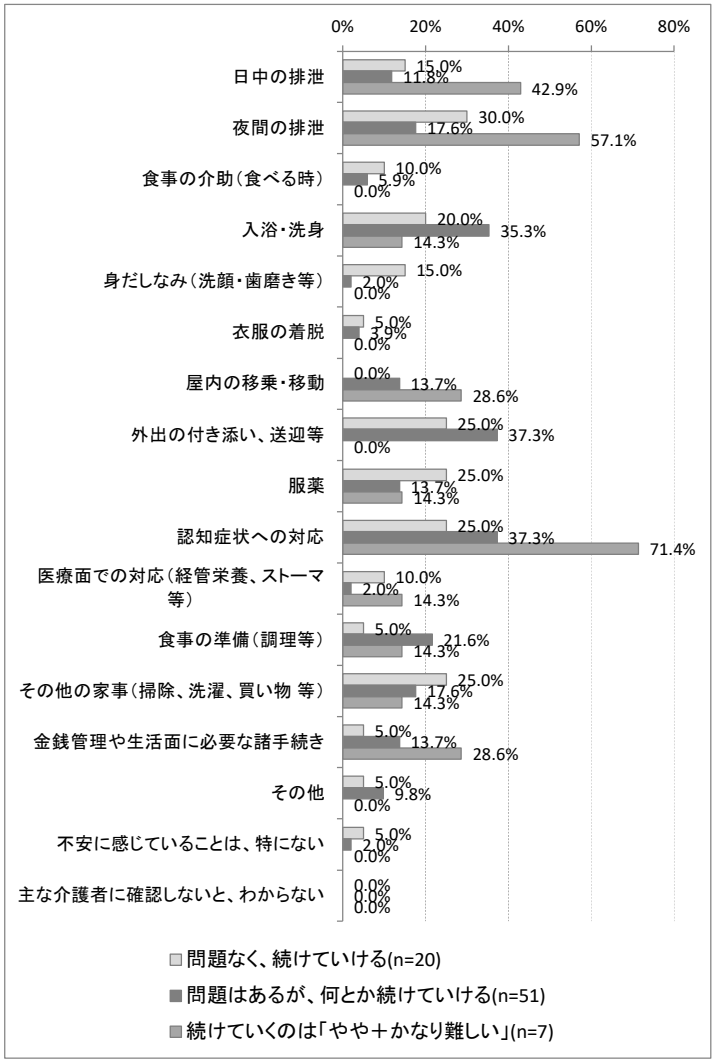
図表 2-14　就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）



【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「夜間の排泄」が 30.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 25.0%、「入浴・洗身」が 20.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が 37.3%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が 35.3%、「食事の準備（調理等）」が 21.6%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「認知症状への対応」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 57.1%、「日中の排泄」が 42.9%となっています。

図表 2-15　就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



⑷ 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

【着目すべきポイント】

○ ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護２以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表 2-16～図表 2-18）。

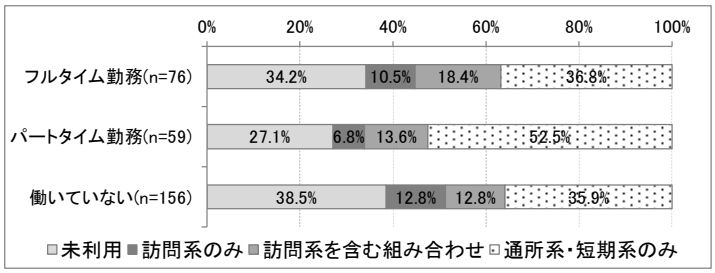
○ ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。

○ また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 36.8%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 34.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が 18.4%となっています。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 52.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 27.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が 13.6%となっています。「働いていない」では「未利用」が 38.5%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 35.9%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 12.8%となっています

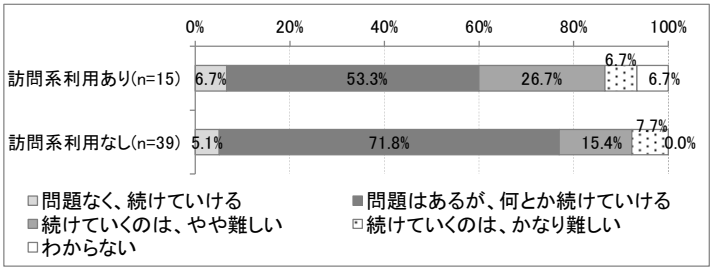
図表 2-16　就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 53.3%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が 26.7%、「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が 6.7%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 71.8%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が 15.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が 7.7%となっています。

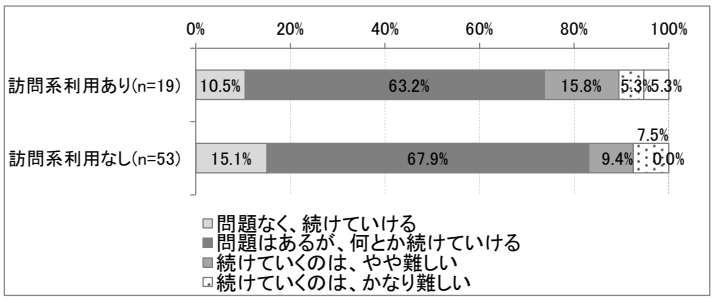
図表 2-17　サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



+【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 63.2%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が 15.8%、「問題なく、続けていける」が 10.5%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 67.9%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 15.1%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.4%となっています。

図表 2-18　サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



⑸ 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-22）。

○　「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。

○　また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。

○　「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。

○　さらに、要介護２以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性と、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。

【留意事項】

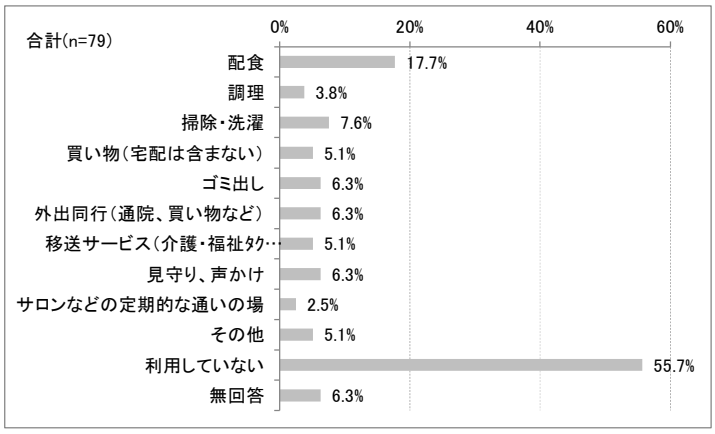
○　ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

○　アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

【★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）】

「利用していない」の割合が最も高く55.7%となっています。次いで、「配食（17.7%）」、「掃除・洗濯（7.6%）」となっています。

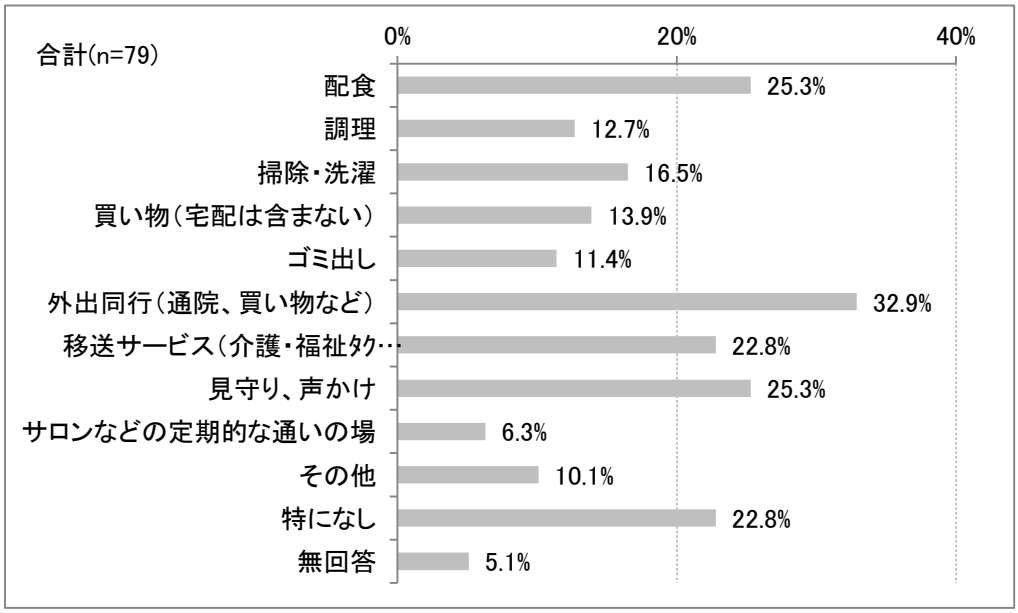
図表 2-19_1　★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 32.9%となっています。次いで、「配食（25.3%）」、「見守り、声かけ（25.3%）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（22.8%）」、「特になし（22.8%）」となっています。

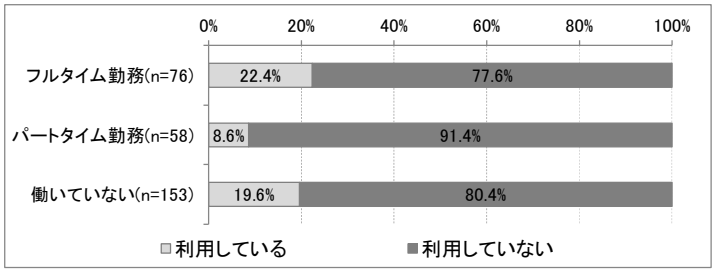
図表 2-19_2　★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



【就労状況別・★訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が 77.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 22.4%となっています。「パートタイム勤務」では「利用していない」が 91.4%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 8.6%となっています。「働いていない」では「利用していない」が 80.4%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 19.6%となっています。

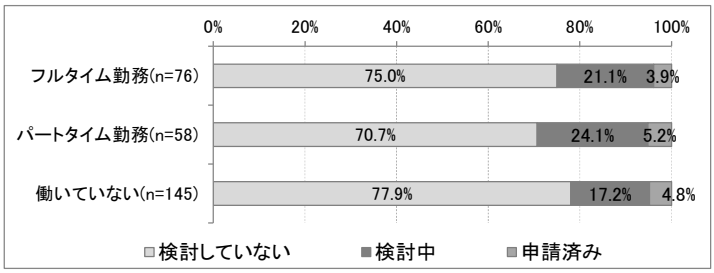
図表 2-20　就労状況別・★訪問診療の利用の有無<+>



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が21.1%、「申請済み」が3.9%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が 70.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.1%、「申請済み」が5.2%となっています。「働いていない」では「検討していない」が77.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 17.2%、「申請済み」が 4.8%となっています。

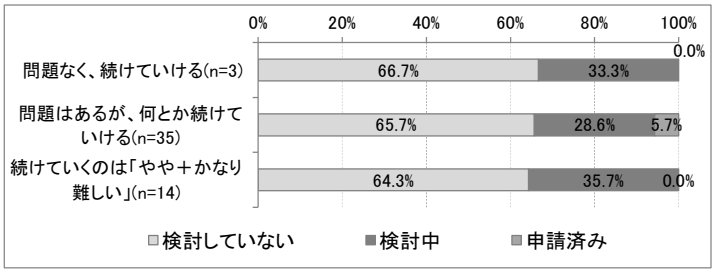
図表 2-21　就労状況別・施設等検討の状況



【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務)】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が0.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が65.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 28.6%、「申請済み」が 5.7%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「検討していない」が 64.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 35.7%、「申請済み」が 0.0%となっています。

図表 2-22　就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



⑹ 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-23～図表 2-26）。

○　就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。

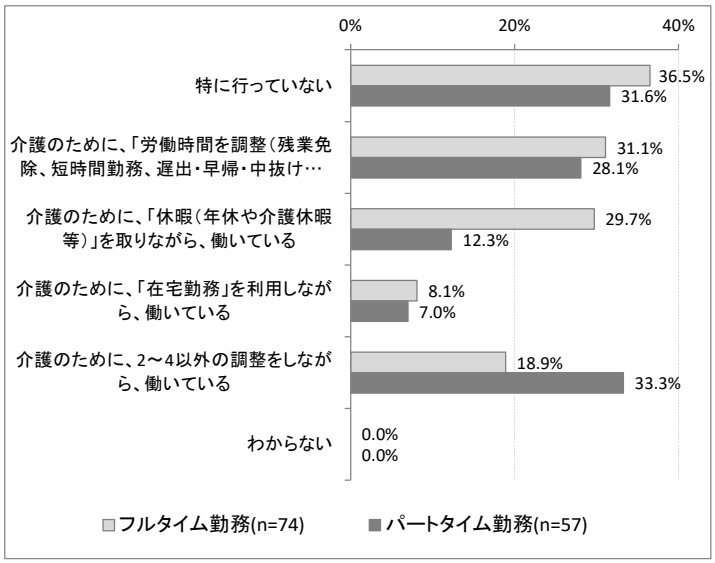
○　ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況にはなく、介護のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。

○　このように、職場の状況や業務の内容によっても、必要な調整や支援の内容が異なることに留意することが必要です。

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が 36.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 31.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 29.7%となっています。「パートタイム勤務」では「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「特に行っていない」が 31.6%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 28.1%となっています。

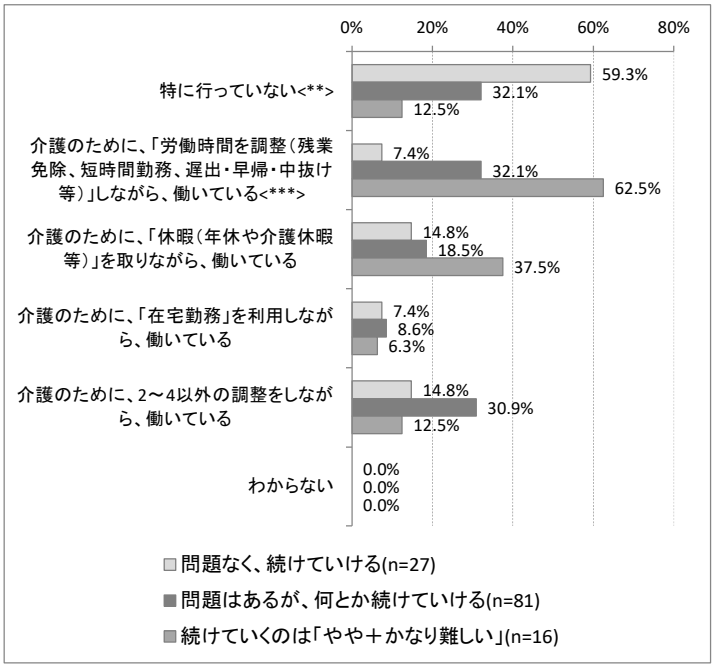
図表 2-23　就労状況別・介護のための働き方の調整



【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が 59.3%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 14.8%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が 7.4%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 32.1%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 30.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 18.5%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 62.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 37.5%、「特に行っていない」、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 12.5%となっています。

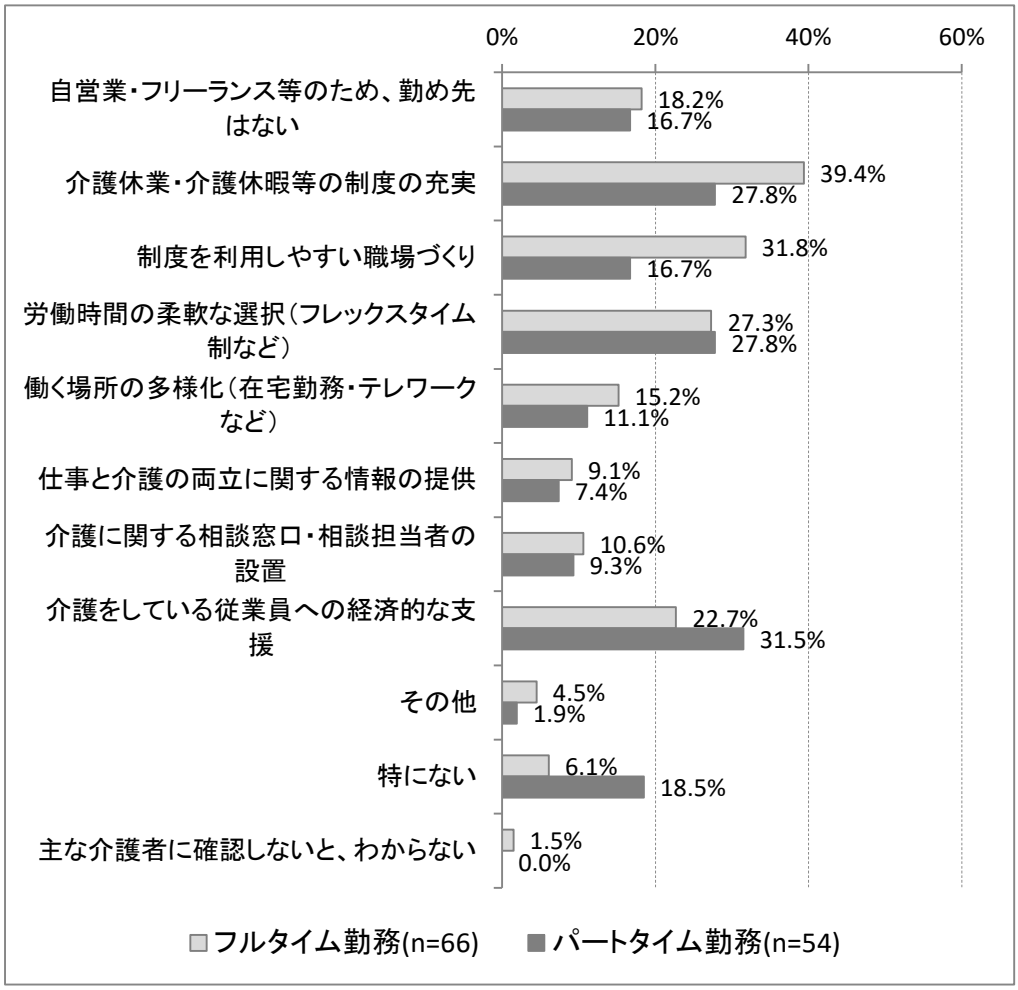
図表 2-24　就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【就労状況別・★効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 39.4%ともっとも割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 31.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 27.3%となっています。「パートタイム勤務」では「介護をしている従業員への経済的な支援」が 31.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 27.8%、「特にない」が 18.5%となっています。

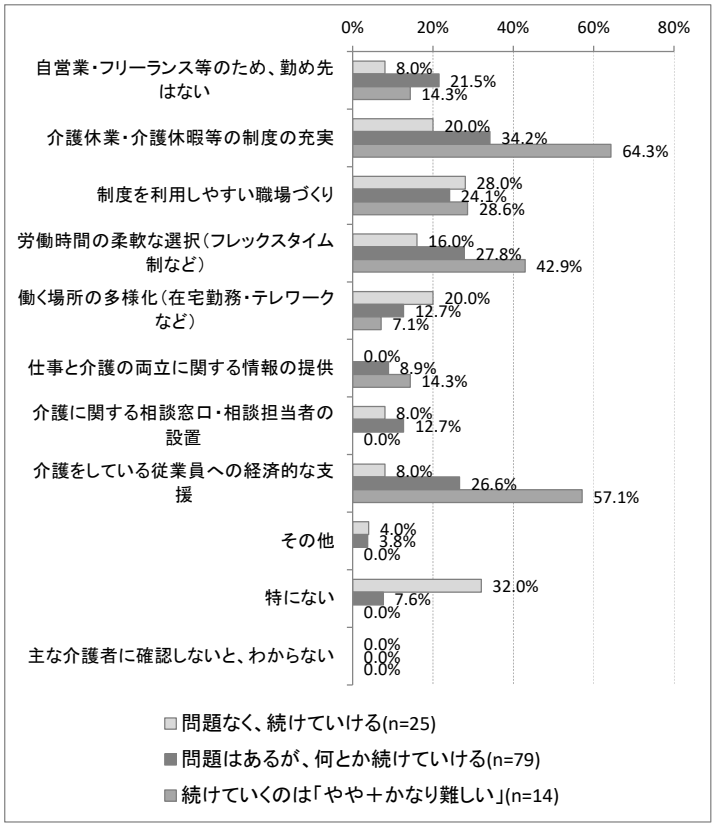
図表 2-25　就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



【就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が 32.0%ともっとも割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 28.0%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が 20.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 34.2%ともっとも割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 27.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 26.6%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 64.3%ともっとも割合が高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が 57.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 42.9%となっています。

図表 2-26　就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



3　保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。

○　具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。

○　なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

3.2　集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

【着目すべきポイント】

○　「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。

○　例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。

○　さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。

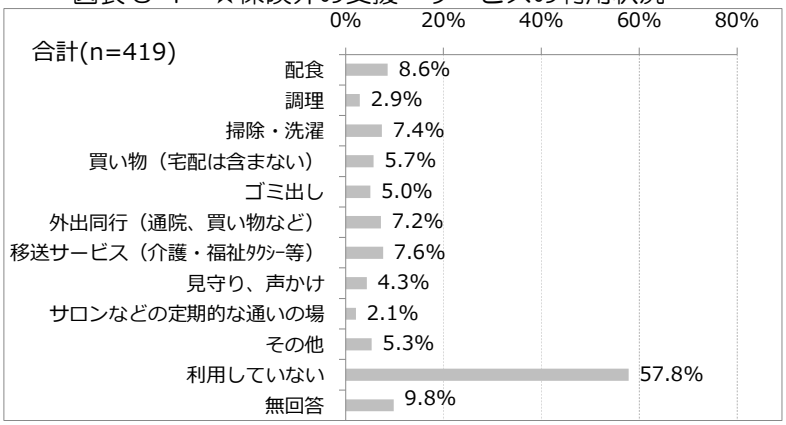
【留意事項】

○　ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

【★保険外の支援・サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 57.8%となっています。次いで、「配食（8.6%）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（7.6%）」となっています。

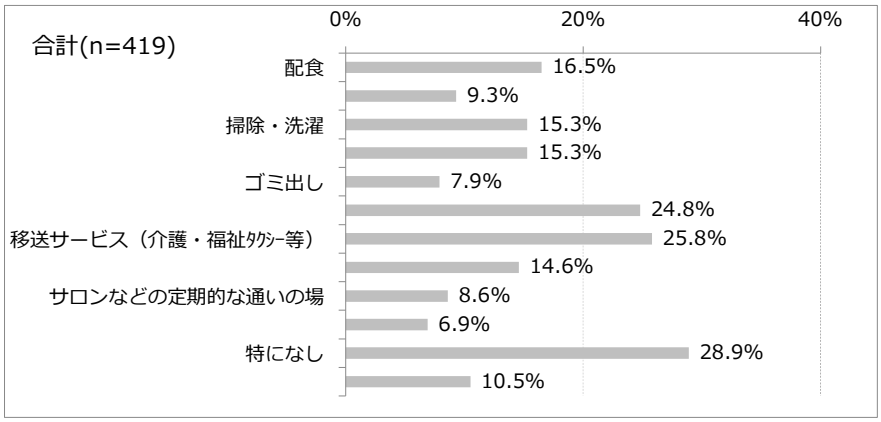
図表 3-1　★保険外の支援・サービスの利用状況



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「特になし」の割合が最も高く 28.9%となっています。次いで、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（25.8%）」、「外出同行（通院、買い物など）（24.8%）」となっています。

図表 3-2　★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



⑵ 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

【着目すべきポイント】

○　世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-3、図表 3-4）。

○　「保険外の支援・サービスの利用割合」については、世帯類型別の割合をアウトプット指標としてモニタリングしていくも考えられます。

○　また、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、世帯類型別に異なる傾向がみられた場合は、世帯類型に応じたアプローチを検討していくことが重要になると考えられます。

【留意事項】

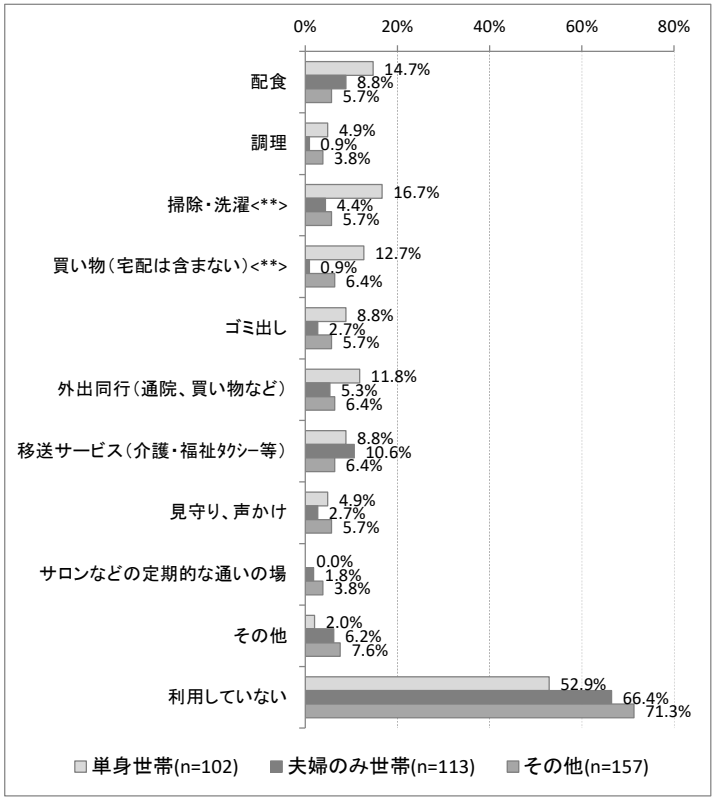
○　アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

○　「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、特に「複数の支援・サービスを比較して、より優先順位の高い支援・サービスを明らかにする」といった視点でみることが重要です。

【世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が52.9%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が 16.7%、「配食」が 14.7%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 66.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 10.6%、「配食」が 8.8%となっています。「その他」では「利用していない」が71.3%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が 7.6%、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 6.4%となっています。

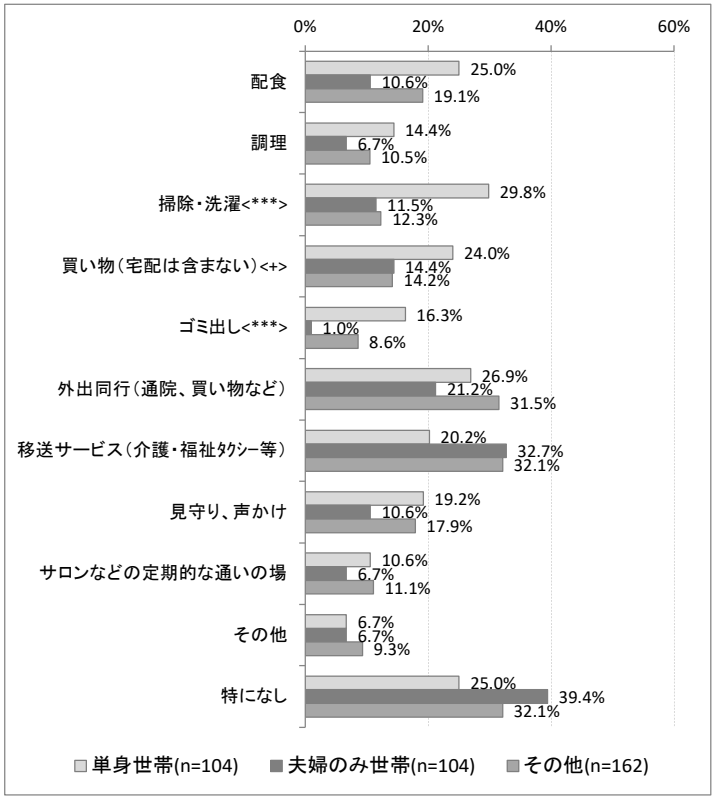
図表 3-3　世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が 29.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 26.9%、「配食」、「特になし」が 25.0%となっています。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が 39.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 32.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が 21.2%となっています。「その他」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「特になし」が 32.1%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 31.5%、「配食」が 19.1%となっています。

図表 3-4　世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



⑶　「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

【着目すべきポイント】

○　世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。

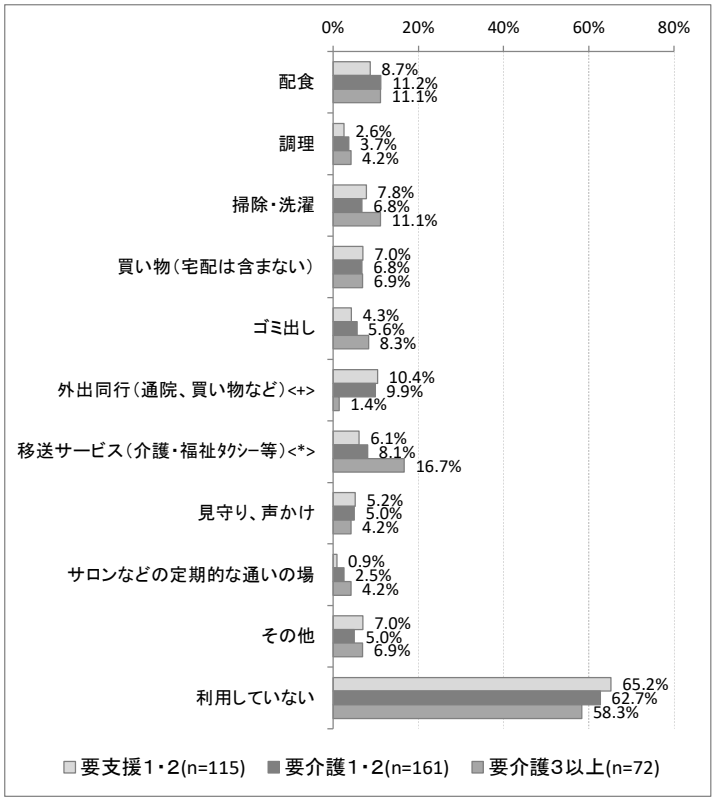
○　利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。

○　介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 65.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 10.4%、「配食」が 8.7%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 62.7%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 11.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が 9.9%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 58.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 16.7%、「配食」、「掃除・洗濯」が 11.1%となっています。

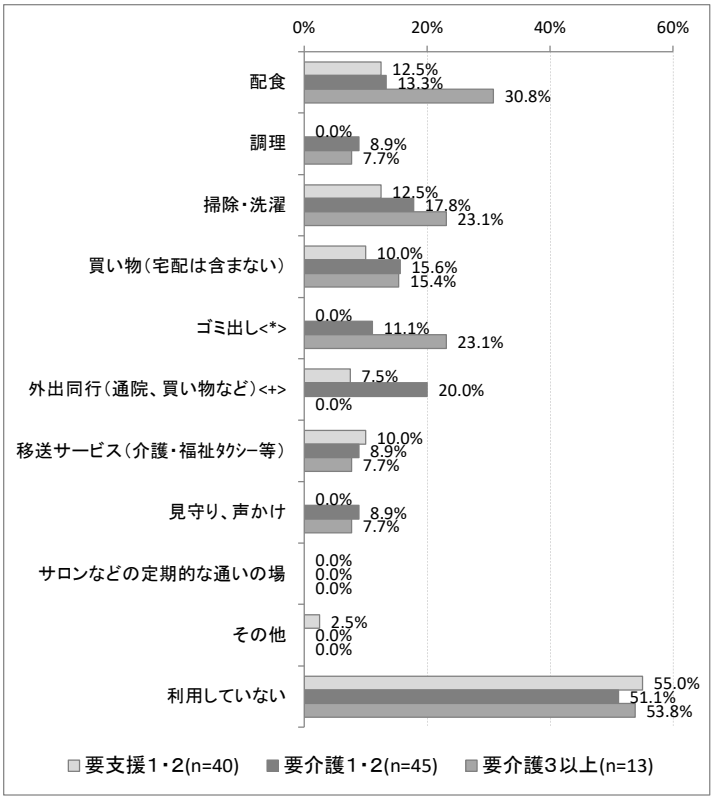
図表 3-5　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 55.0%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」が 12.5%、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 10.0%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 51.1%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 20.0%、「掃除・洗濯」が 17.8%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 53.8%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 30.8%、「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」が 23.1%となっています.。

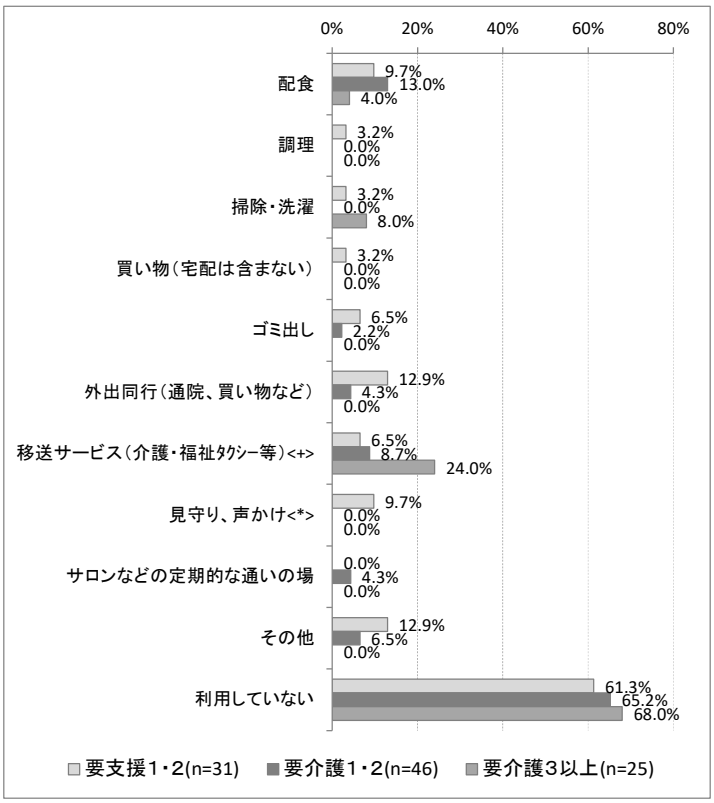
図表 3-6　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 61.3%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「その他」が 12.9%、「配食」、「見守り、声かけ」が 9.7%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 65.2%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 13.0%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 8.7%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 68.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 24.0%、「掃除・洗濯」が 8.0%となっています。

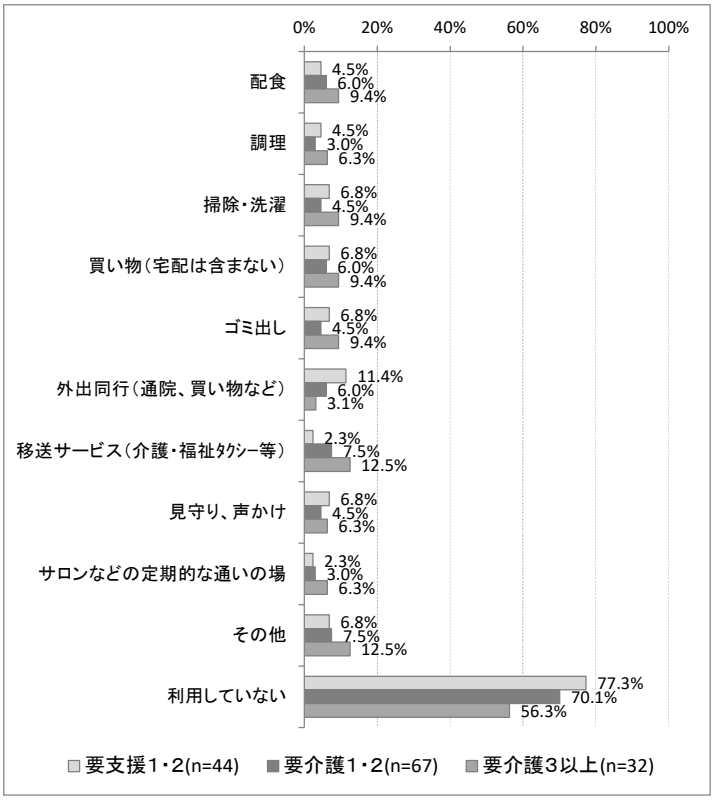
図表 3-7　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 77.3%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 11.4%、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」、「その他」が 6.8%となっています。「要介護１・２」では「利用していない」が 70.1%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「その他」が 7.5%、「配食」、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」が 6.0%となっています。「要介護３以上」では「利用していない」が 56.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「その他」が 12.5%、「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」が 9.4%となっています。

図表 3-8　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



⑷ 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

【着目すべきポイント】

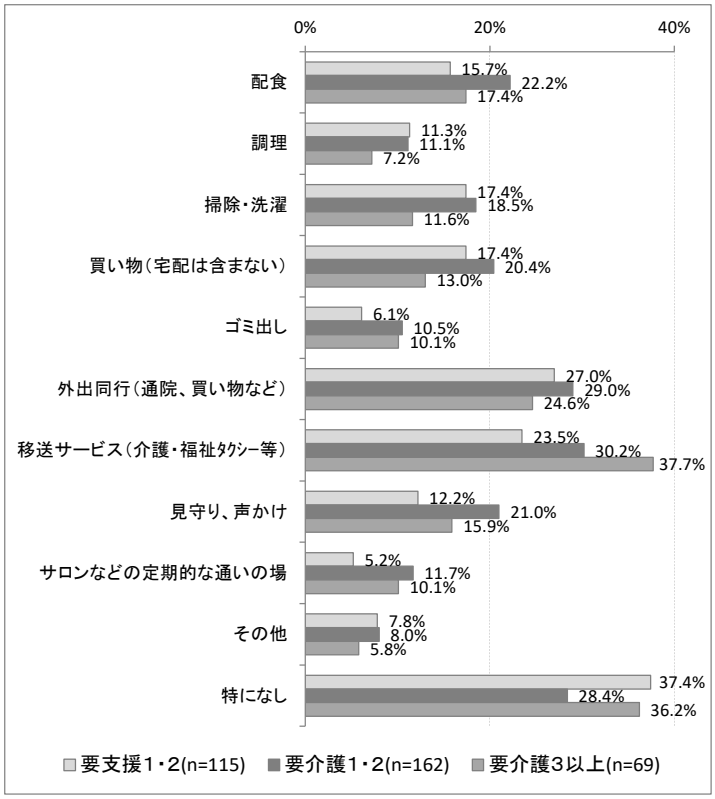
○ 世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。

○ 特に、各世帯類型の要介護度別のニーズに着目しながら、各地域の実情に応じた取組を推進していくことが必要です。

【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 37.4%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 27.0%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 23.5%となっています。「要介護１・２」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 30.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 29.0%、「特になし」が 28.4%となっています。「要介護３以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 37.7%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 36.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が 24.6%となっています。

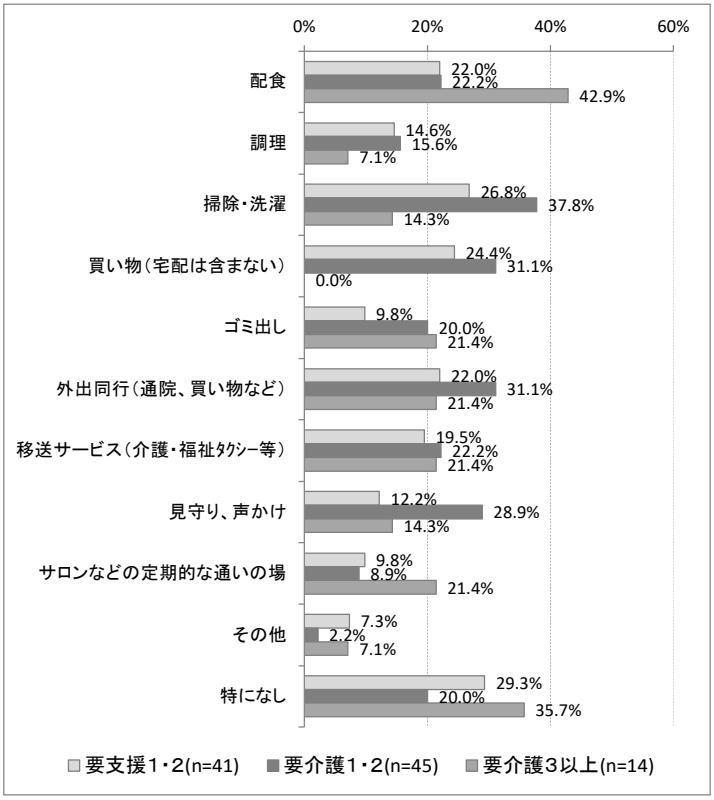
図表 3-9　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が29.3%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が 26.8%、「買い物（宅配は含まない）」が24.4%となっています。「要介護１・２」では「掃除・洗濯」が 37.8%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」が 31.1%、「見守り、声かけ」が28.9%となっています。「要介護３以上」では「配食」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 35.7%、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「サロンなどの定期的な通いの場」が 21.4%となっています。

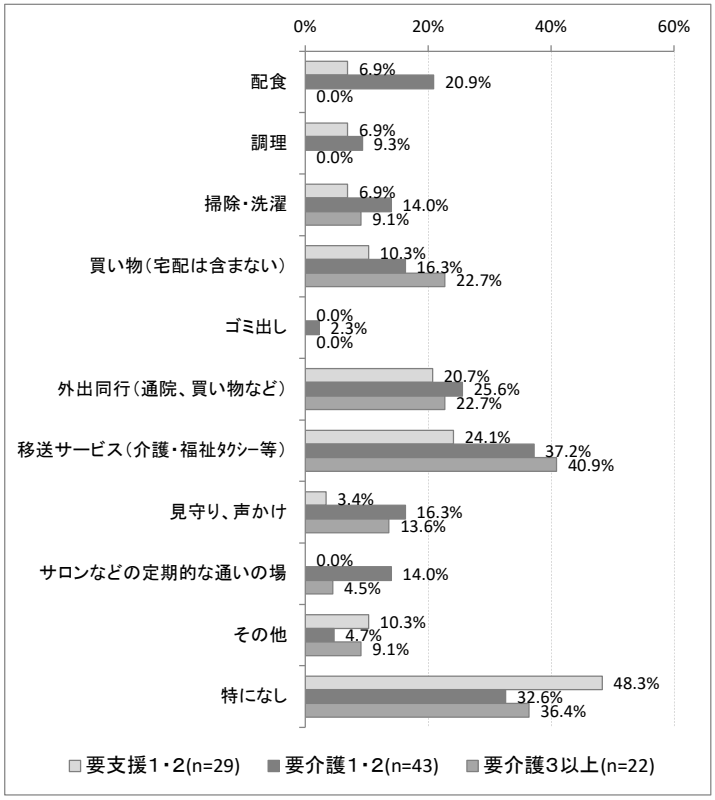
図表 3-10　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が48.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 24.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 20.7%となっています。「要介護１・２」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 37.2%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 32.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が 25.6%となっています。「要介護３以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 40.9%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 36.4%、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」が 22.7%となっています。

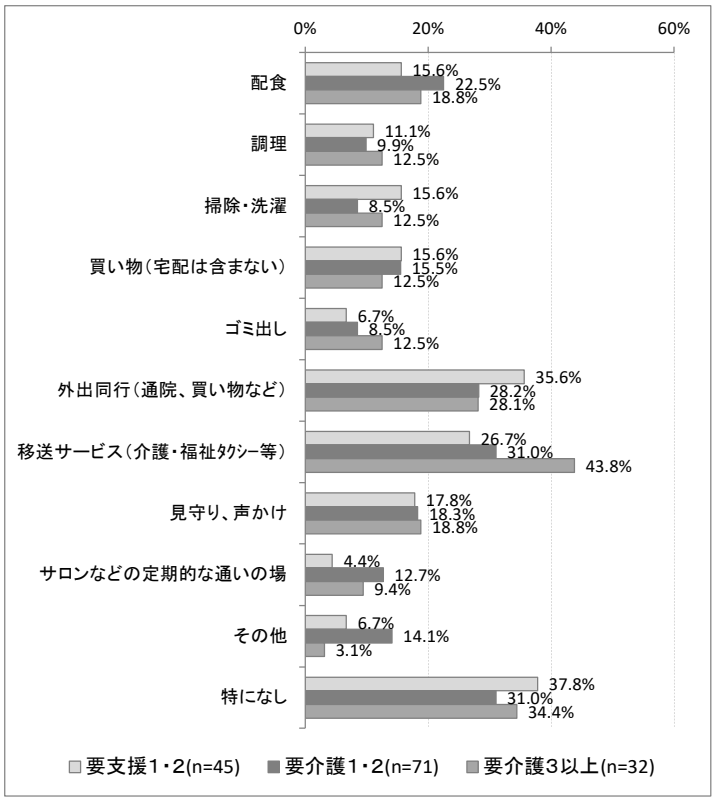
図表 3-11　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が37.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 35.6%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 26.7%となっています。「要介護１・２」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「特になし」が 31.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 28.2%、「配食」が 22.5%となっています。「要介護３以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 43.8%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 34.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が 28.1%となっています。

図表 3-12　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



4　将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。

○　具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。

○　将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

4.2　集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

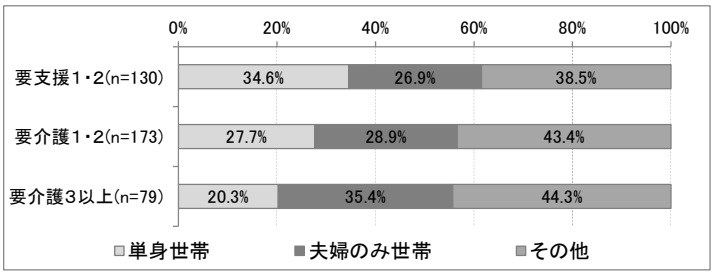
○　「要介護度別の世帯類型の割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています（図表 4-1、図表 4-2）。

○　要介護度の重度化に伴う、世帯類型の変化などを確認してください。

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他」が 38.5%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 34.6%、「夫婦のみ世帯」が 26.9%となっています。「要介護１・２」では「その他」が 43.4%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 28.9%、「単身世帯」が 27.7%となっています。「要介護３以上」では「その他」が 44.3%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 35.4%、「単身世帯」が 20.3%となっています。

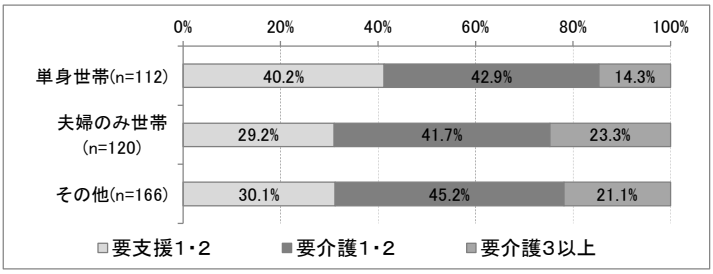
図表 4-1　要介護度別・世帯類型



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護１・２」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」が 40.2%、「要介護３以上」が 14.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「要介護１・２」が 41.7%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」が 29.2%、「要介護３以上」が 23.3%となっています。「その他」では「要介護１・２」が 45.2%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」が 30.1%、「要介護３以上」が 21.1%となっています。

図表 4-2　世帯類型別・要介護度



⑵ 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

【着目すべきポイント】

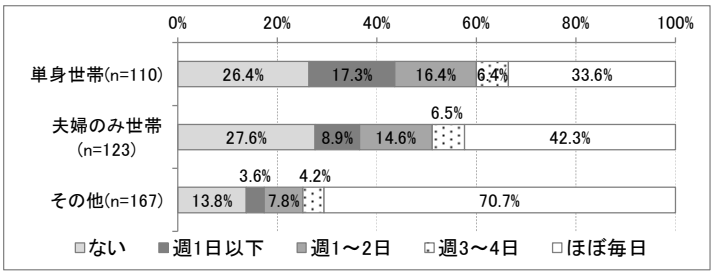
○ 図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。

○ 「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状についてご確認ください。

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ほぼ毎日」が 33.6%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 26.4%、「週 1 日以下」が 17.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が 42.3%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 27.6%、「週 1～2 日」が 14.6%となっています。「その他」では「ほぼ毎日」が 70.7%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 13.8%、「週 1～2 日」が 7.8%となっています。

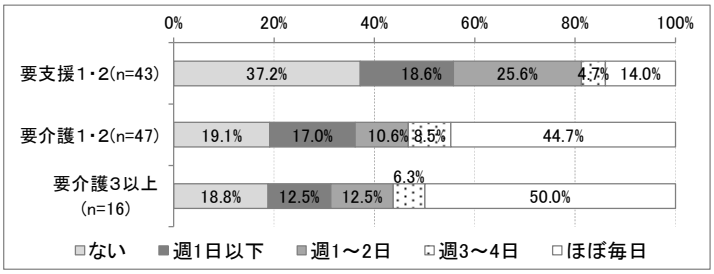
図表 4-3　世帯類型別・家族等による介護の頻度〈***〉



【要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ない」が 37.2%ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 25.6%、「週 1 日以下」が 18.6%となっています。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 44.7%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 19.1%、「週 1 日以下」が 17.0%となっています。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 18.8%、「週 1 日以下」、「週 1～2 日」が 12.5%となっています。

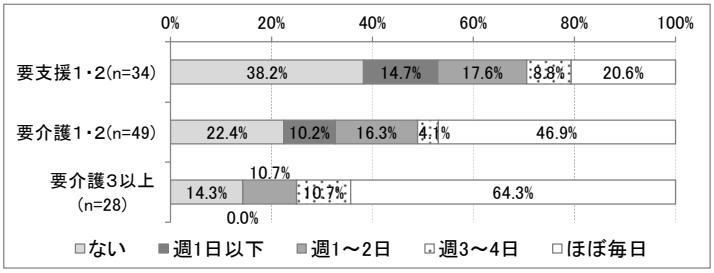
図表 4-4　要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）<+>



【要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ない」が 38.2%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 20.6%、「週 1～2 日」が 17.6%となっています。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 46.9%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 22.4%、「週 1～2 日」が 16.3%となっています。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 64.3%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 14.3%、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 10.7%となっています。

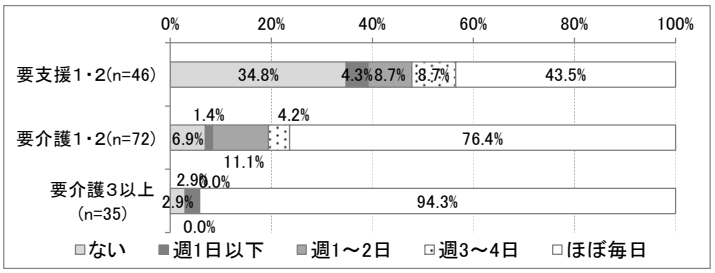
図表 4-5　要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）<*>



【要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ほぼ毎日」が 43.5%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 34.8%、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 8.7%となっています。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 76.4%ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 11.1%、「ない」が 6.9%となっています。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 94.3%ともっとも割合が高く、次いで「ない」、「週 1 日以下」が 2.9%、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 0.0%となっています。

図表 4-6　要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）〈***〉



⑶ 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

【着目すべきポイント】

○ 要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。

○ サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその２つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の３種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。

○ 重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。

○ また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

○ 例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。

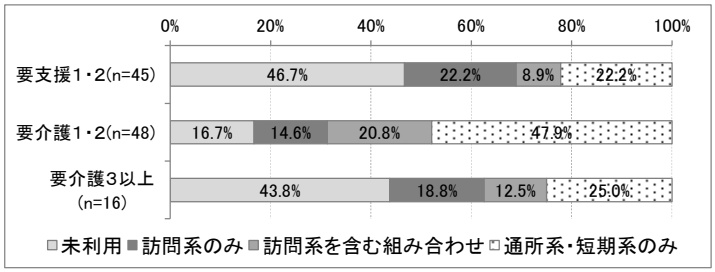
【留意事項】

○ ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 46.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が 22.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が 8.9%となっています。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 47.9%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 20.8%、「未利用」が 16.7%となっています。「要介護３以上」では「未利用」が 43.8%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 25.0%、「訪問系のみ」が 18.8%となっています。

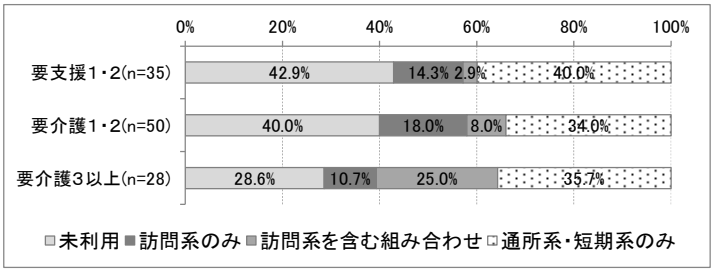
図表 4-7　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）〈*〉



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 40.0%、「訪問系のみ」が 14.3%となっています。「要介護１・２」では「未利用」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 34.0%、「訪問系のみ」が 18.0%となっています。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 35.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 28.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が 25.0%となっています。

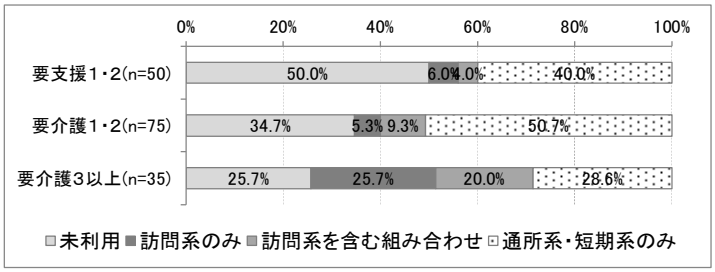
図表 4-8　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 40.0%、「訪問系のみ」が 6.0%となっています。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 50.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 34.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 9.3%となっています。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 28.6%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」が 25.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっています。

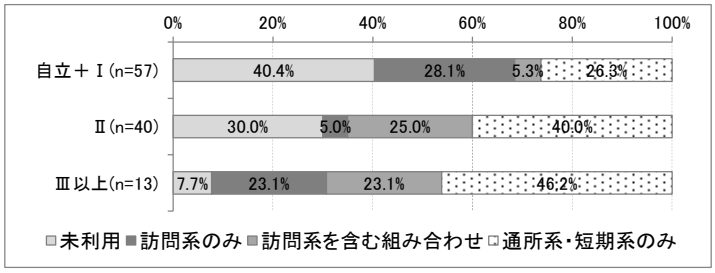
図表 4-9　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）〈***〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 40.4%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が 28.1%、「通所系・短期系のみ」が 26.3%となっています。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 30.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 25.0%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 46.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 23.1%、「未利用」が 7.7%となっています。

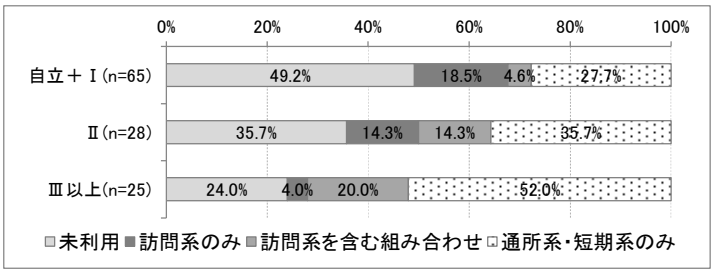
図表 4-10　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）〈**〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 49.2%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 27.7%、「訪問系のみ」が 18.5%となっています。「Ⅱ」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が 35.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 14.3%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 52.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 24.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっています。

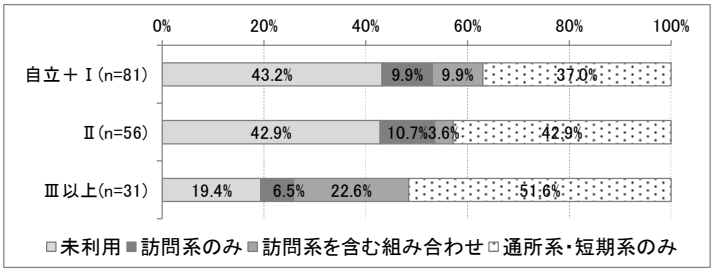
図表 4-11　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）〈*〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が 43.2%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 37.0%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 9.9%となっています。「Ⅱ」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が 10.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 3.6%となっています。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 51.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 22.6%、「未利用」が 19.4%となっています。

図表 4-12　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）<+>



⑷ 「要介護度別・認知症自立度別別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

【着目すべきポイント】

○ ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。

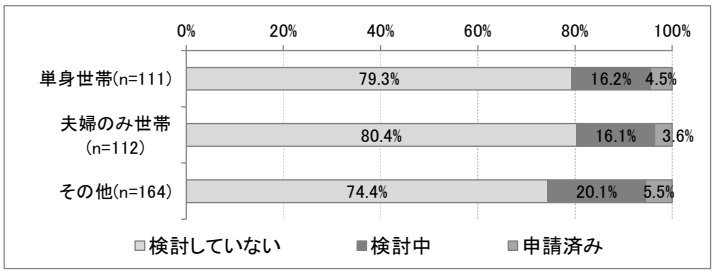
○ 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○ ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

【世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 79.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.2%、「申請済み」が 4.5%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 80.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.1%、「申請済み」が 3.6%となっています。「その他」では「検討していない」が 74.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.1%、「申請済み」が 5.5%となっています。

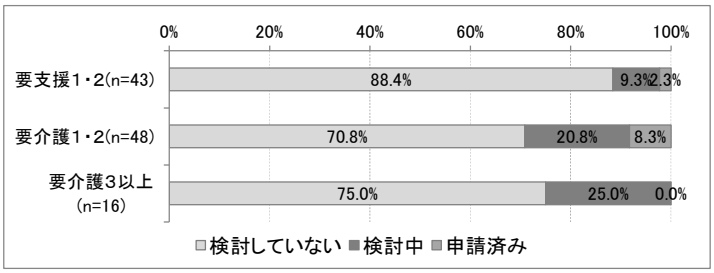
図表 4-13　世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 88.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 9.3%、「申請済み」が 2.3%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 70.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.8%、「申請済み」が 8.3%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 25.0%、「申請済み」が 0.0%となっています。

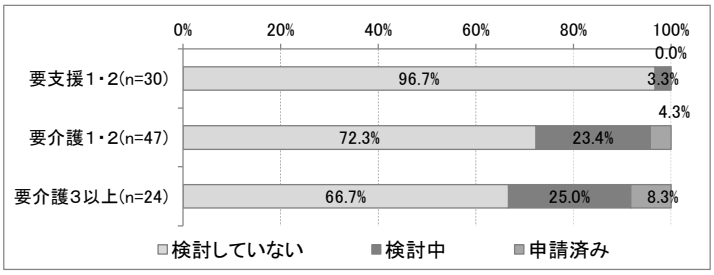
図表 4-14　要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 96.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 3.3%、「申請済み」が 0.0%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 72.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 23.4%、「申請済み」が 4.3%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 25.0%、「申請済み」が 8.3%となっています。

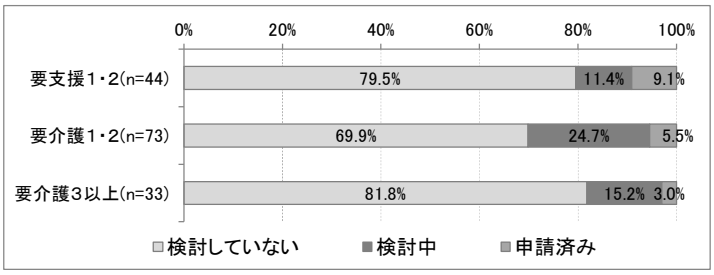
図表 4-15　要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）〈*〉



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 79.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 11.4%、「申請済み」が 9.1%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 69.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 24.7%、「申請済み」が 5.5%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 81.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 15.2%、「申請済み」が 3.0%となっています。

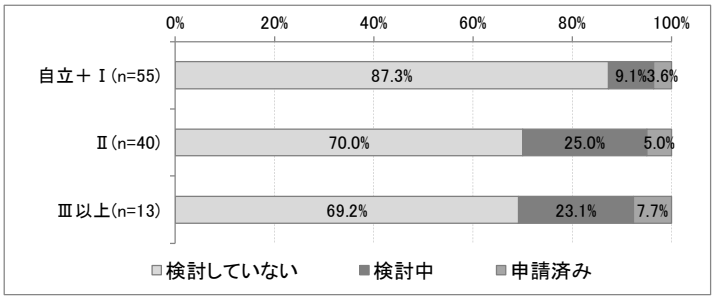
図表 4-16　要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 87.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 9.1%、「申請済み」が 3.6%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が 70.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 25.0%、「申請済み」が 5.0%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が 69.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 23.1%、「申請済み」が 7.7%となっています。

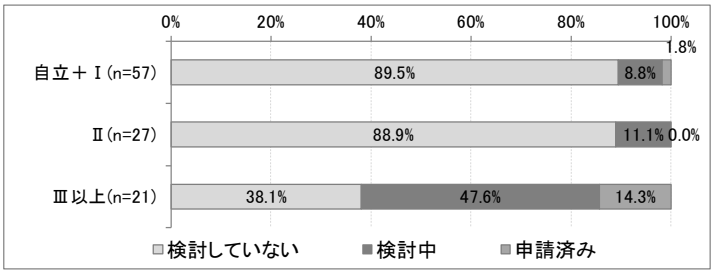
図表 4-17　認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 89.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 8.8%、「申請済み」が 1.8%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が 88.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 11.1%、「申請済み」が 0.0%となっています。「Ⅲ以上」では「検討中」が 47.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が 38.1%、「申請済み」が 14.3%となっています。

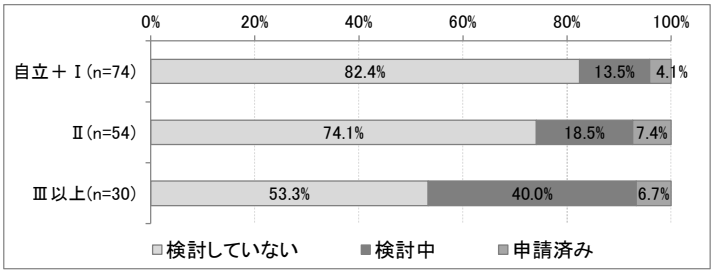
図表 4-18　認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）〈***〉



【認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 82.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 13.5%、「申請済み」が 4.1%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が 74.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 18.5%、「申請済み」が 7.4%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が 53.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 40.0%、「申請済み」が 6.7%となっています。

図表 4-19　認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）〈*〉



5　医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。

○　具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2　集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

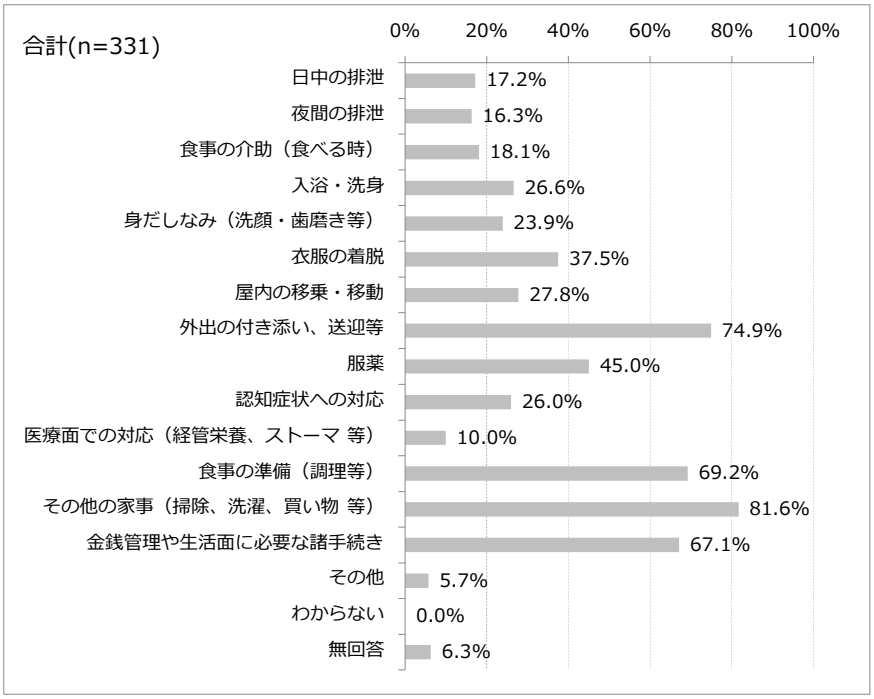
○　「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。

○　ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握することができます。

【★主な介護者が行っている介護】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 81.6%となっています。次いで、「外出の付き添い、送迎等（74.9%）」、「食事の準備（調理等）（69.2%）」となっています。

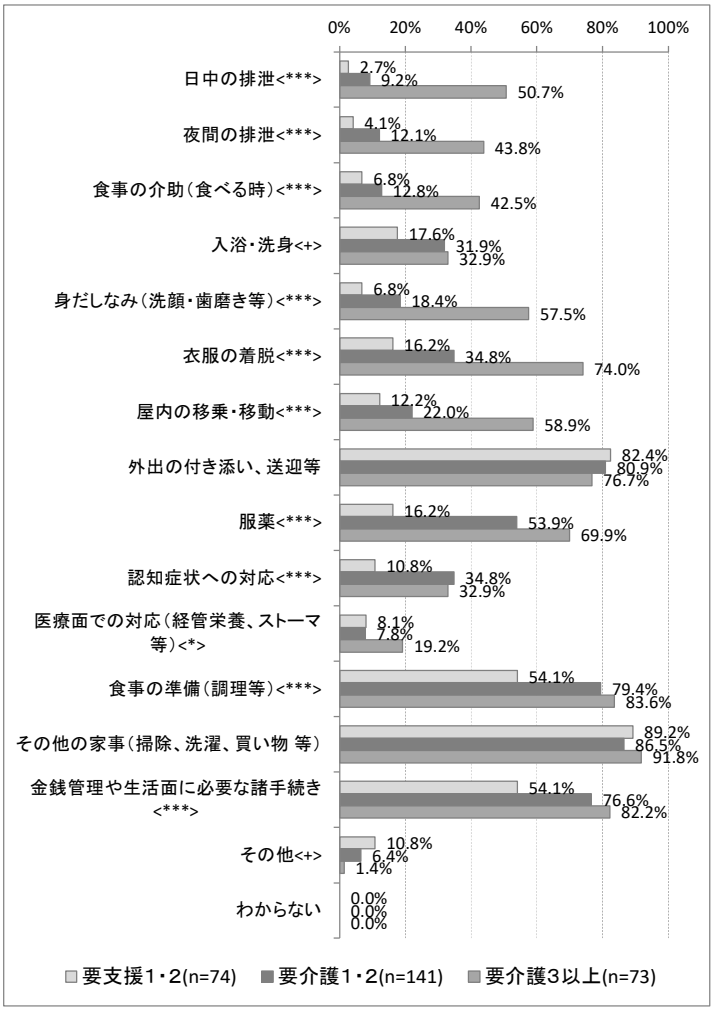
図表 5-1　★主な介護者が行っている介護



【要介護度別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 89.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 82.4%、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 54.1%となっています。「要介護１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 86.5%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 80.9%、「食事の準備（調理等）」が 79.4%となっています。「要介護３以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 91.8%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 83.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 82.2%となっています。

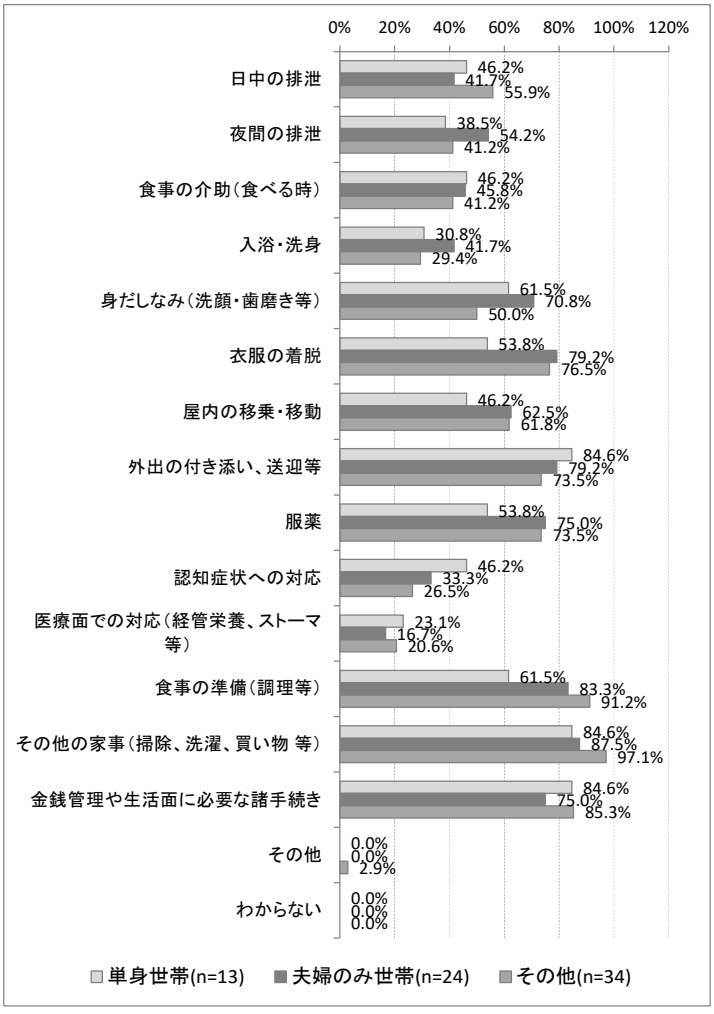
図表 5-2　要介護度別・★主な介護者が行っている介護



【世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護３以上）】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 84.6%ともっとも割合が高く、次いで「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「食事の準備（調理等）」が 61.5%、「衣服の着脱」、「服薬」が 53.8%となっています。「夫婦のみ世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 87.5%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 83.3%、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」が 79.2%となっています。「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 97.1%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 91.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 85.3%となっています。

図表 5-3　世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護３以上）



⑵ 訪問診療の利用割合

【着目すべきポイント】

○ 「訪問診療の利用の有無」について、世帯類型別・要介護度別の集計を行っています（図表 5-4～図表 5-6）。

○ 特に、「要介護度別の訪問診療の利用割合」を「将来の要介護度別の在宅療養者数」に乗じることで、「将来の在宅における訪問診療の利用者数」の粗推計を行うことも可能です。

【留意事項】

○ ここでの「訪問診療」には、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれていません。

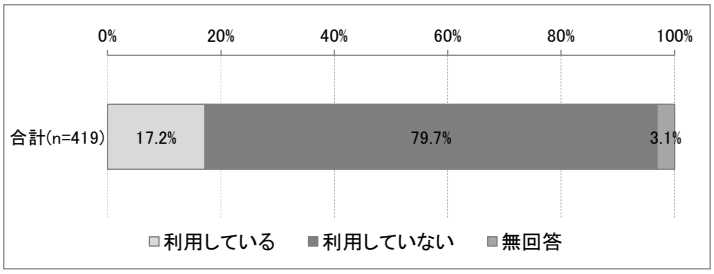
○ また、上述の「将来の在宅における訪問診療の利用者数」を推計方法は、現在の訪問診療の利用割合を前提としたものであり、地域の状況の変化によっては誤差が大きくなることが想定されます。粗推計のための手法である点については、注意が必要です。

○ 必要に応じて、地域医療構想の検討における「2025 年の在宅医療等で対応が必要な医療需要」の需要量予測の結果等もご覧ください。

【★訪問診療の利用の有無】

「利用していない」の割合が最も高く 79.7%となっています。次いで、「利用している（17.2%）」となっています。

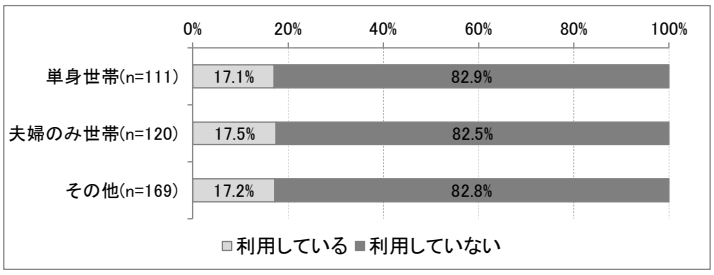
図表 5-4 ★訪問診療の利用の有無



【世帯類型別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 82.9%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 17.1%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 82.5%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 17.5%となっています。「その他」では「利用していない」が 82.8%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 17.2%となっています。

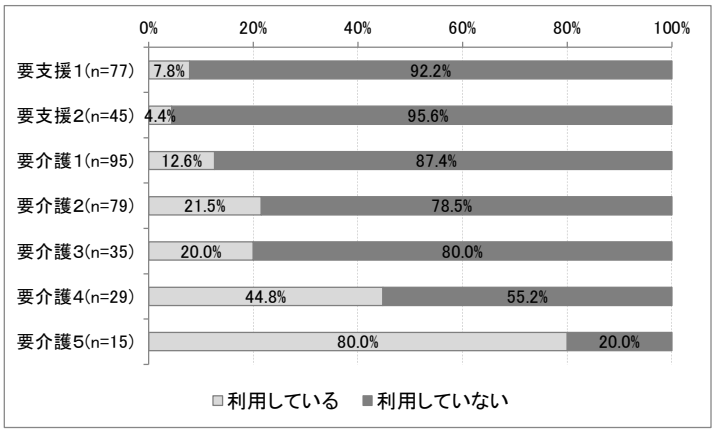
図表 5-5　世帯類型別・★訪問診療の利用割合



【要介護度別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援１」では「利用していない」が 92.2%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 7.8%となっています。「要支援２」では「利用していない」が 95.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 4.4%となっています。「要介護１」では「利用していない」が 87.4%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 12.6%となっています。「要介護２」では「利用していない」が 78.5%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 21.5%となっています。「要介護３」では「利用していない」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 20.0%となっています。「要介護４」では「利用していない」が 55.2%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 44.8%となっています。「要介護５」では「利用している」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が 20.0%となっています。

図表 5-6　要介護度別・★訪問診療の利用割合〈***〉



⑶ 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

【着目すべきポイント】

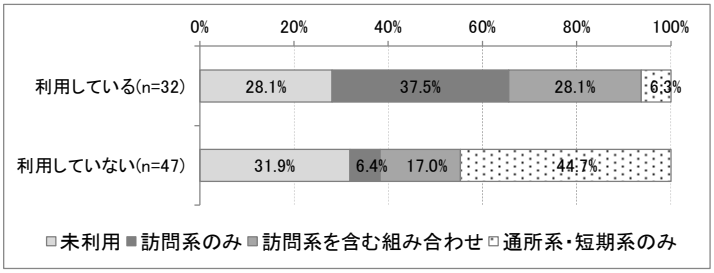
○　訪問診療の利用の有無別に、要介護３以上の「サービス利用の組み合わせ」を集計しています（図表 5-7）。

○　特に、今後在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる地域では、今後どのようなサービスに対する利用ニーズが高まるかを予測することにもつながります。

【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護３以上）】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系のみ」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 28.1%、「通所系・短期系のみ」が 6.3%となっています。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が 44.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 31.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が 17.0%となっています。

図表 5-7　★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護３以上）〈***〉



⑷ 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

【着目すべきポイント】

○　訪問診療の利用の有無別に、要介護３以上について、訪問系・通所系・短期系のそれぞれのサービス利用の有無を集計しています（図表 5-8～図表 5-10）。

○　地域によっては、例えば「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない場合に、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なることも想定されます。

【留意事項】

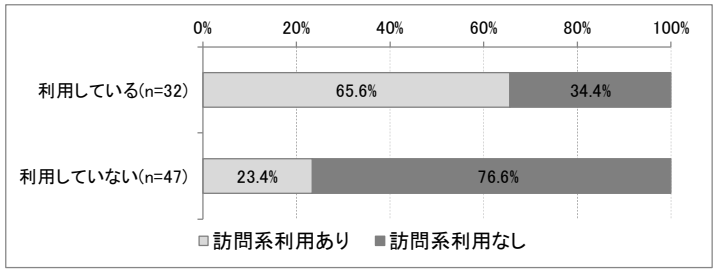
○　上記の例のように、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なる場合についても、必ずしも「「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない」ことに原因があるとは限りません。

○　集計分析結果の解釈は、地域の実情等に照らし合わせながら、専門職を含む関係者間での議論・考察を経て行うことが必要です。

【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護３以上）】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が 65.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系利用なし」が 34.4%となっています。「利用していない」では「訪問系利用なし」が 76.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系利用あり」が 23.4%となっています。

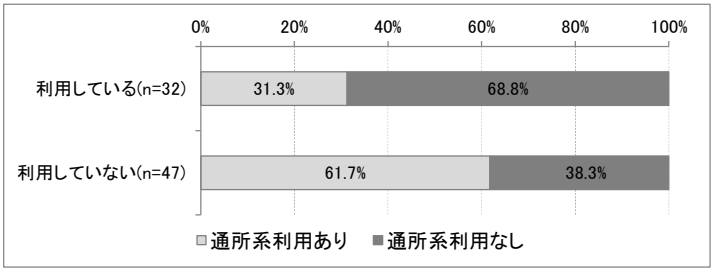
図表 5-8　★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護３以上）〈***〉



【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護３以上)】

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が 68.8%ともっとも割合が高く、次いで「通所系利用あり」が 31.3%となっています。「利用していない」では「通所系利用あり」が 61.7%ともっとも割合が高く、次いで「通所系利用なし」が 38.3%となっています。

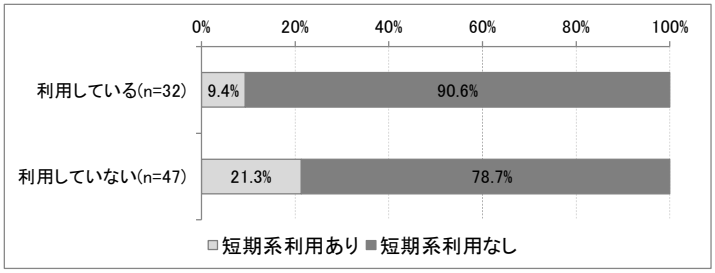
図表 5-9　★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護３以上）〈**〉



【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護３以上)】

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が 90.6%ともっとも割合が高く、次いで「短期系利用あり」が 9.4%となっています。「利用していない」では「短期系利用なし」が 78.7%ともっとも割合が高く、次いで「短期系利用あり」が 21.3%となっています。

図表 5-10　★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護３以上）



6　サービス未利用の理由など

6.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。

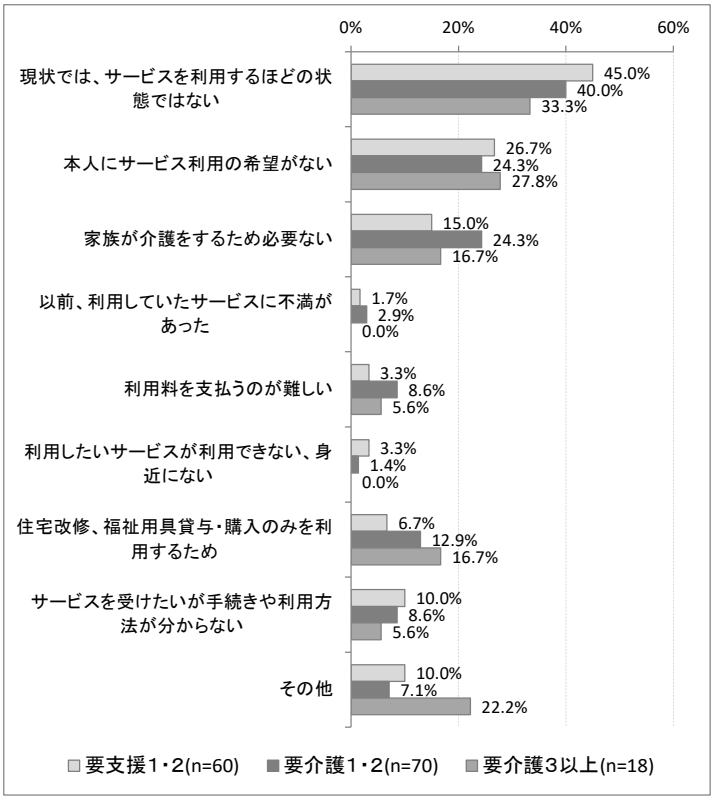
6.2　集計結果（参考）

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【要介護度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 26.7%、「家族が介護をするため必要ない」が 15.0%となっています。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 24.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 12.9%となっています。「要介護３以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 27.8%、「その他」が 22.2%となっています。

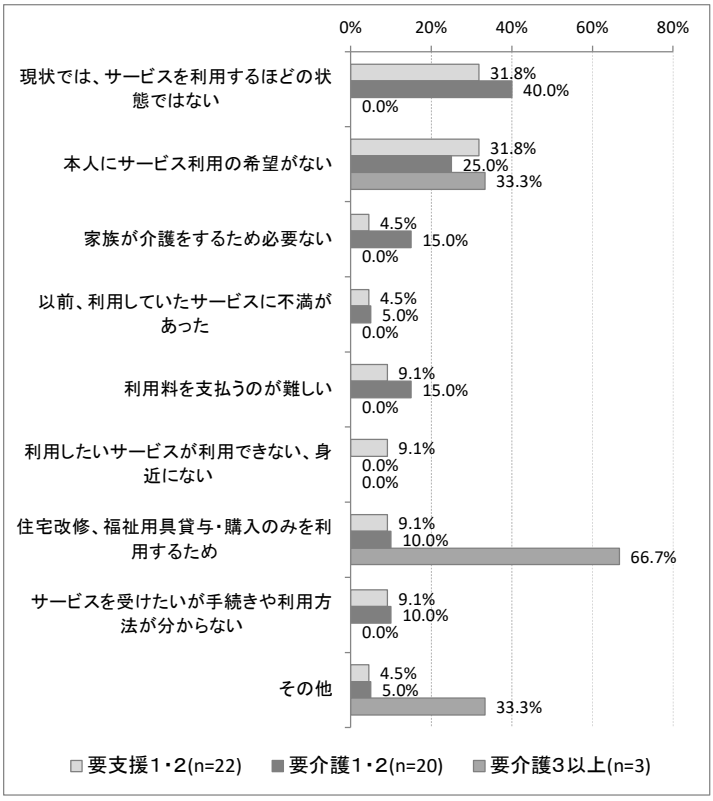
図表 6-1　要介護度別の★サービス未利用の理由



【要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 31.8%ともっとも割合が高く、次いで「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 9.1%、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「その他」が 4.5%となっています。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 25.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が 15.0%となっています。「要介護３以上」では「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 33.3%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 0.0%となっています。

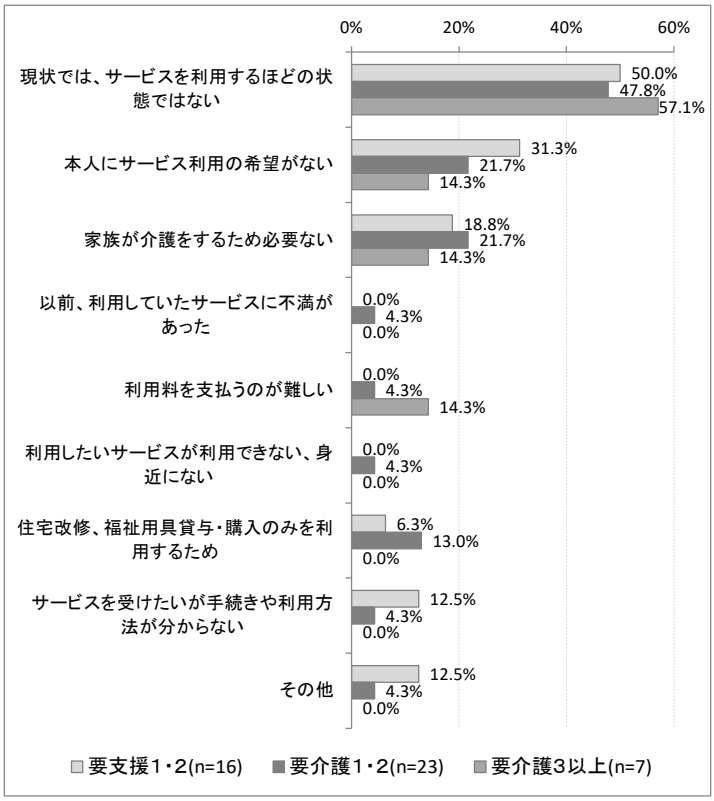
図表 6-2　要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 31.3%、「家族が介護をするため必要ない」が 18.8%となっています。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 47.8%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 21.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 13.0%となっています。「要介護３以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が 14.3%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0%となっています。

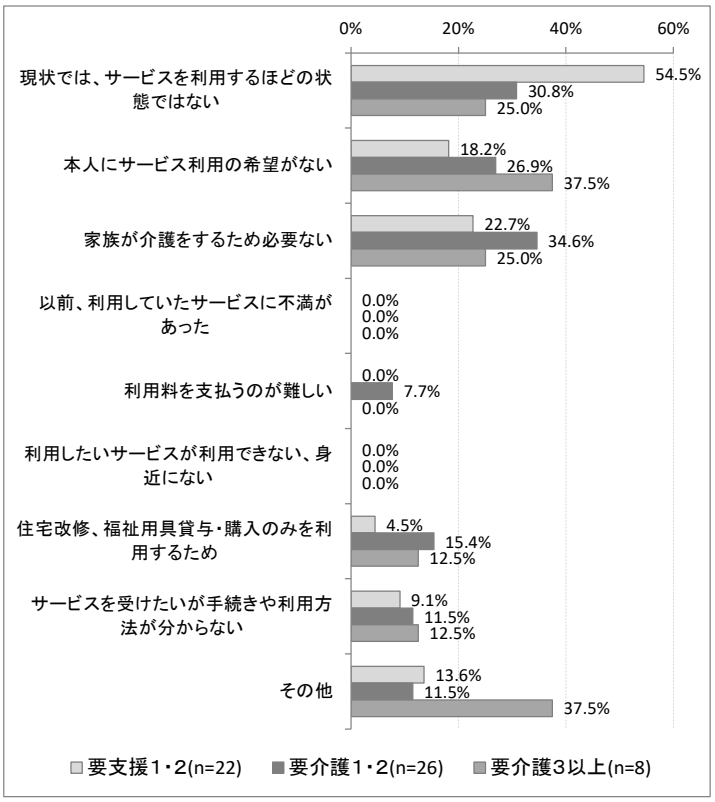
図表 6-3　要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 54.5%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 22.7%、「本人にサービス利用の希望がない」が 18.2%となっています。「要介護１・２」では「家族が介護をするため必要ない」が 34.6%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 30.8%、「本人にサービス利用の希望がない」が 26.9%となっています。「要介護３以上」では「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 25.0%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 12.5%となっています。

図表 6-4　要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

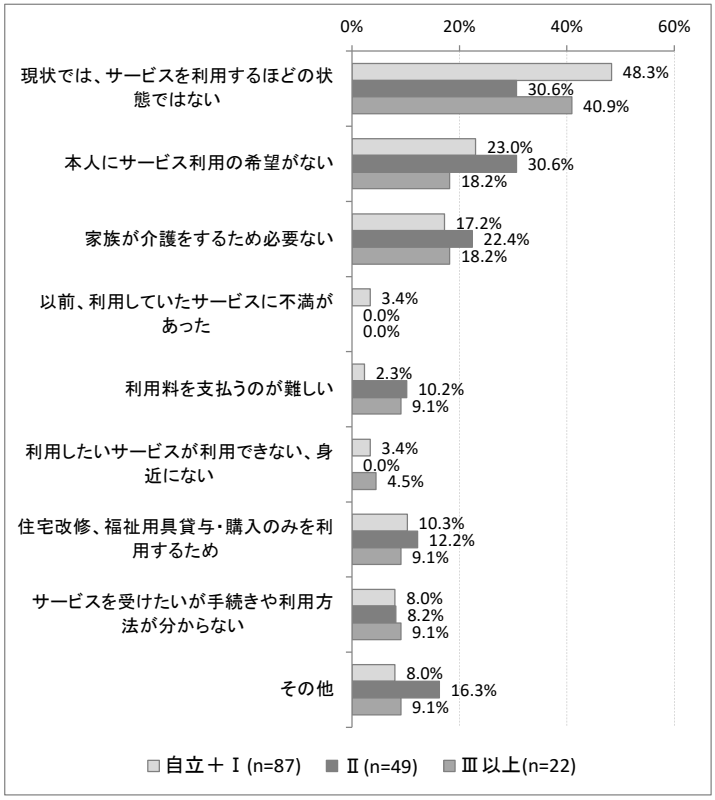


⑵ 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 48.3%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 23.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 17.2%となっています。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 30.6%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 22.4%、「その他」が 16.3%となっています。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 40.9%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 18.2%、「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 9.1%となっています。

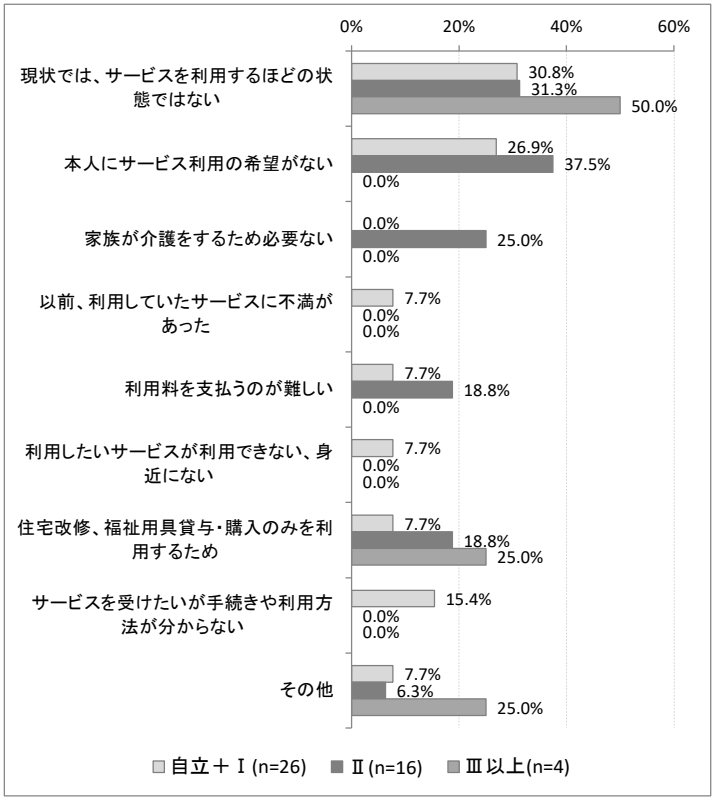
図表 6-5　認知症自立度別の★サービス未利用の理由



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 30.8%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 26.9%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 15.4%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 31.3%、「家族が介護をするため必要ない」が 25.0%となっています。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が 25.0%、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 0.0%となっています。

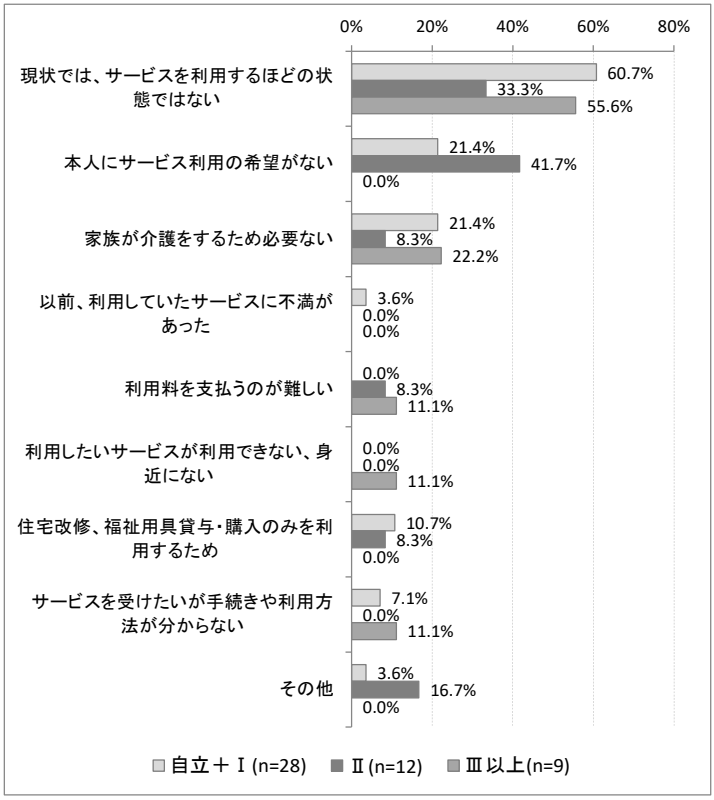
図表 6-6　認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 60.7%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 21.4%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 10.7%となっています。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が 41.7%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 33.3%、「その他」が 16.7%となっています。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 55.6%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 22.2%、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 11.1%となっています。

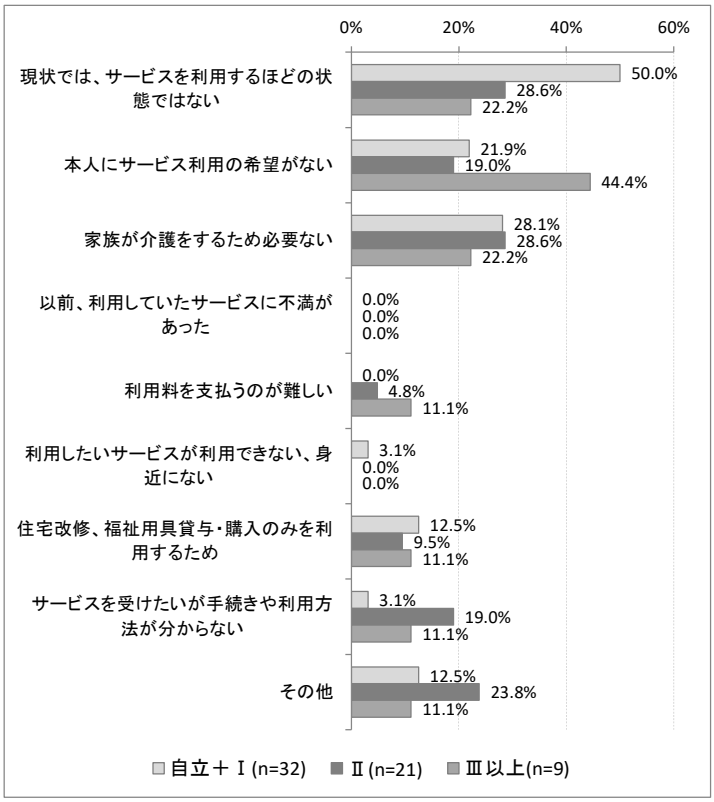
図表 6-7　認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 28.1%、「本人にサービス利用の希望がない」が 21.9%となっています。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 28.6%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が 23.8%、「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 19.0%となっています。「Ⅲ以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 22.2%、「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 11.1%となっています。

図表 6-8　認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

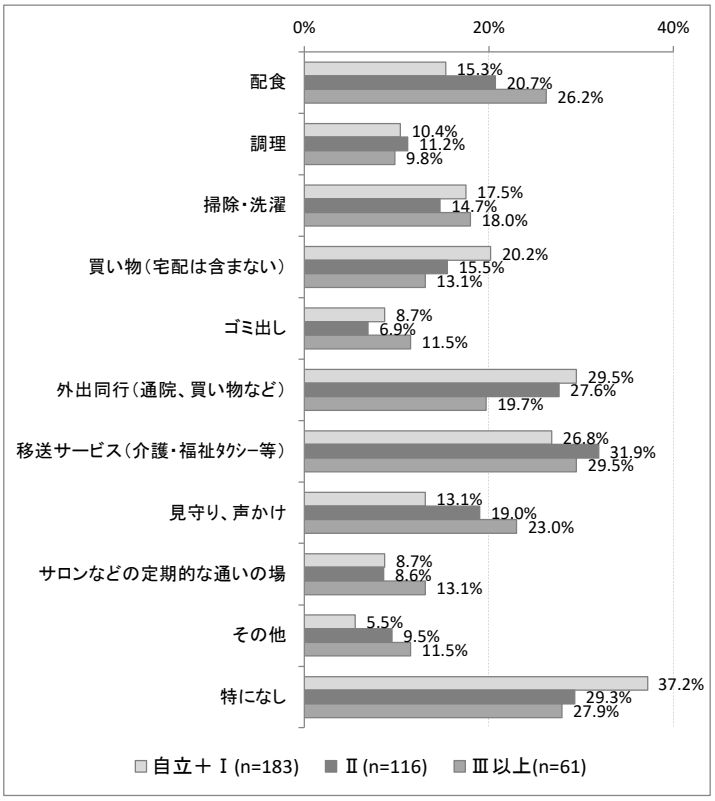


⑶ 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が37.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 29.5%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 26.8%となっています。「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が31.9%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 29.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が27.6%となっています。「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 29.5%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 27.9%、「配食」が 26.2%となっています。

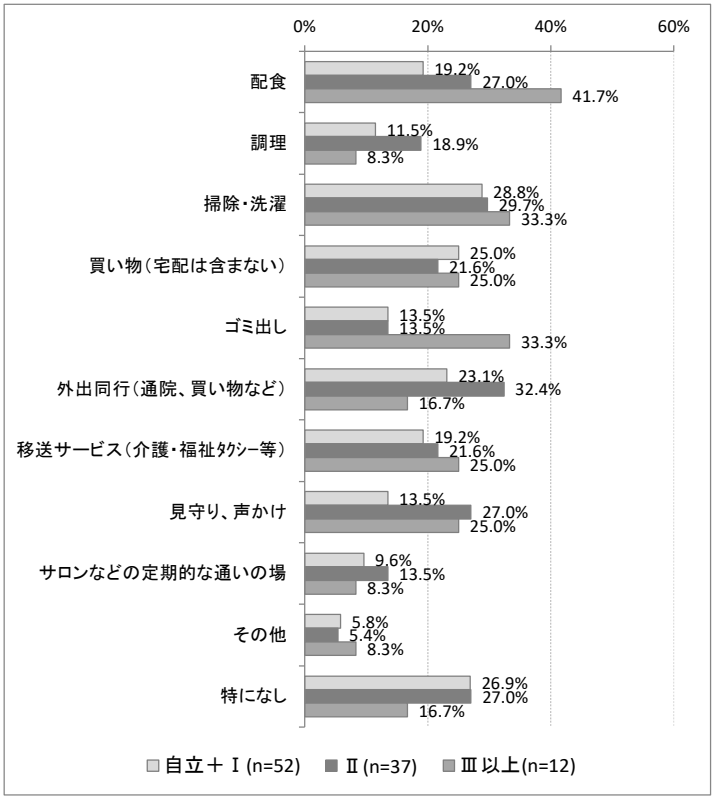
図表 6-9　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「掃除・洗濯」が 28.8%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 26.9%、「買い物（宅配は含まない）」が 25.0%となっています。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が 32.4%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が 29.7%、「配食」、「見守り、声かけ」、「特になし」が 27.0%となっています。「Ⅲ以上」では「配食」が 41.7%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」が 33.3%、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「見守り、声かけ」が 25.0%となっています。

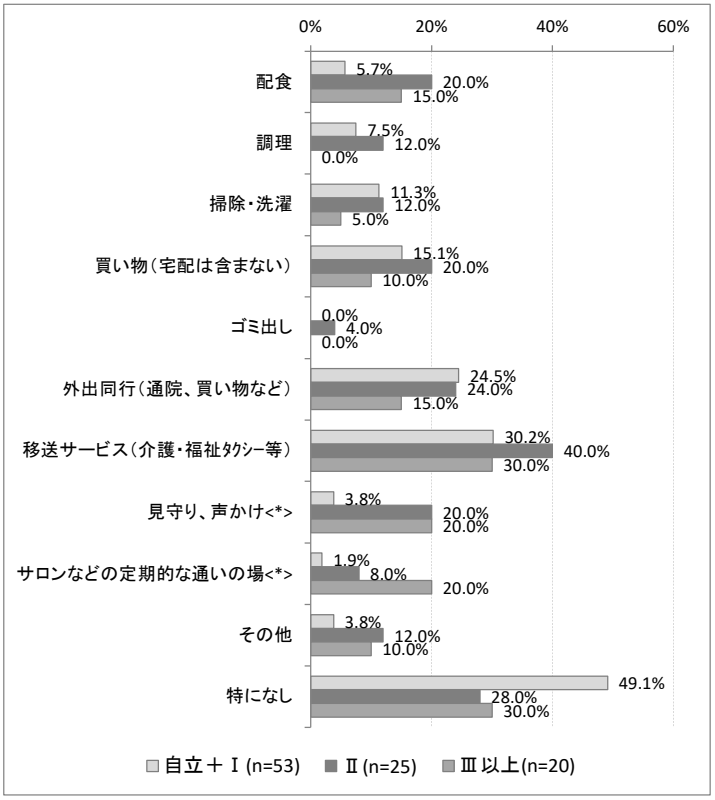
図表 6-10　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が49.1%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 30.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が 24.5%となっています。「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 28.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.0%となっています。「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「特になし」が 30.0%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」が 20.0%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が 15.0%となっています。

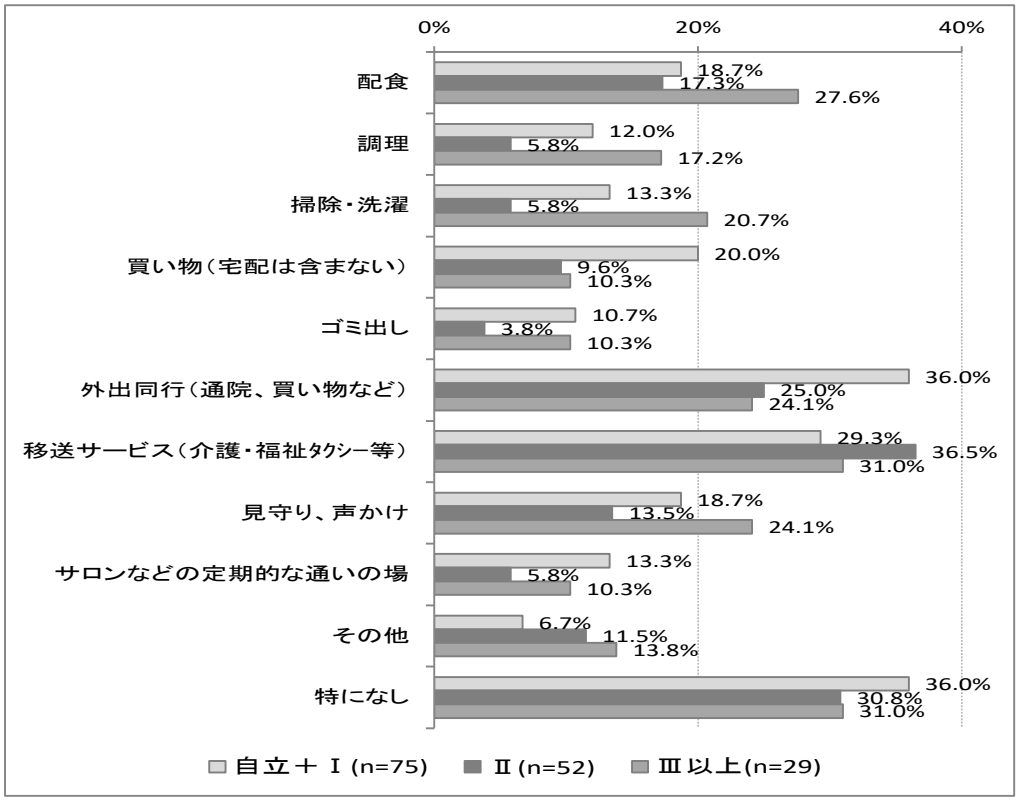
図表 6-11　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出同行（通院、買い物など）」、「特になし」が 36.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 29.3%、「買い物（宅配は含まない）」が 20.0%となっています。「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 36.5%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 30.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が 25.0%となっています。「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「特になし」が 31.0%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 27.6%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が 24.1%となっています。

図表 6-12　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

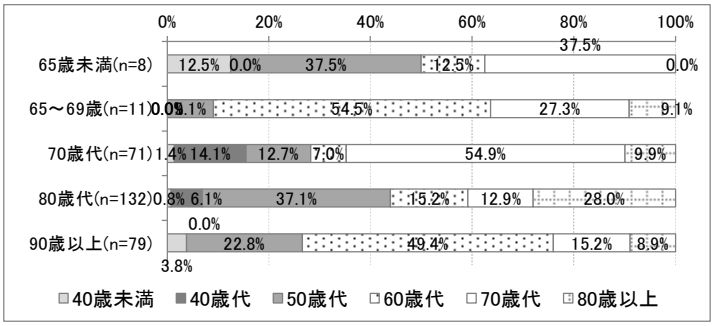


⑷ 本人の年齢別・主な介護者の年齢

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65 歳未満」では「50 歳代」、「70 歳代」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「40 歳未満」、「60 歳代」が 12.5%、「40 歳代」、「80 歳以上」が 0.0%となっています。「65～69 歳」では「60 歳代」が 54.5%ともっとも割合が高く、次いで「70 歳代」が 27.3%、「50 歳代」、「80 歳以上」が 9.1%となっています。「70 歳代」では「70 歳代」が 54.9%ともっとも割合が高く、次いで「40 歳代」が 14.1%、「50 歳代」が 12.7%となっています。「80 歳代」では「50 歳代」が 37.1%ともっとも割合が高く、次いで「80 歳以上」が 28.0%、「60 歳代」が 15.2%となっています。「90 歳以上」では「60 歳代」が 49.4%ともっとも割合が高く、次いで「50 歳代」が 22.8%、「70 歳代」が 15.2%となっています..。

図表 6-13　本人の年齢別・主な介護者の年齢<***>

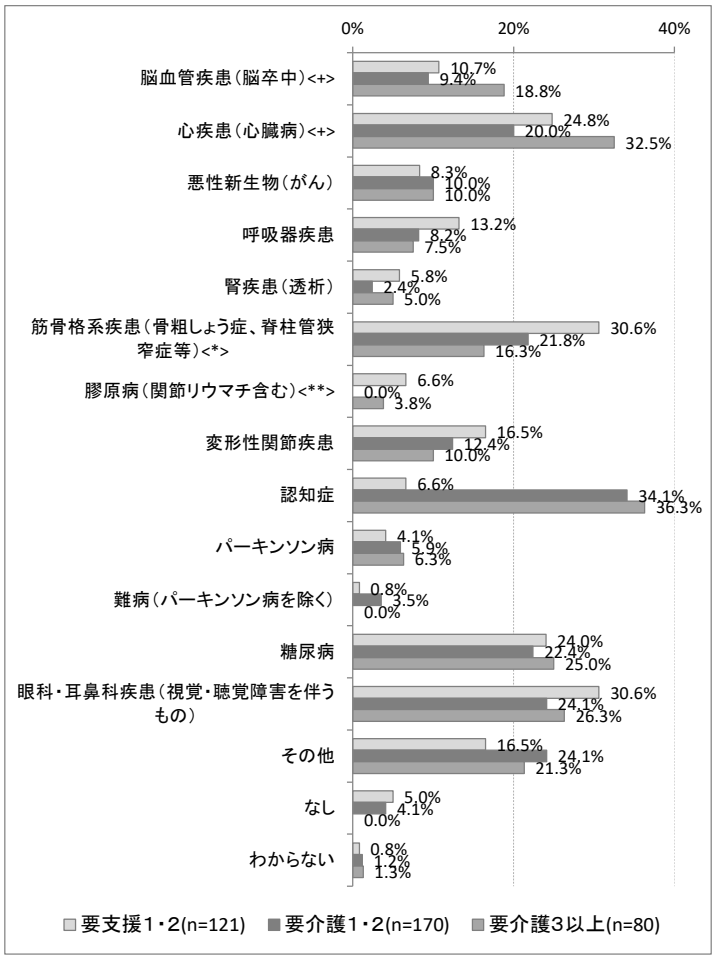


⑸ 要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 30.6%ともっとも割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が 24.8%、「糖尿病」が 24.0%となっています。「要介護１・２」では「認知症」が 34.1%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、「その他」が 24.1%、「糖尿病」が 22.4%となっています。「要介護３以上」では「認知症」が 36.3%ともっとも割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が 32.5%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 26.3%となっています..。

図表 6-14　要介護度別・★抱えている傷病

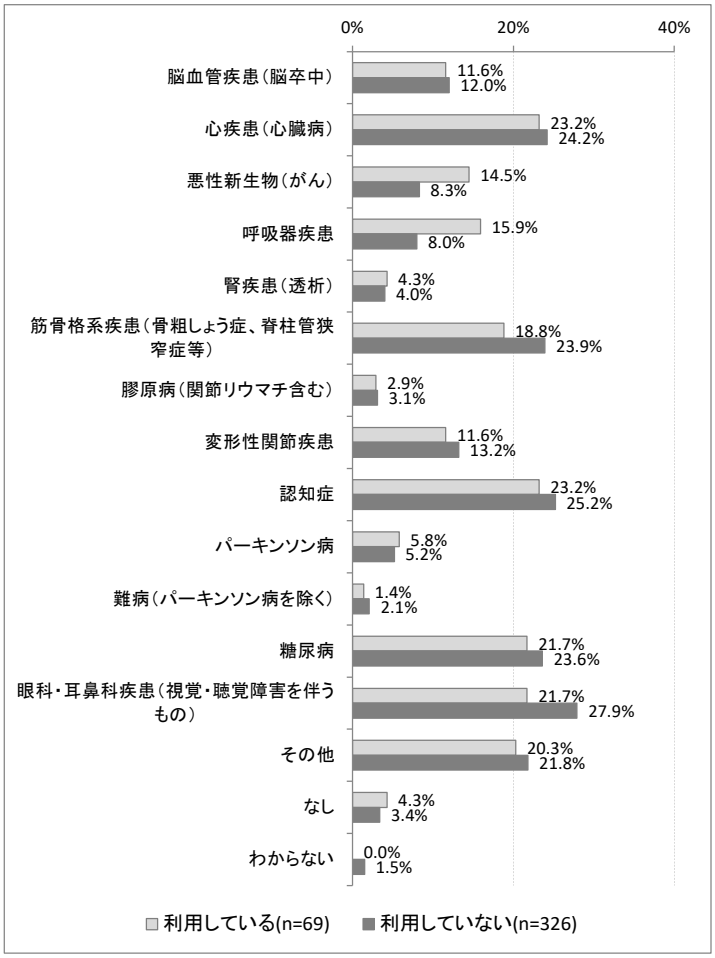


⑹ 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「心疾患（心臓病）」、「認知症」が 23.2%ともっとも割合が高く、次いで「糖尿病」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 21.7%、「その他」が 20.3%となっています。「利用していない」では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 27.9%ともっとも割合が高く、次いで「認知症」が 25.2%、「心疾患（心臓病）」が 24.2%となっています。

図表 6-15　★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病



Ⅳ　介護サービス事業所調査

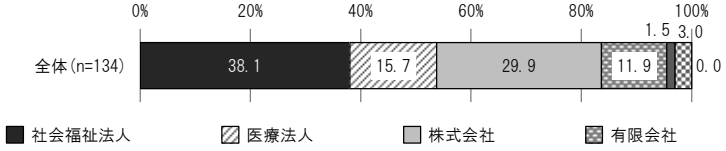
1 基本調査

（1）事業所の概要

貴事業所の概要についてお答えください。

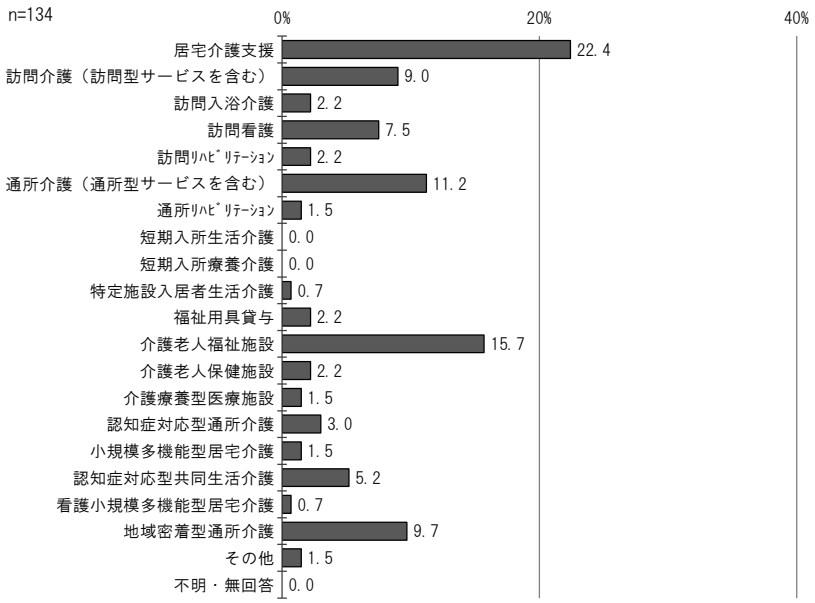
【法人の種類（１つに○）】

「社会福祉法人」が 38.1％で最も多く、「株式会社」（29.9％）、「医療法人」（15.7％）、「有限会社」（11.9％）が続きます。



【実施事業（介護予防を含む）（１つに○）】

「居宅介護支援」が 22.4％で最も多く、「介護老人福祉施設」（15.7％）、「通所介護（通所型サービスを含む）」（11.2％）、「地域密着型通所介護」（9.7％）が続きます。



【職員体制】

総数=(134)　(単位：人)

	正職員			非正規職員												登録ヘルパー		
							(うち派遣職員)			(うち EPA 等外国人)			(うちその他)					
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
居宅介護支援	34	57	91	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-	-
訪問介護（訪問型サービスを含む）	15	33	48	7	55	62	1	2	3	0	0	0	0	1	1	3	76	79
訪問入浴介護	7	7	14	2	24	26	0	1	1	0	0	0	2	6	8	0	-	-
訪問看護	16	48	64	3	23	26	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	-	-
訪問リハビリテーション	26	16	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
通所介護（通所型サービスを含む）	28	44	72	60	168	228	0	0	0	0	2	2	9	19	28	0	-	-
通所リハビリテーション	16	19	35	7	11	18	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	-	-
特定施設入居者生活介護	1	4	5	2	16	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
福祉用具貸与	12	5	17	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
介護老人福祉施設	488	512	1,000	133	454	587	3	12	15	6	30	36	4	21	25	0	-	-
介護老人保健施設	104	150	254	2	37	39	1	2	3	0	3	3	1	5	6	0	-	-
介護療養型医療施設	13	39	52	7	15	22	0	0	0	0	4	4	7	5	12	0	-	-
認知症対応型通所介護	6	14	20	8	47	55	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	-	-
小規模多機能型居宅介護	3	5	8	6	23	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
認知症対応型共同生活介護	7	17	24	7	58	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
看護小規模多機能型居宅介護	5	3	8	3	12	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
地域密着型通所介護	11	26	37	7	46	53	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	-	-
その他	23	53	76	19	20	39	0	0	0	0	0	0	18	12	30	0	-	-
合計	815	1,052	1,867	274	1,021	1,295	5	17	22	6	39	45	42	85	127	3	76	79

【介護職員の勤続年数】

「４～９年」が 38.4%で最も多く、「10 年以上」（27.5%）、「２～３年」（20.3%）、「１年以下」（13.7%）が続きます。

サービス系統別にみると、下記グラフのような結果となりました。

%		１年以下	２～３年	４～９年	10年以上
サービス別	全体(n=1,928)	13.7	20.3	38.4	27.5
	居宅介護支援(n=43)	-	18.6	25.6	55.8
	訪問系サービス(n=243)	9.5	23.5	39.9	27.2
	通所系サービス(n=325)	13.8	20.9	44.3	20.9
	施設系サービス(n=1,266)	15.3	19.2	36.2	29.3
	小規模多機能型居宅介護(n=42)	7.1	31.0	57.1	4.8
	福祉用具貸与(n=9)	-	33.3	66.7	-

【介護職員以外の勤続年数】

「10 年以上」が 31.7%で最も多く、「４～９年」（30.8%）、「２～３年」（19.5%）、「１年以下」（18.0%）が続きます。

サービス系統別にみると、下記グラフのような結果となりました。

%		１年以下	２～３年	４～９年	10年以上
サービス別	全体(n=1,231)	18.0	19.5	30.8	31.7
	居宅介護支援(n=50)	12.0	20.0	40.0	28.0
	訪問系サービス(n=110)	16.4	29.1	28.2	26.4
	通所系サービス(n=181)	19.9	27.6	35.9	16.6
	施設系サービス(n=860)	18.6	16.2	29.4	35.8
	小規模多機能型居宅介護(n=18)	5.6	27.8	44.4	22.2
	福祉用具貸与(n=12)	8.3	33.3	16.7	41.7

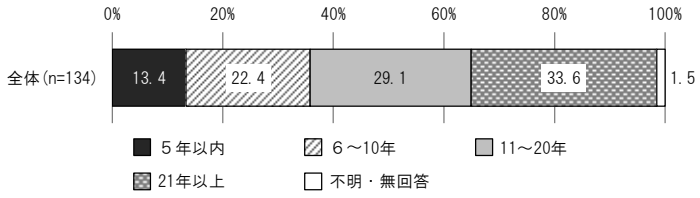
介護サービス別の職員の勤務年数

n=(134)　(単位：人)

	介護職員					介護職員以外				
	1年以下	2～3年	4～9年	10年以上	合計	1年以下	2～3年	4～9年	10年以上	合計
居宅介護支援	0	8	11	24	43	6	10	20	14	50
訪問介護（訪問型サービスを含む）	9	39	68	45	161	3	7	5	6	21
訪問入浴介護	10	7	5	2	24	6	4	4	2	16
訪問看護	4	9	23	15	51	5	11	11	9	36
訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	0	2	1	4	7	4	10	11	12	37
通所介護（通所型サービスを含む）	30	41	88	43	202	26	32	43	15	116
通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	5	6	8	6	25	2	4	6	4	16
特定施設入居者生活介護	0	5	8	6	19	0	0	1	3	4
福祉用具貸与	0	3	6	0	9	1	4	2	5	12
介護老人福祉施設	141	177	317	294	929	107	108	167	223	605
介護老人保健施設	22	23	65	37	147	23	23	34	50	130
介護療養型医療施設	8	4	4	8	24	10	5	13	22	50
認知症対応型通所介護	6	12	25	15	58	4	3	6	2	15
小規模多機能型居宅介護	1	10	15	2	28	0	2	3	4	9
認知症対応型共同生活介護	17	23	42	11	93	1	0	4	0	5
看護小規模多機能型居宅介護	2	3	9	0	14	1	3	5	0	9
地域密着型通所介護	4	13	31	12	60	4	11	10	9	34
その他	6	7	14	7	34	19	3	34	10	66
合計	265	392	740	531	1,928	222	240	379	390	1,231

【開設年月日】

「21 年以上」が 33.6%で最も多く、「11～20 年」（29.1%）、「6～10 年」（22.4%）、「5年以内」（13.4%）が続きます。



（2）利用者数

貴事業所（または貴施設）の利用者数を御記入ください。

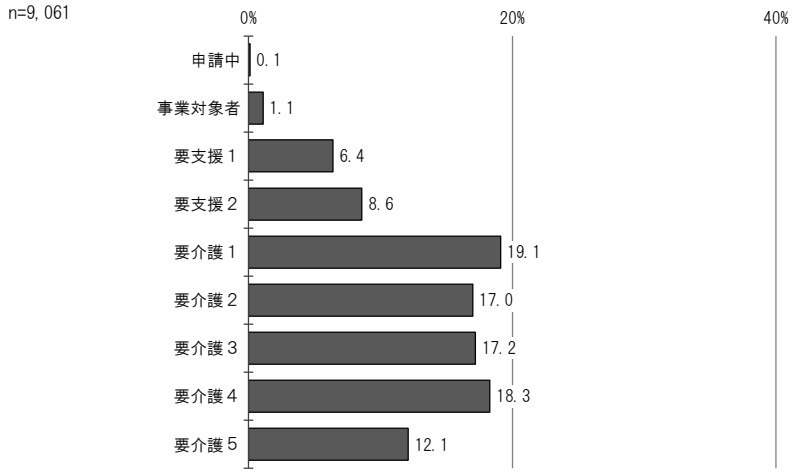
介護サービス別の利用者数及びその合計

				総数=(134)　上段単位：人）		
	定員	青梅市民(a)	（うち、市外の被保険者数）	青梅市民以外(b)	（うち、青梅市の被保険者数）	利用者計(a+b)
居宅介護支援	2,692 －	2,458 78.5%	39	672 21.5%	27	3,130
訪問介護（訪問型サービスを含む）	538 －	539 87.6%	132	76 12.4%	1	615
訪問入浴介護	90 －	77 39.1%	0	120 60.9%	10	197
訪問看護	373 －	458 85.9%	7	75 14.1%	3	533
訪問リハビリテーション	－ －	89 80.9%	0	21 19.1%	0	110
通所介護（通所型サービスを含む）	548 －	1,049 89.3%	14	126 10.7%	8	1,175
通所リリハビリテーション	130 －	69 88.5%	0	9 11.5%	1	78
特定施設入居者生活介護	27	16 66.7%	0	8 33.3%	0	24
福祉用具貸与	－ －	1,268 73.5%	0	456 26.5%	0	1,724
介護老人福祉施設	2,157 －	1,505 73.0%	797	556 27.0%	30	2,061
介護老人保健施設	355 －	203 63.6%	0	116 36.4%	0	319
介護療養型医療施設	92 －	17 23.6%	3	55 76.4%	0	72
認知症対応型通所介護	64 －	98 99.0%	0	1 1.0%	0	99
小規模多機能型居宅介護	58 －	50 100.0%	0	0 0.0%	0	50
認知症対応型共同生活介護	83 －	69 100.0%	0	0 0.0%	0	69
看護小規模多機能型居宅介護	－ －	29 100.0%	0	0 0.0%	0	29
地域密着型通所介護	108 －	399 89.7%	0	46 10.3%	2	445
その他	95 －	43 50.0%	0	43 50.0%	0	86
合計	7,410 －	8,436 78.0%	992	2,380 22.0%	82	10,816

（３）要介護度別利用者数

貴事業所の青梅市民（または保険者が青梅市）の利用者数を要介護度別に御記入ください。

「要介護１」が 19.1％で最も多く、「要介護４」（18.3％）、「要介護３」（17.2％）、「要介護２」（17.0％）が続きます。



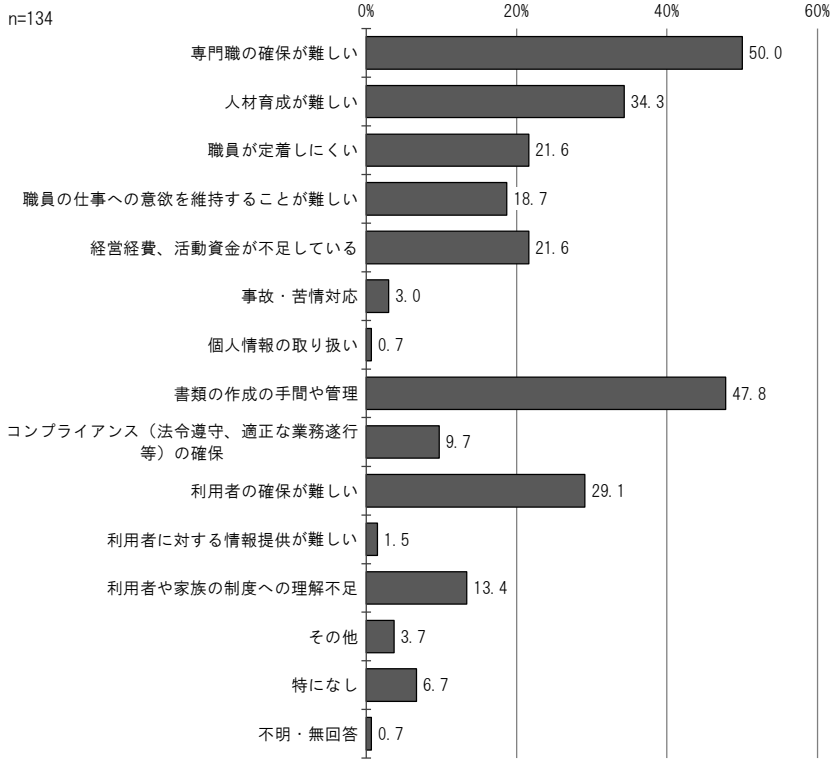
介護サービス別の要介護度別利用者数

	申請中	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
居宅介護支援	3 0.1%	19 0.7%	173 6.8%	263 10.3%	696 27.3%	588 23.0%	389 15.2%	274 10.7%	148 5.8%	2,553
訪問介護（訪問型サービスを含む）	3 0.5%	24 4.1%	54 9.3%	86 14.8%	139 23.9%	112 19.2%	64 11.0%	54 9.3%	46 7.9%	582
訪問入浴介護	1 1.1%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.5%	7 8.0%	12 13.6%	24 27.3%	38 43.2%	88
訪問看護	1 0.2%	0 0.0%	19 4.3%	27 6.1%	98 22.3%	91 20.7%	74 16.8%	67 15.2%	63 14.3%	440
訪問リハビリテーション	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	9 8.9%	23 22.8%	26 25.7%	17 16.8%	14 13.9%	10 9.9%	101
通所介護（通所型サービスを含む）	2 0.2%	23 2.1%	115 10.6%	128 11.8%	287 26.5%	208 19.2%	169 15.6%	101 9.3%	49 4.5%	1,082
通所リハビリテーション	0 0.0%	11 13.6%	2 2.5%	10 12.3%	14 17.3%	19 23.5%	15 18.5%	9 11.1%	1 1.2%	81
特定施設入居者生活介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	16
福祉用具貸与	0 0.0%	0 0.0%	139 11.0%	191 15.1%	246 19.4%	264 20.8%	188 14.8%	147 11.6%	93 7.3%	1,268
介護老人福祉施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 0.7%	39 2.1%	457 25.2%	782 43.1%	525 28.9%	1,815
介護老人保健施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 12.8%	41 20.2%	38 18.7%	60 29.6%	38 18.7%	203
介護療養型医療施設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.3%	29 48.3%	29 48.3%	60
認知症対応型通所介護	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	14 13.0%	31 28.7%	34 31.5%	15 13.9%	13 12.0%	108
小規模多機能型居宅介護	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	5 10.0%	16 32.0%	12 24.0%	7 14.0%	6 12.0%	2 4.0%	50
認知症対応型共同生活介護	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 20.3%	12 17.4%	26 37.7%	10 14.5%	5 7.2%	69
看護小規模多機能型居宅介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%	8 44.4%	4 22.2%	18
地域密着型通所介護	0 0.0%	25 5.6%	69 15.5%	58 13.1%	136 30.6%	80 18.0%	49 11.0%	21 4.7%	6 1.4%	444
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	3 3.6%	14 16.9%	37 44.6%	27 32.5%	83
合計	12 0.1%	104 1.1%	576 6.4%	777 8.6%	1,734 19.1%	1,538 17.0%	1,561 17.2%	1,660 18.3%	1,099 12.1%	9,061

（4）事業運営上の支障

現在、貴事業所の円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「専門職の確保が難しい」が 50.0%で最も多く、「書類の作成の手間や管理」（47.8%）、「人材育成が難しい」（34.3%）、「利用者の確保が難しい」（29.1%）が続きます。



これをサービス系統別にみてみると、下記表のようになりました。

%		専門職の確保が難しい	人材育成が難しい	職員が定着しにくい	職員の仕事への意欲を維持することが難しい	経営経費、活動資金が不足している	事故・苦情対応	個人情報の取り扱い
サービス別	全体(n=134)	50.0	34.3	21.6	18.7	21.6	3.0	0.7
	居宅介護支援(n=30)	36.7	13.3	-	10.0	10.0	-	3.3
	訪問系サービス(n=28)	71.4	25.0	21.4	14.3	14.3	3.6	-
	通所系サービス(n=34)	38.2	35.3	23.5	11.8	29.4	2.9	-
	施設系サービス(n=36)	58.3	55.6	36.1	30.6	33.3	5.6	-
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	66.7	66.7	33.3	66.7	-	-	-
	福祉用具貸与(n=3)	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-

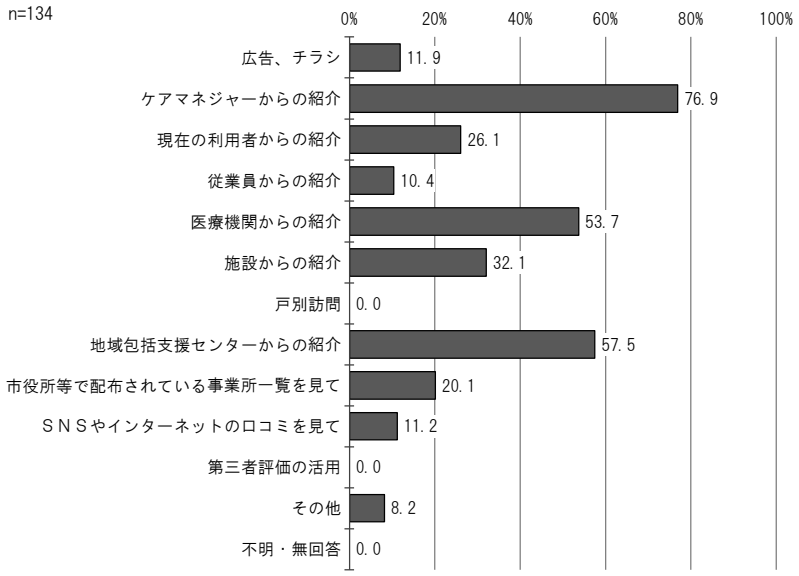
%		書類の作成の手間や管理	コンプライアンス（法令遵守、適正な業務遂行等）の確保	利用者の確保が難しい	利用者に対する情報提供が難しい	利用者や家族の制度への理解不足	その他	特になし
サービス別	全体(n=134)	47.8	9.7	29.1	1.5	13.4	3.7	6.7
	居宅介護支援(n=30)	40.0	3.3	16.7	-	20.0	6.7	23.3
	訪問系サービス(n=28)	60.7	14.3	21.4	3.6	10.7	-	-
	通所系サービス(n=34)	52.9	14.7	29.4	-	8.8	5.9	2.9
	施設系サービス(n=36)	38.9	8.3	41.7	2.8	11.1	2.8	-
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	66.7	-	66.7	-	66.7	-	-
	福祉用具貸与(n=3)	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3

%		不明・無回答
サービス別	全体(n=134)	0.7
	居宅介護支援(n=30)	-
	訪問系サービス(n=28)	-
	通所系サービス(n=34)	-
	施設系サービス(n=36)	2.8
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	-
	福祉用具貸与(n=3)	-

（５）新たな利用者確保の具体的方法

新たな利用者を確保する場合、具体的な方法は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「ケアマネジャーからの紹介」が 76.9％で最も多く、「地域包括支援センターからの紹介」（57.5％）、「医療機関からの紹介」（53.7％）、「施設からの紹介」（32.1％）が続きます。



これをサービス系統別にみてみると、下記表のようになりました。

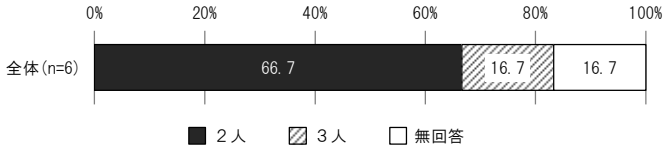
%		広告、チラシ	ケアマネジャーからの紹介	現在の利用者からの紹介	従業員からの紹介	医療機関からの紹介	施設からの紹介	戸別訪問
サービス別	全体(n=134)	11.9	76.9	26.1	10.4	53.7	32.1	-
	居宅介護支援(n=30)	-	23.3	60.0	16.7	73.3	43.3	-
	訪問系サービス(n=28)	10.7	92.9	17.9	7.1	53.6	25.0	-
	通所系サービス(n=34)	20.6	100.0	26.5	11.8	5.9	11.8	-
	施設系サービス(n=36)	13.9	83.3	8.3	5.6	77.8	52.8	-
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	33.3	100.0	-	33.3	100.0	-	-
	福祉用具貸与(n=3)	-	100.0	-	-	66.7	-	-

%		地域包括支援センターからの紹介	市役所等で配布されている事業所一覧を見て	ＳＮＳやインターネットの口コミを見て	第三者評価の活用	その他	不明・無回答
サービス別	全体(n=134)	57.5	20.1	11.2	-	8.2	-
	居宅介護支援(n=30)	90.0	56.7	6.7	-	3.3	-
	訪問系サービス(n=28)	57.1	14.3	-	-	-	-
	通所系サービス(n=34)	55.9	11.8	11.8	-	2.9	-
	施設系サービス(n=36)	33.3	5.6	22.2	-	25.0	-
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	33.3	-	33.3	-	-	-
	福祉用具貸与(n=3)	66.7	-	-	-	-	-

（６）グループホーム（GH)」入所希望者

令和４年１０月１日時点でのＧＨ入所希望者の年齢、性別、介護度および現在利用のサービス等（把握されていない場合は記入不要）を表に御記入ください。

「２人」は 66.7%、「３人」は 16.7%となっています。

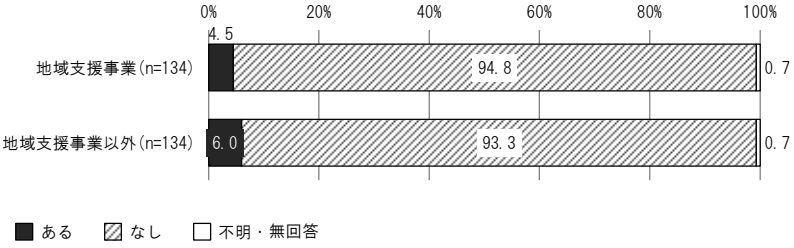


（７）参入を検討するサービス

第９期(令和６～８年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型サービスはありますか。（あてはまるものに〇）

第９期(令和６～８年度)中に貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型以外のサービスはありますか。（あてはまるものに〇）

「ある」について、地域支援事業では 4.5%、地域支援事業以外では 6.0%となっています。



① 該当する具体的サービス

「１．ある」の場合、該当するサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

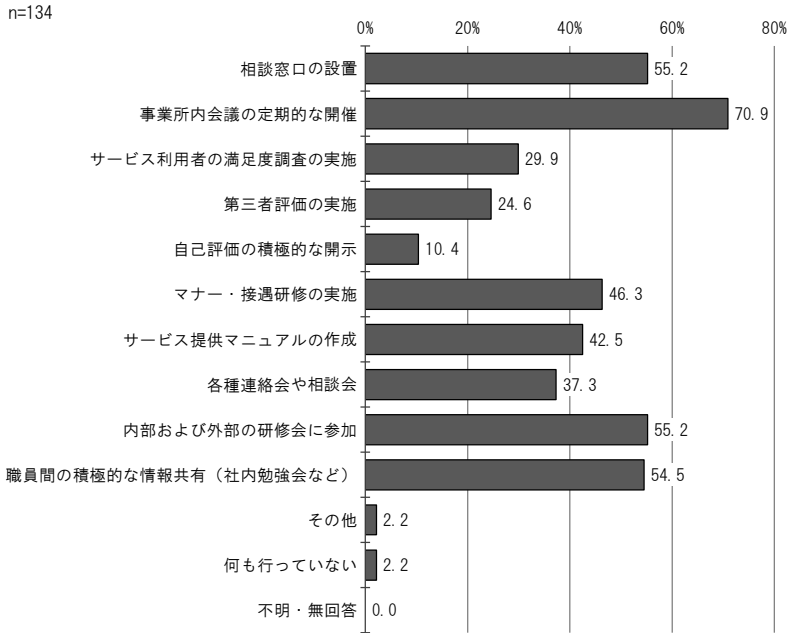
小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、訪問介護（訪問型サービスを含む）が各３件で多くなっています。

回答	件数
小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、訪問介護(訪問型サービスを含む)	各3件
居宅介護支援、訪問看護、短期入所生活介護	各2件
認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、特定施設入居者生活介護	各1件

（9）サービスの質の向上のための取り組み

サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「事業所内会議の定期的な開催」が 70.9%で最も多く、「相談窓口の設置」「内部および外部の研修会に参加」（55.2%）、「職員間の積極的な情報共有（社内勉強会など）」（54.5%）が続きます。



（10）研修の内容

問９で「９．内部および外部の研修会に参加」と答えた方にお聞きします。研修はどのような内容ですか。

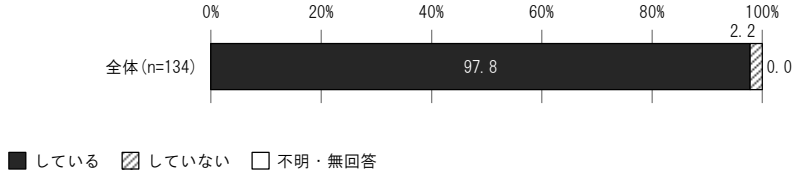
講習内容としては「利用者対応基本マナー」「介護技術」「ケアマネジャーとしての資質向上」「応急救護」「非常災害」「労働災害」「感染症」「高齢者虐待」「成年後見制度」「プライバシー」「認知症」「看取り」等が行われ、「介護労働者雇用管理責任者」「中堅職員」「施設内リーダー」に対しても行われています。

講習形式としては内部講習のほか、各種団体の主催する講習が利用されていました。

（11）リスクマネジメント

事業所としてリスクマネジメントを行っていますか。

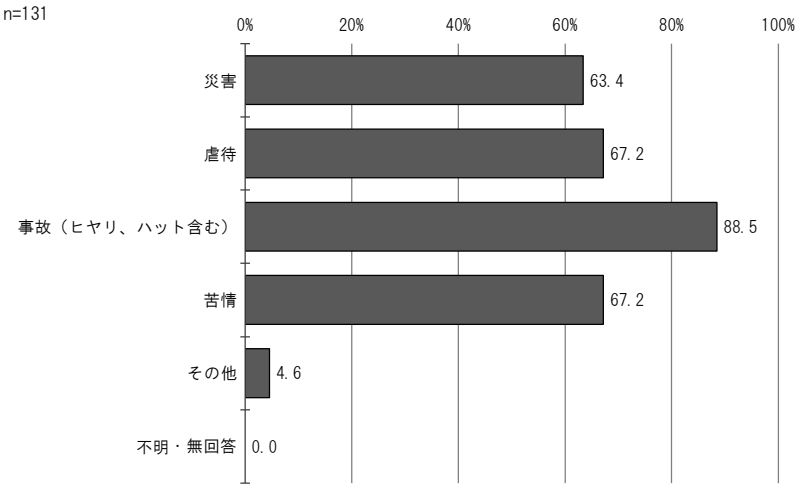
「している」は 97.8%、「していない」は 2.2%となっています。



① 該当するリスクマネジメント

「1．している」の場合、それはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

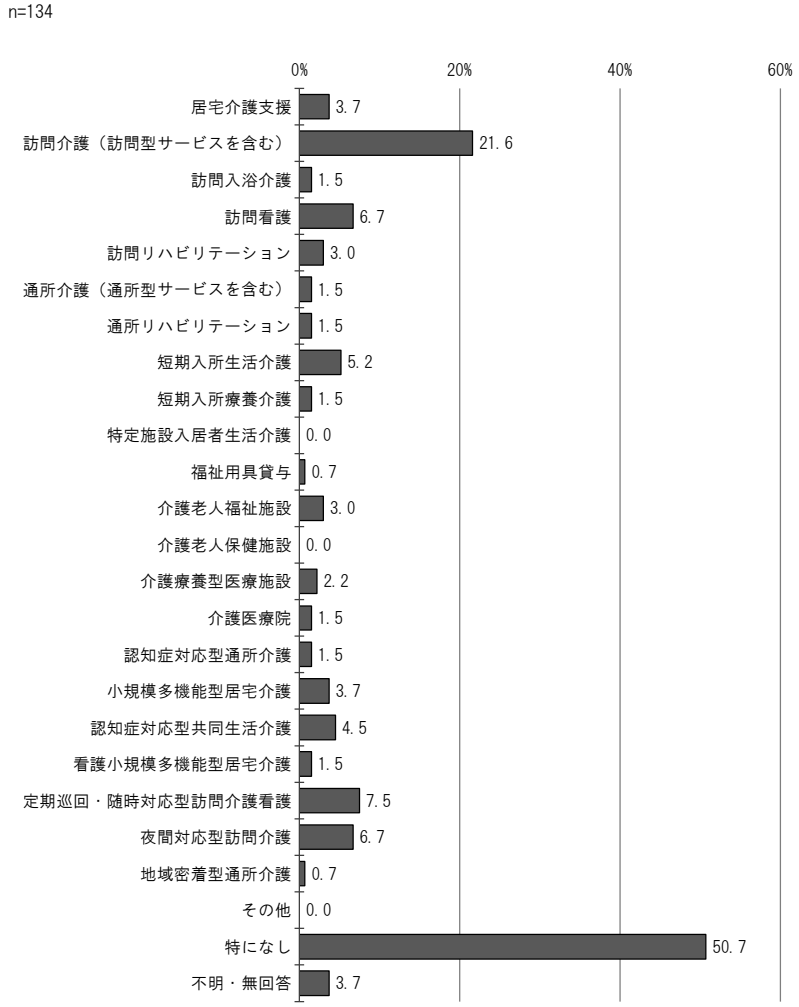
「事故（ヒヤリ、ハット含む）」88.5%で最も多く、「虐待」（67.2%）、「苦情」（67.2%）、「災害」（63.4%）が続きます。



（12）不足しているサービス

実際に提供しているサービスが、必要と考えるサービス量に対し不足していると感じるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「訪問介護（訪問型サービスを含む）」が 21.6%で最も多く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（7.5%）、「訪問看護」「夜間対応型訪問介護」（6.7%）が続きます。



① 不足していると感じる理由

不足していると感じる理由を御記入ください。

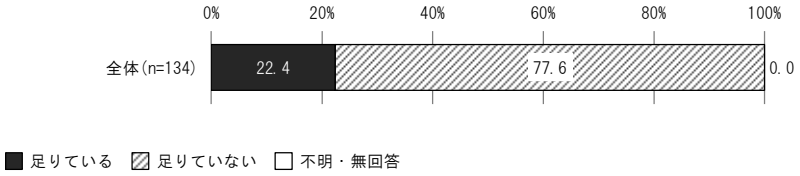
以下のとおり回答がありました。

「訪問介護員の高齢化と、事業所不足。それに反し高齢者が増加しヘルパー希望の利用者が多いが十分に対応できていないと感じる。」「訪問介護事業所数、ヘルパー登録者不足。土日、夜間帯のサービス利用が難しい。現状の訪問介護サービス単価では将来的にもヘルパーの確保は難しい。高齢者在宅支援の基軸サービスは訪問介護であると考える。」、「利用相談は受けるが定員が上限に達しており受け入れをことわらざるをえない状態が続いている。」「サービスを利用すれば在宅生活を継続できる可能性があるが、地域が限られていたり、事業所自体数が少ない。」「山方面に小規模のサテライト等あると、山方面の利用者さんへフットワークがよくなる。」「包括支援センター地域毎に掘り下げて対応することが３か所で可能なのか疑問」、「現時点で実施している事業所がなく、夜間に訪問看護、訪問介護のニーズがある方に対して対応ができない。」「胃瘻注入に対応出来るヘルパー事業所があると、在宅で過ごすことが出来る人は増えると思う。」、「グループホーム入所に伴う必要経費のハードルの高さ。在宅で認知症に悩む市民の選択として、グループホームは高級。他市のように補助金を出し、馴染みの地域で生活できる可能性を広げて欲しい。」「利用料の負担が大きい施設が多くなり、金銭面の負担で施設に入れない方がいる。医療面で長く見てもらえる病院を探すのが大変であり、入院期間が決まったりして対応できない方を入院出来る場所を探すことが大変である。」などです。

（13）高齢者支援サービスは足りているか

地域において、介護保険以外の高齢者支援サービスは足りていると思いますか。
（あてはまるものに○）

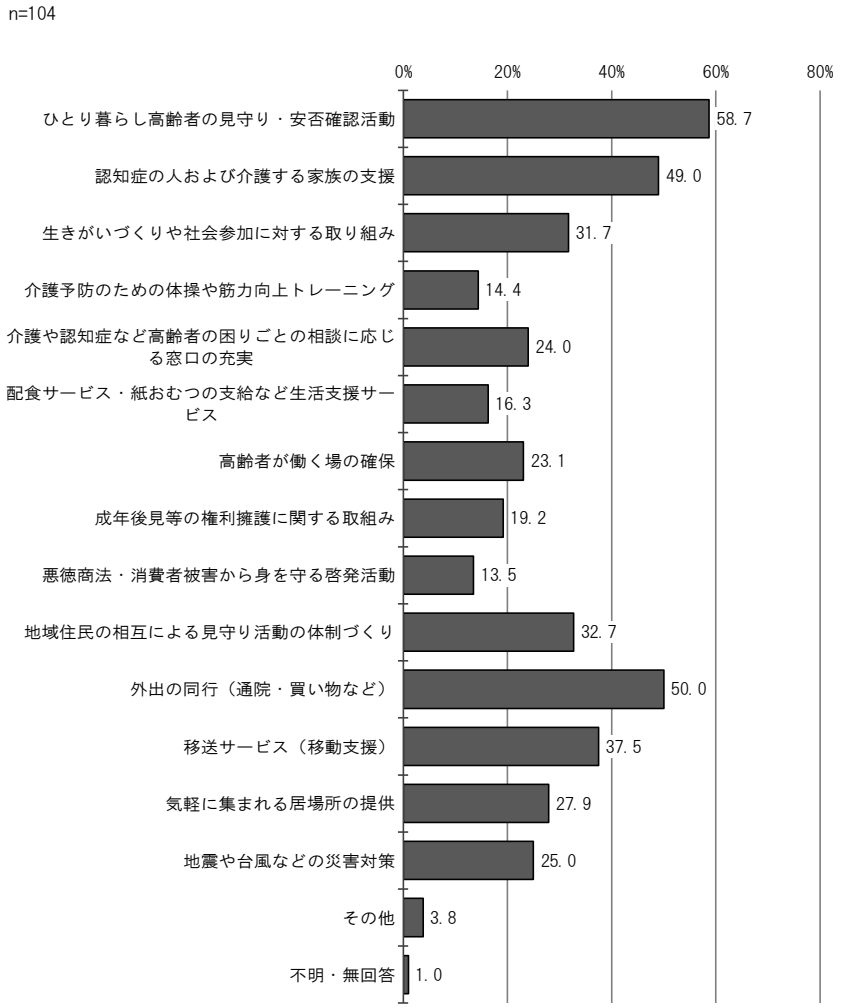
「足りていない」は 77.6%、「足りている」は 22.4%となっています。



① 不足している高齢者支援サービス

「2．足りていない」と回答された事業者にお聞きします。
具体的には、どのようなサービスが不足していると思いますか。

「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が 58.7%で最も多く、「外出の同行（通院・買い物など）」（50.0%）、「認知症の人および介護する家族の支援」（49.0%）、「移送サービス（移動支援）」（37.5%）が続きます。



② その他

その他、何かあれば具体的に御記入ください。

以下のとおり回答がありました。

「病院受診の付き添い・話し相手・傾聴ボランティア・介護者の外出時の留守番サービス。」、「青梅市では、いろいろな高齢者支援サービスがあることを知らない高齢者が多いため、そのサービスの利用をどう高齢者に知ってもらうかが課題である。地域の民生委員を増やし、訪問する回数を増やして必要なサービスの内容を説明していくなど、行政から積極的に取り組んでもらえると、高齢者が安心して暮らしていける地域に近づけるかと思う。」、「突発で発生する家の雑務に対して対応できず、困っている方をよく見かけるため、何か対策があればと思う（例：電球交換や電化製品の取り扱い説明など。普段はご家族などが対応してくれているが、コロナや仕事の関係などの為、なかなか来てくれなくなったとのこと。常時ある仕事ではないため、相談先もわからないご様子。）。」、「亡くなった方のご家族よりオムツやパットの寄付があるが、購入が難しい方に寄付できるような対応（窓口）ができるとよいのではないかと思う（未開封が多い為）。」

（14）サービス提供が困難な場合とその対応

利用者介助時や送迎時等あらゆる場面においてどのような場合にサービス提供が困難であると感じますか。また、その際どのように対応されていますか。具体的に御記入ください。

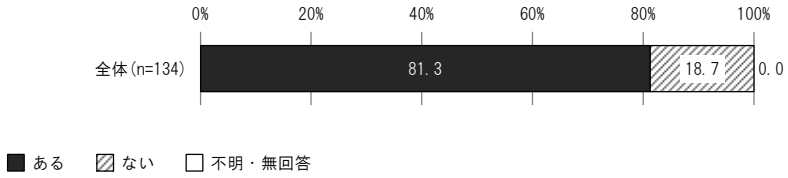
サービス提供が困難な場合については、下記のような回答がありました。

人材確保	○人材不足により、退職者が発生した際の人材確保や育成が課題。 ○人材不足により、通院の付き添いについて受診の日程を調整しながら何とか実施している状況。
認知症状への対応	○認知症の症状が進行している方への対応が難しく、社内研修を行うことを考えている。 ○認知症によりサービス利用を拒否される方について、特別な説明や対応が必要になっている。
訪問診療の利用	○訪問診療に空きが無く受診できないことがある。 ○訪問診療の料金が高額で利用できず、就労している家族が合間を縫って同行している状況も見られる。
その他	○階段の移動、利用者が転倒した際の対応において職員の体力的負担が大きい。 ○家族や本人に介護保険の理解が無く、サービスとして行えないことを要求される。

（15）地域との関わりの有無

貴事業所では地域の各種委員・団体・組織(民生委員、自治会、社協等)との関わりはありますか。（あてはまるものに○）

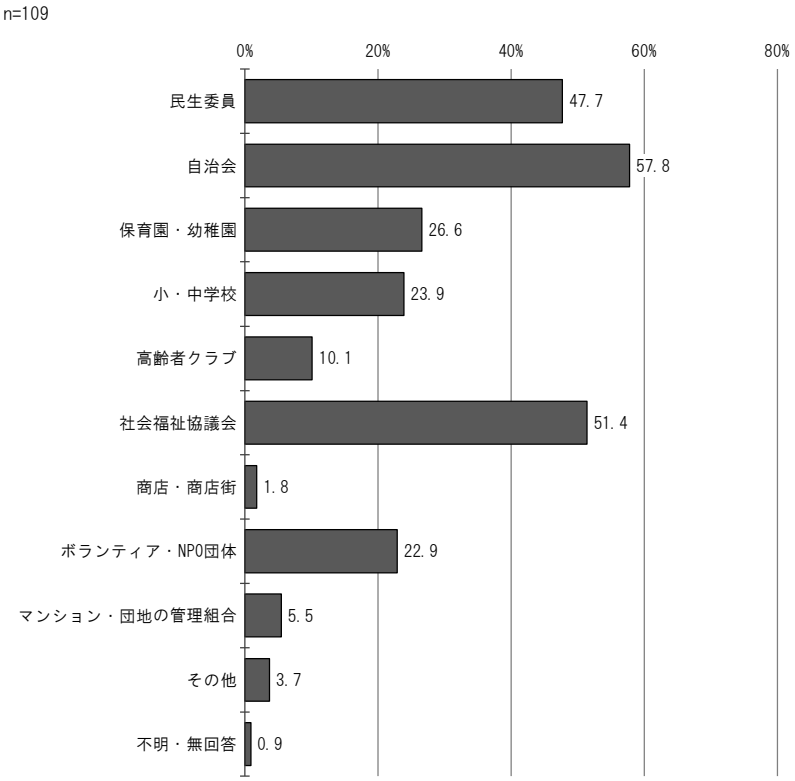
「ある」は 81.3%、「ない」は 18.7%となっています。



① 関わりのある委員・団体・組織

「1．ある」の場合、それはどのような委員・団体・組織ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「自治会」が 57.8%で最も多く、「社会福祉協議会」（51.4%）、「民生委員」（47.7%）、「保育園・幼稚園」（26.6%）が続きます。

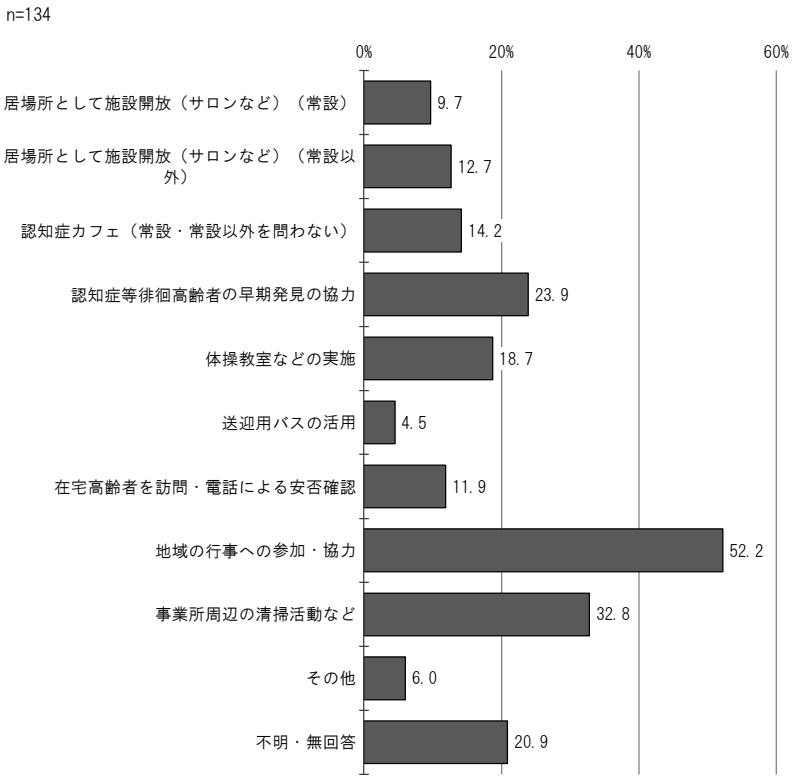


（16）実施意向のある地域貢献

貴事業所では、地域貢献として、無償または定額料金で次の内容について実施していただく意向があるか伺います（実際に行っていただくということではなく、現時点でのお考えで結構です。）。

社会福祉法人など、すでに実施していただいている場合は、実施しているものを教えてください。（あてはまるものに○）

「地域の行事への参加・協力」が 52.2%で最も多く、「事業所周辺の清掃活動など」（32.8%）、「認知症等徘徊高齢者の早期発見の協力」（23.9%）、「体操教室などの実施」（18.7%）が続きます。

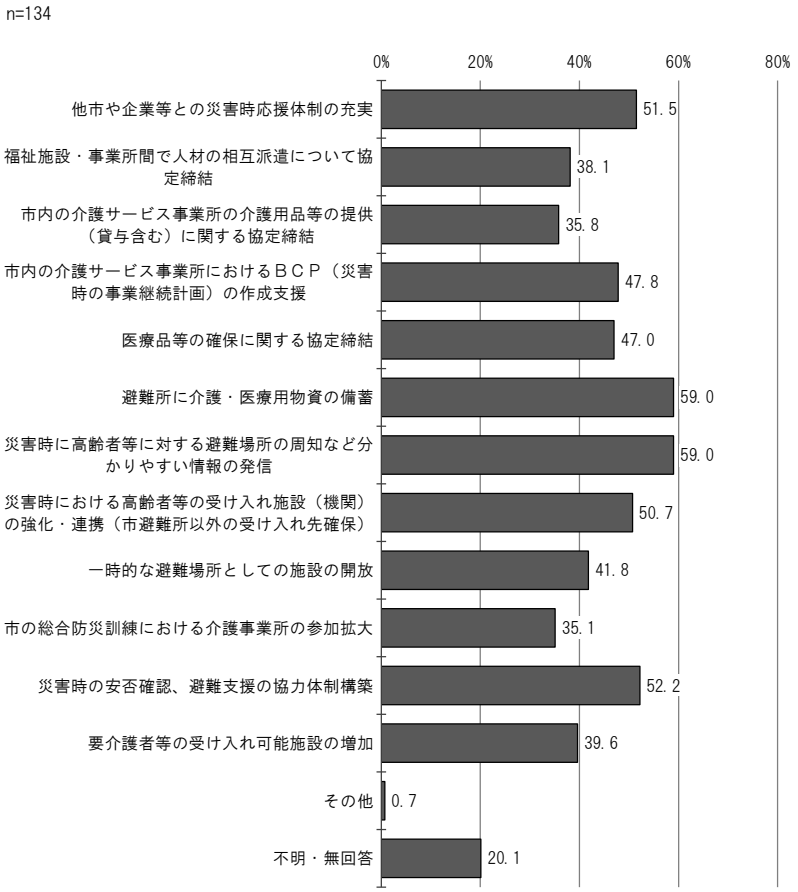


（17）災害対策

市が行うべき災害対策は次のうちどれですか。また、貴事業所において御協力いただける取組（すでに実施しているものも含みます）があれば教えてください。（あてはまるものに○）

【市が行うべき災害対策】

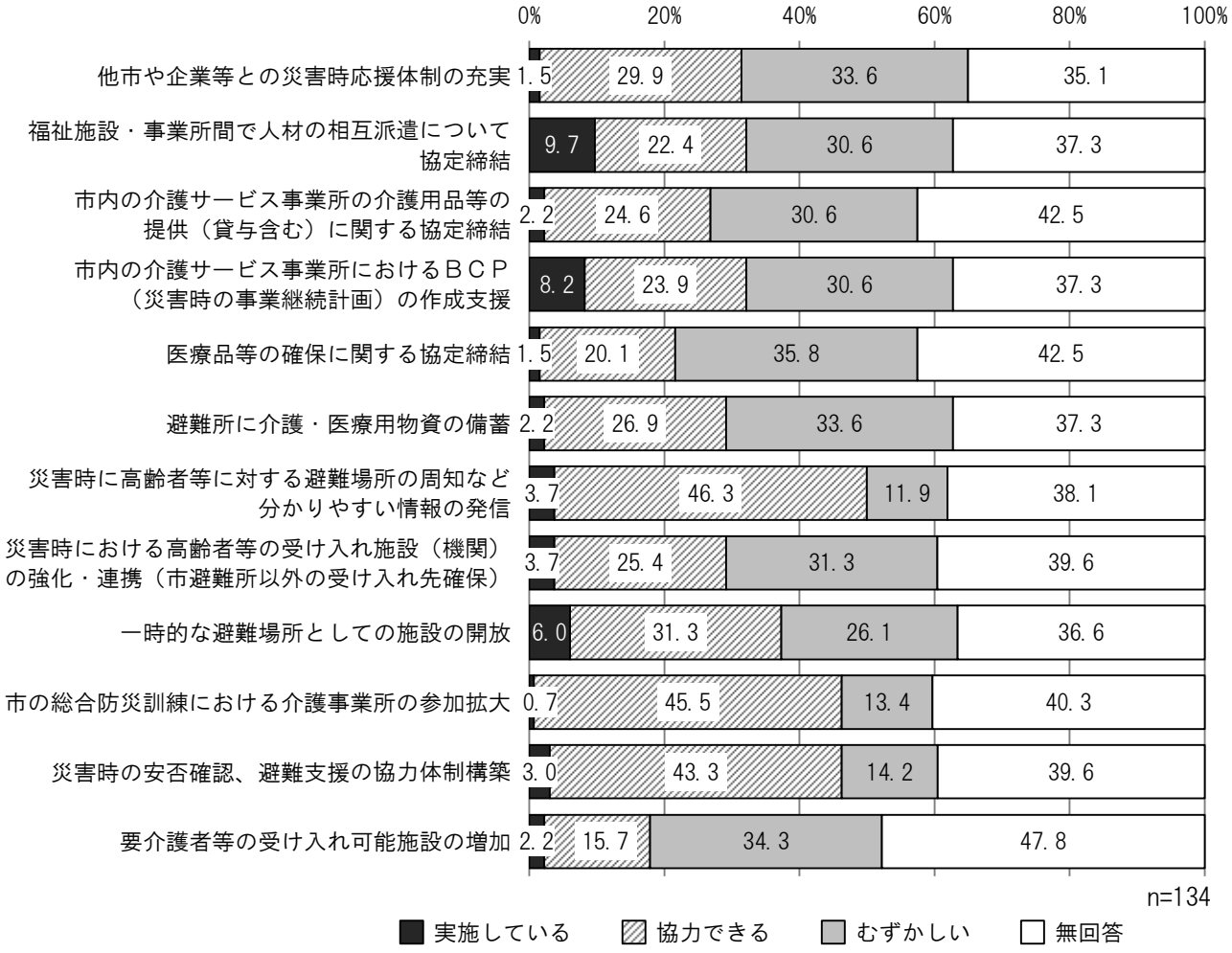
「避難所に介護・医療用物資の備蓄」と「災害時に高齢者等に対する避難場所の周知など分かりやすい情報の発信」が59.0%で多く、「災害時の安否確認、避難支援の協力体制構築」（52.2%）「他市や企業等との災害時応援体制の充実」（51.5%）が続きます。



【事業所として協力できる取組】

「実施している」では「福祉施設・事業所間で人材の相互派遣について協定締結」が 9.7%で最も多く、「市内の介護サービス事業所におけるＢＣＰ（災害時の事業継続計画）の作成支援」（8.2%）、「一時的な避難場所としての施設の開放」（6.0%）が続いています。

「実施している」「協力できる」の合計では「災害時に高齢者等に対する避難場所の周知など分かりやすい情報の発信」が 50.0%で最も多く、「災害時の安否確認、避難支援の協力体制構築」（46.3%）、「市の総合防災訓練における介護事業所の参加拡大」（46.2%）が続いています。



（18）介護保険制度全般についての意見・要望

介護保険制度全般について、御意見・御要望や困っている事などがありましたら御記入ください。

以下のとおり回答がありました。

介護報酬・処遇	○従業員の募集や定着に向けて十分な給与の支給や昇給が必要だが難しい。 ○基本単価が低く、経営が厳しい。加算には多くの手間と時間を要するため、基本単価の引き上げが望ましい。 ○ケアマネジャーに対する加算が限られており、報酬単価が見合っていないと思われることから、処遇改善が必要である。 ○施設サービス利用者の外出・買物同行について有償で行っているが、生活困窮者には無償で行っており、その支援があれば良い。
人材確保・育成	○ヘルパーが高齢化している。 ○職員教育の時間をとることが難しい。
業務負担の軽減	○都や市への提出書類が多く、業務に影響している。 ○加算などを取りやすい仕組みの中で業務負担を軽減してほしい。
医療・介護連携	○コロナ禍により在宅医療・看護・介護サービス事業者間での顔の見える関係が希薄になってしまっている。 ○主治医意見書のやりとりについて、利用者や家族を介するよりスムーズに行える仕組みが必要。
利用者への 情報提供の充実	○認知症になったときの選択がひとめでわかるロードマップが必要。 ○制度の内容を利用者や家族がしっかり理解できるシステムづくりが必要。
サービス提供	○在宅生活者への夜間休日対応な巡回サービス等が不足している。 ○小規模事業者のサービス利用を希望する方もおり、規模が小さくとも経営が可能な仕組みづくりをしてほしい。

２ 在宅生活改善調査

居宅介護支援事業所・（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の方にお伺いします。

【生活の維持が難しい利用者の属性について】

・自宅居住／居宅介護支援事業所利用→17.8%（301/1691）

・サ高住居住／居宅介護支援事業所利用→1.0%（６/578）

・自宅居住／小多機（看護含む）利用→44.4%（24/54）

■生活の維持が難しくなっている要因（40.0%以上の項目）

	居宅介護支援利用者(n=30)		小規模多機能型利用者(n=3)	
最多	認知症状の悪化	60.0%	認知症状の悪化	100.0%
2	必要な身体介護の発生・増大	53.3%	必要な生活支援の発生・増大	66.7%
3	本人がサービスの利用を望まない	46.7%	その他本人の状態等の悪化	
4	その他本人の状態等の悪化			
5	必要な生活支援の発生・増大	43.3%		

■生活改善に必要だと思われるサービス（40.0%以上の項目）

	居宅介護支援利用者(n=30)		小規模多機能型利用者(n=3)	
最多	訪問介護	46.7%	看護小規模多機能	66.7%
2	ショートステイ	40.0%		
3	定期巡回サービス			

在宅での生活維持が難しくなっている割合は市全体でおおよそ２割弱と推計され、在宅継続継続に向けた支援が求められます。
維持が難しい要因としては、認知症状の悪化が多く挙げられており、生活改善に必要なサービスでは訪問介護のニーズがみられるほか、ショートステイ・定期巡回の夜間に対応可能なサービスの必要性がうかがえます。

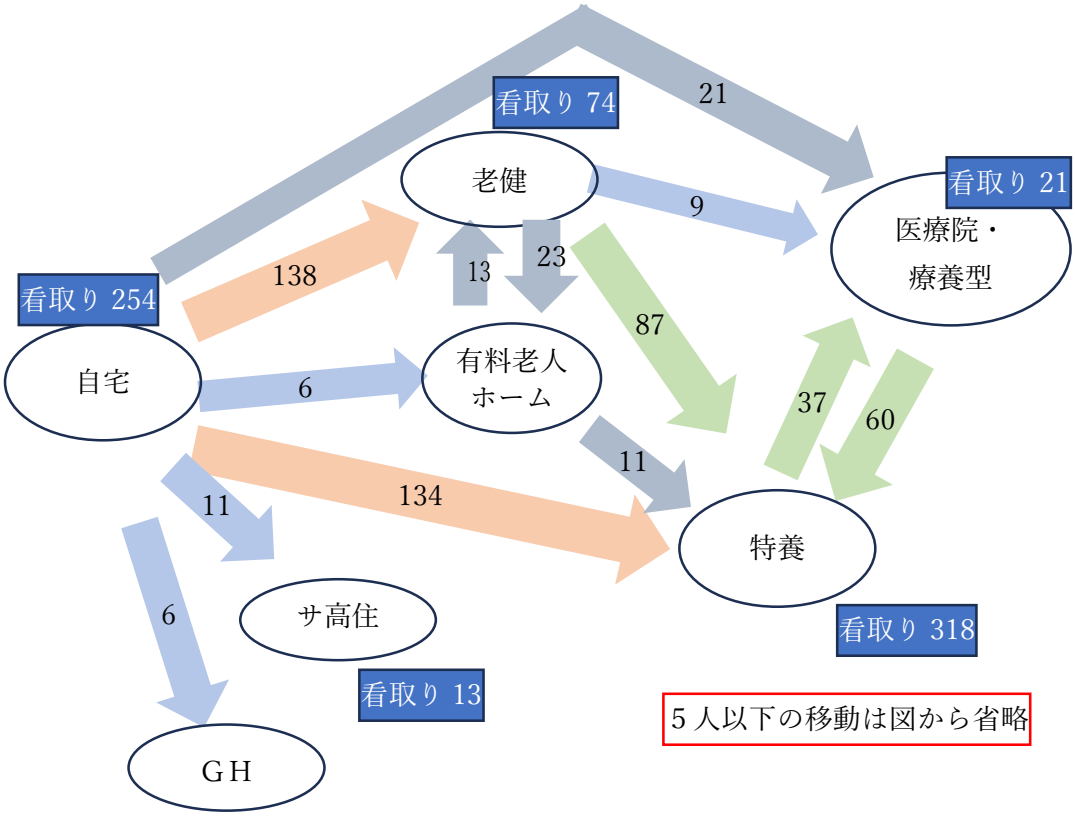
３ 居所変更実態調査

施設・居住系サービス（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホームを含む）・居宅介護支援事業所・（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の方にお伺いします。

・自宅での看取りの割合→44.6%（254／570）

・特養では医療院・療養型への居所変更を除いて看取りが多くなっている。

・自宅、老健および医療型・療養型から特養への居所変更が多くなっている。



・老健および医療院・療養型(n=4)において生活の維持が難しくなっている理由は、「必要な身体介護の発生・増大」が 100.0%、「認知症状の悪化」が 75.0%。

・自宅から特養・老健へ移る理由については、

「必要な身体介護の発生・増大」、「認知症状の悪化」ともに 44.0%。

施設・居住系サービス利用者の中での居所変更が多いのは、老健及び医療院・療養型から特養への移動となっています。居所変更の要因としては、「必要な身体介護の発生・増大」「認知症状の悪化」が多くなっています。

4 介護人材実態調査

介護老人福祉施設および介護老人保健施設の方にお伺いします。

（25）施設職員の市内外からの勤務人数

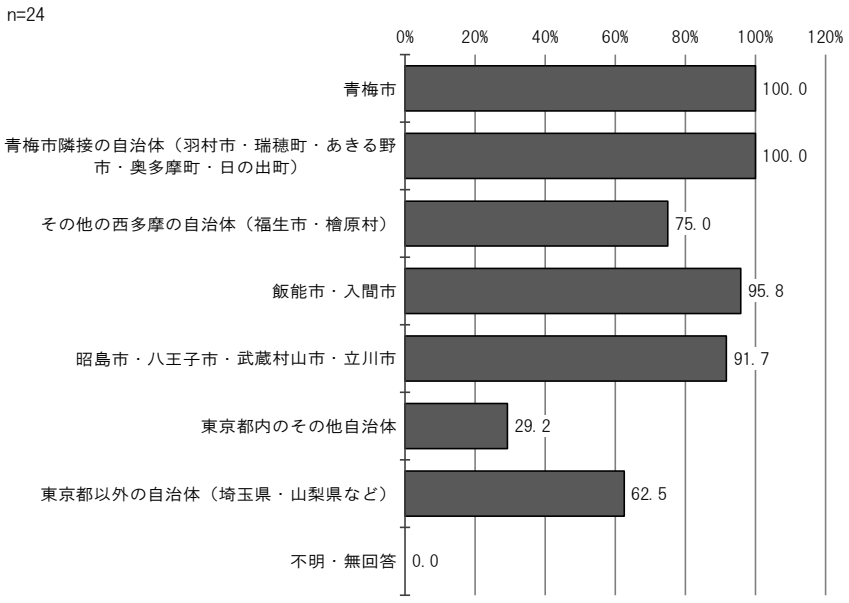
施設の職員（正規・非正規全て）について、職種ごとに、青梅市民の人数、市外からの勤務者の人数を御記入ください。

職種	市内（人）	市外（人）	計
生活相談員	25	26	51
介護職員	680	408	1,088
看護職員	98	71	169
栄養士	14	18	32
機能訓練指導員	33	31	64
介護支援専門員	30	12	42
その他の職員（調理員等）	279	161	440
合計	1,159	727	1,886

（26）施設職員の具体的居住地

施設の各種職員（正規・非正規全て）はどこから通っていますか。
（該当する地区にすべて○）

「青梅市」と「青梅市隣接の自治体（羽村市・瑞穂町・あきる野市・奥多摩町・日の出町）」が100.0%、「飯能市・入間市」（95.8%）、「昭島市・八王子市・武蔵村山市・立川市」（91.7%）が続きます。



（27）介護人材不足解消のための制度拡充に対する意向

介護人材不足解消のため、外国人技能実習生、留学生（ＥＰＡなど）の制度が拡充されていますが、貴事業所の意向をお答え下さい。

施設系サービス事業所における外国人人材の活用についてみると、「すでに受け入れしており、今後も受け入れを続ける」が９事業所と最も多く、次いで「分からない」が６事業所、「受け入れる予定はない」が４事業所となっています。

受け入れしている		受け入れしていない	
今後も受け入れを続ける	9事業所	今後は受け入れたい	1事業所
今後は受け入れない	1事業所	受け入れる予定はない	6事業所
今後は未定	2事業所	分からない	4事業所

□ 外国人人材の活用に関する意見等

導入の有無に関わらず、外国人人材の活用について御意見等あれば御記入下さい。

以下のとおり回答がありました。

「受け入れをしたいとは思うが、施設の近くにスーパーやコンビニなどなく、交通の利便性も悪いため、外国人の生活を考えると厳しいと言わざるを得ない。」、「外国人の受け入れにあたり、賃貸物件の敷金礼金や一定の家財道具の準備などにかかる経費も多い。人材不足とは言いつつも、体力のある法人でないと積極的に外国人の人材活用も難しいと実感している。」、「外国人人材雇用は小規模法人では難しい。宿泊場所の確保、採用前後の教育、サポート等担当を置く必要がある事等経費負担もあり難しい。複数の拠点を持ち、法人本部でこれらを行える事業所であれば、派遣人材の経費支出を含めて考えると外国人人材の方が安く雇用出来るだろう。」、「現在、特定技能２名、技能実習生５名を受け入れているが、真面目で前向き、仕事の上達が早いなど、メリットはあると感じる。しかし、受け入れに際しての時間・労力・コストを考えると、今後も継続できるかは難しいのではないかと考えている。」

以降、全ての事業所が対象となります。

（28）人員の状況

貴事業所における、人員の状況についてお伺いします。（全職員の内訳について、以下の表に数字で御記入ください。）

人員状況は以下のようになっています。

総数=(134)　(単位：人)

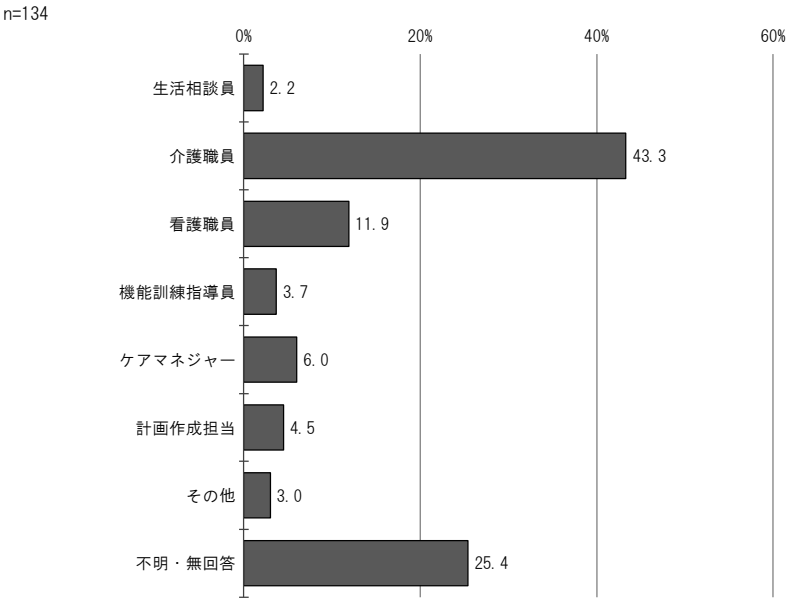
【令和４年 10 月１日現在】			30 代未満	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	合計
介護福祉士（居宅介護支援の場合は、主任介護支援専門員）	男	正規	31	91	164	82	20	3	391
		非正規	2	4	9	6	15	5	41
	女	正規	36	73	115	169	54	3	450
		非正規	7	40	91	80	89	29	336
実務研修相当（居宅介護支援の場合は、介護支援専門員）	男	正規	15	18	50	25	6	0	114
		非正規	0	2	7	6	2	3	20
	女	正規	11	10	42	44	18	6	131
		非正規	2	10	32	23	16	8	91
初任者研修相当	男	正規	26	7	12	8	5	0	58
		非正規	3	6	2	9	7	11	38
	女	正規	19	7	17	11	5	0	59
		非正規	8	18	20	47	63	39	195
これらの資格をもたない（事務等）	男	正規	40	48	62	57	30	4	241
		非正規	11	8	8	15	72	62	176
	女	正規	49	51	101	109	43	12	365
		非正規	39	35	78	68	121	66	407
不明	男	正規	0	0	0	0	0	0	0
		非正規	0	0	0	0	0	1	1
	女	正規	1	0	0	0	0	0	1
		非正規	0	1	2	6	3	0	12
合計	男	正規	112	164	288	172	61	7	804
		非正規	16	20	26	36	96	82	276
	女	正規	116	141	275	334	119	21	1,006
		非正規	56	104	223	223	293	142	1,041

（29）不足している職種

現在のサービス提供状況からみて、不足している職種は何ですか。（あてはまるものに○を入れて、複数の場合は優先的に必要な順位を入れてください）

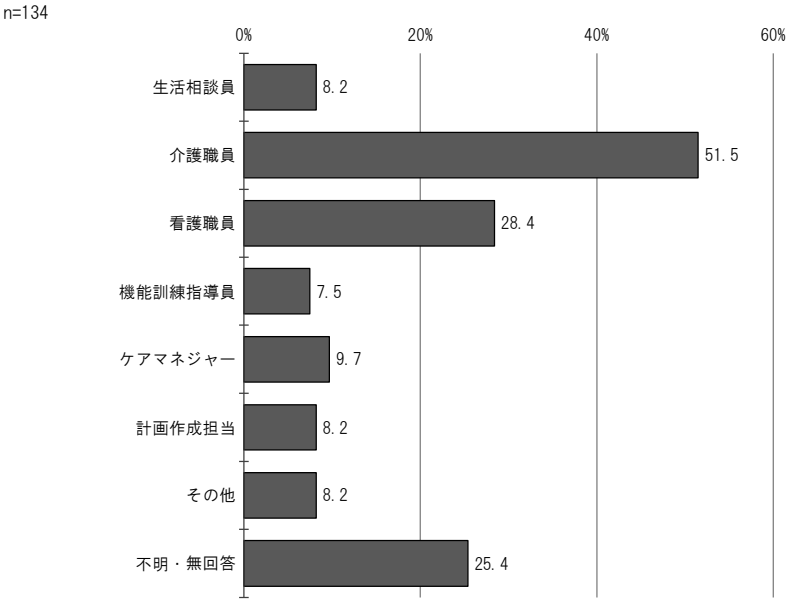
【１位に挙げられた職種】

「介護職員」が 43.3%で最も多く、「看護職員」（11.9%）、「ケアマネジャー」（6.0%）、「計画作成担当」（4.5%）が続きます。



【１位から７位までいずれかに挙げられた職種】

「介護職員」が 51.5%で最も多く、「看護職員」（28.4%）、「ケアマネジャー」（9.7%）が続きます。



サービス系統別にみると、施設系・小規模多機能型で「介護職員」が８割を上回っています。

%		生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	ケアマネジャー	計画作成担当	その他
サービス別	全体(n=134)	8.2	51.5	28.4	7.5	9.7	8.2	8.2
	居宅介護支援(n=30)	-	6.7	3.3	-	30.0	6.7	-
	訪問系サービス(n=28)	-	57.1	35.7	3.6	-	3.6	3.6
	通所系サービス(n=34)	20.6	52.9	32.4	17.6	-	11.8	17.6
	施設系サービス(n=36)	11.1	83.3	38.9	8.3	11.1	5.6	11.1
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	-	100.0	66.7	-	-	66.7	-
	福祉用具貸与(n=3)	-	-	-	-	-	-	-

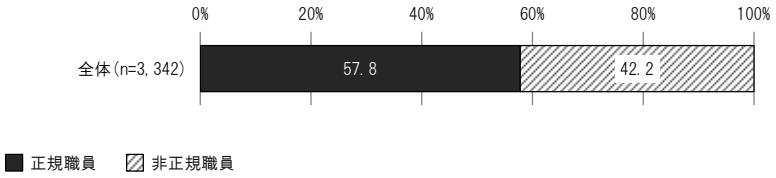
%		不明・無回答
サービス別	全体(n=134)	25.4
	居宅介護支援(n=30)	60.0
	訪問系サービス(n=28)	21.4
	通所系サービス(n=34)	14.7
	施設系サービス(n=36)	5.6
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	-
	福祉用具貸与(n=3)	100.0

（30）過去１年間の職員採用者数、離職者数等

過去１年間の、職員の採用者数、離職者数等についてお伺いします。
（数字で御記入ください。）

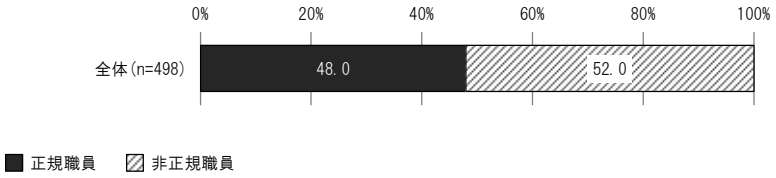
【職員総数（令和４年 10 月１日時点）】

「正規職員」が 57.8%、「非正規職員」が 42.2%となっています。



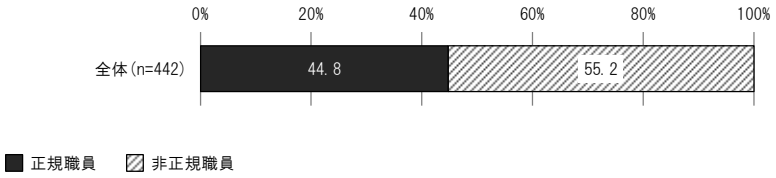
【採用者数（令和３年１０月１日から令和４年９月３０日）】

「非正規職員」が 52.0%、「正規職員」が 48.0%となっています。



【離職者数（令和３年１０月１日から令和４年９月３０日）】

「非正規職員」が 55.2%、「正規職員」が 44.8%となっています。



サービス系統別にみると、以下のようになります。

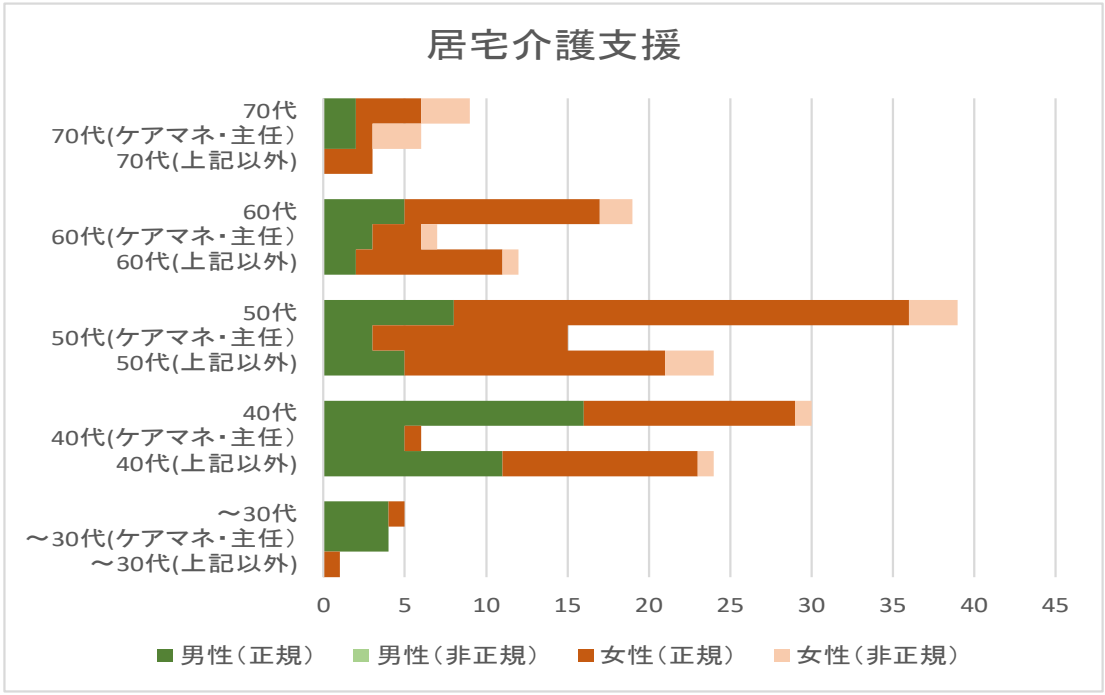
【性年代別の職員割合】

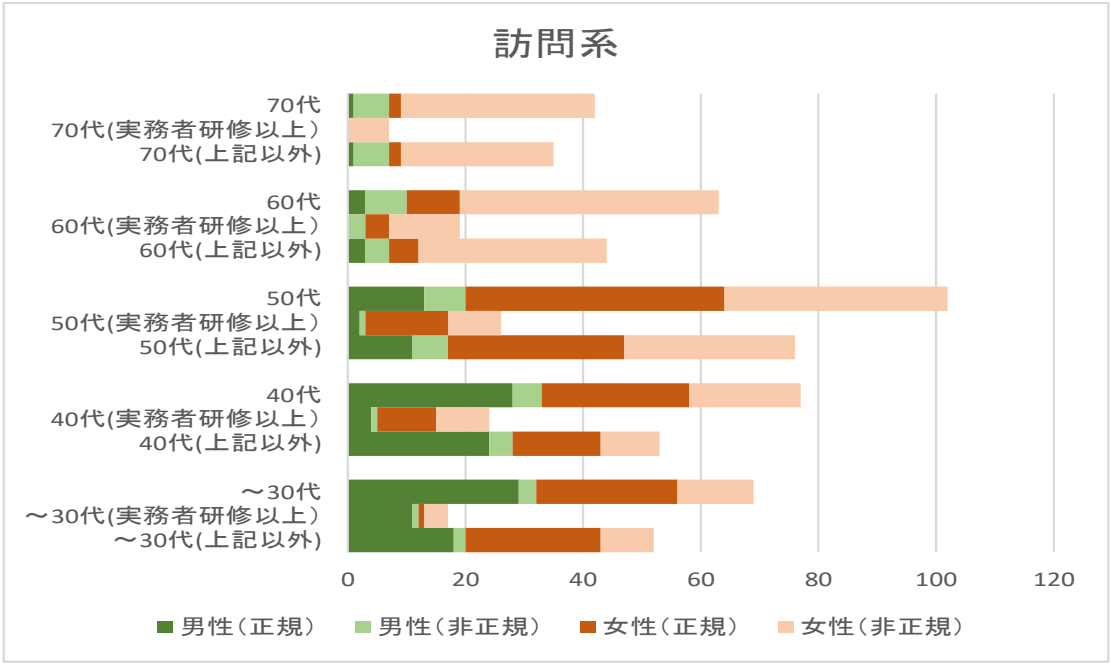
・居宅介護支援：女性の正規職員が多い。年代が高いほどケアマネ・主任の割合が高い。

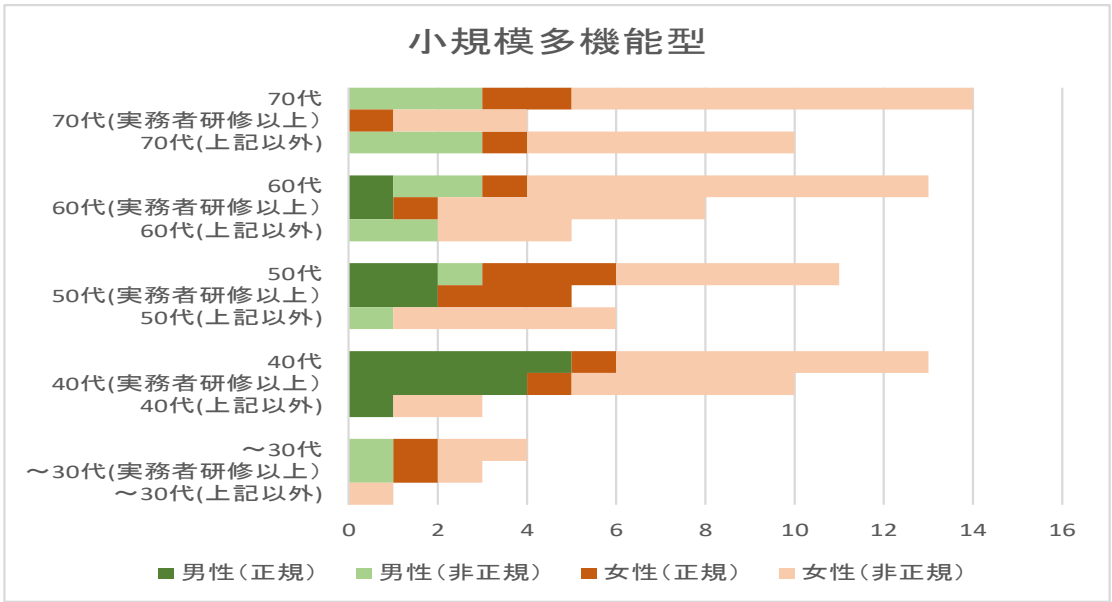
・訪問系：40 代以下では男女ともに正規職員が多いが、50 代で男性の正規職員が少なくなり女性の非正規職員が多くなる。60 代以上では女性の非正規職員が中心。

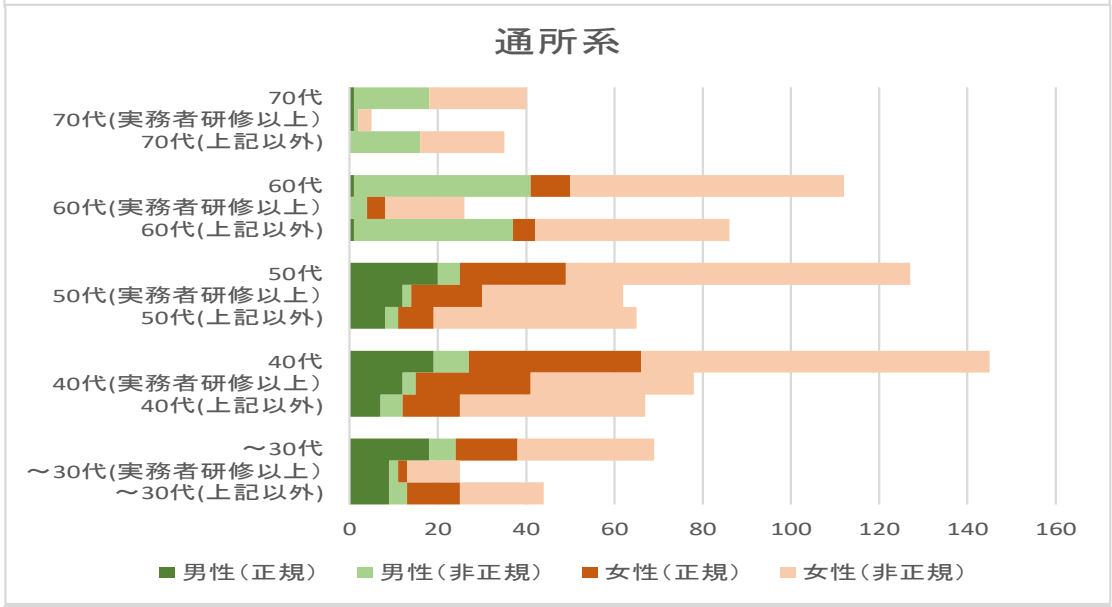
・通所系／小規模多機能型：女性の非正規職員が中心。60 代以上では男性の非正規職員もみられる。

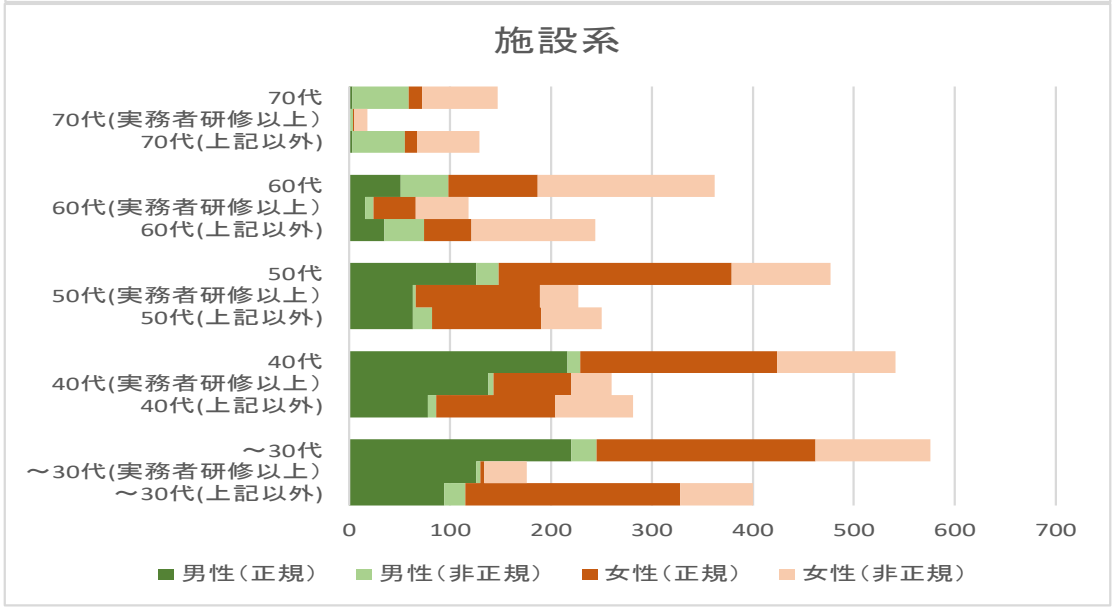
・施設系：若い職員の割合が他のサービスに比べ高い。男女ともに 50 代以下では正規職員が中心。






小規模多機能型
70代
70代(実務者研修以上)
70代(上記以外)
60代
60代(実務者研修以上)
60代(上記以外)
50代
50代(実務者研修以上)
50代(上記以外)
40代
40代(実務者研修以上)
40代(上記以外)
～30代
～30代(実務者研修以上)
～30代(上記以外)
0 2 4 6 8 10 12 14 16
男性(正規) 男性(非正規) 女性(正規) 女性(非正規)


通所系
70代
70代(実務者研修以上)
70代(上記以外)
60代
60代(実務者研修以上)
60代(上記以外)
50代
50代(実務者研修以上)
50代(上記以外)
40代
40代(実務者研修以上)
40代(上記以外)
～30代
～30代(実務者研修以上)
～30代(上記以外)
0 20 40 60 80 100 120 140 160
男性(正規) 男性(非正規) 女性(正規) 女性(非正規)


施設系
70代
70代(実務者研修以上)
70代(上記以外)
60代
60代(実務者研修以上)
60代(上記以外)
50代
50代(実務者研修以上)
50代(上記以外)
40代
40代(実務者研修以上)
40代(上記以外)
～30代
～30代(実務者研修以上)
～30代(上記以外)
0 100 200 300 400 500 600 700
男性(正規) 男性(非正規) 女性(正規) 女性(非正規)

・通所系の非正規職員では離職者数の比率が高く、昨年同時期に比べた職員数も 100%を下回っている。これは、同じく非正規職員が多くを占める訪問系・小規模多機能型にはみられない傾向となっている。

・施設系では正規職員の離職者数の比率が高くなっている。採用者数が多いため、昨年同時期に比べた職員数は 100%を上回っている。

【昨年同時期に比べた職員数の比率(増減)】

	正規	非正規	合計
居宅介護支援	119.4%(+14)	76.9%(-3)	112.9%(+11)
訪問系	103.1%(+5)	102.1%(+4)	102.6%(+9)
通所系	105.0%(+7)	97.7%(-8)	99.8%(-1)
施設系	101.1%(+16)	102.8%(+21)	101.7%(+37)
小規模多機能型	94.1%(-1)	102.3%(+1)	100.0%(0)

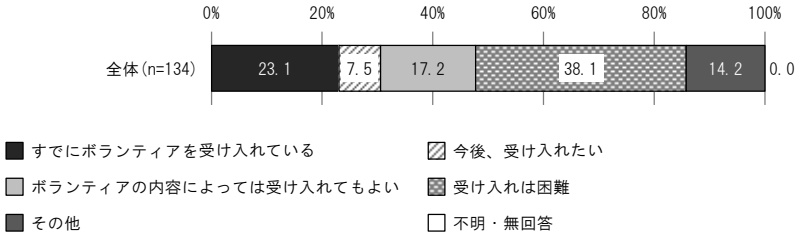
【昨年の職員数に対する離職者数の比率(人数)】

	正規	非正規	合計
居宅介護支援	6.9%(5)	30.8%(4)	10.6%(9)
訪問系	7.4%(12)	11.2%(21)	9.4%(33)
通所系	10.7%(15)	25.4%(90)	21.3%(105)
施設系	11.5%(164)	16.6%(125)	13.3%(289)
小規模多機能型	11.8%(2)	9.3%(4)	10.0%(6)

（31）ボランティア受け入れの考え

貴事業所での、ボランティア受け入れの考えをお伺いします。（あてはまるものに○）

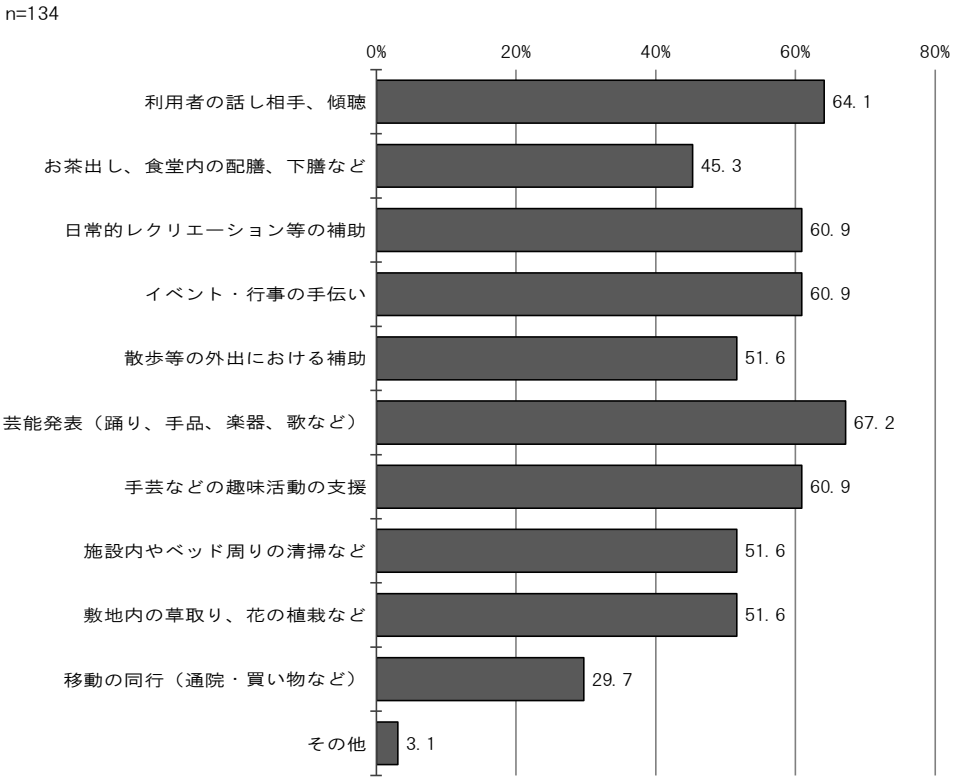
「受け入れは困難」が 38.1％で最も多く、「すでにボランティアを受け入れている」（23.1％）、「ボランティアの内容によっては受け入れてもよい」（17.2％）、「その他」（14.2％）が続きます。



① 受け入れ可能なボランティアの種類

「1．受け入れている」「2．受け入れたい」「3．受け入れてもよい」の場合、該当するボランティアの種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

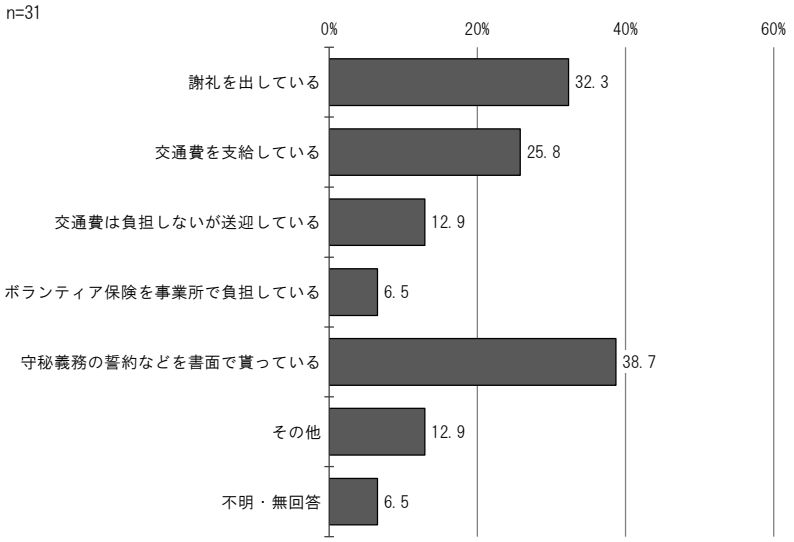
「芸能発表（踊り、手品、楽器、歌など）」が 67.2％で最も多く、「利用者の話し相手、傾聴」（64.1％）、「日常的レクリエーション等の補助」（60.9％）、「イベント・行事の手伝い」（60.9％）が続きます。



② 受け入れのため実施しているボランティアへの支援等

「１．受け入れている」の場合、貴事業所でボランティア受け入れのため実施しているボランティアの方への支援等をお伺いします。（あてはまるものすべてに○。なお、事例に応じて対応が違う場合は、いずれかの場合に該当するものに○をしてください。例：謝礼は出す時と出さない時がある⇒１に○）　（あてはまるものすべてに○）

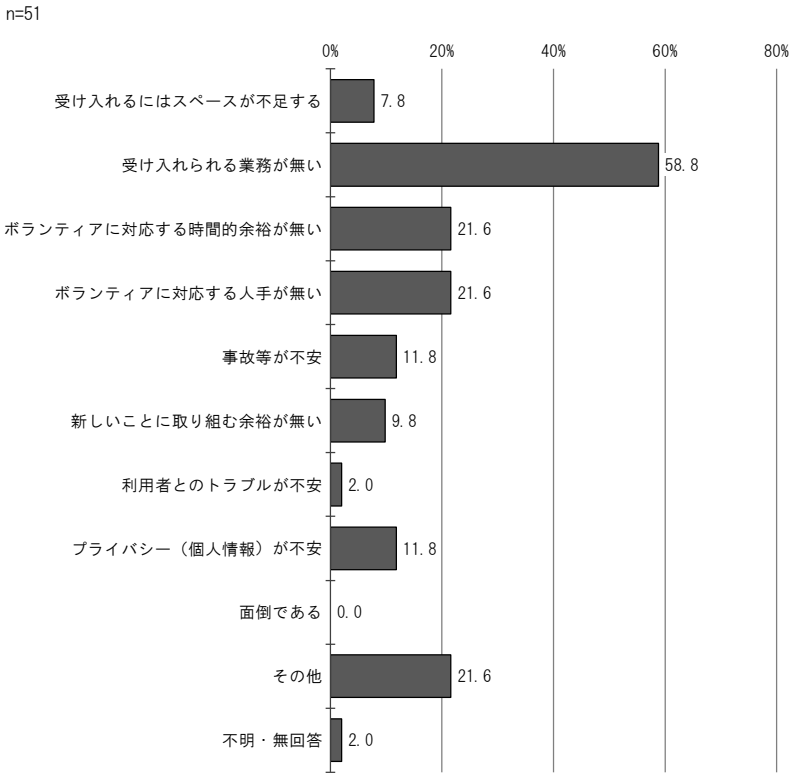
「守秘義務の誓約などを書面で貰っている」が 38.7%で最も多く、「謝礼を出している」（32.3%）、「交通費を支給している」（25.8%）、「交通費は負担しないが送迎している」（12.9%）が続きます。



③ 受け入れ困難な理由

「４．受け入れは困難」の場合、困難な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「受け入れられる業務が無い」が 58.8%で最も多く、「ボランティアに対応する時間的余裕が無い」「ボランティアに対応する人手が無い」「その他」（21.6%）が続きます。



（32）ボランティア受け入れで課題となること

ボランティア受け入れにあたり、課題となることは何ですか。（自由記述）

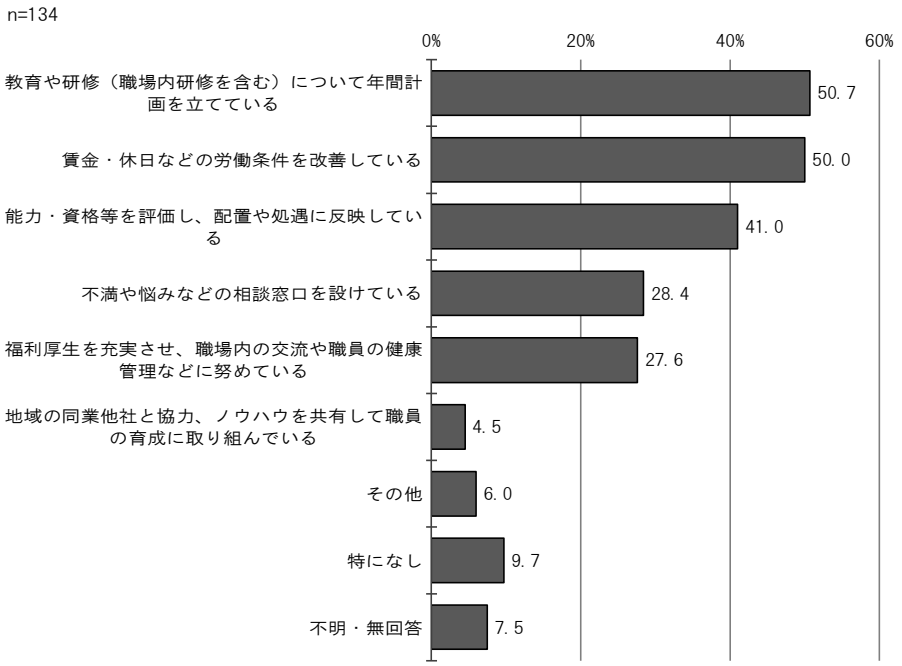
以下のとおり回答がありました。

「事故リスク対応、ボランティアの高齢利用者に対する理解、援助技術の教育、事故時の補償問題。」、「慣れないところで事故が起きないように注意をはらう必要がある。また、受入れの日時も調整が必要となる。」、「ボランティアの教育支援が必要。受け入れてから教育するとなると人手や費やす時間が多く、受け入れ側が負担となってしまう。」、「こちらが最低限求めているレベルの仕事をこなしてもらえる人に当たることがあまりない。」、「感染症対策、守秘義務の徹底が難しい。」、「認知症対応型デイサービスのため、見慣れない顔の人がいると、利用者が不穏になることが多く見られる。軽い気持ちで関わられるとトラブルになる。」、「受け入れたいが、どの様に募集すればよいのか、また窓口になってもらえる機関があるのか等の情報が少ない。」、「コロナが落ち着いている状況になれば積極的に受け入れを行っていきたい。」、「施設の場所が交通機関の利便性に合わない。また、送迎を行うことが難しい。（送迎専門の職員を確保するのが難しい）。職員の余裕も無くなってきている中で、付き添って行うことも少しずつ難しくなってきている。」

（33）人材育成や離職防止のための方策

人材育成や離職防止のためにどのような方策を取っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「教育や研修（職場内研修を含む）について年間計画を立てている」が 50.7%で最も多く、「賃金・休日などの労働条件を改善している」（50.0%）、「能力・資格等を評価し、配置や処遇に反映している」（41.0%）、「不満や悩みなどの相談窓口を設けている」（28.4%）が続きます。



① 効果のあった具体的な取組事例等

このほか、人材確保・定着に関して貴事業所で効果のあった具体的な取組事例等があれば御記入ください。　（あてはまるものすべてに〇）

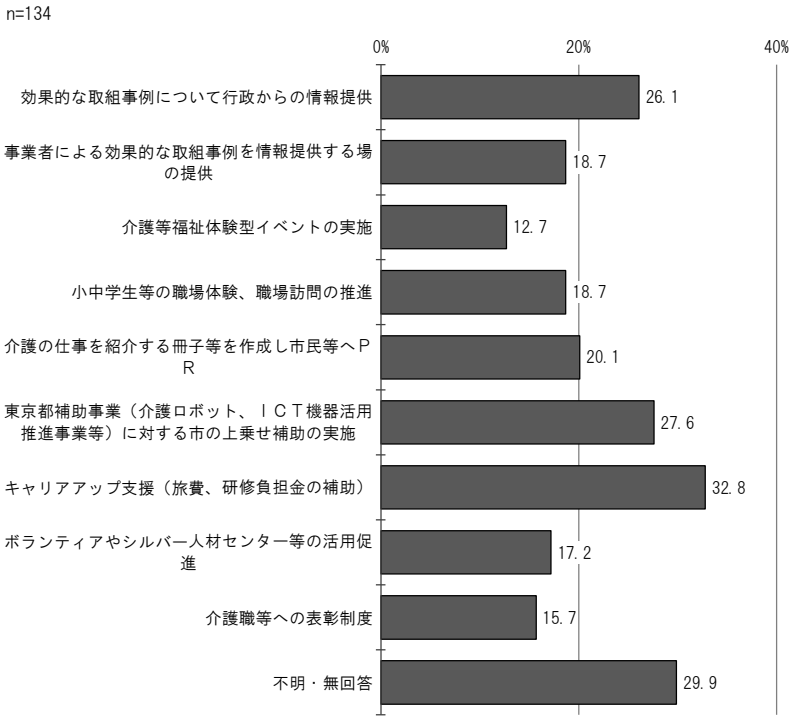
以下のとおり回答がありました。

「定期だけではなく、適宜に職員と面談、相談を行う事。職員は賃金向上、福利厚生が充実していても、自身の満たされないことが重なるとそれが不満、離職へとつながってしまう。職員は常に要望や改善、不満などの意見をそれぞれの立場で持っており、それをすくい上げることで、「自分が必要とされている」と感じることができる。モチベーション管理は人材の定着には非常に大切な要因である。」、「休日希望は可能な限り希望を通すよう対応している。高齢のヘルパーが多い為、無理のない勤務体制をとっている。」、「家族の用事（学校行事・介護など）の場合は優先的に休めるようにシフトの調整をしている。」、「希望休を設けており、必ず希望の曜日に休めるよう勤務調整をしている。また、保育園児・幼稚園児、小学生がいる職員は、勤務時間や勤務曜日の優遇を行っている。」、「週１日、１日２時間から勤務可能として、子育て世代でも働きやすい職場を目指している。」、「職員からの紹介制度で、紹介者に謝礼を導入している。」、「社員からの紹介で定着率が上がった。」、「勤務年数によって、法人規定により表彰と金一封を贈呈している。」、「福利厚生の一環として、サークル活動に助成金を支給している。ビーチボールサークル、フットサルサークルなどの趣味にもなっており、ただ仕事で所属している以上のものになっていると感じる。」

（34）市が取り組むべき介護人材確保対策

市が積極的に取り組むべき介護人材確保対策について何かお考えがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「キャリアアップ支援（旅費、研修負担金の補助）」が32.8%で最も多く、「東京都補助事業（介護ロボット、ＩＣＴ機器活用推進事業等）に対する市の上乗せ補助の実施」（27.6%）、「効果的な取組事例について行政からの情報提供」（26.1％）、「介護の仕事を紹介する冊子等を作成し市民等へＰＲ」（20.1%）が続きます。



① 効果のあった具体的な取組事例等

その他、何かあれば具体的に御記入ください。

「他業種離職者への介護説明会の実施等。」、「ハローワーク等では応募がなく、派遣や紹介を検討しているが金銭的余裕がなく人材不足している。」、「 離職者対策としての介護職員間のネットワークづくり、介護職員専用低家賃住宅の創設、介護職希望移住者への支援（住まい、税優遇、生活費支援など）。」、「若い介護職員希望者に住宅家賃援助や市営住宅の提供、家賃免除などの生活援助は効果的と思われる。」、「青梅市は老人ホームが多いため、介護の学校など教育に力を入れてほしい。」

追加設問１　介護人材の育成や離職防止策の課題について

介護人材の育成や離職防止策について、次の選択肢のうち、日頃難しく感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

介護人材の育成や離職防止策について日頃難しく感じていることをみると、全体では「賃金、休日などの労働条件の改善」が 70.4％と最も多く、次いで「研修機会の確保」「不安や悩みなどの相談ができる体制づくり」「能力、資格等を評価し、配置や処遇に反映する体制づくり」が５割台となっています。

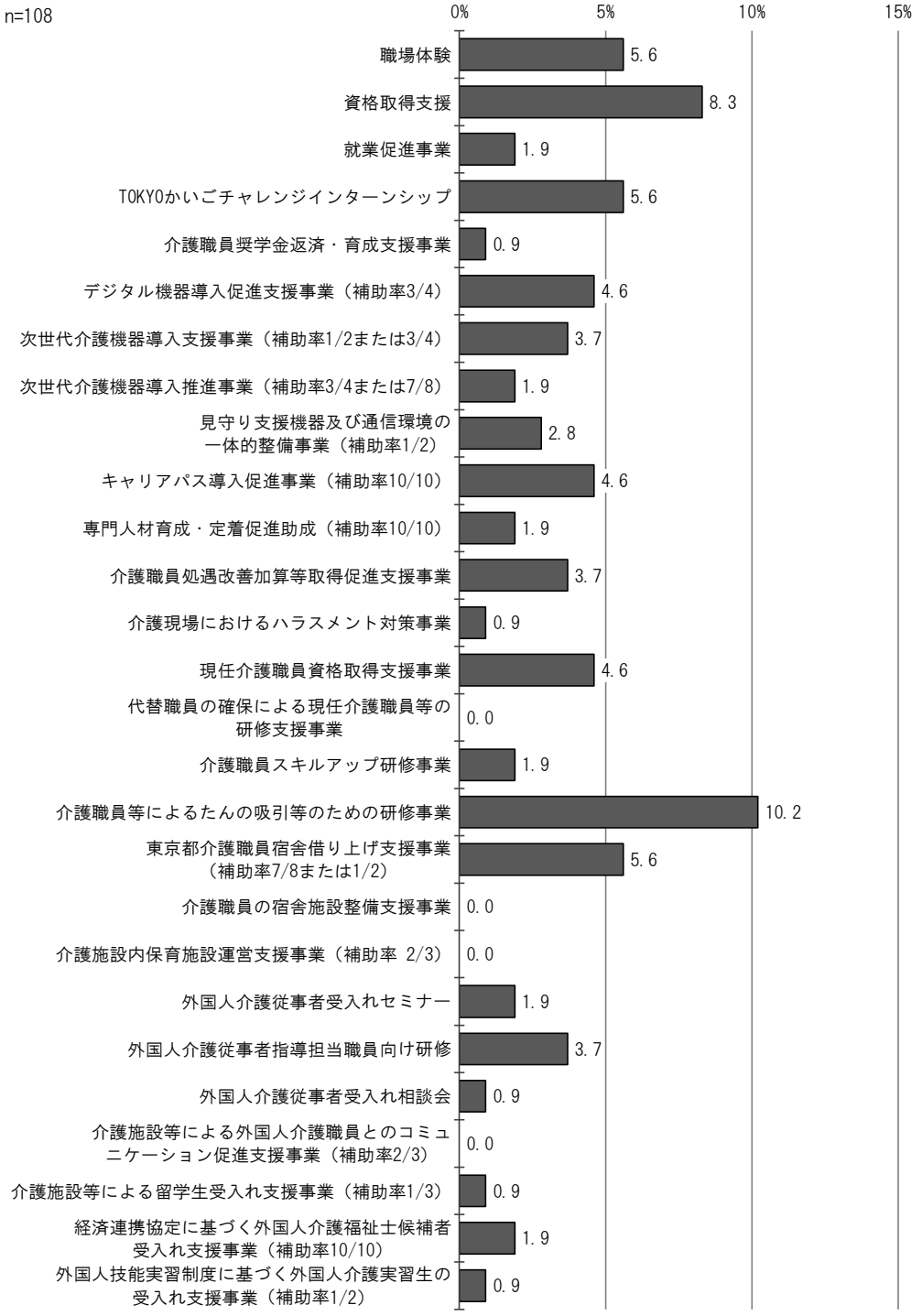
サービス系統別にみると、訪問系では「職員の資格取得支援」「研修機会の確保」が他のサービスより多く、通所系では「賃金、休日などの労働条件の改善」が他のサービスより多くなっています。

%		賃金、休日などの労働条件の改善	職員の資格取得支援	能力、資格等を評価し、配置や処遇に反映する体制づくり	研修機会の確保	不満や悩みなどの相談ができる体制づくり	不明・無回答
サービス別	全体(n=108)	70.4	27.8	50.0	50.9	50.9	8.3
	居宅介護支援(n=23)	56.5	17.4	34.8	43.5	52.2	13.0
	訪問系サービス(n=24)	79.2	45.8	45.8	62.5	45.8	8.3
	通所系サービス(n=28)	82.1	25.0	53.6	46.4	46.4	7.1
	施設系サービス(n=28)	67.9	25.0	57.1	50.0	57.1	3.6
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	66.7	33.3	100.0	66.7	66.7	-
	福祉用具貸与(n=2)	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0

追加設問２　補助や支援の利用状況について

東京都が実施する以下の介護人材対策の取組について、利用されたことはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

利用したことのある取組については、「介護職員等によるたんの吸引等のための研修事業」が 10.2%と最も多く、「資格取得支援」「職場体験」「TOKYO かいごチャレンジインターンシップ」「東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業」が５%以上となっています。



各補助・制度等の利用状況について

補助・制度等	利用状況
介護職員奨学金返済・育成支援事業	・利用しているが不明
デジタル機器導入促進支援事業	・20 万円台（2件） ・60 万円台（令和3年度のみ）（1 件） ・70 万円台（令和3年度）（1 件） ・100 万円台（1 件）
次世代介護機器導入支援事業	・500 万円台（1 件） ・900 万円台（1 件） ・利用しているが不明（2件）
次世代介護機器導入推進事業	・1,900 万円台（1 件） ・2,100 万円台（1 件）
見守り支援機器及び通信環境の一体的整備事業	・300 万円台（1 件） ・900 万円台（1 件） ・2,400 万円台（1 件）
キャリアパス導入促進事業	・実施したが補助金は発生しなかった（1 件） ・利用しているが不明（4件）
専門人材育成・定着促進助成	・利用しているが不明（2件）
東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業	・4 万円台（1 件） ・20 万円台（1 件） ・30 万円台（1 件） ・100 万円台（1 件） ・200 万円台（法人全体）（1 件） ・700 万円台（1 件）
介護施設等による留学生受入れ支援事業	・30 万円台（1 件）
経済連携協定に基づく外国人介護福祉士候補者受入れ支援事業	・600 万円台（1 件） ・800 万円台（法人全体）（1 件）
外国人技能実習制度に基づく外国人介護実習生の受入れ支援事業	・利用したが、補助金は出なかった（1 件）

※100 万円の単位（100 万円未満は 10 万円の単位）で表記

必要な支援や補助について

前問においてお答えいただいたの補助を受けても、不足している（市に実施してほしい）事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）

必要な支援や補助については、全体では「潜在介護人材の再就業促進事業」「介護未経験者に対する研修支援事業（資格取得支援）」「介護分野での就労未経験者等の就労・定着促進事業」が２割台と多くなっています。サービス系統別にみると、施設系サービスで必要だと考えている支援や補助についての回答が多い傾向にあり、上記に挙げた４項目の他、「認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業」「多様な人材層に応じたマッチング機能強化事業」でも３割を超えています。

%		介護未経験者に対する研修支援事業（資格取得支援）	介護人材キャリアアップ研修支援事業	認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業	多様な人材層に対する介護や介護の仕事の理解促進事業	多様な人材層を対象とした介護の職場体験事業	多様な人材層に応じたマッチング機能強化事業	介護分野での就労未経験者等の就労・定着促進事業
サービス別	全体(n=108)	22.2	12.0	18.5	18.5	16.7	14.8	21.3
	居宅介護支援(n=23)	8.7	4.3	13.0	4.3	8.7	8.7	4.3
	訪問系サービス(n=24)	12.5	-	-	8.3	4.2	4.2	8.3
	通所系サービス(n=28)	28.6	28.6	28.6	28.6	21.4	10.7	35.7
	施設系サービス(n=28)	32.1	14.3	32.1	28.6	25.0	32.1	35.7
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	66.7	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与(n=2)	-	-	-	-	50.0	-	-

%		潜在介護人材の再就業促進事業	介護に関する入門的研修の実施、生活援助従事者研修の受講支援等からマッチングまでの一体的支援事業	介護の周辺業務等の体験支援	介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業	介護人材確保のためのボランティアポイント事業	管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業	区市町村介護人材確保プラットホーム構築事業
サービス別	全体(n=108)	23.1	11.1	7.4	8.3	8.3	14.8	4.6
	居宅介護支援(n=23)	4.3	-	4.3	8.7	8.7	21.7	-
	訪問系サービス(n=24)	12.5	16.7	4.2	-	-	8.3	-
	通所系サービス(n=28)	28.6	10.7	10.7	3.6	14.3	21.4	10.7
	施設系サービス(n=28)	39.3	17.9	10.7	17.9	10.7	7.1	7.1
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	33.3	-	-	33.3	-	-	-
	福祉用具貸与(n=2)	-	-	-	-	-	50.0	-

%		離島、中山間地域等における介護人材確保支援事業	介護福祉士養成課程に係る介護実習支援事業	新人介護職員に対するエルダー、メンター制度等導入支援事業	離職した介護人材のニーズ把握のための実態調査事業	不明・無回答
サービス別	全体(n=108)	0.9	6.5	6.5	8.3	47.2
	居宅介護支援(n=23)	-	-	-	-	65.2
	訪問系サービス(n=24)	-	-	-	-	70.8
	通所系サービス(n=28)	3.6	14.3	10.7	17.9	39.3
	施設系サービス(n=28)	-	10.7	14.3	14.3	25.0
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	-	-	-	-	33.3
	福祉用具貸与(n=2)	-	-	-	-	-

介護の仕事について、市に PR してほしいテーマはありますか。もしくは、市に協力してほしいことはありますか。

広報・啓発（求人機会の充実）
慢性的な介護職員の人材不足に悩まされているので、市が主導の介護求人を作成して（求人掲載してほしい介護施設を公募する）、市のホームページや一般市民の目につくような場所に断続的に掲示してほしい。
定期的に介護職員対象の就職説明会を開催してほしい。
青梅市において高齢者介護に携わる方が多いと思う。他県や他市からの介護人材の誘致などを行ってもらえると良いのではないかと思う。
介護人材バンクの創設、人材のマッチング管理を行ってほしい。
広報・啓発（介護職の魅力のＰＲ）
高齢化社会において、福祉は必要かつ必然であり、介護という職種の存在について、高校生の新卒者など、長い期間介護の仕事へ従事していただけるであろう若年層への PR を積極的に行っていただきたい。
学校等の授業で介護の仕事 Q＆A（講師は施設職員）や働き甲斐をテーマに実施してほしい。
やりがいのある仕事である面を PR してもらいたい。
介護職の魅力発信、イメージアップ等への取り組み、協力をしてほしい。
介護の資格を取ってもそれを活用していない方がいると思う。ヘルパーは自分のペースで短時間で出来る介護の仕事なので、簡単なところから一度やってみてほしい。広報誌等で大々的に募集してほしい。
とかく虐待やブラック労働などネガティブなイメージがつきやすいので、サービス残業などがなく、クリーンなイメージで働きやすい取り組みをしている施設を特集して、地域に PR するなどお願いしたい。
将来を担う学生や主婦および元気高齢者を対象として、介護業務の魅力、やりがいを PR していただきたい。
介護の仕事の魅力について、市と事業所が協力して発信していく取り組みができると嬉しく思う。
「介護職は低賃金ではない」、「残業は多くない」、「重労働ではない」ということをもっとアピールしてほしい。
待遇改善
青梅市全体の福祉人材（看護・介護）確保に繋がる家賃補助（施設独自にプラスした金額）、冬期加算（青梅市で就業する際の家賃メリット）などにより、福祉業界に就業すること、青梅市に居住することのメリットをアピールしてほしい。 待機児童ゼロなどの推進に近い形式で取り組みをしてほしい。

資格・キャリアアップ・研修
無資格者への資格取得支援をお願いしたい。
訪問介護における介護人材不足について危機感がある。 新型コロナウィルス感染症により、訪問系サービスへの就業がよりハードルの高いものになっていると感じる。 訪問介護は初任者研修以上の資格が必須となるので、市内で初任者研修を開講し介護者を増やす取り組みが必要だと考えるが、単独の事業所では限界があるため、市内で協働で実施する等の工夫が必要かと思う。
会社独自で介護のケアカレッジを実施、入職に関する支援を行っている。
ケアマネジャーの資質向上に対する研修を増やしてほしい。
人材確保に関する支援制度の利用
東京都が実施している介護人材対策はたくさんあるようだが、手続きが煩雑で利用が困難である。また、小規模な介護施設ほど困難であると感じる。 もっと利用しやすい人材対策制度や、手続きが簡易的なものがあるとありがたい。
介護ボランティアの活用
ボランティアポイント制度の導入をお願いしたい。
人材確保が難しい状況について
当事業所に併設の特養を見ても、人材確保が難しいように感じる。
施設より在宅介護を支えるヘルパーが不足しているので、PR をしてほしい。
介護人材を市内に留めておくような施策を作ってほしい。当市は介護施設が多いので、人材確保が難しいうえに他の市町村に流れてしまう。 即戦力になる人材の採用と継続雇用を希望している。それには、高給与の支給と有給等の休暇を取りやすくすることが肝要であるが、人材不足から難しい現状がある。当事業所はデイサービスのみで経営しているが、人件費も年々高くする必要があり、休みも思うように取れない。事業所で努力するしかないといわれるが、即戦力介護職員の人材確保について協力してほしい。
デイサービスでの介護職員とともに送迎の人材不足が問題となっている。アピールの仕方に苦心している状況である。

人材確保以外の運営課題
市役所内にあるテレビの中で、青梅市の介護サービス事業所の紹介をしてほしい。
青梅市での訪問系サービスは車が必須である。自治会で駐車スペースを設定するなどのアナウンスをお願いしたい。
医療連携において、主治医（病院側）の不理解があり、医療連携が取れない、また、工夫をしないといけない、怒鳴られる等の不理解があり、大変苦労している。 利用者の安定確保が難しく、空き情報などが利用希望者に伝わる方法があればと考えている。
そもそも青梅市は、地域包括支援センターが媒体となり利用者を生み出しているが、その利用者は法人内の居宅介護支援事業所に割り振りされることが基本なので、だいぶ前から当法人は閑古鳥が鳴いている。 この状況は変わらないと思うので、仕方ないと諦めている。
医療（病院）と福祉の事業者の連携を促進していくための話し合いができる場があると良いかなと思う。医療と福祉双方がお互いの職務内容をある程度理解しておく必要があると思う。福祉側からすると主治医との連携が困難と感じる場面があるため。 介護支援専門員に対しての処遇改善に関わる部分を検討していただきたい。
・市民の皆様や医療機関に訪問看護が知られていない。羽村市のようにリストを作って配布していただきたい。青梅市くらしのガイドにも載せてもらいたい。 ・市立総合病院からの退院時の訪問依頼事業所の調査もお願いしたい。市内の事業所を平等にされているのか？なぜか令和３年６月に１件あった以降依頼がない。利用者が選ぶにしても納得がいかない。 ・市立総合病院から指示書が出ている方の緊急時の電話対応を検討していただきたい。他病院とは違いすぎる。看看連携は築けないか？ ・障害福祉関係等の多職種での情報交換の場や包括システムが構築されてほしい。 ・介護サービス関係も同じで青梅市の包括ケアシステムの進捗状況が見えない。交流の場がほしい。 ・訪問看護時の駐車場の確保に困っている。公共施設の駐車場の医療者限定の開放（他市では許可書が配布されているところがある）および、各自治会で駐車場の確保の呼びかけをお願いしたい。今後ご自宅での担当者会議も増えてくることが予想され、高齢者宅で駐車場のないお宅が多い。有料の駐車場を利用せざるを得ず、駐車代を請求したら金銭的理由から訪問を断られたこともある。 ・災害時に看護師が必要になった時に備え、地域の避難訓練に参加したり、避難場所の配置や担当などを事前に決めておくことが大切ではないか。急には動けないと思う。委託契約を事前にしておく等やれるのではないか。

職員の募集について

職員を募集する際、どのような方法で募集していますか。（あてはまるものすべてに〇）

職員の募集方法については、「職業安定所（ハローワーク）の利用」「求人媒体（WEB サイトなど）の利用」が全体でも８割前後と多くなっています。

サービス系統別にみると、「採用サイトの制作」について居宅介護支援で低くなっています。

%		求人媒体（WEBサイトなど）の利用	人材紹介会社の利用	職業安定所（ハローワーク）の利用	地域の活動の場でのPR	ビラ・チラシの配布	採用サイトの制作	その他（自由回答）
サービス別	全体(n=108)	76.9	38.0	85.2	16.7	11.1	25.0	27.8
	居宅介護支援(n=23)	56.5	26.1	65.2	13.0	-	4.3	34.8
	訪問系サービス(n=24)	83.3	54.2	70.8	20.8	12.5	20.8	33.3
	通所系サービス(n=28)	85.7	28.6	96.4	14.3	14.3	32.1	14.3
	施設系サービス(n=28)	75.0	42.9	96.4	14.3	14.3	35.7	28.6
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	66.7	-	100.0	33.3	-	33.3	33.3
	福祉用具貸与(n=2)	100.0	50.0	100.0	-	-	-	50.0

%		不明・無回答
サービス別	全体(n=108)	3.7
	居宅介護支援(n=23)	17.4
	訪問系サービス(n=24)	-
	通所系サービス(n=28)	-
	施設系サービス(n=28)	-
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	-
	福祉用具貸与(n=2)	-

＜その他　の内容＞

職員等の知人の紹介・声掛け（13 件）
ホームページ（10 件）
法人内での異動（２件）
募集をしていない（２件）
SNS・クチコミ（１件）
事務所の壁に掲示（１件）
担当に確認しないと不明（１件）

事業所において、職員の方の家賃補助は実施されていますか。

家賃補助については、「実施していない」が 73 件と「実施している」の 35 件を上回っています。
実施の比率・金額については、15,000 円程度が主となっています。

比率		金額	
50%	4件	20,000 円以上	3件
		15,000 円～20,000 円程度	6件
		11,000 円～15,000 円程度	6件
12%	1件	10,000 円	3件
		5,000 円	1件
実施している（比率・金額無回答）			2件
実施している（小計）			35 件
実施していない			73 件

事業所において、虐待防止委員会を設置していますか。

虐待防止委員会の設定については、全体では「設置している」が 56.5%となっています。サービス系統別にみると、施設系サービスで高い一方、通所系サービスでは低くなっています。

%		設置している	設置していない	不明・無回答
サービス別	全体(n=108)	56.5	43.5	-
	居宅介護支援(n=23)	47.8	52.2	-
	訪問系サービス(n=24)	62.5	37.5	-
	通所系サービス(n=28)	32.1	67.9	-
	施設系サービス(n=28)	82.1	17.9	-
	小規模多機能型居宅介護(n=3)	66.7	33.3	-
	福祉用具貸与(n=2)	-	100.0	-